第６１６５号　令和８年１０月９日

北九州市公報

発　行　所
北九州市小倉北区城内１番１号
北　九　州　市　役　所

目　　次

◇ 告　　示

○　令和８年度北九州市補正予算の要領【財政・変革局財務部財政課】

○　令和７年度北九州市決算要領【財政・変革局財務部財政課】

北九州市告示第３８３号

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２１９条第２項の規定により、令和８年９月市議会定例会において議決された令和８年度北九州市補正予算の要領を次のとおり公表する。

令和８年１０月９日

北九州市長　武　内　和　久

１　令和８年度北九州市補正予算

２　令和８年度北九州市補正予算に関する説明書

令 和 8 年 度

北　九　州　市　補　正　予　算

（9月議会提出）

一　　般　　会　　計
特　　別　　会　　計

目　　次

頁

一　般　会　計

一　般　会　計　補　正　予　算 …… 1

特　別　会　計

食肉センター特別会計補正予算 …… 10

卸売市場特別会計補正予算 …… 13

土地区画整理特別会計補正予算 …… 16

港湾整備特別会計補正予算 …… 20

介護保険特別会計補正予算 …… 23

市立病院機構病院事業債管理特別会計補正予算 …… 26

下水道事業会計補正予算 …… 30

一　般　会　計

議案第 124 号

令和８年度 北 九 州 市 一 般 会 計 補 正 予 算 （ 第 ２ 号 ）

令和８年度北九州市の一般会計の補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第１条　歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 2,723,177千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 652,029,485千円とする。

２　歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表歳入歳出予算補正」による。

（繰越明許費）

第２条　地方自治法第213条第1項の規定により翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第２表繰越明許費」による。

（債務負担行為の補正）

第３条　債務負担行為の追加、変更は、「第3表債務負担行為補正」による。

（地方債の補正）

第４条　地方債の追加、変更は、「第4表地方債補正」による。

令和８年９月２日提出

北九州市長　武　内　和　久

第１表　歳入歳出予算補正

歳　　入　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
18 国庫支出金		**135,439,573**	**1,221,311**	**136,660,884**
	1 国庫負担金	112,819,490	46,690	112,866,180
	2 国庫補助金	22,231,121	1,174,621	23,405,742
19 県支出金		**40,948,447**	**15,200**	**40,963,647**
	2 県補助金	7,695,304	15,200	7,710,504
22 繰入金		**25,005,763**	**147,441**	**25,153,204**
	2 基金繰入金	24,338,959	147,441	24,486,400
23 繰越金		**10**	**744,425**	**744,435**
	1 繰越金	10	744,425	744,435
25 市債		**37,506,100**	**594,800**	**38,100,900**
	1 市債	37,506,100	594,800	38,100,900
歳　　入　　合　　計		**649,306,308**	**2,723,177**	**652,029,485**

歳　　出　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
2 総務費		**60,626,726**	**510,000**	**61,136,726**
	5 徴税費	2,072,584	510,000	2,582,584
3 保健福祉費		**194,487,789**	**△ 158,000**	**194,329,789**
	2 社会福祉費	92,966,537	△ 198,000	92,768,537
	8 繰出金	34,447,391	40,000	34,487,391
4 子ども家庭費		**86,467,595**	**5,000**	**86,472,595**
	2 子ども家庭費	80,994,822	5,000	80,999,822
8 産業経済費		**51,055,762**	**829,875**	**51,885,637**
	2 産業学術費	46,632,624	829,875	47,462,499
9 土木費		**32,432,467**	**1,131,422**	**33,563,889**
	3 道路橋りょう費	13,492,500	1,540,580	15,033,080
	4 河川費	2,866,336	51,837	2,918,173

（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
	5 都市計画費	9,317,736	△ 437,200	8,880,536
	6 繰出金	1,397,116	△ 23,795	1,373,321
11 建築行政費		**7,111,772**	**162,880**	**7,274,652**
	3 住宅建設費	1,325,009	162,880	1,487,889
13 教育費		**76,249,143**	**118,000**	**76,367,143**
	4 中学校費	5,810,316	22,000	5,832,316
	8 保健体育費	3,959,202	96,000	4,055,202
14 災害復旧費		**882**	**124,000**	**124,882**
	2 農林水産施設災害復旧費	0	24,000	24,000
	3 土木施設災害復旧費	0	100,000	100,000
歳出合計		**649,306,308**	**2,723,177**	**652,029,485**

第2表　繰越明許費

款	項	事業名	金額
			千円
9 土木費	3 道路橋りょう費	道路維持事業	210,000
		交通安全施設等整備事業	102,000
	5 都市計画費	街路事業	48,000

第３表　債務負担行為補正

１　　追　　加　　（単位：千円）

事　　項	期　　間	限　　度　　額
北九州国際展示場管理運営等経費	令　和　9　年　度	79,000
道路維持事業（国道199号）	令　和　9　年　度	17,000
河川改良事業（神嶽川）	令　和　9　年　度	108,000

２　　変　　更

（単位：千円）

事　　項	補　　正　　前		補　　正　　後	
	期　　間	限　度　額	期　　間	限　度　額
障害福祉システム 標準化対応経費	令和 9 年度	590,000	自　令和 9 年度 至　令和 10 年度	800,000

第４表　　地方債補正

１　追　　加

起　債　の　目　的	限度額	起債の方法	利　率	償　還　の　方　法
	千円		%	
災　害　復　旧　事　業	57,700	証書借入	8.5 以内 （ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率）	30年（据置期間を含む。）以内に元利均等その他の方法により償還する。 ただし、財政の都合により繰上償還をなし、償還年限を短縮し、また低利債に借換することができるものとし、借入先の融通条件があるときは、これに従うことができる。

２　変　　更

起　債　の　目　的	補正前				補正後			
	限度額	起債の方法	利率	償還の方法	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
	千円		%		千円		%	
産業経済施設建設事業	1,913,400				1,927,400			
土木施設建設事業	11,989,300				12,437,400			
建築行政施設建設事業	765,000				840,000			

特　別　会　計

議案第 125 号

令和８年度 北九州市食肉センター特別会計補正予算（第1号）

令和８年度北九州市の食肉センター特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第１条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 40,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 425,000千円とする。

２ 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表歳入歳出予算補正」による。

令和８年９月２日提出

北九州市長 武 内 和 久

第１表　歳入歳出予算補正

歳　　入　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
3 繰入金		**212,251**	**40,000**	**252,251**
	1 繰入金	212,251	40,000	252,251
歳　　入　　合　　計		**385,000**	**40,000**	**425,000**

歳　　出　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
1 食肉センター費		**384,800**	**40,000**	**424,800**
	1 食肉センター費	358,230	40,000	398,230
歳　　出　　合　　計		**385,000**	**40,000**	**425,000**

議案第 126 号

令和８年度 北九州市卸売市場特別会計補正予算（第１号）

令和８年度北九州市の卸売市場特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第１条　歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 10,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 1,094,400千円とする。

２　歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表歳入歳出予算補正」による。

令和８年９月２日提出

北九州市長　武　内　和　久

第１表　歳入歳出予算補正

歳　　入　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
3 繰越金		**61,142**	**10,000**	**71,142**
	1 繰越金	61,142	10,000	71,142
歳　　入　　合　　計		**1,084,400**	**10,000**	**1,094,400**

歳　　出　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
1 卸売市場費		**1,082,400**	**10,000**	**1,092,400**
	1 卸売市場費	927,091	10,000	937,091
歳　　出　　合　　計		**1,084,400**	**10,000**	**1,094,400**

議案第 127 号

令和８年度 北九州市土地区画整理特別会計補正予算（第1号）

令和８年度北九州市の土地区画整理特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第１条　歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 316,100千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 5,283,200千円とする。

２　歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表歳入歳出予算補正」による。

（地方債の補正）

第２条　地方債の変更は、「第2表地方債補正」による。

令和８年９月２日提出

北九州市長　武　内　和　久

第１表　歳入歳出予算補正

歳　　入　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
2 国庫支出金		**543,650**	**△ 158,005**	**385,645**
	1 国庫補助金	543,650	△ 158,005	385,645
4 繰入金		**1,352,782**	**△ 23,795**	**1,328,987**
	1 繰入金	1,352,782	△ 23,795	1,328,987
7 市債		**1,858,700**	**△ 134,300**	**1,724,400**
	1 市債	1,858,700	△ 134,300	1,724,400
歳　　入　　合　　計		**5,599,300**	**△ 316,100**	**5,283,200**

歳　　出　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
1 土地区画整理事業費		**5,599,300**	**△ 316,100**	**5,283,200**
	1 土地区画整理事業費	3,477,630	△ 316,100	3,161,530
歳　　出　　合　　計		**5,599,300**	**△ 316,100**	**5,283,200**

第２表　地方債補正

変　　更

起　債　の　目　的	補正前				補正後			
	限 度 額	起債の方法	利率	償還の方法	限 度 額	起債の方法	利率	償還の方法
	千円		%		千円		%	
土　地　区　画　整　理　事　業	1,858,700				1,724,400			

議案第 128 号

令和８年度 北九州市港湾整備特別会計補正予算（第１号）

令和８年度北九州市の港湾整備特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第１条　歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 76,118千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 6,376,918千円とする。

２　歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表歳入歳出予算補正」による。

令和８年９月２日提出

北九州市長　武　内　和　久

第１表　歳入歳出予算補正

歳　　入　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
１使用料及び手数料		**3,080,643**	**76,118**	**3,156,761**
	１使用料	3,080,643	76,118	3,156,761
歳　　入　　合　　計		**6,300,800**	**76,118**	**6,376,918**

歳　　出　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
1 港湾整備事業費		**6,295,800**	**76,118**	**6,371,918**
	1 機能施設事業費	3,934,529	76,118	4,010,647
歳　　出　　合　　計		**6,300,800**	**76,118**	**6,376,918**

議案第 129 号

令和８年度 北九州市介護保険特別会計補正予算（第１号）

令和８年度北九州市の介護保険特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第１条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 1,172,949千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 114,993,949千円とする。

２ 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表歳入歳出予算補正」による。

令和８年９月２日提出

北九州市長 武 内 和 久

第１表　歳入歳出予算補正

歳　　入　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
9 繰越金		**448,762**	**1,172,949**	**1,621,711**
	1 繰越金	448,762	1,172,949	1,621,711
歳　　入　　合　　計		**113,821,000**	**1,172,949**	**114,993,949**

歳　　出　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
6 基金積立金		**91,000**	**384,360**	**475,360**
	1 基金積立金	91,000	384,360	475,360
7 諸支出金		**39,814**	**788,589**	**828,403**
	1 償還金及び還付加算金	39,814	788,589	828,403
歳　　出　　合　　計		**113,821,000**	**1,172,949**	**114,993,949**

議案第 130 号

令和８年度 北九州市市立病院機構病院事業債管理特別会計補正予算（第1号）

令和８年度北九州市の市立病院機構病院事業債管理特別会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第１条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 1,000,000千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 4,297,500千円とする。

２ 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表歳入歳出予算補正」による。

（地方債の補正）

第２条 地方債の変更は、「第2表地方債補正」による。

令和８年９月２日提出

北九州市長　武　内　和　久

第１表　歳入歳出予算補正

歳　　入　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
2 市債		**1,221,600**	**1,000,000**	**2,221,600**
	1 市債	1,221,600	1,000,000	2,221,600
歳　　入　　合　　計		**3,297,500**	**1,000,000**	**4,297,500**

歳　　出　　（単位：千円）

款	項	補正前の額	補正額	計
1 市立病院機構病院事業債管理事業費		**3,297,500**	**1,000,000**	**4,297,500**
	1 市立病院機構病院事業債管理事業費	1,221,600	1,000,000	2,221,600
歳　　出　　合　　計		**3,297,500**	**1,000,000**	**4,297,500**

第２表　地方債補正

変　　更

起　債　の　目　的	補正前				補正後			
	限 度 額	起債の方法	利率	償還の方法	限 度 額	起債の方法	利率	償還の方法
	千円		%		千円		%	
市　立　病　院　機　構　貸　付　金	1,221,600				2,221,600			

議案第131号

令和８年度 北九州市下水道事業会計補正予算（第１号）

（総　　則）

第１条　令和８年度北九州市の下水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第２条　予算第３条に定めた収益的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正する。

（科　　目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収　　入		
第１款　下水道事業収益	28,368,700 千円	△ 194,380 千円	28,174,320 千円
第２項　営　業　外　収　益	7,569,291 千円	△ 194,380 千円	7,374,911 千円
	支　　出		
第１款　下水道事業費	29,242,860 千円	△ 190,860 千円	29,052,000 千円
第２項　営　業　外　費　用	2,817,741 千円	△ 190,860 千円	2,626,881 千円

（資本的収入及び支出）

第３条　予算第４条に定めた資本的収入及び支出の予定額を、次のとおり補正し、本文括弧書を次のとおり改める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額10,181,788千円は損益勘定留保資金等で補てんするものとする。）。

（科　　目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収　　入		
第１款　下水道事業資本的収入	16,201,477 千円	2,387,195 千円	18,588,672 千円
第１項　企　　業　　債	10,346,000 千円	△ 798,000 千円	9,548,000 千円
第２項　国　庫　補　助　金	4,315,555 千円	3,185,195 千円	7,500,750 千円
	支　　出		
第１款　下水道事業資本的支出	26,382,460 千円	2,388,000 千円	28,770,460 千円
第１項　建　設　改　良　費	16,465,778 千円	2,388,000 千円	18,853,778 千円

（債務負担行為）

第４条　予算第５条に定めた債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額を、次のとおり追加及び変更する。

１ 追加

事　　項	期　　間	限　度　額
		千円
芦屋町下水道事業	自　令和 9 年度 至　令和 18 年度	3,610,000

２ 変更

事　　項	補正前		補正後	
	期　間	限度額	期　間	限度額
		千円		千円
芦屋町下水道事業	令和9年度	538,000	令和9年度	728,860
施設改良事業	令和9年度	600,000	令和9年度	642,000
施設改良事業	自　令和 9 年度 至　令和10年度	600,000	自　令和 9 年度 至　令和10年度	1,280,000

（企　業　債）

第５条　予算第６条に定めた起債の限度額を、次のとおり変更する。

起債の目的	限度額	
	補正前	補正後
	千円	千円
下水道建設事業	10,346,000	9,548,000

令和8年9月2日提出

北九州市長　武　内　和　久

令 和 ８ 年 度

北九州市補正予算に関する説明書

（９月議会提出）

一　　般　　会　　計
特　　別　　会　　計

目　　次

一　般　会　計　　頁

一　般　会　計　補　正　予　算 …… 1

特　別　会　計

食肉センター特別会計補正予算 …… 25

卸売市場特別会計補正予算 …… 29

土地区画整理特別会計補正予算 …… 33

港湾整備特別会計補正予算 …… 38

介護保険特別会計補正予算 …… 42

市立病院機構病院事業債管理特別会計補正予算 …… 46

下水道事業会計補正予算 …… 50

会　計　別　歳　出　集　計　表

（単位：千円）

会　計　別		補正前の額	補　正　額	計
一　般　会　計		649,306,308	2,723,177	652,029,485
特別会計	国民健康保険	96,123,000		96,123,000
	食肉センター	385,000	40,000	425,000
	卸売市場	1,084,400	10,000	1,094,400
	渡船	592,700		592,700
	土地区画整理	5,599,300	△ 316,100	5,283,200
	土地区画整理事業清算	300		300
	港湾整備	6,300,800	76,118	6,376,918
	公債償還	179,315,000		179,315,000
	住宅新築資金等貸付	900		900
	土地取得	2,682,500		2,682,500
	駐車場	580,500		580,500
	母子父子寡婦福祉資金	348,000		348,000
	産業用地整備	1,289,300		1,289,300

（単位：千円）

会計別		補正前の額	補正額	計
特別会計	漁業集落排水	61,300		61,300
	介護保険	113,821,000	1,172,949	114,993,949
	空港関連用地整備	4,900		4,900
	臨海部産業用地貸付	466,300		466,300
	後期高齢者医療	23,168,000		23,168,000
	市民太陽光発電所	105,400		105,400
	市立病院機構病院事業債管理	3,297,500	1,000,000	4,297,500
小計		435,226,100	1,982,967	437,209,067
企業会計	上水道事業	42,933,220		42,933,220
	工業用水道事業	3,889,490		3,889,490
	交通事業	2,369,000		2,369,000
	病院事業	1,304,550		1,304,550
	下水道事業	55,625,320	2,197,140	57,822,460
	公営競技事業	208,031,770		208,031,770
小計		314,153,350	2,197,140	316,350,490
合計		1,398,685,758	6,903,284	1,405,589,042

一　般　会　計

令和８年度 北九州市 一般会計 歳入歳出補正予算事項別明細書

1　総　　括

（歳　　入）　　（単位：千円）

款	補正前の額	補正額	計
18　国庫支出金	135,439,573	1,221,311	136,660,884
19　県支出金	40,948,447	15,200	40,963,647
22　繰入金	25,005,763	147,441	25,153,204
23　繰越金	10	744,425	744,435
25　市債	37,506,100	594,800	38,100,900
歳入合計	649,306,308	2,723,177	652,029,485

（歳　　出）

（単位：千円）

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
2　総務費	60,626,726	510,000	61,136,726				510,000
3　保健福祉費	194,487,789	△ 158,000	194,329,789	△ 131,423			△ 26,577
4　子ども家庭費	86,467,595	5,000	86,472,595	5,000			
8　産業経済費	51,055,762	829,875	51,885,637	784,000	14,000		31,875
9　土木費	32,432,467	1,131,422	33,563,889	357,720	448,100	75,000	250,602
11　建築行政費	7,111,772	162,880	7,274,652	62,091	75,000		25,789
13　教育費	76,249,143	118,000	76,367,143	103,333			14,667
14　災害復旧費	882	124,000	124,882	55,790	57,700		10,510
歳出合計	649,306,308	2,723,177	652,029,485	1,236,511	594,800	75,000	816,866

2　歳　　入

18 款 国庫支出金

1 項 国庫負担金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明
				区分	金額	
5 災害復旧費国庫負担金	0	46,690	46,690	1 土木施設災害復旧費負担金	46,690	○令和８年発生公共土木施設災害復旧費　46,690 道路　基本額　70,000×0.667　46,690
計	112,819,490	46,690	112,866,180			

18 款 国庫支出金

2 項 国庫補助金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明
				区分	金額	
2 保健福祉費国庫補助金	2,741,927	△ 131,423	2,610,504	1 社会福祉費補助金	△ 131,423	○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金　5,000 ○地域生活支援等事業費　1,000 高次脳機能障害者支援推進事業費　基本額　2,000×1/2　1,000 ○デジタル基盤改革支援事業費　△ 137,423 基本額　△137,423×10/10　△137,423
3 子ども家庭費国庫補助金	3,735,133	5,000	3,740,133	1 子ども家庭費補助金	5,000	○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金　5,000
7 産業経済費国庫補助金	1,485,595	784,000	2,269,595	1 産業学術費補助金	784,000	○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金　784,000

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明			
				区分	金額				
8 土木費国庫補助金	4,325,581	351,620	4,677,201	2 道路橋りょう費補助金	557,351	○道路メンテナンス事業費			462,655
							基本額	841,190×5.5/10	462,655
						○都市構造再編集中支援事業費			△ 60,000
							基本額	△120,000×1/2	△60,000
						○社会資本整備総合交付金			154,696
				3 河川費補助金	22,869	○河川整備事業費			△ 500
						大規模特定河川事業	基本額	△1,500×1/3	△500
						○都市構造再編集中支援事業費			16,769
							基本額	33,537×1/2	16,769
						○社会資本整備総合交付金			6,600
				4 都市計画費補助金	△ 228,600	○都市構造再編集中支援事業費			△ 14,600
							基本額	△29,200×1/2	△14,600
						○社会資本整備総合交付金			△ 214,000
10 建築行政費国庫補助金	1,017,130	62,091	1,079,221	2 住宅建設費補助金	62,091	○公営住宅建設費			62,091
						市営住宅整備事業費			62,091
						現年度着工分	基本額	137,980×4.5/10	62,091
12 教育費国庫補助金	1,857,281	103,333	1,960,614	4 中学校費補助金	7,333	○部活動の地域展開等推進事業費			7,333
							基本額	22,000×1/3	7,333

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明
				区分	金額	
				8 保健体育費補助金	96,000	○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 96,000
計	22,231,121	1,174,621	23,405,742			

19 款 県支出金

2 項 県補助金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明
				区分	金額	
6 土木費県補助金	362,877	6,100	368,977	1 河川費補助金	6,100	○都市基盤河川改修事業費 6,100 基本額 18,300×1/3 6,100
11 災害復旧費県補助金	0	9,100	9,100	1 農林水産施設災害復旧費補助金	9,100	○農業用施設災害復旧事業費 9,100 令和８年発生農業用施設災害復旧費 基本額 14,000×6.5/10 9,100
計	7,695,304	15,200	7,710,504			

22 款 繰入金

2 項 基金繰入金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明	
				区分	金額		
9 財政調整基金繰入金	5,941,614	72,441	6,014,055	1 財政調整基金繰入金	72,441	○財政調整基金繰入金	72,441
21 ボートレースによる未来のまちづくり投資基金繰入金	2,000,000	75,000	2,075,000	1 ボートレースによる未来のまちづくり投資基金繰入金	75,000	○ボートレースによる未来のまちづくり投資基金繰入金	75,000
計	24,338,959	147,441	24,486,400				

23 款 繰越金

1 項 繰越金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明	
				区分	金額		
1 繰越金	10	744,425	744,435	1 前年度繰越金	744,425	○前年度繰越金	744,425
計	10	744,425	744,435				

25 款 市債

1 項 市債

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明	
				区分	金額		
6 産業経済債	1,913,400	14,000	1,927,400	1 産業学術債	14,000	○北九州国際展示場施設整備事業	14,000
7 土木債	12,396,300	448,100	12,844,400	2 道路橋りょう債	648,300	○道路維持事業	154,300
						○道路新設改良事業	139,000
						○交通安全施設等整備事業	415,000
						○道路景観整備事業	△ 60,000
				3 河川債	20,500	○河川改良事業	20,500
				4 都市計画債	△ 220,700	○公園緑地事業	△ 220,700
9 建築行政債	765,000	75,000	840,000	2 住宅建設債	75,000	○公営住宅建設事業	75,000
13 災害復旧債	0	57,700	57,700	1 農林水産施設災害復旧債	4,400	○農業用施設災害復旧事業	4,400
				2 土木施設災害復旧債	53,300	○一般土木施設災害復旧事業	53,300
計	37,506,100	594,800	38,100,900				

3　歳　　出

2款 総務費

5項 徴税費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
2 賦課徴収費	2,060,420	510,000	2,570,420				510,000	22 償還金利子及び割引料	510,000	市税の賦課徴収事務及び債権管理の推進に要する経費 ○賦課徴収事務経費　510,000
計	2,072,584	510,000	2,582,584				510,000			

３款 保健福祉費

２項 社会福祉費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1 社会福祉総務費	19,151,364	10,000	19,161,364	5,000			5,000	12 委託料	5,000	社会福祉の一般管理、民生委員活動及び社会援護等に要する経費
								18 負担金補助及び交付金	5,000	○重層的支援体制整備事業経費 5,000
										○介護現場におけるフィジカルＡＩ調査事業経費 5,000
2 障害者福祉費	69,296,960	△ 208,000	69,088,960	△ 136,423			△ 71,577	12 委託料	△ 208,000	障害者の福祉に要する経費
										○障害福祉システム運用保守・改修経費 △ 210,000
										○高次脳機能障害者支援推進事業経費 2,000
計	92,966,537	△ 198,000	92,768,537	△ 131,423			△ 66,577			

3款 保健福祉費

8項 繰出金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1 繰出金	34,447,391	40,000	34,487,391				40,000	27 繰出金	40,000	他会計へ繰出を要する経費
										○食肉センター特別会計繰出金 40,000
計	34,447,391	40,000	34,487,391				40,000			

4款 子ども家庭費

2項 子ども家庭費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
2 子ども家庭支援費	65,348,649	5,000	65,353,649	5,000				18 負担金補助及び交付金	5,000	子ども家庭の支援に要する経費 ○子ども食堂開設支援事業経費 5,000
計	80,994,822	5,000	80,999,822	5,000						

8款 産業経済費

2項 産業学術費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明	
				特定財源			一般財源	区分	金額		
				国県支出金	地方債	その他					
1 商工業振興費	39,142,949	829,875	39,972,824	784,000	14,000		31,875	8 旅費	2,500	商工業の振興に要する経費	
								12 委託料	105,000	○北九州国際展示場管理運営等経費	19,875
								13 使用料及び賃借料	1,500	○中小企業コスト上昇対策支援事業経費	784,000
								14 工事請負費	19,875	○フィジカルＡＩ共生都市推進事業経費	26,000
								17 備品購入費	1,000		
								18 負担金補助及び交付金	700,000		
計	46,632,624	829,875	47,462,499	784,000	14,000		31,875				

9款 土木費

3項 道路橋りょう費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1 道路維持費	8,730,300	861,189	9,591,489	462,655	154,300	31,795	212,439	12 委託料	276,299	道路維持修繕及び橋りょう維持修繕に要する経費
								14 工事請負費	584,890	○道路補修事業費 20,000
										（単独事業）新門司港大里線 20,000
										○道路メンテナンス事業費 841,189
2 道路新設改良費	2,165,100	309,391	2,474,491	154,696	139,000		15,695	12 委託料	△ 36,463	道路新設改良事業に要する経費
								14 工事請負費	133,974	○道路新設改良事業費 140,917
								16 公有財産購入費	71,000	（社会資本整備総合交付金）国道２１１号
								21 補償、補塡及び賠償金	140,880	ほか３路線 140,917
										○恒見朽網線関連事業費 168,474
3 交通安全施設等整備費	2,305,100	490,000	2,795,100		415,000	75,000		12 委託料	28,000	交通安全施設等整備に要する経費
								14 工事請負費	462,000	○交通安全施設等整備事業費 490,000
										（単独事業）若園春ケ丘１号線　ほか１９路線 490,000
4 道路景観整備費	292,000	△ 120,000	172,000	△ 60,000	△ 60,000			12 委託料	△ 10,000	道路景観整備に要する経費
								14 工事請負費	△ 110,000	○道路景観整備費 △ 120,000
										（都市構造再編集中支援事業）国道１９９号 △ 120,000
計	13,492,500	1,540,580	15,033,080	557,351	648,300	106,795	228,134			

9款 土木費

4項 河川費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
2 河川改良費	2,425,061	51,837	2,476,898	28,969	20,500		2,368	14 工事請負費	51,837	河川改良に要する経費
										○河川改良事業費 19,800
										（社会資本整備総合交付金）江川 19,800
										○重点河川（小倉都心部）整備事業費 △ 1,500
										（大規模特定）紫川 △ 1,500
										○都市再生・地域再生整備事業費 33,537
										（都市構造）旦過地区 33,537
計	2,866,336	51,837	2,918,173	28,969	20,500		2,368			

9款 土木費

5項 都市計画費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1 都市計画総務費	1,007,441	20,000	1,027,441				20,000	12 委託料	20,000	都市計画の一般事務及び各種調査等に要する経費
										○「小倉・黒崎」エリアの価値向上事業経費 20,000
5 公園建設費	2,041,506	△ 457,200	1,584,306	△ 228,600	△ 220,700	△ 8,000	100	12 委託料	△ 35,800	公園整備及び都市緑化、緑地保全事業等に要する経費
								14 工事請負費	△ 421,400	○公園緑地事業費 △ 245,000
										（社会資本整備総合交付金）文化記念公園
										ほか9公園 △ 245,000
										○皿倉山リニューアル事業費 △ 30,000
										○地域に役立つ公園づくり事業費 △ 23,000
										○桃園公園等施設再配置推進事業費 △ 130,000
										○都市再生整備計画事業費 △ 29,200
計	9,317,736	△ 437,200	8,880,536	△ 228,600	△ 220,700	△ 8,000	20,100			

9款 土木費

6項 繰出金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1 繰出金	1,397,116	△ 23,795	1,373,321			△ 23,795		27 繰出金	△ 23,795	他会計へ繰出を要する経費
										○土地区画整理特別会計繰出金 △ 23,795
計	1,397,116	△ 23,795	1,373,321			△ 23,795				

11 款 建築行政費

3 項 住宅建設費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明	
				特定財源			一般財源	区分	金額		
				国県支出金	地方債	その他					
1 公営住宅建設費	677,121	162,880	840,001	62,091	75,000		25,789	12 委託料	27,194	公営住宅建設等に要する経費	
								14 工事請負費	135,686	○市営住宅整備経費	162,880
計	1,325,009	162,880	1,487,889	62,091	75,000		25,789				

13 款 教育費

4 項 中学校費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
2 教育振興費	1,198,457	22,000	1,220,457	7,333			14,667	12 委託料	19,150	中学校教育の振興に要する経費
								17 備品購入費	2,850	○部活動地域展開事業経費 22,000
計	5,810,316	22,000	5,832,316	7,333			14,667			

13款 教育費

8項 保健体育費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1 学校保健費	3,959,202	96,000	4,055,202	96,000				18 負担金補助及び交付金	96,000	児童生徒及び教職員等の保健衛生、学校給食管理運営に要する経費 ○卒業・進学応援のための学校給食費免除事業経費 96,000
計	3,959,202	96,000	4,055,202	96,000						

14 款 災害復旧費

2 項 農林水産施設災害復旧費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1 農林施設災害復旧費	0	24,000	24,000	9,100	4,400		10,500	14 工事請負費	24,000	農林業施設災害復旧に要する経費 ○令和８年発生災害復旧費 24,000 （補助事業） 14,000 農業用施設　蚕住地区水路 （単独事業） 10,000 農業用施設　蚕住地区水路
計	0	24,000	24,000	9,100	4,400		10,500			

14 款 災害復旧費

3 項 土木施設災害復旧費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明	
				特定財源			一般財源	区分	金額		
				国県支出金	地方債	その他					
1 一般土木施設災害復旧費	0	100,000	100,000	46,690	53,300		10	12 委託料	30,000	一般土木施設災害復旧に要する経費	
								14 工事請負費	70,000	○令和８年発生災害復旧費	100,000
										（補助事業）	70,000
										道路　新門司港大里線　ほか１路線	
										（単独事業）	30,000
										道路　新門司港大里線　ほか１路線	
計	0	100,000	100,000	46,690	53,300		10				

繰越明許費説明書

款	項	目	事業名	金額	翌年度繰越額	左の財源内訳				説明（単位:千円）
						国県支出金	地方債	その他	一般財源	
				千円	千円	千円	千円	千円	千円	
9 土木費	3 道路橋りょう費	1 道路維持費	道路維持事業	9,591,489	210,000	115,500	85,000		9,500	○ 事業概要 国道199号 ○ 繰越理由 関係者との調整等に日時を要したため
		3 交通安全施設等整備費	交通安全施設等整備事業	2,795,100	102,000	39,000	56,100		6,900	○ 事業概要 曽根下曽根1号線 ○ 繰越理由 関係者との調整等に日時を要したため
	5 都市計画費	3 街路事業費	街路事業	2,931,224	48,000	26,400	19,400		2,200	○ 事業概要 大門木町線 ○ 繰越理由 関係者との調整等に日時を要したため
合計				15,317,813	360,000	180,900	160,500		18,600	

債務負担行為で翌年度以降にわたるものについての前年度末までの支出額又は支出額の見込み及び当該年度以降の支出予定額等に関する調書（当該年度提出に係る分）

1　追　　加

（単位：千円）

事　　項	限　度　額	前年度末までの支出(見込)額		当該年度以降の支出予定額		左　の　財　源　内　訳			
						特　定　財　源			一　般　財　源
		期　間	金　額	期　間	金　額	国県支出金	地　方　債	そ　の　他	
北九州国際展示場管理運営等経費	79,000			令和 9年度	79,000		59,000		20,000
道路維持事業（国道199号）	17,000			令和 9年度	17,000				17,000
河川改良事業（神嶽川）	108,000			令和 9年度	108,000	70,000	33,500		4,500

2　変　　更

（単位：千円）

事　　項		限度額	前年度末までの支出（見込）額		当該年度以降の支出予定額		左の財源内訳			
							特定財源			一般財源
			期間	金額	期間	金額	国県支出金	地方債	その他	
変更前	障害福祉システム標準化対応経費	590,000			令和 9年度	590,000	342,577			247,423
変更後	〃	800,000			自　令和 9年度 至　令和10年度	800,000	480,000			320,000

特　別　会　計

令和８年度 北九州市 食肉センター特別会計 歳入歳出補正予算事項別明細書

1　総　　括

（歳　　入）　　（単位：千円）

款	補　正　前　の　額	補　　正　　額	計
3　繰入金	212,251	40,000	252,251
歳　　入　　合　　計	385,000	40,000	425,000

（歳　　出）

（単位：千円）

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
1　食肉センター費	384,800	40,000	424,800				40,000
歳出合計	385,000	40,000	425,000				40,000

2　歳　　入

3款 繰入金

1項 繰入金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明	
				区分	金額		
1 一般会計繰入金	212,251	40,000	252,251	1 一般会計繰入金	40,000	○一般会計繰入金	40,000
計	212,251	40,000	252,251				

3　歳　　出

１款 食肉センター費

１項 食肉センター費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1 食肉センター管理費	358,230	40,000	398,230				40,000	10 需用費	22,000	食肉センターの管理運営に要する経費
								12 委託料	18,000	○その他経費　40,000
計	358,230	40,000	398,230				40,000			

令和８年度 北九州市 卸売市場特別会計 歳入歳出補正予算事項別明細書

1　総　　括

（歳　　入）　　（単位：千円）

款	補　正　前　の　額	補　　正　　額	計
3　繰越金	61,142	10,000	71,142
歳　　入　　合　　計	1,084,400	10,000	1,094,400

（歳　　出）

（単位：千円）

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
1　卸売市場費	1,082,400	10,000	1,092,400			10,000	
歳出合計	1,084,400	10,000	1,094,400			10,000	

2　歳　　入

3款 繰越金

1項 繰越金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明	
				区分	金額		
1 繰越金	61,142	10,000	71,142	1 前年度繰越金	10,000	○前年度繰越金	10,000
計	61,142	10,000	71,142				

3　歳　　出

1款 卸売市場費

1項 卸売市場費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1 卸売市場管理費	927,091	10,000	937,091			10,000		8 旅費	300	卸売市場の管理運営及び施設整備に要する経費
								12 委託料	9,700	○市場冷蔵庫棟整備経費　10,000
計	927,091	10,000	937,091			10,000				

令和８年度 北九州市 土地区画整理特別会計 歳入歳出補正予算事項別明細書

1　総　　括

（歳　　入）　　（単位：千円）

款	補正前の額	補正額	計
2　国庫支出金	543,650	△ 158,005	385,645
4　繰入金	1,352,782	△ 23,795	1,328,987
7　市債	1,858,700	△ 134,300	1,724,400
歳入合計	5,599,300	△ 316,100	5,283,200

（歳　　出）

（単位：千円）

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
1　土地区画整理事業費	5,599,300	△　316,100	5,283,200	△　158,005	△　134,300		△　23,795
歳出合計	5,599,300	△　316,100	5,283,200	△　158,005	△　134,300		△　23,795

2　歳　　入

2款 国庫支出金

1項 国庫補助金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明
				区分	金額	
1 土地区画整理事業費補助金	543,650	△ 158,005	385,645	1 土地区画整理事業費補助金	△ 158,005	○社会資本整備総合交付金　△ 157,500 ○都市構造再編集中支援事業費　△ 505 基本額　△200×1/2　△100 基本額　△900×4.5/10　△405
計	543,650	△ 158,005	385,645			

4款 繰入金

1項 繰入金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明
				区分	金額	
1 一般会計繰入金	1,352,782	△ 23,795	1,328,987	1 一般会計繰入金	△ 23,795	○一般会計繰入金　△ 23,795
計	1,352,782	△ 23,795	1,328,987			

7款 市債

1項 市債

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明	
				区分	金額		
1 土地区画整理事業債	1,858,700	△ 134,300	1,724,400	1 土地区画整理事業債	△ 134,300	○折尾土地区画整理事業 ○旦過土地区画整理事業	△ 98,900 △ 35,400
計	1,858,700	△ 134,300	1,724,400				

3　歳　　出

1款 土地区画整理事業費

1項 土地区画整理事業費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
2 区画整理事業費	3,201,272	△ 316,100	2,885,172	△ 158,005	△ 134,300		△ 23,795	12 委託料	△ 120,900	土地区画整理事業に要する経費
								14 工事請負費	△ 155,200	○折尾土地区画整理事業に要する経費　△ 237,300
								21 補償、補塡及び賠償金	△ 40,000	（社会資本整備総合交付金）移転補償、宅地整備ほか　△ 237,300
										○旦過土地区画整理事業に要する経費　△ 78,800
										（社会資本整備総合交付金）立体換地建築物整備ほか　△ 78,800
計	3,477,630	△ 316,100	3,161,530	△ 158,005	△ 134,300		△ 23,795			

令和８年度 北九州市 港湾整備特別会計 歳入歳出補正予算事項別明細書

１　総　　括

（歳　　入）　　（単位：千円）

款	補　正　前　の　額	補　　正　　額	計
1　使用料及び手数料	3,080,643	76,118	3,156,761
歳　　入　　合　　計	6,300,800	76,118	6,376,918

（歳　　出）

（単位：千円）

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
1　港湾整備事業費	6,295,800	76,118	6,371,918			76,118	
歳出合計	6,300,800	76,118	6,376,918			76,118	

2　歳　　入

1款 使用料及び手数料

1項 使用料

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明	
				区分	金額		
1 機能施設事業使用料	3,080,643	76,118	3,156,761	1 荷役機械使用料	76,118	○荷役機械使用料	76,118
計	3,080,643	76,118	3,156,761				

3　歳　　出

1款 港湾整備事業費

1項 機能施設事業費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明	
				特定財源			一般財源	区分	金額		
				国県支出金	地方債	その他					
1 総務費	1,400,797	76,118	1,476,915			76,118		12 委託料	50,918	機能施設の管理運営に要する経費	
								18 負担金補助及び交付金	25,200	○港湾利用促進支援事業費	25,200
										○その他経費	50,918
計	3,934,529	76,118	4,010,647			76,118					

令和８年度 北九州市 介護保険特別会計 歳入歳出補正予算事項別明細書

１　総　　括

（歳　　入）　　（単位：千円）

款	補　正　前　の　額	補　　正　　額	計
9　繰越金	448,762	1,172,949	1,621,711
歳　　入　　合　　計	113,821,000	1,172,949	114,993,949

（歳　　出）

（単位：千円）

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
6　基金積立金	91,000	384,360	475,360			384,360	
7　諸支出金	39,814	788,589	828,403			788,589	
歳出合計	113,821,000	1,172,949	114,993,949			1,172,949	

2　歳　　入

9款 繰越金

1項 繰越金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明	
				区分	金額		
1 繰越金	448,762	1,172,949	1,621,711	1 前年度繰越金	1,172,949	○前年度繰越金	1,172,949
計	448,762	1,172,949	1,621,711				

3　歳　　出

6款 基金積立金

1項 基金積立金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1 介護給付準備基金積立金	91,000	384,360	475,360			384,360		24 積立金	384,360	介護給付準備基金積立金 ○介護給付準備基金積立金 384,360
計	91,000	384,360	475,360			384,360				

7款 諸支出金

1項 償還金及び還付加算金

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
2 償還金	10	788,589	788,599			788,589		22 償還金利子及び割引料	788,589	国庫支出金等過年度分返還金 ○国庫支出金等過年度分返還金 788,589
計	39,814	788,589	828,403			788,589				

令和８年度 北九州市 市立病院機構病院事業債管理特別会計 歳入歳出補正予算事項別明細書

１　総　　括

（歳　　入）　　（単位：千円）

款	補　正　前　の　額	補　　正　　額	計
2　市債	1,221,600	1,000,000	2,221,600
歳　　入　　合　　計	3,297,500	1,000,000	4,297,500

（歳　　出）

（単位：千円）

款	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			
				特定財源			一般財源
				国県支出金	地方債	その他	
1 市立病院機構病院事業債管理事業費	3,297,500	1,000,000	4,297,500		1,000,000		
歳出合計	3,297,500	1,000,000	4,297,500		1,000,000		

２　歳　　入

２款 市債

１項 市債

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	節		説明	
				区分	金額		
1 市立病院機構病院事業債	1,221,600	1,000,000	2,221,600	1 市立病院機構病院事業債	1,000,000	○市立病院機構病院事業債	1,000,000
計	1,221,600	1,000,000	2,221,600				

3　歳　　出

1款 市立病院機構病院事業債管理事業費

1項 市立病院機構病院事業債管理事業費

（単位：千円）

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳				節		説明
				特定財源			一般財源	区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1 市立病院機構貸付金	1,221,600	1,000,000	2,221,600		1,000,000			20 貸付金	1,000,000	市立病院機構貸付金 ○市立病院機構貸付金 1,000,000
計	1,221,600	1,000,000	2,221,600		1,000,000					

令和８年度　北九州市下水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出

収　　入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備　　考
			千円	千円	千円	
1 下水道事業収益			**28,368,700**	**△ 194,380**	**28,174,320**	
	2 営業外収益		7,569,291	△ 194,380	7,374,911	
		4 芦屋町下水道事業収益	1,097,462	△ 194,380	903,082	芦屋町下水道事業に係る収益の減

支　　出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備　　考
			千円	千円	千円	
1 下水道事業費			**29,242,860**	**△ 190,860**	**29,052,000**	
	2 営業外費用		2,817,741	△ 190,860	2,626,881	
		2 芦屋町下水道事業費	1,054,615	△ 190,860	863,755	芦屋町下水道事業に要する費用の減

資本的収入及び支出

収　　入

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備　　考
			千円	千円	千円	
1 下水道事業資本的収入			**16,201,477**	**2,387,195**	**18,588,672**	
	1企業債		10,346,000	△ 798,000	9,548,000	
		1建設企業債	10,346,000	△ 798,000	9,548,000	建設改良事業に係る企業債の減
	2国庫補助金		4,315,555	3,185,195	7,500,750	
		1国庫補助金	4,315,555	3,185,195	7,500,750	建設改良事業に係る防災・安全交付金等の増

支　　出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備　　考
			千円	千円	千円	
1 下水道事業資本的支出			**26,382,460**	**2,388,000**	**28,770,460**	
	1建設改良費		16,465,778	2,388,000	18,853,778	
		1施設設備費	15,844,549	2,388,000	18,232,549	下水道施設建設費等の増

（単位:千円）

事業名	金額	
	補正前	補正後
管渠布設	10,193,110	10,428,110
施設改良	3,209,000	5,362,000
計	13,402,110	15,790,110

令和８年度　北九州市下水道事業会計補正予定キャッシュ・フロー計算書

（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）

		（千円） 既決予定額		（千円） 補正予定額		（千円） 計
１　業務活動によるキャッシュ・フロー						
当年度純利益（△は純損失）	△	1,373,448	△	3,520	△	1,376,968
未収金の増減額（△は増加）	△	105,750	△	525,236	△	630,986
未払金の増減額（△は減少）		9,289	△	626,231	△	616,942
小計		10,169,172	△	1,154,987		9,014,185
業務活動によるキャッシュ・フロー		**8,679,054**	**△**	**1,154,987**		**7,524,067**
２　投資活動によるキャッシュ・フロー						
有形固定資産の取得による支出	△	15,581,345	△	9,072,816	△	24,654,161
国庫補助金等による収入		3,689,946		6,933,468		10,623,414
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△**	**13,738,852**	**△**	**2,139,348**	**△**	**15,878,200**
３　財務活動によるキャッシュ・フロー						
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入		10,346,000		5,154,000		15,500,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		**3,359,944**		**5,154,000**		**8,513,944**
資金増加額（又は減少額）	**△**	**1,699,854**		**1,859,665**		**159,811**
資金期首残高		6,314,726		1,559,348		7,874,074
資金期末残高		4,614,872		3,419,013		8,033,885

令和８年度　北九州市下水道事業会計補正予算債務負担行為に関する調書（当該年度提出に係る分）

1　追加

事項	限度額	前年度末までの支払義務発生（見込）額		当該年度以降の支払義務発生予定額		左の財源内訳			
		期間	金額	期間	金額	国県補助金	出資金	企業債	その他
	千円		千円		千円	千円	千円	千円	千円
芦屋町下水道事業	3,610,000			自 令和9年度 至 令和18年度	3,610,000				3,610,000

2　変更

事項		限度額	前年度末までの支払義務発生（見込）額		当該年度以降の支払義務発生予定額		左の財源内訳			
			期間	金額	期間	金額	国県補助金	出資金	企業債	その他
		千円		千円		千円	千円	千円	千円	千円
変更前	芦屋町下水道事業	538,000			令和9年度	538,000				538,000
変更後	〃	728,860			令和9年度	728,860				728,860
変更前	施設改良事業	600,000			令和9年度	600,000	150,000		450,000	
変更後	〃	642,000			令和9年度	642,000	171,000		471,000	
変更前	施設改良事業	600,000			自 令和9年度 至 令和10年度	600,000	150,000		450,000	
変更後	〃	1,280,000			自 令和9年度 至 令和10年度	1,280,000	490,000		790,000	

令和 8 年度　北九州市下水道事業会計予定貸借対照表（当年度分）

（令和9年3月31日）

資　　産　　の　　部

	（千円）	（千円）	（千円）	（千円）
1 固定資産				
(1) 有形固定資産				
イ 土地		11,197,317		
ロ 建物	17,982,184			
減価償却累計額	△ 11,091,657	6,890,527		
ハ 構築物	714,238,465			
減価償却累計額	△ 376,695,474	337,542,991		
ニ 機械及び装置	143,959,206			
減価償却累計額	△ 98,080,247	45,878,959		
ホ 工具器具及び備品	373,879			
減価償却累計額	△ 272,716	101,163		
ヘ リース資産	118,534			
減価償却累計額	△ 62,578	55,956		
ト 建設仮勘定		3,300,809		
有形固定資産合計			404,967,722	
(2) 無形固定資産				
イ 地役権		5,226		
ロ 電話加入権		17,980		
ハ その他無形固定資産		236,561		
無形固定資産合計			259,767	
(3) 投資その他の資産				
イ 投資有価証券		27,000		
ロ 水洗便所改造資金等貸付金		1,441		
ハ 基金積立金		13,031,216		
ニ 出資金		36,250		
投資その他の資産合計			13,095,907	
固定資産合計				418,323,396

	（千円）	（千円）	（千円）	（千円）
2 流動資産				
(1) 現金預金			8,033,885	
(2) 未収金		2,352,244		
貸倒引当金		△ 30,987	2,321,257	
流動資産合計				10,355,142
資産合計				**428,678,538**

負債の部

3 固定負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		134,650,024		
企業債合計			134,650,024	
(2) リース債務			36,985	
(3) 引当金				
イ 退職給付引当金		1,349,797		
引当金合計			1,349,797	
固定負債合計				136,036,806
4 流動負債				
(1) 企業債				
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		7,870,187		
企業債合計			7,870,187	
(2) リース債務			22,844	
(3) 未払金			7,489,112	
(4) 引当金				
イ 賞与引当金		121,769		
引当金合計			121,769	
(5) 預り金			109,564	
(6) その他流動負債			14,065	
流動負債合計				15,627,541

	（千円）	（千円）	（千円）	（千円）
5 繰延収益				
長期前受金			328,102,802	
収益化累計額			△ 171,283,596	
繰延収益合計				156,819,206
負債合計				**308,483,553**

資本の部

6 資本金				113,943,822
7 剰余金				
(1) 資本剰余金				
イ 国庫補助金		3,807,948		
ロ 負担金		49,000		
ハ 受贈財産評価額		2,138,032		
ニ その他資本剰余金		38,369		
資本剰余金合計			6,033,349	
(2) 利益剰余金				
イ 当年度未処分利益剰余金		217,814		
利益剰余金合計			217,814	
剰余金合計				6,251,163
資本合計				**120,194,985**
負債資本合計				**428,678,538**

北九州市告示第３８５号

地方自治法（昭和２２年法律第６７号）第２３３条第６項の規定により、令和８年９月市議会定例会において認定された令和７年度北九州市決算要領を次のとおり公表する。

令和８年１０月９日

北九州市長　武　内　和　久

１　令和７年度北九州市歳入歳出決算書

２　令和７年度北九州市上水道事業会計決算書及び北九州市上水道事業報告書

３　令和７年度北九州市工業用水道事業会計決算書及び北九州市工業用水道事業報告書

４　令和７年度北九州市交通事業会計決算書及び北九州市交通事業報告書

５　令和７年度北九州市病院事業会計決算書及び北九州市病院事業報告書

６　令和７年度北九州市下水道事業会計決算書及び北九州市下水道事業報告書

７　令和７年度北九州市公営競技事業会計決算書及び北九州市公営競技事業報告書

８　令和７年度北九州市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書

９　令和７年度北九州市公営企業会計決算審査意見書

１０　令和７年度北九州市公営企業会計決算審査意見書 正誤表

令　和　7　年　度

北九州市歳入歳出決算書

目　　次

一　般　会　計　決　算

歳　　入 …… 2
歳　　出 …… １０

特　別　会　計

国民健康保険特別会計決算 …… ２０
食肉センター特別会計決算 …… ２４
卸売市場特別会計決算 …… ２８
渡船特別会計決算 …… ３２
土地区画整理特別会計決算 …… ３６
土地区画整理事業清算特別会計決算 …… ４０
港湾整備特別会計決算 …… ４４
公債償還特別会計決算 …… ４８
住宅新築資金等貸付特別会計決算 …… ５２
土地取得特別会計決算 …… ５６
駐車場特別会計決算 …… ６０
母子父子寡婦福祉資金特別会計決算 …… ６４
産業用地整備特別会計決算 …… ６８
漁業集落排水特別会計決算 …… ７２
介護保険特別会計決算 …… ７６
空港関連用地整備特別会計決算 …… ８２
臨海部産業用地貸付特別会計決算 …… ８６
後期高齢者医療特別会計決算 …… ９０
市民太陽光発電所特別会計決算 …… ９４
市立病院機構病院事業債管理特別会計決算 …… ９８

一　般　会　計

歳　入

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1 市税		190,758,010,000	194,356,645,411	191,057,633,321	239,959,655	3,111,407,376	299,623,321
	1 市民税	83,369,000,000	85,512,155,230	83,624,277,985	145,054,389	1,777,918,274	255,277,985
	2 固定資産税	75,463,000,000	76,444,132,943	75,415,279,485	69,540,609	972,530,797	△47,720,515
	3 軽自動車税	2,443,000,000	2,551,034,476	2,446,327,449	9,228,270	96,027,135	3,327,449
	4 市たばこ税	7,420,000,000	7,330,788,653	7,330,788,653	0	0	△89,211,347
	5 鉱産税	24,000,000	23,797,100	23,797,100	0	0	△202,900
	6 特別土地保有税	10,000	387,900	0	0	387,900	△10,000
	7 入湯税	10,000,000	11,084,850	11,084,850	0	0	1,084,850
	8 事業所税	7,445,000,000	7,670,701,900	7,629,993,279	583,600	40,125,021	184,993,279
	9 都市計画税	12,842,000,000	13,090,100,391	12,858,322,952	15,531,937	219,002,499	16,322,952
	10 環境未来税	1,264,000,000	1,303,792,000	1,303,792,000	0	0	39,792,000
	11 宿泊税	478,000,000	418,669,968	413,969,568	20,850	5,415,750	△64,030,432
2 地方譲与税		3,239,000,000	3,064,450,389	3,064,450,389	0	0	△174,549,611
	1 地方揮発油譲与税	1,007,000,000	969,551,000	969,551,000	0	0	△37,449,000
	2 自動車重量譲与税	1,728,000,000	1,604,570,000	1,604,570,000	0	0	△123,430,000
	3 森林環境譲与税	145,000,000	139,673,000	139,673,000	0	0	△5,327,000
	4 特別とん譲与税	303,000,000	300,267,389	300,267,389	0	0	△2,732,611
	5 航空機燃料譲与税	26,000,000	19,479,000	19,479,000	0	0	△6,521,000
	6 石油ガス譲与税	30,000,000	30,910,000	30,910,000	0	0	910,000
3 利子割交付金		247,000,000	215,320,000	215,320,000	0	0	△31,680,000
	1 利子割交付金	247,000,000	215,320,000	215,320,000	0	0	△31,680,000
4 配当割交付金		680,000,000	944,936,000	944,936,000	0	0	264,936,000
	1 配当割交付金	680,000,000	944,936,000	944,936,000	0	0	264,936,000

歳　入

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
5 株式等譲渡所得割交付金		350,000,000	1,596,029,000	1,596,029,000	0	0	1,246,029,000
	1 株式等譲渡所得割交付金	350,000,000	1,596,029,000	1,596,029,000	0	0	1,246,029,000
6 分離課税所得割交付金		133,000,000	178,825,000	178,825,000	0	0	45,825,000
	1 分離課税所得割交付金	133,000,000	178,825,000	178,825,000	0	0	45,825,000
7 法人事業税交付金		2,712,000,000	2,816,916,000	2,816,916,000	0	0	104,916,000
	1 法人事業税交付金	2,712,000,000	2,816,916,000	2,816,916,000	0	0	104,916,000
8 地方消費税交付金		25,941,000,000	26,354,027,000	26,354,027,000	0	0	413,027,000
	1 地方消費税交付金	25,941,000,000	26,354,027,000	26,354,027,000	0	0	413,027,000
9 ゴルフ場利用税交付金		43,000,000	41,869,100	41,869,100	0	0	△1,130,900
	1 ゴルフ場利用税交付金	43,000,000	41,869,100	41,869,100	0	0	△1,130,900
10 環境性能割交付金		798,000,000	730,724,353	730,724,353	0	0	△67,275,647
	1 環境性能割交付金	798,000,000	730,724,353	730,724,353	0	0	△67,275,647
11 軽油引取税交付金		5,810,000,000	5,888,372,778	5,888,372,778	0	0	78,372,778
	1 軽油引取税交付金	5,810,000,000	5,888,372,778	5,888,372,778	0	0	78,372,778
12 国有提供施設等所在市町村助成交付金		30,000,000	38,415,000	38,415,000	0	0	8,415,000
	1 国有提供施設等所在市町村助成交付金	30,000,000	38,415,000	38,415,000	0	0	8,415,000
13 地方特例交付金		1,085,000,000	1,061,187,000	1,061,187,000	0	0	△23,813,000
	1 地方特例交付金	1,029,000,000	1,013,947,000	1,013,947,000	0	0	△15,053,000
	2 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	56,000,000	47,240,000	47,240,000	0	0	△8,760,000
14 地方交付税		89,080,120,000	90,092,768,000	90,092,768,000	0	0	1,012,648,000
	1 地方交付税	89,080,120,000	90,092,768,000	90,092,768,000	0	0	1,012,648,000
15 交通安全対策特別交付金		268,000,000	262,570,000	262,570,000	0	0	△5,430,000
	1 交通安全対策特別交付金	268,000,000	262,570,000	262,570,000	0	0	△5,430,000

歳　入

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
16 分担金及び負担金		2,004,015,000	2,159,406,763	2,032,986,094	14,566,464	111,896,680	28,971,094
	1 負担金	2,004,015,000	2,159,406,763	2,032,986,094	14,566,464	111,896,680	28,971,094
17 使用料及び手数料		14,992,692,000	14,991,939,722	14,461,993,985	15,505,964	514,840,792	△530,698,015
	1 使用料	10,513,151,000	10,673,210,216	10,149,283,031	15,059,072	509,269,132	△363,867,969
	2 手数料	4,479,541,000	4,318,729,506	4,312,710,954	446,892	5,571,660	△166,830,046
18 国庫支出金		156,172,737,000	135,811,627,712	135,811,627,712	0	0	△20,361,109,288
	1 国庫負担金	112,305,110,000	107,662,453,032	107,662,453,032	0	0	△4,642,656,968
	2 国庫補助金	43,452,703,000	27,734,325,432	27,734,325,432	0	0	△15,718,377,568
	3 委託金	414,924,000	414,849,248	414,849,248	0	0	△74,752
19 県支出金		38,166,566,000	35,975,487,911	35,975,487,911	0	0	△2,191,078,089
	1 県負担金	29,542,562,000	28,294,802,107	28,294,802,107	0	0	△1,247,759,893
	2 県補助金	5,544,119,000	4,803,873,508	4,803,873,508	0	0	△740,245,492
	3 委託金	3,079,885,000	2,876,812,296	2,876,812,296	0	0	△203,072,704
20 財産収入		5,981,936,000	5,980,634,601	5,931,655,645	0	48,978,956	△50,280,355
	1 財産運用収入	2,649,831,000	2,793,600,414	2,744,621,458	0	48,978,956	94,790,458
	2 財産売払収入	3,332,105,000	3,187,034,187	3,187,034,187	0	0	△145,070,813
21 寄附金		4,476,950,000	3,820,862,967	3,820,862,967	0	0	△656,087,033
	1 寄附金	4,476,950,000	3,820,862,967	3,820,862,967	0	0	△656,087,033
22 繰入金		21,360,122,000	8,465,582,845	8,465,582,845	0	0	△12,894,539,155
	1 特別会計繰入金	1,267,733,000	1,050,257,857	1,050,257,857	0	0	△217,475,143
	2 基金繰入金	20,092,389,000	7,415,324,988	7,415,324,988	0	0	△12,677,064,012
23 繰越金		3,904,561,000	3,904,560,883	3,904,560,883	0	0	△117
	1 繰越金	3,904,561,000	3,904,560,883	3,904,560,883	0	0	△117

歳　入

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
24 諸収入		72,273,464,000	71,960,576,615	70,145,759,200	83,210,893	1,731,726,726	△2,127,704,800
	1 延滞金加算金及び過料	141,949,000	138,928,526	132,071,010	25,000	6,952,720	△9,877,990
	2 市預金利子	8,527,000	26,217,246	26,217,246	0	0	17,690,246
	3 貸付金元利収入	36,288,408,000	33,759,398,193	33,268,676,185	0	490,722,008	△3,019,731,815
	4 受託事業収入	133,636,000	65,890,184	65,890,184	0	0	△67,745,816
	5 収益事業収入	28,300,000,000	28,293,632,129	28,293,632,129	0	0	△6,367,871
	6 雑入	7,400,944,000	9,676,510,337	8,359,272,446	83,185,893	1,234,051,998	958,328,446
25 市債		54,187,800,000	34,097,600,000	34,097,600,000	0	0	△20,090,200,000
	1 市債	54,187,800,000	34,097,600,000	34,097,600,000	0	0	△20,090,200,000
歳入合計		**694,694,973,000**	**644,811,335,050**	**638,992,160,183**	**353,242,976**	**5,518,850,530**	**△55,702,812,817**

歳　出

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1 議会費		1,604,270,000	1,535,313,675	0	68,956,325	68,956,325
	1 議会費	1,604,270,000	1,535,313,675	0	68,956,325	68,956,325
2 総務費		59,271,835,000	53,264,618,520	1,494,108,000	4,513,108,480	6,007,216,480
	1 総務職員費	19,176,012,000	18,661,215,313	0	514,796,687	514,796,687
	2 総務管理費	6,968,598,000	5,710,964,573	586,666,000	670,967,427	1,257,633,427
	3 企画費	21,542,234,000	18,920,651,397	823,833,000	1,797,749,603	2,621,582,603
	4 市民費	5,088,543,000	4,721,200,351	83,609,000	283,733,649	367,342,649
	5 徴税費	2,657,036,000	2,067,647,379	0	589,388,621	589,388,621
	6 戸籍住民基本台帳費	1,595,391,000	1,179,372,847	0	416,018,153	416,018,153
	7 選挙、人事委員会及び監査委員費	1,580,225,000	1,423,531,713	0	156,693,287	156,693,287
	8 統計調査費	658,262,000	578,606,168	0	79,655,832	79,655,832
	9 繰出金	5,534,000	1,428,779	0	4,105,221	4,105,221
3 保健福祉費		198,865,917,000	184,760,179,799	3,696,398,000	10,409,339,201	14,105,737,201
	1 保健福祉職員費	9,683,822,000	9,437,274,061	0	246,547,939	246,547,939
	2 社会福祉費	96,980,129,000	90,786,756,628	1,666,063,000	4,527,309,372	6,193,372,372
	3 公衆衛生費	10,775,199,000	9,750,286,251	24,608,000	1,000,304,749	1,024,912,749
	4 環境衛生費	522,036,000	469,497,501	0	52,538,499	52,538,499
	5 保健所費	1,192,891,000	1,099,493,794	0	93,397,206	93,397,206
	6 生活保護費	46,170,005,000	41,392,539,357	2,005,727,000	2,771,738,643	4,777,465,643
	7 災害救助費	28,379,000	26,420,207	0	1,958,793	1,958,793
	8 繰出金	33,513,456,000	31,797,912,000	0	1,715,544,000	1,715,544,000
4 子ども家庭費		89,221,354,000	86,702,451,684	417,437,000	2,101,465,316	2,518,902,316
	1 子ども家庭職員費	5,366,131,000	5,140,324,582	0	225,806,418	225,806,418

歳　出

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
	2 子ども家庭費	83,841,048,000	81,547,952,102	417,437,000	1,875,658,898	2,293,095,898
	3 繰出金	14,175,000	14,175,000	0	0	0
5 環境費		22,151,495,000	20,550,417,627	148,542,000	1,452,535,373	1,601,077,373
	1 環境職員費	3,140,204,000	3,100,377,745	0	39,826,255	39,826,255
	2 環境費	19,011,291,000	17,450,039,882	148,542,000	1,412,709,118	1,561,251,118
6 労働費		594,600,000	550,556,092	0	44,043,908	44,043,908
	1 労働諸費	594,600,000	550,556,092	0	44,043,908	44,043,908
7 農林水産業費		2,760,939,000	2,433,102,299	125,357,000	202,479,701	327,836,701
	1 農林水産業職員費	647,076,000	641,640,430	0	5,435,570	5,435,570
	2 農業費	954,601,000	730,413,531	69,383,000	154,804,469	224,187,469
	3 林業費	287,679,000	275,753,703	0	11,925,297	11,925,297
	4 水産業費	835,290,000	749,001,635	55,974,000	30,314,365	86,288,365
	5 繰出金	36,293,000	36,293,000	0	0	0
8 産業経済費		51,738,739,000	45,691,062,033	1,224,931,000	4,822,745,967	6,047,676,967
	1 産業経済職員費	1,782,024,000	1,732,836,343	0	49,187,657	49,187,657
	2 産業学術費	47,788,603,000	41,920,113,780	1,191,117,000	4,677,372,220	5,868,489,220
	3 観光振興費	1,695,188,000	1,565,188,411	33,814,000	96,185,589	129,999,589
	4 繰出金	472,924,000	472,923,499	0	501	501
9 土木費		41,731,836,000	31,823,402,727	8,424,649,000	1,483,784,273	9,908,433,273
	1 土木職員費	4,526,261,000	4,478,326,337	0	47,934,663	47,934,663
	2 土木管理費	759,528,000	642,142,202	0	117,385,798	117,385,798
	3 道路橋りょう費	17,568,854,000	13,190,922,584	4,088,448,000	289,483,416	4,377,931,416
	4 河川費	5,151,596,000	3,764,980,068	1,230,758,000	155,857,932	1,386,615,932

歳　出

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
	5 都市計画費	12,511,618,000	8,585,597,225	3,105,443,000	820,577,775	3,926,020,775
	6 繰出金	1,213,979,000	1,161,434,311	0	52,544,689	52,544,689
10 港湾費		12,790,001,000	11,016,370,954	1,130,391,000	643,239,046	1,773,630,046
	1 港湾職員費	1,328,362,000	1,313,328,352	0	15,033,648	15,033,648
	2 港湾管理費	1,966,968,000	1,758,465,776	153,041,000	55,461,224	208,502,224
	3 港湾整備費	8,402,182,000	7,447,893,382	490,696,000	463,592,618	954,288,618
	4 埋立費	1,091,009,000	495,959,349	486,654,000	108,395,651	595,049,651
	5 繰出金	1,480,000	724,095	0	755,905	755,905
11 建築行政費		9,508,855,000	7,033,585,831	2,113,264,000	362,005,169	2,475,269,169
	1 建築職員費	1,635,458,000	1,600,887,009	0	34,570,991	34,570,991
	2 建築管理費	4,167,354,000	3,900,568,514	52,528,000	214,257,486	266,785,486
	3 住宅建設費	3,706,043,000	1,532,130,308	2,060,736,000	113,176,692	2,173,912,692
12 消防費		13,112,988,000	12,674,595,638	0	438,392,362	438,392,362
	1 消防費	13,112,988,000	12,674,595,638	0	438,392,362	438,392,362
13 教育費		88,333,593,000	76,583,818,387	7,424,943,000	4,324,831,613	11,749,774,613
	1 教育職員費	52,471,187,000	50,965,607,287	0	1,505,579,713	1,505,579,713
	2 教育総務費	1,450,685,000	1,326,790,271	0	123,894,729	123,894,729
	3 小学校費	15,920,255,000	10,414,565,351	4,018,420,000	1,487,269,649	5,505,689,649
	4 中学校費	10,173,169,000	6,357,084,933	3,055,051,000	761,033,067	3,816,084,067
	5 高等学校費	156,035,000	134,013,933	0	22,021,067	22,021,067
	6 特別支援学校費	4,994,907,000	4,474,479,528	171,940,000	348,487,472	520,427,472
	7 社会教育費	1,457,487,000	1,235,268,874	179,532,000	42,686,126	222,218,126
	8 保健体育費	1,708,982,000	1,675,779,682	0	33,202,318	33,202,318

歳　出

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
	9 繰出金	886,000	228,528	0	657,472	657,472
14 災害復旧費		591,826,000	156,638,400	278,262,000	156,925,600	435,187,600
	1 鉱害復旧費	953,000	890,000	0	63,000	63,000
	2 農林水産施設災害復旧費	177,670,000	65,390,000	104,568,000	7,712,000	112,280,000
	3 土木施設災害復旧費	413,203,000	90,358,400	173,694,000	149,150,600	322,844,600
15 諸支出金		102,116,725,000	100,264,986,535	433,200,000	1,418,538,465	1,851,738,465
	1 公債償還特別会計繰出金	68,496,082,000	67,526,740,920	0	969,341,080	969,341,080
	2 公営企業費	7,698,947,000	6,816,561,415	433,200,000	449,185,585	882,385,585
	3 基金積立金	25,921,696,000	25,921,684,200	0	11,800	11,800
16 予備費		300,000,000	0	0	300,000,000	300,000,000
	1 予備費	300,000,000	0	0	300,000,000	300,000,000
歳出合計		**694,694,973,000**	**635,041,100,201**	**26,911,482,000**	**32,742,390,799**	**59,653,872,799**

歳入歳出差引残額　　3,951,059,982 円

特　別　会　計

歳　入

国　民　健　康　保　険　特　別　会　計

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1 国民健康保険料		14,072,511,000	18,760,252,518	14,746,369,521	774,867,800	3,257,896,201	673,858,521
	1 国民健康保険料	14,072,511,000	18,760,252,518	14,746,369,521	774,867,800	3,257,896,201	673,858,521
2 使用料及び手数料		10,000	75,900	75,900	0	0	65,900
	1 手数料	10,000	75,900	75,900	0	0	65,900
3 国庫支出金		176,220,000	137,869,200	137,869,200	0	0	△38,350,800
	1 国庫補助金	176,220,000	137,869,200	137,869,200	0	0	△38,350,800
4 県支出金		69,846,195,000	69,499,570,000	69,499,570,000	0	0	△346,625,000
	1 県負担金	192,008,000	166,066,000	166,066,000	0	0	△25,942,000
	2 県補助金	69,654,187,000	69,333,504,000	69,333,504,000	0	0	△320,683,000
5 繰入金		11,470,946,000	10,477,157,000	10,477,157,000	0	0	△993,789,000
	1 繰入金	11,470,946,000	10,477,157,000	10,477,157,000	0	0	△993,789,000
6 繰越金		929,500,000	1,998,070,630	1,998,070,630	0	0	1,068,570,630
	1 繰越金	929,500,000	1,998,070,630	1,998,070,630	0	0	1,068,570,630
7 諸収入		141,000,000	209,685,290	156,782,518	6,771,596	46,186,376	15,782,518
	1 延滞金加算金及び過料	2,000,000	19,063,307	19,118,507	0	0	17,118,507
	2 雑入	139,000,000	190,621,983	137,664,011	6,771,596	46,186,376	△1,335,989
歳入合計		**96,636,382,000**	**101,082,680,538**	**97,015,894,769**	**781,639,396**	**3,304,082,577**	**379,512,769**

歳　出

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1 総務費		1,834,616,000	1,664,426,857	0	170,189,143	170,189,143
	1 総務管理費	1,834,616,000	1,664,426,857	0	170,189,143	170,189,143
2 保険給付費		69,223,788,000	67,477,614,872	0	1,746,173,128	1,746,173,128
	1 保険給付費	69,223,788,000	67,477,614,872	0	1,746,173,128	1,746,173,128
3 国民健康保険事業費納付金		23,799,475,000	23,799,473,599	0	1,401	1,401
	1 医療給付費分納付金	16,777,823,000	16,777,822,839	0	161	161
	2 後期高齢者支援金等分納付金	5,318,973,000	5,318,972,353	0	647	647
	3 介護納付金分納付金	1,702,679,000	1,702,678,407	0	593	593
4 保健事業費		799,003,000	674,194,105	0	124,808,895	124,808,895
	1 保健事業費	799,003,000	674,194,105	0	124,808,895	124,808,895
5 諸支出金		929,500,000	918,256,842	0	11,243,158	11,243,158
	1 償還金及び還付加算金	929,500,000	918,256,842	0	11,243,158	11,243,158
6 予備費		50,000,000	0	0	50,000,000	50,000,000
	1 予備費	50,000,000	0	0	50,000,000	50,000,000
歳出合計		**96,636,382,000**	**94,533,966,275**	**0**	**2,102,415,725**	**2,102,415,725**

歳入歳出差引残額　　2,481,928,494 円

歳入

食肉センター特別会計

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1 使用料及び手数料		142,318,000	120,246,255	120,246,255	0	0	△22,071,745
	1 使用料	142,318,000	120,246,255	120,246,255	0	0	△22,071,745
2 財産収入		586,000	438,240	438,240	0	0	△147,760
	1 財産運用収入	586,000	438,240	438,240	0	0	△147,760
3 繰入金		209,915,000	209,915,000	209,915,000	0	0	0
	1 繰入金	209,915,000	209,915,000	209,915,000	0	0	0
4 繰越金		10,000	38,612,019	38,612,019	0	0	38,602,019
	1 繰越金	10,000	38,612,019	38,612,019	0	0	38,602,019
5 諸収入		31,171,000	30,689,032	30,689,032	0	0	△481,968
	1 雑入	31,171,000	30,689,032	30,689,032	0	0	△481,968
6 市債		20,000,000	11,000,000	11,000,000	0	0	△9,000,000
	1 市債	20,000,000	11,000,000	11,000,000	0	0	△9,000,000
歳入合計		**404,000,000**	**410,900,546**	**410,900,546**	**0**	**0**	**6,900,546**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌年度繰越額	不　用　額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1 食肉センター費		403,800,000	376,063,201	0	27,736,799	27,736,799
	1 食肉センター費	381,594,000	353,857,400	0	27,736,600	27,736,600
	2 繰出金	22,206,000	22,205,801	0	199	199
2 予備費		200,000	0	0	200,000	200,000
	1 予備費	200,000	0	0	200,000	200,000
歳出合計		**404,000,000**	**376,063,201**	**0**	**27,936,799**	**27,936,799**

歳入歳出差引残額　　34,837,345 円

歳　入

卸　売　市　場

款	項	予　算　現　額	調　定　額	収　入　済　額	不　納　欠　損　額	収　入　未　済　額	予　算　現　額　と 収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1　使用料及び手数料		426,435,000	451,939,413	447,468,150	0	4,471,263	21,033,150
	1　使　用　料	426,435,000	451,939,413	447,468,150	0	4,471,263	21,033,150
2　繰　入　金		158,134,000	158,134,000	158,134,000	0	0	0
	1　繰　入　金	158,134,000	158,134,000	158,134,000	0	0	0
3　繰　越　金		50,000,000	181,733,878	181,733,878	0	0	131,733,878
	1　繰　越　金	50,000,000	181,733,878	181,733,878	0	0	131,733,878
4　諸　収　入		196,531,000	180,467,937	172,860,970	0	7,606,967	△23,670,030
	1　雑　入	196,531,000	180,467,937	172,860,970	0	7,606,967	△23,670,030
5　市　債		131,000,000	122,000,000	122,000,000	0	0	△9,000,000
	1　市　債	131,000,000	122,000,000	122,000,000	0	0	△9,000,000
6　県　支　出　金		0	7,810,601	7,810,601	0	0	7,810,601
	1　県　補　助　金	0	7,810,601	7,810,601	0	0	7,810,601
歳　入　合　計		**962,100,000**	**1,102,085,829**	**1,090,007,599**	**0**	**12,078,230**	**127,907,599**

特　別　会　計

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　卸　売　市　場　費		960,100,000	894,170,184	0	65,929,816	65,929,816
	1　卸　売　市　場　費	866,932,000	802,800,756	0	64,131,244	64,131,244
	2　繰　出　金	93,168,000	91,369,428	0	1,798,572	1,798,572
2　予　備　費		2,000,000	0	0	2,000,000	2,000,000
	1　予　備　費	2,000,000	0	0	2,000,000	2,000,000
歳　出　合　計		**962,100,000**	**894,170,184**	**0**	**67,929,816**	**67,929,816**

歳入歳出差引残額　　195,837,415 円

歳　入

渡　船　特　別　会　計

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1 使用料及び手数料		59,327,000	54,791,761	54,791,761	0	0	△4,535,239
	1 使用料	59,296,000	54,754,261	54,754,261	0	0	△4,541,739
	2 手数料	31,000	37,500	37,500	0	0	6,500
2 国庫支出金		52,842,000	70,029,523	70,029,523	0	0	17,187,523
	1 国庫補助金	52,842,000	70,029,523	70,029,523	0	0	17,187,523
3 県支出金		20,000,000	35,931,366	35,931,366	0	0	15,931,366
	1 県補助金	20,000,000	35,931,366	35,931,366	0	0	15,931,366
4 財産収入		712,000	267,360	267,360	0	0	△444,640
	1 財産運用収入	712,000	267,360	267,360	0	0	△444,640
5 繰入金		314,476,000	314,476,000	314,476,000	0	0	0
	1 繰入金	314,476,000	314,476,000	314,476,000	0	0	0
6 繰越金		56,379,000	163,629,016	163,629,016	0	0	107,250,016
	1 繰越金	56,379,000	163,629,016	163,629,016	0	0	107,250,016
7 諸収入		1,243,000	1,610,596	1,610,596	0	0	367,596
	1 雑入	1,243,000	1,610,596	1,610,596	0	0	367,596
歳入合計		**504,979,000**	**640,735,622**	**640,735,622**	**0**	**0**	**135,756,622**

歳　出

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1 渡船事業費		504,779,000	460,919,680	18,062,000	25,797,320	43,859,320
	1 渡船事業費	479,176,000	435,317,600	18,062,000	25,796,400	43,858,400
	2 繰出金	25,603,000	25,602,080	0	920	920
2 予備費		200,000	0	0	200,000	200,000
	1 予備費	200,000	0	0	200,000	200,000
歳出合計		**504,979,000**	**460,919,680**	**18,062,000**	**25,997,320**	**44,059,320**

歳入歳出差引残額　　179,815,942 円

歳入

土地区画整理特別会計

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1 使用料及び手数料		18,000	9,300	9,300	0	0	△8,700
	1 使用料	8,000	0	0	0	0	△8,000
	2 手数料	10,000	9,300	9,300	0	0	△700
2 国庫支出金		1,518,187,000	920,076,000	920,076,000	0	0	△598,111,000
	1 国庫補助金	1,518,187,000	920,076,000	920,076,000	0	0	△598,111,000
3 財産収入		240,256,000	143,906,149	143,906,149	0	0	△96,349,851
	1 財産貸付収入	5,481,000	5,045,912	5,045,912	0	0	△435,088
	2 財産売払収入	234,775,000	138,860,237	138,860,237	0	0	△95,914,763
4 繰入金		1,172,146,000	1,158,029,678	1,158,029,678	0	0	△14,116,322
	1 繰入金	1,172,146,000	1,158,029,678	1,158,029,678	0	0	△14,116,322
5 繰越金		164,112,000	212,111,180	212,111,180	0	0	47,999,180
	1 繰越金	164,112,000	212,111,180	212,111,180	0	0	47,999,180
6 諸収入		2,970,000	4,150,385	4,150,385	0	0	1,180,385
	1 雑入	2,970,000	4,150,385	4,150,385	0	0	1,180,385
7 市債		3,833,200,000	2,192,800,000	2,192,800,000	0	0	△1,640,400,000
	1 市債	3,833,200,000	2,192,800,000	2,192,800,000	0	0	△1,640,400,000
歳入合計		**6,930,889,000**	**4,631,082,692**	**4,631,082,692**	**0**	**0**	**△2,299,806,308**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　土　地　区　画　整　理　事　業　費		6,930,889,000	4,325,087,329	1,982,878,000	622,923,671	2,605,801,671
	1　土　地　区　画　整　理　事　業　費	6,171,327,000	3,834,939,902	1,982,878,000	353,509,098	2,336,387,098
	2　繰　　出　　金	759,562,000	490,147,427	0	269,414,573	269,414,573
歳　　出　　合　　計		**6,930,889,000**	**4,325,087,329**	**1,982,878,000**	**622,923,671**	**2,605,801,671**

歳入歳出差引残額　　305,995,363 円

歳　入

土　地　区　画　整　理　事　業　清　算　特　別　会　計

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1 清算徴収金		148,000	6,385,288	148,000	0	6,237,288	0
	1 清算徴収金	148,000	6,385,288	148,000	0	6,237,288	0
2 繰越金		142,000	1,511,234	1,511,234	0	0	1,369,234
	1 繰越金	142,000	1,511,234	1,511,234	0	0	1,369,234
3 諸収入		10,000	0	0	0	0	△10,000
	1 雑入	10,000	0	0	0	0	△10,000
歳入合計		**300,000**	**7,896,522**	**1,659,234**	**0**	**6,237,288**	**1,359,234**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　土地区画整理事業清算費		300,000	3,950	0	296,050	296,050
	1　土地区画整理事業清算費	300,000	3,950	0	296,050	296,050
歳　　出　　合　　計		**300,000**	**3,950**	**0**	**296,050**	**296,050**

歳入歳出差引残額　　1,655,284 円

歳　入

港　湾　整　備

款	項	予算現額	調定額
		円	円
1 使用料及び手数料		3,082,281,000	2,963,385,548
	1 使用料	3,082,281,000	2,963,385,548
2 財産収入		172,212,000	249,538,154
	1 財産運用収入	172,212,000	167,608,412
	2 財産売払収入	0	81,929,742
3 繰入金		388,790,000	388,790,000
	1 一般会計繰入金	461,000	461,000
	2 特別会計繰入金	388,329,000	388,329,000
4 繰越金		15,002,000	4,506,311,863
	1 繰越金	15,002,000	4,506,311,863
5 諸収入		117,507,000	150,036,076
	1 延滞金加算金及び過料	10,000	20,181,980
	2 貸付金収入	45,516,000	45,516,000
	3 雑入	71,981,000	84,338,096
6 市債		2,584,000,000	1,754,000,000
	1 市債	2,584,000,000	1,754,000,000
歳入合計		**6,359,792,000**	**10,012,061,641**

特　別　会　計

収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
円	円	円	円
2,962,607,880	0	777,668	△119,673,120
2,962,607,880	0	777,668	△119,673,120
249,538,154	0	0	77,326,154
167,608,412	0	0	△4,603,588
81,929,742	0	0	81,929,742
388,790,000	0	0	0
461,000	0	0	0
388,329,000	0	0	0
4,506,311,863	0	0	4,491,309,863
4,506,311,863	0	0	4,491,309,863
130,561,896	0	19,474,180	13,054,896
707,800	0	19,474,180	697,800
45,516,000	0	0	0
84,338,096	0	0	12,357,096
1,754,000,000	0	0	△830,000,000
1,754,000,000	0	0	△830,000,000
9,991,809,793	**0**	**20,251,848**	**3,632,017,793**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1 港　湾　整　備　事　業　費		6,354,792,000	5,187,740,562	801,994,000	365,057,438	1,167,051,438
	1 機　能　施　設　事　業　費	4,372,818,000	3,249,771,971	801,994,000	321,052,029	1,123,046,029
	2 繰　出　金	1,979,474,000	1,935,468,591	0	44,005,409	44,005,409
	3 基　金　積　立　金	2,500,000	2,500,000	0	0	0
2 予　備　費		5,000,000	0	0	5,000,000	5,000,000
	1 予　備　費	5,000,000	0	0	5,000,000	5,000,000
歳　出　合　計		**6,359,792,000**	**5,187,740,562**	**801,994,000**	**370,057,438**	**1,172,051,438**

歳入歳出差引残額　　4,804,069,231 円

歳　入

公　債　償　還

款	項	予　算　現　額	調　定　額
		円	円
1　繰　　入　　金		125,206,000,000	120,651,601,266
	1　繰　　入　　金	125,206,000,000	120,651,601,266
2　市　　債		65,156,000,000	65,156,000,000
	1　市　　債	65,156,000,000	65,156,000,000
歳　　入　　合　　計		**190,362,000,000**	**185,807,601,266**

特　別　会　計

収　入　済　額	不　納　欠　損　額	収　入　未　済　額	予　算　現　額　と 収入済額との比較
円	円	円	円
120,651,601,266	0	0	△4,554,398,734
120,651,601,266	0	0	△4,554,398,734
65,156,000,000	0	0	0
65,156,000,000	0	0	0
185,807,601,266	**0**	**0**	**△4,554,398,734**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌年度繰越額	不　用　額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1 公　債　費		186,129,574,000	181,575,175,266	0	4,554,398,734	4,554,398,734
	1 公　債　費	186,129,574,000	181,575,175,266	0	4,554,398,734	4,554,398,734
2 繰　出　金		4,232,426,000	4,232,426,000	0	0	0
	1 繰　出　金	4,232,426,000	4,232,426,000	0	0	0
歳　出　合　計		**190,362,000,000**	**185,807,601,266**	**0**	**4,554,398,734**	**4,554,398,734**

歳入歳出差引残額　　0 円

歳　入

住　宅　新　築　資　金

款	項	予　算　現　額	調　定　額
		円	円
1　県　支　出　金		225,000	0
	1　県　補　助　金	225,000	0
2　繰　越　金		10,000	277,175,906
	1　繰　越　金	10,000	277,175,906
3　諸　収　入		665,000	191,406,621
	1　貸付金元利収入	555,000	191,406,621
	2　雑　入	110,000	0
歳　入　合　計		**900,000**	**468,582,527**

等　貸　付　特　別　会　計

収　入　済　額	不　納　欠　損　額	収　入　未　済　額	予　算　現　額　と 収入済額との比較
円	円	円	円
0	0	0	△225,000
0	0	0	△225,000
277,175,906	0	0	277,165,906
277,175,906	0	0	277,165,906
4,161,851	0	187,244,770	3,496,851
4,161,851	0	187,244,770	3,606,851
0	0	0	△110,000
281,337,757	**0**	**187,244,770**	**280,437,757**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　住宅新築資金等貸付事業費		900,000	114,925	0	785,075	785,075
	1　住宅新築資金等貸付事業費	900,000	114,925	0	785,075	785,075
歳　　出　　合　　計		**900,000**	**114,925**	**0**	**785,075**	**785,075**

歳入歳出差引残額　　281,222,832 円

歳　入

土　地　取　得

款	項	予　算　現　額	調　定　額
		円	円
1 財　産　収　入		2,178,614,000	912,827,000
	1 財 産 運 用 収 入	10,000	0
	2 財 産 売 払 収 入	2,178,604,000	912,827,000
2 繰　入　金		49,586,000	5,638,534
	1 繰　入　金	49,586,000	5,638,534
3 市　債		1,986,000,000	245,700,000
	1 市　債	1,986,000,000	245,700,000
4 繰　越　金		194,000	194,000
	1 繰　越　金	194,000	194,000
歳　入　合　計		**4,214,394,000**	**1,164,359,534**

特　別　会　計

収　入　済　額	不　納　欠　損　額	収　入　未　済　額	予　算　現　額　と 収入済額との比較
円	円	円	円
912,827,000	0	0	△1,265,787,000
0	0	0	△10,000
912,827,000	0	0	△1,265,777,000
5,638,534	0	0	△43,947,466
5,638,534	0	0	△43,947,466
245,700,000	0	0	△1,740,300,000
245,700,000	0	0	△1,740,300,000
194,000	0	0	0
194,000	0	0	0
1,164,359,534	**0**	**0**	**△3,050,034,466**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　土　地　先　行　取　得　費		4,214,394,000	1,164,359,534	0	3,050,034,466	3,050,034,466
	1　土　地　先　行　取　得　費	1,990,122,000	246,176,432	0	1,743,945,568	1,743,945,568
	2　繰　　出　　金	2,224,272,000	918,183,102	0	1,306,088,898	1,306,088,898
歳　　出　　合　　計		**4,214,394,000**	**1,164,359,534**	**0**	**3,050,034,466**	**3,050,034,466**

歳入歳出差引残額　　0 円

歳　入

駐　車　場

款	項	予　算　現　額	調　定　額
		円	円
1 使用料及び手数料		334,600,000	349,323,296
	1 使　　用　　料	334,600,000	349,323,296
2 繰　　越　　金		178,150,000	673,014,124
	1 繰　　越　　金	178,150,000	673,014,124
3 諸　　収　　入		2,400,000	1,982,882
	1 雑　　入	2,400,000	1,982,882
歳　　入　　合　　計		**515,150,000**	**1,024,320,302**

特　別　会　計

収　入　済　額	不　納　欠　損　額	収　入　未　済　額	予　算　現　額　と 収入済額との比較
円	円	円	円
349,323,296	0	0	14,723,296
349,323,296	0	0	14,723,296
673,014,124	0	0	494,864,124
673,014,124	0	0	494,864,124
1,982,882	0	0	△417,118
1,982,882	0	0	△417,118
1,024,320,302	**0**	**0**	**509,170,302**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　駐　車　場　事　業　費		514,650,000	221,250,646	0	293,399,354	293,399,354
	1　駐　車　場　事　業　費	314,650,000	221,250,646	0	93,399,354	93,399,354
	2　繰　出　金	200,000,000	0	0	200,000,000	200,000,000
2　予　備　費		500,000	0	0	500,000	500,000
	1　予　備　費	500,000	0	0	500,000	500,000
歳　出　合　計		**515,150,000**	**221,250,646**	**0**	**293,899,354**	**293,899,354**

歳入歳出差引残額　　803,069,656 円

歳　入

母　子　父　子　寡　婦　福　祉　資　金　特　別　会　計

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1 繰入金		14,175,000	14,175,000	14,175,000	0	0	0
	1 繰入金	14,175,000	14,175,000	14,175,000	0	0	0
2 繰越金		89,112,000	226,097,135	226,097,135	0	0	136,985,135
	1 繰越金	89,112,000	226,097,135	226,097,135	0	0	136,985,135
3 諸収入		121,113,000	735,824,156	123,326,927	0	612,497,229	2,213,927
	1 貸付金元利収入	121,113,000	735,824,156	123,326,927	0	612,497,229	2,213,927
歳入合計		**224,400,000**	**976,096,291**	**363,599,062**	**0**	**612,497,229**	**139,199,062**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　母子父子寡婦福祉資金貸付事業費		224,400,000	88,124,728	0	136,275,272	136,275,272
	1　母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	151,424,000	15,149,625	0	136,274,375	136,274,375
	2　繰出金	72,976,000	72,975,103	0	897	897
歳出合計		**224,400,000**	**88,124,728**	**0**	**136,275,272**	**136,275,272**

歳入歳出差引残額　　275,474,334 円

歳　入

産　業　用　地　整　備　特　別　会　計

款	項	予　算　現　額	調　定　額	収　入　済　額	不　納　欠　損　額	収　入　未　済　額	予　算　現　額　と 収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1　財　産　収　入		1,854,968,000	20,606,019	20,606,019	0	0	△1,834,361,981
	1　財　産　運　用　収　入	19,968,000	20,606,019	20,606,019	0	0	638,019
	2　財　産　売　払　収　入	1,835,000,000	0	0	0	0	△1,835,000,000
2　繰　越　金		32,432,000	683,586,062	683,586,062	0	0	651,154,062
	1　繰　越　金	32,432,000	683,586,062	683,586,062	0	0	651,154,062
歳　入　合　計		**1,887,400,000**	**704,192,081**	**704,192,081**	**0**	**0**	**△1,183,207,919**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　産　業　用　地　整　備　事　業　費		1,887,400,000	5,059,728	0	1,882,340,272	1,882,340,272
	1　産　業　用　地　整　備　事　業　費	58,482,000	3,956,440	0	54,525,560	54,525,560
	2　繰　　出　　金	1,828,918,000	1,103,288	0	1,827,814,712	1,827,814,712
歳　　出　　合　　計		**1,887,400,000**	**5,059,728**	**0**	**1,882,340,272**	**1,882,340,272**

歳入歳出差引残額　　699,132,353 円

歳　入

漁　業　集　落　排　水　特　別　会　計

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1 分担金及び負担金		10,000	0	0	0	0	△10,000
	1 分担金	10,000	0	0	0	0	△10,000
2 使用料及び手数料		2,087,000	2,035,778	2,035,778	0	0	△51,222
	1 使用料	2,087,000	2,035,778	2,035,778	0	0	△51,222
3 繰入金		36,293,000	36,293,000	36,293,000	0	0	0
	1 繰入金	36,293,000	36,293,000	36,293,000	0	0	0
4 繰越金		3,000,000	7,831,200	7,831,200	0	0	4,831,200
	1 繰越金	3,000,000	7,831,200	7,831,200	0	0	4,831,200
5 諸収入		10,000	0	0	0	0	△10,000
	1 雑入	10,000	0	0	0	0	△10,000
歳入合計		**41,400,000**	**46,159,978**	**46,159,978**	**0**	**0**	**4,759,978**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　漁　業　集　落　排　水　費		40,400,000	39,895,544	0	504,456	504,456
	1　漁　業　集　落　排　水　費	22,316,000	21,814,098	0	501,902	501,902
	2　繰　　出　　金	18,084,000	18,081,446	0	2,554	2,554
2　予　　備　　費		1,000,000	0	0	1,000,000	1,000,000
	1　予　　備　　費	1,000,000	0	0	1,000,000	1,000,000
歳　　出　　合　　計		**41,400,000**	**39,895,544**	**0**	**1,504,456**	**1,504,456**

歳入歳出差引残額　　6,264,434 円

介護保険

歳入

款	項	予算現額	調定額
		円	円
1 介護保険料		18,994,047,000	20,289,308,518
	1 介護保険料	18,994,047,000	20,289,308,518
2 使用料及び手数料		13,615,000	13,048,200
	1 手数料	13,615,000	13,048,200
3 国庫支出金		27,023,982,000	27,709,649,201
	1 国庫負担金	18,015,888,000	18,889,164,660
	2 国庫補助金	9,008,094,000	8,820,484,541
4 支払基金交付金		28,306,556,000	27,877,303,999
	1 支払基金交付金	28,306,556,000	27,877,303,999
5 県支出金		15,507,710,000	15,082,395,406
	1 県負担金	15,026,856,000	14,607,046,063
	2 財政安定化基金支出金	10,000	0
	3 県補助金	480,844,000	475,349,343
6 財産収入		50,020,000	49,682,110
	1 財産運用収入	50,010,000	49,682,110
	2 財産売払収入	10,000	0
7 寄附金		10,000	0
	1 寄附金	10,000	0
8 繰入金		18,469,866,000	17,266,557,000
	1 一般会計繰入金	16,405,199,000	16,266,557,000
	2 基金繰入金	2,064,667,000	1,000,000,000
9 繰越金		2,406,789,000	3,128,504,057
	1 繰越金	2,406,789,000	3,128,504,057

特別会計

収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
円	円	円	円
19,899,850,635	112,322,651	316,569,552	905,803,635
19,899,850,635	112,322,651	316,569,552	905,803,635
13,048,200	0	0	△566,800
13,048,200	0	0	△566,800
27,709,649,201	0	0	685,667,201
18,889,164,660	0	0	873,276,660
8,820,484,541	0	0	△187,609,459
27,877,303,999	0	0	△429,252,001
27,877,303,999	0	0	△429,252,001
15,082,395,406	0	0	△425,314,594
14,607,046,063	0	0	△419,809,937
0	0	0	△10,000
475,349,343	0	0	△5,494,657
49,682,110	0	0	△337,890
49,682,110	0	0	△327,890
0	0	0	△10,000
0	0	0	△10,000
0	0	0	△10,000
17,266,557,000	0	0	△1,203,309,000
16,266,557,000	0	0	△138,642,000
1,000,000,000	0	0	△1,064,667,000
3,128,504,057	0	0	721,715,057
3,128,504,057	0	0	721,715,057

歳　入

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
10 諸収入		4,255,000	57,733,485	35,639,258	31,581	22,062,646	31,384,258
	1 延滞金加算金及び過料	10,000	1,309,430	1,309,430	0	0	1,299,430
	2 雑入	4,245,000	56,424,055	34,329,828	31,581	22,062,646	30,084,828
11 市債		10,000	0	0	0	0	△10,000
	1 財政安定化基金貸付金	10,000	0	0	0	0	△10,000
12 介護予防ケアマネジメント事業費収入		295,000,000	483,758,424	483,758,424	0	0	188,758,424
	1 介護予防サービス計画費収入	294,980,000	263,291,739	263,291,739	0	0	△31,688,261
	2 介護予防ケアマネジメント事業繰入金	10,000	10,000	10,000	0	0	0
	3 介護予防ケアマネジメント事業繰越金	10,000	220,456,685	220,456,685	0	0	220,446,685
歳入合計		**111,071,860,000**	**111,957,940,400**	**111,546,388,290**	**112,354,232**	**338,632,198**	**474,528,290**

歳　出

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1 総務費		3,089,598,000	2,782,227,832	0	307,370,168	307,370,168
	1 総務管理費	2,174,598,000	1,950,327,879	0	224,270,121	224,270,121
	2 介護認定費	915,000,000	831,899,953	0	83,100,047	83,100,047
2 保険給付費		101,669,925,000	100,873,985,936	0	795,939,064	795,939,064
	1 介護サービス等諸費	101,669,925,000	100,873,985,936	0	795,939,064	795,939,064
3 地域支援事業費		3,591,361,000	3,379,513,762	0	211,847,238	211,847,238
	1 地域支援事業費	3,591,361,000	3,379,513,762	0	211,847,238	211,847,238
4 財政安定化基金拠出金		10,000	0	0	10,000	10,000
	1 財政安定化基金拠出金	10,000	0	0	10,000	10,000
5 保健福祉事業費		293,000,000	246,948,679	0	46,051,321	46,051,321
	1 保健福祉事業費	293,000,000	246,948,679	0	46,051,321	46,051,321
6 基金積立金		641,679,000	641,360,564	0	318,436	318,436
	1 基金積立金	641,679,000	641,360,564	0	318,436	318,436
7 諸支出金		1,013,308,000	1,000,593,278	0	12,714,722	12,714,722
	1 償還金及び還付加算金	1,013,308,000	1,000,593,278	0	12,714,722	12,714,722
8 繰出金		277,979,000	263,473,119	0	14,505,881	14,505,881
	1 繰出金	277,979,000	263,473,119	0	14,505,881	14,505,881
9 予備費		200,000,000	0	0	200,000,000	200,000,000
	1 予備費	200,000,000	0	0	200,000,000	200,000,000
10 介護予防ケアマネジメント事業費		295,000,000	253,984,002	0	41,015,998	41,015,998
	1 介護予防サービス計画費	295,000,000	253,984,002	0	41,015,998	41,015,998
歳出合計		**111,071,860,000**	**109,442,087,172**	**0**	**1,629,772,828**	**1,629,772,828**

歳入歳出差引残額　　2,104,301,118円

歳　入

空　港　関　連　用　地

款	項	予　算　現　額	調　定　額
		円	円
1 財　産　収　入		10,000	0
	1 財 産 売 払 収 入	10,000	0
2 繰　越　金		41,480,000	189,387,070
	1 繰　越　金	41,480,000	189,387,070
3 諸　収　入		10,000	8,500
	1 雑　入	10,000	8,500
歳　入　合　計		**41,500,000**	**189,395,570**

整　備　特　別　会　計

収　入　済　額	不　納　欠　損　額	収　入　未　済　額	予　算　現　額　と 収入済額との比較
円	円	円	円
0	0	0	△10,000
0	0	0	△10,000
189,387,070	0	0	147,907,070
189,387,070	0	0	147,907,070
8,500	0	0	△1,500
8,500	0	0	△1,500
189,395,570	**0**	**0**	**147,895,570**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　空港関連用地整備事業費		41,500,000	38,265,242	0	3,234,758	3,234,758
	1　空港関連用地整備事業費	3,420,000	217,800	0	3,202,200	3,202,200
	2　繰　　出　　金	38,080,000	38,047,442	0	32,558	32,558
歳　　出　　合　　計		**41,500,000**	**38,265,242**	**0**	**3,234,758**	**3,234,758**

歳入歳出差引残額　　151,130,328 円

歳　入

臨　海　部　産　業　用

款	項	予　算　現　額	調　定　額
		円	円
1 財　産　収　入		468,600,000	466,203,384
	1 財 産 運 用 収 入	468,600,000	466,203,384
歳　入　合　計		**468,600,000**	**466,203,384**

地　貸　付　特　別　会　計

収　入　済　額	不　納　欠　損　額	収　入　未　済　額	予　算　現　額　と 収入済額との比較
円	円	円	円
466,203,384	0	0	△2,396,616
466,203,384	0	0	△2,396,616
466,203,384	**0**	**0**	**△2,396,616**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌　年　度　繰　越　額	不　用　額	予　算　現　額　と 支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　臨海部産業用地貸付事業費		468,600,000	466,203,384	0	2,396,616	2,396,616
	1　臨海部産業用地貸付事業費	468,600,000	466,203,384	0	2,396,616	2,396,616
歳　出　合　計		**468,600,000**	**466,203,384**	**0**	**2,396,616**	**2,396,616**

歳入歳出差引残額　　0 円

後期高齢者医療特別会計

歳入

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1 後期高齢者医療保険料		14,703,196,000	15,251,101,381	14,979,024,444	50,893,815	244,132,822	275,828,444
	1 後期高齢者医療保険料	14,703,196,000	15,251,101,381	14,979,024,444	50,893,815	244,132,822	275,828,444
2 使用料及び手数料		100,000	0	0	0	0	△100,000
	1 手数料	100,000	0	0	0	0	△100,000
3 国庫支出金		69,329,000	33,781,000	33,781,000	0	0	△35,548,000
	1 国庫補助金	69,329,000	33,781,000	33,781,000	0	0	△35,548,000
4 繰入金		5,427,386,000	4,844,273,000	4,844,273,000	0	0	△583,113,000
	1 繰入金	5,427,386,000	4,844,273,000	4,844,273,000	0	0	△583,113,000
5 繰越金		526,844,000	656,486,899	656,486,899	0	0	129,642,899
	1 繰越金	526,844,000	656,486,899	656,486,899	0	0	129,642,899
6 諸収入		1,145,000	40,599,071	40,576,471	0	22,600	39,431,471
	1 延滞金及び過料	694,000	2,589,670	2,589,670	0	0	1,895,670
	2 償還金及び還付加算金	110,000	15,900	15,900	0	0	△94,100
	3 雑入	341,000	37,993,501	37,970,901	0	22,600	37,629,901
歳入合計		**20,728,000,000**	**20,826,241,351**	**20,554,141,814**	**50,893,815**	**244,155,422**	**△173,858,186**

歳　出

款	項	予　算　現　額	支　出　済　額	翌年度繰越額	不　用　額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1　総　務　費		652,735,000	533,435,702	0	119,299,298	119,299,298
	1　総　務　管　理　費	471,435,000	419,897,831	0	51,537,169	51,537,169
	2　徴　収　費	181,300,000	113,537,871	0	67,762,129	67,762,129
2　後期高齢者医療広域連合納付金		19,994,741,000	19,322,531,064	0	672,209,936	672,209,936
	1　後期高齢者医療広域連合納付金	19,994,741,000	19,322,531,064	0	672,209,936	672,209,936
3　諸　支　出　金		30,524,000	25,814,042	0	4,709,958	4,709,958
	1　償還金及び還付加算金	30,524,000	25,814,042	0	4,709,958	4,709,958
4　予　備　費		50,000,000	0	0	50,000,000	50,000,000
	1　予　備　費	50,000,000	0	0	50,000,000	50,000,000
歳　出　合　計		**20,728,000,000**	**19,881,780,808**	**0**	**846,219,192**	**846,219,192**

歳入歳出差引残額　672,361,006 円

歳　入

市　民　太　陽　光　発　電　所　特　別　会　計

款	項	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
		円	円	円	円	円	円
1 発電収入		60,992,000	77,410,422	77,410,422	0	0	16,418,422
	1 発電収入	60,992,000	77,410,422	77,410,422	0	0	16,418,422
2 繰越金		42,008,000	191,579,864	191,579,864	0	0	149,571,864
	1 繰越金	42,008,000	191,579,864	191,579,864	0	0	149,571,864
歳入合計		**103,000,000**	**268,990,286**	**268,990,286**	**0**	**0**	**165,990,286**

歳　出

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1 市民太陽光発電所事業費		96,000,000	80,554,096	0	15,445,904	15,445,904
	1 市民太陽光発電所事業費	29,740,000	17,262,693	0	12,477,307	12,477,307
	2 繰出金	66,260,000	63,291,403	0	2,968,597	2,968,597
2 予備費		7,000,000	0	0	7,000,000	7,000,000
	1 予備費	7,000,000	0	0	7,000,000	7,000,000
歳出合計		**103,000,000**	**80,554,096**	**0**	**22,445,904**	**22,445,904**

歳入歳出差引残額　　188,436,190 円

歳　入

市　立　病　院　機　構　病　院

款	項	予　算　現　額	調　定　額
		円	円
1　諸　　収　　入		1,966,300,000	1,943,004,935
	1　貸付金元利収入	1,966,300,000	1,943,004,935
2　市　　債		1,495,200,000	1,113,500,000
	1　市　　債	1,495,200,000	1,113,500,000
歳　　入　　合　　計		**3,461,500,000**	**3,056,504,935**

事　業　債　管　理　特　別　会　計

収　入　済　額	不　納　欠　損　額	収　入　未　済　額	予　算　現　額　と 収入済額との比較
円	円	円	円
1,943,004,935	0	0	△23,295,065
1,943,004,935	0	0	△23,295,065
1,113,500,000	0	0	△381,700,000
1,113,500,000	0	0	△381,700,000
3,056,504,935	**0**	**0**	**△404,995,065**

歳　出

款	項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
		円	円	円	円	円
1 市立病院機構病院事業債管理事業費		3,461,500,000	3,056,504,935	0	404,995,065	404,995,065
	1 市立病院機構病院事業債管理事業費	1,495,200,000	1,113,500,000	0	381,700,000	381,700,000
	2 繰出金	1,966,300,000	1,943,004,935	0	23,295,065	23,295,065
歳出合計		**3,461,500,000**	**3,056,504,935**	**0**	**404,995,065**	**404,995,065**

歳入歳出差引残額　　0 円

令　和　7　年　度

北九州市上水道事業会計決算書
北 九 州 市 上 水 道 事 業 報 告 書

北九州市上下水道局

目　　次

北九州市上水道事業会計決算書
令和７年度北九州市上水道事業決算報告書 …… 1
令和７年度北九州市上水道事業損益計算書 …… 9
令和７年度北九州市上水道事業剰余金計算書 …… 11
令和７年度北九州市上水道事業欠損金処理計算書 …… 13
令和７年度北九州市上水道事業貸借対照表 …… 14
附属明細書
令和７年度北九州市上水道事業キャッシュ・フロー計算書 …… 22
収益費用明細書 …… 24
固定資産明細書 …… 34
企業債明細書 …… 40
北九州市上水道事業報告書
１　概　況 …… 48
⑴　総括事項 …… 48
⑵　経営指標に関する事項 …… 49
⑶　議会議決事項 …… 51
⑷　行政官庁許認可事項 …… 51
⑸　職員に関する事項 …… 52
⑹　料金その他供給条件の設定、変更に関する事項 …… 52
２　工　事 …… 53
⑴　建設改良工事の概況 …… 53
⑵　保存工事の概況 …… 60
３　業　務 …… 61
⑴　業務量 …… 61
⑵　事業収入に関する事項 …… 63
⑶　事業費に関する事項 …… 65
⑷　その他主要な事項 …… 66
４　会　計 …… 67
⑴　重要契約の要旨 …… 67
⑵　企業債及び一時借入金の概況 …… 70
⑶　その他会計経理に関する重要事項 …… 70
５　附帯事項 …… 71
⑴　給水工事の概況 …… 71
⑵　受託工事の概況 …… 71
６　その他 …… 71
⑴　決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実 …… 71
⑵　国庫補助金等の使途の特定について …… 71
⑶　その他 …… 72

北九州市上水道事業会計決算書

令 和 7 年 度 北 九 州 市

【 水 道 事 業 】

(1) 収益的収入及び支出

収　入

区分	予算		
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
	円	円	円
第1款 水道事業収益	20,175,742,000	0	0
第1項 営業収益	17,250,625,000	0	0
第2項 営業外収益	2,863,983,000	0	0
第3項 特別利益	61,134,000	0	0

支　出

区分	予算					
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	小計
	円	円	円	円	円	円
第1款 水道事業費	21,579,434,000	0	0	0	0	21,579,434,000
第1項 営業費用	19,172,555,000	0	0	0	0	19,172,555,000
第2項 営業外費用	2,370,837,000	0	0	0	0	2,370,837,000
第3項 特別損失	16,042,000	0	0	0	0	16,042,000
第4項 予備費	20,000,000	0	0	0	0	20,000,000

上 水 道 事 業 決 算 報 告 書

額 合計	決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
円	円	円	
20,175,742,000	19,902,160,289	△ 273,581,711	
17,250,625,000	16,943,635,454	△ 306,989,546	(うち仮受消費税及び地方消費税 1,513,334,514円)
2,863,983,000	2,952,423,432	88,440,432	(〃 142,207,381円)
61,134,000	6,101,403	△ 55,032,597	(〃 95,871円)

額		決算額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不用額	備考
地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	合計				
円	円	円	円	円	
0	21,579,434,000	20,647,926,031	0	931,507,969	
0	19,172,555,000	18,588,877,770	0	583,677,230	(うち仮払消費税及び地方消費税 585,001,068円)
0	2,370,837,000	2,050,857,484	0	319,979,516	(〃 117,581,554円)
0	16,042,000	8,190,777	0	7,851,223	(〃 658,542円)
0	20,000,000	0	0	20,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算			
	当　初 予算額	補　正 予算額	小　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	円	円	円	円
第1款　水道事業資本的収入	8,508,410,000	578,550,000	9,086,960,000	4,149,000,000
第1項　企業債	6,982,000,000	428,000,000	7,410,000,000	3,865,000,000
第2項　国県補助金	0	150,550,000	150,550,000	0
第3項　出資金	121,289,000	0	121,289,000	0
第4項　工事負担金	1,063,109,000	0	1,063,109,000	284,000,000
第5項　固定資産売却代金	339,002,000	0	339,002,000	0
第6項　預託金返還金	3,000,000	0	3,000,000	0
第7項　その他資本的収入	10,000	0	10,000	0

支　　出

区　　分	予　　算					
	当　初 予算額	補　正 予算額	流用増減額	小　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額
	円	円	円	円	円	円
第1款　水道事業資本的支出	15,902,396,000	580,000,000	0	16,482,396,000	6,135,000,000	0
第1項　施設費	12,494,728,000	580,000,000	0	13,074,728,000	6,135,000,000	0
第2項　企業債償還金	3,400,337,000	0	0	3,400,337,000	0	0
第3項　投資	200,000	0	0	200,000	0	0
第4項　預託金	3,000,000	0	0	3,000,000	0	0
第5項　国庫補助金返還金	4,131,000	0	0	4,131,000	0	0

額		決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
継続費逓次繰越額に係る財源充当額	合計			
円	円	円	円	
0	13,235,960,000	5,961,159,703	△ 7,274,800,297	
0	11,275,000,000	5,465,000,000	△ 5,810,000,000	
0	150,550,000	0	△ 150,550,000	
0	121,289,000	121,289,000	0	
0	1,347,109,000	371,870,703	△ 975,238,297	
0	339,002,000	0	△ 339,002,000	
0	3,000,000	3,000,000	0	
0	10,000	0	△ 10,000	

額	決算額	翌年度繰越額			不用額	備考
合計		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合計		
円	円	円	円	円	円	
22,617,396,000	14,095,970,615	7,564,000,000	0	7,564,000,000	957,425,385	（うち仮払消費税及び地方消費税 853,714,740円）
19,209,728,000	10,696,506,407	7,564,000,000	0	7,564,000,000	949,221,593	
3,400,337,000	3,395,336,475	0	0	0	5,000,525	
200,000	118,490	0	0	0	81,510	
3,000,000	3,000,000	0	0	0	0	
4,131,000	1,009,243	0	0	0	3,121,757	

【 水道用水供給事業 】

(1) 収益的収入及び支出

収　入

区分	予算		
	当初予算額	補正予算額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
	円	円	円
第2款　用水供給事業収益	1,094,806,000	0	0
第1項　営業収益	999,699,000	0	0
第2項　営業外収益	95,097,000	0	0
第3項　特別利益	10,000	0	0

支　出

区分	予算					
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	小計
	円	円	円	円	円	円
第2款　用水供給事業費	1,004,437,000	0	0	0	0	1,004,437,000
第1項　営業費用	907,777,000	0	369,000	0	0	908,146,000
第2項　営業外費用	95,650,000	0	0	0	0	95,650,000
第3項　特別損失	10,000	0	0	0	0	10,000
第4項　予備費	1,000,000	0	△ 369,000	0	0	631,000

額	決　算　額	予算額に比べ決算額の増減	備　　考
合　　計			
円	円	円	
1,094,806,000	1,053,207,949	△ 41,598,051	
999,699,000	921,223,444	△ 78,475,556	（うち仮受消費税及び地方消費税 83,747,561 円）
95,097,000	131,984,505	36,887,505	
10,000	0	△ 10,000	

額		決　算　額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰　越　額	不　用　額	備　　考
地方公営企業法第26条第2項の規定による繰　越　額	合　　計				
円	円	円	円	円	
0	1,004,437,000	982,840,747	0	21,596,253	
0	908,146,000	924,399,144	0	△ 16,253,144	（うち仮払消費税及び地方消費税 29,916,670 円） 地方公営企業法施行令第18条第5項ただし書きの規定による予算額を超過する額74,280,018円
0	95,650,000	58,441,603	0	37,208,397	
0	10,000	0	0	10,000	
0	631,000	0	0	631,000	

(2) 資本的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算			
	当　初 予算額	補　正 予算額	小　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	円	円	円	円
第２款　用水供給事業資本的収入	2,027,060,000	118,377,000	2,145,437,000	350,400,000
第１項　企　業　債	1,081,700,000	△ 126,000,000	955,700,000	107,500,000
第２項　国県補助金	0	370,577,000	370,577,000	0
第３項　出　資　金	737,600,000	△ 126,200,000	611,400,000	67,900,000
第４項　工事負担金	207,740,000	0	207,740,000	175,000,000
第５項　固定資産売却代金	10,000	0	10,000	0
第６項　その他資本的収入	10,000	0	10,000	0

支　　出

区　　分	予　　算					
	当　初 予算額	補　正 予算額	流用増減額	小　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額
	円	円	円	円	円	円
第２款　用水供給事業資本的支出	2,341,193,000	118,182,000	0	2,459,375,000	366,000,000	0
第１項　施　設　費	2,144,730,000	118,182,000	0	2,262,912,000	366,000,000	0
第２項　企業債償還金	195,963,000	0	0	195,963,000	0	0
第３項　国庫補助金返還金	500,000	0	0	500,000	0	0

【上水道事業会計　合計】資本的収入額 6,895,574,860 円が、資本的支出額 15,098,198,551 円に対し不足する額 8,202,623,691 円は、1,415,170,578 円で補てんするものとする。

額		決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
継続費逓次繰越額に係る財源充当額	合計			
円	円	円	円	
0	2,495,837,000	934,415,157	△ 1,561,421,843	
0	1,063,200,000	480,000,000	△ 583,200,000	
0	370,577,000	77,000,000	△ 293,577,000	
0	679,300,000	224,400,000	△ 454,900,000	
0	382,740,000	153,015,157	△ 229,724,843	
0	10,000	0	△ 10,000	
0	10,000	0	△ 10,000	

額	決算額	翌年度繰越額			不用額	備考
合計		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合計		
円	円	円	円	円	円	
2,825,375,000	1,002,227,936	1,463,000,000	0	1,463,000,000	360,147,064	
2,628,912,000	806,765,087	1,463,000,000	0	1,463,000,000	359,146,913	(うち仮払消費税及び地方消費税 69,993,688円)
195,963,000	195,462,849	0	0	0	500,151	
500,000	0	0	0	0	500,000	

当年度分消費税資本的収支調整額 850,437,928 円、過年度分損益勘定留保資金等 5,937,015,185 円及び当年度分損益勘定留保資金

令和７年度北九州市上水道事業損益計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

（単位：円）

【 水 道 事 業 】

1 営業収益			
(1) 給水収益	13,614,784,813		
(2) 口径別納付金	324,662,030		
(3) 受託収益	206,546,541		
(4) 工業用水道負担金	21,810,083		
(5) 用水供給事業負担金	161,015,895		
(6) その他営業収益	1,101,481,578	15,430,300,940	
2 営業費用			
(1) 原水費	1,101,025,516		
(2) 浄水費	2,179,025,275		
(3) 配水費	1,173,686,688		
(4) 給水費	1,697,161,099		
(5) 量水器費	107,641,678		
(6) 受託費	194,062,197		
(7) 業務費	1,211,318,433		
(8) 緊急連絡管費	2,125,650		
(9) 総係費	910,271,946		
(10) 減価償却費	8,669,900,066		
(11) 資産減耗費	376,836,349		
(12) その他営業費用	380,821,805	18,003,876,702	
営業損失			2,573,575,762
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	409,777		
(2) 他会計補助金	24,140,000		
(3) 水力発電収益	80,542,829		
(4) 馬島給水収益	2,770,799		
(5) 宗像地区水道事業収益	1,249,154,156		
(6) 長期前受金戻入	1,209,749,910		
(7) 雑収益	185,716,880	2,752,484,351	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	668,590,851		
(2) 水力発電費	18,960,463		
(3) 馬島給水費	1,856,772		
(4) 宗像地区水道事業費	1,212,366,041		
(5) 雑支出	42,810,430	1,944,584,557	807,899,794
経常損失			1,765,675,968

5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	6,005,532	6,005,532	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	7,532,235	7,532,235	△ 1,526,703
当年度純損失			1,767,202,671
前年度繰越利益剰余金			700,235,235
その他未処分利益剰余金変動額			0
当年度未処理欠損金			1,066,967,436

【 水道用水供給事業 】

1 営業収益			
(1) 給水収益	837,442,353		
(2) 受託収益	33,510		
(3) その他営業収益	20	837,475,883	
2 営業費用			
(1) 原水費	99,668,495		
(2) 浄水費	325,510,411		
(3) 配水費	53,977,968		
(4) 受託費	33,510		
(5) 総係費	39,487,508		
(6) 減価償却費	301,505,564		
(7) 資産減耗費	74,299,018	894,482,474	
営業損失			57,006,591
3 営業外収益			
(1) 他会計補助金	1,158,000		
(2) 国県補助金	1,913,000		
(3) 長期前受金戻入	113,342,071		
(4) 雑収益	32,634	116,445,705	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	58,441,603		
(2) 雑支出	623,997	59,065,600	57,380,105
経常利益			373,514
当年度純利益			373,514
前年度繰越欠損金			1,027,878,443
その他未処分利益剰余金変動額			0
当年度未処理欠損金			1,027,504,929

令和７年度北九州市上水道

（令和７年４月１日から

【 水 道 事 業 】

	資本金	剰余金			
		資本剰余金			
		受贈財産評価額	国庫補助金	県補助金	工事負担金
前年度末残高	107,453,654,296	1,762,721,803	2,311,328,101	0	4,632,816,861
前年度処分額	0	0	0	0	0
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0
処分後残高	107,453,654,296	1,762,721,803	2,311,328,101	0	4,632,816,861
当年度変動額	121,289,000	0	0	0	0
一般会計出資金の受入	121,289,000	0	0	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0
当年度末残高	107,574,943,296	1,762,721,803	2,311,328,101	0	4,632,816,861

【 水道用水供給事業 】

	資本金	剰余金			
		資本剰余金			
		受贈財産評価額	国庫補助金	県補助金	工事負担金
前年度末残高	2,994,300,000	0	30,341,823	0	0
前年度処分額	0	0	0	0	0
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0
処分後残高	2,994,300,000	0	30,341,823	0	0
当年度変動額	224,400,000	0	0	0	0
一般会計出資金の受入	224,400,000	0	0	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0
当年度末残高	3,218,700,000	0	30,341,823	0	0

事業剰余金計算書

令和８年３月31日まで）

（単位：円）

余金						資本合計
余金		利益剰余金				
その他資本剰余金	資本剰余金合計	減債積立金	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
37,600,000	8,744,466,765	0	0	700,235,235	700,235,235	116,898,356,296
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
37,600,000	8,744,466,765	0	0	（繰越利益剰余金）700,235,235	700,235,235	116,898,356,296
0	0	0	0	△ 1,767,202,671	△ 1,767,202,671	△ 1,645,913,671
0	0	0	0	0	0	121,289,000
0	0	0	0	△ 1,767,202,671	△ 1,767,202,671	△ 1,767,202,671
37,600,000	8,744,466,765	0	0	（当年度未処理欠損金）△ 1,066,967,436	△ 1,066,967,436	115,252,442,625

（単位：円）

余金						資本合計
余金		利益剰余金				
その他資本剰余金	資本剰余金合計	減債積立金	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
0	30,341,823	0	0	△ 1,027,878,443	△ 1,027,878,443	1,996,763,380
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	30,341,823	0	0	（繰越欠損金）△ 1,027,878,443	△ 1,027,878,443	1,996,763,380
0	0	0	0	373,514	373,514	224,773,514
0	0	0	0	0	0	224,400,000
0	0	0	0	373,514	373,514	373,514
0	30,341,823	0	0	（当年度未処理欠損金）△ 1,027,504,929	△ 1,027,504,929	2,221,536,894

令和７年度北九州市上水道事業欠損金処理計算書

【 水 道 事 業 】

（単位：円）

	資　本　金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	107,574,943,296	8,744,466,765	△ 1,066,967,436
議会の議決による処理額	0	0	0
処理後残高	107,574,943,296	8,744,466,765	（繰越欠損金） △ 1,066,967,436

【 水道用水供給事業 】

（単位：円）

	資　本　金	資本剰余金	未処理欠損金
当年度末残高	3,218,700,000	30,341,823	△ 1,027,504,929
議会の議決による処理額	0	0	0
処理後残高	3,218,700,000	30,341,823	（繰越欠損金） △ 1,027,504,929

令和７年度北九州市上水道事業貸借対照表

（令和８年３月31日）

（単位：円）

【 水 道 事 業 】

資　産　の　部

1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ 土地		4,947,491,052	
ロ 立木		10,586,158	
ハ 建物	7,575,872,985		
減価償却累計額	△ 4,840,210,122	2,735,662,863	
ニ 構築物	339,854,598,096		
減価償却累計額	△ 169,041,083,184	170,813,514,912	
ホ 機械及び装置	31,590,693,363		
減価償却累計額	△ 21,107,913,429	10,482,779,934	
ヘ 量水器	4,228,055,602		
減価償却累計額	△ 1,549,990,251	2,678,065,351	
ト 車両運搬具	65,890,565		
減価償却累計額	△ 59,185,000	6,705,565	
チ 工具器具及び備品	857,101,809		
減価償却累計額	△ 570,479,789	286,622,020	
リ リース資産	363,363,700		
減価償却累計額	△ 123,861,500	239,502,200	
ヌ 建設仮勘定		3,464,899,329	
有形固定資産合計			195,665,829,384
(2) 無形固定資産			
イ ダム使用権		7,446,796,485	
ロ 施設利用権		337,930,173	
ハ その他無形固定資産		473,096,488	
無形固定資産合計			8,257,823,146
(3) 投資その他の資産			
イ 投資有価証券		27,000,000	
ロ 出資金		63,128,000	
ハ その他投資		224,599	
投資その他の資産合計			90,352,599
固定資産合計			204,014,005,129

2 流動資産			
(1) 現金預金			
イ その他預金	2,623,130,766	2,623,130,766	
(2) 未収金			
イ 営業未収金	1,893,193,965		
ロ 営業外未収金	628,591,891		
ハ その他未収金	257,127,276		
貸倒引当金	△ 3,814,247	2,775,098,885	
(3) 貯蔵品			
イ 材料	1,966,046,668	1,966,046,668	
(4) 前払金			
イ その他前払金	1,027,173,092	1,027,173,092	
流動資産合計			8,391,449,411
資産合計			212,405,454,540

負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,440,782,251	58,440,782,251	
(2) リース債務		190,746,741	
(3) 引当金			
イ 退職給付引当金	3,143,742,536	3,143,742,536	
固定負債合計			61,775,271,528
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,482,571,032	3,482,571,032	
(2) リース債務		73,973,592	

(3) 未　払　金			
イ　営業未払金	1,351,781,313		
ロ　営業外未払金	116,028,968		
ハ　貯蔵品購入未払金	166,802,174		
ニ　建設改良未払金	1,841,710,869		
ホ　その他未払金	12,013	3,476,335,337	
(4) 前　受　金			
イ　営業前受金	7,450,844	7,450,844	
(5) 引　当　金			
イ　賞与引当金	248,079,000	248,079,000	
(6) 預　り　金			
イ　預り保証金	135,603,323		
ロ　その他預り金	137,206	135,740,529	
(7) その他流動負債			
イ　還付未済金	6,645,590	6,645,590	
流動負債合計			7,430,795,924
5　繰延収益			
長期前受金		62,437,088,070	
収益化累計額		△34,490,143,607	
繰延収益合計			27,946,944,463
負　債　合　計			97,153,011,915

資　本　の　部

6　資　本　金			107,574,943,296
7　剰　余　金			
(1) 資本剰余金			
イ　受贈財産評価額	1,762,721,803		
ロ　国庫補助金	2,311,328,101		
ハ　工事負担金	4,632,816,861		
ニ　その他資本剰余金	37,600,000		
資本剰余金合計		8,744,466,765	

(2) 欠　損　金				
イ　当年度未処理欠損金		1,066,967,436		
欠損金合計			1,066,967,436	
剰余金合計				7,677,499,329
資本合計				115,252,442,625
負債資本合計				212,405,454,540

【 水道用水供給事業 】

資　産　の　部

1　固定資産				
(1) 有形固定資産				
イ　土　地			186,512,162	
ロ　建　物		144,099,516		
減価償却累計額	△	80,235,232	63,864,284	
ハ　構築物		8,066,754,126		
減価償却累計額	△	2,789,716,269	5,277,037,857	
ニ　機械及び装置		1,095,225,013		
減価償却累計額	△	745,973,195	349,251,818	
ホ　工具器具及び備品		892,461		
減価償却累計額	△	829,484	62,977	
ヘ　建設仮勘定			405,189,536	
有形固定資産合計				6,281,918,634
(2) 無形固定資産				
イ　ダム使用権			1,006,510,659	
ロ　その他無形固定資産			955,978	
無形固定資産合計				1,007,466,637
固定資産合計				7,289,385,271
2　流動資産				
(1) 現金預金				
イ　その他預金			846,723,154	846,723,154
(2) 未　収　金				
イ　営業未収金			80,205,754	
ロ　営業外未収金			42,042,600	
ハ　その他未収金			15,748,897	137,997,251

(3) 前　払　金			
イ　その他前払金	117,922,068	117,922,068	
流動資産合計			1,102,642,473
資　産　合　計			8,392,027,744

負　債　の　部

3　固定負債			
(1) 企　業　債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,117,315,414	3,117,315,414	
(2) 引　当　金			
イ　退職給付引当金	82,460,880	82,460,880	
固定負債合計			3,199,776,294
4　流動負債			
(1) 企　業　債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	199,595,980	199,595,980	
(2) 未　払　金			
イ　営業未払金	212,713,930		
ロ　建設改良未払金	382,552,223	595,266,153	
(3) 引　当　金			
イ　賞与引当金	8,365,000	8,365,000	
(4) 預　り　金			
イ　預り保証金	174,405	174,405	
流動負債合計			803,401,538
5　繰延収益			
長期前受金		3,595,574,591	
収益化累計額		△ 1,428,261,573	
繰延収益合計			2,167,313,018
負　債　合　計			6,170,490,850

資　本　の　部

6 資　本　金			3,218,700,000
7 剰　余　金			
(1) 資本剰余金			
イ 国庫補助金	30,341,823		
資本剰余金合計		30,341,823	
(2) 欠　損　金			
イ 当年度未処理欠損金	1,027,504,929		
欠損金合計		1,027,504,929	
剰余金合計			△ 997,163,106
資本合計			2,221,536,894
負債資本合計			8,392,027,744

注　記

Ⅰ　重要な会計方針に関する注記

1　資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品　　移動平均法による原価法によっている。

2　固定資産の減価償却の方法

⑴　有形固定資産（リース資産を除く）

・減価償却の方法　　定額法による。

・主な耐用年数

建物	6～60年
構築物	3～80年
機械及び装置	4～60年
量水器	8年
車両運搬具	5年
工具器具及び備品	2～40年

⑵　無形固定資産（リース資産を除く）

・減価償却の方法　　定額法による。

・主な耐用年数

ダム使用権	55年
施設利用権	20～50年
その他無形固定資産	5年

⑶　リース資産

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

3　引当金の計上方法

⑴　退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

⑵　賞与引当金

職員の期末・勤勉手当及びこれに係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

⑶　貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

4　消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

Ⅱ　キャッシュ・フロー計算書に関する注記

該当なし。

Ⅲ　貸借対照表に関する注記

賞与引当金には、法定福利費引当金42,984,000円が含まれている。

Ⅳ　セグメント情報に関する注記

報告セグメントの決定方法

上水道事業会計は、水道事業及び水道用水供給事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、水道事業及び水道用水供給事業の２つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事　業　区　分	事　　業　　の　　内　　容
水道事業	一般の需要に応じて、水道により水を供給する事業
水道用水供給事業	水道により、水道事業者に対してその用水を供給する事業

Ⅴ　減損損失に関する注記

該当なし。

Ⅵ　リース契約により使用する固定資産に関する注記

リース取引の処理方法

リース料総額が 300 万円超のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が 300 万円以下のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

Ⅶ　重要な後発事象に関する注記

該当なし。

Ⅷ　その他の注記

1　退職給付引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、退職手当として 70,663,710 円を支給するため、退職給付引当金 70,663,710 円を取り崩した。

2　賞与引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、期末・勤勉手当及びこれに係る法定福利費として 690,275,218 円を支給するため、賞与引当金 244,842,000 円を取り崩した。

3　貸倒引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、債権の不納欠損による損失のため、貸倒引当金 4,149,579 円を取り崩した。

附　属　明　細　書

令和７年度北九州市上水道事業キャッシュ・フロー計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

（単位：円）

【 水 道 事 業 】

1　業務活動によるキャッシュ・フロー		
当年度純利益（△は純損失）	△	1,767,202,671
減価償却費		8,669,900,066
固定資産除却損		325,541,980
退職給付引当金の増減額（△は減少）		101,515,574
賞与引当金の増減額（△は減少）		8,129,000
長期前受金戻入額	△	1,210,842,582
受取利息及び受取配当金	△	409,777
支払利息及び企業債取扱諸費		668,590,851
未収金の増減額（△は増加）	△	235,444,110
たな卸資産の増減額（△は増加）	△	322,139,904
未払金の増減額（△は減少）		374,101,400
その他流動負債の増減額（△は減少）		10,699,177
小計		6,622,439,004
利息及び配当金の受取額		403,793
利息及び企業債取扱諸費の支払額	△	668,590,851
業務活動によるキャッシュ・フロー		**5,954,251,946**
2　投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△	10,171,576,285
無形固定資産の取得による支出	△	247,751,897
国庫補助金等による収入		152,999,794
補助金等の返還	△	1,009,243
積立金の積立による支出	△	116,542
有価証券の取得による支出	△	740,000,000
有価証券の売却による収入		740,000,000
その他支出	△	3,000,000
その他収入		3,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△**	**10,267,454,173**
3　財務活動によるキャッシュ・フロー		
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入		5,465,000,000
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△	3,395,336,475
一般会計からの出資による収入		121,289,000
リース債務返済による支出	△	73,654,592
他会計からの借入による収入		2,600,000,000
他会計借入金の返済による支出	△	2,600,000,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		**2,117,297,933**
資金増加額（又は減少額）	**△**	**2,195,904,294**
資金期首残高		4,819,035,060
資金期末残高		2,623,130,766

【 水道用水供給事業 】

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益（△は純損失）		373,514
減価償却費		301,505,564
固定資産除却損		74,299,018
退職給付引当金の増減額（△は減少）		21,705,891
賞与引当金の増減額（△は減少）		343,000
長期前受金戻入額	△	113,342,071
支払利息		58,441,603
未収金の増減額（△は増加）	△	52,190,954
未払金の増減額（△は減少）		117,972,757
小計		409,108,322
利息の支払額	△	58,441,603
業務活動によるキャッシュ・フロー		**350,666,719**

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△	521,981,712
国庫補助金等による収入		77,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△**	**444,981,712**

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良等の財源に充てるための企業債による収入		480,000,000
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△	195,462,849
一般会計からの出資による収入		224,400,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		**508,937,151**

資金増加額（又は減少額）		**414,622,158**
資金期首残高		432,100,996
資金期末残高		846,723,154

収 益 費 用 明 細 書

【 水 道 事 業 】

款	項	目	節	金 額	備 考
1 水道事業収益				円 18,188,790,823	
	1 営業収益			15,430,300,940	
		1 給水収益		13,614,784,813	
			一般給水料	13,472,697,353	
			特別給水料	88,088,182	
			原水給水料	53,999,278	
		2 口径別納付金		324,662,030	
			口径別納付金	324,662,030	
		3 受託収益		206,546,541	
			受託収益	206,546,541	
		4 工業用水道負担金		21,810,083	
			工業用水道負担金	21,810,083	
		5 用水供給事業負担金		161,015,895	
			用水供給事業負担金	161,015,895	
		6 その他営業収益		1,101,481,578	
			材料売却収益	380,821,805	
			手数料	60,255,309	
			雑収益	660,404,464	
	2 営業外収益			2,752,484,351	
		1 受取利息及び配当金		409,777	
			受取利息及び配当金	409,777	
		2 他会計補助金		24,140,000	
			他会計補助金	24,140,000	
		3 水力発電収益		80,542,829	
			水力発電収益	80,542,829	
		4 馬島給水収益		2,770,799	
			馬島給水収益	227,266	
			馬島給水事業負担金	2,543,533	
		5 宗像地区水道事業収益		1,249,154,156	
			宗像地区水道収益	1,249,154,156	
		6 長期前受金戻入		1,209,749,910	
			受贈財産評価額	189,490,733	
			国庫補助金	510,361,725	
			県補助金	13,481,773	
			工事負担金	489,981,677	
			その他長期前受金	6,434,002	
		7 雑収益		185,716,880	
			賃貸料	54,629,477	

款	項	目	節	金　額	備　考
				円	
			不用品売却収益	53,265,576	
			発生品収益	31,494,834	
			太陽光発電収益	3,498,097	
			導水路使用料収益	13,800,000	
			退職給付引当金戻入益	21,743,803	
			その他雑収益	7,285,093	
	3　特別利益			6,005,532	
		2　過年度損益修正益		6,005,532	
			過年度損益修正益	6,005,532	
収益合計				18,188,790,823	
1　水道事業費				19,955,993,494	
	1　営業費用			18,003,876,702	
		1　原水費		1,101,025,516	
			給料	66,007,709	
			手当	37,080,743	
			法定福利費	20,648,856	
			補助交付金	199,791	
			旅費	17,333	
			動力費	254,001,902	
			薬品費	63,512,900	
			修繕費	30,383,616	
			材料費	22,604,546	
			備消耗品費	3,347,884	
			委託料	145,871,048	
			ダム負担金	437,934,329	
			燃料費	167,871	
			光熱水費	517,869	
			通信運搬費	6,241,687	
			賃借料	149,492	
			手数料	38,153	
			保険料	15,875	
			賞与引当金繰入額	12,138,000	
			雑費	145,912	
		2　浄水費		2,179,025,275	
			給料	419,597,116	
			手当	217,795,666	
			法定福利費	128,854,592	
			補助交付金	1,265,733	
			旅費	281,393	
			動力費	307,799,648	

款	項	目	節	金　額	備　考
				円	
			薬品費	485,081,393	
			修繕費	29,090,398	
			材料費	78,101,948	
			備消耗品費	24,351,198	
			委託料	401,841,304	
			燃料費	1,635,490	
			光熱水費	1,549,832	
			通信運搬費	6,197,189	
			印刷製本費	333,647	
			賃借料	2,386,220	
			手数料	2,255,964	
			保険料	385,544	
			賞与引当金繰入額	70,221,000	
		3　配水費		1,173,686,688	
			給料	139,001,160	
			手当	72,212,085	
			法定福利費	42,550,308	
			補助交付金	410,876	
			旅費	196,702	
			動力費	126,752,360	
			薬品費	2,242,800	
			修繕費	309,483,030	
			材料費	16,458,742	
			備消耗品費	6,515,393	
			委託料	380,831,547	
			燃料費	1,847,703	
			光熱水費	6,968,464	
			通信運搬費	25,711,827	
			賃借料	2,861,781	
			手数料	366,840	
			負担金	7,931,819	
			保険料	5,125,701	
			補償費	71,550	
			賞与引当金繰入額	26,146,000	
		4　給水費		1,697,161,099	
			給料	290,246,972	
			手当	137,845,739	
			法定福利費	87,633,610	
			補助交付金	874,918	
			旅費	511,314	

款	項	目	節	金　額	備　考
				円	
			修繕費	958,586,809	
			材料費	1,687,725	
			備消耗品費	2,376,246	
			委託料	164,511,676	
			燃料費	64,673	
			印刷製本費	324,285	
			賃借料	123,034	
			負担金	33,840	
			保険料	138,058	
			賞与引当金繰入額	52,091,000	
			雑費	111,200	
		5　量水器費		107,641,678	
			給料	4,782,900	
			手当	1,748,737	
			法定福利費	1,369,123	
			補助交付金	14,346	
			修繕費	95,544,676	
			材料費	280,931	
			委託料	2,799,965	
			賞与引当金繰入額	1,101,000	
		6　受託費		194,062,197	
			給料	4,826,700	
			手当	3,001,174	
			法定福利費	1,538,630	
			補助交付金	14,473	
			旅費	395	
			動力費	21,222,610	
			材料費	228,375	
			委託料	9,278,203	
			燃料費	42,296	
			光熱水費	29,385	
			通信運搬費	492,864	
			消火栓補修費	27,965,629	
			受託工事費	124,318,242	
			賃借料	29,815	
			手数料	812	
			賞与引当金繰入額	1,041,000	
			雑費	31,594	
		7　業務費		1,211,318,433	
			給料	62,997,181	

款	項	目	節	金　額	備　考
				円	
			手当	23,262,726	
			法定福利費	18,529,706	
			補助交付金	189,414	
			旅費	6,423	
			修繕費	156,000	
			備消耗品費	1,497,496	
			委託料	866,158,457	
			燃料費	9,690	
			通信運搬費	56,814,165	
			印刷製本費	424,600	
			広報費	3,740,029	
			賃借料	282,956	
			手数料	81,880,779	
			負担金	82,404,986	
			保険料	15,825	
			賞与引当金繰入額	12,948,000	
		8　緊急連絡管費		2,125,650	
			旅費	46,768	
			動力費	314,706	
			材料費	60,760	
			委託料	1,700,416	
			保険料	3,000	
		9　総係費		910,271,946	
			給料	191,631,709	
			手当	103,006,549	
			報酬費	157,092	
			法定福利費	60,006,316	
			退職給付費	193,923,087	
			補助交付金	554,228	
			厚生費	5,390,029	
			旅費	3,367,842	
			被服費	4,806,940	
			修繕費	8,455,036	
			備消耗品費	4,311,058	
			委託料	34,015,121	
			燃料費	451,035	
			光熱水費	8,892,295	
			通信運搬費	2,138,007	
			印刷製本費	509,527	
			広報費	8,816,010	

款	項	目	節	金　額	備　考
				円	
			研修費	9,704,753	
			賃借料	61,539,421	
			手数料	1,627,775	
			報償費	90,910	
			負担金	69,663,498	
			保険料	728,266	
			補償費	200,000	
			交付金	37,902,700	
			海外事業費	60,056,797	
			賞与引当金繰入額	35,581,000	
			貸倒引当金繰入額	2,744,945	
		10　減価償却費		8,669,900,066	
			有形固定資産減価償却費	7,986,894,516	
			無形固定資産減価償却費	615,021,502	
			有形リース資産減価償却費	67,984,048	
		11　資産減耗費		376,836,349	
			固定資産除却費	325,751,980	
			たな卸資産減耗費	51,084,369	
		12　その他営業費用		380,821,805	
			材料売却原価	380,821,805	
	2　営業外費用			1,944,584,557	
		1　支払利息及び企業債取扱諸費		668,590,851	
			企業債利息	667,819,134	
			一時借入金利息	749,555	
			企業債手数料	22,162	
		2　水力発電費		18,960,463	
			材料費	800,000	
			委託料	17,808,188	
			光熱水費	266,011	
			ダム管理費	86,264	
		3　馬島給水費		1,856,772	
			旅費	4,256	
			備消耗品費	12,500	
			委託料	1,175,894	
			光熱水費	57,040	
			通信運搬費	145,245	
			手数料	961	
			負担金	460,876	
		4　宗像地区水道事業費		1,212,366,041	
			給料	22,704,000	

款	項	目	節	金　額	備　考
				円	
			手当	11,162,778	
			法定福利費	6,822,710	
			補助交付金	68,077	
			旅費	339,688	
			薬品費	41,097,015	
			修繕費	872,664	
			備消耗品費	4,220,766	
			委託料	1,086,531,639	
			燃料費	78,674	
			光熱水費	25,623	
			通信運搬費	250,812	
			賃借料	761,261	
			手数料	28,978,477	
			負担金	2,887,273	
			保険料	647,584	
			賞与引当金繰入額	4,917,000	
		6　雑支出		42,810,430	
			不用品売却原価	31,494,834	
			その他雑支出	11,315,596	
	3　特別損失			7,532,235	
		1　過年度損益修正損		7,532,235	
			過年度損益修正損	7,532,235	
費用合計				19,955,993,494	

【 水道用水供給事業 】

款	項	目	節	金額	備考
2 用水供給事業収益				円 953,921,588	
	1 営業収益			837,475,883	
		1 給水収益		837,442,353	
			用水給水料	837,442,353	
		2 受託収益		33,510	
			受託収益	33,510	
		3 その他営業収益		20	
			手数料	20	
	2 営業外収益			116,445,705	
		1 他会計補助金		1,158,000	
			他会計補助金	1,158,000	
		2 国県補助金		1,913,000	
			県補助金	1,913,000	
		3 長期前受金戻入		113,342,071	
			受贈財産評価額	3,006,729	
			国庫補助金	110,062,266	
			工事負担金	46,410	
			その他長期前受金	226,666	
		4 雑収益		32,634	
			その他雑収益	32,634	
収益合計				953,921,588	
2 用水供給事業費				953,548,074	
	1 営業費用			894,482,474	
		1 原水費		99,668,495	
			給料	3,497,800	
			手当	1,764,873	
			法定福利費	995,619	
			補助交付金	10,489	
			動力費	15,109,901	
			委託料	637,602	
			ダム負担金	44,872,172	
			通信運搬費	45,309	
			上水道負担金	31,996,730	
			賞与引当金繰入額	738,000	
		2 浄水費		325,510,411	
			給料	21,388,300	
			手当	10,822,689	
			法定福利費	6,579,549	

款	項	目	節	金　額	備　考
			補助交付金	円 64,147	
			動力費	59,275,000	
			薬品費	77,292,128	
			修繕費	1,597,107	
			材料費	1,885,952	
			備消耗品費	3,121,575	
			委託料	20,122,244	
			燃料費	46,469	
			光熱水費	34,413	
			通信運搬費	38,284	
			印刷製本費	43,553	
			賃借料	76,716	
			手数料	302,675	
			上水道負担金	119,479,610	
			賞与引当金繰入額	3,340,000	
		3　配水費		53,977,968	
			給料	5,716,800	
			手当	2,750,434	
			法定福利費	1,675,131	
			補助交付金	17,136	
			旅費	30,586	
			動力費	765,438	
			薬品費	1,467,720	
			修繕費	12,860,859	
			材料費	176,800	
			備消耗品費	295,150	
			委託料	22,639,953	
			光熱水費	205,480	
			通信運搬費	4,183,546	
			負担金	313,935	
			保険料	59,000	
			賞与引当金繰入額	820,000	
		4　受託費		33,510	
			光熱水費	33,510	
		5　総係費		39,487,508	
			退職給付費	21,705,891	
			備消耗品費	29,216	
			通信運搬費	45,734	
			賃借料	303,653	
			負担金	344,106	

款	項	目	節	金　額	備　考
			交　付　金	円 7,519,353	
			上水道負担金	9,539,555	
		6　減価償却費		301,505,564	
			有形固定資産減価償却費	235,220,124	
			無形固定資産減価償却費	66,285,440	
		7　資産減耗費		74,299,018	
			固定資産除却費	74,299,018	
	2　営業外費用			59,065,600	
		1　支払利息及び企業債取扱諸費		58,441,603	
			企業債利息	58,441,603	
		3　雑　支　出		623,997	
			その他雑支出	623,997	
費用合計				953,548,074	

【 水 道 事 業 】

(1) 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
	円	円	円	円
土地	4,947,491,052	0	0	4,947,491,052
立木	10,586,158	0	0	10,586,158
建物	7,313,420,075	263,543,157	1,090,247	7,575,872,985
事務所用建物	1,215,662,980	5,670,054	0	1,221,333,034
施設用建物	5,564,413,710	256,578,294	1,090,247	5,819,901,757
公舎用建物	9,995,000	0	0	9,995,000
その他建物	523,348,385	1,294,809	0	524,643,194
構築物	333,719,669,399	6,526,223,752	391,295,055	339,854,598,096
取水設備	5,781,252,380	17,979,938	0	5,799,232,318
導水設備	40,568,845,205	78,682,667	0	40,647,527,872
浄水設備	18,207,172,859	159,964,103	866,306	18,366,270,656
送水設備	42,993,014,476	338,091,361	65,375,092	43,265,730,745
配水設備	220,360,079,482	5,896,836,702	322,093,765	225,934,822,419
その他構築物	5,809,304,997	34,668,981	2,959,892	5,841,014,086
機械及び装置	30,265,225,305	1,973,640,567	648,172,509	31,590,693,363
電気設備	14,960,753,742	1,051,840,542	368,403,012	15,644,191,272
ポンプ設備	4,661,005,334	228,130,372	61,194,476	4,827,941,230
滅菌設備	228,857,173	0	0	228,857,173
薬品注入設備	694,523,744	413,467,372	8,039,500	1,099,951,616
計装設備	3,297,884,031	164,685,131	180,589,831	3,281,979,331
その他機械及び装置	6,422,201,281	115,517,150	29,945,690	6,507,772,741
量水器	3,945,949,049	804,812,505	522,705,952	4,228,055,602
車両運搬具	62,300,000	3,590,565	0	65,890,565
工具器具及び備品	830,793,027	41,377,283	15,068,501	857,101,809
リース資産	363,363,700	0	0	363,363,700
小計	381,458,797,765	9,613,187,829	1,578,332,264	389,493,653,330
建設仮勘定	3,205,024,522	8,923,522,365	8,663,647,558	3,464,899,329
合計	384,663,822,287	18,536,710,194	10,241,979,822	392,958,552,659

明　細　書

減価償却累計額				年度末償却未済高
前年度末累計	当年度増加額	当年度減少額	累計	
円	円	円	円	円
－	－	－	－	4,947,491,052
－	－	－	－	10,586,158
4,714,110,438	127,117,485	1,017,801	4,840,210,122	2,735,662,863
751,900,816	20,432,303	0	772,333,119	448,999,915
3,611,825,488	95,176,824	1,017,801	3,705,984,511	2,113,917,246
7,745,117	197,901	0	7,943,018	2,051,982
342,639,017	11,310,457	0	353,949,474	170,693,720
162,738,806,042	6,630,027,414	327,750,272	169,041,083,184	170,813,514,912
3,727,725,152	69,596,561	0	3,797,321,713	2,001,910,605
25,507,982,659	674,749,746	0	26,182,732,405	14,464,795,467
10,642,434,076	287,415,091	463,122	10,929,386,045	7,436,884,611
18,891,853,031	925,425,112	22,366,958	19,794,911,185	23,470,819,560
99,693,689,547	4,586,984,848	302,108,295	103,978,566,100	121,956,256,319
4,275,121,577	85,856,056	2,811,897	4,358,165,736	1,482,848,350
20,902,716,424	809,852,650	604,655,645	21,107,913,429	10,482,779,934
8,817,121,570	466,532,542	343,677,211	8,939,976,901	6,704,214,371
4,116,987,984	52,788,546	57,855,695	4,111,920,835	716,020,395
190,409,620	4,687,042	0	195,096,662	33,760,511
474,150,613	15,230,838	7,637,524	481,743,927	618,207,689
2,233,726,096	133,299,915	167,333,403	2,199,692,608	1,082,286,723
5,070,320,541	137,313,767	28,151,812	5,179,482,496	1,328,290,245
1,550,902,874	374,980,365	375,892,988	1,549,990,251	2,678,065,351
59,185,000	0	0	59,185,000	6,705,565
539,878,263	44,916,602	14,315,076	570,479,789	286,622,020
55,877,452	67,984,048	0	123,861,500	239,502,200
190,561,476,493	8,054,878,564	1,323,631,782	197,292,723,275	192,200,930,055
－	－	－	－	3,464,899,329
190,561,476,493	8,054,878,564	1,323,631,782	197,292,723,275	195,665,829,384

(2) 無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額
	円	円	円
ダム使用権	7,834,140,009	0	0
施設利用権	358,802,444	0	0
その他無形固定資産	503,885,299	247,751,897	71,735,001
合計	8,696,827,752	247,751,897	71,735,001

(3) 投資その他の資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額
	円	円	円
投資有価証券	27,000,000	0	0
出資金	63,128,000	0	0
その他投資	106,109	118,490	0
合計	90,234,109	118,490	0

当年度減価償却高	年度末現在高	備考
円 387,343,524	円 7,446,796,485	
20,872,271	337,930,173	
206,805,707	473,096,488	
615,021,502	8,257,823,146	

年度末現在高	備考
円 27,000,000	
63,128,000	
224,599	
90,352,599	

【 水道用水供給事業 】

(1) 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
	円	円	円	円
土地	186,512,162	0	0	186,512,162
建物	144,099,516	0	0	144,099,516
事務所建物	14,664	0	0	14,664
施設用建物	135,985,346	0	0	135,985,346
その他建物	8,099,506	0	0	8,099,506
構築物	7,829,628,124	344,949,062	107,823,060	8,066,754,126
取水設備	117,320,616	0	0	117,320,616
導水設備	147,952,049	0	0	147,952,049
浄水設備	360,571,136	14,416,033	0	374,987,169
送水設備	7,137,592,664	326,943,740	107,823,060	7,356,713,344
その他構築物	66,191,659	3,589,289	0	69,780,948
機械及び装置	1,026,960,124	71,824,421	3,559,532	1,095,225,013
電気設備	510,046,791	20,368,443	715,638	529,699,596
ポンプ設備	106,556,637	0	0	106,556,637
滅菌設備	32,056,493	0	0	32,056,493
薬品注入設備	0	1,974,009	0	1,974,009
計装設備	119,687,854	46,292,249	2,609,293	163,370,810
その他機械及び装置	258,612,349	3,189,720	234,601	261,567,468
工具器具及び備品	893,881	0	1,420	892,461
小計	9,188,093,807	416,773,483	111,384,012	9,493,483,278
建設仮勘定	58,708,103	763,254,916	416,773,483	405,189,536
合計	9,246,801,910	1,180,028,399	528,157,495	9,898,672,814

(2) 無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額
	円	円	円
ダム使用権	1,072,282,640	0	0
その他無形固定資産	1,469,437	0	0
合計	1,073,752,077	0	0

減価償却累計額				年度末償却未済高
前年度末累計	当年度増加額	当年度減少額	累計	
円 −	円 −	円 −	円 −	円 186,512,162
75,980,169	4,255,063	0	80,235,232	63,864,284
2,900	725	0	3,625	11,039
73,357,345	3,930,175	0	77,287,520	58,697,826
2,619,924	324,163	0	2,944,087	5,155,419
2,639,559,190	184,121,309	33,964,230	2,789,716,269	5,277,037,857
62,893,069	4,378,063	0	67,271,132	50,049,484
121,608,730	8,530,980	0	130,139,710	17,812,339
185,259,700	11,853,759	0	197,113,459	177,873,710
2,225,593,866	156,950,481	33,964,230	2,348,580,117	5,008,133,227
44,203,825	2,408,026	0	46,611,851	23,169,097
702,259,384	46,833,226	3,119,415	745,973,195	349,251,818
343,633,287	19,944,439	640,588	362,937,138	166,762,458
86,265,754	6,163,265	0	92,429,019	14,127,618
26,349,190	1,882,085	0	28,231,275	3,825,218
0	0	0	0	1,974,009
66,678,838	5,676,124	2,478,827	69,876,135	93,494,675
179,332,315	13,167,313	0	192,499,628	69,067,840
820,307	10,526	1,349	829,484	62,977
3,418,619,050	235,220,124	37,084,994	3,616,754,180	5,876,729,098
−	−	−	−	405,189,536
3,418,619,050	235,220,124	37,084,994	3,616,754,180	6,281,918,634

当年度減価償却高	年度末現在高	備考
円 65,771,981	円 1,006,510,659	
513,459	955,978	
66,285,440	1,007,466,637	

企 業 債 明 細 書

【 水 道 事 業 】

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
第五期拡張事業	平成 8.10.31	円 475,000,000	円 26,409,413	円 461,487,497	円 13,512,503		% 3.1	令和 8. 9.25	財政融資資金	
	9.11.10	542,000,000	26,942,714	500,464,322	41,535,678		2.2	9. 9.25	財政融資資金	
	10. 3.30	373,000,000	20,414,655	373,000,000	0		2.2	8. 3.20	地方公共団体金融機構	
	10.11.30	373,000,000	16,507,082	330,931,309	42,068,691		1.1	10. 9.25	財政融資資金	
	11. 3.25	420,000,000	20,046,859	357,284,334	62,715,666		2.1	11. 3. 1	財政融資資金	
	11. 3.30	280,000,000	14,859,181	264,827,139	15,172,861		2.1	9. 3.20	地方公共団体金融機構	
	12. 3.24	360,000,000	16,712,513	289,722,529	70,277,471		2.0	12. 3. 1	財政融資資金	
	12. 3.30	240,000,000	12,373,450	214,501,982	25,498,018		2.0	10. 3.20	地方公共団体金融機構	
計		3,063,000,000	154,265,867	2,792,219,112	270,780,888					
浄水場整備事業	平成 9. 3.25	452,000,000	24,062,353	427,259,186	24,740,814		2.8	令和 9. 3. 1	財政融資資金	
	9. 3.25	277,000,000	14,746,176	261,838,040	15,161,960		2.8	9. 3. 1	財政融資資金	
	10. 3.25	162,000,000	7,895,592	145,705,263	16,294,737		2.1	10. 3. 1	財政融資資金	
	10. 3.30	183,000,000	10,015,769	183,000,000	0		2.2	8. 3.20	地方公共団体金融機構	
	11. 3.30	299,000,000	15,867,482	282,797,552	16,202,448		2.1	9. 3.20	地方公共団体金融機構	
	12. 3.30	273,000,000	14,074,800	243,996,004	29,003,996		2.0	10. 3.20	地方公共団体金融機構	
	12. 9.25	411,000,000	20,979,736	356,687,167	54,312,833		2.0	10. 9. 1	財政融資資金	
	13. 3.29	36,000,000	1,780,962	30,472,599	5,527,401		1.7	11. 3.20	地方公共団体金融機構	
	13.10.30	217,000,000	11,392,453	187,558,268	29,441,732		1.9	10. 9.25	財政融資資金	
	13.10.30	137,000,000	6,855,451	111,902,476	25,097,524		2.0	11. 9.20	地方公共団体金融機構	

種　類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備　考
			当年度償還高	償還高累計						
浄水場整備事業	平成14. 3.28	円 160,000,000	円 8,023,132	円 126,092,978	円 33,907,022		% 2.2	令和 12. 3.20	地方公共団体金融機構	
	15. 3.25	525,000,000	22,211,813	361,848,820	163,151,180		1.2	15. 3. 1	財政融資資金	
	15. 3.25	1,000,000,000	42,308,215	689,235,847	310,764,153		1.2	15. 3. 1	財政融資資金	
	15. 3.25	362,000,000	16,994,648	273,510,734	88,489,266		1.35	13. 3.20	地方公共団体金融機構	
	16. 3.25	249,000,000	10,674,994	155,502,206	93,497,794		2.0	16. 3. 1	財政融資資金	
計		4,743,000,000	227,883,576	3,837,407,140	905,592,860					
送配水施設整備事業	平成7.10.31	810,000,000	23,163,522	810,000,000	0		3.15	令和7. 9.25	財政融資資金	
	8.11.29	611,000,000	33,970,845	593,618,654	17,381,346		3.1	8. 9.25	財政融資資金	
	9.12.25	1,100,000,000	54,680,784	1,015,702,497	84,297,503		2.2	9. 9.25	財政融資資金	
	10. 3.30	37,000,000	2,015,003	37,000,000	0		2.15	8. 3.20	地方公共団体金融機構	
	10. 3.30	783,000,000	42,854,356	783,000,000	0		2.2	8. 3.20	地方公共団体金融機構	
	11. 1.20	1,300,000,000	58,555,925	1,150,247,171	149,752,829		1.3	10. 9.25	財政融資資金	
	11. 3.30	571,000,000	30,302,114	540,058,200	30,941,800		2.1	9. 3.20	地方公共団体金融機構	
	11. 3.30	208,000,000	11,038,248	196,728,731	11,271,269		2.1	9. 3.20	地方公共団体金融機構	
	12. 3.10	1,148,000,000	53,294,348	923,892,955	224,107,045		2.0	12. 3. 1	財政融資資金	
	12. 3.30	296,000,000	15,260,588	264,552,444	31,447,556		2.0	10. 3.20	地方公共団体金融機構	
	12. 3.30	284,000,000	14,641,916	253,827,345	30,172,655		2.0	10. 3.20	地方公共団体金融機構	
	13. 2.28	731,000,000	32,952,242	575,612,972	155,387,028		1.7	12. 9.25	財政融資資金	
	13. 3.21	500,000,000	22,880,000	500,000,000	0		1.5	8. 3.20	地方公務員共済組合連合会	
	13. 3.29	1,104,000,000	54,616,162	934,493,043	169,506,957		1.7	11. 3.20	地方公共団体金融機構	
	13. 3.29	221,000,000	10,893,797	187,223,663	33,776,337		1.65	11. 3.20	地方公共団体金融機構	

種　類	発　行 年月日	発 行 総 額	償　還　高		未償還残高	発行 価額	利 率	償　還 終　期	借入先	備　考
			当年度償還高	償還高累計						
送配水施設 整備事業	平成 13. 9.25	円 1,766,000,000	円 79,573,021	円 1,298,881,504	円 467,118,496		% 2.0	令和 13. 9. 1	財政融資 資　金	
	14. 3.20	500,000,000	22,720,000	477,120,000	22,880,000		2.0	9. 3.19	地方公務員 共済組合 連合会	
	14. 3.28	1,361,000,000	68,246,768	1,072,578,389	288,421,611		2.2	12. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	14. 3.28	12,000,000	601,735	9,456,973	2,543,027		2.2	12. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	15. 2.20	315,000,000	14,844,267	245,768,211	69,231,789		1.3	12. 9.20	地　方 公共団体 金融機構	
	15. 2.28	1,695,000,000	72,838,052	1,195,956,979	499,043,021		1.4	14. 9.25	財政融資 資　金	
	15. 3.25	1,710,000,000	80,278,582	1,291,998,210	418,001,790		1.35	13. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	15. 3.25	222,000,000	10,394,112	167,960,290	54,039,710		1.3	13. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	16. 3.25	1,064,000,000	45,615,234	664,475,284	399,524,716		2.0	16. 3. 1	財政融資 資　金	
	16. 3.30	1,651,000,000	78,283,668	1,148,896,625	502,103,375		1.9	14. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	17. 3.25	1,107,000,000	46,613,193	640,613,329	466,386,671		2.1	17. 3. 1	財政融資 資　金	
	17. 3.30	1,184,000,000	55,430,999	761,797,997	422,202,003		2.1	15. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	17. 3.30	144,000,000	6,741,608	92,651,106	51,348,894		2.1	15. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	17. 3.30	213,000,000	9,971,962	137,046,429	75,953,571		2.1	15. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	18. 3.27	1,363,000,000	56,206,230	731,366,020	631,633,980		2.1	18. 3. 1	財政融資 資　金	
	18. 3.30	350,000,000	16,013,680	209,742,895	140,257,105		2.0	16. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	18. 3.30	1,521,000,000	69,590,875	911,482,694	609,517,306		2.0	16. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	18. 3.30	110,000,000	5,032,871	65,919,194	44,080,806		2.0	16. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	19. 3.26	1,749,000,000	70,632,695	866,364,252	882,635,748		2.1	19. 3. 1	財政融資 資　金	
	19. 3.29	1,237,000,000	55,572,011	679,560,206	557,439,794		2.15	17. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	
	19. 3.29	45,000,000	2,020,544	24,783,520	20,216,480		2.1	17. 3.20	地　方 公共団体 金融機構	

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
送配水施設整備事業	平成 20. 3.25	円 1,278,000,000	円 50,544,533	円 581,443,642	円 696,556,358		% 2.1	令和 20. 3. 1	財政融資資金	
	20. 3.28	1,021,000,000	44,896,124	516,466,657	504,533,343		2.1	18. 3.20	地方公共団体金融機構	
	21. 3.25	834,000,000	32,432,693	351,495,401	482,504,599		1.9	21. 3. 1	財政融資資金	
	21. 3.30	45,000,000	1,941,213	21,038,268	23,961,732		1.9	19. 3.20	地方公共団体金融機構	
	21. 3.30	436,000,000	18,808,205	203,837,456	232,162,544		1.9	19. 3.20	地方公共団体金融機構	
	21. 3.30	56,000,000	2,415,733	26,180,958	29,819,042		1.9	19. 3.20	地方公共団体金融機構	
	22. 3.25	1,734,000,000	65,772,924	653,166,493	1,080,833,507		2.1	22. 3. 1	財政融資資金	
	22. 3.30	70,000,000	2,957,673	29,511,326	40,488,674		2.0	20. 3.20	地方公共団体金融機構	
	22. 3.30	572,000,000	21,696,720	215,462,073	356,537,927		2.1	22. 3.20	地方公共団体金融機構	
	22. 3.30	50,000,000	1,896,567	18,834,098	31,165,902		2.1	22. 3.20	地方公共団体金融機構	
	23. 3.25	1,383,000,000	51,786,176	476,318,407	906,681,593		1.9	23. 3. 1	財政融資資金	
	23. 3.30	45,000,000	1,685,016	15,498,429	29,501,571		1.9	23. 3.20	地方公共団体金融機構	
	23. 3.30	50,000,000	1,872,241	17,220,479	32,779,521		1.9	23. 3.20	地方公共団体金融機構	
	23. 3.30	1,850,000,000	69,272,903	637,157,668	1,212,842,332		1.9	23. 3.20	地方公共団体金融機構	
	24. 3.26	383,000,000	14,210,868	119,638,415	263,361,585		1.7	24. 3. 1	財政融資資金	
	24. 3.29	217,000,000	8,051,588	67,784,689	149,215,311		1.7	24. 3.20	地方公共団体金融機構	
	25. 3.25	2,000,000,000	73,810,929	560,724,895	1,439,275,105		1.5	25. 3. 1	財政融資資金	
	26. 3.25	1,800,000,000	65,884,508	442,459,544	1,357,540,456		1.4	26. 3. 1	財政融資資金	
	27. 3.25	3,463,000,000	126,918,714	739,226,731	2,723,773,269		1.2	27. 3. 1	財政融資資金	
	28. 3.25	3,600,000,000	138,270,917	684,501,099	2,915,498,901		0.5	28. 3. 1	財政融資資金	
	28. 3.25	1,040,000,000	39,944,931	197,744,762	842,255,238		0.5	28. 3. 1	財政融資資金	

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
送配水施設整備事業	平成 28. 9. 6	円 2,000,000,000	円 66,400,000	円 605,600,000	円 1,394,400,000	額面100円につき100円	% 0.387	令和 28. 9. 6	市場公募	
	29. 3.27	2,310,000,000	87,468,156	346,750,347	1,963,249,653		0.6	29. 3. 1	財政融資資金	
	31. 3.25	3,000,000,000	113,512,400	226,459,359	2,773,540,641		0.5	31. 3. 1	財政融資資金	
	令和 2. 3.25	3,000,000,000	115,732,915	115,732,915	2,884,267,085		0.3	32. 3. 1	財政融資資金	
	2. 3.25	150,000,000	5,786,646	5,786,646	144,213,354		0.3	32. 3. 1	財政融資資金	
	3. 3.25	3,140,000,000	0	0	3,140,000,000		0.5	33. 3. 1	財政融資資金	
	3. 3.25	910,000,000	0	0	910,000,000		0.5	33. 3. 1	財政融資資金	
	3. 3.25	150,000,000	0	0	150,000,000		0.5	33. 3. 1	財政融資資金	
	4. 3.25	2,950,000,000	0	0	2,950,000,000		0.7	34. 3. 1	財政融資資金	
	4. 3.25	660,000,000	0	0	660,000,000		0.7	34. 3. 1	財政融資資金	
	4. 3.25	1,070,000,000	36,896,552	110,689,656	959,310,344		0.178	14. 3.25	銀行等引受債引受団等	
	5. 3.27	1,588,900,000	0	0	1,588,900,000		1.3	35. 3. 1	財政融資資金	
	5. 3.27	24,100,000	0	0	24,100,000		1.3	35. 3. 1	財政融資資金	
	5. 3.28	1,144,000,000	127,111,110	254,222,220	889,777,780		0.35	15. 3.28	銀行等引受債引受団等	
	6. 3.25	727,600,000	0	0	727,600,000		1.4	36. 3. 1	財政融資資金	
	6. 3.25	34,300,000	0	0	34,300,000		1.4	36. 3. 1	財政融資資金	
	6. 3.25	1,661,300,000	0	0	1,661,300,000		1.4	36. 3. 1	財政融資資金	
	6. 3.25	58,000,000	0	0	58,000,000		1.4	36. 3. 1	財政融資資金	
	6. 3.25	857,000,000	0	0	857,000,000		1.4	36. 3. 1	財政融資資金	
	6. 3.28	970,800,000	107,866,666	107,866,666	862,933,334		0.52	16. 3.28	銀行等引受債引受団等	
	7. 3.25	9,000,000	0	0	9,000,000		2.1	37. 3. 1	財政融資資金	

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
送配水施設整備事業	令和 7. 3.25	円 1,276,000,000	円 0	円 0	円 1,276,000,000		% 2.1	令和 37. 3. 1	財政融資資金	
	7. 3.25	2,147,000,000	0	0	2,147,000,000		2.1	37. 3. 1	財政融資資金	
	7. 3.25	100,000,000	0	0	100,000,000		2.1	37. 3. 1	財政融資資金	
	7. 3.28	1,500,000,000	0	0	1,500,000,000		1.319	17. 3.28	銀行等引受債引受団等	
	8. 3.25	623,000,000	0	0	623,000,000		3.0	38. 3. 1	財政融資資金	
	8. 3.27	4,842,000,000	0	0	4,842,000,000		1.659	18. 3.27	銀行等引受債引受団等	
計		87,853,000,000	2,824,187,578	29,809,197,081	58,043,802,919					
水力発電事業	平成 8. 3.14	160,000,000	8,091,714	160,000,000	0		3.15	令和 8. 3. 1	財政融資資金	
計		160,000,000	8,091,714	160,000,000	0					
藍島・馬島水道整備事業	平成 9. 1.31	75,000,000	4,088,822	72,911,016	2,088,984		2.9	令和 8. 9.25	財政融資資金	
	9. 8.29	273,000,000	14,396,390	258,212,284	14,787,716		2.7	9. 3.25	財政融資資金	
	10. 8.31	64,000,000	3,064,333	57,694,719	6,305,281		1.9	10. 3.25	財政融資資金	
	11. 3.30	3,000,000	159,205	2,837,433	162,567		2.1	9. 3.20	地方公共団体金融機構	
	11. 7.30	30,000,000	1,420,703	25,564,247	4,435,753		2.0	11. 3.25	財政融資資金	
計		445,000,000	23,129,453	417,219,699	27,780,301					
小倉北営業所建設負担金	平成 9. 3.25	12,000,000	638,823	11,343,164	656,836		% 2.8	令和 9. 3. 1	財政融資資金	
	10. 3.25	25,000,000	1,218,456	22,485,379	2,514,621		2.1	10. 3. 1	財政融資資金	
	10. 3.30	100,000,000	5,473,098	100,000,000	0		2.2	8. 3.20	地方公共団体金融機構	
	11. 3.25	35,000,000	1,670,571	29,773,695	5,226,305		2.1	11. 3. 1	財政融資資金	
	11. 3.30	188,000,000	9,976,879	177,812,507	10,187,493		2.1	9. 3.20	地方公共団体金融機構	
計		360,000,000	18,977,827	341,414,745	18,585,255					

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
水道工事事務所建設事業	平成 11. 3.25	円 100,000,000	円 4,773,062	円 85,067,698	円 14,932,302		% 2.1	令和 11. 3. 1	財政融資資金	
	11. 3.30	400,000,000	21,227,400	378,324,484	21,675,516		2.1	9. 3.20	地方公共団体金融機構	
計		500,000,000	26,000,462	463,392,182	36,607,818					
北部福岡緊急連絡管事業	平成 19. 3.30	66,600,000	2,148,387	21,483,870	45,116,130		0.0	令和 29. 3.10	福岡県市町村振興資金	
	20. 3.27	660,500,000	21,306,451	191,758,059	468,741,941		0.0	30. 3.10	福岡県市町村振興資金	
	21. 3.27	1,176,100,000	37,938,709	303,509,672	872,590,328		0.0	31. 3.10	福岡県市町村振興資金	
	22. 3.30	1,593,600,000	51,406,451	359,845,157	1,233,754,843		0.0	32. 3.10	福岡県市町村振興資金	
計		3,496,800,000	112,799,998	876,596,758	2,620,203,242					
合計		100,620,800,000	3,395,336,475	38,697,446,717	61,923,353,283					

【 水 道 用 水 供 給 事 業 】

(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債

種　類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備　考
			当年度償還高	償還高累計						
水道用水供給事業	平成 19. 3.29	円 35,800,000	円 1,608,309	円 19,667,143	円 16,132,857		% 2.15	令和 17. 3.20	地方公共団体金融機構	
	20. 3.28	14,200,000	624,413	7,182,984	7,017,016		2.1	18. 3.20	地方公共団体金融機構	
	20. 3.28	552,800,000	24,308,107	279,630,527	273,169,473		2.1	18. 3.20	地方公共団体金融機構	
	21. 3.30	61,900,000	2,670,248	28,939,309	32,960,691		1.9	19. 3.20	地方公共団体金融機構	
	21. 3.30	1,568,900,000	67,679,341	733,487,582	835,412,418		1.9	19. 3.20	地方公共団体金融機構	
	22. 3.30	365,500,000	15,443,278	154,091,278	211,408,722		2.0	20. 3.20	地方公共団体金融機構	
	22. 3.30	1,326,800,000	50,327,287	499,781,606	827,018,394		2.1	22. 3.20	地方公共団体金融機構	
	23. 3.30	660,000,000	24,713,576	227,310,304	432,689,696		1.9	23. 3.20	地方公共団体金融機構	
	23. 3.30	105,000,000	3,931,705	36,163,002	68,836,998		1.9	23. 3.20	地方公共団体金融機構	
	26. 3.25	48,000,000	1,756,920	11,798,920	36,201,080		1.4	26. 3. 1	財政融資資金	
	27. 3.25	20,000,000	732,999	4,269,285	15,730,715		1.2	27. 3. 1	財政融資資金	
	令和 6. 3.28	15,000,000	1,666,666	1,666,666	13,333,334		0.52	16. 3.28	銀行等引受債引受団等	
	7. 3.27	59,000,000	0	0	59,000,000		2.1	37. 3.20	地方公共団体金融機構	
	7. 3.28	8,000,000	0	0	8,000,000		1.319	17. 3.28	銀行等引受債引受団等	
	8. 3.30	80,000,000	0	0	80,000,000		3.0	38. 3.20	地方公共団体金融機構	
	8. 3.30	400,000,000	0	0	400,000,000		3.0	38. 3.20	地方公共団体金融機構	
計		5,320,900,000	195,462,849	2,003,988,606	3,316,911,394					
合計		5,320,900,000	195,462,849	2,003,988,606	3,316,911,394					

北九州市上水道事業報告書

1　概　　況

(1)　総括事項

令和７年度は、令和３年３月に策定した「北九州市上下水道事業基本計画 2030（令和３～12年度）」及び「北九州市上下水道事業中期経営計画 2025（令和３～７年度）」に基づき、着実に事業を推進するとともに、経費削減や増収対策などの経営基盤の維持に努めた。

事業面では、引き続き施設の長寿命化や改築・更新、災害対策及び事業の広域連携や国際技術協力を行うとともに、DX の推進にも取り組んだ。

また財政面では、上水道事業会計全体の単年度資金収支は、972,574 千円のマイナスとなったが、令和７年度末の累積では 3,169,620 千円の資金剰余を確保している。

ア　業務量

【水道事業】

本年度の給水戸数は 512,127 戸で、前年度に比べ 1,010 戸（0.2％）増加した。また、給水普及率は前年度と同じ 99.7％であった。

配水量は104,150 千㎥で、前年度に比べ488 千㎥（0.5％）減少し、有収水量は93,505 千㎥で、前年度に比べ913 千㎥（1.0％）減少した。この結果、有収率は89.8％となった。

【水道用水供給事業】

平成 23 年度から宗像地区事務組合と新宮町、平成 27 年度から岡垣町、さらに平成 28 年度から古賀市、平成 29 年度から香春町への供給を開始し、供給先は計５事業者となった。また、令和７年度から宗像地区事務組合及び古賀市への給水量を計画どおり増量したことから、給水量は 8,575 千㎥で、前年度に比べ 1,602 千㎥（23.0％）増加し、有収水量は 8,507 千㎥で、1,544 千㎥（22.2％）増加した。この結果、有収率は 99.2％となった。

イ　財政状況

【水道事業】

収益的収支では、収入 18,188,791 千円に対し、支出 19,955,994 千円で差引き 1,767,203 千円の損失が生じた。

一方、資本的収支では、整備費や企業債償還金等の執行により、8,134,811 千円の不足が生じたが、損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度資金収支は 1,032,016 千円のマイナスとなり、令和７年度末の累積では 2,905,641 千円の資金剰余となった。

【水道用水供給事業】

収益的収支では、収入 953,922 千円に対し、支出 953,548 千円で差引き 374 千円の利益が生じた。

資本的収支では、整備費や企業債償還金等の執行により、67,813 千円の不足が生じたが、損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度資金収支は 59,442 千円のプラスとなり、令和７年度末の累積では 263,979 千円の資金剰余となった。

ウ　建設改良工事

【水道事業】

安定給水を図るため、老朽管の更新・耐震化工事を積極的に行い、配水管整備及び配水管改良事業として配水管等の新設・布設替などに 4,257,418 千円を執行した。

また、浄水場整備として穴生浄水場東西系受配電設備電気計装工事などに 2,118,971 千円、導送水施設整備として穴生浄水場～永犬丸配水池 ϕ 450 送水管布設替工事（7 － 1 工区）などに 108,026 千円、送配水施設整備として八重洲分岐～城野分岐 ϕ 1000 送水管布設工事（7 － 1）などに 205,883 千円を執行した。

【水道用水供給事業】

浄水場整備として本城浄水場濃縮槽耐震補強他工事などに30,843千円、導送水施設整備として医王寺分岐～医王寺配水池用水供給管布設替工事（7－2工区）などに520,577千円を執行した。

(2) 経営指標に関する事項

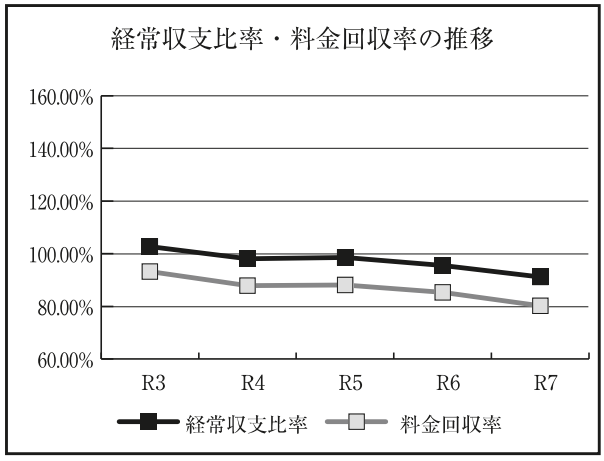
【水道事業】

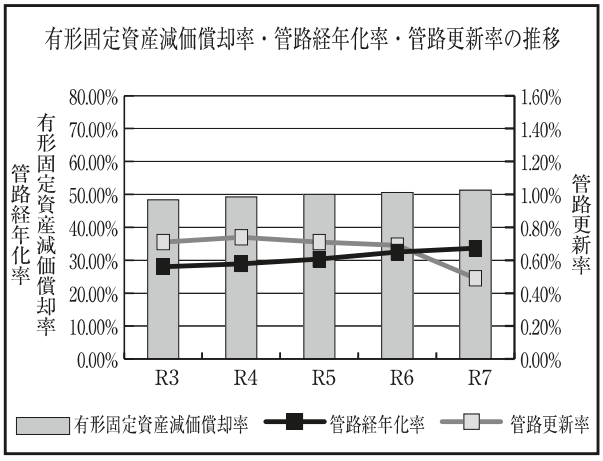
令和7年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、浄化費用や減価償却費等の増に伴う営業費用の増加等により前年度比4.36ポイント減の91.15％となり、健全経営の水準とされる100％を下回った。また、料金水準の妥当性を示す料金回収率は、前年度比5.05ポイント減の80.25％となり、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる100％を下回っている。

償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比0.7ポイント増の51.31％、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率は前年度比1.12ポイント増の33.63％と施設の老朽化が進んでいるのに対して、当該年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は0.49％で前年度比0.20ポイント減となっている。高度経済成長以降、集中的に整備した水道施設の更新時期が到来することから、将来の更新需要に備え、現在の経営状況を維持しつつ、計画的な施設更新を行う。

＜経営指標の推移＞

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
経常収支比率	102.71%	98.06%	98.57%	95.51%	91.15%
料金回収率	93.24%	87.90%	88.09%	85.30%	80.25%
有形固定資産減価償却率	48.37%	49.23%	50.02%	50.61%	51.31%
管路経年化率	27.99%	28.93%	30.33%	32.51%	33.63%
管路更新率	0.71%	0.74%	0.71%	0.69%	0.49%





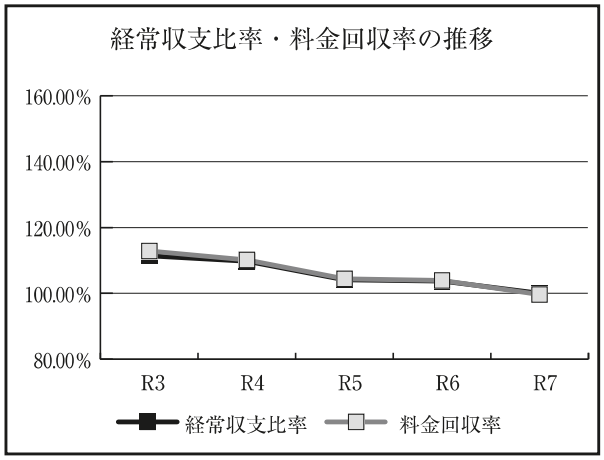
【水道用水供給事業】

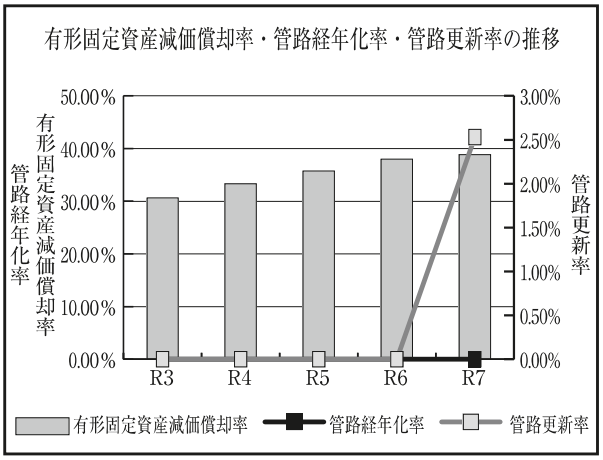
令和７年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、維持管理費の増に伴う営業費用の増加等により、前年度比 3.66 ポイント減の 100.04％となり、健全経営の水準とされる 100％を上回った。また、料金水準の妥当性を示す料金回収率は、前年度比 4.23 ポイント減の 99.68％となり、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる 100％を下回っている。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比 0.88 ポイント増の 38.86％となっている。平成 23 年 4 月より供用開始した用水供給事業は、資産が新しいため、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率は 0.00％となっている。また、当該年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は前年度比 2.53 ポイント増の 2.53％であり、現時点では管路の老朽化等の問題は生じていないものの、現在の経営状況を維持しつつ、計画的な施設更新を行う。

＜経営指標の推移＞

	３年度	４年度	５年度	６年度	７年度
経常収支比率	111.42%	109.75%	104.16%	103.70%	100.04%
料金回収率	112.88%	110.13%	104.43%	103.91%	99.68%
有形固定資産減価償却率	30.64%	33.29%	35.73%	37.98%	38.86%
管路経年化率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
管路更新率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.53%





⑶　議会議決事項

議案番号	件　　名	提出年月日	議決年月日
第 107 号	令和 6 年度北九州市上水道事業会計決算について	令和 7. 9. 4	令和 7.10. 2
第 22 号	令和 8 年度北九州市上水道事業会計予算	8. 2.19	8. 3.25
第 62 号	令和 7 年度北九州市上水道事業会計補正予算（第 1 号）	8. 2.19	8. 3.10

（報告事項）　令和 6 年度北九州市上水道事業会計予算の繰越し報告について（報告第 8 号）

⑷　行政官庁許認可事項

該当事項なし。

⑸ 職員に関する事項

【水道事業】

令和８年３月末の職員数は 302 人で、その内訳は次のとおりである。

区分	職種	本年度	前年度	増△減
損益勘定支弁職員	事務職	60人	61人	△ 1人
	技術職	207	209	△ 2
	計	267	270	△ 3
資本勘定支弁職員	事務職	3	5	△ 2
	技術職	32	34	△ 2
	計	35	39	△ 4
合計		302	309	△ 7

【水道用水供給事業】

令和８年３月末の職員数は 10 人で、その内訳は次のとおりである。

区分	職種	本年度	前年度	増△減
損益勘定支弁職員	事務職	0人	0人	0人
	技術職	8	8	0
	計	8	8	0
資本勘定支弁職員	事務職	0	0	0
	技術職	2	0	2
	計	2	0	2
合計		10	8	2

㈱ 職員数には、企業管理者を含み、無給休職者及び育児休業者を除く。

⑹ 料金その他供給条件の設定、変更に関する事項

該当事項なし。

2　工　　事

(1)　建設改良工事の概況（消費税及び地方消費税を含む。）

※　間接工事費を含む金額２千万円以上の工事

【水道事業】

ア　配水管整備及び配水管改良事業

配水管等の新設・布設替など5,789,836千円を執行した。

主な工事は次のとおりである。

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
【門司区】 門司港レトロ観光線（港町踏切）における上水道工事	φ 350mm　L＝ 10.3m	令和 6.10.23	令和 8. 1.30
下馬寄他配水管布設替工事	φ 300mm　L＝289.5m φ 250mm　L＝ 15.5m	6.10.24	7. 6. 5
中町他配水管布設替工事	φ 100mm　L＝ 96.5m	6.10.24	7. 4.17
大字柄杓田配水管布設替工事	φ 200mm　L＝252.2m φ 150mm　L＝ 11.6m	6.11.21	7. 7.11
小森江一丁目配水管布設替（推進）工事	推進工　L＝ 8.0m φ 400mm　L＝ 39.0m	6.12.19	7. 8. 7
広石一丁目配水管布設替工事	φ 150mm　L＝354.1m φ 100mm　L＝ 6.8m	7. 1.24	7. 9.10
泉ケ丘配水管布設替工事	φ 150mm　L＝114.1m φ 100mm　L＝ 18.7m	7. 2.19	7. 7. 3
大久保三丁目配水管布設替工事	φ 150mm　L＝234.9m	7. 3.13	7. 9.10
浜町他配水管布設替工事	φ 350mm　L＝183.9m φ 150mm　L＝133.5m	7. 3.27	7.11.28
春日町配水管布設替工事	φ 100mm　L＝151.7m φ 150mm　L＝116.3m	7. 3.27	7. 9.12
【小倉北区】 浅野二丁目配水管布設替工事（その１）	φ 250mm　L＝176.7m φ 100mm　L＝ 34.4m	6. 9. 5	7. 5. 8
金田一丁目配水管布設替工事	φ 150mm　L＝204.7m φ 200mm　L＝ 14.8m	6. 9. 5	7. 5.22
菜園場二丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L＝168.0m φ 50mm　L＝ 3.4m	6. 9.25	7. 4.25
京町一丁目他配水管布設替工事	φ 150mm　L＝271.4m φ 100mm　L＝ 10.8m	6.10.24	7. 6.10
神幸町他配水管布設替（推進）工事	推進工　L＝ 17.2m φ 300mm　L＝124.1m	6.12. 5	7.12. 9
清水四丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L＝316.0m φ 50mm　L＝ 1.7m	6.12.26	7.12.26
片野新町一丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L＝271.3m	6.12.26	7. 6. 6
城内配水管布設替工事	φ 200mm　L＝ 53.4m	7. 1.15	8. 1.13
紺屋町配水管布設替工事	φ 100mm　L＝123.6m φ 150mm　L＝ 41.3m	7. 2.13	7.10. 8

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
【小倉北区】 神岳一丁目他配水管布設替工事	φ 150mm　L = 301.0m φ 350mm　L = 147.9m	令和 7. 2.27	令和 7.10.29
熊本一丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L = 155.0m	7. 3.12	7. 7.16
緑ヶ丘二丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L = 311.9m φ 50mm　L = 2.8m	7. 4.17	7.11.18
宇佐町二丁目他配水管布設替工事	φ 100mm　L = 189.6m φ 150mm　L = 81.0m	7. 4.17	7.10.16
霧ケ丘二丁目配水管布設替工事	φ 150mm　L = 186.6m φ 100mm　L = 8.0m	7. 4.17	7.10.16
中津口一丁目不断水切換弁設置工事	不断水切換弁設置工　1箇所	7. 4.24	7.10.17
中津口一丁目配水管布設替工事	φ 400mm　L = 219.3m	7. 5. 1	7.12.22
京町二丁目他配水管布設替工事	φ 150mm　L = 251.7m φ 100mm　L = 66.8m	7. 6.12	8. 3.16
上富野二丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L = 237.0m φ 50mm　L = 1.9m	7. 6.19	7.12. 3
片野新町一丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L = 258.7m	7. 7. 3	7.12. 4
三郎丸二丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L = 186.8m	7. 7.16	8. 1.29
神岳二丁目他配水管布設替工事	φ 150mm　L = 74.6m φ 100mm　L = 6.9m	7.10. 1	8. 3.13
妙見町配水管布設替工事	φ 150mm　L = 170.7m φ 100mm　L = 15.2m	7.10.30	8. 2.26
【小倉南区】 若園二丁目他（私道）配水管布設工事	φ 75mm　L = 85.3m φ 50mm　L = 50.0m	6. 8.28	7. 5. 8
上吉田六丁目配水管布設替工事	φ 75mm　L = 208.9m φ 100mm　L = 136.5m	6.10.10	7. 5.22
企救丘四丁目他配水管布設替工事	φ 250mm　L = 290.2m φ 100mm　L = 99.3m	7. 1.24	7.10.31
長行東一丁目配水管布設替工事	φ 150mm　L = 287.2m φ 100mm　L = 14.3m	7. 1.24	7. 7.14
守恒本町二丁目（私道）配水管布設工事	φ 75mm　L = 204.6m φ 100mm　L = 0.7m	7. 1.29	7. 7. 4
志井四丁目他配水管布設替工事（1工区）	φ 300mm　L = 200.6m φ 100mm　L = 41.5m	7. 2. 5	7. 9.11
葛原東六丁目不断水分岐管設置工事	不断水分岐管設置工　1箇所	7. 2. 6	8. 1.21
津田新町一丁目他配水管布設工事	φ 600mm　L = 358.2m φ 200mm　L = 17.5m	7. 3.27	8. 3.25
湯川新町三丁目配水管布設替工事	φ 150mm　L = 98.2m φ 100mm　L = 9.5m	7. 6.19	7.12. 4
横代東町二丁目配水管布設替工事	φ 200mm　L = 160.9m φ 100mm　L = 25.3m	7. 7. 3	8. 2.26
企救丘四丁目他配水管布設替工事	φ 100mm　L = 418.7m φ 200mm　L = 11.0m	7. 7.31	8. 3.18

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
【小倉南区】 徳吉東五丁目他配水管布設替工事（その１）	φ 100mm　L＝ 58.5m φ 150mm　L＝ 35.2m	令和 7. 8. 6	令和 7.12.26
水道用水供給事業（行橋市・苅田町） 送水管布設工事（7 － 1）	φ 150mm　L＝863.0m	7. 9. 4	実施中
田原新町一丁目配水管布設替工事	φ 150mm　L＝193.2m φ 100mm　L＝ 21.4m	7.10. 9	8. 3.18
大字長野他配水管布設工事	φ 200mm　L＝449.9m φ 150mm　L＝ 3.7m	7.10.23	8. 3. 3
【若松区】 鴨生田二丁目他配水管布設替（推進）設計業務委託	布設替推進設計　一式	6. 8. 8	7. 5.23
鴨生田一丁目他配水管布設替工事	φ 100mm　L＝163.0m	6.11.21	7. 5.28
今光一丁目配水管布設替工事	φ 150mm　L＝349.0m φ 100mm　L＝ 4.4m	6.12.19	7. 9.25
新大谷町他配水管布設替工事 （6 － 1 工区）	φ 400mm　L＝ 61.7m φ 250mm　L＝ 12.3m	7. 3.27	8. 3.26
波打町他配水管布設替工事	φ 100mm　L＝251.0m	7. 3.27	7. 9. 9
原町他配水管布設替工事	φ 100mm　L＝132.3m φ 150mm　L＝ 8.5m	7. 5.22	7.10. 8
大池町他配水管布設替工事	φ 150mm　L＝314.4m φ 100mm　L＝ 16.0m	7. 6.26	8. 2.18
西小石町他配水管布設替工事	φ 100mm　L＝266.8m	7. 9. 4	8. 3.16
下原町他配水管布設替工事	φ 100mm　L＝387.2m φ 150mm　L＝ 1.2m	7. 9.11	8. 3.26
【八幡東区】 春の町二丁目配水管布設替工事	φ 300mm　L＝310.9m	6.10.24	7. 5.29
西本町四丁目他配水管布設替工事	φ 150mm　L＝235.5m φ 100mm　L＝ 16.6m	6.12.19	7.10. 8
祇園一丁目他配水管布設替工事	φ 150mm　L＝259.2m φ 100mm　L＝ 26.1m	7. 2. 6	7. 8.21
帆柱五丁目他配水管布設工事	φ 100mm　L＝ 71.6m φ 75mm　L＝ 14.4m	7. 2.27	7.11.12
山路一丁目他配水管布設替工事	φ 150mm　L＝392.6m	7. 3.27	7. 9.25
末広町減圧弁設置工事	φ 150mm　L＝ 21.1m φ 250mm　L＝ 3.4m	7. 6.12	8. 2.12
茶屋町他配水管布設替工事	φ 100mm　L＝171.9m	7. 6.12	7.12.25
竹下町配水管布設替工事	φ 150mm　L＝187.9m φ 100mm　L＝ 15.3m	7. 6.12	7.11.20
中畑一丁目他配水管布設替工事	φ 100mm　L＝257.9m	7. 7. 3	7.12.25
祇園二丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L＝235.9m	7. 7. 3	8. 2. 4
宮田町配水管布設替工事	φ 100mm　L＝143.2m	7. 7. 3	8. 1.15

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
【八幡西区】 茶屋の原一丁目他配水管布設替工事(1工区)	φ 300mm　L = 314.0m φ 100mm　L = 192.2m	令和 6. 6.27	令和 7. 4.17
高江二丁目他配水管布設替工事	φ 150mm　L = 238.3m φ 100mm　L = 238.0m	6. 8. 8	7. 7.25
永犬丸南町一丁目他配水管布設替工事	φ 150mm　L = 307.3m φ 75mm　L = 100.5m	6. 8. 8	7. 4.30
楠北二丁目他配水管布設替工事	φ 100mm　L = 222.3m	6.12. 5	7. 7.31
永犬丸東町三丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L = 244.1m	7. 1.24	7. 7. 3
茶屋の原二丁目他配水管布設工事	φ 100mm　L = 173.9m φ 75mm　L = 61.8m	7. 1.30	7. 7. 3
沖田一丁目他配水管布設替工事	φ 100mm　L = 171.9m φ 75mm　L = 13.5m	7. 1.30	7. 9. 5
鷹見台一丁目他配水管布設替工事 (2工区)	φ 500mm　L = 378.8m φ 200mm　L = 328.9m	7. 2.13	8. 2.18
南鷹見町配水管布設替工事	φ 100mm　L = 175.4m φ 150mm　L = 2.0m	7. 2.13	7. 7.25
森下町配水管布設替工事	φ 100mm　L = 205.6m φ 50mm　L = 2.8m	7. 3.27	7.10.10
千代五丁目配水管布設替工事（その2）	φ 50mm　L = 165.8m φ 75mm　L = 66.0m	7. 3.27	7. 8.20
鷹の巣二丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L = 199.1m φ 150mm　L = 2.1m	7. 5. 1	7.10.29
茶屋の原一丁目他配水管布設替工事 (2工区)	φ 300mm　L = 288.6m φ 100mm　L = 122.9m	7. 6.12	8. 3. 5
中の原二丁目配水管布設替工事	φ 50mm　L = 230.6m φ 75mm　L = 201.1m	7. 6.19	8. 3. 3
浅川二丁目配水管布設替工事	φ 150mm　L = 66.4m φ 250mm　L = 1.3m	7. 7. 3	8. 3.12
楠橋上方二丁目他配水管布設替工事 (1工区)	φ 100mm　L = 159.1m	7. 7.10	8. 3. 3
馬場山東三丁目他配水管布設替工事 (1工区)	φ 150mm　L = 141.0m φ 100mm　L = 21.2m	7. 7.24	7.12. 9
長崎町配水管布設替（推進）工事に 係る九州旅客鉄道(株)への詳細設計委託	推進工詳細設計　一式	7. 8. 7	8. 3.31
楠北二丁目配水管布設替工事	φ 100mm　L = 250.5m φ 50mm　L = 97.7m	7. 9.11	8. 2. 4
【戸畑区】 夜宮三丁目他配水管布設替工事	φ 100mm　L = 213.8m	6.12.19	7. 8. 8
元宮町配水管布設替（更生）工事	φ 300mm　L = 49.2m 更生工　L = 44.0m	7. 5. 1	7.12. 9
西大谷二丁目配水管布設替工事（その3）	φ 100mm　L = 202.0m	7. 7.31	7.12.25
【市内・芦屋町・水巻町】 第七期配水管更新計画策定業務委託	更新計画策定　一式	6. 7.19	7. 9.30

イ　浄水場整備事業

穴生浄水場東西系受配電設備電気計装工事など2,375,797千円を執行した。

主な工事は次のとおりである。

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
穴生浄水場東西系受配電設備電気計装工事	受配電設備更新　一式	令和 5. 3.23	令和 8. 3.26
穴生浄水場東西系送水ポンプ更新工事	送水ポンプ更新　一式	5. 9.14	7.12.23
本城浄水場pH調整剤注入設備整備工事	pH調整剤注入設備整備　一式	6. 6.13	8. 3.23
穴生浄水場pH調整剤注入設備整備工事	pH調整剤注入設備整備　一式	6. 6.20	8. 3.24
畑浄水場薬品注入設備更新工事	薬品注入設備更新　一式	6. 7. 4	8. 2.24
本城浄水場他無停電電源装置更新電気計装工事	無停電電源装置更新　一式	6. 7. 4	7. 8.19
穴生浄水場二島系送水流量調節弁整備他電気計装工事	流量調節弁整備　一式	6. 7.18	8. 3.26
猪熊取水場次亜注入設備整備電気計装工事	次亜注入設備整備　一式	6. 8. 1	7.12.26
畑浄水場薬品注入設備更新電気計装工事	薬品注入設備更新　一式	6. 8. 1	7.11. 5
穴生浄水場pH調整剤設備整備電気計装工事	pH調整剤設備整備　一式	6. 9.12	8. 3.23
本城浄水場pH調整剤設備整備電気計装工事	pH調整剤設備整備　一式	6. 9.19	8. 3.23
猪熊取水場次亜注入機室建築工事	次亜注入機室整備　一式	6.10.31	7. 9. 2
穴生浄水場pH調整剤注入機室新築工事	pH調整剤注入機室整備　一式	6.10.31	7. 6.10
本城浄水場pH調整剤注入機室新築工事	pH調整剤注入機室整備　一式	6.10.31	7. 9. 9
流量計更新電気計装工事	流量計更新　一式	6.11.21	7. 5.27
計測器更新電気計装工事	計測器更新　一式	6.11.28	7. 7.11
本城浄水場pH調整剤貯蔵槽基礎他工事	基礎築造工　一式	6.12.26	7. 7.24
本城浄水場BCF空洗インバータ更新電気計装工事	インバータ更新　一式	7. 2. 6	8. 3.12
穴生浄水場pH調整剤貯蔵槽基礎他工事	基礎築造工　一式	7. 2.13	7. 8.20
穴生浄水場ろ過池上屋改修工事	ろ過池上屋改修　一式	7. 2.27	7.10. 8
伊佐座取水場穴生系導水ポンプ１号吐出弁他更新工事	吐出弁更新　一式	7. 3.19	8. 2.27
本城浄水場濃縮槽耐震補強他工事	濃縮槽耐震補強工　一式	7. 3.27	8. 3.10

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
伊佐座臭気物質連続測定装置更新 電気計装工事	臭気物質連続測定 装置更新　一式	令和 7. 3.27	令和 8. 3. 3
本城浄水場上水沈殿池耐震補強 実施設計他業務委託	沈殿池耐震補強 実施設計　一式	7. 4.24	8. 3.31
テレメータ設備更新電気計装工事	テレメータ設備更新　一式	7. 4.24	8. 3.12
水質試験所空調設備改修工事	空調設備改修　一式	7. 7. 3	8. 3.27
伊佐座取水場穴生系取水ポンプ棟他１件 外壁及び屋上防水等改修工事	外壁及び屋上防水等 改修　一式	7. 7.17	8. 1.23
大谷ポンプ場非常用発電設備整備 電気計装工事	非常用発電設備整備　一式	7. 7.17	8. 3.13
水質計器更新電気計装工事	水質計器更新　一式	7. 7.31	8. 1.30
大蔵ポンプ場非常用発電設備整備 電気計装工事	非常用発電設備整備　一式	7. 7.31	8. 2.27
流量計更新電気計装工事	流量計更新　一式	7. 9.11	8. 3.13

ウ　導送水施設整備事業

穴生浄水場～永犬丸配水池φ450送水管布設替工事（7－1工区）など197,870千円を執行した。主な工事は次のとおりである。

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
穴生浄水場～永犬丸配水池φ450 送水管布設替工事（2工区）	仕切弁φ450mm　3基	令和 7. 1.24	令和 7. 9. 4
木下合流井～井手浦浄水場バタフライ弁 φ700他設置工事	φ700mm　L＝4.9m φ300mm　L＝3.0m	7. 1.28	7. 4.25
山ノ神ポンプ場～大蔵配水池φ300 送水管布設替工事（6－1工区）	φ300mm　L＝51.8m φ100mm　L＝6.9m	7. 2. 6	7. 7.31
穴生浄水場～永犬丸配水池φ450 送水管布設替工事（7－1工区）	φ350mm　L＝13.8m φ400mm　L＝13.4m	7.10. 2	8. 2.18

エ　送配水施設整備事業

八重洲分岐～城野分岐φ1000送水管布設工事（7－1）など299,998千円を執行した。

主な工事は次のとおりである。

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
小熊野第一配水池耐震補強工事	配水池耐震補強工　一式	令和 5. 9.14	令和 7. 5.22
八重洲分岐～城野分岐φ1000送水管他布設工事（6－1）	φ1000mm　L＝ 95.4m	6. 7.31	7. 4.25
配水流量計等更新電気計装工事	配水流量計等更新　一式	6.10.17	7. 4.21
花尾配水池長寿命化工事	配水池長寿命化　一式	7. 2.27	7.11.11
八重洲分岐～城野分岐φ1000送水管布設工事（7－1）	φ1000mm　L＝162.5m	7. 7.17	8. 3.25

【水道用水供給事業】

導送水施設整備事業

医王寺分岐～医王寺配水池用水供給管布設替工事（7－2工区）など574,527千円を執行した。

主な工事は次のとおりである。

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設設計業務委託（6－3）	布設設計　一式	令和 6. 9.19	令和 7.11. 7
水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設設計業務委託（6－4）	布設設計　一式	6. 9.19	7.12.25
水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設設計業務委託（6－2）	布設設計　一式	6. 9.26	7. 7.31
医王寺分岐～医王寺配水池用水供給管布設替工事（7－1工区）	φ 350mm　L＝563.6m φ 200mm　L＝ 0.6m	7. 7.17	8. 3.17
医王寺分岐～医王寺配水池用水供給管布設替工事（7－2工区）	φ 350mm　L＝536.6m φ 250mm　L＝ 9.5m	7. 7.17	8. 3.17
水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（7－2）	φ 500mm　L＝600.7m	7. 7.24	実施中
水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（7－3）	φ 500mm　L＝602.7m	7. 8. 7	実施中
水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（7－1）	φ 500mm　L＝498.0m	7. 9. 4	実施中

⑵　保存工事の概況

【水道事業】

ア　水源施設補修工事　　伊佐座取水場穴生系導水２号電動機定期整備工事　ほか　８件

イ　浄水施設補修工事　　井手浦浄水場洗浄系１号ポンプ定期整備工事　　ほか 22 件

ウ　配水施設等修理工事　942 件

エ　給水装置の修理工事

管　損　傷	分　止　水　栓	そ　の　他	計
件 4,646	件 1,099	件 1,108	件 6,853

オ　量水器の取付、取外し及び修理数

取　付　数	取　外　数	修　理　数
件 106,058	件 104,842	件 79,471

【水道用水供給事業】

ア　浄水施設補修工事　　本城排水処理場汚泥引抜２－２ポンプ定期整備工事　ほか４件

3　業　　務

(1) 業　務　量

【水道事業】

事項		本年度	前年度	比較 増	比較 △減	比較 増	比較 △減率
配水量	年間	104,149,958㎥	104,638,291㎥	△	488,333㎥	△	0.47 %
	一日平均	285,342㎥	286,680㎥	△	1,338㎥	△	0.47
有収水量	年間	93,505,076㎥	94,418,568㎥	△	913,492㎥	△	0.97
	一日平均	256,178㎥	258,681㎥	△	2,503㎥	△	0.97
給水人口		936,757人	944,242人	△	7,485人	△	0.79
給水戸数		512,127戸	511,117戸		1,010戸		0.20
給水栓数		486,818栓	485,730栓		1,088栓		0.22
給水装置修理件数		6,853件	6,726件		127件		1.89
原水給水量		1,466,310㎥	1,608,751㎥	△	142,441㎥	△	8.85

ア　有収水量の種別内訳

種別		有収水量	比率
一般用		93,058,350 ㎥	99.52 %
特別用	共用	0	−
	湯屋用	13,972	0.01
	臨時用	18,496	0.02
	船舶用	402,653	0.43
その他		6,814	0.01
消火用		4,791	0.01
計		93,505,076	100.00

イ　有収水量の年度別・地区別内訳

地区	4年度	5年度	6年度	7年度
門司区	9,778,875 ㎥	9,602,870 ㎥	9,520,548 ㎥	9,398,244 ㎥
小倉北区	20,284,387	20,269,941	20,224,133	20,124,972
小倉南区	18,922,706	18,675,358	18,542,129	18,444,142
若松区	8,642,673	8,549,673	8,497,754	8,392,728
八幡東区	6,089,911	6,003,416	5,961,851	5,818,434
八幡西区	23,212,861	22,907,462	22,863,302	22,621,448
戸畑区	5,185,909	5,106,560	5,068,030	5,015,556
芦屋町	1,227,590	1,206,348	1,182,482	1,164,885
水巻町	2,608,847	2,568,814	2,558,339	2,524,667
計	95,953,759	94,890,442	94,418,568	93,505,076

【水道用水供給事業】

事項		本年度	前年度	比較	
				増△減	増△減率
給水量	年間	8,574,677㎥	6,972,237㎥	1,602,440㎥	22.98 %
	一日平均	23,492㎥	19,102㎥	4,390㎥	22.98
有収水量	年間	8,507,457㎥	6,963,803㎥	1,543,654㎥	22.17
	一日平均	23,308㎥	19,079㎥	4,229㎥	22.17
給水事業者数		5 事業者	5 事業者	0 事業者	−

(2) 事業収入に関する事項

【水道事業】

区分	本年度	前年度	比較	
			増△減	増△減率
	円	円	円	%
収益的収入	18,188,790,823	17,971,534,608	217,256,215	1.21
営業収益	15,430,300,940	15,324,603,545	105,697,395	0.69
営業外収益	2,752,484,351	2,640,909,843	111,574,508	4.22
特別利益	6,005,532	6,021,220	△ 15,688	△ 0.26
資本的収入	5,961,159,703	5,345,363,072	615,796,631	11.52
企業債	5,465,000,000	5,032,000,000	433,000,000	8.60
国県補助金	0	39,384,000	△ 39,384,000	皆減
出資金	121,289,000	121,289,000	0	−
工事負担金	371,870,703	147,612,377	224,258,326	151.92
固定資産売却代金	0	2,077,695	△ 2,077,695	皆減
預託金返還金	3,000,000	3,000,000	0	−
計	24,149,950,526	23,316,897,680	833,052,846	3.57

収益的収入の年度別構成比率

区分	4年度		5年度		6年度		7年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
	円	%	円	%	円	%	円	%
料金収入	13,781,688,497	77.22	13,706,243,186	76.52	13,678,794,594	76.11	13,560,785,535	74.56
原水給水料	62,266,821	0.35	58,204,811	0.32	61,495,089	0.34	53,999,278	0.30
口径別納付金	359,246,747	2.01	412,918,505	2.31	310,842,000	1.73	324,662,030	1.78
受託収益	210,588,911	1.18	204,718,877	1.14	203,938,417	1.14	206,546,541	1.14
工業用水道負担金	20,365,088	0.12	19,238,908	0.11	18,857,907	0.11	21,810,083	0.12
用水供給事業負担金	86,307,679	0.48	106,195,412	0.59	94,261,488	0.52	161,015,895	0.88
その他営業収益	804,059,069	4.51	900,651,138	5.03	956,414,050	5.32	1,101,481,578	6.06
営業外収益	2,516,633,380	14.10	2,498,779,041	13.95	2,640,909,843	14.70	2,752,484,351	15.13
特別利益	5,332,142	0.03	5,022,641	0.03	6,021,220	0.03	6,005,532	0.03
計	17,846,488,334	100.00	17,911,972,519	100.00	17,971,534,608	100.00	18,188,790,823	100.00

【水道用水供給事業】

区分	本年度	前年度	比較	
			増△減	増△減率
	円	円	円	%
収益的収入	953,921,588	781,436,531	172,485,057	22.07
営業収益	837,475,883	687,288,892	150,186,991	21.85
営業外収益	116,445,705	94,147,639	22,298,066	23.68
資本的収入	934,415,157	86,300,000	848,115,157	982.75
企業債	480,000,000	67,000,000	413,000,000	616.42
国県補助金	77,000,000	4,500,000	72,500,000	1,611.11
出資金	224,400,000	14,800,000	209,600,000	1,416.22
計	1,888,336,745	867,736,531	1,020,600,214	117.62

収益的収入の年度別構成比率

区分	4年度		5年度		6年度		7年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
	円	%	円	%	円	%	円	%
料金収入	694,544,305	87.47	704,269,592	88.19	687,253,604	87.95	837,442,353	87.79
受託収益	35,182	0.01	27,452	0.00	35,268	0.00	33,510	0.00
その他営業収益	0	−	0	−	20	0.00	20	0.00
営業外収益	98,998,735	12.47	94,317,891	11.81	94,147,639	12.05	116,445,705	12.21
特別利益	430,088	0.05	0	−	0	−	0	−
計	794,008,310	100.00	798,614,935	100.00	781,436,531	100.00	953,921,588	100.00

(3) 事業費に関する事項

【水道事業】

区分	本年度	前年度	比較	
			増△減	増△減率
	円	円	円	%
収益的支出	19,955,993,494	18,817,670,378	1,138,323,116	6.05
営業費用	18,003,876,702	17,018,022,356	985,854,346	5.79
営業外費用	1,944,584,557	1,791,090,111	153,494,446	8.57
特別損失	7,532,235	8,557,911	△ 1,025,676	△ 11.99
資本的支出	13,242,255,875	13,580,571,390	△ 338,315,515	△ 2.49
施設費	9,842,791,667	10,177,486,443	△ 334,694,776	△ 3.29
企業債償還金	3,395,336,475	3,399,562,972	△ 4,226,497	△ 0.12
投資	118,490	106,109	12,381	11.67
預託金	3,000,000	3,000,000	0	−
国庫補助金返還金	1,009,243	415,866	593,377	142.68
計	33,198,249,369	32,398,241,768	800,007,601	2.47

収益的支出の年度別構成比率

区分		4年度		5年度		6年度		7年度	
		金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
		円	%	円	%	円	%	円	%
職員給与費		2,360,555,345	12.97	2,342,573,286	12.88	2,430,307,250	12.91	2,541,523,186	12.74
浄化費用		1,240,397,720	6.82	919,631,686	5.06	1,015,214,767	5.39	1,260,928,319	6.32
維持管理費	原水費	594,315,995	3.27	623,030,760	3.43	588,941,839	3.13	647,635,406	3.25
	浄水費	479,441,826	2.63	574,000,108	3.16	566,229,190	3.01	549,675,860	2.75
	配水費	703,210,046	3.86	726,526,519	3.99	739,032,467	3.93	764,781,975	3.83
	給水費	1,021,520,514	5.61	957,464,728	5.27	1,057,022,292	5.62	1,129,343,778	5.66
	小計	2,798,488,381	15.37	2,881,022,115	15.85	2,951,225,788	15.69	3,091,437,019	15.49
業務費		1,048,538,326	5.76	1,079,144,818	5.94	1,091,645,167	5.80	1,192,220,738	5.97
一般管理費		325,312,836	1.79	332,981,768	1.83	297,427,999	1.58	325,966,193	1.63
受託費		163,965,172	0.90	162,563,734	0.89	163,540,007	0.87	162,432,083	0.81
緊急連絡管費		1,766,338	0.01	1,417,943	0.01	7,709,816	0.04	1,810,944	0.01
減価償却費等		8,500,979,121	46.71	8,707,953,186	47.89	9,060,951,562	48.15	9,427,558,220	47.24
営業外費用		1,753,625,276	9.64	1,738,905,281	9.56	1,791,090,111	9.52	1,944,584,557	9.75
特別損失		4,942,878	0.03	16,089,901	0.09	8,557,911	0.05	7,532,235	0.04
計		18,198,571,393	100.00	18,182,283,718	100.00	18,817,670,378	100.00	19,955,993,494	100.00

【水道用水供給事業】

区分	本年度	前年度	比較	
			増△減	増△減率
	円	円	円	%
収益的支出	953,548,074	753,564,177	199,983,897	26.54
営業費用	894,482,474	692,043,899	202,438,575	29.25
営業外費用	59,065,600	61,520,278	△ 2,454,678	△ 3.99
資本的支出	932,234,248	291,869,921	640,364,327	219.40
施設費	736,771,399	101,855,463	634,915,936	623.35
企業債償還金	195,462,849	190,014,458	5,448,391	2.87
計	1,885,782,322	1,045,434,098	840,348,224	80.38

収益的支出の年度別構成比率

区分		4年度		5年度		6年度		7年度	
		金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
		円	%	円	%	円	%	円	%
職員給与費		44,952,342	6.22	80,862,007	10.55	56,314,083	7.47	81,795,086	8.58
浄化費用		114,170,341	15.79	104,071,799	13.57	133,890,068	17.77	153,910,187	16.14
維持管理費	原水費	62,443,934	8.64	69,946,004	9.12	54,602,180	7.25	77,562,302	8.13
	浄水費	85,504,871	11.82	99,623,026	12.99	97,991,186	13.00	146,812,745	15.40
	配水費	27,854,840	3.85	26,783,464	3.49	28,881,894	3.83	40,782,445	4.28
	小計	175,803,645	24.31	196,352,494	25.60	181,475,260	24.08	265,157,492	27.81
一般管理費		15,396,727	2.13	15,529,860	2.03	15,978,335	2.12	17,781,617	1.87
受託費		35,182	0.00	27,452	0.01	35,268	0.01	33,510	0.00
減価償却費等		304,036,872	42.05	304,791,161	39.75	304,350,885	40.39	375,804,582	39.41
支払利息等		68,714,624	9.50	65,118,361	8.49	61,520,278	8.16	59,065,600	6.19
計		723,109,733	100.00	766,753,134	100.00	753,564,177	100.00	953,548,074	100.00

(4) その他主要な事項

該当事項なし。

4　会　　計

(1)　重要契約の要旨

本年度における契約金額４千万円以上の工事又は製造の請負契約は、次のとおりである。
（消費税及び地方消費税を含む。）

【水道事業】

契約年月日	契約金額	契約内容	契約の相手方
令和 7. 4.17	40,245,700円	緑ヶ丘二丁目配水管布設替工事	㈱安部工務店
7. 4.24	44,660,000	本城浄水場上水沈殿池耐震補強実施設計他業務委託	㈱松尾設計
7. 5. 1	83,240,300	中津口一丁目配水管布設替工事	㈱Ｋ・サトウ
7. 5. 1	43,324,600	元宮町配水管布設替（更生）工事	㈱川浪建設工業
7. 6.12	72,642,900	茶屋の原一丁目他配水管布設替工事（２工区）	㈲大膳建設
7. 6.12	68,165,900	京町二丁目他配水管布設替工事	㈱古島
7. 6.19	45,554,300	中の原二丁目配水管布設替工事	㈲中澄建設
7. 6.26	45,472,900	大池町他配水管布設替工事	三友建設工業㈱
7. 7. 3	178,442,000	穴生浄水場～小嶺配水池送水管布設替工事（７－１工区）	河建工業㈱
7. 7. 3	51,676,900	横代東町二丁目配水管布設替工事	白江産業㈱
7. 7.17	66,242,000	八重洲分岐～城野分岐φ1000送水管布設工事（７－１）	㈱大和総合建設
7. 7.17	45,883,200	大里東四丁目他配水管布設替工事	花山建設㈱
7. 7.17	44,440,000	大谷ポンプ場非常用発電設備整備電気計装工事	㈱ドーワテクノス
7. 7.24	56,124,755	水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（７－２）	瀬戸内土木工業㈲
7. 7.31	72,276,600	企救丘四丁目他配水管布設替工事	川合建設
7. 7.31	55,147,400	東川頭町他配水管布設替工事	㈱拓秀建設
7. 8. 7	115,753,412	枝光二丁目他配水管布設替工事	㈱永建
7. 8. 7	106,341,211	伊佐座排水処理場受配電設備更新電気計装工事	協栄電気㈱
7. 8. 7	56,005,214	水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（７－３）	㈲大膳建設
7. 9. 4	51,909,000	永黒二丁目不断水仕切弁設置工事	コスモ工機㈱九州支店

契約年月日	契約金額	契約内容	契約の相手方
令和 7. 9. 4	円 195,855,000	中央二丁目他配水管布設替工事	㈲ 大福水道
7. 9. 4	85,614,100	港町他配水管布設替工事	㈱ K・サトウ
7. 9. 4	72,799,270	水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（7－1）	㈱ 大幸組
7. 9.11	59,481,400	西本町二丁目他配水管布設替工事	㈱ 安部工務店
7. 9.11	46,537,700	下原町他配水管布設替工事	㈲ 杉寿設備
7. 9.11	46,750,000	流量計更新電気計装工事	㈱エース・ウォーター北九州営業所
7. 9.18	76,762,400	割子川二丁目配水管布設替工事（その1）	㈲ヨシアキ建設
7. 9.18	46,750,000	星ヶ丘ポンプ場他低圧電気設備更新電気計装工事	㈱エース・ウォーター北九州営業所
7.10. 9	77,018,700	徳力三丁目他配水管布設替工事	㈲ 呉本組
7.10. 9	50,712,200	椎ノ木町配水管布設替工事	㈲広岡建設工業
7.10. 9	46,302,300	中の原一丁目他配水管布設替工事	㈱ ニック
7.10.30	52,859,400	篠崎二丁目他配水管布設替工事	㈲ 杉寿設備
7.10.30	54,500,600	魚町一丁目他配水管布設替工事	瀬戸内土木工業㈲
7.10.30	40,329,300	楠橋南三丁目配水管布設工事	大昇建設 ㈱
7.11. 6	60,845,400	大字小森他配水管布設替工事	㈱ 志道工務店
7.11. 6	53,435,800	山手一丁目配水管布設替工事	河建工業 ㈱
7.11. 6	64,166,300	大字猿喰配水管布設（推進）工事	河建工業 ㈱
7.11. 6	48,682,700	片山二丁目配水管布設替工事	㈲ 呉本組
7.11.13	379,500,000	垂水取水場受配電設備更新電気計装工事	西日本オートメーション㈱北九州営業所
7.12.11	838,200,000	井手浦浄水場受配電設備更新電気計装工事	㈱ 菅原
7.12.18	62,033,180	本城四丁目配水管布設替工事	㈲ 吉一建設
7.12.18	45,262,140	穴生四丁目配水管布設替工事	㈲ 大建設
7.12.25	104,209,600	池田二丁目他配水管布設替工事（3工区）	㈱ 安部工務店
7.12.25	42,881,190	津田南町配水管布設替工事	㈲ 大膳建設

契約年月日	契約金額	契約内容	契約の相手方
令和 7.12.25	円 48,944,038	計測器更新電気計装工事	横河ソリューションサービス㈱北九州支店
8. 1.22	53,062,900	平野一丁目他配水管布設替工事	㈲杉寿設備
8. 2.12	52,913,300	祇園三丁目他配水管布設替工事	㈲広岡建設工業
8. 2.26	75,031,000	黒原二丁目他配水管布設替（推進）工事	大林建設㈱
8. 2.26	88,744,260	栄町他配水管布設替（推進）工事	㈱ダイコウ技建
8. 2.26	47,417,700	白山二丁目配水管布設替工事	㈱ニック
7. 9. 4	48,950,000	粟屋配水池低圧電気設備更新電気計装工事	東芝ＥＩコントロールシステム㈱九州営業所
8. 3. 5	44,330,000	伊佐座取水場穴生系導水ポンプ２号吐出弁他更新工事	神鋼物産㈱
8. 3.19	43,310,630	中井三丁目配水管布設替工事	㈲大建設
8. 3.19	178,750,000	本城浄水場代替活性炭接触槽整備工事	㈱岡部組
8. 3.19	51,920,000	流量計更新電気計装工事（その２）	㈱ユニ・エレックス
7. 9.11	67,826,000	井手浦浄水場本館他長寿命化工事	㈱山﨑建設
8. 3.26	42,866,780	割子川二丁目配水管布設替工事（その２）	白江産業㈱
8. 3.26	65,816,520	本城排水処理場監視制御設備更新電気計装工事	メタウォーター㈱北九州営業所
8. 3.26	58,597,000	井手浦浄水場５号ろ過池逆洗弁他更新工事	㈱猪熊工業所
8. 3.26	78,540,000	本城浄水場代替活性炭接触槽不断水分岐工事（その２）	大成機工㈱九州支店

【水道用水供給事業】

契約年月日	契約金額	契約内容	契約の相手方
令和 7. 7.17	円 66,482,900	医王寺分岐～医王寺配水池用水供給管布設替工事（７－１工区）	㈱永津建設
7. 7.17	81,067,800	医王寺分岐～医王寺配水池用水供給管布設替工事（７－２工区）	㈱台良工務店
7. 7.24	61,958,045	水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（７－２）	瀬戸内土木工業㈲
7. 8. 7	63,357,986	水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（７－３）	㈲大膳建設
7. 9. 4	52,392,940	水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（７－１）	㈱大幸組
7.10. 9	90,618,000	水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（７－４）	㈱エース建設

契約年月日	契約金額	契約内容	契約の相手方
令和7.10. 9	円 89,023,000	水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（7－5）	河建工業㈱
7.10. 9	71,430,700	水道用水供給事業（行橋市・苅田町）送水管布設工事（7－8）	㈲大膳建設

(2) 企業債及び一時借入金の概況

ア 企業債

【水道事業】

借入先	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
財政融資資金	円 43,642,868,925	円 623,000,000	円 1,910,426,188	円 42,355,442,737
地方公共団体金融機構	7,464,641,807	0	988,235,961	6,476,405,846
地方公務員共済組合連合会	68,480,000	0	45,600,000	22,880,000
市場公募	1,460,800,000	0	66,400,000	1,394,400,000
銀行等引受債引受団等	4,483,895,786	4,842,000,000	271,874,328	9,054,021,458
小計	57,120,686,518	5,465,000,000	3,282,536,477	59,303,150,041
福岡県市町村振興資金	2,733,003,240	0	112,799,998	2,620,203,242
計	59,853,689,758	5,465,000,000	3,395,336,475	61,923,353,283

【水道用水供給事業】

借入先	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
財政融資資金	円 54,421,714	円 0	円 2,489,919	円 51,931,795
地方公共団体金融機構	2,954,952,529	480,000,000	191,306,264	3,243,646,265
銀行等引受債引受団等	23,000,000	0	1,666,666	21,333,334
計	3,032,374,243	480,000,000	195,462,849	3,316,911,394

イ 一時借入金

【上水道事業会計 合計】

前年度末残高	0円
本年度中における借入残高最高額	1,800,000,000円
本年度末残高	0円
（一時借入金限度額	2,200,000,000円）

(3) その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし。

5　附 帯 事 項

⑴　給水工事の概況

【水道事業】

区　　分	新　　設	改　　造	撤　　去	修　　繕	計
本　年　度	件 5,788	件 3,651	件 2,145	件 1	件 11,585
前　年　度	6,768	3,738	2,116	0	12,622
差引増△減	△　980	△　87	29	1	△　1,037

⑵　受託工事の概況（消費税及び地方消費税を含む。）

【水道事業】

新門司北三丁目配水管布設工事（２工区）など、134,355千円を執行した。

6　そ　の　他

⑴　決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実

該当事項なし。

⑵　国庫補助金等の使途の特定について

【上水道事業会計　合計】

ア　他会計補助金 25,298,000 円については、全額職員給与費課税仕入以外に充当した。
（特定収入以外）

イ　国庫補助金 77,000,000 円については、全額工事費等課税仕入に充当した。　（特　定　収　入）

ウ　工事負担金 524,885,860 円については、開発行為等による配水管等の布設・布設替に伴う収入であり、

工事費等課税仕入に　488,532,234 円（特　定　収　入）
職員給与費等課税仕入以外に　36,353,626 円（特定収入以外）

それぞれ充当した。

エ　受託収益 60,242,445 円については、消火栓の維持管理等に伴う収入であり、

修繕費等課税仕入に　53,664,319 円（特　定　収　入）
職員給与費等課税仕入以外に　6,578,126 円（特定収入以外）

それぞれ充当した。

オ　補償費 3,059,137 円については、交通事故等による補償金であり、修繕費等全額課税仕入に充当した。
（特　定　収　入）

カ　県補助金 1,913,000 円については、全額企業債支払利息の課税仕入以外に充当した。
（特定収入以外）

キ　工業用水道負担金 6,694,550 円については、水道事業に対する人件費等の負担金として、全額職員給与費等課税仕入以外に充当した。
（特定収入以外）

ク　用水供給事業負担金 121,912,415 円については、水道事業に対する人件費等の負担金として、全額職員給与費等課税仕入以外に充当した。（特定収入以外）

ケ　雑収益 32,512,390 円については、

修繕費等課税仕入に　2,852,891 円（特　定　収　入）

職員給与費等課税仕入以外に　29,659,499 円（特定収入以外）

それぞれ充当した。

コ　弁償金 136,740 円については、水道メーターの修繕費等全額課税仕入に充当した。（特　定　収　入）

サ　馬島給水事業負担金 2,543,533 円については、

委託料等課税仕入に　1,785,784 円（特　定　収　入）

職員給与費等課税仕入以外に　757,749 円（特定収入以外）

それぞれ充当した。

シ　特別利益 3,946,494 円については、全額職員給与費等課税仕入以外に充当した。（特定収入以外）

⑶　その他

該当事項なし。

令　和　7　年　度

北九州市工業用水道事業会計決算書
北九州市工業用水道事業報告書

北九州市上下水道局

目　　次

北九州市工業用水道事業会計決算書
令和７年度北九州市工業用水道事業決算報告書 …… 1
令和７年度北九州市工業用水道事業損益計算書 …… 5
令和７年度北九州市工業用水道事業剰余金計算書 …… 7
令和７年度北九州市工業用水道事業剰余金処分計算書（案） …… 9
令和７年度北九州市工業用水道事業貸借対照表 …… 10
附属明細書
令和７年度北九州市工業用水道事業キャッシュ・フロー計算書 …… 15
収益費用明細書 …… 16
固定資産明細書 …… 19
企業債明細書 …… 23
北九州市工業用水道事業報告書
１　概　況 …… 26
⑴　総括事項 …… 26
⑵　経営指標に関する事項 …… 27
⑶　議会議決事項 …… 28
⑷　行政官庁許認可事項 …… 28
⑸　職員に関する事項 …… 28
⑹　料金その他供給条件の設定、変更に関する事項 …… 28
２　工　事 …… 29
⑴　建設改良工事の概況 …… 29
⑵　保存工事の概況 …… 29
３　業　務 …… 30
⑴　業務量 …… 30
⑵　事業収入に関する事項 …… 31
⑶　事業費に関する事項 …… 32
⑷　その他主要な事項 …… 32
４　会　計 …… 33
⑴　重要契約の要旨 …… 33
⑵　企業債及び一時借入金の概況 …… 34
⑶　その他会計経理に関する重要事項 …… 34
５　附帯事項 …… 35
６　その他 …… 35
⑴　決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実 …… 35
⑵　国庫補助金等の使途の特定について …… 35
⑶　その他 …… 35

北九州市工業用水道事業会計決算書

令 和 7 年 度 北 九 州 市 工 業

(1) 収益的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算		
	当　初 予　算　額	補　正 予　算　額	地方公営企業法第24条第３項の規定による支出額に係る財源充当額
	円	円	円
第１款　工業用水道事業収益	2,069,406,000	0	0
第１項　営　業　収　益	1,828,292,000	0	0
第２項　営 業 外 収 益	241,104,000	0	0
第３項　特　別　利　益	10,000	0	0

支　　出

区　　分	予　　算					
	当　初 予　算　額	補　正 予算額	予備費 支出額	流　用 増減額	地方公営企業法第24条第３項の規定による支　出　額	小　　計
	円	円	円	円	円	円
第１款　工業用水道事業費	1,992,532,000	0	0	0	0	1,992,532,000
第１項　営　業　費　用	1,913,338,000	0	0	0	0	1,913,338,000
第２項　営 業 外 費 用	72,184,000	0	0	0	0	72,184,000
第３項　特　別　損　失	10,000	0	0	0	0	10,000
第４項　予　　備　　費	7,000,000	0	0	0	0	7,000,000

用 水 道 事 業 決 算 報 告 書

額	決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
合計			
円	円	円	
2,069,406,000	2,152,547,787	83,141,787	
1,828,292,000	1,828,371,768	79,768	(うち仮受消費税及び地方消費税 166,210,448円)
241,104,000	311,711,576	70,607,576	(〃 70,562円)
10,000	12,464,443	12,454,443	(〃 53,220円)

額		決算額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不用額	備考
地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	合計				
円	円	円	円	円	
0	1,992,532,000	1,671,008,106	0	321,523,894	
0	1,913,338,000	1,645,142,193	0	268,195,807	(うち仮払消費税及び地方消費税 62,308,775円)
0	72,184,000	25,225,715	0	46,958,285	
0	10,000	640,198	0	△ 630,198	地方公営企業法施行令第18条第5項ただし書きの規定による予算額を超過する額630,198円
0	7,000,000	0	0	7,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算			
	当　初 予算額	補　正 予算額	小　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	円	円	円	円
第1款　工業用水道事業資本的収入	1,551,625,000	0	1,551,625,000	700,000,000
第1項　企業債	1,374,000,000	0	1,374,000,000	700,000,000
第2項　国庫補助金	51,200,000	0	51,200,000	0
第3項　工事負担金	126,405,000	0	126,405,000	0
第4項　固定資産売却代金	10,000	0	10,000	0
第5項　その他資本的収入	10,000	0	10,000	0

支　　出

区　　分	予　　算					
	当　初 予算額	補　正 予算額	流用増減額	小　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額
	円	円	円	円	円	円
第1款　工業用水道事業資本的支出	2,184,668,000	0	0	2,184,668,000	1,395,400,000	0
第1項　施設費	2,067,668,000	0	0	2,067,668,000	1,395,400,000	0
第2項　企業債償還金	117,000,000	0	0	117,000,000	0	0

資本的収入額957,141,438円が、資本的支出額2,075,339,183円に対し不足する額1,118,197,745円は、消費税資本的収支調149,332,875円で補てんするものとする。

額		決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
継続費逓次繰越額に係る財源充当額	合計			
円	円	円	円	
0	2,251,625,000	957,141,438	△ 1,294,483,562	
0	2,074,000,000	900,000,000	△ 1,174,000,000	
0	51,200,000	35,400,000	△ 15,800,000	
0	126,405,000	0	△ 126,405,000	
0	10,000	21,741,438	21,731,438	
0	10,000	0	△ 10,000	

額	決算額	翌年度繰越額			不用額	備考
合計		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合計		
円	円	円	円	円	円	
3,580,068,000	2,075,339,183	812,300,000	0	812,300,000	692,428,817	
3,463,068,000	1,958,987,893	812,300,000	0	812,300,000	691,780,107	（うち仮払消費税及び地方消費税 175,169,999円）
117,000,000	116,351,290	0	0	0	648,710	

整額157,113,580円、減債積立金116,351,290円、過年度分損益勘定留保資金695,400,000円、繰越利益剰余金処分額

令和７年度北九州市工業用水道事業損益計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

（単位：円）

１ 営業収益			
(1) 給水収益	1,661,882,678		
(2) その他営業収益	278,642	1,662,161,320	
２ 営業費用			
(1) 原水費	318,911,919		
(2) 浄水費	418,382,865		
(3) 配水費	45,903,519		
(4) 総係費	39,722,030		
(5) 減価償却費	754,899,733		
(6) 資産減耗費	4,787,952		
(7) その他営業費用	225,400	1,582,833,418	
営業利益			79,327,902
３ 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	2,618,518		
(2) 他会計補助金	2,266,000		
(3) 長期前受金戻入	218,448,529		
(4) 雑収益	21,618,348	244,951,395	
４ 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	24,900,626		
(2) 雑支出	5,798,735	30,699,361	214,252,034
経常利益			293,579,936

5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	672,234		
(2) 固定資産売却益	11,738,989	12,411,223	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	640,198	640,198	11,771,025
当年度純利益			305,350,961
前年度繰越利益剰余金			230,676,740
その他未処分利益剰余金変動額			116,351,290
当年度未処分利益剰余金			652,378,991

令 和 7 年 度 北 九 州 市 工 業

（令和７年４月１日から

	資本金	剰余金		
		資本剰余金		
		受贈財産評価額	国庫補助金	工事負担金
前年度末残高	8,505,961,331	44,105,649	308,705,363	2,177,392,540
前年度処分額	743,935,218	0	0	0
議会の議決による処分額	743,935,218	0	0	0
減債積立金の積立	0	0	0	0
資本金への組入	743,935,218	0	0	0
処分後残高	9,249,896,549	44,105,649	308,705,363	2,177,392,540
当年度変動額	0	0	0	0
減債積立金の取崩	0	0	0	0
当年度純利益	0	0	0	0
当年度末残高	9,249,896,549	44,105,649	308,705,363	2,177,392,540

用 水 道 事 業 剰 余 金 計 算 書

令和８年３月31日まで）

（単位：円）

余金				資本合計
	利益剰余金			
資本剰余金合計	減債積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
2,530,203,552	1,122,734,532	974,611,958	2,097,346,490	13,133,511,373
0	0	△ 743,935,218	△ 743,935,218	0
0	0	△ 743,935,218	△ 743,935,218	0
0	0	0	0	0
0	0	△ 743,935,218	△ 743,935,218	0
2,530,203,552	1,122,734,532	（繰越利益剰余金） 230,676,740	1,353,411,272	13,133,511,373
0	△ 116,351,290	421,702,251	305,350,961	305,350,961
0	△ 116,351,290	116,351,290	0	0
0	0	305,350,961	305,350,961	305,350,961
2,530,203,552	1,006,383,242	（当年度未処分利益剰余金） 652,378,991	1,658,762,233	13,438,862,334

令和７年度北九州市工業用水道事業剰余金処分計算書(案)

(単位：円)

	資　本　金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	9,249,896,549	2,530,203,552	652,378,991
議会の議決による処分額	265,684,165	0	△　265,684,165
資本金への組入	265,684,165	0	△　265,684,165
処分後残高	9,515,580,714	2,530,203,552	(繰越利益剰余金) 386,694,826

令和７年度北九州市工業用水道事業貸借対照表

（令和８年３月31日）

（単位：円）

資　産　の　部

1　固定資産			
(1)　有形固定資産			
イ　土地		1,339,544,047	
ロ　建物	1,243,296,200		
減価償却累計額	△　848,584,889	394,711,311	
ハ　構築物	28,204,644,910		
減価償却累計額	△ 15,825,596,528	12,379,048,382	
ニ　機械及び装置	5,159,191,637		
減価償却累計額	△ 2,736,349,003	2,422,842,634	
ホ　工具器具及び備品	19,395,688		
減価償却累計額	△　8,087,296	11,308,392	
ヘ　建設仮勘定		259,706,605	
有形固定資産合計			16,807,161,371
(2)　無形固定資産			
イ　ダム使用権		2,364,458,091	
ロ　その他無形固定資産		32,278,450	
無形固定資産合計			2,396,736,541
(3)　投資その他の資産			
イ　出資金		1,390,000	
投資その他の資産合計			1,390,000
固定資産合計			19,205,287,912
2　流動資産			
(1)　現金預金			
イ　その他預金		2,129,133,111	2,129,133,111
(2)　未収金			
イ　営業未収金		160,878,651	
ロ　営業外未収金		68,957,777	
ハ　その他未収金		35,400,000	265,236,428
(3)　貯蔵品			
イ　材料		14,881,510	14,881,510

(4) 前　払　金			
イ　その他前払金	148,717,640	148,717,640	
流動資産合計			2,557,968,689
資　産　合　計			21,763,256,601

負　債　の　部

3　固　定　負　債			
(1) 企　業　債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,649,309,198	2,649,309,198	
(2) 引　当　金			
イ　退職給付引当金	188,085,328	188,085,328	
固定負債合計			2,837,394,526
4　流　動　負　債			
(1) 企　業　債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	127,039,830	127,039,830	
(2) 未　払　金			
イ　営業未払金	280,707,326		
ロ　建設改良未払金	269,905,740	550,613,066	
(3) 引　当　金			
イ　賞与引当金	19,251,000	19,251,000	
(4) 預　り　金			
イ　預り保証金	23,841,750	23,841,750	
流動負債合計			720,745,646
5　繰　延　収　益			
長期前受金		18,081,479,393	
収益化累計額		△13,315,225,298	
繰延収益合計			4,766,254,095
負　債　合　計			8,324,394,267

資　本　の　部

6 資　本　金			9,249,896,549
7 剰　余　金			
(1) 資本剰余金			
イ　受贈財産評価額	44,105,649		
ロ　国庫補助金	308,705,363		
ハ　工事負担金	2,177,392,540		
資本剰余金合計		2,530,203,552	
(2) 利益剰余金			
イ　減債積立金	1,006,383,242		
ロ　当年度未処分利益剰余金	652,378,991		
利益剰余金合計		1,658,762,233	
剰余金合計			4,188,965,785
資本合計			13,438,862,334
負債資本合計			21,763,256,601

注　記

Ⅰ　重要な会計方針に関する注記

1　資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品　　移動平均法による原価法によっている。

2　固定資産の減価償却の方法

⑴　有形固定資産

・減価償却の方法　定額法による。

・主な耐用年数

建物	8 ～ 50 年
構築物	3 ～ 80 年
機械及び装置	5 ～ 60 年
工具器具及び備品	3 ～ 15 年

⑵　無形固定資産

・減価償却の方法　定額法による。

・主な耐用年数

ダム使用権	55 年
その他無形固定資産	5 年

3　引当金の計上方法

⑴　退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

⑵　賞与引当金

職員の期末・勤勉手当及びこれに係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12 月から３月までの４か月分）を計上している。

4　消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

Ⅱ　キャッシュ・フロー計算書に関する注記

該当なし。

Ⅲ　貸借対照表に関する注記

賞与引当金には、法定福利費引当金 3,235,000 円が含まれている。

Ⅳ　セグメント情報に関する注記

工業用水道事業会計は、単一セグメントであるため、注記は省略している。

Ⅴ　減損損失に関する注記

該当なし。

Ⅵ　リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

Ⅶ　重要な後発事象に関する注記

該当なし。

Ⅷ　その他の注記

1　退職給付引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、退職手当として 959,704 円を支給するため、退職給付引当金 959,704 円を取り崩した。

2　賞与引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、期末・勤勉手当及びこれに係る法定福利費として 45,044,315 円を支給するため、賞与引当金 18,770,000 円を取り崩した。

附　属　明　細　書

令和７年度北九州市工業用水道事業キャッシュ・フロー計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

（単位：円）

１　業務活動によるキャッシュ・フロー		
当年度純利益（△は純損失）		305,350,961
減価償却費		754,899,733
固定資産除却損		4,787,952
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△	18,572,599
賞与引当金の増減額（△は減少）		445,000
長期前受金戻入額	△	218,329,486
受取利息及び受取配当金	△	2,618,518
支払利息		24,900,626
有形固定資産売却損益（△は益）	△	11,738,989
未収金の増減額（△は増加）	△	23,861,878
たな卸資産の増減額（△は増加）		11,650,600
未払金の増減額（△は減少）		181,227,505
その他流動負債の増減額（△は減少）		9,607,750
小計		1,017,748,657
利息及び配当金の受取額		2,618,518
利息の支払額	△	24,900,626
業務活動によるキャッシュ・フロー		**995,466,549**
２　投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△	2,148,713,065
有形固定資産の売却による収入		33,480,427
無形固定資産の取得による支出	△	13,521,323
国庫補助金等による収入		97,884,500
有価証券の取得による支出	△	1,200,000,000
有価証券の売却による収入		1,200,000,000
他会計への貸付による支出	△	1,000,000,000
他会計貸付金の回収による収入		1,000,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	**2,030,869,461**
３　財務活動によるキャッシュ・フロー		
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入		900,000,000
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△	116,351,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		**783,648,710**
資金増加額（又は減少額）	△	**251,754,202**
資金期首残高		2,380,887,313
資金期末残高		2,129,133,111

収　益　費　用　明　細　書

款	項	目	節	金　額	備　考
1　工業用水道事業収益				円 1,919,523,938	
	1　営業収益			1,662,161,320	
		1　給水収益		1,661,882,678	
			工水給水料	1,661,882,678	
		2　その他営業収益		278,642	
			材料売却収益	225,400	
			手数料	326	
			雑収益	52,916	
	2　営業外収益			244,951,395	
		1　受取利息及び配当金		2,618,518	
			受取利息及び配当金	2,618,518	
		2　他会計補助金		2,266,000	
			他会計補助金	2,266,000	
		3　長期前受金戻入		218,448,529	
			受贈財産評価額	5,899,066	
			国庫補助金	92,504,557	
			工事負担金	120,044,906	
		4　雑収益		21,618,348	
			賃貸料	2,905,237	
			不用品売却収益	702,674	
			発生品収益	325,089	
			その他雑収益	72,453	
			退職給付引当金戻入益	17,612,895	
	3　特別利益			12,411,223	
		1　過年度損益修正益		672,234	
			過年度損益修正益	672,234	
		2　固定資産売却益		11,738,989	
			固定資産売却益	11,738,989	
収益合計				1,919,523,938	
1　工業用水道事業費				1,614,172,977	
	1　営業費用			1,582,833,418	
		1　原水費		318,911,919	
			給料	28,292,700	
			手当	13,186,099	
			法定福利費	8,637,855	
			補助交付金	84,870	
			動力費	50,905,381	
			修繕費	687,064	

款	項	目	節	金　額	備　考
				円	
			材料費	9,968	
			委託料	26,488,510	
			ダム負担金	183,166,224	
			光熱水費	127,660	
			通信運搬費	838,004	
			上水道負担金	17,090	
			賞与引当金繰入額	6,356,000	
			雑費	114,494	
		2 浄水費		418,382,865	
			給料	57,373,700	
			手当	29,953,426	
			法定福利費	17,582,095	
			補助交付金	172,020	
			動力費	174,759,641	
			薬品費	60,717,604	
			修繕費	4,164,060	
			材料費	11,361,630	
			備消耗品費	283,116	
			委託料	50,893,322	
			燃料費	70,522	
			光熱水費	111,790	
			通信運搬費	254,611	
			賃借料	69,753	
			手数料	28,575	
			賞与引当金繰入額	10,587,000	
		3 配水費		45,903,519	
			給料	3,332,400	
			手当	2,002,296	
			法定福利費	1,029,890	
			補助交付金	9,996	
			動力費	288,223	
			修繕費	20,977,487	
			材料費	2,255,176	
			委託料	12,284,017	
			光熱水費	95,641	
			通信運搬費	608,919	
			保険料	156,800	
			上水道負担金	2,094,674	

款	項	目	節	金　額	備　考
			賞与引当金繰入額	円 768,000	
		5　総　係　費		39,722,030	
			法定福利費	252,776	
			補助交付金	11,388	
			旅　　費	271,914	
			備消耗品費	17,041	
			委　託　料	1,515,000	
			通信運搬費	683,933	
			印刷製本費	192,433	
			研　修　費	380,656	
			賃　借　料	6,529,503	
			手　数　料	63,051	
			負　担　金	3,398,516	
			交　付　金	5,832,500	
			上水道負担金	19,698,319	
			賞与引当金繰入額	875,000	
		6　減価償却費		754,899,733	
			有形固定資産減価償却費	533,775,548	
			無形固定資産減価償却費	221,124,185	
		7　資産減耗費		4,787,952	
			固定資産除却費	4,787,952	
		8　その他営業費用		225,400	
			材料売却原価	225,400	
	2　営業外費用			30,699,361	
		1　支払利息及び企業債取扱諸費		24,900,626	
			企業債利息	24,900,626	
		3　雑　支　出		5,798,735	
			不用品売却原価	325,089	
			その他雑支出	5,473,646	
	3　特別損失	1　過年度損益修正損		640,198	
			過年度損益修正損	640,198	
費用合計				1,614,172,977	

固　定　資　産

(1) 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
	円	円	円	円
土地	1,361,285,485	0	21,741,438	1,339,544,047
建物	1,209,168,042	34,139,051	10,893	1,243,296,200
事務所用建物	41,381,546	1,693,754	0	43,075,300
施設用建物	1,136,109,886	32,445,297	10,893	1,168,544,290
その他建物	31,676,610	0	0	31,676,610
構築物	26,720,916,282	1,485,402,660	1,674,032	28,204,644,910
取水設備	1,885,649,063	4,226,583	0	1,889,875,646
導水設備	5,163,884,486	16,562,446	0	5,180,446,932
浄水設備	2,565,576,809	244,840,208	0	2,810,417,017
送水設備	6,008,634,232	236,192,707	0	6,244,826,939
配水設備	10,282,631,167	967,754,366	0	11,250,385,533
その他構築物	814,540,525	15,826,350	1,674,032	828,692,843
機械及び装置	4,716,296,514	466,693,217	23,798,094	5,159,191,637
電気設備	1,905,199,941	260,802,762	4,176,806	2,161,825,897
ポンプ設備	994,325,824	3,934,122	3,172,722	995,087,224
薬品注入設備	49,035,582	13,715,843	339,308	62,412,117
計装設備	252,125,463	25,760,127	998,003	276,887,587
その他機械及び装置	1,515,609,704	162,480,363	15,111,255	1,662,978,812
工具器具及び備品	17,699,531	1,728,057	31,900	19,395,688
小計	34,025,365,854	1,987,962,985	47,256,357	35,966,072,482
建設仮勘定	477,200,019	1,782,262,837	1,999,756,251	259,706,605
合計	34,502,565,873	3,770,225,822	2,047,012,608	36,225,779,087

明　細　書

減価償却累計額				年度末償却未済高
前年度末累計	当年度増加額	当年度減少額	累計	
円	円	円	円	円
－	－	－	－	1,339,544,047
829,019,814	19,565,075	0	848,584,889	394,711,311
27,538,064	739,115	0	28,277,179	14,798,121
794,437,296	17,299,973	0	811,737,269	356,807,021
7,044,454	1,525,987	0	8,570,441	23,106,169
15,413,472,873	413,713,985	1,590,330	15,825,596,528	12,379,048,382
1,258,598,041	29,421,585	0	1,288,019,626	601,856,020
4,182,356,758	31,032,197	0	4,213,388,955	967,057,977
1,824,354,446	34,679,195	0	1,859,033,641	951,383,376
3,143,256,600	107,452,847	0	3,250,709,447	2,994,117,492
4,400,117,950	201,733,048	0	4,601,850,998	6,648,534,535
604,789,078	9,395,113	1,590,330	612,593,861	216,098,982
2,659,133,105	99,304,898	22,089,000	2,736,349,003	2,422,842,634
749,776,728	60,710,650	3,488,508	806,998,870	1,354,827,027
675,160,142	4,588,300	3,014,086	676,734,356	318,352,868
17,493,174	533,476	322,343	17,704,307	44,707,810
137,357,836	10,838,627	908,371	147,288,092	129,599,495
1,079,345,225	22,633,845	14,355,692	1,087,623,378	575,355,434
6,926,011	1,191,590	30,305	8,087,296	11,308,392
18,908,551,803	533,775,548	23,709,635	19,418,617,716	16,547,454,766
－	－	－	－	259,706,605
18,908,551,803	533,775,548	23,709,635	19,418,617,716	16,807,161,371

(2) 無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額
	円	円	円
ダム使用権	2,574,840,157	0	0
その他無形固定資産	32,997,500	13,521,323	3,498,254
合計	2,607,837,657	13,521,323	3,498,254

(3) 投資その他の資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額
	円	円	円
出資金	1,390,000	0	0
合計	1,390,000	0	0

当年度減価償却高	年度末現在高	備考
円 210,382,066	円 2,364,458,091	
10,742,119	32,278,450	
221,124,185	2,396,736,541	

年度末現在高	備考
円 1,390,000	
1,390,000	

企　業　債　明　細　書

(1)　建設改良費等の財源に充てるための企業債

種　類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備　考
			当年度償還高	償還高累計						
第一次 第二次 改築事業	平成 10. 3.25	円 28,000,000	円 1,517,286	円 28,000,000	円 0		% 2.1	令和 8. 3. 1	財政融資資金	
	12. 3.24	108,000,000	5,568,052	96,525,892	11,474,108		2.0	10. 3. 1	財政融資資金	
	12. 8.31	78,000,000	3,989,048	69,791,994	8,208,006		1.9	10. 3.25	財政融資資金	
	13. 3.26	98,000,000	4,813,300	83,091,186	14,908,814		1.6	11. 3. 1	財政融資資金	
	13. 3.29	156,000,000	9,117,373	156,000,000	0		1.7	8. 3.20	地方公共団体金融機構	
	15. 2.28	45,000,000	2,488,808	41,205,795	3,794,205		1.3	9. 9.20	地方公共団体金融機構	
	15. 2.28	52,000,000	2,450,482	40,571,261	11,428,739		1.3	12. 9.25	財政融資資金	
	15. 3.25	84,000,000	4,599,569	74,627,116	9,372,884		1.25	10. 3.20	地方公共団体金融機構	
	16. 2.27	3,000,000	168,069	2,567,169	432,831		1.7	10. 9.20	地方公共団体金融機構	
	16. 2.27	29,000,000	1,381,686	20,941,865	8,058,135		1.8	13. 9.25	財政融資資金	
	17. 3.25	30,000,000	1,404,501	19,302,314	10,697,686		2.1	15. 3. 1	財政融資資金	
	17. 3.30	28,000,000	1,551,699	21,474,981	6,525,019		2.0	12. 3.20	地方公共団体金融機構	
	18. 3.27	45,000,000	2,058,901	26,966,943	18,033,057		2.0	16. 3. 1	財政融資資金	
	18. 3.30	75,000,000	4,074,441	53,365,934	21,634,066		2.0	13. 3.20	地方公共団体金融機構	
	19. 3.26	40,000,000	1,796,038	22,029,795	17,970,205		2.1	17. 3. 1	財政融資資金	
	19. 3.29	67,000,000	3,578,101	43,888,161	23,111,839		2.1	14. 3.20	地方公共団体金融機構	
	20. 3.25	61,000,000	2,682,053	31,028,273	29,971,727		2.0	18. 3. 1	財政融資資金	
	20. 3.28	75,000,000	3,915,457	45,297,335	29,702,665		2.0	15. 3.20	地方公共団体金融機構	
	20. 3.28	20,000,000	1,044,122	12,079,289	7,920,711		2.0	15. 3.20	地方公共団体金融機構	
	21. 3.25	66,000,000	2,847,114	30,856,128	35,143,872		1.9	19. 3. 1	財政融資資金	

種　類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備　考
			当年度償還高	償還高累計						
第一次 第二次 改築事業	平成 21. 3.30	円 23,000,000	円 1,175,048	円 12,801,606	円 10,198,394		% 1.8	令和 16. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	21. 3.30	88,000,000	4,495,833	48,980,051	39,019,949		1.8	16. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	22. 3.25	38,000,000	3,109,945	31,629,433	6,370,567		1.6	10. 3. 1	財政融資資金	
	22. 3.30	62,000,000	5,074,121	51,605,916	10,394,084		1.6	10. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	22. 3.30	39,600,000	2,770,119	28,038,459	11,561,541		1.7	12. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	23. 3.25	16,000,000	599,117	5,510,552	10,489,448		1.9	23. 3. 1	財政融資資金	
	23. 3.30	54,400,000	2,036,998	18,735,879	35,664,121		1.9	23. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	23. 3.30	15,000,000	561,672	5,166,143	9,833,857		1.9	23. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	24. 3.29	30,000,000	1,113,123	9,371,156	20,628,844		1.7	24. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	29. 3.30	100,000,000	3,786,500	15,010,837	84,989,163		0.6	29. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	29. 3.30	100,000,000	3,786,500	15,010,837	84,989,163		0.6	29. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	30. 3.29	220,000,000	8,280,542	24,693,541	195,306,459		0.6	30. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	30. 3.29	55,000,000	2,070,136	6,173,385	48,826,615		0.6	30. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	31. 3.28	50,000,000	1,891,874	3,774,324	46,225,676		0.5	31. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	令和 2. 3.30	20,100,000	775,411	775,411	19,324,589		0.3	32. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	2. 3.30	11,000,000	424,354	424,354	10,575,646		0.3	32. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	3. 3.30	43,500,000	0	0	43,500,000		0.5	33. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	3. 3.30	5,300,000	0	0	5,300,000		0.5	33. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	4. 3.30	22,500,000	0	0	22,500,000		0.7	34. 3.20	地方公共団体 金融機構	
	5. 3.30	17,700,000	0	0	17,700,000		1.3	35. 3.20	地方公共団体 金融機構	

種　類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備　考
			当年度償還高	償還高累計						
第一次第二次改築事業	令和 6. 3.28	円 90,800,000	円 0	円 0	円 90,800,000		% 1.4	令和 36. 3.20	地方公共団体金融機構	
	6. 3.28	18,900,000	0	0	18,900,000		1.4	36. 3.20	地方公共団体金融機構	
	6. 3.28	45,300,000	5,033,332	5,033,332	40,266,668		0.52	16. 3.28	銀行等引受債引受団等	
	7. 3.27	119,500,000	0	0	119,500,000		2.1	37. 3.20	地方公共団体金融機構	
	7. 3.28	500,000,000	0	0	500,000,000		1.319	17. 3.28	銀行等引受債引受団等	
	7. 3.28	80,500,000	0	0	80,500,000		1.319	17. 3.28	銀行等引受債引受団等	
	8. 3.27	700,000,000	0	0	700,000,000		1.659	18. 3.27	銀行等引受債引受団等	
	8. 3.27	200,000,000	0	0	200,000,000		1.659	18. 3.27	銀行等引受債引受団等	
計		3,954,100,000	108,030,725	1,202,346,647	2,751,753,353					
浄水場整備事業	平成 10. 3.25	38,000,000	2,031,815	38,000,000	0		2.1	令和 8. 3. 1	財政融資資金	21 一部繰上償還
計		38,000,000	2,031,815	38,000,000	0					
産炭改築事業	平成 15. 3.25	52,000,000	2,847,352	46,197,739	5,802,261		1.25	令和 10. 3.20	地方公共団体金融機構	
	16. 2.27	7,000,000	392,160	5,990,057	1,009,943		1.7	10. 9.20	地方公共団体金融機構	
	16. 2.27	64,000,000	3,049,238	46,216,529	17,783,471		1.8	13. 9.25	財政融資資金	
計		123,000,000	6,288,750	98,404,325	24,595,675					
合　計		4,115,100,000	116,351,290	1,338,750,972	2,776,349,028					

北九州市工業用水道事業報告書

1　概　　況

⑴　総括事項

令和７年度は、令和３年３月に策定した「北九州市上下水道事業基本計画 2030（令和３～12年度)」及び「北九州市上下水道事業中期経営計画 2025（令和３～７年度)」に基づき、安全で安定的な給水を確保するため、工業用水道第１期強靭化事業（事業期間:令和４～12年度）として、老朽化した配水管・導送水管の更新を行った。

財政面では、単年度資金収支は 69,170 千円のプラスとなり、令和７年度末の累積では 1,471,214 千円の資金剰余を確保している。

ア　業務量

本年度の給水事業所数は、前年度と同じ 70 事業所であった。

また、１日あたりの契約水量は 216,575㎥で、前年度と比べ 15,440㎥（7.7％）増加し、契約率は 85.3％で前年度と比べ 6.1 ポイント増加した。

給水量は 43,839 千㎥で、前年度と比べ 1,302 千㎥（3.1％）増加した。

イ　財政状況

収益的収支は、収入 1,919,523 千円に対し、支出 1,614,172 千円で差引き 305,351 千円の利益が生じた。

一方、資本的収支は、建設改良費や企業債償還金の執行により、1,118,198 千円の不足が生じたが、損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度資金収支は 69,170 千円のプラスとなり、令和７年度末の累積では 1,471,214 千円の資金剰余となった。

ウ　建設改良工事

工水改築事業等で 1,934,421 千円を執行した。

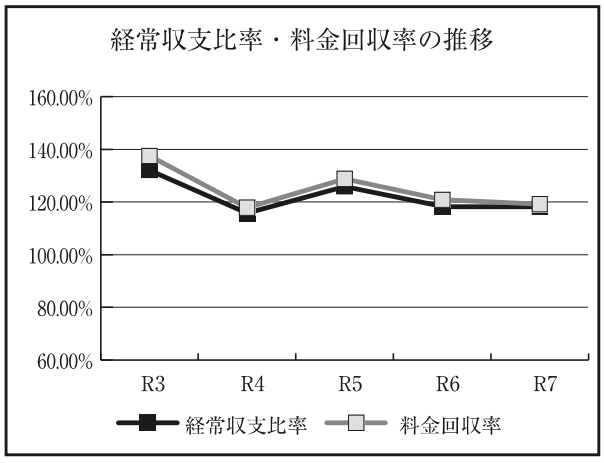
⑵ 経営指標に関する事項

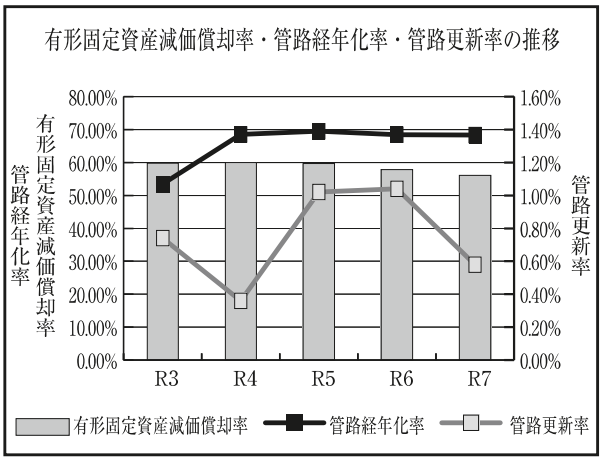
令和７年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、給水収益の増加に伴い営業収益が増加した一方、維持管理費や減価償却費の増加に伴う営業費用が増加したこと等により前年度比 0.08 ポイント減の 118.19％となったが、健全経営の水準とされる 100％を上回っている。また、料金水準の妥当性を示す料金回収率は、前年度比 1.66 ポイント減の 119.17％となり、事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況とされる 100％を上回っている。

償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比 1.81 ポイント減の 56.08％となっている。当該年度に更新した管路延長の割合を示す管路更新率は前年度比 0.46 ポイント減の 0.58％となっている。また、法定耐用年数を経過した管路延長の割合を示す管路経年化率が、前年度比 0.11 ポイント減の 68.33% となっている。将来の更新需要に備え、現在の経営状況を維持しつつ、計画的な施設更新を行う。

＜経営指標の推移＞

	R3	R4	R5	R6	R7
経常収支比率	132.12%	115.76%	125.92%	118.27%	118.19%
料金回収率	137.48%	117.85%	128.81%	120.83%	119.17%
有形固定資産減価償却率	59.78%	60.02%	59.65%	57.89%	56.08%
管路経年化率	53.43%	68.52%	69.48%	68.44%	68.33%
管路更新率	0.74%	0.36%	1.02%	1.04%	0.58%





⑶ 議会議決事項

議案番号	件　　名	提出年月日	議決年月日
第108号	令和6年度北九州市工業用水道事業会計に係る利益の処分及び決算について	令和 7. 9. 4	令和 7.10. 2
第 23 号	令和8年度北九州市工業用水道事業会計予算	8. 2.19	8. 3.25

（報告事項）　令和6年度北九州市工業用水道事業会計予算の繰越し報告について（報告第9号）

⑷ 行政官庁許認可事項

該当事項なし。

⑸ 職員に関する事項

令和8年3月末の職員数は22人で、その内訳は次のとおりである。

区　　分	職　　種	本 年 度	前 年 度	増　△減
損益勘定支弁職員	事務職	0人	1人	△ 1人
	技術職	21	21	0
	計	21	22	△ 1
資本勘定支弁職員	事務職	0	0	0
	技術職	1	1	0
	計	1	1	0
合　　計		22	23	△ 1

（注）職員数は、育児休業者を除く。

⑹ 料金その他供給条件の設定、変更に関する事項

該当事項なし。

2　工　　事

(1)　建設改良工事の概況（消費税及び地方消費税を含む。）

※　間接工事費を含む金額２千万円以上の工事

ア　工水改築事業等

北九州市工業用水道配水管布設替工事（7 － 1 工区）など 1,934,421 千円を執行した。

主な工事は次のとおりである。

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
本城浄水場三次・産炭系工水施設整備工事	掻寄機整備　一式	令和 5. 9.14	令和 7. 8.26
本城浄水場三次・産炭系工水施設整備電気計装工事	電気設備整備　一式	5. 9.14	7. 8.28
本城浄水場小竹系沈殿池耐震補強他工事（1 工区）	沈殿池耐震補強工　一式	5.12.21	7. 5.30
本城浄水場他無停電電源装置更新電気計装工事	無停電電源装置更新 一式	6. 7. 4	7. 8.19
猪熊取水場次亜注入設備整備電気計装工事	次亜注入設備整備　一式	6. 8. 1	7.12.26
城山系～小竹系工水連絡管布設替工事（2 工区）	φ 600mm　L = 421.6 m 仕切弁更新　一式	6. 9. 5	7. 6.23
城山系～小竹系工水連絡管布設替工事（1 工区）	φ 600mm　L = 420.8 m	6. 9.12	7. 6.12
本城浄水場城山系沈殿池耐震補強実施設計他業務委託	沈殿池耐震補強実施設計　一式	6. 9.12	7. 7.28
北九州市工業用水道配水管布設替（推進）工事（6 － 1 工区）	推進工　L = 61.3 m φ 900mm　L = 217.6 m	6.10.31	7. 7. 8
猪熊取水場次亜注入機室建築工事	次亜注入機室整備　一式	6.10.31	7. 9. 2
北九州市工業用水道配水管不断水分岐管設置工事	不断水分岐管設置工 2 箇所 不断水仕切弁設置工 1 箇所	7. 1.24	7.12.25
伊佐座取水場引野系薬注高圧設備更新電気計装工事	薬注高圧設備更新　一式	7. 2.13	8. 2.10
本城浄水場濃縮槽耐震補強他工事	濃縮槽耐震補強工　一式	7. 3.27	8. 3.10
本城浄水場城山系小竹送水流量計整備他電気計装工事	流量計整備　一式	7. 4.24	7.12. 6
北九州市工業用水道配水管布設替工事（7 － 1 工区）	φ 800mm　L = 408.8 m	7. 6.19	8. 3.12
北九州市工業用水道配水管布設替工事（7 － 2 工区）	φ 800mm　L = 287.8 m	7. 6.19	8. 3. 5

(2)　保存工事の概況

ア　水源施設補修工事　頓田貯水池制御盤修繕　ほか２件

イ　浄水施設補修工事　伊佐座排水処理場２－２号汚泥引抜ポンプ定期整備工事　ほか６件

ウ　配水施設補修工事　35 件

3　業　　務

(1) 業　務　量

事　　項		本　年　度	前　年　度	比　　較	
				増　　△減	増　　△減率
給水量	年　　間	43,838,830㎥	42,536,510㎥	1,302,320㎥	3.06%
	一日平均	120,106㎥	116,538㎥	3,568㎥	3.06
使用水量（計量分）	年　　間	42,336,381㎥	40,318,965㎥	2,017,416㎥	5.00
	一日平均	115,990㎥	110,463㎥	5,527㎥	5.00
契約水量（一日あたり）		216,575㎥	201,135㎥	15,440㎥	7.68
給水事業所数		70事業所	70事業所	0事業所	－

(2) 事業収入に関する事項

区分	本年度	前年度	比較	
			増△減	増△減率
	円	円	円	%
収益的収入	1,919,523,938	1,816,207,031	103,316,907	5.69
営業収益	1,662,161,320	1,585,748,016	76,413,304	4.82
営業外収益	244,951,395	230,113,625	14,837,770	6.45
特別利益	12,411,223	345,390	12,065,833	3,493.39
資本的収入	957,141,438	822,660,770	134,480,668	16.35
企業債	900,000,000	700,000,000	200,000,000	28.57
国庫補助金	35,400,000	54,323,475	△ 18,923,475	△ 34.83
工事負担金	0	68,337,295	△ 68,337,295	皆減
固定資産売却代金	21,741,438	0	21,741,438	皆増
計	2,876,665,376	2,638,867,801	237,797,575	9.01

収益的収入の年度別構成比率

区分	4年度		5年度		6年度		7年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
	円	%	円	%	円	%	円	%
料金収入	1,572,790,874	87.09	1,588,213,223	86.72	1,585,721,062	87.31	1,661,882,678	86.58
他会計補助金	1,300,000	0.07	1,188,000	0.06	1,636,000	0.09	2,266,000	0.12
受託収益	0	−	2,508,495	0.14	0	−	0	−
その他	231,967,255	12.84	239,569,378	13.08	228,849,969	12.60	255,375,260	13.30
計	1,806,058,129	100.00	1,831,479,096	100.00	1,816,207,031	100.00	1,919,523,938	100.00

(3) 事業費に関する事項

区分	本年度	前年度	比較	
			増△減	増△減率
	円	円	円	%
収益的支出	1,614,172,977	1,535,712,737	78,460,240	5.11
営業費用	1,582,833,418	1,516,791,554	66,041,864	4.35
営業外費用	30,699,361	18,578,521	12,120,840	65.24
特別損失	640,198	342,662	297,536	86.83
資本的支出	1,900,169,184	1,792,732,617	107,436,567	5.99
施設費	1,783,817,894	1,659,212,708	124,605,186	7.51
企業債償還金	116,351,290	133,519,909	△ 17,168,619	△ 12.86
計	3,514,342,161	3,328,445,354	185,896,807	5.59

収益的支出の年度別構成比率

区分	4年度		5年度		6年度		7年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
	円	%	円	%	円	%	円	%
職員給与費	228,905,435	14.67	181,093,861	12.45	222,734,939	14.50	180,229,237	11.17
浄化費用	304,739,653	19.53	241,480,961	16.60	252,708,913	16.46	286,670,849	17.76
維持管理費	283,554,410	18.18	279,759,479	19.24	276,111,932	17.98	317,425,993	19.66
一般管理費	36,844,321	2.36	34,180,105	2.35	36,873,500	2.40	38,594,254	2.39
受託費	0	−	2,145,607	0.15	0	−	0	−
減価償却費等	683,796,190	43.83	697,310,359	47.95	728,362,270	47.43	759,913,085	47.08
支払利息等	22,366,547	1.43	18,272,323	1.26	18,578,521	1.21	30,699,361	1.90
特別損失	0	−	0	−	342,662	0.02	640,198	0.04
計	1,560,206,556	100.00	1,454,242,695	100.00	1,535,712,737	100.00	1,614,172,977	100.00

(4) その他主要な事項

該当事項なし。

4　会　　計

(1)　重要契約の要旨

本年度における契約金額４千万円以上の工事又は製造の請負契約は、次のとおりである。

（消費税及び地方消費税を含む。）

契約年月日	契約金額	契約内容	契約の相手方
令和 7. 6.19	円 235,019,400	北九州市工業用水道配水管布設替工事（7－1工区）	瀬戸口工務店
7. 6.19	194,836,400	北九州市工業用水道配水管布設替工事（7－2工区）	西部建設工業㈱
7. 8. 7	46,206,789	伊佐座排水処理場受配電設備更新電気計装工事	協栄電気㈱
7. 9. 4	50,086,300	北九州市工業用水道配水管布設替工事（7－4工区）	㈲本屋敷建設
7. 9. 4	107,888,000	本城浄水場小竹系沈殿池耐震補強他工事（2工区）	㈱大和総合建設
7.10.23	49,893,800	伊佐座取水場引野系天日乾燥床長寿命化工事	船橋組
7.11. 6	230,703,000	本城浄水場城山系沈殿池耐震補強他工事	戸畑土建工業㈱

⑵ 企業債及び一時借入金の概況

ア 企 業 債

借　　入　　先	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
	円	円	円	円
財 政 融 資 資 金	239,836,411	0	39,298,576	200,537,835
地方公共団体金融機構	1,127,063,907	0	72,019,382	1,055,044,525
銀行等引受債引受団等	625,800,000	900,000,000	5,033,332	1,520,766,668
計	1,992,700,318	900,000,000	116,351,290	2,776,349,028

イ 一時借入金

前年度末残高	0 円
本年度中における借入残高最高額	0 円
本年度末残高	0 円
（一時借入金限度額	500,000,000 円）

⑶ その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし。

5　附帯事項

該当事項なし。

6　その他

⑴　決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実

該当事項なし。

⑵　国庫補助金等の使途の特定について

ア　他会計補助金 2,266,000 円については、全額職員給与費課税仕入以外に充当した。
（特定収入以外）

イ　国庫補助金 35,400,000 円については、工水改築事業等に伴う収入であり、全額工事費等課税仕入に充当した。（特　定　収　入）

ウ　雑収益　72,400 円については、全額修繕費等課税仕入に充当した。（特　定　収　入）

エ　特別利益 134,450 円については、全額職員給与費等課税仕入以外に充当した。（特定収入以外）

⑶　その他

該当事項なし。

令 和 7 年 度

北九州市交通事業会計決算書
北 九 州 市 交 通 事 業 報 告 書

北 九 州 市 交 通 局

目　　次

北九州市交通事業会計決算書

令和7年度北九州市交通事業決算報告書 …… 1
令和7年度北九州市交通事業損益計算書 …… 5
令和7年度北九州市交通事業剰余金計算書 …… 7
令和7年度北九州市交通事業欠損金処理計算書 …… 9
令和7年度北九州市交通事業貸借対照表 …… 10
注記 …… 12

付属明細書

令和7年度北九州市交通事業キャッシュ・フロー計算書 …… 14
収益費用明細書 …… 16
固定資産明細書 …… 21
企業債明細書 …… 22

北九州市交通事業報告書

1　概　　況
(1) 総　括　事　項 …… 23
(2) 経営指標に関する事項 …… 24
(3) 議会議決事項 …… 24
(4) 行政官庁許認可事項 …… 25
(5) 職員に関する事項 …… 25
(6) 料金その他供給条件の設定、変更に関する事項 …… 26
2　工　　事
(1) 建設改良工事の概況 …… 28
3　業　　務
(1) 業　務　量 …… 28
(2) 事業収入に関する事項 …… 29
(3) 事業費に関する事項 …… 30
(4) その他主要な事項 …… 30
4　会　　計
(1) 重要契約の要旨 …… 31
(2) 企業債、長期借入金及び一時借入金の概況 …… 31
(3) その他会計経理に関する重要事項 …… 31
5　附帯事項 …… 32
6　そ　の　他
(1) 決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実 …… 32
(2) 他会計補助金等の使途について …… 32
(3) そ　の　他 …… 32

北九州市交通事業会計決算書

令 和 7 年 度　　北 九 州 市

(1) 収益的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
	円	円	円
第1款 自動車運送事業収益	2,156,753,000	0	0
第1項 営 業 収 益	1,716,014,000	0	0
第2項 営業外収益	440,719,000	0	0
第3項 特 別 利 益	20,000	0	0

支　　出

区　　分	予　　算				
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額
	円	円	円	円	円
第1款 自動車運送事業費	2,162,867,000	30,000,000	0	0	0
第1項 営 業 費 用	2,049,737,000	30,000,000	0	0	0
第2項 営業外費用	111,120,000	0	0	0	0
第3項 特 別 損 失	10,000	0	0	0	0
第4項 予　備　費	2,000,000	0	0	0	0

交通事業決算報告書

額	決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
合計			
円 2,156,753,000	円 2,187,413,012	円 30,660,012	
1,716,014,000	1,745,641,655	29,627,655	うち、仮受消費税及び地方消費税 155,617,828円
440,719,000	441,771,357	1,052,357	うち、仮受消費税及び地方消費税 1,338,710円
20,000	0	△ 20,000	

額			決算額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不用額	備考
小計	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	合計				
円 2,192,867,000	円 0	円 2,192,867,000	円 2,119,351,230	円 0	円 73,515,770	
2,079,737,000	0	2,079,737,000	2,029,301,598	0	50,435,402	うち、仮払消費税及び地方消費税 29,767,605円
111,120,000	0	111,120,000	90,049,632	0	21,070,368	うち、仮払消費税及び地方消費税 242,260円
10,000	0	10,000	0	0	10,000	
2,000,000	0	2,000,000	0	0	2,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算			
	当初予算額	補正予算額	小　　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	円	円	円	円
第1款　自動車運送事業資本的収入	116,627,000	0	116,627,000	0
第1項　企　業　債	73,300,000	0	73,300,000	0
第2項　国庫補助金	10,000	0	10,000	0
第3項　県支出金	1,507,000	0	1,507,000	0
第4項　固定資産売却代金	10,000	0	10,000	0
第5項　その他資本的収入	41,800,000	0	41,800,000	0

支　　出

区　　分	予　　算					
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	小　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額
	円	円	円	円	円	円
第1款　自動車運送事業資本的支出	193,293,000	0	0	0	193,293,000	0
第1項　建設改良費	142,193,000	0	0	0	142,193,000	0
第2項　企業債償還金	49,100,000	0	0	0	49,100,000	0
第3項　予　備　費	2,000,000	0	0	0	2,000,000	0

資本的収入額 106,104,600円が、資本的支出額 183,091,781円に対し不足する額 76,987,181円は、するものとする。

額		決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
継続費逓次繰越額に係る財源充当額	合計			
円 0	円 116,627,000	円 106,104,600	円 △ 10,522,400	
0	73,300,000	62,700,000	△ 10,600,000	
0	10,000	0	△ 10,000	
0	1,507,000	1,605,000	98,000	
0	10,000	0	△ 10,000	
0	41,800,000	41,799,600	△ 400	

額		決算額	翌年度繰越額			不用額	備考
継続費逓次繰越額	合計		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合計		
円 0	円 193,293,000	円 183,091,781	円 0	円 0	円 0	円 10,201,219	
0	142,193,000	133,991,781	0	0	0	8,201,219	うち、仮払消費税及び地方消費税 12,120,010円
0	49,100,000	49,100,000	0	0	0	0	
0	2,000,000	0	0	0	0	2,000,000	

当年度分消費税資本的収支調整額 39,537,610円及び過年度分損益勘定留保資金 37,449,571円で補てん

令和7年度　北九州市交通事業損益計算書

（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位　円）

1　営　業　収　益		
（1）運　送　収　益	1,163,735,927	
（2）運　送　雑　収　益	390,408,726	
（3）附　帯　事　業　収　益	2,448,404	
（4）補　助　金	33,430,770	1,590,023,827
2　営　業　費　用		
（1）運　転　費	1,217,602,590	
（2）車　両　修　繕　費	187,687,667	
（3）そ　の　他　修　繕　費	1,922,180	
（4）減　価　償　却　費	129,621,567	
（5）資　産　減　耗　費	16,697,240	
（6）施　設　損　害　保　険　料	265,060	
（7）施　設　使　用　料	29,231,484	
（8）自　動　車　重　量　税	4,549,600	
（9）運　輸　管　理　費	198,339,226	
(10) 附　帯　事　業　費	1,633,457	
(11) 厚　生　福　利　施　設　費	141,159	
(12) 一　般　管　理　費	211,842,763	1,999,533,993
営　業　損　失		**409,510,166**

（単位 円）

3 営業外収益			
（1）他会計補助金	356,520,794		
（2）雑収益	25,138,943		
（3）長期前受金戻入	58,772,910	440,432,647	
4 営業外費用			
（1）支払利息及び企業債取扱諸費	1,021,009		
（2）雑支出	14,442,152	15,463,161	424,969,486
経常利益			**15,459,320**
当年度純利益			**15,459,320**
前年度繰越欠損金			**2,442,646,679**
当年度未処理欠損金			**2,427,187,359**

令和７年度　北九州市

（令和７年４月１日から

	資本金	剰			
		資　　本　　剰			
		車両改造補助金	受贈財産評価額	停留所整備費補助金	車両購入費補助金
前年度末残高	3,072,501,678	2,550,000	3,190,214	31,061,737	46,809,810
前年度処分額	0	0	0	0	0
法令による処分額	0	0	0	0	0
処分後残高	3,072,501,678	2,550,000	3,190,214	31,061,737	46,809,810
当年度変動額	0	0	0	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0
当年度末残高	3,072,501,678	2,550,000	3,190,214	31,061,737	46,809,810

交 通 事 業 剰 余 金 計 算 書

令和８年３月31日まで）

（単位 円）

余金						資本合計
余金				欠損金		
運輸事業振興助成交付金	寄付金	その他	資本剰余金合計	未処理欠損金	欠損金合計	
35,405,671	35,000	11,718,454	130,770,886	△ 2,442,646,679	△ 2,442,646,679	760,625,885
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
35,405,671	35,000	11,718,454	130,770,886	繰越欠損金 △ 2,442,646,679	△ 2,442,646,679	760,625,885
0	0	0	0	15,459,320	15,459,320	15,459,320
0	0	0	0	15,459,320	15,459,320	15,459,320
35,405,671	35,000	11,718,454	130,770,886	当年度未処理欠損金 △ 2,427,187,359	△ 2,427,187,359	776,085,205

令和7年度　北九州市交通事業欠損金処理計算書

（単位　円）

	資　本　金	資本剰余金	未処理欠損金
当　年　度　末　残　高	3,072,501,678	130,770,886	△ 2,427,187,359
議会の議決による処分額	0	0	0
処　分　後　残　高	3,072,501,678	130,770,886	繰越欠損金 △ 2,427,187,359

令和7年度　北九州市交通事業貸借対照表

（令和8年3月31日）

（単位　円）

資　　産　　の　　部

1　固　定　資　産			
（1）有形固定資産			
イ　土　地		208,596,557	
ロ　建　物	837,919,946		
減価償却累計額	△ 503,801,630	334,118,316	
ハ　構　築　物	382,684,875		
減価償却累計額	△ 326,191,679	56,493,196	
ニ　車　両	1,787,508,569		
減価償却累計額	△ 1,540,765,853	246,742,716	
ホ　機械及び装置	61,834,000		
減価償却累計額	△ 52,277,728	9,556,272	
ヘ　工具器具及び備品	689,990,545		
減価償却累計額	△ 527,886,209	162,104,336	
ト　リ　ー　ス　資　産		253,981,931	
有形固定資産合計			1,271,593,324
（2）無形固定資産			
イ　電　話　加　入　権		1,418,840	
無形固定資産合計			1,418,840
（3）投資その他の資産			
イ　保　証　金		2,435,000	
ロ　リサイクル預託金		5,678,000	
ハ　敷　金		390,000	
投資その他の資産合計			8,503,000
固　定　資　産　合　計			**1,281,515,164**
2　流　動　資　産			
（1）現　金　預　金			602,384,705
（2）未　収　金			291,252,303
その他引当金			△ 37,215,288
（3）貯　蔵　品			16,532,395
（4）前　払　費　用			194,157
流　動　資　産　合　計			**873,148,272**
資　産　合　計			**2,154,663,436**

負　債　の　部

3　固定負債			
（1）企業債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	156,850,000		
企業債合計		156,850,000	
（2）リース債務		254,979,929	
（3）引当金			
イ　退職給付引当金	306,476,998		
引当金合計		306,476,998	
固定負債合計			**718,306,927**
4　流動負債			
（1）企業債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,725,000		
企業債合計		54,725,000	
（2）リース債務		26,419,602	
（3）未払金		233,862,600	
（4）預り金		11,049,941	
（5）前受収益		41,090,613	
（6）引当金			
イ　賞与引当金	45,223,000		
引当金合計		45,223,000	
流動負債合計			**412,370,756**
5　繰延収益			
（1）長期前受金		962,705,272	
（2）収益化累計額		△ 714,804,724	
繰延収益合計			**247,900,548**
負債合計			**1,378,578,231**

資　本　の　部

6　資本金			3,072,501,678
7　剰余金			
（1）資本剰余金			
イ　車両改造補助金	2,550,000		
ロ　受贈財産評価額	3,190,214		
ハ　停留所整備費補助金	31,061,737		
ニ　車両購入費補助金	46,809,810		
ホ　運輸事業振興助成交付金	35,405,671		
ヘ　寄付金	35,000		
ト　その他資本剰余金	11,718,454		
資本剰余金合計		130,770,886	
（2）欠損金			
イ　当年度未処理欠損金	2,427,187,359		
欠損金合計		2,427,187,359	
剰余金合計			**△ 2,296,416,473**
資本合計			**776,085,205**
負債資本合計			**2,154,663,436**

注　記

Ⅰ　重要な会計方針に関する注記

1　資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品　　先入先出法による原価法によっている。

2　固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産

・減価償却の方法

定率法による。但し、建物(平成10年4月1日以降に取得したもの)については定額法による。

・主な耐用年数

建物	10～50年
構築物	10～50年
機械及び装置	8～17年
車両	5年
工具器具及び備品	3年～20年

(2)無形固定資産

・減価償却の方法　定額法による。

3　引当金の計上方法

(1)退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する額から、一般会計が負担すると見込まれる金額を除いた額を計上している。

(2)賞与引当金

職員の期末・勤勉手当及びこれに係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額(12月から3月までの4か月分)を計上している。

(3)その他引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、回収不能見込額を計上している。

4　消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

Ⅱ　キャッシュ・フロー計算書に関する注記

重要な非資金取引の内容

当年度、新たに計上した現物出資の受入による資産の取得額は3,319,000円である。

当年度、新たに計上したファイナンス・リース取引に係る資産の取得額は253,981,931円である。

Ⅲ　貸借対照表に関する注記

賞与引当金

賞与引当金には、法定福利費引当金7,463,000円が含まれている。

Ⅳ　セグメント情報に関する注記

交通事業会計は、単一セグメントであるため、注記は省略している。

Ⅴ　減損損失に関する注記

該当なし。

Ⅵ　リース契約により使用する固定資産に関する注記

1　リース料総額が300万円超のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

2　所有権移転外ファイナンス・リース取引

未経過リース料相当額

1年内	2,929,080円
1年超	2,929,080円
計	5,858,160円

Ⅶ　重要な後発事象に関する注記

該当なし。

Ⅷ　その他の注記

１　退職給付引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、退職手当として2,081,603円を支給するため、退職給付引当金2,081,603円を使用する。

２　賞与引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、期末・勤勉手当及びこれに係る法定福利費として136,632,305円を支給するため、賞与引当金40,826,000円を使用する。

付　属　明　細　書

令和7年度　北九州市交通事業キャッシュ・フロー計算書

（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

（単位　円）

1	**業務活動によるキャッシュ・フロー**	
	当年度純利益（△は純損失）	15,459,320
	減価償却費	129,621,567
	退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,646,723
	賞与引当金の増減額（△は減少）	4,397,000
	長期前受金戻入額	△ 58,772,910
	支払利息及び企業債取扱諸費	1,021,009
	固定資産除却損	16,697,240
	未収金の増減額（△は増加）	△ 32,629,345
	未払金の増減額（△は減少）	20,916,620
	たな卸資産の増減額（△は増加）	1,206,396
	前払費用の増減額（△は増加）	1,430
	預り金の増減額（△は減少）	△ 7,972,435
	前受金の増減額（△は減少）	11,992,656
	その他	27,417,600
	小計	133,002,871
	利息の支払額	△ 1,021,009
	業務活動によるキャッシュ・フロー	**131,981,862**
2	**投資活動によるキャッシュ・フロー**	
	有形固定資産の取得による支出	△ 68,814,692
	リサイクル預託金の取得による支出	△ 671,630
	国庫補助金等による収入	43,404,600
	投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 26,081,722**
3	**財務活動によるキャッシュ・フロー**	
	建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	62,700,000
	建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 49,100,000
	財務活動によるキャッシュ・フロー	**13,600,000**

資金増加額(又は減少額)	**119,500,140**
資金期首残高	482,884,565
資金期末残高	602,384,705

収 益 費 用 明 細 書

款	項	目	節	金　額	備考
1 自動車運送事業収益				円 2,030,456,474	
	1 営業収益			1,590,023,827	
		1 運送収益		1,163,735,927	
			乗合収入	704,312,642	
			貸切収入	459,423,285	
		2 運送雑収益		390,408,726	
			施設利用料	2,066,206	
			広告料	27,280,277	
			乗合手数料	222,431	
			受託収入	360,839,553	
			雑収入	259	
		3 附帯事業収益		2,448,404	
			あっ旋料収入	1,718,313	
			附帯事業雑入	730,091	
		4 補助金		33,430,770	
			運行補助金	33,430,770	
	2 営業外収益			440,432,647	
		1 他会計補助金		356,520,794	
			他会計補助金	356,520,794	
		2 雑収益		25,138,943	
			遺失品代	85,494	
			事故費収入	122,730	
			その他雑収入	24,930,719	
		3 長期前受金戻入		58,772,910	
			長期前受金戻入	58,772,910	
収益合計				2,030,456,474	

款	項	目	節	金　額	備考
1 自動車運送事業費				円 2,014,997,154	
	1 営業費用			1,999,533,993	
		1 運転費		1,217,602,590	
			給料	469,640,269	
			手当	313,340,864	
			退職給付費	5,728,326	
			法定福利費	139,173,712	
			賞与引当金繰入額	18,863,000	
			厚生福利費	3,413,225	
			旅費	53,456	
			被服費	3,559,586	
			備消品費	4,398,377	
			印刷製本費	256,400	
			光熱水費	5,277,954	
			ガソリン費	69,500	
			軽油費	140,744,674	
			事業燃料費	2,684,000	
			油脂費	3,148,520	
			修繕費	1,111,860	
			通信運搬費	7,175,437	
			委託料	86,102,450	
			使用料及び賃借料	12,036,980	
			給付金	824,000	
		2 車両修繕費		187,687,667	
			給料	47,905,017	
			手当	27,358,799	
			法定福利費	14,925,972	
			賞与引当金繰入額	5,800,000	
			厚生福利費	477,192	
			旅費	664,877	
			被服費	429,140	
			備消品費	1,417,447	

款	項	目	節	金　額	備考
				円	
			光熱水費	163,694	
			ガソリン費	71,880	
			修繕費	126,010	
			自家修繕費	43,472,690	
			外注修繕費	42,499,966	
			手数料	64,680	
			委託料	2,152,000	
			負担金	158,303	
		3 その他修繕費		1,922,180	
			建物構築物修繕費	643,700	
			機械装置修繕費	335,780	
			工具器具備品修繕費	546,700	
			委託料	396,000	
		4 減価償却費		129,621,567	
			減価償却費	129,621,567	
		5 資産減耗費		16,697,240	
			固定資産除却費	16,697,240	
		6 施設損害保険料		265,060	
			保険料	104,160	
			施設損害保険料	160,900	
		7 施設使用料		29,231,484	
			使用料及び賃借料	2,451,219	
			道路使用料	12,395,976	
			借地借家料	14,384,289	
		8 自動車重量税		4,549,600	
			自動車重量税	4,549,600	
		9 運輸管理費		198,339,226	
			給料	69,253,430	
			手当	43,511,958	
			法定福利費	22,403,936	
			賞与引当金繰入額	8,260,000	
			厚生福利費	612,600	

款	項	目	節	金　額	備考
				円	
			旅費	146,068	
			被服費	27,800	
			備消品費	1,025,169	
			印刷製本費	930,600	
			光熱水費	5,710,215	
			ガソリン費	452,807	
			修繕費	469,340	
			通信運搬費	366,749	
			広告料	5,712,530	
			手数料	5,799,712	
			乗車券販売手数料	1,672,665	
			あっ旋手数料	2,137,793	
			保険料	9,261,920	
			自動車損害保険料	4,242,000	
			委託料	15,695,596	
			使用料及び賃借料	109,909	
			負担金	326,168	
			事故賠償費	31,350	
			教育実習費	178,911	
		10 附帯事業費		1,633,457	
			旅費	17,820	
			備消品費	235,805	
			印刷製本費	112,964	
			ガソリン費	61,695	
			修繕費	70,230	
			通信運搬費	178,037	
			手数料	17,000	
			保険料	300,622	
			使用料及び賃借料	420,000	
			道路使用料	55,034	
			負担金	162,000	
			旅行経費	2,250	

款	項	目	節	金　額	備考
		11 厚生福利施設費		円 141,159	
			光　熱　水　費	23,979	
			使用料及び賃借料	117,180	
		12 一 般 管 理 費		211,842,763	
			給　　料	74,607,343	
			手　　当	45,448,258	
			退 職 給 付 費	22,493,495	
			法 定 福 利 費	24,418,765	
			賞与引当金繰入額	12,300,000	
			厚 生 福 利 費	386,886	
			報　　償　　費	90,000	
			旅　　費	50,677	
			備　消　品　費	2,162,884	
			会　　議　　費	945	
			印 刷 製 本 費	202,370	
			ガ ソ リ ン 費	95,980	
			修　　繕　　費	414,763	
			通 信 運 搬 費	1,663,068	
			広　　告　　料	456,000	
			手　　数　　料	202,707	
			委　　託　　料	14,427,100	
			使用料及び賃借料	5,177,863	
			道 路 使 用 料	78,187	
			負　　担　　金	7,165,472	
	2 営業外費用			15,463,161	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費		1,021,009	
			企 業 債 利 息	1,021,009	
		2 雑　　支　　出		14,442,152	
			雑　　費	14,442,152	
費 用 合 計				2,014,997,154	

固 定 資 産 明 細 書

(1) 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高	減価償却累計額			年度末償却未済高	備考
					当年度増加額	当年度減少額	累計		
	円	円	円	円	円	円	円	円	
土地	208,596,557	0	0	208,596,557	—	—	—	208,596,557	
建物	839,449,946	3,165,000	4,695,000	837,919,946	20,188,190	4,460,250	503,801,630	334,118,316	
構築物	379,272,999	7,796,376	4,384,500	382,684,875	6,231,049	3,943,376	326,191,679	56,493,196	
車両	1,969,085,425	103,235,635	284,812,491	1,787,508,569	50,083,092	270,571,867	1,540,765,853	246,742,716	
機械及び装置	66,304,000	395,000	4,865,000	61,834,000	1,293,187	4,413,138	52,277,728	9,556,272	
工具器具及び備品	703,814,047	9,927,130	23,750,632	689,990,545	51,826,049	22,421,752	527,886,209	162,104,336	
リース資産	0	253,981,931	0	253,981,931	0	0	0	253,981,931	
計	4,166,522,974	378,501,072	322,507,623	4,222,516,423	129,621,567	305,810,383	2,950,923,099	1,271,593,324	

(2) 無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	当年度減価償却高	年度末現在高	備考
	円	円	円	円	円	
電話加入権	1,418,840	0	0	0	1,418,840	
計	1,418,840	0	0	0	1,418,840	

(3) 投資その他の資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	当年度減価償却高	年度末現在高	備考
	円	円	円	円	円	
保証金	2,435,000	0	0	0	2,435,000	
リサイクル預託金	5,006,370	671,630	0	0	5,678,000	
敷金	390,000	0	0	0	390,000	
計	7,831,370	671,630	0	0	8,503,000	

企　業　債　明　細　書

種　類	発　行 年月日	発行総額	償　還　高		未　償　還 残　　高	発行 価額	利率	償還終期	借　入　先	備　　考 (起債年度)
			当年度 償還高	償還高 累　計						
	令和	円	円	円	円	円	年%	令和		
バ　ス 購入費	3.3.26	48,000,000	12,000,000	48,000,000	0	－	0.01	8.3.26	㈱福岡銀行	令和2年度
バ　ス 購入費	4.3.25	36,000,000	9,000,000	27,000,000	9,000,000	－	0.055	9.3.25	㈱西日本 シティ銀行	令和3年度
バ　ス 整備費	5.3.28	59,700,000	14,925,000	29,850,000	29,850,000	－	0.230	10.3.28	㈱西京銀行	令和4年度
バ　ス 整備費	6.3.28	52,700,000	13,175,000	13,175,000	39,525,000	－	0.382	11.3.28	㈱西日本 シティ銀行	令和5年度
バ　ス 整備費	7.3.28	70,500,000	0	0	70,500,000	－	1.037	12.3.28	㈱福岡銀行	令和6年度
バ　ス 整備費	8.3.27	62,700,000	0	0	62,700,000	－	1.538	13.3.27	㈱福岡 中央銀行	令和7年度
計		329,600,000	49,100,000	118,025,000	211,575,000					

北 九 州 市 交 通 事 業 報 告 書

1　概　　況

(1) 総 括 事 項

本市バス事業は、公営バス事業者としての使命を果たすため、市民の生活の足として安全を第一に、良質で安定したサービスの提供を行い、利用者の利便性向上に向けて取り組んできた。
交通事業を取り巻く環境は厳しく、バス需要の減少傾向に加え、新型コロナウイルス感染症の影響によりその需要はさらに落ち込み、未だに回復しきれていない。また、民間の賃金上昇傾向に伴う人件費の増や物価の高騰による支出増など、厳しい経営状況が続いている。
このような状況の中、令和6年度に開催した「北九州市営バス事業あり方・役割検討会議」で聴取した意見を踏まえ、令和8年度からの新たな5か年計画である「第4次北九州市営バス事業経営計画（令和8年度～令和12年度）」（以下「第4次計画」という。）を策定した。
年度末には、第4次計画に基づき、利用者数が多い路線・系統の維持強化と、利用者は少ないが「市民の足」として必要な路線の効率化を反映させたダイヤ改正、利用者サービスの向上策として「ふれあい定期70」、「こどもミライ割」の新設、収入の確保策として運賃体系（運賃、定期、企画券）の見直しを先行して実施した。

ア　業務の概況

本年度の走行キロは、乗合車が294万2千キロで、前年度に比べ8万7千キロ（2.9％）減少し、貸切車が47万3千キロで、前年度に比べ21万9千キロ（86.4％）増加した。
輸送人員は、乗合車が390万8千人で、前年度に比べ1万6千人（0.4％）減少し、貸切車が28万5千人で、前年度に比べ2万2千人（7.1％）減少した。

イ　経営成績

収益では、乗合収入は7億431万3千円で、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだバス需要が回復しておらず、前年度に比べ343万5千円の微増となった。貸切収入は、前年度11月に開始した若松ボートファン送迎用バス（折尾便）の年間を通じた運行や、令和7年11月の貸切バス公示運賃の見直しを反映させたことなどにより、貸切収入全体では4億5,942万3千円で、前年度に比べ1億9,349万6千円の増加となった。
これらに一般会計からの経営支援補助金繰入れなどの営業外収益等を合わせた収益総額は20億3,045万6千円で、前年度に比べ1億284万1千円の増加となった。
一方、費用では、人事委員会勧告等に基づく給与改定や期末・勤勉手当の支給割合の変更等により、職員給与費が13億6,543万3千円で、前年度に比べ8,297万1千円の増額となった。加えて、バス車両等の老朽化のため、修繕費の支出も年々増加しており、費用総額は20億1,499万7千円で、前年度に比べ7,719万3千円増加となった。
この結果、収益的収支は、差引きで1,545万9千円の純利益が生じた。
また、資本的収支では、建設改良費等の執行により7,698万8千円の不足が生じたものの、これを損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度では7,359万9千円の資金剰余となり、令和7年度末の累積資金剰余は6億2,436万円となった。

ウ　主な施策

運転者不足のため、令和6年9月に減便を実施したが、運転者不足の状況にも一定程度の改善が図られたため、4月と11月に一部路線について増便（減便の一部解消）を実施した。
運転者確保に向けた新たな取組として、大型二種免許を取得していない若年層を対象とした採用区分（養成枠）を新設し、交通局採用後に内部で運転者として養成していく仕組みを構築した。
経営面では、貸切事業において前年度に引き続き若松ボート送迎バス（折尾便）を受注したほか、国の貸切バス公示運賃の見直しを受け、適正な運賃設定により収益確保を図った。

また、収益的収支の均衡を目指し、持続可能な公共交通ネットワークの一翼を担い、「市民の生活の足」を今後も守り続けるため、第4次計画を策定し、先行して、以下の施策に取り組んだ。

効率的な路線・運行形態の構築として、乗降データを最大限に活用し利用状況を踏まえたダイヤ改正を実施した。具体的には、利用者数が多い路線・系統の維持強化を行うとともに、利用者は少ないが「市民の足」として必要な路線の効率化を行った。

利用者サービスの向上策として、70歳～74歳の方を対象とした「ふれあい定期70」を新設するとともに、小・中・高校生の運賃体系を見直し、休みの日や夏休みなどの長期休暇限定で小学生無料、中・高校生100円の新たな運賃「こどもミライ割」を新設した。

経営基盤の強化として、平成24年度から14年間にわたり、消費税率の引上げを除き、運賃の見直しを行っていなかったが、今後も持続可能な公共交通として、「市民の生活の足」を守り続けるために運賃の見直しを行った。加えて、貸切・受託事業の強化として、増収を図るため、貸切バスを3台導入した。

(2) 経営指標に関する事項

令和7年度決算における経営の健全性を示す経常収支比率は、乗合収入が新型コロナウイルス感染症の影響から回復しきれていないものの、貸切収入が大幅に増加したため、前年度より1.0ポイント増の100.8%となった。

独立採算の度合いを示す他会計負担比率は、前年度より0.6ポイント減の17.7%となった。

また、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は、前年度より5.5ポイント減の73.5%となった。バス事業の主要な資産である車両をはじめとして、法定耐用年数を大きく超えて使用している資産が多くあるため高い水準で推移しているが、引き続き計画的な更新を行う必要がある。

＜経営指標の推移＞

経営指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収支比率	% 86.5	% 88.8	% 107.0	% 99.8	% 100.8
他会計負担比率	6.2	5.6	21.8	18.3	17.7
有形固定資産減価償却率	77.7	78.4	78.4	79.0	73.5

(3) 議会議決事項

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
第 109 号	令和6年度北九州市交通事業会計決算について	令和 7. 9. 4	令和 7. 10. 2
第 156 号	北九州市自動車事業使用料及び手数料条例の一部改正について	7. 12. 4	7. 12. 12
第 191 号	令和7年度北九州市交通事業会計補正予算について	7. 12. 4	7. 12. 12
第 24 号	令和8年度北九州市交通事業会計予算について	8. 2. 19	8. 3. 25

（報告事項） 令和6年度北九州市交通事業会計予算の弾力条項の適用 について（報告第12号）

（報告事項） 第4次北九州市営バス事業経営計画の策定について（報告第2号）

(4) 行政官庁許認可事項

申請年月日	申 請 先	件　　名	許認可年月日
令和 7. 8. 5	九州運輸局長	一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更認可申請(路線延長) 「芦屋基地航空祭」関連 実施 R7.10.5	令和 7. 9. 24
7. 10. 23	九州運輸局長	一般乗合旅客自動車運送事業の運賃の上限変更認可申請 実施 R8.3.28	7. 12. 26
7. 12. 26	九州運輸局長	一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更認可申請(路線延長) 「ひびきの北公園前」関連 実施 R8.3.28	8. 3. 4
7. 12. 26	九州運輸局長	一般乗合旅客自動車運送事業における運賃の上限設定認可申請 「ひびきの北公園前」関連 実施 R8.3.28	8. 3. 4

(5) 職員に関する事項

ア 令和8年3月末日現在の職員数は66人で、その内訳は次のとおりである。

区　　分	職　種	本 年 度	前 年 度	増(△)減
損益勘定支弁職員	事 務 員	39 人	39 人	0 人
	運 転 者	19	21	△ 2
	整 備 士	8	7	1
	計	66	67	△ 1

(6) 料金その他供給条件の設定、変更に関する事項

ア 一般乗合旅客自動車運送事業の運賃の変更

(令和7年12月26日認可、令和8年3月28日実施)

(ア)一般路線に係る運賃変更

普通旅客運賃(1区:240円、2区:280円、3区:320円、4区:350円、5区:380円、
6区:410円、7区:440円、以降1区毎に20円加算)

(イ)運賃の種類

・指定地域フリー敬老定期旅客運賃(指定地域フリー敬老定期券「ふれあい定期70」)

3か月:16,000円、6か月:28,000円、12か月:48,000円

・特殊旅客運賃

一日乗車券　大人1,000円　小人500円

土曜日、日曜日、祝日及び長期休業日(夏休み等)において、

中学生・高校生100円　小学生無料

イ 特定路線に係る協議運賃の変更

(令和8年2月12日届出、令和8年3月28日実施)

普通旅客運賃(1区:240円、2区:280円、3区:320円、4区:350円、5区:380円、
6区:410円、7区:440円、以降1区毎に20円加算)

変更運賃を適用する路線

a 蜑住団地～蜑住(公民館)・大鳥居～向田営業所

b 若松営業所～第二赤崎・脇ノ浦～脇田

c 産業医科大学若松病院～本町・山の堂・畑谷町(循)～産業医科大学若松病院

d 産業医科大学若松病院～本町・山の堂～畑谷町1号公園

e 畑谷町(若潮寮前)～山の堂・本町～産業医科大学若松病院

f 産業医科大学若松病院～本町・藤ノ木市民センター～今光峠

g 産業医科大学若松病院～本町・ひびき園～百合野町公園

h 産業医科大学若松病院～本町・藤ノ木市民センター～観音禅寺前

i 産業医科大学若松病院～本町・ひびき園・百合野町公園前～今光峠

j 安養寺下～合同庁舎前・中島公園前～二島駅

k 禅覚寺入口～第一二島・中島公園前～鴨生田小学校前

l 産業医科大学若松病院～下原・脇ノ浦公民館～外小竹

m 小竹日吉神社下～脇ノ浦公民館・下原～産業医科大学若松病院

n 産業医科大学若松病院～下原・宮前町～小石本村町西公園

ウ　一般貸切自動車の運賃及び料金変更（令和7年10月8日届出、令和7年11月1日実施）

（ア）運賃

種類	算出単位	車種区分	金額
キロ制運賃	1キロメートルにつき	大型車	150円以上
		中型車	130円以上
		小型車	120円以上
		コミューター車	100円以上
時間制運賃	1時間につき	大型車	6,920円以上
		中型車	5,840円以上
		小型車	5,110円以上
		コミューター車	4,560円以上

（イ）料金

種類		算出単位	金額
交替運転者配置料金	キロ制料金	1キロメートルにつき	10円
	時間制料金	1時間につき	2,430円以上
深夜早朝運行料金		1時間につき	深夜早朝運行料金対象時間に係る、時間制運賃の額及び交替運転者配置料金(時間制料金に限る。)の額の2割の額

2 工　　事

(1) 建設改良工事の概況(消費税及び地方消費税を含む)

本年度は133,991,781円をもって執行したが、主なものは次のとおりである。

事　業　名	内　　容	契約年月日	検収年月日
旅客自動車購入事業	EVバス車両購入	令和 7. 7. 14	令和 8. 3. 16
旅客自動車購入事業	中古バス車両車体改修	7. 10. 15	7. 11. 29

3 業　　務

(1) 業 務 量

事　　項		本 年 度	前 年 度	比　較	
				増(△)減	比　率
乗 合 車	免 許 路 線	188.04 km	194.35 km	△ 6.31 km	△ 3.2 %
	在 籍 車 両 数	80 台	85 台	△ 5 台	△ 5.9
	延使用車両数	21,841 台	22,279 台	△ 438 台	△ 2.0
	走 行 キ ロ 数	2,942,210 km	3,029,396 km	△ 87,186 km	△ 2.9
	輸 送 人 員	3,907,640 人	3,923,217 人	△ 15,577 人	△ 0.4
貸 切 車	在 籍 車 両 数	26 台	21 台	5 台	23.8
	延使用車両数	4,452 台	2,936 台	1,516 台	51.6
	走 行 キ ロ 数	472,626 km	253,517 km	219,109 km	86.4
	輸 送 人 員	285,346 人	307,033 人	△ 21,687 人	△ 7.1

(2) 事業収入に関する事項

区　　分	本年度	前年度	比較	
			増(△)減	比率
	円	円	円	%
収益的収入				
1 自動車運送事業収益	2,030,456,474	1,927,615,180	102,841,294	5.3
(1) 営業収益	1,590,023,827	1,462,117,727	127,906,100	8.7
(2) 営業外収益	440,432,647	460,595,104	△ 20,162,457	△ 4.4
(3) 特別利益	0	4,902,349	△ 4,902,349	皆減
資本的収入				
1 自動車運送事業資本的収入	106,104,600	72,507,000	33,597,600	46.3
(1) 企業債	62,700,000	70,500,000	△ 7,800,000	△ 11.1
(2) 県支出金	1,605,000	2,007,000	△ 402,000	△ 20.0
(3) その他資本的収入	41,799,600	0	41,799,600	皆増

ア　収益的収入の年度別構成比率

区　分	令和7年度			令和6年度			令和5年度		
	金　額	キロ当り	構成比率	金　額	キロ当り	構成比率	金　額	キロ当り	構成比率
	円	円	%	円	円	%	円	円	%
営業収益	1,590,023,827	465.63	78.31	1,462,117,727	445.37	75.85	1,416,801,357	416.35	73.57
運送収益	1,163,735,927	340.79	57.31	966,804,963	294.49	50.16	911,164,278	267.76	47.31
乗合	704,312,642	206.25	34.69	700,877,647	213.49	36.36	698,011,726	205.12	36.24
貸切	459,423,285	134.54	22.62	265,927,316	81.00	13.80	213,152,552	62.64	11.07
運送雑収益	390,408,726	114.33	19.23	431,646,028	131.48	22.39	436,569,612	128.29	22.67
附帯事業収益	2,448,404	0.72	0.12	3,663,532	1.12	0.19	3,800,151	1.12	0.20
補助金	33,430,770	9.79	1.65	60,003,204	18.28	3.11	65,267,316	19.18	3.39
営業外収益	440,432,647	128.97	21.69	460,595,104	140.30	23.90	509,034,119	149.59	26.43
他会計補助金	356,520,794	104.40	17.56	353,197,548	107.59	18.32	392,069,170	115.22	20.36
雑収益	25,138,943	7.36	1.24	29,190,995	8.89	1.52	40,059,416	11.77	2.08
長期前受金戻入	58,772,910	17.21	2.89	78,206,561	23.82	4.06	76,905,533	22.60	3.99
特別利益	0	0.00	0.00	4,902,349	1.49	0.25	0	0.00	0.00
合　計	2,030,456,474	594.60	100.00	1,927,615,180	587.16	100.00	1,925,835,476	565.94	100.00

(3) 事業費に関する事項

区　　分	本年度	前年度	比較	
			増(△)減	比率
	円	円	円	%
収益的支出				
1 自動車運送事業費	2,014,997,154	1,937,803,993	77,193,161	4.0
(1) 営業費用	1,999,533,993	1,926,312,428	73,221,565	3.8
(2) 営業外費用	15,463,161	561,756	14,901,405	2,652.6
(3) 特別損失	0	10,929,809	△ 10,929,809	皆減
資本的支出				
1 自動車運送事業資本的支出	170,971,771	122,915,220	48,056,551	39.1
(1) 建設改良費	121,871,771	78,740,220	43,131,551	54.8
(2) 企業債償還金	49,100,000	44,175,000	4,925,000	11.1

ア　収益的支出の年度別構成比率

区　分	令和7年度			令和6年度			令和5年度		
	金　額	キロ当り	構成比率	金　額	キロ当り	構成比率	金　額	キロ当り	構成比率
	円	円	%	円	円	%	円	円	%
営業費用	1,999,533,993	585.55	99.23	1,926,312,428	586.77	99.41	1,784,426,816	524.38	99.14
職員給与費	1,365,433,144	399.86	67.76	1,282,461,889	390.65	66.18	1,132,537,477	332.82	62.92
基本給	661,406,059	193.69	32.82	607,961,434	185.19	31.37	571,104,502	167.83	31.73
その他	704,027,085	206.17	34.94	674,500,455	205.46	34.81	561,432,975	164.99	31.19
経費	504,479,282	147.73	25.04	494,147,703	150.52	25.50	505,592,310	148.57	28.09
燃料油脂費	147,423,091	43.17	7.32	152,842,545	46.56	7.89	154,265,149	45.33	8.57
修繕費	91,697,879	26.85	4.55	84,733,538	25.81	4.37	80,373,118	23.62	4.47
その他	265,358,312	77.71	13.17	256,571,620	78.15	13.24	270,954,043	79.62	15.05
減価償却費	129,621,567	37.96	6.43	149,702,836	45.60	7.73	146,297,029	42.99	8.13
営業外費用	15,463,161	4.53	0.77	561,756	0.18	0.03	15,469,271	4.55	0.86
支払利息等	1,021,009	0.30	0.05	346,406	0.11	0.02	167,764	0.05	0.01
雑支出	14,442,152	4.23	0.72	215,350	0.07	0.01	15,301,507	4.50	0.85
特別損失	0	0.00	0.00	10,929,809	3.33	0.56	0	0.00	0.00
合　計	2,014,997,154	590.08	100.00	1,937,803,993	590.28	100.00	1,799,896,087	528.93	100.00

(4) その他主要な事項

該当事項なし。

4 会　　計

(1) 重要契約の要旨(消費税及び地方消費税を含む)

本年度における主要契約は、次のとおりである。

契約年月日	契約金額	契　約　内　容	契約の相手方
令和 7. 7. 14	円 45,979,560	EVバス車両購入	(株)EVモーターズ・ジャパン

(2) 企業債、長期借入金及び一時借入金の概況

ア　企業債　　(単位 円)

借　入　先	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
㈱　福　岡　銀　行	82,500,000	0	12,000,000	70,500,000
㈱西日本シティ銀行	70,700,000	0	22,175,000	48,525,000
㈱　西　京　銀　行	44,775,000	0	14,925,000	29,850,000
㈱福岡中央銀行	0	62,700,000	0	62,700,000
合　計	197,975,000	62,700,000	49,100,000	211,575,000

イ　長期借入金

該当事項なし。

ウ　一時借入金

該当事項なし。

(3) その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし。

5　附帯事項

該当事項なし。

6　そ の 他

(1) 決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実

該当事項なし。

(2) 他会計補助金等の使途について

ア　他会計補助金 356,520,794円については、

共済追加費用に要する経費として、職員給与費等課税仕入れ以外に 4,277,760円（特定収入以外）、児童手当に要する経費として、職員給与費等課税仕入れ以外に 6,328,000円（特定収入以外）、基礎年金拠出金に要する経費として、職員給与費等課税仕入れ以外に 15,776,034円（特定収入以外）、事業活動全般に要する経費として、委託料等課税仕入れに 53,614,118円（特定収入）、職員給与費等課税仕入れ以外に 276,524,882円（特定収入以外）それぞれ充当した。

イ　雑収益（事故費収入等不課税収入） 2,534,522円については、

事業活動全般に要する経費として、自家修繕費等課税仕入れに 411,603円（特定収入）、職員給与費等課税仕入れ以外に 2,122,919円（特定収入以外）それぞれ充当した。

ウ　補助金（運行補助金） 33,430,770円については、

特定路線のバス運行に要する経費として、自家修繕費等課税仕入れに 5,429,111円（特定収入）、職員給与費等課税仕入れ以外に 28,001,659円（特定収入以外）それぞれ充当した。

エ　県支出金 1,605,000円については、

バス停留所標識塔設置に要する経費として、課税仕入れに 1,419,000円（特定収入）、乗務員控室等のエアコン更新に要する経費として、課税仕入れに 186,000円（特定収入）充当した。

オ　その他資本的収入 41,799,600円については、

EVバスの購入に要する経費として、課税仕入れに 41,799,600円（特定収入）充当した。

(3) そ の 他

該当事項なし。

令　和　7　年　度

北九州市病院事業会計決算書
北 九 州 市 病 院 事 業 報 告 書

北 九 州 市 保 健 福 祉 局

目　　次

北九州市病院事業会計決算書
令和７年度北九州市病院事業決算報告書 ……1
令和７年度北九州市病院事業損益計算書 ……5
令和７年度北九州市病院事業剰余金計算書 ……9
令和７年度北九州市病院事業欠損金処理計算書 ……11
令和７年度北九州市病院事業貸借対照表 ……12
注記 ……14
附属明細書
令和７年度北九州市病院事業キャッシュ・フロー計算書 ……16
収益費用明細書 ……17
固定資産明細書 ……19
企業債明細書 ……23
北九州市病院事業報告書
1　概　　況
⑴ 総括事項 ……25
⑵ 経営指標に関する事項 ……25
⑶ 議会議決事項 ……26
⑷ 行政官庁許認可事項 ……26
2　工　　事
⑴ 建設工事の概況 ……27
⑵ 改良工事の概況 ……27
⑶ 医療機器等の整備状況 ……27
3　業　　務
⑴ 事業収入に関する事項 ……28
⑵ 事業費に関する事項 ……28
⑶ その他主要な事項 ……30
4　会　　計
⑴ 重要契約の要旨 ……32
⑵ 企業債、長期借入金及び一時借入金の概況 ……32
⑶ その他会計経理に関する重要事項 ……32
5　附帯事項 ……33
6　そ　の　他
⑴ 決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実 ……33
⑵ 他会計負担金等の使途について ……33
⑶ その他 ……33

北九州市病院事業会計決算書

令 和 7 年 度　北 九 州 市

(1)　収益的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算		
	当　初 予　算　額	補　正 予　算　額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額に係る財源充当額
	円	円	円
第1款　病院事業収益	303,101,000	0	0
第1項　医業収益	58,201,000	0	0
第2項　医業外収益	244,890,000	0	0
第3項　特別利益	10,000	0	0

支　　出

区　　分	予　　算					
	当　初 予　算　額	補　正 予　算　額	予備費 支出額	流　用 増減額	地方公営企業法第24条第3項の規定による支出額	小　計
	円	円	円	円	円	円
第1款　病院事業費	461,247,000	0	0	0	0	461,247,000
第1項　医業費用	431,019,000	0	0	0	0	431,019,000
第2項　医業外費用	30,218,000	0	0	0	0	30,218,000
第3項　特別損失	10,000	0	0	0	0	10,000

医業費用中の資産減耗費12,791,592円の財源に充てるため、企業債8,300,000円

病　院　事　業　決　算　報　告　書

額 合　　計	決　算　額	予算額に比べ 決算額の増減	備　　考
円	円	円	
303,101,000	238,618,055	△ 64,482,945	
58,201,000	1,698,100	△ 56,502,900	（うち、仮受消費税 154,372円）
244,890,000	236,919,955	△ 7,970,045	（　〃 86,701円）
10,000	0	△ 10,000	

額 地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	額 合　　計	決　算　額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不　用　額	備　　考
円	円	円	円	円	
0	461,247,000	393,179,687	0	68,067,313	
0	431,019,000	365,050,954	0	65,968,046	（うち、仮払消費税 19,395,716円）
0	30,218,000	28,128,733	0	2,089,267	（　〃　1,402円）
0	10,000	0	0	10,000	

を借り入れた。

⑵　資本的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算			
	当　　初 予 算 額	補　　正 予 算 額	小　　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	円	円	円	円
第1款　病院事業資本的収入	388,533,000	0	388,533,000	0
第1項　企業債	55,300,000	0	55,300,000	0
第2項　出資金	333,233,000	0	333,233,000	0

支　　出

区　　分	予　　算					
	当　　初 予 算 額	補　　正 予 算 額	流　用 増減額	小　　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額
	円	円	円	円	円	円
第1款　病院事業資本的支出	389,213,000	0	0	389,213,000	0	0
第1項　建設改良費	55,980,000	0	0	55,980,000	0	0
第2項　企業債償還金	333,233,000	0	0	333,233,000	0	0

資本的収入額362,332,282円が資本的支出額362,363,582円に対して不足する額

額		決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
継続費逓次繰越額に係る財源充当額	合計			
円	円	円	円	
0	388,533,000	362,332,282	△ 26,200,718	
0	55,300,000	29,100,000	△ 26,200,000	
0	333,233,000	333,232,282	△ 718	

額	決算額	翌年度繰越額			不用額	備考
合計		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合計		
円	円	円	円	円	円	
389,213,000	362,363,582	0	0	0	26,849,418	
55,980,000	29,131,300	0	0	0	26,848,700	（うち、仮払消費税2,648,300円）
333,233,000	333,232,282	0	0	0	718	

31,300円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額31,300円で補てんした。

令和７年度　北九州市病院事業損益計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

（単位　円）

1　医業収益			
(1)　その他医業収益	1,543,728	1,543,728	
2　医業費用			
(1)　経費	183,901,119		
(2)　減価償却費	149,904,200		
(3)　資産減耗費	11,735,953		
(4)　長期前払消費税償却	113,966	345,655,238	
医業損失			344,111,510

3　医業外収益

(1) 他会計負担金	218,113,309		
(2) 他会計補助金	10,753,532		
(3) 長期前受金戻入	3,521,763		
(4) その他医業外収益	879,793	233,268,397	

4　医業外費用

(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	28,127,331		
(2) 雑損失	18,239,488	46,366,819	186,901,578
経常損失			157,209,932
当年度純損失			157,209,932
前年度繰越欠損金			12,272,356,578
当年度未処理欠損金			12,429,566,510

令和７年度　北九州市病

（令和７年４月１日から

費用	門司	本庁	合計
経費	176,718,512	7,182,607	183,901,119
減価償却費	68,455,219	81,448,981	149,904,200
資産減耗費	1,179,563	10,556,390	11,735,953
長期前払消費税償却	113,966	0	113,966
支払利息及び企業債取扱諸費	27,143,740	983,591	28,127,331
雑損失	17,272,652	966,836	18,239,488
当年度純利益	△ 68,466,210	△ 88,743,722	△ 157,209,932
計	222,417,442	12,394,683	234,812,125

院事業合計損益計算書

令和８年３月31日まで）

（単位　円）

収益	門司	本庁	合計
その他医業収益	1,543,728	0	1,543,728
他会計負担金	217,143,740	969,569	218,113,309
他会計補助金	929,500	9,824,032	10,753,532
長期前受金戻入	1,930,191	1,591,572	3,521,763
その他医業外収益	870,283	9,510	879,793
計	222,417,442	12,394,683	234,812,125

（令和７年４月１日から

		資本金	剰余金	
			資本	
			寄附金	補助金
前年度末残高		11,737,942,523	24,000	16,749,277
前年度処分額		0	0	0
	議会の議決による処分額	0	0	0
処分後残高		11,737,942,523	24,000	16,749,277
当年度変動額		333,232,282	0	0
	他会計繰入金の受入	333,232,282	0	0
	当年度純損失	—	—	—
当年度末残高		12,071,174,805	24,000	16,749,277

病院事業剰余金計算書

令和８年３月31日まで）

（単位　円）

余金					資本合計
剰余金			欠損金		
他会計負担金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	未処理欠損金	欠損金合計	
40,188,999	22,770,590	79,732,866	△ 12,272,356,578	△ 12,272,356,578	△ 454,681,189
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
40,188,999	22,770,590	79,732,866	（繰越欠損金） △ 12,272,356,578	△ 12,272,356,578	△ 454,681,189
0	0	0	△ 157,209,932	△ 157,209,932	176,022,350
0	0	0	0	0	333,232,282
—	—	—	△ 157,209,932	△ 157,209,932	△ 157,209,932
40,188,999	22,770,590	79,732,866	（当年度未処理欠損金） △ 12,429,566,510	△ 12,429,566,510	△ 278,658,839

令和７年度　北九州市病院事業欠損金処理計算書

（単位　円）

	資　本　金	資　本　剰　余　金	未　処　理　欠　損　金
当　年　度　末　残　高	12,071,174,805	79,732,866	△ 12,429,566,510
議会の議決による処分額	0	0	0
処　分　後　残　高	12,071,174,805	79,732,866	（繰越欠損金） △ 12,429,566,510

令和７年度　北九州市病院事業貸借対照表

（令和８年３月31日）

（単位　円）

資　産　の　部

1　固定資産				
(1)　有形固定資産				
イ　土地		14,356,478		
ロ　建物	13,003,344,109			
減価償却累計額	△ 11,213,058,943	1,790,285,166		
ハ　構築物	386,098,518			
減価償却累計額	△ 300,512,511	85,586,007		
ニ　器械備品	191,037,660			
減価償却累計額	△ 179,785,373	11,252,287		
ホ　建設仮勘定		6,500,000		
有形固定資産合計			1,907,979,938	
(2)　無形固定資産				
イ　電話加入権		557,100		
無形固定資産合計			557,100	
(3)　投資その他の資産				
イ　出資金		1,290,000		
ロ　破産更生債権等		54,786		
ハ　貸倒引当金		△ 54,786		
ニ　長期前払消費税		1,447,424		
投資その他の資産合計			2,737,424	
固定資産合計				1,911,274,462
2　流動資産				
(1)　現金預金			57,787,286	
(2)　未収金			15,233,176	
流動資産合計				73,020,462
資産合計				1,984,294,924

負　債　の　部

3　固定負債			
(1)　企業債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,841,946,126		
ロ　その他企業債	8,300,000		
企業債合計		1,850,246,126	
固定負債合計			1,850,246,126
4　流動負債			
(1)　企業債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	337,560,774		
企業債合計		337,560,774	
(2)　未払金		11,105,966	
(3)　その他流動負債		9,842,018	
流動負債合計			358,508,758
5　繰延収益			
(1)　長期前受金		283,842,739	
(2)　収益化累計額		△　229,643,860	
繰延収益合計			54,198,879
負債合計			2,262,953,763

資　本　の　部

6　資本金			12,071,174,805
7　剰余金			
(1)　資本剰余金			
イ　寄附金	24,000		
ロ　その他資本剰余金	79,708,866		
資本剰余金合計		79,732,866	
(2)　欠損金			
イ　当年度未処理欠損金	12,429,566,510		
欠損金合計		12,429,566,510	
剰余金合計			△　12,349,833,644
資本合計			△　278,658,839
負債資本合計			1,984,294,924

注　記

1　重要な会計方針に関する注記

⑴　資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

⑵　固定資産の減価償却の方法

イ　有形固定資産（リース資産を除く）

減価償却の方法　定額法による。

主な耐用年数

建物	8 ～ 47 年
構築物	10 ～ 60 年
器械備品	4 ～ 20 年

⑶　引当金の計上方法

イ　退職給付引当金

該当なし。

ロ　賞与引当金

該当なし。

ハ　貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

⑷　消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

2　貸借対照表に関する注記

⑴　企業債の償還に係る一般会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当年度末日の翌日から起算して１年以内に償還予定のものも含む）のうち、「病院事業に対する繰出基準」に基づき、企業債の償還に要する資金の一部を一般会計が負担すると見込まれる額は 2,187,806,900 円である。

⑵　賞与引当金

該当なし。

3　セグメント情報に関する注記

⑴　報告セグメントの決定方法

病院事業は、門司病院、本庁の２つの施設を運営しており、各施設毎に運営方針等を決定していることから、当該２つを報告セグメントとしている。

⑵　報告セグメントごとの資産等

令和７年度末（令和８年３月31日）　　単位：円

項目	門司病院	本庁	合計
医業収益	1,543,728	0	1,543,728
医業費用	246,467,260	99,187,978	345,655,238
医業損益	△ 244,923,532	△ 99,187,978	△ 344,111,510
経常損益	△ 68,466,210	△ 88,743,722	△ 157,209,932
セグメント資産	1,311,543,227	672,751,697	1,984,294,924
セグメント負債	1,432,977,225	829,976,538	2,262,953,763
その他の項目	286,528,459	92,242,582	378,771,041
他会計繰入金	218,073,240	10,793,601	228,866,841
減価償却費	68,455,219	81,448,981	149,904,200

4　減損損失に関する注記

該当なし。

5　リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当なし。

6　重要な後発事象に関する注記

該当なし。

7　その他の注記

該当なし。

附　属　明　細　書

令和７年度　北九州市病院事業会計キャッシュ・フロー計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

（単位：円）

1　業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益（△は当年度純損失）	△ 157,209,932
減価償却費	149,904,200
長期前払消費税額の増減額（△は増加）	113,966
長期前受金戻入額	△ 3,521,763
支払利息	28,127,331
固定資産除却損	1,179,563
未収金の増減額（△は増加）	3,379,342
未払金の増減額（△は減少）	△ 2,092,472
小計	19,880,235
利息の支払額	△ 28,127,331
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,247,096
2　投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 58,108,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 58,108,000
3　財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	37,400,000
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 333,232,282
一般会計からの出資による収入	333,232,282
財務活動によるキャッシュ・フロー	37,400,000
資金増加額（又は減少額）	△ 28,955,096
資金期首残高	86,742,382
資金期末残高	57,787,286

収　益　費　用

款	項	目	節	合　計	門　司	本　庁
				円	円	円
1 病院事業収益				234,812,125	222,417,442	12,394,683
	1 医業収益			1,543,728	1,543,728	0
		1 その他医業収益		1,543,728	1,543,728	0
			その他医業収益	1,543,728	1,543,728	0
	2 医業外収益			233,268,397	220,873,714	12,394,683
		1 他会計負担金		218,113,309	217,143,740	969,569
			他会計負担金	218,113,309	217,143,740	969,569
		2 他会計補助金		10,753,532	929,500	9,824,032
			他会計補助金	10,753,532	929,500	9,824,032
		3 長期前受金戻入		3,521,763	1,930,191	1,591,572
			長期前受金戻入	3,521,763	1,930,191	1,591,572
		4 その他医業外収益		879,793	870,283	9,510
			その他医業外収益	879,793	870,283	9,510

明　　細　　書

款	項	目	節	合　計	門　司	本　庁
				円 392,022,057	円 290,883,652	円 101,138,405
1 病院事業費	1 医業費用			345,655,238	246,467,260	99,187,978
		1 経費		183,901,119	176,718,512	7,182,607
			光熱水費	894,567	0	894,567
			印刷製本費	85,000	85,000	0
			修繕費	270,000	270,000	0
			保険料	392,221	273,981	118,240
			賃借料	845,000	845,000	0
			手数料	5,530	5,530	0
			委託料	6,939,800	770,000	6,169,800
			通信運搬費	90,000	90,000	0
			諸会費	108,000	108,000	0
			雑費	174,271,001	174,271,001	0
		2 減価償却費		149,904,200	68,455,219	81,448,981
			建物減価償却費	146,271,509	64,843,567	81,427,942
			構築物減価償却費	3,120,501	3,099,462	21,039
			器械備品減価償却費	512,190	512,190	0
		3 資産減耗費		11,735,953	1,179,563	10,556,390
			固定資産除却費	11,735,953	1,179,563	10,556,390
		4 長期前払消費税償却		113,966	113,966	0
			長期前払消費税償却	113,966	113,966	0
	2 医業外費用			46,366,819	44,416,392	1,950,427
		1 支払利息及び企業債取扱諸費		28,127,331	27,143,740	983,591
			企業債利息	28,113,309	27,143,740	969,569
			企業債取扱諸費	14,022	0	14,022
		2 雑損失		18,239,488	17,272,652	966,836
			雑損失（消費税等）	18,239,488	17,272,652	966,836

固　定　資　産

(1) 有　形　固　定

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土地	円 14,356,478	円 0	円 0	円 14,356,478
門司病院	5,522,105	0	0	5,522,105
本庁	8,834,373	0	0	8,834,373
建物	13,003,897,366	20,563,000	21,116,257	13,003,344,109
門司病院	5,014,903,861	20,563,000	21,116,257	5,014,350,604
本庁	7,988,993,505	0	0	7,988,993,505
構築物	386,098,518	0	0	386,098,518
門司病院	256,296,771	0	0	256,296,771
本庁	129,801,747	0	0	129,801,747
器械備品	193,512,660	0	2,475,000	191,037,660
門司病院	178,512,660	0	2,475,000	176,037,660
本庁	15,000,000	0	0	15,000,000
建設仮勘定	580,000	6,500,000	580,000	6,500,000
門司病院	580,000	6,500,000	580,000	6,500,000
本庁	0	0	0	0
合計	13,598,445,022	27,063,000	24,171,257	13,601,336,765

明　　細　　書

資　産　明　細　書

減価償却累計額			年度末償却未済高	備考
当年度増加額	当年度減少額	償却額累計		
円 —	円 —	円 —	円 14,356,478	
—	—	—	5,522,105	
—	—	—	8,834,373	
146,271,509	20,060,444	11,213,058,943	1,790,285,166	
64,843,567	20,060,444	3,807,566,351	1,206,784,253	
81,427,942	0	7,405,492,592	583,500,913	
3,120,501	0	300,512,511	85,586,007	
3,099,462	0	177,527,283	78,769,488	
21,039	0	122,985,228	6,816,519	
512,190	2,351,250	179,785,373	11,252,287	
512,190	2,351,250	165,535,373	10,502,287	
0	0	14,250,000	750,000	
—	—	—	6,500,000	
—	—	—	6,500,000	
—	—	—	0	
149,904,200	22,411,694	11,693,356,827	1,907,979,938	

(2) 無 形 固 定

資 産 の 種 類	年度当初現在高	当 年 度 増 加 額	当 年 度 減 少 額
電 話 加 入 権	円 557,100	円 0	円 0
門 司 病 院	557,100	0	0
本 庁	0	0	0
合 計	557,100	0	0

(3) 投資その他

資 産 の 種 類	年度当初現在高	当 年 度 増 加 額	当 年 度 減 少 額
出 資 金	円 1,290,000	円 0	円 0
破産更生債権等	54,786	0	0
貸 倒 引 当 金	△ 54,786	0	0
長期前払消費税	1,561,390	0	113,966
合 計	2,851,390	0	113,966

資　産　明　細　書

当年度減価償却高	年　度　末　現　在　高	備　　考
円 0	円 557,100	
0	557,100	
0	0	
0	557,100	

の　資　産　明　細　書

年　度　末　現　在　高	備　　考
円 1,290,000	
54,786	
△ 54,786	
1,447,424	
2,737,424	

企　業　債

病院	種類	発行年月日	発行総額	償還高	
				当年度償還高	償還高累計
		年月日	円	円	円
門司	建設改良費	平成11. 3.25	388,000,000	18,519,479	330,062,670
	〃	12.10.31	429,000,000	19,844,739	334,385,074
	〃	14. 3.25	2,097,000,000	94,466,990	1,484,660,076
	〃	15. 1.31	698,000,000	30,136,461	490,742,525
	〃	15. 3.28	1,035,000,000	48,197,167	785,171,740
	〃	15. 9.25	5,000,000	239,332	3,599,628
	〃	16. 3.25	63,000,000	2,700,902	39,343,930
	〃	16. 3.30	40,000,000	1,896,636	27,835,170
	〃	30. 3.27	1,350,000	149,726	1,050,537
	〃	31. 3.27	22,030,000	2,753,750	13,768,750
	〃	令和 2. 3.27	36,000,000	4,500,000	18,000,000
	〃	3. 3.26	9,700,000	1,212,500	3,637,500
	〃	4. 3.25	2,700,000	337,500	675,000
	〃	5. 3.28	11,500,000	1,437,500	1,437,500
	〃	6. 3.28	2,400,000	0	0
	〃	7. 3.28	42,800,000	0	0
	〃	8. 3.28	29,100,000	0	0
	計		4,912,580,000	226,392,682	3,534,370,100
本庁	建設改良費	平成28. 9.21	1,817,000,000	106,839,600	1,015,703,000
	〃	令和 8. 3.28	8,300,000	0	0
	計		1,825,300,000	106,839,600	1,015,703,000
合計			6,737,880,000	333,232,282	4,550,073,100

明　　細　　書

未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
円 57,937,330	円	年% 2.1	年月日 令和11. 3. 1	財政融資資金	
94,614,926		2.1	12. 9.25	〃	
612,339,924		2.2	14. 3. 1	〃	
207,257,475		1.5	14. 9.25	〃	
249,828,260		1.2	13. 3.20	地方公共団体金融機構	
1,400,372		1.9	13. 9.20	〃	
23,656,070		2.0	16. 3. 1	財政融資資金	
12,164,830		1.9	14. 3.20	地方公共団体金融機構	
299,463		0.19	10. 3.27	西京銀行	
8,261,250		0.141	11. 3.27	福岡銀行	
18,000,000		0.05	12. 3.27	西日本シティ銀行	
6,062,500		0.05	13. 3.26	西日本シティ銀行	
2,025,000		0.158	14. 3.25	西京銀行	
10,062,500		0.38	15. 3.28	西京銀行	
2,400,000		0.62	16. 3.28	西京銀行	
42,800,000		1.24	17. 3.28	西日本シティ銀行	
29,100,000		2.015	18. 3.27	福岡銀行	
1,378,209,900					
801,297,000		0.11	令和15. 9.21	東海東京証券	繰上償還に伴う借換
8,300,000		2.015	18. 3.27	福岡銀行	
809,597,000					
2,187,806,900					

北九州市病院事業報告書

1　概　　況

⑴　総括事項

市病院事業では、地域に必要とされる医療の提供を行うため、市内の結核医療を担う門司病院を指定管理者制度により運営した。

門司病院の経営状況については、指定管理者制度を利用しているため、診療報酬等の医業収入は発生していないが、医業費用については、減価償却費が68,455千円発生している。

令和7年度の実質収支は、黒字となった。

⑵　経営指標に関する事項

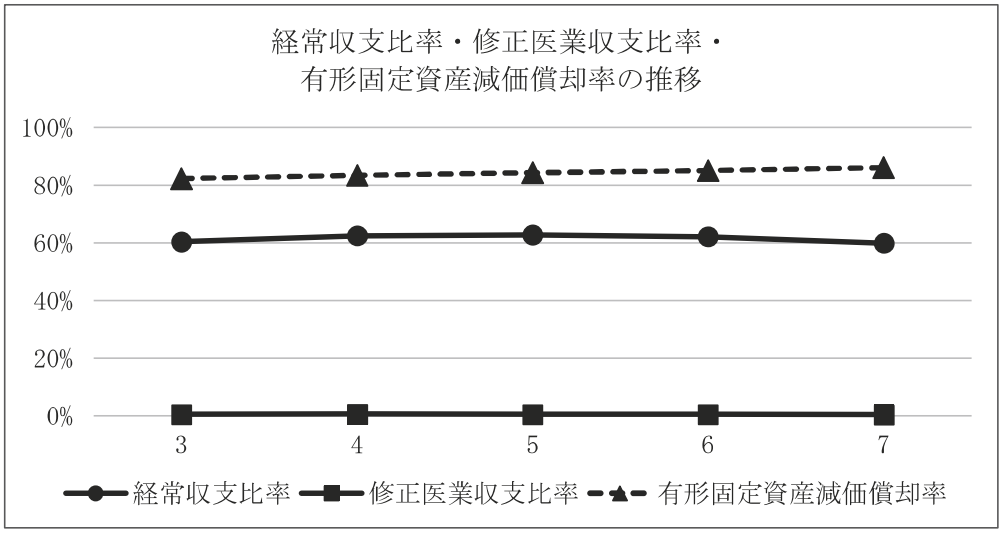
令和7年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、前年度比2.30ポイント減の59.90％となり、健全経営の水準とされる100％を下回っている。また、経営の収益性を示す修正医業収支比率は、前年度比0.05ポイント減の0.45％となり、事業に必要な費用を医業収益で賄えている状況とされる100％を大きく下回っているが、これらは指定管理者制度を利用しているため診療報酬等は発生しない一方で減価償却費は発生することによるものである。償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は、前年度比0.95ポイント増の86.10％となった。

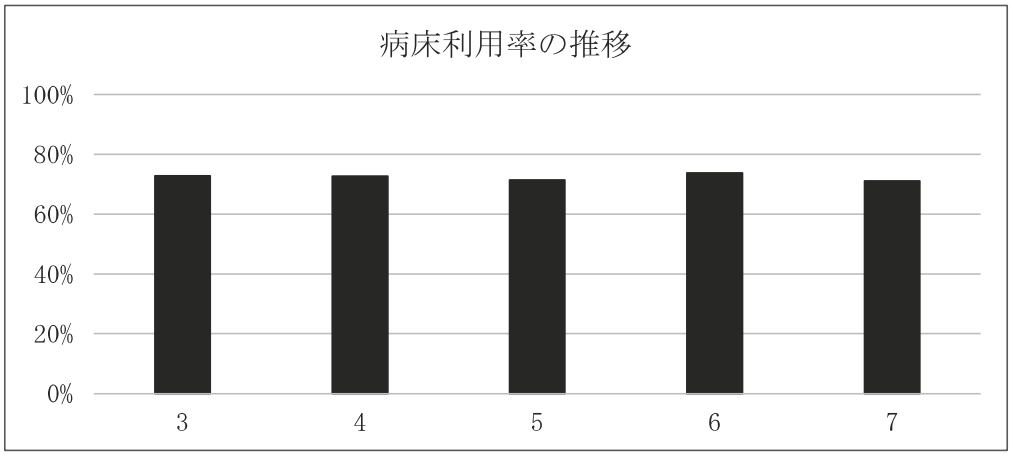
なお、施設の活用度合いを示す病床利用率は、前年度比2.55ポイント減の71.14％となっている。

引き続き、門司病院において、指定管理者と連携し、政策医療である結核医療を中心に、地域に必要な医療を提供していく。

〈経営指標の推移〉

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収支比率	60.41%	62.50%	62.79%	62.20%	59.90%
修正医業収支比率	0.55%	0.66%	0.55%	0.50%	0.45%
有形固定資産減価償却率	82.36%	83.41%	84.33%	85.15%	86.10%
病床利用率	72.84%	72.79%	71.46%	73.69%	71.14%





⑶　議会議決事項

議案番号	件　　名	提出年月日	議決年月日
第 110 号	令和 6 年度北九州市病院事業会計決算について	7. 9. 4	7.10. 2
第 25 号	令和 8 年度北九州市病院事業会計予算について	8. 2.19	8. 3.25

⑷　行政官庁許認可事項

該当事項なし

2　工　　事　（金額には消費税及び地方消費税を含む。）

⑴　建設工事の概況

該当なし

⑵　改良工事の概況

門司病院の施設改良工事費として 29,131 千円を執行した。

主な工事は、次のとおりである。

病　院	工　事　名	工　　事　　内　　容	着　工 年月日	竣　工 年月日
門司病院	門司病院 火災報知設備 受信機盤改修工事	火災報知設備受信機盤の改修工事	7. 7.17	8. 2. 9

⑶　医療機器等の整備状況

該当なし

3　業　　務

⑴　事業収入に関する事項

ア　病院別収益調

（単位　円・％）

収益区分	門司		本庁		計	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
医業収益	1,543,728	0.7	0	0.0	1,543,728	0.7
医業外収益	220,873,714	99.3	12,394,683	100.0	233,268,397	99.3
特別利益	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	222,417,442	100.0	12,394,683	100.0	234,812,125	100.0

イ　前年度との比較調

年度	医業収益				医業外収益			
	金額	構成比率	対前年度増△減		金額	構成比率	対前年度増△減	
			金額	比率			金額	比率
令和　7	1,543,728	0.7	△ 145,272	△ 8.6	233,268,397	99.3	△ 6,138,497	△ 2.6
令和　6	1,689,000	0.7	△ 173,500	△ 9.3	239,406,894	99.3	△ 4,181,184	△ 1.7

⑵　事業費に関する事項

ア　病院別費用調

（単位　円・％）

費用区分	門司		本庁		計	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
医業費用	246,467,260	84.7	99,187,978	98.1	345,655,238	88.2
医業外費用	44,416,392	15.3	1,950,427	1.9	46,366,819	11.8
特別損失	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	290,883,652	100.0	101,138,405	100.0	392,022,057	100.0

イ　前年度との比較調

年度	医業費用				医業外費用			
	金額	構成比率	対前年度増△減		金額	構成比率	対前年度増△減	
			金額	比率			金額	比率
令和　7	345,655,238	88.2	8,219,015	2.4	46,366,819	11.8	△ 3,793,834	△ 7.6
令和　6	337,436,223	87.1	171,616	0.1	50,160,653	12.9	△ 3,512,916	△ 6.5

（単位　円・％）

特別利益				総収益			
金額	構成比率	対前年度増△減		金額	構成比率	対前年度増△減	
		金額	比率			金額	比率
0	0.0	0	—	234,812,125	100.0	△6,283,769	△2.6
0	0.0	0	—	241,095,894	100.0	△4,354,684	△1.8

（単位　円・％）

特別損失				総費用			
金額	構成比率	対前年度増△減		金額	構成比率	対前年度増△減	
		金額	比率			金額	比率
0	0.0	0	—	392,022,057	100.0	4,425,181	1.1
0	0.0	0	—	387,596,876	100.0	△3,341,300	△0.9

ウ　経費及び支払利息比較調

区分		令和3年度			令和4年度		
		金額	前年度対比%	医業収益に対する割合	金額	前年度対比%	医業収益に対する割合
その他	経費	186,662,496	99.2	9,775.5	187,292,554	100.3	8,295.7
	企業債利息	43,375,898	92.0	2,271.6	39,529,091	91.1	1,750.9
	企業債取扱諸費	20,433	92.7	1.1	18,831	92.2	0.8
	長期借入金利息	0	—	0.0	0	—	0.0
	一時借入金利息	0	—	0.0	0	—	0.0
	計	230,058,827	97.8	12,048.1	226,840,476	98.6	10,047.4
	比較増減	△ 5,215,392	△ 2.2	—	△ 3,218,351	△ 1.4	—

エ　医業収支比較調

区分	令和3年度	前年度対比%	令和4年度	前年度対比%
医業収益　A	1,909,500	89.3	2,257,700	118.2
医業費用　B	344,236,086	99.5	341,930,691	99.3
医業収支　A－B	△ 342,326,586	—	△ 339,672,991	—

(3)　その他主要な事項

該当事項なし

（単位　円・％）

令和5年度			令和6年度			令和7年度		
金額	前年度対比％	医業収益に対する割合	金額	前年度対比％	医業収益に対する割合	金額	前年度対比％	医業収益に対する割合
189,506,037	101.2	10,174.8	183,821,896	97.0	10,883.5	183,901,119	100.0	11,912.8
35,646,969	90.2	1,913.9	31,661,757	88.8	1,874.6	28,113,309	88.8	1,821.1
17,229	91.5	0.9	15,625	90.7	0.9	14,022	89.7	0.9
0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0
0	—	0.0	0	—	0.0	0	—	0.0
225,170,235	99.3	12,089.7	215,499,278	95.7	12,759.0	212,028,450	98.4	13,734.8
△ 1,670,241	△ 0.7	—	△ 9,670,957	△ 4.3	—	△ 3,470,828	△ 1.6	—

（単位　円）

令和5年度	前年度対比％	令和6年度	前年度対比％	令和7年度	前年度対比％
1,862,500	82.5	1,689,000	90.7	1,543,728	91.4
337,264,607	98.6	337,436,223	100.1	345,655,238	102.4
△ 335,402,107	—	△ 335,747,223	—	△ 344,111,510	—

4　会　　計

⑴　重要契約の要旨

該当なし

⑵　企業債、長期借入金及び一時借入金の概況

ア　企業債

（単位　円）

借　入　先	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
財政融資資金	1,161,474,296	0	165,668,571	995,805,725
地方公共団体金融機構	313,726,597	0	50,333,135	263,393,462
銀　　行　　等	1,008,438,289	37,400,000	117,230,576	928,607,713
計	2,483,639,182	37,400,000	333,232,282	2,187,806,900

◎　企業債内訳

（単位　円）

区　　分	門　　司	本　　庁	計
前年度末残高	1,575,502,582	908,136,600	2,483,639,182
本年度借入高	29,100,000	8,300,000	37,400,000
本年度償還高	226,392,682	106,839,600	333,232,282
本年度末残高	1,378,209,900	809,597,000	2,187,806,900

イ　長期借入金

該当事項なし

ウ　一時借入金

該当事項なし

⑶　その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし

5　附帯事項

該当事項なし

6　その他

⑴　決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実

該当事項なし

⑵　他会計負担金等の使途について

ア　他会計負担金（医業外収益）218,113,309 円については、結核病棟運営費（課税仕入れ）に 190,000,000 円（特定収入）、企業債利息（課税仕入れ以外）に 28,113,309 円（特定収入以外）、それぞれ充当した。

イ　他会計補助金（医業外収益）10,753,532 円については、委託料等（課税仕入れ）に 10,635,292 円（特定収入）、保険料（課税仕入れ以外）に 118,240 円（特定収入以外）、それぞれ充当した。

⑶　その他

該当事項なし

令　和　7　年　度

北九州市下水道事業会計決算書
北 九 州 市 下 水 道 事 業 報 告 書

北九州市上下水道局

目　次

北九州市下水道事業会計決算書
令和７年度北九州市下水道事業決算報告書 …… 1
令和７年度北九州市下水道事業損益計算書 …… 5
令和７年度北九州市下水道事業剰余金計算書 …… 7
令和７年度北九州市下水道事業剰余金処分計算書 …… 9
令和７年度北九州市下水道事業貸借対照表 …… 10
附属明細書
令和７年度北九州市下水道事業キャッシュ・フロー計算書 …… 15
収益費用明細書 …… 16
固定資産明細書 …… 24
企業債明細書 …… 28
北九州市下水道事業報告書
１　概　況 …… 36
⑴　総括事項 …… 36
⑵　経営指標に関する事項 …… 37
⑶　議会議決事項 …… 38
⑷　行政官庁許認可事項 …… 38
⑸　職員に関する事項 …… 38
⑹　料金その他供給条件の設定、変更に関する事項 …… 38
２　工　事 …… 39
⑴　建設工事の概況 …… 39
⑵　改良工事の概況 …… 41
⑶　保存工事の概況 …… 42
３　業　務 …… 43
⑴　業務量 …… 43
⑵　事業収入に関する事項 …… 44
⑶　事業費に関する事項 …… 45
⑷　その他主要な事項 …… 45
４　会　計 …… 46
⑴　重要契約の要旨 …… 46
⑵　企業債及び一時借入金の概況 …… 46
⑶　その他会計経理に関する重要事項 …… 46
５　附帯事項 …… 47
⑴　受託事業の概況 …… 47
６　その他 …… 47
⑴　決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実 …… 47
⑵　他会計負担金等の使途の特定について …… 47
⑶　その他 …… 48

北九州市下水道事業会計決算書

令 和 7 年 度 北 九 州 市

(1) 収益的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算		
	当　初 予　算　額	補　正 予　算　額	地方公営企業法第24条第３項の規定による支出額に係る財源充当額
	円	円	円
第１款　下水道事業収益	26,974,717,000	0	0
第１項　営　業　収　益	20,588,443,000	0	0
第２項　営業外収益	6,386,244,000	0	0
第３項　特　別　利　益	30,000	0	0

支　　出

区　　分	予　　算					
	当　初 予　算　額	補　正 予算額	予備費 支出額	流　用 増減額	地方公営企業法第24条第３項の規定による 支　出　額	小　　計
	円	円	円	円	円	円
第１款　下水道事業費	28,016,352,000	0	0	0	0	28,016,352,000
第１項　営　業　費　用	26,382,187,000	0	0	0	0	26,382,187,000
第２項　営業外費用	1,599,145,000	0	0	0	0	1,599,145,000
第３項　特　別　損　失	15,020,000	0	0	0	0	15,020,000
第４項　予　　備　　費	20,000,000	0	0	0	0	20,000,000

下　水　道　事　業　決　算　報　告　書

額	決　算　額	予算額に比べ決算額の増減	備　　考
合　　計			
円	円	円	
26,974,717,000	26,435,976,272	△ 538,740,728	
20,588,443,000	20,079,025,806	△ 509,417,194	（うち仮受消費税及び地方消費税 1,313,119,180円）
6,386,244,000	6,343,447,196	△ 42,796,804	（　〃　4,824,720円）
30,000	13,503,270	13,473,270	（　〃　995,935円）

額		決　算　額	地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	不　用　額	備　　考
地方公営企業法第26条第2項の規定による繰越額	合　　計				
円	円	円	円	円	
0	28,016,352,000	27,052,764,395	0	963,587,605	
0	26,382,187,000	25,690,030,745	0	692,156,255	（うち仮払消費税及び地方消費税 721,032,937円）
0	1,599,145,000	1,353,154,663	0	245,990,337	（　〃　1,671,686円）
0	15,020,000	9,578,987	0	5,441,013	（　〃　869,468円）
0	20,000,000	0	0	20,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算			
	当　初 予算額	補　正 予算額	小　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	円	円	円	円
第1款　下水道事業資本的収入	13,846,703,000	1,447,445,000	15,294,148,000	7,949,693,000
第1項　企業債	7,056,000,000	721,000,000	7,777,000,000	4,696,000,000
第2項　国庫補助金	4,091,555,000	726,445,000	4,818,000,000	3,223,600,000
第3項　負担金	398,018,000	0	398,018,000	30,093,000
第4項　寄附金	9,951,000	0	9,951,000	0
第5項　貸付金回収金	959,000	0	959,000	0
第6項　基金繰入金	2,290,200,000	0	2,290,200,000	0
第7項　その他資本的収入	20,000	0	20,000	0

支　　出

区　　分	予　　算					
	当　初 予算額	補　正 予算額	流用増減額	小　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額
	円	円	円	円	円	円
第1款　下水道事業資本的支出	24,095,758,000	1,452,890,000	0	25,548,648,000	8,805,223,000	0
第1項　建設改良費	12,880,239,000	1,452,890,000	0	14,333,129,000	8,805,223,000	0
第2項　企業債償還金	8,404,192,000	0	0	8,404,192,000	0	0
第3項　投資	2,811,327,000	0	0	2,811,327,000	0	0

資本的収入額13,254,512,488円が、資本的支出額23,232,082,802円に対し不足する額9,977,570,314円は、当年度分消費税及び地方消てんするものとする。

額		決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
継続費逓次繰越額に係る財源充当額	合計			
円	円	円	円	
0	23,243,841,000	13,254,512,488	△ 9,989,328,512	
0	12,473,000,000	6,288,000,000	△ 6,185,000,000	
0	8,041,600,000	4,429,756,000	△ 3,611,844,000	
0	428,111,000	237,595,318	△ 190,515,682	
0	9,951,000	8,362,370	△ 1,588,630	
0	959,000	598,800	△ 360,200	
0	2,290,200,000	2,290,200,000	0	
0	20,000	0	△ 20,000	

額	決算額	翌年度繰越額			不用額	備考
合計		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合計		
円	円	円	円	円	円	
34,353,871,000	23,232,082,802	10,201,753,000	0	10,201,753,000	920,035,198	
23,138,352,000	12,018,264,054	10,201,753,000	0	10,201,753,000	918,334,946	(うち仮払消費税及び地方消費税 1,051,262,248円)
8,404,192,000	8,404,191,748	0	0	0	252	
2,811,327,000	2,809,627,000	0	0	0	1,700,000	

費税資本的収支調整額629,948,563円、過年度分損益勘定留保資金1,386,501,090円、当年度分損益勘定留保資金7,961,120,661円で補

令和７年度北九州市下水道事業損益計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

（単位：円）

１ 営業収益			
(1) 下水道使用料	12,957,420,060		
(2) 雨水処理負担金	5,518,985,280		
(3) その他他会計負担金	80,443,702		
(4) 受託事業収益	37,309,335		
(5) その他営業収益	171,748,249	18,765,906,626	
２ 営業費用			
(1) 管渠費	1,571,644,123		
(2) ポンプ場費	1,081,604,589		
(3) 処理場費	3,759,414,022		
(4) 水質管理費	25,834,714		
(5) 受託事業費	34,328,728		
(6) 水洗便所普及促進費	76,716,302		
(7) 水洗便所助成貸付事業費	566,820		
(8) 業務費	578,335,471		
(9) 総係費	146,200,075		
(10) 減価償却費	16,017,110,689		
(11) 資産減耗費	721,071,596		
(12) 給与費	956,170,679	24,968,997,808	
営業損失			6,203,091,182

3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	42,458,436		
(2) 他会計負担金	8,378,171		
(3) 国庫補助金	269,000		
(4) 長期前受金戻入	6,213,609,581		
(5) 雑収益	73,907,288	6,338,622,476	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	1,271,024,377		
(2) 雑支出	115,041,419	1,386,065,796	4,952,556,680
経常損失			1,250,534,502
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	12,507,335	12,507,335	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	8,709,519	8,709,519	3,797,816
当年度純損失			1,246,736,686
前年度繰越利益剰余金			2,841,518,636
その他未処分利益剰余金変動額			0
当年度未処分利益剰余金			1,594,781,950

令和７年度北九州市下水道

（令和７年４月１日から

	資本金	剰			
		資本剰			
		国庫補助金	負担金	他会計負担金	受贈財産評価額
前年度末残高	113,943,822,357	3,447,656,624	0	49,000,000	2,138,031,853
前年度処分額	0	0	0	0	0
議会の議決による処分額	0	0	0	0	0
処分後残高	113,943,822,357	3,447,656,624	0	49,000,000	2,138,031,853
当年度変動額	0	360,291,201	0	0	0
資本剰余金の受入	0	360,291,201	0	0	0
減債積立金取崩額	0	0	0	0	0
当年度純利益	0	0	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	0	0	0	0	0
当年度末残高	113,943,822,357	3,807,947,825	0	49,000,000	2,138,031,853

事 業 剰 余 金 計 算 書

令和８年３月31日まで）

（単位：円）

余金						資本合計
余金			利益剰余金			
寄附金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	減債積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
0	38,359,366	5,673,047,843	0	2,841,518,636	2,841,518,636	122,458,388,836
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0
0	38,359,366	5,673,047,843	0	（繰越利益剰余金） 2,841,518,636	2,841,518,636	122,458,388,836
0	0	360,291,201	0	△1,246,736,686	△1,246,736,686	△ 886,445,485
0	0	360,291,201	0	0	0	360,291,201
0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	△1,246,736,686	△1,246,736,686	△1,246,736,686
0	0	0	0	0	0	0
0	38,359,366	6,033,339,044	0	（当年度未処分利益剰余金） 1,594,781,950	1,594,781,950	121,571,943,351

令和７年度北九州市下水道事業剰余金処分計算書

（単位：円）

	資　本　金	資本剰余金	未処分利益剰余金
当年度末残高	113,943,822,357	6,033,339,044	1,594,781,950
議会の議決による処分額	0	0	0
減債積立金の積立	0	0	0
資本金への組入	0	0	0
処分後残高	113,943,822,357	6,033,339,044	（繰越利益剰余金） 1,594,781,950

令和７年度北九州市下水道事業貸借対照表

（令和８年３月31日）

（単位：円）

資　産　の　部

1　固定資産				
(1)　有形固定資産				
イ　土地		11,197,337,291		
ロ　建物	16,320,454,179			
減価償却累計額	△　10,726,451,474	5,594,002,705		
ハ　構築物	695,602,703,236			
減価償却累計額	△ 364,350,131,803	331,252,571,433		
ニ　機械及び装置	137,193,215,679			
減価償却累計額	△　94,827,486,186	42,365,729,493		
ホ　工具器具及び備品	356,269,106			
減価償却累計額	△　263,656,979	92,612,127		
ヘ　リース資産	129,505,300			
減価償却累計額	△　39,686,937	89,818,363		
ト　建設仮勘定		3,300,809,032		
有形固定資産合計			393,892,880,444	
(2)　無形固定資産				
イ　地役権		1,993,124		
ロ　電話加入権		17,979,600		
ハ　その他無形固定資産		225,541,397		
無形固定資産合計			245,514,121	
(3)　投資その他の資産				
イ　投資有価証券		27,000,000		
ロ　水洗便所改造資金等貸付金		864,800		
ハ　基金積立金		11,260,799,000		
ニ　出資金		36,250,000		
投資その他の資産合計			11,324,913,800	
固定資産合計				405,463,308,365

2 流動資産			
(1) 現金預金			
イ 現金	6,000		
ロ 預金	7,874,068,167	7,874,074,167	
(2) 未収金			
イ 営業未収金	1,462,715,182		
貸倒引当金	△ 8,776,291		
ロ 営業外未収金	86,503,529		
ハ その他未収金	79,301,560		
貸倒引当金	△ 22,836,604	1,596,907,376	
流動資産合計			9,470,981,543
資産合計			414,934,289,908

負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	127,020,211,591	127,020,211,591	
(2) リース債務		68,510,959	
(3) 引当金			
イ 退職給付引当金	1,392,438,105	1,392,438,105	
固定負債合計			128,481,160,655
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,963,164,217	6,963,164,217	
(2) リース債務		25,179,924	
(3) 未払金			
イ 営業未払金	1,283,653,944		
ロ 営業外未払金	28,683,825		
ハ 建設改良未払金	3,935,910,865	5,248,248,634	

(4) 引当金			
イ 賞与引当金	116,302,000	116,302,000	
(5) 預り金			
イ 預り保証金	97,433,450		
ロ 預り諸税	80,902		
ハ その他預り金	12,049,663	109,564,015	
(6) その他流動負債			
イ 還付未済金	14,065,398	14,065,398	
流動負債合計			12,476,524,188
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		317,386,035,285	
(2) 長期前受金収益化累計額		△ 164,981,373,571	
繰延収益合計			152,404,661,714
負債合計			293,362,346,557

資本の部

6 資本金			113,943,822,357
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 国庫補助金	3,807,947,825		
ロ 他会計負担金	49,000,000		
ハ 受贈財産評価額	2,138,031,853		
ニ その他資本剰余金	38,359,366		
資本剰余金合計		6,033,339,044	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	1,594,781,950		
利益剰余金合計		1,594,781,950	
剰余金合計			7,628,120,994
資本合計			121,571,943,351
負債資本合計			414,934,289,908

注　記

Ⅰ　重要な会計方針に関する注記

1　固定資産の減価償却の方法

⑴　有形固定資産（リース資産を除く）

・減価償却の方法　　定額法による。

・主な耐用年数

建物	6 ～ 50 年
構築物	3 ～ 50 年
機械及び装置	3 ～ 25 年
車両運搬具	4 ～ 5 年
工具器具及び備品	2 ～ 15 年

⑵　無形固定資産（リース資産を除く）

・減価償却の方法　　定額法による。

・主な耐用年数

地役権	5 年
その他無形固定資産	5 年

⑶　リース資産

・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用している。

2　引当金の計上方法

⑴　退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

⑵　賞与引当金

職員の期末・勤勉手当及びこれに係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12 月から 3 月までの 4 か月分）を計上している。

⑶　貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

なお、貸倒実績率については、不納欠損処理していない水洗便所改造資金貸付の債権は、10 年経過した債権を貸倒処理額とみなして算出している。

3　消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

Ⅱ　キャッシュ・フロー計算書に関する注記

重要な非資金取引の内容

当年度、新たに計上した受贈財産の額は、908,173,630 円である。

Ⅲ　貸借対照表に関する注記

1　企業債の償還に係る一般会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（当年度の末日の翌日から起算して１年以内に償還予定のものも含む）のうち、「下水道事業に対する繰り出し基準」に基づき、企業債の償還に要する資金の一部を一般会計が負担すると見込まれる額は 56,882,557,362 円である。

2　賞与引当金

賞与引当金には、法定福利費引当金 19,545,000 円が含まれている。

Ⅳ　セグメント情報に関する注記

下水道事業会計は、単一セグメントであるため、注記は省略している。

Ⅴ　減損損失に関する注記

該当なし。

Ⅵ　リース契約により使用する固定資産に関する注記

リース取引の処理方法

リース料総額が 300 万円超のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が 300 万円以下のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

Ⅶ　重要な後発事象に関する注記

該当なし。

Ⅷ　その他の注記

1　退職給付引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、退職手当として 27,500,644 円を支給するため、退職給付引当金 27,500,644 円を取り崩した。

2　賞与引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、期末・勤勉手当及びこれに係る法定福利費として 308,794,483 円を支給するため、賞与引当金 113,106,000 円を取り崩した。

3　貸倒引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、債権の不納欠損による損失のため、貸倒引当金 11,680,046 円を取り崩した。

附　属　明　細　書

令和７年度北九州市下水道事業キャッシュ・フロー計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

（単位：円）

1　業務活動によるキャッシュ・フロー		
当年度純利益（△は純損失）	△	1,246,736,686
減価償却費		16,017,110,689
固定資産除却損		721,071,596
退職給付引当金の増減額（△は減少）		24,378,468
賞与引当金の増減額（△は減少）		1,091,000
長期前受金戻入額	△	6,213,609,581
過年度損益修正益	△	2,225,924
受取利息及び受取配当金	△	42,458,436
支払利息及び企業債取扱諸費		1,271,024,377
未収金の増減額（△は増加）		500,399,373
未払金の増減額（△は減少）		205,062,670
その他流動負債の増減額（△は減少）		19,822,220
小計		11,254,929,766
利息及び配当金の受取額		42,458,436
利息及び企業債取扱諸費の支払額	△	1,271,012,482
業務活動によるキャッシュ・フロー		**10,026,375,720**
2　投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△	9,683,845,895
無形固定資産の取得による支出	△	100,199,242
国庫補助金等による収入		4,314,743,038
水洗便所改造資金貸付金回収金による収入		598,800
有価証券の取得による支出	△	570,000,000
有価証券の売却による収入		570,000,000
他会計への貸付による支出	△	1,600,000,000
他会計貸付金の回収による収入		1,600,000,000
基金の繰入による支出	△	2,809,627,000
基金の取崩による収入		2,290,200,000
固定資産の除却による支出	△	49,325,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△**	**6,037,455,299**
3　財務活動によるキャッシュ・フロー		
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入		6,288,000,000
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△	8,404,191,748
リース債務返済による支出	△	25,179,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△**	**2,141,371,672**
資金増加額（又は減少額）		**1,847,548,749**
資金期首残高		6,026,525,418
資金期末残高		7,874,074,167

収 益 費 用 明 細 書

款	項	目	節	金 額	備 考
1 下水道事業収益				円 25,117,036,437	
	1 営業収益			18,765,906,626	
		1 下水道使用料		12,957,420,060	
			下水道使用料	12,957,420,060	
		2 雨水処理負担金		5,518,985,280	
			雨水処理負担金	5,518,985,280	
		3 その他他会計負担金		80,443,702	
			水質規制費負担金	33,014,184	
			水洗便所改造命令経費負担金	28,807,031	
			下水道使用料減免負担金	6,633,487	
			児童手当経費負担金	11,989,000	
		4 受託事業収益		37,309,335	
			河川設備	37,309,335	
		5 その他営業収益		171,748,249	
			下水道手数料	1,800	
			処理水売却収益	1,072,311	
			営業雑収益	170,674,138	

款	項	目	節	金　額	備　考
	2 営業外収益			円 6,338,622,476	
		1 受取利息及び配当金		42,458,436	
			預金利息	419,769	
			その他利息	42,038,667	
		2 他会計負担金		8,378,171	
			他会計負担金	8,378,171	
		3 国庫補助金		269,000	
			国庫補助金	269,000	
		4 長期前受金戻入		6,213,609,581	
			長期前受金戻入	6,213,609,581	
		5 雑収益		73,907,288	
			営業外雑収益	73,907,288	
	3 特別利益			12,507,335	
		2 過年度損益修正益		12,507,335	
			過年度損益修正益	12,507,335	
収益合計				25,117,036,437	

款	項	目	節	金　額	備　考
1 下水道事業費				円 26,363,773,123	
	1 営 業 費 用			24,968,997,808	
		1 管　渠　費		1,571,644,123	
			旅　　費	116,558	
			修　繕　料	58,300	
			備 消 耗 品 費	474,801	
			燃　料　費	335,080	
			光 熱 水 費	34,430,941	
			印 刷 製 本 費	116,000	
			保　険　料	3,212,390	
			通 信 運 搬 費	6,308,462	
			手　数　料	3,600	
			委　託　料	504,260,600	
			賃　借　料	75,273,175	
			工 事 請 負 費	938,820,000	
			原 材 料 費	1,109,773	
			負　担　金	5,655,110	
			補　償　費	990,250	
			研　修　費	359,346	
			会　議　費	119,737	

款	項	目	節	金　額	備　考
		2 ポンプ場費		円 1,081,604,589	
			修　繕　料	171,106,300	
			備消耗品費	17,448,794	
			光熱水費	12,356,552	
			動　力　費	333,604,405	
			薬　品　費	3,767,560	
			通信運搬費	5,769,044	
			手　数　料	25,000	
			委　託　料	537,301,289	
			負　担　金	225,645	
		3 処理場費		3,759,414,022	
			旅　費	24,140	
			修　繕　料	482,669,900	
			備消耗品費	55,329,839	
			燃　料　費	457,445	
			光熱水費	10,506,258	
			印刷製本費	59,001	
			動　力　費	260,848,233	
			薬　品　費	77,209,435	
			保　険　料	4,590	
			通信運搬費	2,665,721	
			手　数　料	458,847	

款	項	目	節	金　額	備　考
			委　託　料	円 2,598,642,922	
			賃　借　料	999,735	
			原 材 料 費	969,572	
			負　担　金	267,398,093	
			雑　　費	94,500	
			研　修　費	927,752	
			会　議　費	148,039	
		4 水質管理費		25,834,714	
			報　償　費	7,273	
			旅　　費	873	
			修　繕　料	688,620	
			備 消 耗 品 費	4,507,436	
			燃　料　費	145,541	
			光 熱 水 費	16,690	
			印 刷 製 本 費	12,080	
			薬　品　費	1,574,430	
			通 信 運 搬 費	146,186	
			手　数　料	3,600	
			委　託　料	17,938,360	
			賃　借　料	254,112	
			負　担　金	28,800	
			研　修　費	510,713	

款	項	目	節	金　額	備　考
		5 受託事業費		円 34,328,728	
			備消耗品費	32,728	
			委託料	3,496,000	
			工事請負費	30,800,000	
		6 水洗便所普及促進費		76,716,302	
			印刷製本費	71,820	
			通信運搬費	96,671	
			委託料	60,757,000	
			広報費	15,790,811	
		7 水洗便所助成貸付事業費		566,820	
			備消耗品費	43,600	
			手数料	220	
			委託料	285,000	
			補助金	238,000	
		8 業務費		578,335,471	
			備消耗品費	94,800	
			委託料	154,175	
			負担金	578,086,496	
		9 総係費		146,200,075	
			報酬	157,092	
			厚生福利費	3,171,330	
			旅費	1,156,331	

款	項	目	節	金　額	備　考
			修繕料	円 168,845	
			被服費	2,776,280	
			備消耗品費	1,049,373	
			燃料費	22,787	
			光熱水費	3,514,962	
			印刷製本費	402,865	
			保険料	300,593	
			通信運搬費	4,881,525	
			手数料	447,662	
			委託料	23,605,663	
			賃借料	351,270	
			負担金	59,198,519	
			補助金	538,000	
			研修費	232,303	
			会議費	675,679	
			海外事業費	33,087,874	
			貸倒引当金繰入額	10,461,122	
		10 減価償却費		16,017,110,689	
			有形固定資産減価償却費	15,973,689,846	
			無形固定資産減価償却費	43,420,843	

款	項	目	節	金　額	備　考
		11 資産減耗費		円 721,071,596	
			固定資産除却費	49,325,000	
			固定資産除却損	671,746,596	
		12 給与費		956,170,679	
			給料	460,828,558	
			手当	224,848,726	
			退職給付費	51,462,098	
			法定福利費	136,607,297	
			賞与引当金繰入額	82,424,000	
	2 営業外費用			1,386,065,796	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費		1,271,024,377	
			企業債利息	1,254,270,489	
			企業債取扱諸費	16,716,863	
			一時借入金利息	37,025	
		3 雑支出		115,041,419	
			雑支出	115,041,419	
	3 特別損失			8,709,519	
		2 過年度損益修正損		8,709,519	
			過年度損益修正損	8,709,519	
費用合計				26,363,773,123	

固　定　資　産

(1)　有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
	円	円	円	円
土地	11,179,394,686	17,942,605	0	11,197,337,291
施設用地	11,179,394,686	17,942,605	0	11,197,337,291
建物	15,797,287,790	548,817,415	25,651,026	16,320,454,179
施設用建物	12,040,746,174	352,305,662	0	12,393,051,836
その他建物	73,412,730	0	0	73,412,730
建物付属設備	3,683,128,886	196,511,753	25,651,026	3,853,989,613
構築物	684,131,180,665	12,019,203,774	547,681,203	695,602,703,236
管路施設（管渠）	636,185,910,557	11,959,958,269	470,015,810	647,675,853,016
管路施設（その他）	590,891,170	0	0	590,891,170
ポンプ場施設	18,555,430,389	44,716,096	30,232,107	18,569,914,378
処理場施設	24,651,218,968	0	30,476,175	24,620,742,793
その他構築物	4,147,729,581	14,529,409	16,957,111	4,145,301,879
機械及び装置	135,582,329,837	3,391,085,966	1,780,200,124	137,193,215,679
電気設備	54,028,939,049	1,773,906,993	1,134,790,568	54,668,055,474
ポンプ設備	28,455,578,171	141,383,435	78,408,422	28,518,553,184
処理機械設備	51,346,446,031	1,206,482,741	535,469,414	52,017,459,358
その他機械設備	1,751,366,586	269,312,797	31,531,720	1,989,147,663
工具器具及び備品	328,219,192	40,146,414	12,096,500	356,269,106
リース資産	129,505,300	0	0	129,505,300
小計	847,147,917,470	16,017,196,174	2,365,628,853	860,799,484,791
建設仮勘定	7,605,151,272	2,641,293,677	6,945,635,917	3,300,809,032
管路施設	6,361,714,858	1,033,091,199	6,140,529,327	1,254,276,730
ポンプ場施設	281,326,695	1,574,324,478	771,966,212	1,083,684,961
処理場施設	490,701,388	0	0	490,701,388
退職・賞与引当金	471,408,331	33,878,000	33,140,378	472,145,953
合計	854,753,068,742	18,658,489,851	9,311,264,770	864,100,293,823

明　細　書

減価償却累計額				当年度末償却未済高
前年度末累計	当年度増加額	当年度減少額	累計	
円	円	円	円	円
－	－	－	－	11,197,337,291
－	－	－	－	11,197,337,291
10,424,485,776	326,091,371	24,125,673	10,726,451,474	5,594,002,705
7,582,942,397	232,157,944	0	7,815,100,341	4,577,951,495
52,206,185	1,840,882	0	54,047,067	19,365,663
2,789,337,194	92,092,545	24,125,673	2,857,304,066	996,685,547
352,446,609,546	12,213,539,857	310,017,600	364,350,131,803	331,252,571,433
320,126,196,686	11,441,652,441	248,903,818	331,318,945,309	316,356,907,707
110,211,519	11,058,471	0	121,269,990	469,621,180
11,373,294,328	335,259,457	17,058,978	11,691,494,807	6,878,419,571
17,634,516,762	383,953,659	27,945,557	17,990,524,864	6,630,217,929
3,202,390,251	41,615,829	16,109,247	3,227,896,833	917,405,046
92,817,324,044	3,396,291,128	1,386,128,986	94,827,486,186	42,365,729,493
35,852,019,065	1,365,825,014	789,820,578	36,428,023,501	18,240,031,973
20,324,179,345	807,354,233	72,138,935	21,059,394,643	7,459,158,541
35,665,084,774	1,180,899,481	494,214,343	36,351,769,912	15,665,689,446
976,040,860	42,212,400	29,955,130	988,298,130	1,000,849,533
258,874,163	16,289,994	11,507,178	263,656,979	92,612,127
18,209,441	21,477,496	0	39,686,937	89,818,363
455,965,502,970	15,973,689,846	1,731,779,437	470,207,413,379	390,592,071,412
－	－	－	－	3,300,809,032
－	－	－	－	1,254,276,730
－	－	－	－	1,083,684,961
－	－	－	－	490,701,388
－	－	－	－	472,145,953
455,965,502,970	15,973,689,846	1,731,779,437	470,207,413,379	393,892,880,444

⑵ 無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額
	円	円	円
地役権	2,621,738	0	0
電話加入権	17,979,600	0	0
その他無形固定資産（ソフトウエア）	168,134,384	137,879,200	37,679,958
合計	188,735,722	137,879,200	37,679,958

⑶ 投資その他の資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額
	円	円	円
投資有価証券	27,000,000	0	0
水洗便所改造資金等貸付金	1,463,600	0	598,800
基金積立金	10,741,372,000	2,809,627,000	2,290,200,000
出資金	36,250,000	0	0
合計	10,806,085,600	2,809,627,000	2,290,798,800

当年度減価償却高	年度末現在高	備考
円 628,614	円 1,993,124	
0	17,979,600	
42,792,229	225,541,397	
43,420,843	245,514,121	

年度末現在高	備考
円 27,000,000	
864,800	
11,260,799,000	
36,250,000	
11,324,913,800	

企　業　債　明　細　書

種類	発行年月日	発行総額	償還高 当年度償還高	償還高 償還高累計	未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
下水道建設事業	平成 8. 3.14	円 1,735,000,000	円 98,462,054	円 1,735,000,000	円 0		% 3.15	令和 8. 3. 1	財政融資資金	
	8. 3.14	487,000,000	27,637,476	487,000,000	0		3.15	8. 3. 1	〃	特別の地方債 特定環境保全公共下水道分
	9. 3.25	398,000,000	21,187,647	376,214,946	21,785,054		2.8	9. 3. 1	〃	
	9. 3.25	676,000,000	35,987,058	638,998,250	37,001,750		2.8	9. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	10. 3.25	777,000,000	37,869,599	698,845,615	78,154,385		2.1	10. 3. 1	〃	
	10. 3.25	133,000,000	6,482,184	119,622,222	13,377,778		2.1	10. 3. 1	〃	特別の地方債
	10. 3.25	526,000,000	25,636,305	473,092,398	52,907,602		2.1	10. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	11. 3.25	1,199,000,000	57,229,010	1,019,961,704	179,038,296		2.1	11. 3. 1	〃	
	11. 3.25	342,000,000	16,323,871	290,931,529	51,068,471		2.1	11. 3. 1	〃	特別の地方債
	11. 3.25	747,000,000	35,654,771	635,455,707	111,544,293		2.1	11. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	12. 3.24	2,465,000,000	114,434,293	1,983,794,544	481,205,456		2.0	12. 3. 1	〃	
	12. 3.24	1,520,000,000	70,563,946	1,223,272,902	296,727,098		2.0	12. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	12. 3.24	413,000,000	19,172,966	332,376,124	80,623,876		2.0	12. 3. 1	〃	特別の地方債
	13. 3.26	1,878,000,000	83,433,241	1,440,293,901	437,706,099		1.6	13. 3. 1	〃	
	13. 3.26	1,221,000,000	54,244,934	936,421,114	284,578,886		1.6	13. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	13. 3.26	18,000,000	799,680	13,804,735	4,195,265		1.6	13. 3. 1	〃	特別の地方債
	14. 3.25	1,590,000,000	71,627,332	1,125,707,926	464,292,074		2.2	14. 3. 1	〃	
	14. 3.25	956,000,000	43,066,496	676,840,740	279,159,260		2.2	14. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	15. 3.25	1,407,000,000	59,527,659	969,754,835	437,245,165		1.2	15. 3. 1	〃	
	15. 3.25	1,025,000,000	43,365,921	706,466,742	318,533,258		1.2	15. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	15. 3.25	526,000,000	22,254,121	362,538,056	163,461,944		1.2	15. 3. 1	〃	特別の地方債
	16. 3.25	1,720,000,000	73,738,912	1,074,151,775	645,848,225		2.0	16. 3. 1	〃	
	16. 3.25	1,104,000,000	47,330,093	689,455,558	414,544,442		2.0	16. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
下水道建設事業	平成 17. 3.25	円 1,571,000,000	円 66,151,154	円 909,126,956	円 661,873,044		% 2.1	令和 17. 3. 1	財政融資資金	
	17. 3.25	686,000,000	28,885,863	396,983,510	289,016,490		2.1	17. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	18. 3.27	1,393,000,000	57,443,345	747,463,587	645,536,413		2.1	18. 3. 1	〃	
	18. 3.27	449,000,000	18,515,479	240,926,886	208,073,114		2.1	18. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	19. 3.26	1,390,000,000	56,134,617	688,534,196	701,465,804		2.1	19. 3. 1	〃	
	19. 3.26	275,000,000	11,105,769	136,220,797	138,779,203		2.1	19. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	20. 3.25	1,680,000,000	66,443,517	764,339,059	915,660,941		2.1	20. 3. 1	〃	
	20. 3.25	117,000,000	4,627,316	53,230,756	63,769,244		2.1	20. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	21. 3.25	1,524,000,000	59,265,496	642,300,947	881,699,053		1.9	21. 3. 1	〃	
	21. 3.25	29,000,000	1,127,755	12,222,263	16,777,737		1.9	21. 3. 1	〃	特定環境保全公共下水道分
	25. 3.25	4,582,000,000	169,100,839	1,284,620,737	3,297,379,263		1.5	25. 3. 1	〃	
	27. 3.25	3,890,000,000	142,568,235	830,375,969	3,059,624,031		1.2	27. 3. 1	〃	
	28. 3.25	3,250,000,000	124,827,910	617,952,381	2,632,047,619		0.5	28. 3. 1	〃	
	29. 3.27	3,400,000,000	128,741,008	510,368,475	2,889,631,525		0.6	29. 3. 1	〃	
	令和 3. 3.25	330,500,000	0	0	330,500,000		0.5	33. 3. 1	〃	
	5. 3.27	1,945,000,000	0	0	1,945,000,000		1.3	35. 3. 1	〃	
	6. 3.25	623,000,000	0	0	623,000,000		1.4	36. 3. 1	〃	
	7. 3.25	3,694,000,000	0	0	3,694,000,000		2.1	37. 3. 1	〃	
	小　計	53,691,500,000	2,000,967,872	25,844,667,842	27,846,832,158					
	平成 8. 3.29	円 906,000,000	円 26,591,737	円 906,000,000	円 0		% 3.4	令和 7. 9.30	郵便貯金・簡易生命保険管理機構	
	9. 3.31	1,928,000,000	102,637,646	1,822,468,383	105,531,617		2.8	9. 3.31	〃	
	10. 3.31	2,630,000,000	128,181,525	2,365,461,994	264,538,006		2.1	10. 3.31	〃	
	11. 3.31	3,504,000,000	167,248,083	2,980,772,152	523,227,848		2.1	11. 3.31	〃	
	12. 3.31	3,556,000,000	165,082,494	2,861,814,765	694,185,235		2.0	12. 3.31	〃	

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
下水道建設事業	平成 13. 3.30	円 3,282,000,000	円 146,974,717	円 2,590,843,279	円 691,156,721		% 1.6	令和 12. 9.30	郵便貯金・簡易生命保険管理機構	
	14. 3.29	3,131,000,000	142,598,801	2,288,413,626	842,586,374		2.2	13. 9.30	〃	
	15. 3.31	2,895,000,000	122,482,284	1,995,337,779	899,662,221		1.2	15. 3.31	〃	
	16. 3.31	2,644,000,000	113,352,141	1,651,196,101	992,803,899		2.0	16. 3.31	〃	
	17. 3.31	1,575,000,000	66,319,584	911,441,730	663,558,270		2.1	17. 3.31	〃	
	18. 3.31	1,211,000,000	49,938,184	649,805,027	561,194,973		2.1	18. 3.31	〃	
	19. 3.20	983,000,000	40,114,908	507,089,626	475,910,374		2.1	18. 9.30	〃	
	20. 3.31	1,239,000,000	49,002,094	563,700,057	675,299,943		2.1	20. 3.31	〃	
	小　計	29,484,000,000	1,320,524,198	22,094,344,519	7,389,655,481					
	平成 10. 3.30	円 2,211,800,000	円 121,053,979	円 2,211,800,000	円 0		% 2.2	令和 8. 3.20	地方公共団体金融機構	
	10. 3.30	235,200,000	12,808,882	235,200,000	0		2.15	8. 3.20	〃	臨時特別利率分
	10. 3.30	389,000,000	21,290,350	389,000,000	0		2.2	8. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	11. 3.30	2,785,000,000	147,795,776	2,634,084,218	150,915,782		2.1	9. 3.20	〃	
	11. 3.30	388,000,000	20,590,578	366,974,750	21,025,250		2.1	9. 3.20	〃	
	11. 3.30	799,000,000	42,401,733	755,703,156	43,296,844		2.1	9. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	12. 3.30	1,970,000,000	101,565,403	1,760,703,768	209,296,232		2.0	10. 3.20	〃	
	12. 3.30	643,000,000	33,150,534	574,686,560	68,313,440		2.0	10. 3.20	〃	臨時特別利率分
	12. 3.30	619,000,000	31,913,190	553,236,362	65,763,638		2.0	10. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	13. 3.29	2,286,000,000	113,091,075	1,935,010,051	350,989,949		1.7	11. 3.20	〃	
	13. 3.29	79,000,000	3,894,163	66,926,105	12,073,895		1.65	11. 3.20	〃	臨時特別利率分
	13. 3.29	455,000,000	22,509,378	385,139,797	69,860,203		1.7	11. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	14. 3.28	1,927,000,000	96,628,599	1,518,632,300	408,367,700		2.2	12. 3.20	〃	
	14. 3.28	511,000,000	25,623,878	402,709,448	108,290,552		2.2	12. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	15. 3.28	824,000,000	38,371,464	625,102,913	198,897,087		1.2	13. 3.20	〃	

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
下水道建設事業	平成 15. 3.28	円 839,000,000	円 39,069,974	円 636,482,213	円 202,517,787		% 1.2	令和 13. 3.20	地方公共団体金融機構	特定環境保全公共下水道分
	16. 3.30	1,005,000,000	47,652,990	699,358,637	305,641,363		1.9	14. 3.20	〃	
	16. 3.30	341,000,000	16,168,825	237,294,821	103,705,179		1.9	14. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	16. 3.30	1,870,000,000	88,667,753	1,301,294,178	568,705,822		1.9	14. 3.20	〃	
	16. 3.30	840,000,000	39,829,365	584,538,562	255,461,438		1.9	14. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	17. 3.30	790,000,000	36,985,211	508,294,272	281,705,728		2.1	15. 3.20	〃	
	17. 3.30	350,000,000	16,385,853	225,193,664	124,806,336		2.1	15. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	18. 3.30	892,000,000	40,812,005	534,544,749	357,455,251		2.0	16. 3.20	〃	
	18. 3.30	183,000,000	8,372,866	109,665,570	73,334,430		2.0	16. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	18. 3.30	561,000,000	25,667,640	336,187,896	224,812,104		2.0	16. 3.20	〃	
	18. 3.30	209,000,000	9,562,454	125,246,474	83,753,526		2.0	16. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	19. 3.29	877,000,000	39,399,074	481,790,058	395,209,942		2.15	17. 3.20	〃	
	19. 3.29	75,000,000	3,369,362	41,202,114	33,797,886		2.15	17. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	19. 3.29	962,000,000	43,217,683	528,485,785	433,514,215		2.15	17. 3.20	〃	
	19. 3.29	138,000,000	6,199,626	75,811,892	62,188,108		2.15	17. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	20. 3.28	1,016,000,000	44,676,260	513,937,436	502,062,564		2.1	18. 3.20	〃	
	20. 3.28	594,000,000	26,119,782	300,471,296	293,528,704		2.1	18. 3.20	〃	
	20. 3.28	23,000,000	1,011,372	11,634,409	11,365,591		2.1	18. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	21. 3.30	1,047,000,000	45,165,575	489,490,408	557,509,592		1.9	19. 3.20	〃	
	21. 3.30	9,000,000	388,243	4,207,654	4,792,346		1.9	19. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	21. 3.30	10,000,000	431,381	4,675,171	5,324,829		1.9	19. 3.20	〃	
	21. 3.30	643,000,000	27,737,788	300,613,497	342,386,503		1.9	19. 3.20	〃	臨時特別利率分
	21. 3.30	54,000,000	2,329,457	25,245,924	28,754,076		1.9	19. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	22. 3.30	2,507,000,000	105,926,940	1,056,927,042	1,450,072,958		2.0	20. 3.20	〃	

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
下水道建設事業	平成 22. 3.30	円 316,000,000	円 13,351,780	円 133,222,557	円 182,777,443		% 2.0	令和 20. 3.20	地方公共団体金融機構	臨時特別利率分
	22. 3.30	22,000,000	929,555	9,274,989	12,725,011		2.0	20. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	22. 3.30	387,000,000	14,679,424	145,775,913	241,224,087		2.1	22. 3.20	〃	
	22. 3.30	180,000,000	6,827,640	67,802,751	112,197,249		2.1	22. 3.20	〃	臨時特別利率分
	22. 3.30	46,000,000	1,744,841	17,327,367	28,672,633		2.1	22. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	23. 3.30	2,187,000,000	81,891,805	753,223,685	1,433,776,315		1.9	23. 3.20	〃	
	23. 3.30	820,000,000	30,704,746	282,415,831	537,584,169		1.9	23. 3.20	〃	臨時特別利率分
	23. 3.30	17,000,000	636,562	5,854,962	11,145,038		1.9	23. 3.20	〃	特定環境保全公共下水道分
	23. 3.30	1,525,000,000	57,103,339	525,224,565	999,775,435		1.9	23. 3.20	〃	臨時特別利率分
	23. 3.30	67,000,000	2,508,802	23,075,440	43,924,560		1.9	23. 3.20	〃	臨時特別利率分 特定環境保全公共下水道分
	24. 3.29	3,096,000,000	114,874,274	967,103,222	2,128,896,778		1.7	24. 3.20	〃	臨時特別利率分
	24. 3.29	13,000,000	482,353	4,060,834	8,939,166		1.7	24. 3.20	〃	臨時特別利率分 特定環境保全公共下水道分
	25. 3.28	925,000,000	34,137,555	259,335,265	665,664,735		1.5	25. 3.20	〃	
	26. 3.27	3,523,000,000	128,950,623	865,991,653	2,657,008,347		1.4	26. 3.20	〃	
	30. 3.29	2,111,000,000	79,455,571	236,945,760	1,874,054,240		0.6	30. 3.20	〃	
	31. 3.28	2,418,000,000	91,490,995	182,526,245	2,235,473,755		0.5	31. 3.20	〃	
	31. 3.28	700,000,000	26,486,227	52,840,517	647,159,483		0.5	31. 3.20	〃	
	令和 2. 3.30	1,531,000,000	59,062,364	59,062,364	1,471,937,636		0.3	32. 3.20	〃	
	2. 5. 7	1,300,000,000	49,544,761	49,544,761	1,250,455,239		0.4	32. 3.20	〃	
	3. 3.30	254,000,000	0	0	254,000,000		0.5	33. 3.20	〃	
	5. 3.30	605,000,000	0	0	605,000,000		1.3	35. 3.20	〃	
	6. 3.28	2,534,000,000	0	0	2,534,000,000		1.4	36. 3.20	〃	
	7. 3.27	334,000,000	0	0	334,000,000		2.1	37. 3.20	〃	
	8. 3.30	3,458,000,000	0	0	3,458,000,000		3.0	38. 3.20	〃	

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
下水道建設事業	令和 8. 3.30	円 92,000,000	円 0	円 0	円 92,000,000		% 3.0	令和 38. 3.20	地方公共団体金融機構	
	小　計	60,418,000,000	2,342,699,678	28,188,111,831	32,229,888,169					
	平成 27. 5.25	円 1,000,000,000	円 1,000,000,000	円 1,000,000,000	円 0	額面100円につき100円	% 0.553	令和 7. 5.23	市場公募	平成7年度債借換分
	27.12.18	1,740,000,000	1,740,000,000	1,740,000,000	0	額面100円につき100円	0.484	7.12.18	〃	平成17年度債借換分
	27.12.18	2,500,000,000	2,500,000,000	2,500,000,000	0	額面100円につき100円	0.484	7.12.18	〃	
	28. 8.25	1,740,000,000	0	0	1,740,000,000	額面100円につき100円	0.06	8. 8.25	〃	平成18年度債借換分
	28.12.16	2,500,000,000	0	0	2,500,000,000	額面100円につき100円	0.165	8.12.16	〃	
	28.12.16	1,000,000,000	100,000,000	900,000,000	100,000,000	額面100円につき100円	0.087	8.12.16	〃	平成8年度債借換分
	29.12.22	2,000,000,000	0	0	2,000,000,000	額面100円につき100円	0.21	9.12.22	〃	
	29.12.22	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000	額面100円につき100円	0.21	9.12.22	〃	平成9年度債借換分
	29.12.22	1,740,000,000	0	0	1,740,000,000	額面100円につき100円	0.21	9.12.22	〃	平成19年度債借換分
	30.12.21	2,000,000,000	0	0	2,000,000,000	額面100円につき100円	0.195	10.12.21	〃	
	30.12.21	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000	額面100円につき100円	0.195	10.12.21	〃	平成10年度債借換分
	30.12.21	2,220,000,000	0	0	2,220,000,000	額面100円につき100円	0.195	10.12.21	〃	平成20年度債借換分
	令和 元.12.24	2,000,000,000	0	0	2,000,000,000	額面100円につき100円	0.11	11.12.24	〃	
	元.12.24	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000	額面100円につき100円	0.11	11.12.24	〃	平成11年度債借換分
	元.12.24	2,220,000,000	0	0	2,220,000,000	額面100円につき100円	0.11	11.12.24	〃	平成21年度債借換分
	2.12.24	2,000,000,000	0	0	2,000,000,000	額面100円につき100円	0.125	12.12.24	〃	
	2.12.24	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000	額面100円につき100円	0.125	12.12.24	〃	平成12年度債借換分
	2.12.24	2,220,000,000	0	0	2,220,000,000	額面100円につき100円	0.125	12.12.24	〃	平成22年度債借換分
	3.10.28	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000	額面100円につき100円	0.145	13.10.28	〃	
	3.12.24	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000	額面100円につき100円	0.125	13.12.24	〃	
	3.12.24	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000	額面100円につき100円	0.125	13.12.24	〃	平成13年度債借換分
	3.12.24	2,220,000,000	0	0	2,220,000,000	額面100円につき100円	0.125	13.12.24	〃	平成23年度債借換分

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
下水道建設事業	令和 4. 9.15	円 800,000,000	円 0	円 0	円 800,000,000	額面100円につき100円	% 0.379	令和 14. 9.15	市場公募	
	4.12.23	1,200,000,000	0	0	1,200,000,000	額面100円につき100円	0.554	14.12.23	〃	
	4.12.23	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000	額面100円につき100円	0.554	14.12.23	〃	平成14年度債借換分
	4.12.23	2,220,000,000	0	0	2,220,000,000	額面100円につき100円	0.554	14.12.23	〃	平成24年度債借換分
	5. 9.22	800,000,000	0	0	800,000,000	額面100円につき100円	0.747	15. 9.22	〃	
	5.12.22	1,200,000,000	0	0	1,200,000,000	額面100円につき100円	0.861	15.12.22	〃	
	5.12.22	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000	額面100円につき100円	0.861	15.12.22	〃	平成15年度債借換分
	5.12.22	2,220,000,000	0	0	2,220,000,000	額面100円につき100円	0.861	15.12.22	〃	平成25年度債借換分
	6. 8.23	200,000,000	0	0	200,000,000	額面100円につき100円	0.933	16. 8.23	〃	
	6.12.20	1,300,000,000	0	0	1,300,000,000	額面100円につき100円	1.187	16.12.20	〃	
	6.12.20	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000	額面100円につき100円	1.187	16.12.20	〃	平成16年度債借換分
	6.12.20	1,850,000,000	0	0	1,850,000,000	額面100円につき100円	1.187	16.12.20	〃	平成26年度債借換分
	7.10.29	200,000,000	0	0	200,000,000	額面100円につき100円	1.772	17.10.29	〃	
	7.12.19	1,300,000,000	0	0	1,300,000,000	額面100円につき100円	2.062	17.12.19	〃	
	7.12.19	1,000,000,000	0	0	1,000,000,000	額面100円につき100円	2.062	17.12.19	〃	平成17年度債借換分
	7.12.19	1,850,000,000	0	0	1,850,000,000	額面100円につき100円	2.062	17.12.19	〃	平成27年度債借換分
	小　計	55,240,000,000	5,340,000,000	6,140,000,000	49,100,000,000					
業	平成 30. 3.27	円 1,189,000,000	円 0	円 0	円 1,189,000,000	証　書	% 0.19	令和 10. 3.27	銀行等引受債引受団等	
	31. 3.27	882,000,000	0	0	882,000,000	証　書	0.156	11. 3.27	〃	
	令和 2. 3.27	1,469,000,000	0	0	1,469,000,000	証　書	0.05	12. 3.27	〃	
	3. 3.26	3,116,000,000	0	0	3,116,000,000	証　書	0.082	13. 3.26	〃	
	4. 3.25	4,115,000,000	0	0	4,115,000,000	証　書	0.188	14. 3.25	〃	
	5. 3.28	1,070,000,000	0	0	1,070,000,000	証　書	0.360	15. 3.28	〃	
	6. 3.28	808,000,000	0	0	808,000,000	証　書	0.570	16. 3.28	〃	

種類	発行年月日	発行総額	償還高		未償還残高	発行価額	利率	償還終期	借入先	備考
			当年度償還高	償還高累計						
下水道建設事業	令和 8. 3.27	円 1,238,000,000	円 0	円 0	円 1,238,000,000	証書	% 1.859	令和 18. 3.27	銀行等引受債引受団等	
	小計	13,887,000,000	0	0	13,887,000,000					
	合計	212,720,500,000	11,004,191,748	82,267,124,192	130,453,375,808					
資本費平準化	平成 27.12.18	円 580,000,000	円 580,000,000	円 580,000,000	円 0	額面100円につき100円	% 0.484	令和 7.12.18	市場公募	平成17年度資本費平準化債借換分
	29.12.22	140,000,000	0	0	140,000,000	額面100円につき100円	0.21	9.12.22	〃	平成19年度資本費平準化債借換分
	29.12.22	140,000,000	0	0	140,000,000	額面100円につき100円	0.21	9.12.22	〃	平成19年度資本費平準化債借換分
	30.12.21	250,000,000	0	0	250,000,000	額面100円につき100円	0.195	10.12.21	〃	平成20年度資本費平準化債借換分
	令和 元.12.24	1,160,000,000	0	0	1,160,000,000	額面100円につき100円	0.11	11.12.24	〃	平成21年度資本費平準化債借換分
	2.12.24	580,000,000	0	0	580,000,000	額面100円につき100円	0.125	12.12.24	〃	平成22年度資本費平準化債借換分
	3.12.24	580,000,000	0	0	580,000,000	額面100円につき100円	0.125	13.12.24	〃	平成23年度資本費平準化債借換分
	4.12.23	90,000,000	0	0	90,000,000	額面100円につき100円	0.554	14.12.23	〃	平成24年度資本費平準化債借換分
	5.12.22	260,000,000	0	0	260,000,000	額面100円につき100円	0.861	15.12.22	〃	平成25年度資本費平準化債借換分
	7.12.19	330,000,000	0	0	330,000,000	額面100円につき100円	2.062	17.12.19	〃	平成17年度資本費平準化債借換分
	小計	4,110,000,000	580,000,000	580,000,000	3,530,000,000					
	合計	4,110,000,000	580,000,000	580,000,000	3,530,000,000					
総合計		216,830,500,000	11,584,191,748	82,847,124,192	133,983,375,808					

北九州市下水道事業報告書

1　概　　況

⑴　総括事項

下水道事業は、快適で安全な生活環境を確保し、公共用水域の水質汚濁を防止する都市の基幹的施設として不可欠のものである。

本市の下水道事業のうち汚水整備は、人口普及率が 99.9% に達し、概ね完了している一方、近年では平成 25 年、29 年、30 年に豪雨による浸水被害が発生しており、出水期に雨水を速やかに排除し浸水を防除する雨水整備や地震時における施設の機能確保など下水道事業が求められる役割は依然として大きい。このため、「北九州市上下水道事業基本計画 2030」（令和 3 ～令和 12 年度）及びその実施計画である「北九州市上下水道事業中期経営計画 2025」（令和 3 ～令和 7 年度）に基づき、激甚化・頻発化する豪雨から市民の生活を守るため、「重点整備地区（16 地区）」を中心に、より一層効果的な雨水整備を進めている。また、ハード整備だけではなく、内水浸水想定区域図の作成や雨水タンク購入に対する助成などのソフト対策も実施するなど、ハードとソフトを組み合わせた浸水被害の軽減・解消を進めている。同時に管渠やポンプ場の耐震化などの地震対策や老朽化対策としての施設の改築・更新を継続的に実施している。あわせて、低炭素社会の実現に寄与するため、汚泥燃料化事業に取り組んでいる。また、技術やノウハウを海外に展開し、海外の技術者を育成する国際技術協力を実施するとともに、地元産業振興を図る観点から、海外水ビジネスの取組みを積極的に進めてきた。

経営面では、下水道使用料の適正な賦課徴収により収入の確保を図るとともに、改築・更新時に併せた高効率機器の導入などによる維持管理コストの削減に努めている。

今後も下水道使用料の減少傾向や物価高に伴う事業費の増加などにより下水道経営を取り巻く環境は厳しい状況が続くが、これまで以上に経営改善に努め、下水道サービスの長期的かつ安定的な提供を目指していく。

ア　業務量

本年度の処理水量は 134,702 千㎥、処理人口は 899,660 人となり、人口普及率は 99.9％である。

水洗化戸数は 490,464 戸で、前年度より 469 戸増加し、水洗化率は 99.6％である。

イ　財政状況

収益的収支では、収入 25,117,036 千円に対し、支出 26,363,773 千円で、1,246,737 千円損失を生ずることとなった。

資本的収支では、収入 13,254,512 千円に対し、支出 23,232,083 千円で、差引き不足額 9,977,571 千円は、損益勘定留保資金などで補てんした。

この結果、単年度資金収支は 301,382 千円のプラスとなり、前年度末に 3,372,490 千円であった資金剰余は 3,673,872 千円となった。

ウ　建設状況

管渠、ポンプ場及び浄化センターの整備のため、8,292,384 千円を執行し、管渠延長及び処理面積は、前年度よりそれぞれ 7㎞、21ha 増加し、4,736㎞、16,683ha になった。

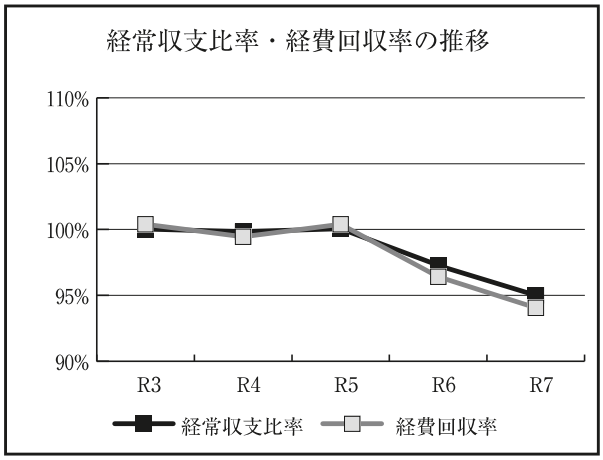
⑵ 経営指標に関する事項

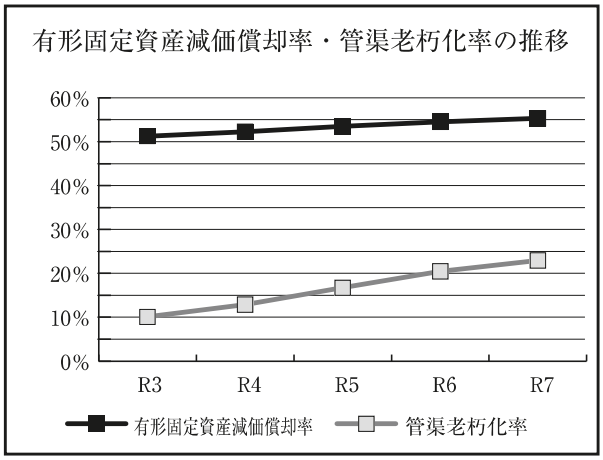
令和７年度決算における経営成績について、経営の健全性を示す経常収支比率は、処理場費の増加に伴う営業費用の増加などにより前年度比 2.28 ポイント減の 94.99％となり、健全経営の水準とされる 100％を下回った。また、料金水準の妥当性を示す経費回収率は、前年度比 2.35 ポイント減の 94.05％となり、事業に必要な費用を下水道使用料収益で賄えている状況とされる 100％を下回ることとなった。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は前年度比 0.80 ポイント増の 55.34％、法定耐用年数を経過した管渠延長の割合を示す管渠老朽化率は前年度比 2.48 ポイント増の 22.93％と施設の老朽化が進んでいる。これは、高度経済成長期以降、集中的に整備した下水道施設の更新時期が到来するためであり、将来の更新需要に備え、現在の経営状況を維持しながら、引き続き計画的な施設更新を行っていく。

〈経営指標の推移〉

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
経常収支比率	100.03%	99.84%	100.05%	97.27%	94.99%
経費回収率	100.39%	99.44%	100.40%	96.40%	94.05%
有形固定資産減価償却率	51.27%	52.29%	53.48%	54.54%	55.34%
管渠老朽化率	10.07%	12.87%	16.71%	20.45%	22.93%





(3) 議会議決事項

議案番号	件　　名	提出年月日	議決年月日
第 111 号	令和 6 年度北九州市下水道事業会計決算について	令和 7. 9. 4	令和 7.10. 2
第 169 号	芦屋町の公共下水道事業に係る事務の受託及び代替執行に関する協議について	7.12. 4	7.12.12
第 26 号	令和 8 年度北九州市下水道事業会計予算について	8. 2.19	8. 3.25
第 63 号	令和 7 年度北九州市下水道事業会計補正予算について	8. 2.19	8. 3.10

（報告事項）令和 6 年度北九州市下水道事業会計予算の繰越し報告について（報告第 10 号）

(4) 行政官庁許認可事項

該当事項なし。

(5) 職員に関する事項

令和 8 年 3 月末日の職員数は 143 人で、その内訳は次のとおりである。

区　　分	職　　種	本 年 度	前 年 度	増　△減
損益勘定支弁職員	事務職	人 19	人 19	人 0
	技術職	83	84	△ 1
	計	102	103	△ 1
資本勘定支弁職員	事務職	3	3	0
	技術職	38	39	△ 1
	計	41	42	△ 1
合　　計		143	145	△ 2

（注）職員数は、無給休職者及び育児休業者を除く。

(6) 料金その他供給条件の設定、変更に関する事項

該当事項なし。

2　工　　事

⑴　建設工事の概況（消費税及び地方消費税を含む。）

※　間接工事費を含む契約金額1億円以上の工事

管渠、ポンプ場、浄化センターの整備のため事業費8,292,384千円を執行した。

主な工事は次のとおりである。

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
日明浄化センター沈砂洗浄機械設備改良工事	日明浄化センターの沈砂洗浄機械設備の改良工事	令和 5. 6.22	令和 7. 9.30
夕原町地内他（皇后崎主要幹線）（その１）管渠築造工事	管渠工（推進）鉄筋コンクリート管 φ 1200mm 内挿管ダクタイル鋳鉄管φ 800mm L=437.3m	6. 3.21	実施中
新門司一丁目地内他（伊川曽根主要幹線）管渠改築工事	管渠工（開削）鋳鉄管φ 500mm L=185.8m 管渠工（推進）鋼管φ 800mm　L=95.4m 硬質塩化ビニル管φ 150mm　L=53.6m	6. 4.25	7. 4.30
京町一丁目地内他管渠改築工事	管渠工（開削）ダクタイル鋳鉄管 φ 600mm　L=277.0m	6. 6.13	7. 8.29
吉志ポンプ場２系沈砂池他機械設備改良工事	沈砂池機械設備の改良工事	6. 7.18	8. 3.16
港町ポンプ場３系汚水沈砂池他機械設備改良工事	汚水沈砂池機械設備の改良工事	6. 7.18	8. 3.17
波打町地内（東二島北湊主要幹線）（その２）管渠更生工事	管更生工　既設管径□ 2986 × 2996mm L=48.2m	6.10.24	7. 7.18
御開三丁目地内（本城北幹線）（その７）管渠更生工事	管更生工　既設管径□ 3990 × 2780mm L=49.8m	6.10.31	7. 5.21
港町ポンプ場他１浄化センター３系汚水沈砂池他電気計装設備改良工事	３系汚水沈砂池電気計装設備、非常用発電電気計装設備他の更新	6.12.26	8. 3.11
皇后崎浄化センター第２処理場１号送風機機械設備新設工事	皇后崎浄化センター第２処理場１号送風機機械設備の新設	6.11.21	実施中
令和６年度北九州市公共下水道払川ポンプ場の建設工事委託	払川ポンプ場の耐震補強工事	6.12. 3	8. 3.26
皇后崎浄化センター第２処理場３系最終沈殿池機械設備改築工事	３系最終沈殿池の機械設備改築工事	6.12.19	実施中
皇后崎浄化センター第２処理場３系曝気槽機械設備改築工事	３系曝気槽機械設備改築工事	6.12.19	実施中
白野江地内（その２）管渠築造工事	管渠工（開削）塩ビ管φ 150mm L=293.0m 管渠工（推進）鉄筋コンクリートφ 250mm L=55.9m	7. 5. 1	8. 3.30
御開三丁目地内（本城北幹線）（その８）管渠更生工事	管更生工　既設管径□ 3590 × 2440mm L=54.8m	7. 7. 3	8. 2.12

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
北九州市公共下水道若松ポンプ場の建設工事委託	土木工事　１式	令和 7. 6.10	令和 実施中
尾倉一丁目地内他管渠更生工事	管更生工　既設管径φ 1000mm　L=101.0m 管更生工　既設管径φ 1100mm　L=23.5m 管更生工　既設管径φ 1200mm　L=103.4m	7. 7.31	8. 2.27
汐井町地内他（その２）管渠更生工事	管更生工　既設管径φ 250mm　L=205.7m 管更生工　既設管径φ 300mm　L=87.6m 管更生工　既設管径φ 600mm　L=143.0m	7. 7.31	8. 3.26
古前桜町主要幹線（その１）管渠築造工事	管渠工（推進）鉄筋コンクリート φ 1350mm　L=1541.1m 管渠工（推進）レジンコンクリート φ 1350mm　L=28.1m	7.12. 4	実施中
令和７年度北九州市公共下水道南小倉ポンプ場の建設工事委託	南小倉ポンプ場の耐震補強工事	7. 7.11	実施中
岡田町地内他（その２）管渠更生工事	管更生工　既設管径φ 450mm　L=33.2m 管更生工　既設管径φ 500mm　L=105.3m 管更生工　既設管径φ 520mm　L=116.5m 管更生工　既設管径φ 600mm　L=197.1m	7. 9.11	8. 3.11
牧山新町地内他（その２）管渠更生工事	管更生工　既設管径φ 1100mm　L=70.3m 管更生工　既設管径φ 1200mm　L=210.0m	7. 9.18	8. 3.26
桜町地内他（東二島北湊主要幹線）管渠更生工事	管更生工　既設管径φ 1800mm L=205.1m	7.10.30	実施中
皇后崎浄化センター第２処理場３系曝気槽他電気計装設備改築工事	３系曝気槽電気計装設備改築工事	7.12.11	実施中

⑵ **改良工事の概況**（消費税及び地方消費税を含む。）

※　間接工事費を含む金額２千万円以上の工事

管渠、ポンプ場、浄化センターの改良のため事業費 3,039,491 千円を執行した。

主な工事は次のとおりである。

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
港町ポンプ場３系汚水沈砂池他機械設備改良工事	港町ポンプ場３系汚水沈砂池他機械設備の改良工事	令和 6. 7.18	令和 8. 3.17
吉志ポンプ場２系沈砂池他機械設備改良工事	吉志ポンプ場２系沈砂池他機械設備の改良工事	6. 7.18	8. 3.16
港町ポンプ場他１浄化センター３系汚水沈砂池他電気計装設備改良工事	港町ポンプ場他１浄化センター３系汚水沈砂池他電気計装設備の改良工事	6.12.26	8. 3.23
吉志ポンプ場他３ポンプ場２系沈砂池他電気計装設備改良工事	吉志ポンプ場他３ポンプ場２系沈砂池他電気計装設備の改良工事	7. 2. 6	8. 3.23
浅野町ポンプ場他４箇所無停電電源装置他電気計装設備改良工事	浅野町ポンプ場他４箇所無停電電源装置他電気計装設備の改良工事	7. 4.17	8. 3.19
曽根浄化センター他３箇所ＵＶ計他電気計装設備改良工事	曽根浄化センター他３箇所ＵＶ計他電気計装設備の改良工事	7. 4.17	8. 3.23
大手町ポンプ場他２ポンプ場消毒機械設備改良工事	大手町ポンプ場他２ポンプ場消毒機械設備の改良工事	7. 7. 3	8. 3.12
藤田ポンプ場２系汚水除塵機機械設備改良工事	藤田ポンプ場２系汚水除塵機機械設備の改良工事	7. 6.19	8. 1.28
則松ポンプ場４号雨水ポンプ減速機整備工事	則松ポンプ場４号雨水ポンプ減速機の整備工事	6. 6. 5	7. 9. 4
楠橋ポンプ場照明設備改修電気工事	楠橋ポンプ場照明設備の改修電気工事	6.10.24	7. 5.22
藤田ポンプ場他２箇所２系汚水除塵機他電気計装設備改良工事	藤田ポンプ場他２箇所２系汚水除塵機他電気計装設備の改良工事	7.10.16	8. 3.13
日明浄化センター沈砂洗浄機械設備改良工事	日明浄化センター沈砂洗浄機械設備の改良工事	5. 6.22	7. 9.22
曽根浄化センター中央監視電気計装設備改良工事	曽根浄化センター中央監視電気計装設備の改良工事	5. 3.23	7. 6. 3
北湊浄化センター曝気沈砂池機械設備改良工事	北湊浄化センター曝気沈砂池機械設備の改良工事	6. 6.20	7. 9.30
北湊浄化センター曝気沈砂池他電気計装設備改良工事	北湊浄化センター曝気沈砂池他電気計装設備の改良工事	6. 9.26	7. 9.29
北湊浄化センター３系汚水沈砂池機械設備改良工事	北湊浄化センター３系汚水沈砂池機械設備の改良工事	7. 4.24	8. 3.11

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
新町浄化センター無停電電源装置他電気計装設備改良工事	新町浄化センター無停電電源装置他電気計装設備の改良工事	令和 7. 4.17	令和 8. 2.27
日明浄化センター濃縮余剰汚泥投入ポンプ機械設備改良工事	日明浄化センター濃縮余剰汚泥投入ポンプ機械設備の改良工事	7. 4.17	8. 3.17
皇后崎浄化センター脱水機棟照明設備改修電気工事	皇后崎浄化センター脱水機棟照明設備の改修電気工事	7. 3.27	7.12.17
皇后崎浄化センター第２処理場３系曝気槽機械設備改築工事	皇后崎浄化センター第２処理場３系曝気槽機械設備の改築工事	6.12.19	実施中
大門二丁目地内管渠更生工事	大門二丁目地内管渠の更生工事	7. 9. 4	8. 2.13
北湊浄化センター４系最初沈殿池機械設備改良工事	北湊浄化センター４系最初沈殿池機械設備の改良工事	8. 2. 5	実施中

⑶　保存工事の概況

ア　ポンプ場補修工事

大手町ポンプ場非常用発電装置電気計装設備定期修繕工事　　ほか 55 件

イ　浄化センター補修工事

皇后崎浄化センター１号遠心脱水機他定期修繕工事　　ほか 87 件

3 業　　務

(1) 業 務 量

事項		本年度	前年度	比較	
				増 △減	増 △減率
流入水量	年間（㎥）	151,632,508	160,470,249	△ 8,837,741	△ 5.5 %
	一日平均（㎥）	415,432	439,645	△ 24,213	△ 5.5
処理水量	年間（㎥）	134,702,130	144,170,865	△ 9,468,735	△ 6.6
	一日平均（㎥）	369,047	394,989	△ 25,942	△ 6.6
管渠延長（m）		4,736,208	4,729,384	6,824	0.1
処理人口普及率（%）		99.9	99.9	0.0	0.0
水洗化状況	水洗化対象戸数（戸）	492,328	491,905	423	0.1
	水洗化戸数（戸）	490,464	489,995	469	0.1
	水洗化率（%）	99.6	99.6	0.0	0.0
	水洗化助成戸数（戸）	3	7	△ 4	△ 57.1

(2) 事業収入に関する事項

区分	本年度	前年度	比較	
			増 △減	増 △減率
	円	円	円	%
収益的収入	25,117,036,437	25,517,410,516	△ 400,374,079	△ 1.57
営業収益	18,765,906,626	19,260,055,999	△ 494,149,373	△ 2.57
営業外収益	6,338,622,476	6,250,199,056	88,423,420	1.41
特別利益	12,507,335	7,155,461	5,351,874	74.79
資本的収入	13,254,512,488	12,312,034,561	942,477,927	7.65
企業債	6,288,000,000	5,528,000,000	760,000,000	13.75
国庫補助金	4,429,756,000	4,161,086,000	268,670,000	6.46
負担金	237,595,318	363,785,001	△ 126,189,683	△ 34.69
寄附金	8,362,370	15,228,960	△ 6,866,590	△ 45.09
貸付金回収金	598,800	534,600	64,200	12.01
基金繰入金	2,290,200,000	2,243,400,000	46,800,000	2.09
計	38,371,548,925	37,829,445,077	542,103,848	1.43

収益的収入の構成比率

区分	本年度		前年度		比較	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増 △減	増 △減率
	円	%	円	%	円	%
下水道使用料	12,957,420,060	51.59	13,075,919,466	51.24	△ 118,499,406	△ 0.91
他会計負担金	5,607,807,153	22.33	5,514,960,900	21.61	92,846,253	1.68
受託事業収益	37,309,335	0.15	470,812,691	1.85	△ 433,503,356	△ 92.08
その他営業収益	171,748,249	0.68	209,350,590	0.82	△ 37,602,341	△ 17.96
その他営業外収益	6,330,244,305	25.20	6,239,211,408	24.45	91,032,897	1.46
特別利益	12,507,335	0.05	7,155,461	0.03	5,351,874	74.79
計	25,117,036,437	100.00	25,517,410,516	100.00	△ 400,374,079	△ 1.57

(3) 事業費に関する事項

区分	本年度	前年度	比較	
			増△減	増△減率
	円	円	円	%
収益的支出	26,363,773,123	26,176,030,827	187,742,296	0.72
営業費用	24,968,997,808	24,763,780,754	205,217,054	0.83
営業外費用	1,386,065,796	1,391,643,036	△ 5,577,240	△ 0.40
特別損失	8,709,519	20,607,037	△ 11,897,518	△ 57.74
資本的支出	22,180,820,554	21,620,271,797	560,548,757	2.59
建設改良費	10,967,001,806	10,329,001,008	638,000,798	6.18
企業債償還金	8,404,191,748	8,567,498,789	△ 163,307,041	△ 1.91
投資	2,809,627,000	2,723,772,000	85,855,000	3.15
計	48,544,593,677	47,796,302,624	748,291,053	1.57

収益的支出の構成比率

区分	本年度		前年度		比較	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増△減	増△減率
	円	%	円	%	円	%
職員給与費	956,170,679	3.63	1,024,060,016	3.91	△ 67,889,337	△ 6.63
管渠費	1,571,644,123	5.96	1,568,570,655	5.99	3,073,468	0.20
ポンプ場費	1,081,604,589	4.10	1,194,684,368	4.56	△ 113,079,779	△ 9.47
処理場費	3,759,414,022	14.26	3,514,333,171	13.43	245,080,851	6.97
水質管理費	25,834,714	0.10	25,882,065	0.10	△ 47,351	△ 0.18
受託事業費	34,328,728	0.13	436,686,777	1.67	△ 402,358,049	△ 92.14
水洗便所普及促進費	76,716,302	0.29	73,279,526	0.28	3,436,776	4.69
水洗便所助成貸付事業費	566,820	0.00	1,034,820	0.00	△ 468,000	△ 45.23
業務費	578,335,471	2.19	574,390,272	2.19	3,945,199	0.69
総係費	146,200,075	0.56	117,588,861	0.45	28,611,214	24.33
減価償却費等	16,738,182,285	63.49	16,233,270,223	62.02	504,912,062	3.11
支払利息及び企業債取扱諸費	1,271,024,377	4.82	1,280,830,381	4.89	△ 9,806,004	△ 0.77
雑支出	115,041,419	0.44	110,812,655	0.42	4,228,764	3.82
特別損失	8,709,519	0.03	20,607,037	0.09	△ 11,897,518	△ 57.74
計	26,363,773,123	100.00	26,176,030,827	100.00	187,742,296	0.72

(4) その他主要な事項

該当事項なし。

4　会　　計

(1)　重要契約の要旨（消費税及び地方消費税を含む。）

本年度における契約金額３億円以上の工事又は製造の請負契約及び契約金額４千万円以上の動産、不動産の取得、処分については、次のとおりである。

契約年月日	契約金額	契　約　内　容	契約の相手方
令和 7. 6.10	円 4,173,000,000	北九州市公共下水道若松ポンプ場の建設工事委託	日本下水道事業団
7. 7.11	675,070,000	令和７年度北九州市公共下水道南小倉ポンプ場の建設工事委託	日本下水道事業団
7.12. 4	3,247,200,000	古前桜町主要幹線（その１）管渠築造工事	飛鳥・九鉄・山田土建共同企業体
7.12.11	649,000,000	皇后崎浄化センター第２処理場３系曝気槽他電気計装設備改築工事	安川オートメーション・ドライブ（株）

(2)　企業債及び一時借入金の概況

ア　企　業　債

借　入　先	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
財政融資資金	円 29,847,800,030	円 0	円 2,000,967,872	円 27,846,832,158
郵便貯金・簡易生命保険管理機構	8,710,179,679	0	1,320,524,198	7,389,655,481
地方公共団体金融機構	31,022,587,847	3,550,000,000	2,342,699,678	32,229,888,169
市　場　公　募	53,870,000,000	4,680,000,000	5,920,000,000	52,630,000,000
銀行等引受債引受団等	12,649,000,000	1,238,000,000	0	13,887,000,000
計	136,099,567,556	9,468,000,000	11,584,191,748	133,983,375,808

イ　一時借入金

前年度末残高	0 円
本年度中における借入残高最高額	0 円
本年度末残高	0 円
（一時借入金限度額	8,000,000,000 円）

(3)　その他会計経理に関する重要事項

ア　受益者負担金の農地分徴収猶予による未回収額は、116,481,013 円である。

5　附 帯 事 項

⑴　**受託事業の概況**（消費税及び地方消費税を含む。）

貫川防潮水門下段ゲート機械設備取替工事等のため、37,726 千円を執行した。

6　そ　の　他

⑴　**決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実**

該当事項なし。

⑵　**他会計負担金等の使途の特定について**

ア　雨水処理負担金 5,518,985,280 円については、

雨水処理経費として、処理場費の委託料等課税仕入れに 1,153,714,464 円（特定収入）、企業債利息等課税仕入れ以外に 4,365,270,816 円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。

イ　その他他会計負担金 80,443,702 円については、

水洗便所改造命令経費等として、委託料等課税仕入れに 30,381,786 円（特定収入）、職員給与費等課税仕入れ以外に 50,061,916 円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。

ウ　他会計負担金 8,378,171 円については、

緊急下水道整備特定事業債利息として、課税仕入れ以外に全額（特定収入以外）を充当した。

エ　雑収益 352,595 円については、

委託料等課税仕入れに 202,098 円（特定収入）、企業債利息等課税仕入れ以外に 150,497 円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。

オ　その他営業収益 18,269,617 円については、

委託料等課税仕入れに 970,140 円（特定収入）、職員給与費等課税仕入れ以外に 17,299,477 円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。

カ　特別利益 2,538,282 円については、

過年度収入（不課税収入）還付等課税仕入れ以外に全額（特定収入以外）を充当した。

キ　国庫補助金 4,429,756,000 円については、

建設に要する経費等として、委託料等課税仕入れに 4,421,589,127 円（特定収入）、職員給与費等課税仕入れ以外に 8,166,873 円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。

ク　受益者負担金 47,867,190 円については、

建設に要する経費等として、委託料等課税仕入れに 24,513,752 円（特定収入）、職員給与費等課税仕入れ以外に 23,353,438 円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。

ケ　工事負担金 82,846,783 円については、

負担金工事に要する経費として、工事請負費等課税仕入れに 82,844,108 円（特定収入）、職員給与費等課税仕入れ以外に 2,675 円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。

コ　他会計負担金 106,881,345 円については、

建設に要する経費等として、工事請負費等課税仕入れに 101,326,321 円（特定収入）、職員給与費等課税仕入れ以外に 5,555,024 円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。

サ　寄附金 8,362,370 円については、

建設に要する経費として、工事請負費等課税仕入れに 4,234,296 円（特定収入）、職員給与費等課税仕入れ以外に 4,128,074 円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。

⑶　その他

該当事項なし。

令　和　7　年　度

北九州市公営競技事業会計決算書
北九州市公営競技事業報告書

北九州市公営競技局

目　　次

北九州市公営競技事業会計決算書
令和７年度北九州市公営競技事業決算報告書…… 1
令和７年度北九州市公営競技事業損益計算書…… 9
令和７年度北九州市公営競技事業剰余金計算書…… 11
令和７年度北九州市公営競技事業剰余金処分計算書（案）…… 12
令和７年度北九州市公営競技事業貸借対照表…… 13
附属明細書
令和７年度北九州市公営競技事業キャッシュ・フロー計算書…… 21
収益費用明細書…… 23
固定資産明細書…… 27
企業債明細書…… 31
北九州市公営競技事業報告書
１　概　況…… 33
⑴　総括事項…… 33
⑵　経営指標…… 34
⑶　議会議決事項…… 35
⑷　行政官庁許認可事項…… 35
⑸　職員に関する事項…… 35
⑹　料金その他供給条件の設定、変更に関する事項…… 35
２　工　事…… 36
⑴　建設改良工事の概況…… 36
⑵　保存工事の概況…… 36
３　業　務…… 37
⑴　業務量…… 37
⑵　事業収入に関する事項…… 38
⑶　事業費に関する事項…… 40
⑷　その他主要な事項…… 41
４　会　計…… 42
⑴　重要契約の要旨…… 42
⑵　企業債及び一時借入金の概況…… 43
⑶　その他会計経理に関する重要事項…… 43
５　附帯事項…… 44
６　その他…… 44
⑴　決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実…… 44
⑵　発売金収入等の使途について…… 44
⑶　その他…… 44

北九州市公営競技事業会計決算書

令 和 7 年 度 北 九 州 市

【 競 輪 事 業 】

（1）収益的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算		
	当　初 予　算　額	補　正 予　算　額	地方公営企業法第24条第３項の規定による支出額に係る財源充当額
	円	円	円
第１款　競輪事業収益	56,163,665,000	0	0
第１項　営業収益	55,838,396,000	0	0
第２項　営業外収益	272,766,000	0	0
第３項　特別利益	52,503,000	0	0

支　　出

区　　分	予　　算				
	当　初 予　算　額	補　正 予　算　額	流　用 増減額	地方公営企業法第24条第３項の規定による支　出　額	小　　計
	円	円	円	円	円
第１款　競輪事業費	54,787,109,000	0	0	0	54,787,109,000
第１項　営業費用	54,728,193,000	0	0	0	54,728,193,000
第２項　営業外費用	57,906,000	0	0	0	57,906,000
第３項　特別損失	1,010,000	0	0	0	1,010,000

公 営 競 技 事 業 決 算 報 告 書

額 合計	決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
円	円	円	
56,163,665,000	54,699,806,270	△ 1,463,858,730	
55,838,396,000	54,446,649,183	△ 1,391,746,817	(うち、仮受消費税及び地方消費税 52,085,448円)
272,766,000	238,294,030	△ 34,471,970	(〃 21,324,124円)
52,503,000	14,863,057	△ 37,639,943	

額 地方公営企業法第26条第２項の規定による繰越額	額 合計	決算額	地方公営企業法第26条第２項の規定による繰越額	不用額	備考
円	円	円	円	円	
0	54,787,109,000	52,786,346,673	0	2,000,762,327	
0	54,728,193,000	52,761,699,908	0	1,966,493,092	(うち、仮払消費税及び地方消費税 886,188,663円)
0	57,906,000	24,646,765	0	33,259,235	(〃 2,998円)
0	1,010,000	0	0	1,010,000	

(2) 資本的収入及び支出

収　入

区分	予算			
	当初予算額	補正予算額	小計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	円	円	円	円
第1款　競輪事業資本的収入	135,605,000	0	135,605,000	0
第1項　出資金	80,000,000	0	80,000,000	0
第2項　固定資産売却代金	55,605,000	0	55,605,000	0

支　出

区分	予算					
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	小計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額
	円	円	円	円	円	円
第1款　競輪事業資本的支出	388,981,000	0	0	388,981,000	22,302,000	0
第1項　建設改良費	204,181,000	0	0	204,181,000	22,302,000	0
第2項　企業債償還金	75,000,000	0	0	75,000,000	0	0
第3項　投資	109,800,000	0	0	109,800,000	0	0

額		決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
継続費逓次繰越額に係る財源充当額	合計			
円	円	円	円	
0	135,605,000	43,428	△ 135,561,572	
0	80,000,000	0	△ 80,000,000	
0	55,605,000	43,428	△ 55,561,572	（うち､仮受消費税及び地方消費税 3,948円）

額	決算額	翌年度繰越額			不用額	備考
合計		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合計		
円	円	円	円	円	円	
411,283,000	284,538,136	0	0	0	126,744,864	
226,483,000	99,738,136	0	0	0	126,744,864	（うち､仮払消費税及び地方消費税 9,067,102円）
75,000,000	75,000,000	0	0	0	0	
109,800,000	109,800,000	0	0	0	0	

【モーターボート競走事業】

(1) 収益的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算		
	当　初 予　算　額	補　正 予　算　額	地方公営企業法第24条第３項の規定による支出額に係る財源充当額
	円	円	円
第２款　モーターボート競走事業収益	143,530,112,000	15,000,000,000	0
第１項　営　業　収　益	143,472,490,000	15,000,000,000	0
第２項　営　業　外　収　益	57,612,000	0	0
第３項　特　別　利　益	10,000	0	0

支　　出

区　　分	予　　算				
	当　初 予　算　額	補　正 予　算　額	流　用 増減額	地方公営企業法第24条３項の規定による支　出　額	小　　計
	円	円	円	円	円
第２款　モーターボート競走事業費	135,157,016,000	13,769,000,000	0	0	148,926,016,000
第１項　営　業　費　用	134,975,024,000	13,769,000,000	0	0	148,744,024,000
第２項　営　業　外　費　用	180,982,000	0	0	0	180,982,000
第３項　特　別　損　失	1,010,000	0	0	0	1,010,000

額	決　算　額	予算額に比べ決算額の増減	備　　考
合　　計			
円	円	円	
158,530,112,000	155,692,880,358	△ 2,837,231,642	
158,472,490,000	155,534,727,860	△ 2,937,762,140	(うち、仮受消費税及び地方消費税 140,403,602円)
57,612,000	158,152,498	100,540,498	(　〃　1,201,216円)
10,000	0	△ 10,000	

額		決　算　額	地方公営企業法第26条第２項の規定による繰　越　額	不　用　額	備　　考
地方公営企業法第26条第２項の規定による繰　越　額	合　　計				
円	円	円	円	円	
0	148,926,016,000	141,691,168,792	0	7,234,847,208	
0	148,744,024,000	141,578,042,667	0	7,165,981,333	(うち、仮払消費税及び地方消費税 1,441,153,455円)
0	180,982,000	113,126,125	0	67,855,875	(　〃　2,539円)
0	1,010,000	0	0	1,010,000	

（2）資本的収入及び支出

収　　入

区　　分	予　　算			
	当　初 予　算　額	補　正 予　算　額	小　　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額
	円	円	円	円
第２款　モーターボート競走事業資本的収入	863,055,000	0	863,055,000	0
第１項　固定資産売却代金	55,000	0	55,000	0
第２項　基　金　繰　入　金	863,000,000	0	863,000,000	0

支　　出

区　　分	予　　算					
	当　初 予　算　額	補　正 予　算　額	流用増減額	小　　計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額
	円	円	円	円	円	円
第２款　モーターボート競走事業資本的支出	33,385,664,000	0	0	33,385,664,000	427,595,000	0
第１項　建　設　改　良　費	3,363,217,000	0	0	3,363,217,000	427,595,000	0
第２項　企　業　債　償　還　金	908,000,000	0	0	908,000,000	0	0
第３項　投　　資	4,114,447,000	0	0	4,114,447,000	0	0
第４項　繰　　出　　金	25,000,000,000	0	0	25,000,000,000	0	0

【公営競技事業会計　合計】　資本的収入額783,098,667円が、資本的支出額32,362,393,452円に対し不足する額31,579,294,785円192,750,732円、減債積立金75,000,000円、建設改良積立金1,890,484,052円及び過年度分損益勘定留保資金等4,421,060,001円で補

額		決算額	予算額に比べ決算額の増減	備考
継続費逓次繰越額に係る財源充当額	合計			
円	円	円	円	
0	863,055,000	783,055,239	△ 79,999,761	
0	55,000	55,239	239	(うち、仮受消費税及び地方消費税 5,021円)
0	863,000,000	783,000,000	△ 80,000,000	

額	決算額	翌年度繰越額			不用額	備考
合計		地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費逓次繰越額	合計		
円	円	円	円	円	円	
33,813,259,000	32,077,855,316	642,095,500	0	642,095,500	1,093,308,184	
3,790,812,000	2,137,192,471	642,095,500	0	642,095,500	1,011,524,029	(うち、仮払消費税及び地方消費税 183,692,599円)
908,000,000	908,000,000	0	0	0	0	
4,114,447,000	4,032,662,845	0	0	0	81,784,155	
25,000,000,000	25,000,000,000	0	0	0	0	

は、繰越利益剰余金処分額20,000,000,000円、当年度利益剰余金処分額5,000,000,000円、当年度分消費税資本的収支調整額てんするものとする。

令和７年度北九州市公営競技事業損益計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

（単位：円）

【 競 輪 事 業 】

1 営業収益			
(1) 車券発売収益	53,839,137,700		
(2) 場間場外発売事務受託収益	333,129,675		
(3) その他営業収益	222,296,360	54,394,563,735	
2 営業費用			
(1) 開催費	50,876,610,145		
(2) 場間場外発売事務受託費	379,069,562		
(3) 総係費	114,115,386		
(4) 減価償却費	505,681,777		
(5) 資産減耗費	34,375	51,875,511,245	
営業利益			2,519,052,490
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	2,121,000		
(2) 長期前受金戻入	1,025,837		
(3) 雑収益	213,823,069	216,969,906	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	1,242,167		
(2) 雑支出	845,246,843	846,489,010	△ 629,519,104
経常利益			1,889,533,386
5 特別利益			
(1) その他特別利益	14,863,057	14,863,057	14,863,057
当年度純利益			1,904,396,443
前年度繰越利益剰余金			0
その他未処分利益剰余金変動額			75,000,000
当年度未処分利益剰余金			1,979,396,443

【モーターボート競走事業】

1 営業収益			
(1) 舟券発売収益	152,416,391,700		
(2) 場間場外発売事務受託収益	1,473,639,916		
(3) その他営業収益	1,504,292,642	155,394,324,258	
2 営業費用			
(1) 開催費	137,887,891,516		
(2) 場間場外発売事務受託費	281,522,369		
(3) 総係費	1,139,537,657		
(4) 減価償却費	743,199,645		
(5) 資産減耗費	84,738,025	140,136,889,212	
営業利益			15,257,435,046
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	48,669,078		
(2) 長期前受金戻入	24,198,050		
(3) 雑収益	84,084,154	156,951,282	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	20,986,840		
(2) 雑支出	1,575,375,500	1,596,362,340	△ 1,439,411,058
経常利益			13,818,023,988
当年度純利益			13,818,023,988
前年度繰越利益剰余金			20,500,000,000
その他未処分利益剰余金変動額			1,890,484,052
当年度未処分利益剰余金			36,208,508,040

令和７年度北九州市公営競技事業剰余金計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

【 競 輪 事 業 】

（単位：円）

	資本金	剰余金				資本合計
		利益剰余金				
		減債積立金	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
前年度末残高	10,124,753,295	0	5,988,428,509	2,231,709,601	8,220,138,110	18,344,891,405
前年度処分額	500,000,000	800,000,000	931,709,601	△ 2,231,709,601	△ 500,000,000	0
議会の議決による処分額	500,000,000	800,000,000	931,709,601	△ 2,231,709,601	△ 500,000,000	0
減債積立金の積立	0	800,000,000	0	△ 800,000,000	0	0
建設改良積立金の積立	0	0	931,709,601	△ 931,709,601	0	0
資本金への組入	500,000,000	0	0	△ 500,000,000	△ 500,000,000	0
処分後残高	10,624,753,295	800,000,000	6,920,138,110	(繰越利益剰余金) 0	7,720,138,110	18,344,891,405
当年度変動額	0	△ 75,000,000	0	1,979,396,443	1,904,396,443	1,904,396,443
減債積立金の取崩	0	△ 75,000,000	0	75,000,000	0	0
当年度純利益	0	0	0	1,904,396,443	1,904,396,443	1,904,396,443
当年度末残高	10,624,753,295	725,000,000	6,920,138,110	(当年度未処分利益剰余金) 1,979,396,443	9,624,534,553	20,249,287,848

【モーターボート競走事業】

（単位：円）

	資本金	剰余金				資本合計
		利益剰余金				
		減債積立金	建設改良積立金	未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
前年度末残高	24,236,326,637	0	16,940,665,888	28,606,229,258	45,546,895,146	69,783,221,783
前年度処分額	0	0	3,106,229,258	△ 8,106,229,258	△ 5,000,000,000	△ 5,000,000,000
議会の議決による処分額	0	0	3,106,229,258	△ 8,106,229,258	△ 5,000,000,000	△ 5,000,000,000
一般会計繰出金	0	0	0	△ 5,000,000,000	△ 5,000,000,000	△ 5,000,000,000
建設改良積立金の積立	0	0	3,106,229,258	△ 3,106,229,258	0	0
処分後残高	24,236,326,637	0	20,046,895,146	(繰越利益剰余金) 20,500,000,000	40,546,895,146	64,783,221,783
当年度変動額	0	0	△ 1,890,484,052	15,708,508,040	13,818,023,988	13,818,023,988
建設改良積立金の取崩	0	0	△ 1,890,484,052	1,890,484,052	0	0
当年度純利益	0	0	0	13,818,023,988	13,818,023,988	13,818,023,988
当年度末残高	24,236,326,637	0	18,156,411,094	(当年度未処分利益剰余金) 36,208,508,040	54,364,919,134	78,601,245,771

令和７年度北九州市公営競技事業剰余金処分計算書（案）

【 競 輪 事 業 】

（単位：円）

	資　本　金	未処分利益剰余金
当年度末残高	10,624,753,295	1,979,396,443
議会の議決による処分額	75,000,000	△ 1,979,396,443
減債積立金の積立	0	△ 521,200,000
建設改良積立金の積立	0	△ 1,383,196,443
資本金への組入	75,000,000	△ 75,000,000
処分後残高	10,699,753,295	（繰越利益剰余金） 0

（単位：円）

【モーターボート競走事業】

	資　本　金	未処分利益剰余金
当年度末残高	24,236,326,637	36,208,508,040
議会の議決による処分額	1,890,484,052	△ 31,208,508,040
一般会計繰出金	0	△ 25,000,000,000
建設改良積立金の積立	0	△ 4,318,023,988
資本金への組入	1,890,484,052	△ 1,890,484,052
処分後残高	26,126,810,689	（繰越利益剰余金） 5,000,000,000

令和７年度北九州市公営競技事業貸借対照表

（令和８年３月31日）

（単位：円）

【 競 輪 事 業 】

資　産　の　部

1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ 土地		703,952,368	
ロ 立木		16,643,747	
ハ 建物	13,389,623,522		
減価償却累計額	△ 3,222,258,331	10,167,365,191	
ニ 構築物	586,360,664		
減価償却累計額	△ 117,734,706	468,625,958	
ホ 機械及び装置	190,095,919		
減価償却累計額	△ 68,065,124	122,030,795	
ヘ 車両運搬具		125,176	
ト 工具器具及び備品	135,388,613		
減価償却累計額	△ 91,255,812	44,132,801	
チ 建設仮勘定		10,730,993	
有形固定資産合計			11,533,607,029
(2) 無形固定資産			
イ 商標権		48,840	
無形固定資産合計			48,840
(3) 投資その他の資産			
イ 基金		658,800,000	
投資その他の資産合計			658,800,000
固定資産合計			12,192,455,869
2 流動資産			
(1) 現金預金			
イ 現金		30,220,000	
ロ その他預金		10,926,455,410	10,956,675,410
(2) 未収金			
イ 営業未収金		684,941,889	
ロ 営業外未収金		199,005,942	
ハ その他未収金		33,547,160	
貸倒引当金		△ 608	917,494,383

(3) 貯　蔵　品			
イ　その他貯蔵品	91,500	91,500	
流動資産合計			11,874,261,293
資　産　合　計			24,066,717,162

負　債　の　部

3　固定負債			
(1) 引　当　金			
イ　退職給付引当金	70,250,128	70,250,128	
固定負債合計			70,250,128
4　流動負債			
(1) 企　業　債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,615,000,000		
ロ　その他の企業債	290,000,000	1,905,000,000	
(2) 未　払　金			
イ　営業未払金	1,224,558,212		
ロ　営業外未払金	1,799,800		
ハ　建設改良未払金	42,453,036		
ニ　その他未払金	23,852,969	1,292,664,017	
(3) 前　受　金			
イ　営業前受金	1,233,890	1,233,890	
(4) 引　当　金			
イ　賞与引当金	8,085,920	8,085,920	
(5) 預　り　金			
イ　預り保証金	500,165,120	500,165,120	
流動負債合計			3,707,148,947
5　繰延収益			
長期前受金		43,107,750	
収益化累計額		△　3,077,511	
繰延収益合計			40,030,239
負　債　合　計			3,817,429,314

資　本　の　部

6 資本金			10,624,753,295
7 剰余金			
(1) 利益剰余金			
イ 減債積立金	725,000,000		
ロ 建設改良積立金	6,920,138,110		
ハ 当年度未処分利益剰余金	1,979,396,443		
利益剰余金合計		9,624,534,553	
剰余金合計			9,624,534,553
資本合計			20,249,287,848
負債資本合計			24,066,717,162

【モーターボート競走事業】

資　産　の　部

1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
イ 土地		1,752,799,899	
ロ 立木		10,332,199	
ハ 建物	10,401,631,815		
減価償却累計額	△ 2,764,190,123	7,637,441,692	
ニ 構築物	2,816,010,261		
減価償却累計額	△ 235,949,881	2,580,060,380	
ホ 機械及び装置	2,680,286,691		
減価償却累計額	△ 1,336,687,597	1,343,599,094	
ヘ 船舶	997,300		
減価償却累計額	△ 441,750	555,550	
ト 工具器具及び備品	499,313,692		
減価償却累計額	△ 240,670,679	258,643,013	
チ リース資産	1,083,557,603		
減価償却累計額	△ 713,686,610	369,870,993	
リ 建設仮勘定		411,062,128	
有形固定資産合計			14,364,364,948
(2) 無形固定資産			
イ 商標権		42,120	
ロ その他無形固定資産		23,680,000	
無形固定資産合計			23,722,120

⑶ 投資その他の資産			
イ 基金	4,719,440,089		
ロ 出資金	7,330,400,000		
ハ 投資有価証券	4,000,000,000		
投資その他の資産合計		16,049,840,089	
固定資産合計			30,437,927,157
2 流動資産			
⑴ 現金預金			
イ 現金	161,011,000		
ロ その他預金	26,967,289,741	27,128,300,741	
⑵ 未収金			
イ 営業未収金	478,779,923		
ロ 営業外未収金	12,068,537		
ハ その他未収金	198,807,523		
貸倒引当金	△ 3,059,583	686,596,400	
⑶ 貯蔵品			
イ その他貯蔵品	692,500	692,500	
⑷ 繰出金			
イ 一般会計繰出金	25,000,000,000	25,000,000,000	
流動資産合計			52,815,589,641
資産合計			83,253,516,798

負　債　の　部

3　固定負債			
(1)　リース債務		217,764,946	
(2)　引当金			
イ　退職給付引当金	335,999,334	335,999,334	
固定負債合計			553,764,280
4　流動負債			
(1)　企業債			
イ　建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,000,000	38,000,000	
(2)　リース債務		100,825,972	
(3)　未払金			
イ　営業未払金	2,994,822,550		
ロ　営業外未払金	14,457,566		
ハ　建設改良未払金	301,849,566		
ニ　その他未払金	116,639,943	3,427,769,625	
(4)　前受金			
イ　営業前受金	9,157,234	9,157,234	
(5)　引当金			
イ　賞与引当金	30,530,530	30,530,530	
(6)　預り金			
イ　預り保証金	5,412,500		
ロ　受託事業預り金	14,089,520		
ハ　その他預り金	1,596,926	21,098,946	
流動負債合計			3,627,382,307
5　繰延収益			
長期前受金		535,753,352	
収益化累計額		△　64,628,912	
繰延収益合計			471,124,440
負債合計			4,652,271,027

資　本　の　部

6 資　本　金			24,236,326,637
7 剰　余　金			
(1) 利益剰余金			
イ 建設改良積立金	18,156,411,094		
ロ 当年度未処分利益剰余金	36,208,508,040		
利益剰余金合計		54,364,919,134	
剰余金合計			54,364,919,134
資本合計			78,601,245,771
負債資本合計			83,253,516,798

注　記

Ⅰ　重要な会計方針に関する注記

1　資産の評価基準及び評価方法

(1) 満期保有目的債券　　償却原価法（定額法）によっている。

(2) 貯蔵品　　先入先出法による原価法によっている。

2　固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

・減価償却の方法　　定額法による。

・主な耐用年数

建物	６～50年
構築物	10～60年
機械及び装置	６～17年
車両運搬具	４～７年
船舶	４年
工具器具及び備品	３～20年

(2) 無形固定資産

・減価償却の方法　　定額法による。

・主な耐用年数

商標権	10年
その他無形固定資産	５年

(3) リース資産

・所有権移転ファイナンス・リース取引に係る資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

3　引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度の退職手当の期末要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当及びこれに係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から３月までの４か月分）を計上している。

(3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

4　消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

Ⅱ　キャッシュ・フロー計算書に関する注記

該当なし。

Ⅲ　貸借対照表に関する注記

賞与引当金には、法定福利費引当金6,410,146円が含まれている。

Ⅳ　セグメント情報に関する注記

報告セグメントの決定方法

公営競技事業会計は、競輪事業及びモーターボート競走事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、競輪事業及びモーターボート競走事業の２つを報告セグメントとしている。

なお、各報告セグメントに属する事業の内容は以下のとおりである。

事業区分	事業の内容
競輪事業	自転車競走による収益事業
モーターボート競走事業	モーターボート競走による収益事業

Ⅴ　減損損失に関する注記

該当なし。

Ⅵ　リース契約により使用する固定資産に関する注記

リース取引の処理方法

リース料総額が300万円超のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

リース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている。

Ⅶ　重要な後発事象に関する注記

該当なし。

Ⅷ　その他の注記

１　退職給付引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、退職手当として53,877,456円を支給するため、退職給付引当金53,877,456円を取り崩した。

２　賞与引当金の目的使用による取り崩し

当年度において、期末・勤勉手当及びこれに係る法定福利費として87,122,228円を支給するため、賞与引当金39,078,598円を取り崩した。

附　属　明　細　書

令和７年度北九州市公営競技事業キャッシュ・フロー計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

（単位：円）

【 競 輪 事 業 】

１　業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益（△は純損失）	1,904,396,443
減価償却費	505,681,777
固定資産除却損	34,375
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△ 20,057,667
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,741,780
長期前受金戻入額	△ 1,025,837
受取利息及び受取配当金	△ 2,121,000
支払利息及び企業債取扱諸費	1,242,167
未収金の増減額（△は増加）	207,690,079
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 64,000
未払金の増減額（△は減少）	△ 53,886,393
その他流動負債の増減額（△は減少）	697,020
小計	2,544,328,744
利息及び配当金の受取額	2,121,000
利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 1,242,167
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,545,207,577
２　投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 173,488,881
有形固定資産の売却による収入	39,480
基金の積立による支出	△ 109,800,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 283,249,401
３　財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 75,000,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 75,000,000
資金増加額（又は減少額）	2,186,958,176
資金期首残高	8,769,717,234
資金期末残高	10,956,675,410

【モーターボート競走事業】

1　業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益（△は純損失）	13,818,023,988
減価償却費	743,199,645
固定資産除却損	82,815,025
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△ 71,616,009
賞与引当金の増減額（△は減少）	△ 2,203,928
長期前受金戻入額	△ 24,198,050
受取利息及び受取配当金	△ 48,669,078
支払利息及び企業債取扱諸費	20,986,840
未収金の増減額（△は増加）	4,187,728,194
たな卸資産の増減額（△は増加）	284,500
その他流動資産の増減額（△は増加）	△ 46,800
未払金の増減額（△は減少）	△ 573,272,627
その他流動負債の増減額（△は減少）	6,591,517
小計	18,139,623,217
利息及び配当金の受取額	48,669,078
利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 21,416,566
業務活動によるキャッシュ・フロー	**18,166,875,729**

2　投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 1,774,807,299
有形固定資産の売却による収入	50,218
基金の積立による支出	△ 32,662,845
基金の取崩による収入	783,000,000
投資有価証券の取得による支出	△ 4,000,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△ 5,024,419,926**

3　財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 908,000,000
リース債務返済による支出	△ 116,573,792
一般会計への繰出しによる支出	△ 25,000,000,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	**△ 26,024,573,792**

資金増加額（又は減少額）	**△ 12,882,117,989**
資金期首残高	40,010,418,730
資金期末残高	27,128,300,741

収　益　費　用　明　細　書

【　競　輪　事　業　】

款	項	目	節	金　　額	備　考
1 競輪事業収益				円 54,626,396,698	
	1 営 業 収 益			54,394,563,735	
		1 車券発売収益		53,839,137,700	
			車 券 発 売 金	53,839,137,700	
		2 場間場外発売事務受託収益		333,129,675	
			場間場外発売事務受託収益	333,129,675	
		3 その他営業収益		222,296,360	
			入　場　料	5,668,278	
			時 効 金 収 入	24,767,600	
			他施行者競走場貸付等収益	181,750,071	
			雑　収　益	10,110,411	
	2 営業外収益			216,969,906	
		1 受取利息及び配当金		2,121,000	
			受 取 利 息	2,121,000	
		2 長期前受金戻入		1,025,837	
			その他長期前受金	1,025,837	
		3 雑　収　益		213,823,069	
			貸　付　料	206,371,965	
			雑　収　益	7,450,418	
			貸倒引当金戻入益	686	
	3 特 別 利 益			14,863,057	
		1 その他特別利益		14,863,057	
			その他特別利益	14,863,057	
収益合計				54,626,396,698	
1 競輪事業費				52,722,000,255	
	1 営 業 費 用			51,875,511,245	
		1 開　催　費		50,876,610,145	
			開 催 人 件 費	23,073,213	
			選　手　費	1,297,796,497	
			販 売 促 進 費	3,150,000	
			委　託　費	6,327,867,021	
			施設・設備使用料	29,705,004	
			雑　費	3,705,000	
			払戻金及び返還金	40,254,576,860	
			法定交納付金	1,513,976,798	
			分　担　金	529,414,742	
			場 外 発 売 費	893,345,010	

款	項	目	節	金　　額	備　考
		2 場間場外発売事務受託費		円 379,069,562	
			開催人件費	4,894,250	
			委託費	374,175,312	
		3 総係費		114,115,386	
			職員人件費	73,979,111	
			退職給付費	2,653,232	
			厚生費	150,280	
			旅費	7,160,367	
			需用費	541,988	
			施設・設備費	12,400	
			役務費	1,721,527	
			委託費	24,630,283	
			使用料及び賃借料	828,514	
			その他総係費	2,437,684	
		4 減価償却費		505,681,777	
			有形固定資産減価償却費	505,673,637	
			無形固定資産減価償却費	8,140	
		5 資産減耗費		34,375	
			固定資産除却費	34,375	
	2 営業外費用			846,489,010	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費		1,242,167	
			企業債利息	1,212,187	
			企業債手数料	29,980	
		2 雑支出		845,246,843	
			雑支出	845,246,843	
費用合計				52,722,000,255	

【モーターボート競走事業】

款	項	目	節	金額	備考
2 モーターボート競走事業収益				円 155,551,275,540	
	1 営業収益			155,394,324,258	
		1 舟券発売収益		152,416,391,700	
			舟券発売金	152,416,391,700	
		2 場間場外発売事務受託収益		1,473,639,916	
			場間場外発売事務受託収益	1,473,639,916	
		3 その他営業収益		1,504,292,642	
			入場料	56,257,203	
			時効金収入	70,231,180	
			他施行者競走場貸付等収益	1,375,607,799	
			雑収益	2,196,460	
	2 営業外収益			156,951,282	
		1 受取利息及び配当金		48,669,078	
			受取利息	48,669,078	
		2 長期前受金戻入		24,198,050	
			受贈財産評価額	24,161,859	
			国庫補助金	36,191	
		3 雑収益		84,084,154	
			貸付料	5,204,436	
			雑収益	38,023,801	
			退職給付引当金戻入益	40,449,452	
			貸倒引当金戻入益	406,465	
収益合計				155,551,275,540	
2 モーターボート競走事業費				141,733,251,552	
	1 営業費用			140,136,889,212	
		1 開催費		137,887,891,516	
			開催人件費	327,920,085	
			選手費	1,691,778,352	
			販売促進費	1,328,030,088	
			需用費	240,814,751	
			食糧費	4,042,351	
			委託費	4,840,375,693	
			施設・設備使用料	3,380,022,231	
			雑費	5,586,160	
			払戻金及び返還金	114,238,393,700	
			法定交納付金	7,811,061,618	
			分担金	498,148,737	

款	項	目	節	金　　額	備　考
				円	
			舟　艇　費	170,559,552	
			場外発売費	3,351,158,198	
		2 場間場外発売事務受託費		281,522,369	
			販売促進費	11,906,400	
			委　託　費	100,562,350	
			施設・設備使用料	160,258,046	
			分　担　金	8,795,573	
		3 総　係　費		1,139,537,657	
			職員人件費	318,702,449	
			厚　生　費	1,718,680	
			旅　　費	10,872,504	
			交　際　費	20,000	
			需　用　費	27,667,667	
			食　糧　費	2,960	
			施設・設備費	46,047,450	
			役　務　費	11,302,727	
			委　託　費	695,287,705	
			使用料及び賃借料	13,255,411	
			その他総係費	14,660,104	
		4 減価償却費		743,199,645	
			有形固定資産減価償却費	614,187,320	
			無形固定資産減価償却費	5,924,680	
			有形リース資産減価償却費	123,087,645	
		5 資産減耗費		84,738,025	
			固定資産除却費	84,738,025	
	2 営業外費用			1,596,362,340	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費		20,986,840	
			企業債利息	4,268,655	
			企業債手数料	20,860	
			リース債務支払利息	16,697,325	
		2 雑　支　出		1,575,375,500	
			雑　支　出	1,575,375,500	
費用合計				141,733,251,552	

【 競 輪 事 業 】

⑴ 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
	円	円	円	円
土地	703,952,368	0	0	703,952,368
立木	16,643,747	0	0	16,643,747
建物	13,294,498,093	95,125,429	0	13,389,623,522
構築物	586,360,664	0	0	586,360,664
機械及び装置	190,095,919	0	0	190,095,919
車両運搬具	164,656	0	39,480	125,176
工具器具及び備品	124,952,113	11,124,000	687,500	135,388,613
小計	14,916,667,560	106,249,429	726,980	15,022,190,009
建設仮勘定	20,215,388	7,511,132	16,995,527	10,730,993
合計	14,936,882,948	113,760,561	17,722,507	15,032,921,002

⑵ 無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	当年度減価償却高
	円	円	円	円
商標権	56,980	0	0	8,140
合計	56,980	0	0	8,140

⑶ 投資その他の資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
	円	円	円	円
基金	549,000,000	109,800,000	0	658,800,000
合計	549,000,000	109,800,000	0	658,800,000

明　細　書

減価償却累計額			年度末償却未済高	備　考
当年度増加額	当年度減少額	累　計		
円 －	円 －	円 －	円 703,952,368	
－	－	－	16,643,747	
479,390,304	0	3,222,258,331	10,167,365,191	
14,977,611	0	117,734,706	468,625,958	
7,082,980	0	68,065,124	122,030,795	
0	0	0	125,176	
4,222,742	653,125	91,255,812	44,132,801	
505,673,637	653,125	3,499,313,973	11,522,876,036	
－	－	－	10,730,993	
505,673,637	653,125	3,499,313,973	11,533,607,029	

年度末現在高	備　考
円 48,840	
48,840	

備　考
北九州市公債償還基金

【モーターボート競走事業】

⑴ 有形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
	円	円	円	円
土地	1,752,799,899	0	0	1,752,799,899
立木	10,332,199	0	0	10,332,199
建物	10,264,660,652	151,580,747	14,609,584	10,401,631,815
構築物	979,094,726	1,836,915,535	0	2,816,010,261
機械及び装置	2,842,913,566	84,400,000	247,026,875	2,680,286,691
車両運搬具	50,218	0	50,218	0
船舶	997,300	0	0	997,300
工具器具及び備品	428,512,630	122,094,206	51,293,144	499,313,692
リース資産	1,083,557,603	0	0	1,083,557,603
小計	17,362,918,793	2,194,990,488	312,979,821	19,244,929,460
建設仮勘定	503,284,001	245,593,953	337,815,826	411,062,128
合計	17,866,202,794	2,440,584,441	650,795,647	19,655,991,588

⑵ 無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	当年度減価償却高
	円	円	円	円
商標権	343	46,800	343	4,680
その他無形固定資産	29,600,000	0	0	5,920,000
合計	29,600,343	46,800	343	5,924,680

⑶ 投資その他の資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
	円	円	円	円
基金	5,469,777,244	32,662,845	783,000,000	4,719,440,089
出資金	7,330,400,000	0	0	7,330,400,000
投資有価証券	0	4,000,000,000	0	4,000,000,000
合計	12,800,177,244	4,032,662,845	783,000,000	16,049,840,089

減価償却累計額			年度末償却未済高	備　　考
当年度増加額	当年度減少額	累　　計		
円 －	円 －	円 －	円 1,752,799,899	
－	－	－	10,332,199	
393,531,952	7,105,163	2,764,190,123	7,637,441,692	
43,236,126	0	235,949,881	2,580,060,380	
158,064,383	187,461,463	1,336,687,597	1,343,599,094	
0	0	0	0	
0	0	441,750	555,550	
19,354,859	35,548,295	240,670,679	258,643,013	
123,087,645	0	713,686,610	369,870,993	
737,274,965	230,114,921	5,291,626,640	13,953,302,820	
－	－	－	411,062,128	
737,274,965	230,114,921	5,291,626,640	14,364,364,948	

年度末現在高	備　　考
円 42,120	
23,680,000	
23,722,120	

備　　考
北九州市競輪競艇整備基金及び北九州市公債償還基金
競輪事業出資金

企 業 債 明 細 書

【 競 輪 事 業 】

種　類	発　行 年月日	発行総額	償　還　高		未償還残高	発行 価額	利 率	償　還 終　期	借入先	備　考
			当年度償還高	償還高累計						
メディアドーム建設	平成 28.12.16	円 750,000,000	円 75,000,000	円 675,000,000	円 75,000,000	額面100円につき100円	% 0.087	令和 8.12.16	市場公募	平成８年度債借換分
	計	750,000,000	75,000,000	675,000,000	75,000,000					
元金債	平成 28. 8.25	円 60,000,000	円 0	円 0	円 60,000,000	額面100円につき100円	% 0.06	令和 8.8.25	市場公募	平成17年度債借換分
	28. 8.25	560,000,000	0	0	560,000,000	額面100円につき100円	0.06	8.8.25	市場公募	平成17年度債借換分
	28. 8.25	140,000,000	0	0	140,000,000	額面100円につき100円	0.06	8.8.25	市場公募	平成17年度債借換分
	28. 8.25	780,000,000	0	0	780,000,000	額面100円につき100円	0.06	8.8.25	市場公募	平成18年度債借換分
	計	1,540,000,000	0	0	1,540,000,000					
離職餞別金	平成 28. 8.25	円 290,000,000	円 0	円 0	円 290,000,000	額面100円につき100円	% 0.06	令和 8.8.25	市場公募	平成17年度債借換分
	計	290,000,000	0	0	290,000,000					
合　計		2,580,000,000	75,000,000	675,000,000	1,905,000,000					

【モーターボート競走事業】

種　類	発　行 年月日	発行総額	償　還　高		未償還残高	発行 価額	利 率	償　還 終　期	借入先	備　考
			当年度償還高	償還高累計						
西スタンド 改　築	平成 27.12.18	円 870,000,000	円 870,000,000	円 870,000,000	円 0	額面100 円につき 100円	% 0.484	令和 7.12.18	市場公募	平成７年度債 借　換　分
	28.12.16	380,000,000	38,000,000	342,000,000	38,000,000	額面100 円につき 100円	0.087	8.12.16	市場公募	平成８年度債 借　換　分
	計	1,250,000,000	908,000,000	1,212,000,000	38,000,000					

北九州市公営競技事業報告書

1 概　　況

⑴ 総括事項

本市の競輪・モーターボート競走事業は、昭和38年の北九州市発足以来、1,832億円（令和６年度末）を一般会計へ繰り出し、市民生活の充実・利便性の向上に寄与してきた。

令和７年度決算は、令和６年３月に策定した「北九州市公営競技事業経営戦略（後期計画）」の計画第２年次の決算となる。

公営競技事業会計全体について、年間発売金額は、ＧⅠレース競輪祭の開催（発売金148億円）や、ＳＧレースである第71回ボートレースメモリアルの開催（発売金193億円）等によって2,063億円となった。

一般会計には250億円を予定処分として繰り出した。また、当年度純利益157億円、単年度資金剰余△15億円、累積資金剰余338億円となった。

両事業のイメージアップを推進するため、「子ども食堂」などを実施した。また、来場のきっかけやイメージアップのための地域貢献エリア（モーヴィ・グルーン）の整備が令和７年度末に完了し、令和８年４月から運営を開始する。

ア　業務量

【競輪事業】

開催日数は、76日（普通開催42日、競輪祭６日、大阪･関西万博協賛吉岡稔真カップ争奪戦４日、ミッドナイト開催24日）で、前年度から１日増加した。

車券発売金は53,839,138千円で、前年度より6,207,200千円、13.0％増加した。

【モーターボート競走事業】

開催日数は、173日（普通開催161日、ＳＧ競走６日、ＧⅠ競走６日）で、前年度より４日増加した。

舟券発売金は152,416,392千円で、前年度より16,890,524千円、12.5％増加した。

イ　財政状況

【競輪事業】

収益的収支では、収入総額54,626,396千円に対し、支出総額52,722,000千円で差引き1,904,396千円の利益が生じた。

一方、資本的収支では、建設改良費や企業債償還金等の執行により、284,495千円の不足が生じたが、損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度で2,137,641千円の資金剰余となり、令和７年度末の累積資金剰余は、10,080,199千円となった。

【モーターボート競走事業】

収益的収支では、収入総額155,551,276千円に対し、支出総額141,733,252千円で差引き13,818,024千円の利益が生じた。

一方、資本的収支では、建設改良費や企業債償還金、一般会計への繰出金等の執行により、31,294,801千円の不足が生じた。損益勘定留保資金等で補てんしたが、単年度で16,780,047千円の資金不足となり、令和７年度末の累積資金剰余は、23,718,527千円となった。

ウ　建設改良工事

【競輪事業】

小倉競輪場の施設整備として、北九州メディアドーム昇降機修繕工事（令和７年度）など、88,635千円を執行した。

【モーターボート競走事業】

ボートレース若松の施設整備として、ボートレース若松地域貢献エリア新築及び改修工事など、1,862,713千円を執行した。

(2)　経営指標

【競輪事業】

令和７年度決算における経営の健全性を示す経常収支比率は、営業費用等の増加により、前年度0.1ポイント減の103.6％となった。

また、１年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較した流動比率は、企業債の増加により、前年度より171.6ポイント減の320.3％となった。

さらに、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は、建物等の減価償却により、前年度より3.4ポイント増の24.5％となった。（なお、減価償却累計額は、地方公営企業法の全部適用を開始した平成30年度からの累計額であるもの。）

経　営　指　標	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
経常収支比率	103.7 %	103.2 %	103.5 %	103.7 %	103.6 %
流　動　比　率	172.1	226.4	436.7	491.9	320.3
有形固定資産減価償却率	12.7	15.6	19.0	21.1	24.5

【モーターボート競走事業】

令和７年度決算における経営の健全性を示す経常収支比率は、営業収益等の増加により、前年度0.8ポイント増の109.7％となった。

また、１年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較した流動比率は、企業債等の減少により、前年度より462.3ポイント増の1,456.0％となった。

さらに、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は、固定資産の新規取得により、前年度より0.4ポイント減の30.3％となった。（なお、減価償却累計額は、地方公営企業法の全部適用を開始した平成30年度からの累計額であるもの。）

経　営　指　標	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
経常収支比率	110.6 %	110.1 %	109.9 %	108.9 %	109.7 %
流　動　比　率	855.2	1,130.9	1,637.9	993.7	1,456.0
有形固定資産減価償却率	20.6	26.0	30.5	30.7	30.3

⑶　議会議決事項

議案番号	件　　名	提出年月日	議決年月日
第112号	令和６年度北九州市公営競技事業会計に係る利益の処分及び決算について	令和 ７．９．４	令和 ７.10. ２
第27号	令和８年度北九州市公営競技事業会計予算	８．２.19	８．３.25
第64号	令和７年度北九州市公営競技事業会計補正予算（第１号）	８．２.19	８．３.10

（報告事項）令和６年度　北九州市公営競技事業会計予算の繰越し報告について（報告第 11 号）

⑷　行政官庁許認可事項

申請年月日	申請先	件　　名	許認可年月日
令和 ８．３.17	北九州市長	北九州市の管理する港湾の港湾区域内における水域占用の同意	令和 ８．３.17

⑸　職員に関する事項

【競輪事業】

令和８年３月末の職員数は７人で、その内訳は次のとおりである。

区　　分	職　種	本　年　度	前　年　度	増　△減
損　益　勘　定 支　弁　職　員	事　務　職	5 人	5 人	0 人
	技　術　職	2	2	0
	計	7	7	0

【モーターボート競走事業】

令和８年３月末の職員数は33人で、その内訳は次のとおりである。

区　　分	職　種	本　年　度	前　年　度	増　△減
損　益　勘　定 支　弁　職　員	事　務　職	28 人	28 人	0 人
	技　術　職	5	5	0
	計	33	33	0

（注）職員数には、企業管理者を含み、無給休職者及び育児休業者を除く。

⑹　料金その他供給条件の設定、変更に関する事項

該当事項なし。

2 工　　事

⑴ 建設改良工事の概況

※　１件２千万円以上の工事（金額には消費税及び地方消費税を含む。）

【競輪事業】

小倉競輪場施設整備費として88,636千円を執行した。

主な工事は次のとおりである。

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
北九州メディアドームガールズ専用施設（道場）整備工事	ガールズ専用施設（道場）の整備工事一式	令和 ７．２．27	令和 ７．８．19
北九州メディアドーム昇降機修繕工事（令和７年度）	昇降機設備の修繕工事一式	７．５．28	８．３．16

【モーターボート競走事業】

若松モーターボート競走場施設整備費として1,862,713千円を執行した。

主な工事は次のとおりである。

工　事　名	工　事　内　容	着工年月日	竣工年月日
ボートレース若松地域貢献エリア新築及び改修都市ガス工事	ファミリーピット場内警備員・特別警備員・保安協会員の控室として改修する都市ガス工事一式	令和 ６．６．19	令和 ７．４．22
ボートレース若松地域貢献エリア新築及び改修工事	旧外向発売所の遊戯施設への改修、及びコミュニティ棟の新築工事一式	６．８．８	７．９．30
ボートレース若松地域貢献エリア新築及び改修電気工事	旧外向発売所の遊戯施設への改修、及びコミュニティ棟の新築に係る電気工事一式	６．８．８	7.10. 1
ボートレース若松地域貢献エリア新築及び改修機械工事	旧外向発売所の遊戯施設への改修、及びコミュニティ棟の新築に係る機械工事一式	６．８．８	７．９．29
ボートレース若松ファミリーピット改修電気工事	場内警備員・特別警備員・保安協会員の控室として改修する電気工事一式	6.12.19	７．７．４
ボートレース若松地域貢献エリア南側整備工事	地域貢献エリアの南側地盤整備工事一式	７．１．24	８．３．24
ボートレース若松地域貢献エリア照明設備等設置工事	照明・監視カメラ等設置工事一式	７．４．17	7.11.28
ボートレース若松東スタンド棟ゲート及び屋外階段新築工事	ゲート施設新築に係る新築工事一式	７．７．17	８．５．８
ボートレース若松東スタンド棟ゲート及び屋外階段新築電気工事	ゲート施設新築に係る電気工事一式	７．７．17	８．５．12
ボートレース若松東スタンド棟ゲート及び屋外階段新築機械工事	ゲート施設新築に係る機械工事一式	７．７．17	８．４．30
ボートレース若松第１駐車場整備工事	第１駐車場整備工事一式	７．９．25	８．３．30

⑵ 保存工事の概況

【競輪事業】

該当工事なし。

【モーターボート競走事業】

ボートレース若松標識板他撤去復旧工事ほか　　114件

3 業　　務

(1) 業 務 量

【競輪事業】

事　　項	本 年 度	前 年 度	比　　較	
			増　△減	増　△減率
開 催 日 数	76日	75日	1日	1.3 %
車券発売金	53,839,137,700円	47,631,937,800円	6,207,199,900円	13.0
本　場	439,288,700円	431,152,400円	8,136,300円	1.9
電話投票	47,219,171,400円	41,647,746,200円	5,571,425,200円	13.4
場　外	6,180,677,600円	5,553,039,200円	627,638,400円	11.3
1日平均車券発売金	708,409,707円	635,092,504円	73,317,203円	11.5
場間場外発売金	2,267,077,200円	2,625,232,800円	△ 358,155,600円	△ 13.6
入 場 者 数	91,591人	41,923人	49,668人	118.5

※令和７年度から入場者数集計方法を変更（競輪開催時のイベント入場者数等を計上）

【モーターボート競走事業】

事　　項	本 年 度	前 年 度	比　　較	
			増　△減	増　△減率
開 催 日 数	173日	169日	4日	2.4 %
舟券発売金	152,416,391,700円	135,525,867,700円	16,890,524,000円	12.5
本　場	3,013,046,600円	2,941,736,500円	71,310,100円	2.4
電話投票	129,882,326,200円	113,684,798,400円	16,197,527,800円	14.2
場　外	19,521,018,900円	18,899,332,800円	621,686,100円	3.3
1日平均舟券発売金	881,019,605円	801,928,211円	79,091,394円	9.9
場間場外発売金	8,793,145,300円	8,703,364,400円	89,780,900円	1.0
入 場 者 数	130,082人	130,514人	△ 432人	△ 0.3

⑵　事業収入に関する事項

【競輪事業】

区　分	本　年　度	前　年　度	比　較	
			増　△減	増　△減率
	円	円	円	%
収益的収入	54,626,396,698	48,442,709,309	6,183,687,389	12.76
営業収益	54,394,563,735	48,194,178,372	6,200,385,363	12.87
営業外収益	216,969,906	248,530,937	△ 31,561,031	△ 12.70
特別利益	14,863,057	0	14,863,057	皆増
資本的収入	39,480	277,200,000	△ 277,160,520	△ 99.99
固定資産売却代金	39,480	0	39,480	皆増
基金繰入金	0	277,200,000	△ 277,200,000	皆減
計	54,626,436,178	48,719,909,309	5,906,526,869	12.12

収益的収入の構成比率

区　分	本　年　度		前　年　度		比　較	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	増　△減	増△減率
	円	%	円	%	円	%
営業収益	54,394,563,735	99.57	48,194,178,372	99.49	6,200,385,363	12.87
車券発売収益	53,839,137,700	98.55	47,631,937,800	98.33	6,207,199,900	13.03
場間場外発売事務受託収益	333,129,675	0.61	384,334,028	0.79	△ 51,204,353	△ 13.32
その他営業収益	222,296,360	0.41	177,906,544	0.37	44,389,816	24.95
営業外収益	216,969,906	0.40	248,530,937	0.51	△ 31,561,031	△ 12.70
特別利益	14,863,057	0.03	0	0.00	14,863,057	皆増
計	54,626,396,698	100.00	48,442,709,309	100.00	6,183,687,389	12.76

【モーターボート競走事業】

区　分	本　年　度	前　年　度	比　較	
			増　△減	増　△減率
	円	円	円	%
収益的収入	155,551,275,540	138,406,549,680	17,144,725,860	12.39
営業収益	155,394,324,258	138,363,274,922	17,031,049,336	12.31
営業外収益	156,951,282	43,274,758	113,676,524	262.69
資本的収入	783,050,218	0	783,050,218	皆増
固定資産売却代金	50,218	0	50,218	皆増
基金繰入金	783,000,000	0	783,000,000	皆増
計	156,334,325,758	138,406,549,680	17,927,776,078	12.95

収益的収入の構成比率

区　分	本　年　度		前　年　度		比　較	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	増　△減	増△減率
	円	%	円	%	円	%
営業収益	155,394,324,258	99.90	138,363,274,922	99.97	17,031,049,336	12.31
舟券発売収益	152,416,391,700	97.98	135,525,867,700	97.92	16,890,524,000	12.46
場間場外発売事務受託収益	1,473,639,916	0.95	1,454,098,046	1.05	19,541,870	1.34
その他営業収益	1,504,292,642	0.97	1,383,309,176	1.00	120,983,466	8.75
営業外収益	156,951,282	0.10	43,274,758	0.03	113,676,524	262.69
計	155,551,275,540	100.00	138,406,549,680	100.00	17,144,725,860	12.39

(3) 事業費に関する事項

【競輪事業】

区分	本年度	前年度	比較	
			増△減	増△減率
	円	円	円	%
収益的支出	52,722,000,255	46,710,999,708	6,011,000,547	12.87
営業費用	51,875,511,245	45,929,442,690	5,946,068,555	12.95
営業外費用	846,489,010	781,557,018	64,931,992	8.31
資本的支出	275,471,034	1,428,944,059	△ 1,153,473,025	△ 80.72
建設改良費	90,671,034	474,144,059	△ 383,473,025	△ 80.88
企業債償還金	75,000,000	845,000,000	△ 770,000,000	△ 91.12
投資	109,800,000	109,800,000	0	−
計	52,997,471,289	48,139,943,767	4,857,527,522	10.09

収益的支出の構成比率

区分	本年度		前年度		比較	
	金額	構成比率	金額	構成比率	増△減	増△減率
	円	%	円	%	円	%
営業費用	51,875,511,245	98.40	45,929,442,690	98.33	5,946,068,555	12.95
職員人件費	76,632,343	0.15	68,910,719	0.15	7,721,624	11.21
払戻金及び返還金	40,254,576,860	76.35	35,618,250,050	76.25	4,636,326,810	13.02
場間場外発売事務受託費	379,069,562	0.72	3,870,657	0.01	375,198,905	9,693.42
減価償却費等	505,716,152	0.96	583,842,105	1.25	△ 78,125,953	△ 13.38
その他	10,659,516,328	20.22	9,654,569,159	20.67	1,004,947,169	10.41
営業外費用	846,489,010	1.60	781,557,018	1.67	64,931,992	8.31
計	52,722,000,255	100.00	46,710,999,708	100.00	6,011,000,547	12.87

【モーターボート競走事業】

区　分	本　年　度	前　年　度	比　較	
			増　△減	増　△減率
	円	円	円	%
収益的支出	141,733,251,552	127,100,320,422	14,632,931,130	11.51
営業費用	140,136,889,212	125,631,946,152	14,504,943,060	11.55
営業外費用	1,596,362,340	1,468,374,270	127,988,070	8.72
資本的支出	31,894,162,717	7,018,236,722	24,875,925,995	354.45
建設改良費	1,953,499,872	1,882,253,290	71,246,582	3.79
企業債償還金	908,000,000	38,000,000	870,000,000	2,289.47
投資	4,032,662,845	97,983,432	3,934,679,413	4,015.66
繰出金	25,000,000,000	5,000,000,000	20,000,000,000	400.00
計	173,627,414,269	134,118,557,144	39,508,857,125	29.46

収益的支出の構成比率

区　分	本　年　度		前　年　度		比　較	
	金　額	構成比率	金　額	構成比率	増　△減	増△減率
	円	%	円	%	円	%
営業費用	140,136,889,212	98.87	125,631,946,152	98.84	14,504,943,060	11.55
職員人件費	318,702,449	0.22	383,882,231	0.30	△　65,179,782	△ 16.98
払戻金及び返還金	114,238,393,700	80.60	101,798,985,840	80.09	12,439,407,860	12.22
場間場外発売事務受託費	281,522,369	0.20	295,496,263	0.23	△　13,973,894	△ 4.73
減価償却費等	827,937,670	0.58	745,302,682	0.59	82,634,988	11.09
その他	24,470,333,024	17.27	22,408,279,136	17.63	2,062,053,888	9.20
営業外費用	1,596,362,340	1.13	1,468,374,270	1.16	127,988,070	8.72
計	141,733,251,552	100.00	127,100,320,422	100.00	14,632,931,130	11.51

⑷　その他主要な事項

該当事項なし。

4 会　　計

⑴ 重要契約の要旨

本年度における契約金額４千万円以上の工事又は製造の請負契約及び動産、不動産の取得、処分については、次のとおりである。（消費税及び地方消費税を含む。）

【競輪事業】

契約年月日	契約金額	契約内容	契約の相手方
令和 ７．５．28	円 49,500,000	北九州メディアドーム昇降機修繕工事（令和７年度）	日本オーチス・エレベータ株式会社九州支店

【モーターボート競走事業】

契約年月日	契約金額	契約内容	契約の相手方
令和 ７．５．30	円 423,497,408	ボートレース若松地域貢献エリア遊具等設置業務委託	株式会社ボーネルンド
７．７．４	92,840,000	ボートレース若松消波装置更新業務委託	ヤマト発動機株式会社
７．７．17	147,886,200	ボートレース若松東スタンド棟ゲート及び屋外階段新築工事	株式会社清水建築工業
７．７．17	59,808,100	ボートレース若松東スタンド棟ゲート及び屋外階段新築電気工事	株式会社Quality Technos
７．９．25	60,666,100	ボートレース若松第１駐車場整備工事	岩崎建設株式会社北九州支店
８．２．２	72,380,000	ボートレース若松中型映像機器更新業務委託	東芝ＥＩコントロールシステム株式会社九州営業所

⑵　企業債及び一時借入金の概況

ア　企　業　債

【競輪事業】

借　　入　　先	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
	円	円	円	円
市　　場　　公　　募	1,980,000,000	0	75,000,000	1,905,000,000
計	1,980,000,000	0	75,000,000	1,905,000,000

【モーターボート競走事業】

借　　入　　先	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
	円	円	円	円
市　　場　　公　　募	946,000,000	0	908,000,000	38,000,000
計	946,000,000	0	908,000,000	38,000,000

イ　一時借入金

【公営競技事業会計　合計】

前年度末残高	0円
本年度中における借入残高最高額	0円
本年度末残高	0円
（一時借入金限度額	6,000,000,000円）

⑶　その他会計経理に関する重要事項

該当事項なし。

5　附帯事項

該当事項なし。

6　そ の 他

⑴　決算日後に生じた企業の状況に関する重要な事実

該当事項なし。

⑵　発売金収入等の使途について

【公営競技事業会計　合計】

ア　車券・舟券発売金206,255,529,400円については、委託費等課税仕入に51,762,558,840円（特定収入）、払戻金・返還金の課税仕入以外に154,492,970,560円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。

イ　場間場外発売事務受託収益1,473,639,916円については、施設・設備使用料等課税仕入に全額（特定収入）を充当した。

ウ　その他営業収益132,909,347円については、委託費等課税仕入に132,612,175円（特定収入）、職員人件費等課税仕入以外に297,172円（特定収入以外）をそれぞれ充当した。

エ　雑収益1,927,128円については、委託費等課税仕入に全額（特定収入）を充当した。

オ　特別利益14,863,057円については、委託費等課税仕入に全額（特定収入）を充当した。

⑶　その他

該当事項なし。

令和７年度

北九州市一般会計・特別会計
歳入歳出決算及び基金運用状況
審　　査　　意　　見　　書

北九州市監査委員

北九行監 第１０６号
令和８年８月１９日

北九州市長　武　内　和　久　様

北九州市監査委員　　中　野　正　信
同　　梅　田　久　和
同　　鷹　木　研一郎
同　　大久保　無　我

令和７年度北九州市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見について

地方自治法第２３３条第２項及び第２４１条第５項の規定により、令和７年度北九州市一般会計・特別会計の決算及び基金の運用状況を審査したので、別紙のとおり意見を提出する。

なお、この審査は、監査委員　中西　満信（令和８年６月３０日辞任）、同　中野　正信（令和８年７月１日就任）、同　梅田　久和、同　鷹木　研一郎、同　大久保　無我により行った。

目　　次

令和７年度北九州市一般会計・特別会計歳入歳出決算審査意見 …… 1

第１　審査の対象 …… 1

第２　審査の着眼点及び方法 …… 1

第３　審査の期間 …… 1

第４　審査の結果 …… 1

決　算　の　概　要 …… 2

１　決算の総括 …… 2

２　一　般　会　計 …… 3

３　特　別　会　計 …… 9

４　基　　金 …… 15

５　市債残高及び債務負担行為 …… 15

意　　見 …… 17

会計別決算状況等

一　般　会　計 …… 21

１　歳　　入 …… 21

２　歳　　出 …… 30

特　別　会　計 …… 38

１　会計別決算状況 …… 38

財政運営状況 …… 74

１　資金運用状況 …… 74

２　経常収支比率 …… 74

３　財政力指数 …… 74

４　市債現在高 …… 75

５　債務負担行為 …… 76

財　産　の　状　況 …… 78

令和７年度北九州市基金運用状況審査意見 …… 81

決　算　審　査　資　料 …… 83

用　語　の　説　明 …… 108

［ 凡 例 ］

1　文中及び各表中の金額及び比率は、原則として表示単位未満を四捨五入した。
　このため、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。

2　各表中符号の用法は、次のとおりである。

「 △ 」……負数。比率の符号（正負）は、算定式どおりとする。

「0．0」……比率で、該当数値はあるが単位未満のもの

「 － 」……項目に該当する数値がないとき
　　算出不能又は無関係のもの
　　除算で、分母が０のとき

「 0 」……除算で、分子が０のとき
　　予算決算については、どちらかに数値があれば「0」を使用する。

「 … 」……比率が 1,000％以上又は△1,000％以下のもの

令和７年度北九州市一般会計・特別会計歳入歳出決算審査意見

第１　審査の対象

１　令和７年度北九州市一般会計歳入歳出決算書

２　令和７年度北九州市特別会計歳入歳出決算書

国民健康保険、食肉センター、卸売市場、渡船、土地区画整理、土地区画整理事業清算、港湾整備、公債償還、住宅新築資金等貸付、土地取得、駐車場、母子父子寡婦福祉資金、産業用地整備、漁業集落排水、介護保険、空港関連用地整備、臨海部産業用地貸付、後期高齢者医療、市民太陽光発電所及び市立病院機構病院事業債管理の20特別会計

３　附属書類

令和７年度北九州市歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び証書類

第２　審査の着眼点及び方法

審査は、決算書及び附属書類が関係法令に適合しているか、計数が正確であるか、予算執行は適正に行われているか等を主眼に、会計管理者及び関係部局が所管する諸帳票と照合し、計数の確認を行ったほか、予算の執行状況について関係部局から資料の提出を求め、説明を聴取するなどの方法により実施した。

なお、この審査は、北九州市監査基準に準拠して行った。

第３　審査の期間

令和８年６月４日から同年８月３日まで

第４　審査の結果

令和７年度北九州市一般会計・特別会計決算書及び附属書類は、法令の様式を備えており、これらに表示された計数は正確であり、予算の執行状況は、審査した限りにおいて適正であると認められた。

決算審査の概要等は、次のとおりである。

決　算　の　概　要

1　決　算　の　総　括

(1)　決　算　規　模

令和７年度の一般会計と特別会計の決算額を合わせた総計決算額は、次のとおりである。

歳　　入		１兆　782億4,744万4,697円
	一　般　会　計	6,389億9,216万　183円
	特　別　会　計	4,392億5,528万4,514円
歳　　出		１兆　611億1,085万3,390円
	一　般　会　計	6,350億4,110万　201円
	特　別　会　計	4,260億6,975万3,189円

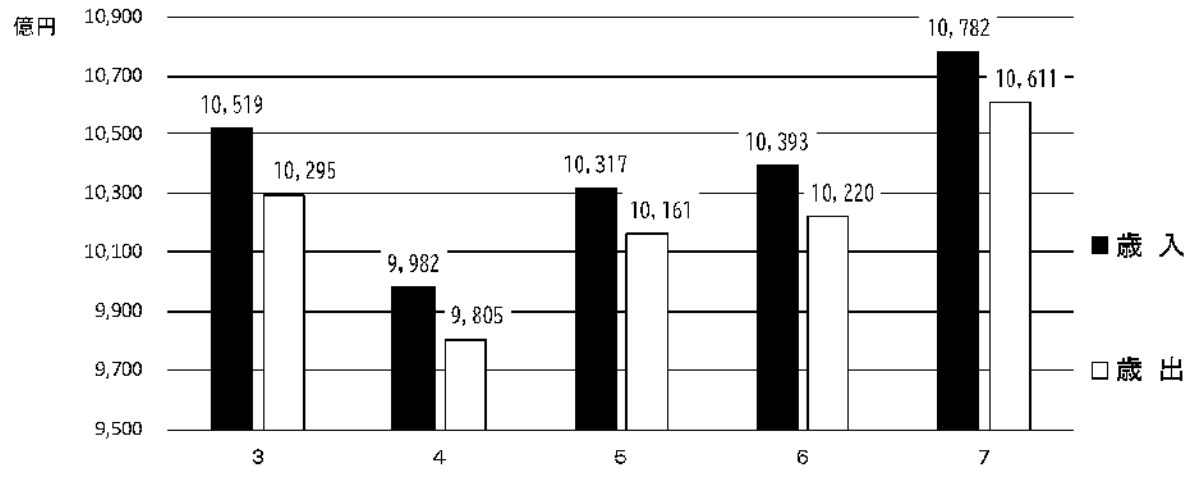
最近５か年間の総計決算額の推移は、表１のとおりである。

総計決算額は、歳入、歳出いずれも前年度と比べて増加している。

表1　総計決算額の推移　　（単位：千円、％）

年　度	歳　入			歳　出		
	決算額	対前年度増減額	対前年度増減比率	決算額	対前年度増減額	対前年度増減比率
3	1,051,942,636	△ 48,000,626	△ 4.4	1,029,478,237	△ 52,214,582	△ 4.8
4	998,195,575	△ 53,747,061	△ 5.1	980,514,586	△ 48,963,651	△ 4.8
5	1,031,682,632	33,487,057	3.4	1,016,098,431	35,583,846	3.6
6	1,039,300,807	7,618,175	0.7	1,022,039,953	5,941,522	0.6
7	1,078,247,445	38,946,638	3.7	1,061,110,853	39,070,900	3.8

グラフ１　総計決算額の推移



(2) 収 支 状 況

総計決算収支状況は、表2のとおりである。

歳入歳出の差引残額である形式収支は、171億3,659万円の黒字である。

この形式収支額から、翌年度へ繰り越すべき財源27億5,658万円を差し引いた実質収支は、143億8,002万円の黒字となっている。

当年度実質収支額から前年度実質収支額を差し引いた単年度収支は、6億2,970万円の赤字となっている。

表2 総計決算収支状況 (単位:千円)

区 分	7 年 度	6 年 度	増 減 額
歳入決算額 (A)	1,078,247,445	1,039,300,807	38,946,638
歳出決算額 (B)	1,061,110,853	1,022,039,953	39,070,900
形式収支 (C) (A) (B)	17,136,591	17,260,854	△ 124,262
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	2,756,576	2,251,143	505,433
実質収支 (E) (C) - (D)	14,380,015	15,009,711	△ 629,695
単年度収支 (F) (E)-前年度の(E)	△ 629,695	668,121	△ 1,297,816

注 形式収支、実質収支、単年度収支については、巻末の「用語の説明」を参照

2 一 般 会 計

(1) 決 算 規 模

一般会計の決算額は、次のとおりである。

歳入	6,389億9,216万 183円
歳出	6,350億4,110万 201円
歳入歳出差引残額	39億5,105万9,982円

(2) 収 支 状 況

一般会計決算の収支状況は、表3のとおりである。

形式収支は39億5,106万円の黒字(前年度39億456万円の黒字)、実質収支は14億8,943万円の黒字(前年度17億9,859万円の黒字)となっている。また、単年度収支は3億915万円の赤字(前年度2億4,697万円の赤字)となっている。

表3　一般会計決算収支状況　　（単位：千円）

区　　分	7 年 度	6 年 度	増 減 額
歳 入 決 算 額 (A)	638,992,160	619,800,427	19,191,733
歳 出 決 算 額 (B)	635,041,100	615,895,866	19,145,234
形 式 収 支 (C) (A) - (B)	3,951,060	3,904,561	46,499
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	2,461,625	2,105,972	355,653
実 質 収 支 (E) (C) - (D)	1,489,435	1,798,589	△ 309,154
単 年 度 収 支 (F) (E)-前年度の(E)	△ 309,154	△ 246,974	△ 62,180

注　形式収支、実質収支、単年度収支については、巻末の「用語の説明」を参照

(3) 歳　　入

一般会計の歳入決算は、次のとおりである。

予 算 現 額	6,946 億 9,497 万 3,000 円
調 定 額	6,448 億 1,133 万 5,050 円
収 入 済 額	6,389 億 9,216 万　183 円
不 納 欠 損 額	3 億 5,324 万 2,976 円
収 入 未 済 額	55 億 1,885 万　530 円

収入済額は 6,389 億 9,216 万円で、前年度と比べると 191 億 9,173 万円、3.1%の増となっている。この主な理由は、市債が 190 億 250 万円、地方特例交付金が 51 億 7,542 万円、国庫支出金が 28 億 633 万円、それぞれ減少したものの、諸収入が 220 億 7,673 万円、市税が 108 億 7,984 万円、地方交付税が 68 億 5,611 万円、県支出金が 27 億 1,591 万円、それぞれ増加したことによる。

市税、使用料及び手数料などの歳入に占める自主財源の割合は 46.9%となり、前年度より 4.1 ポイント上回った。

収入済額の調定額に対する割合（以下「収入率」という。）は 99.1%(前年度 99.1%)である。その中で、歳入の根幹をなす市税の収入率については、98.3%（前年度 98.4%）となっている。

不納欠損額は 3 億 5,324 万円で、前年度と比べると 4,323 万円、13.9%の増となっている。主な内訳は、市税 2 億 3,996 万円、諸収入 8,321 万円である。

収入未済額は 55 億 1,885 万円で、前年度と比べると 4 億 4,256 万円、8.7%の増となっている。主な内訳は、市税 31 億 1,141 万円、諸収入 17 億 3,173 万円、使用料及び手数料 5 億 1,484 万円、分担金及び負担金 1 億 1,190 万円である。収入未済額の調定額に対する割合は 0.9%(前年度 0.8%)である。

表4　一般会計歳入款別決算状況（対前年度比較）　　（単位：千円、％）

区分	7年度 予算現額(A)	7年度 決算（収入済）額 金額(B)	7年度 決算（収入済）額 構成比率	6年度 決算（収入済）額 金額(C)	6年度 決算（収入済）額 構成比率	対前年度比較 増減額(D)=(B)－(C)	対前年度比較 比率(D)/(C)
市税	190,758,010	191,057,633	29.9	180,177,794	29.1	10,879,840	6.0
地方譲与税	3,239,000	3,064,450	0.5	3,063,637	0.5	813	0.0
法人事業税交付金	2,712,000	2,816,916	0.4	2,819,864	0.5	∧ 2,948	∧ 0.1
地方消費税交付金	25,941,000	26,354,027	4.1	24,403,854	3.9	1,950,173	8.0
軽油引取税交付金	5,810,000	5,888,373	0.9	6,028,271	1.0	△ 139,898	△ 2.3
地方特例交付金	1,085,000	1,061,187	0.2	6,236,609	1.0	△ 5,175,422	△ 83.0
地方交付税	89,080,120	90,092,768	14.1	83,236,657	13.4	6,856,111	8.2
使用料及び手数料	14,992,692	14,461,994	2.3	14,629,663	2.4	∧ 167,669	∧ 1.1
国庫支出金	156,172,737	135,811,628	21.3	138,617,960	22.4	∧ 2,806,333	∧ 2.0
県支出金	38,166,566	35,975,488	5.6	33,259,578	5.4	2,715,910	8.2
財産収入	5,981,936	5,931,656	0.9	4,367,665	0.7	1,563,991	35.8
寄附金	4,476,950	3,820,863	0.6	2,995,284	0.5	825,579	27.6
繰入金	21,360,122	8,465,583	1.3	10,044,294	1.6	∧ 1,578,711	∧ 15.7
繰越金	3,904,561	3,904,561	0.6	3,057,716	0.5	846,845	27.7
諸収入	72,273,464	70,145,759	11.0	48,069,026	7.8	22,076,733	45.9
市債	54,187,800	34,097,600	5.3	53,100,100	8.6	△19,002,500	△ 35.8
その他	4,553,015	6,041,675	1.0	5,692,455	0.9	349,219	6.1
計	694,694,973	638,992,160	100.0	619,800,427	100.0	19,191,733	3.1
自主財源		299,821,035	46.9	265,425,693	42.8	34,395,342	13.0
依存財源		339,171,125	53.1	354,374,734	57.2	∧15,203,609	∧ 4.3

注：　その他は、株式等譲渡所得割交付金等、分担金及び負担金である。
　　2　予算現額、自主財源、依存財源については、巻末の「用語の説明」を参照

グラフ2　自主財源及び依存財源比率の推移

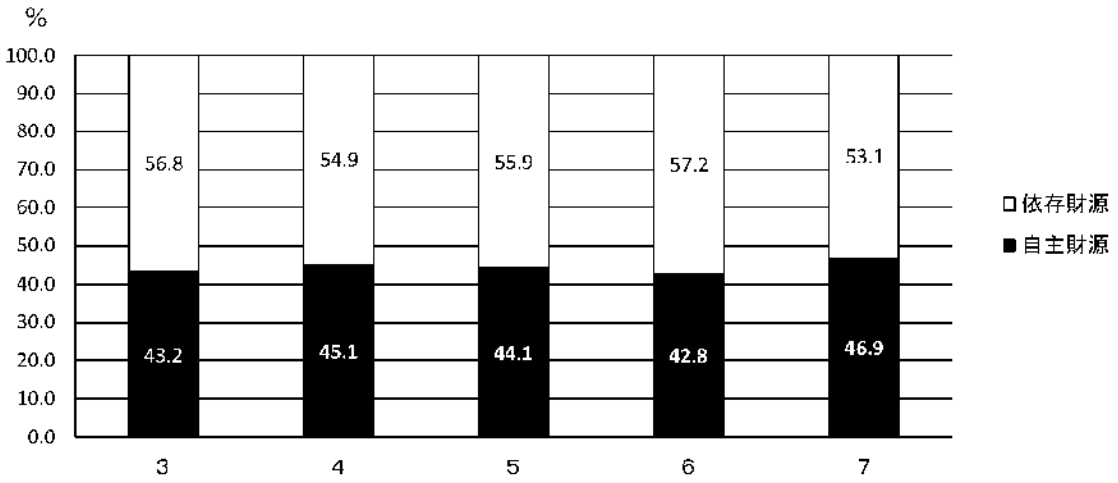


表5　一般会計歳入款別決算状況（不納欠損額、収入未済額）　（単位：千円、％）

区分	調定額	収入済額		不納欠損額		収入未済額	
		金額	調定額に対する割合（収入率）	金額	調定額に対する割合	金額	調定額に対する割合
市税	194,356,645	191,057,633	98.3	239,960	0.1	3,111,407	1.6
分担金及び負担金	2,159,407	2,032,986	94.1	14,566	0.7	111,897	5.2
使用料及び手数料	14,991,940	14,461,994	96.5	15,506	0.1	514,841	3.4
財産収入	5,980,635	5,931,656	99.2	0	0	48,979	0.8
諸収入	71,960,577	70,145,759	97.5	83,211	0.1	1,731,727	2.4
その他	355,362,132	355,362,132	100.0	0	0	0	0
計	644,811,335	638,992,160	99.1	353,243	0.1	5,518,851	0.9

注１　その他は、地方譲与税、地方交付税等、国庫支出金、県支出金、寄附金、繰入金、繰越金及び市債である。

２　調定額、不納欠損額、収入未済額については、巻末の「用語の説明」を参照

(4)　歳　　出

一般会計の歳出決算は、次のとおりである。

予算現額	6,946億9,497万3,000円
支出済額	6,350億4,110万　201円
翌年度繰越額	269億1,148万2,000円
不用額	327億4,239万　799円

支出済額は6,350億4,110万円で、前年度と比べると191億4,523万円、3.1％の増となっている。この主な理由は、環境費が173億5,136万円、保健福祉費が41億8,377万円、それぞれ減少したものの、諸支出金が211億2,003万円、子ども家庭費が108億4,912万円、それぞれ増加したことによる。

予算現額に対する支出済額の割合（以下「執行率」という。）は、91.4％(前年度 90.8％)である。これを目的別にみると、執行率が高いのは、諸支出金98.2％、子ども家庭費97.2％、消防費96.7％、議会費95.7％、保健福祉費92.9％となっている。また、最も執行率が低いのは、災害復旧費26.5％である。

また、性質別にみると、義務的経費では、人件費は減少したが、扶助費及び公債費が増加し、義務的経費比率は56.4％（前年度57.3％）となり、投資的経費では、普通建設事業費および災害復旧事業費がいずれも減少し、投資的経費比率は8.9％（前年度12.1％）となっている。また、その他の経費は、積立金の増などにより大きく増加している。

翌年度繰越額は、前年度と比べると68億6,388万円、34.2％の増となっている。翌年度繰越額の主なものは、土木費84億2,465万円、教育費74億2,494万円、保健福祉費36億9,640万円である。これは、事業執行において関係機関との協議等に日時を要し、年度内の執行が困

難となったことなどが主な理由である。

不用額は、前年度と比べると98億288万円、23.0%の減、予算現額に対する割合は4.7%(前年度6.3%)となっている。不用額の主なものは、保健福祉費104億934万円、産業経済費48億2,275万円、総務費45億1,311万円である。

一般会計から特別会計への繰出金は、12会計で合計1,010億1,186万円(前年度12会計、1,003億2,367万円)、公営企業会計への繰出金は、5会計で合計70億3,841万円(前年度5会計、68億4,206万円)となっている。

一般会計から基金への積立ては、財政調整基金など19基金で合計282億2,389万円(前年度18基金、61億5,642万円)となっている。

表6　一般会計歳出款別決算状況（対前年度比較）　　（単位：千円、％）

区分	7年度 予算現額 (A)	7年度 決算（支出済）額 金額 (B)	7年度 決算（支出済）額 構成比率	7年度 執行率 (B)/(A)	6年度 決算（支出済）額 金額 (C)	6年度 決算（支出済）額 構成比率	対前年度比較 増減額 (D)-(B)-(C)	対前年度比較 比率 (D)/(C)
議会費	1,604,270	1,535,314	0.2	95.7	1,547,226	0.3	△ 11,913	△ 0.8
総務費	59,271,835	53,264,619	8.4	89.9	48,110,801	7.8	5,153,817	10.7
保健福祉費	198,865,917	184,760,180	29.1	92.9	188,943,953	30.7	△ 4,183,773	△ 2.2
子ども家庭費	89,221,354	86,702,452	13.7	97.2	75,853,331	12.3	10,849,121	14.3
環境費	22,151,495	20,550,418	3.2	92.8	37,901,780	6.2	△17,351,363	△ 45.8
労働費	594,600	550,556	0.1	92.6	455,647	0.1	94,910	20.8
農林水産業費	2,760,939	2,433,102	0.4	88.1	2,249,011	0.4	184,092	8.2
産業経済費	51,738,739	45,691,062	7.2	88.3	41,924,671	6.8	3,766,391	9.0
土木費	41,731,836	31,823,403	5.0	76.3	33,694,618	5.5	△ 1,871,216	△ 5.6
港湾費	12,790,001	11,016,371	1.7	86.1	10,028,826	1.6	987,545	9.8
建築行政費	9,508,855	7,033,586	1.1	74.0	8,443,019	1.4	△ 1,409,433	△ 16.7
消防費	13,112,988	12,674,596	2.0	96.7	13,479,151	2.2	△ 804,555	△ 6.0
教育費	88,333,593	76,583,818	12.1	86.7	73,945,433	12.0	2,638,385	3.6
災害復旧費	591,826	156,638	0.0	26.5	173,442	0.0	△ 16,803	△ 9.7
諸支出金	102,116,725	100,264,987	15.8	98.2	79,144,957	12.9	21,120,029	26.7
予備費	300,000	0	0	0	0	0	0	—
計	694,694,973	635,041,100	100.0	91.4	615,895,866	100.0	19,145,234	3.1
＜性質別内訳＞								
義務的経費		357,716,972	56.4		353,044,688	57.3	4,672,284	1.3
人件費		110,273,430	17.4		111,672,309	18.1	△ 1,398,879	△ 1.3
扶助費		180,231,080	28.4		175,193,985	28.4	5,037,095	2.9
公債費		67,212,462	10.6		66,178,394	10.8	1,034,068	1.6
投資的経費		56,845,478	8.9		74,892,538	12.1	△18,047,060	△ 24.1
その他の経費		220,478,650	34.7		187,958,640	30.6	32,520,010	17.3
＜繰出金・基金積立金の内訳＞								
特別会計繰出金		101,011,860	15.9		100,323,669	16.3	688,191	0.7
公営企業会計繰出金		7,038,406	1.1		6,842,059	1.1	196,347	2.9
基金積立金		28,223,888	4.4		6,156,420	1.0	22,067,468	358.4

注1　性質別内訳の「その他の経費」は、貸付金、物件費、補助費などである。
　2　義務的経費、投資的経費、扶助費、公債費、繰出金については、巻末の「用語の説明」を参照

表7　一般会計歳出款別状況（予算現額、支出済額、翌年度繰越額、不用額）　（単位：千円、％）

区分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額				不用額	
			継続費逓次繰越	繰越明許費	事故繰越し	計 (C)	金額 (D)=(A)-(B)-(C)	予算現額に対する割合 (D)/(A)
議会費	1,604,270	1,535,314	0	0	0	0	68,956	4.3
総務費	59,271,835	53,264,619	0	1,494,108	0	1,494,108	4,513,108	7.6
保健福祉費	198,865,917	184,760,180	0	3,696,398	0	3,696,398	10,409,339	5.2
子ども家庭費	89,221,354	86,702,452	0	417,437	0	417,437	2,101,465	2.4
環境費	22,151,495	20,550,418	0	148,542	0	148,542	1,452,535	6.6
労働費	594,600	550,556	0	0	0	0	44,044	7.4
農林水産業費	2,760,939	2,433,102	0	125,357	0	125,357	202,480	7.3
産業経済費	51,738,739	45,691,062	0	1,224,931	0	1,224,931	4,822,746	9.3
土木費	41,731,836	31,823,403	0	8,424,649	0	8,424,649	1,483,784	3.6
港湾費	12,790,001	11,016,371	0	1,130,391	0	1,130,391	643,239	5.0
建築行政費	9,508,855	7,033,586	0	2,113,264	0	2,113,264	362,005	3.8
消防費	13,112,988	12,674,596	0	0	0	0	438,392	3.3
教育費	88,333,593	76,583,818	0	7,424,943	0	7,424,943	4,324,832	4.9
災害復旧費	591,826	156,638	0	278,262	0	278,262	156,926	26.5
諸支出金	102,116,725	100,264,987	0	433,200	0	433,200	1,418,538	1.4
予備費	300,000	0	0	0	0	0	300,000	100.0
計	694,694,973	635,041,100	0	26,911,482	0	26,911,482	32,742,391	4.7

注　予算現額、翌年度繰越額（継続費逓次繰越、繰越明許費、事故繰越し）については、巻末の「用語の説明」を参照

3　特別会計

(1)　決算規模

特別会計は、特定の事業を行うため、又は特定の歳入をもって特定の歳出に充て一般の歳入歳出と区分して経理するため、条例に基づき設置されている。

本市では国民健康保険など20会計で、これら特別会計全体の決算額は、次のとおりである。

歳入　4,392億5,528万4,514円
歳出　4,260億6,975万3,189円
歳入歳出差引残額　131億8,553万1,325円

(2)　収支状況

特別会計決算の収支状況は、表8のとおりである。

特別会計全体の形式収支は131億8,553万円の黒字(前年度133億5,629万円の黒字)、実質収支は128億9,058万円の黒字(前年度132億1,112万円の黒字)、単年度収支は3億2,054万円の赤字(前年度9億1,509万円の黒字)となっている。

表8　特別会計決算収支状況（合計）　（単位：千円）

区　分	7 年 度	6 年 度	増 減 額
歳入決算額 (A)	439,255,285	419,500,380	19,754,905
歳出決算額 (B)	426,069,753	406,144,087	19,925,666
形式収支 (C) (A) - (B)	13,185,531	13,356,293	△ 170,761
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	294,951	145,171	149,780
実質収支 (E) (C) - (D)	12,890,580	13,211,122	△ 320,541
単年度収支 (F) (E)-前年度の(E)	△ 320,541	915,095	△ 1,235,636

注　形式収支、実質収支、単年度収支については、巻末の「用語の説明」を参照

(3) 歳　　入

特別会計の歳入決算は、次のとおりである。

予算現額	4,449億1,854万6,000円
調定額	4,448億4,403万1,295円
収入済額	4,392億5,528万4,514円
不納欠損額	9億4,488万7,443円
収入未済額	47億2,517万9,562円

表9　特別会計歳入決算状況（対前年度比較）　（単位：千円、％）

会計名	７年度決算額				６年度決算額	対前年度比較	
	総計（A）	収入率	うち市債額	うち一般会計繰入金	（B）	増減額（C）（A）−（B）	比率（C）/（B）
国民健康保険	97,015,895	96.0	−	10,477,157	97,231,526	△ 215,631	△ 0.2
食肉センター	410,901	100.0	11,000	209,915	406,350	4,550	1.1
卸売市場	1,090,008	98.9	122,000	158,134	1,196,720	△ 106,712	△ 8.9
渡船	640,736	100.0	−	314,476	604,361	36,374	6.0
土地区画整理	4,631,083	100.0	2,192,800	1,158,030	3,948,027	683,055	17.3
土地区画整理事業清算	1,659	21.0			1,516	143	9.4
港湾整備	9,991,810	99.8	1,754,000	461	8,769,188	1,222,621	13.9
公債償還	185,807,601	100.0	65,156,000	67,526,741	168,894,218	16,913,383	10.0
住宅新築資金等貸付	281,338	60.0	−	−	277,230	4,108	1.5
土地取得	1,164,360	100.0	245,700	5,639	1,956,152	△ 791,792	△ 40.5
駐車場	1,024,320	100.0			920,914	103,406	11.2
母子父子寡婦福祉資金	363,599	37.3	−	14,175	242,936	120,663	49.7
産業用地整備	704,192	100.0	−	−	1,380,585	△ 676,393	△ 49.0
漁業集落排水	46,160	100.0	−	36,293	42,880	3,280	7.7
介護保険	111,546,388	99.6	−	16,266,567	110,726,646	819,742	0.7
空港関連用地整備	189,396	100.0	−	−	189,805	△ 409	△ 0.2
臨海部産業用地貸付	466,203	100.0	−	−	669,932	△ 203,729	△ 30.4
後期高齢者医療	20,554,142	98.7	−	4,844,273	19,454,357	1,099,785	5.7
市民太陽光発電所	268,990	100.0			276,282	△ 7,292	△ 2.6
市立病院機構病院事業債管理	3,056,505	100.0	1,113,500	−	2,310,753	745,752	32.3
計	439,255,285	98.7	70,595,000	101,011,860	419,500,380	19,754,905	4.7

ア　決算状況

特別会計全体の収入済額は4,392億5,528万円で、前年度と比べると197億5,490万円、4.7％の増となっている。この主な理由は、公債償還特別会計が169億1,338万円増加したことなどによる。

各会計別にみると、母子父子寡婦福祉資金特別会計が49.7％の増となっているが、これは、前年度からの繰越金が増加したことによる。また、市立病院機構病院事業債管理特別会計が32.3％の増となっているが、これは、起債償還額が増加したことなどによる。

収入率は98.7％（前年度98.7％）で、これを会計別にみると、食肉センター特別会計など12会計が100％、次いで港湾整備特別会計が99.8％となっているが、貸付事業を運営している住宅新築資金等貸付特別会計は60.0％、母子父子寡婦福祉資金特別会計は37.3％と前年度と同様に低い状況にある。

収入未済額は、特別会計全体で47億2,518万円、調定額に対する割合は1.1％（前年度46億

2,223 万円、1.1%)となっており、前年度に比べ増加している。収入未済額の主なものは、国民健康保険特別会計 33 億 408 万円が大部分を占めるほか、母子父子寡婦福祉資金特別会計 6 億 1,250 万円、介護保険特別会計 3 億 3,863 万円などとなっている。

不納欠損額は、特別会計全体で 9 億 4,489 万円、調定額に対する割合は 0.2%(前年度 9 億 401 万円、0.2%)で、国民健康保険特別会計が 7 億 8,164 万円と全体の 82.7%を占めている。

イ　繰入金

一般会計からの繰入金は、公債償還特別会計への繰入金 675 億 2,674 万円のほか、介護保険特別会計など 11 会計に合計 334 億 8,512 万円（前年度 11 会計、337 億 8,150 万円）が繰り入れられているが、これを会計別にみると、介護保険特別会計 162 億 6,657 万円、国民健康保険特別会計 104 億 7,716 万円、後期高齢者医療特別会計 48 億 4,427 万円などとなっている。

公債償還特別会計を除く 11 会計への繰入金を前年度と比べると 2 億 9,638 万円、0.9%の減となっている。この主な理由は、介護保険特別会計が 1 億 5,845 万円増加したものの、国民健康保険特別会計が 4 億 9,194 万円減少したことなどによる。

なお、基金からの繰入金は、公債償還特別会計に公債償還基金から 335 億 4,973 万円、介護保険特別会計に介護給付準備基金から 10 億円が、それぞれ繰り入れられている。

ウ　市債発行状況

特別会計における市債発行は、7 会計で行われており、当年度の発行額は合計 705 億 9,500 万円（前年度 6 会計、613 億 7,040 万円）で、公債償還特別会計 651 億 5,600 万円、土地区画整理事業特別会計 21 億 9,280 万円、市立病院機構病院事業債管理特別会計 11 億 1,350 万円などが主なものである。これを前年度と比べると、92 億 2,460 万円、15.0%の増となっている。この主な理由は、公債償還特別会計が 74 億 1,700 万円、港湾整備特別会計が 12 億 8,800 万円、それぞれ増加したことなどによる。

なお、市債元利償還額は、13 会計で合計 704 億 3,569 万円(前年度 13 会計、639 億 1,132 万円)となっている。

表10　特別会計歳入状況（予算現額、調定額、収入済額、不納欠損額、収入未済額）

（単位：千円、％）

会計名	予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額		不納欠損額		収入未済額	
			金額 (C)	調定額に対する割合（収入率） (C)/(B)	金額 (D)	調定額に対する割合 (D)/(B)	金額 (E)	調定額に対する割合 (E)/(B)
国民健康保険	96,636,382	101,082,681	97,015,895	96.0	781,639	0.8	3,304,083	3.3
食肉センター	404,000	410,901	410,901	100.0	0	0	0	0
卸売市場	962,100	1,102,086	1,090,008	98.9	0	0	12,078	1.1
渡船	504,979	640,736	640,736	100.0	0	0	0	0
土地区画整理	6,930,889	4,631,083	4,631,083	100.0	0	0	0	0
土地区画整理事業清算	300	7,897	1,659	21.0	0	0	6,237	79.0
港湾整備	6,359,792	10,012,062	9,991,810	99.8	0	0	20,252	0.2
公債償還	190,362,000	185,807,601	185,807,601	100.0	0	0	0	0
住宅新築資金等貸付	900	468,583	281,338	60.0	0	0	187,245	40.0
土地取得	4,214,394	1,164,360	1,164,360	100.0	0	0	0	0
駐車場	515,150	1,024,320	1,024,320	100.0	0	0	0	0
母子父子寡婦福祉資金	224,400	976,096	363,599	37.3	0	0	612,497	62.7
産業用地整備	1,887,400	704,192	704,192	100.0	0	0	0	0
漁業集落排水	41,400	46,160	46,160	100.0	0	0	0	0
介護保険	111,071,860	111,957,940	111,546,388	99.6	112,354	0.1	338,632	0.3
空港関連用地整備	41,500	189,396	189,396	100.0	0	0	0	0
臨海部産業用地貸付	468,600	466,203	466,203	100.0	0	0	0	0
後期高齢者医療	20,728,000	20,826,241	20,554,142	98.7	50,894	0.2	244,155	1.2
市民太陽光発電所	103,000	268,990	268,990	100.0	0	0	0	0
市立病院機構病院事業債管理	3,461,500	3,056,505	3,056,505	100.0	0	0	0	0
計	444,918,546	444,844,031	439,255,285	98.7	944,887	0.2	4,725,180	1.1

注　予算現額、調定額、不納欠損額、収入未済額については、巻末の「用語の説明」を参照

(4) 歳　　出

特別会計の歳出決算は、次のとおりである。

予　算　現　額	4,449億1,854万6,000円
支　出　済　額	4,260億6,975万3,189円
翌年度繰越額	28億　293万4,000円
不　用　額	160億4,585万8,811円

ア　決算状況

特別会計全体の支出済額は4,260億6,975万円で、前年度と比べると199億2,567万円、4.9%の増となっている。この主な理由は、公債償還特別会計が169億1,338万円増加したことなどによる。

予算現額に対する執行率は95.8%(前年度94.8%)で、これを会計別にみると、臨海部産業用地貸付特別会計が99.5%で最も高く、最も低いのは産業用地整備特別会計の0.3%となっている。

翌年度繰越額は28億293万円(前年度19億8,906万円)で、この内訳は、土地区画整理特別会計19億8,288万円、港湾整備特別会計8億199万円、渡船特別会計1,806万円、となっている。これらは、関係者との調整に日時を要したことなどにより、年度内の執行が困難となったことが主な理由である。

なお、不用額は160億4,586万円で、予算現額の3.6%(前年度203億4,603万円、4.7%)となっている。これを会計別にみると、公債償還特別会計45億5,440万円、土地取得特別会計30億5,003万円、国民健康保険特別会計21億242万円などとなっている。

イ　繰出金、基金積立金

一般会計への繰出金は10億5,026万円(前年度4,684万円)で、公債償還特別会計から7億2,425万円、介護保険特別会計から2億6,347万円、市民太陽光発電所特別会計から3,829万円、母子父子寡婦福祉資金特別会計から2,425万円となっている。

公債償還特別会計から公債償還基金に360億2,162万円、介護保険特別会計から介護給付準備基金に6億4,136万円、港湾整備特別会計から港湾整備事業基金に250万円をそれぞれ積み立てている。

表11　特別会計歳出決算状況（対前年度比較）　（単位：千円、％）

会計名	7年度決算額			翌年度繰越額	6年度決算額	対前年度比較	
	総計 (A)	執行率	うち公債償還特別会計繰出金		(B)	増減額 (C)=(A)-(B)	比率 (C)/(B)
国民健康保険	94,533,966	97.8	0	0	95,233,455	△ 699,489	△ 0.7
食肉センター	376,063	93.1	22,206	0	367,738	8,325	2.3
卸売市場	894,170	92.9	91,369	0	1,014,986	△ 120,816	△ 11.9
渡船	460,920	91.3	25,602	18,062	440,732	20,187	4.6
土地区画整理	4,325,087	62.4	490,147	1,982,378	3,735,916	589,171	15.8
土地区画整理事業清算	4	1.3	0	0	5	△ 1	△ 22.6
港湾整備	5,187,741	81.6	1,935,469	801,994	4,262,876	924,864	21.7
公債償還	185,807,601	97.6	0	0	168,894,218	16,913,383	10.0
住宅新築資金等貸付	115	12.8	0	0	54	61	111.7
土地取得	1,164,360	27.6	918,183	0	1,955,958	△ 791,598	△ 40.5
駐車場	221,251	42.9	0	0	247,900	△ 26,649	△ 10.8
母子父子寡婦福祉資金	88,125	39.3	48,728	0	16,839	71,286	423.3
産業用地整備	5,060	0.3	1,103	0	696,999	△ 691,940	△ 99.3
漁業集落排水	39,896	96.4	18,081	0	35,048	4,847	13.8
介護保険	109,442,087	98.5	0	0	107,377,686	2,064,402	1.9
空港関連用地整備	38,265	92.2	38,047	0	417	37,848	･･･
臨海部産業用地貸付	466,203	99.5	0	0	669,932	△ 203,729	△ 30.4
後期高齢者医療	19,881,781	95.9	0	0	18,797,870	1,083,911	5.8
市民太陽光発電所	80,554	78.2	25,000	0	84,702	△ 4,148	△ 4.9
市立病院機構病院事業債管理	3,056,505	88.3	1,943,005	0	2,310,753	745,752	32.3
計	426,069,753	95.8	5,556,941	2,802,934	406,144,087	19,925,666	4.9

4　基金

令和7年4月に「北九州市ボートレースによる未来のまちづくり投資基金」が設置され、当年度末現在の基金数は、財産の維持、資金の積立てのための基金が25、資金運用のための基金が1の合計26基金となっている。これらの基金の当年度中の積立による増は650億3,207万円、取崩等による減は429億4,013万円で、当年度末現在高は3,319億7,236万円となっている。

5　市債残高及び債務負担行為

当年度末の市債残高は、一般会計と特別会計の合計で、前年度末と比べると200億6,295万円減の1兆2,427億684万円となっている。この主な理由は、総務債などが増加したものの、土木債や臨時財政対策債が減少したことによるもので、臨時財政対策債を除いた市債残高は、前年度末と比べると94億3,949万円減の8,417億4,806万円となっている。

将来の債務となる債務負担行為の当年度末現在高は、一般会計と特別会計の合計で、前年度末と比べると133億963万円増の1,098億2,078万円となっている。

表12　市債残高の推移（一般会計、特別会計）　（単位：千円）

区　　分	3	4	5	6	7
年度末市債残高	1,251,302,065	1,252,772,864	1,256,945,229	1,262,769,787	1,242,706,837
臨時財政対策債	412,191,356	416,885,456	417,193,905	411,582,233	400,958,777
その他の市債	839,110,708	835,887,408	839,751,324	851,187,554	841,748,060

注　臨時財政対策債については、巻末の「用語の説明」を参照

グラフ３　市債残高の推移

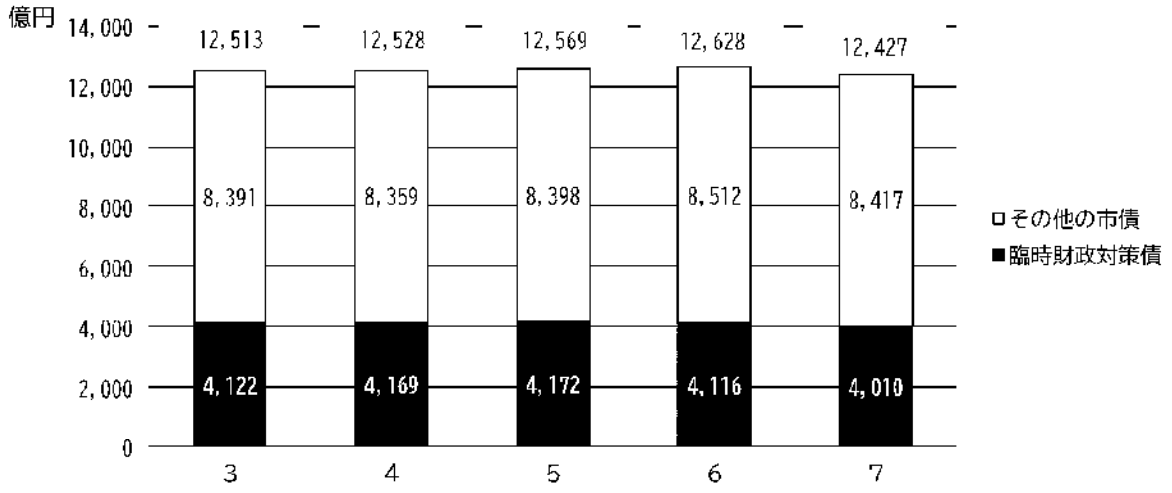


表13　債務負担行為の状況（一般会計、特別会計）　（単位：千円）

区　　分	６年度末現在高	７年度負担額	７年度支出額	７年度末現在高
一　般　会　計	90,126,387	44,534,426	29,990,396	104,670,417
特　別　会　計	6,384,764	2,158,674	3,393,070	5,150,367
計	96,511,151	46,693,099	33,383,466	109,820,784

注　債務負担行為については、巻末の「用語の説明」を参照

意　　見

北九州市は、今後のまちづくりの方向性を示した「北九州市・新ビジョン（北九州市基本構想・基本計画）」に基づき、令和７年度は、都市の総合力を高め、世界中から新たな人、企業、投資を呼び込み、「まちの成長」と「市民の幸福」の好循環を実現するため、仕事と育児の両立を目指す親世代を応援するなど特に女性の視点に基づくまちづくりの推進や、風力発電関連産業の総合拠点形成の推進など、「成長への反転攻勢」に向けた施策に取り組んだ年であった。

令和７年度決算においては、前年度に完成した新日明工場建設事業費や物価高対応重点支援給付金事業等が減少したものの、「北九州市ボートレースによる未来のまちづくり投資基金」の創設や制度改正により拡大した児童手当が増加したことなどにより、一般会計と特別会計を合わせた総計決算額は、歳入では前年度比3.7%増の１兆782億4,744万円、歳出では3.8%増の１兆611億1,085万円となっている。

こうした中、今後の財政運営に当たっては、行政コストの縮減を図りつつ、税源の涵養につながる政策への重点化を図るなど自主財源の確保に努めていくことが必要である。

ついては、以下に述べる事項について、特に留意されたい。

＜健全な行財政運営について＞

本市ではこれまでも行財政改革に関する計画を適宜作成し、不断の取組を進めてきたところである。しかし、その計画を取り巻く状況は、ウクライナ情勢やイラン情勢に伴うエネルギーや食料など資源価格の高騰を始めとした物価上昇の影響など、新たな社会状況とともに刻々と変化している。

そうした中、歳入歳出両面からの財政の健全化を図り、社会構造の変化に対応し、柔軟で機動的な意思決定が可能となる行政組織に生まれ変わるため「北九州市政変革推進プラン」に基づき、令和７年度も北九州市政変革アクションプランが策定されている。

それらに基づき、行財政運営のカタチを変えることで、将来に向けて都市の総合力を高めることを目指している。基本構想等に基づいた行財政運営を将来にわたって着実に進め、未来への挑戦を続ける都市としての持続可能性を保ち、安心安定した生活環境を次世代に引き継ぐべく、市政変革に努められたい。

＜歳入の確保について＞

歳入を確保するためには、収入率の向上と収入未済額の縮減は重要な課題である。このため、本市においては、「北九州市債権管理推進本部」を設置し、一貫してこれらの課題解決に取り組ん

でいる。

当年度においては、物価高騰、またそれに伴う実質賃金の低下など、昨今の社会経済動向を踏まえ、納付が困難な場合には、その状況に十分配慮の上、適切に対応するとともに、納付資力があるにもかかわらず、納付意思のない滞納者に対しては、厳正に滞納処分を行うなど、適正な債権管理の推進を継続した。

その結果、市税の収入率は98.3%（前年度98.4%）と高い水準を維持しており、一定の成果を収めている。当年度の市税調定額は、定額減税の影響がなくなったことにより、個人市民税が増加したことなどから、前年度と比べて112億2,552万円増加したものの、収入未済額は、前年度と比べて3億1,253万円増の31億1,141万円となっている。

引き続き、「北九州市債権管理条例」に基づく適正な債権管理を行い、債権所管部署相互の連携を進め、より一層効率的、効果的な債権回収を実施するとともに、市民負担の公平性を図ることを期待する。

また、ふるさと寄附金が、ものづくりのまちならではの返礼品（ドライヤーや掃除機）の受付開始や、物価高騰によりトイレットペーパーや石鹸などの日用品の返礼品が好調だったことなどから、令和7年度の受入額は31億円超（寄附件数は約11万件）となり、過去最高となった。今後とも、貴重な財源として、更なる新規返礼品の開発を行うなど、収入の確保に努められたい。

このほか、当年度は公営競技事業会計から一般会計へ250億円の繰入れが行われた。そのうち200億円は、まちの成長と発展に資する公共施設の整備事業等に使うものとして、「北九州市ボートレースによる未来のまちづくり投資基金」に積み立てられた。今後も引き続き一般会計へ寄与するよう期待する。

＜歳出の見直しについて＞

持続可能な行財政状況の確保のためには、歳入の確保と同様、歳出の見直しも必要である。

見直しに当たっては、市民ニーズや少子高齢化、人口減少、物価高騰などの社会情勢の変化に対応するため、効果的な財源配分を行うことが重要である。当年度は北九州市政変革推進プランに基づき、歳入確保や既存事務事業の見直しなどによって生み出された財源を基本構想等に基づく重点施策に配分するなど、政策課題の解決に向けた取組が進められている。今後とも、経済性、効率性及び有効性の観点から、事務事業の見直しを進め、適切な財源配分に努められたい。

投資的経費は568億4,548万円と前年度と比べ180億4,706万円減少している。また、投資的経費の財源として活用する市債の残高（一般会計の臨時財政対策債を除く市債残高）は7,842億4,654万円で、前年度と比べ減少している。今後、大規模改修や更新のための多額な費用が必要になることが予想される中、北九州市政変革推進プランの取組において、公共施設を取り巻く環境の変化や施設の老朽化を踏まえた公共施設マネジメントの見直しを検討するとされている。

引き続き、適切な公共施設マネジメントの取組を着実に推進されたい。

＜特別会計の経営改善について＞

特別会計は、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理するもので、独立採算制が重視されるものである。したがって、一般会計からの繰入れにできる限り頼らない、より効率的な経営を目指し、更なる経営改善に努められたい。

なお、特別会計の中でも、比較的企業経営的な視点を求められる5特別会計（食肉センター、卸売市場、渡船、港湾整備、駐車場）について、言及する。

まず、食肉センター特別会計については、と畜頭数及び取扱金額が前年度に引き続き減少するとともに、老朽化した施設の維持補修費が増加し、依然として一般会計繰入金への依存度が高く、収支バランスの改善が課題となっている。引き続き施設の老朽化対策を適切に行い、更なる収入の確保及び経費の削減に取り組まれたい。

卸売市場特別会計については、青果の取扱量は増加に転じたものの、水産物の取扱量は漁獲量の減少などの影響により減少傾向が続いている。売上高については、物価高騰などの影響により、青果、水産物ともに増加している。引き続き市民への生鮮食料品の安定供給を維持するとともに、更なる収入の確保及び経費の削減に取り組み、健全経営に向けた努力を続けられたい。

渡船特別会計については、小倉航路は利用者数が前年度に比べ増加しているものの、若戸航路は利用者数が減少し、全体として減少している。引き続き安全で安定した運航を維持するとともに、利用者数の動向を見据えながら、健全経営に努められたい。

港湾整備特別会計については、太刀浦第2コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業の進捗により、前年度と比べ歳入歳出とも増額となっている。昨年度に引き続き単年度収支は黒字を維持している。今後とも新規航路の誘致や集貨、創貨を推進して貨物取扱量の増加を図るとともに、採算性を見据えた整備を推進するなど、安定した事業運営に努められたい。

駐車場特別会計については、令和6年度末の室町駐車場の廃止により、利用台数・使用料金ともに前年度に比べ減少したものの、単年度収支は黒字を維持している。今後の運営に関しては、各駐車場の老朽化に伴う長寿命化の推進が必要な状況となっていることから、「北九州市営駐車場マネジメント実行計画」を着実に推進していくとともに、引き続き適切な維持管理に努められたい。

会 計 別 決 算 状 況 等

一　般　会　計

1　歳　　入

(1) 款別決算状況

歳入の款別決算状況は、表14のとおりである。

歳入決算額の款別構成比についてみると、市税が29.9%で最も高く、次いで国庫支出金21.3%、地方交付税14.1%、諸収入11.0%、県支出金5.6%の順となっており、これら5科目で歳入の81.9%(前年度78.0%)を占めている。

以下、主な科目について述べる。

表14　歳入款別決算状況　　（単位：千円、％）

款	7年度 予算現額 (A)	7年度 決算額 金額 (B)	7年度 決算額 構成比率	予算比 (B)/(A)	6年度 決算額 金額 (C)	6年度 決算額 構成比率	対前年度比較 増減 (D)=(B)−(C)	対前年度比較 比率 (D)/(C)
1 市税	190,758,010	191,057,633	29.9	100.2	180,177,794	29.1	10,879,840	6.0
2 地方譲与税	3,239,000	3,064,450	0.5	94.6	3,063,637	0.5	813	0.0
3 利子割交付金	247,000	215,320	0.0	87.2	46,560	0.0	168,760	362.5
4 配当割交付金	680,000	944,936	0.1	139.0	958,369	0.2	△ 13,433	△ 1.4
5 株式等譲渡所得割交付金	350,000	1,596,029	0.2	456.0	1,344,606	0.2	251,423	18.7
6 分離課税所得割交付金	133,000	178,825	0.0	134.5	187,995	0.0	△ 9,170	△ 4.9
7 法人事業税交付金	2,712,000	2,816,916	0.4	103.9	2,819,864	0.5	∧ 2,948	∧ 0.1
8 地方消費税交付金	25,941,000	26,354,027	4.1	101.6	24,403,854	3.9	1,950,173	8.0
9 ゴルフ場利用税交付金	43,000	41,869	0.0	97.4	43,103	0.0	△ 1,234	△ 2.9
10 環境性能割交付金	738,000	730,724	0.1	91.6	712,585	0.1	18,139	2.5
11 軽油引取税交付金	5,810,000	5,888,373	0.9	101.3	6,028,271	1.0	△ 139,898	△ 2.3
12 国有提供施設等所在市町村助成交付金	30,000	38,415	0.0	128.1	37,651	0.0	764	2.0
13 地方特例交付金	1,085,000	1,061,187	0.2	97.8	6,236,609	1.0	△ 5,175,422	△ 83.0
14 地方交付税	89,080,120	90,092,768	14.1	101.1	83,236,657	13.4	6,856,111	8.2
15 交通安全対策特別交付金	258,000	262,570	0.0	98.0	277,334	0.0	∧ 14,764	∧ 5.3
16 分担金及び負担金	2,004,015	2,032,986	0.3	101.4	2,084,252	0.3	△ 51,265	△ 2.5
17 使用料及び手数料	14,992,692	14,461,994	2.3	96.5	14,629,663	2.4	△ 167,669	△ 1.1
18 国庫支出金	156,172,737	135,811,628	21.3	87.0	138,617,960	22.4	△ 2,806,333	△ 2.0
19 県支出金	38,166,566	35,975,488	5.6	94.3	33,259,578	5.4	2,715,910	8.2
20 財産収入	5,981,936	5,931,656	0.9	99.2	4,367,665	0.7	1,563,991	35.8
21 寄附金	4,476,950	3,820,863	0.6	85.3	2,995,284	0.5	825,579	27.6
22 繰入金	21,350,122	8,465,583	1.3	39.6	10,044,294	1.6	∧ 1,578,711	∧ 15.7
23 繰越金	3,904,561	3,904,561	0.6	100.0	3,057,716	0.5	846,845	27.7
24 諸収入	72,273,464	70,145,759	11.0	97.1	48,069,026	7.8	22,076,733	45.9
25 市債	54,187,800	34,097,600	5.3	62.9	53,100,100	8.6	△19,002,500	△ 35.8
計	694,694,973	638,992,160	100.0	92.0	619,800,427	100.0	19,191,733	3.1

ア 市　　税

市税の税目別決算状況は、表15のとおりである。

決算額は1,910億5,763万円(前年度1,801億7,779万円)で、前年度と比べると108億7,984万円、6.0%の増となっており、歳入全体に占める割合は29.9%である。

市税の税目別構成比では、市民税と固定資産税で83.2%を占めている。

主な税目の決算額を前年度と比べると、まず、市民税は86億6,119万円、11.6%の増と

なっている。この主な理由は、所得の増加により納税義務者数が増加したほか、令和6年度の定額減税の影響がなくなったことに伴い個人市民税が増加したこと、また、法人税収が堅調であったことに伴い、法人市民税が増加したことによる。

次に、固定資産税は17億7,107万円、2.4%の増となっている。この主な理由は、家屋について、新増築家屋による増加分が滅失による減少分を上回ったこと、償却資産について、既存設備の減価分を上回る新規設備投資があったことにより増加したことなどによる。

都市計画税は2億344万円、1.6%の増となっている。この主な理由は、家屋について、新増築家屋による増加分が滅失による減少分を上回ったことなどによる。

なお、不納欠損額は2億3,996万円(前年度2億88万円)で、前年度と比べると3,908万円、19.5%の増となっている。

また、収入未済額は31億1,141万円(前年度27億9,888万円)で、前年度と比べると3億1,253万円、11.2%の増となっている。この主なものは、市民税17億7,792万円、固定資産税9億7,253万円及び都市計画税2億1,900万円である。

表15　市税税目別決算状況　　(単位：千円、%)

税目	7年度		6年度		対前年度比較	
	決算額 (A)	構成比率	決算額 (B)	構成比率	増減 (C)=(A)−(B)	比率 (C)/(B)
市民税	83,624,278	43.8	74,963,091	41.6	8,661,187	11.6
固定資産税	75,415,279	39.5	73,644,211	40.9	1,771,069	2.4
軽自動車税	2,446,327	1.3	2,379,904	1.3	66,424	2.8
市たばこ税	7,330,789	3.8	7,428,939	4.1	△ 98,150	△ 1.3
鉱産税	23,797	0.0	24,740	0.0	△ 943	△ 3.8
特別土地保有税	0	0	0	0	0	−
入湯税	11,085	0.0	10,471	0.0	614	5.9
事業所税	7,629,993	4.0	7,403,938	4.1	226,056	3.1
都市計画税	12,858,323	6.7	12,654,886	7.0	203,437	1.6
環境未来税	1,303,792	0.7	1,261,097	0.7	42,695	3.4
宿泊税	413,970	0.2	406,518	0.2	7,452	1.8
計	191,057,633	100.0	180,177,794	100.0	10,879,840	6.0

イ　地方譲与税

決算額は30億6,445万円(前年度30億6,364万円)で、前年度と比べると81万円0.0%の増となっている。この主な理由は、地方揮発油譲与税が5,169万円、石油ガス譲与税が179万円、それぞれ減少したものの、自動車重量譲与税が4,662万円、森林環境譲与税が712万円、それぞれ増加したことによる。

ウ　法人事業税交付金

決算額は28億1,692万円(前年度28億1,986万円)で、前年度と比べると295万円、0.1%の減となっている。この主な理由は、企業の減収減益による法人事業税の減収に伴い、交付金総額が減少したことによる。

エ　地方消費税交付金

決算額は263億5,403万円(前年度244億385万円)で、前年度と比べると19億5,017万円、8.0%の増となっている。この主な理由は、物価の上昇などにより地方消費税が増収となったことに伴い、交付金総額が増加したことによる。

オ　軽油引取税交付金

決算額は58億8,837万円(前年度60億2,827万円)で、前年度と比べると1億3,990万円、2.3%の減となっている。この主な理由は、軽油引取量の減少による軽油引取税の減収に伴い、交付金総額が減少したことによる。

カ　地方特例交付金

決算額は10億6,119万円(前年度62億3,661万円)で、前年度と比べると51億7,542万円、83.0%の減となっている。この主な理由は、令和6年度に限り実施された特別税額控除（定額減税）の減に伴い、交付金が減少したことによる。

キ　地方交付税

決算額は900億9,277万円(前年度832億3,666万円)で、前年度と比べると68億5,611万円、8.2%の増となっている。この主な理由は、臨時財政対策債の発行可能が皆減したことにより、普通交付税が増加したことによる。

ク　分担金及び負担金

決算額は20億3,299万円(前年度20億8,425万円)で、前年度と比べると5,127万円、2.5%の減となっている。この主な理由は、民間保育所保育料の対象施設数が減少したことに伴い、子ども家庭費負担金が2,906万円、折尾駅周辺連続立体交差事業負担金の減により都市計画

費負担金が2,783万円、それぞれ減少したことによる。

分担金及び負担金の収入率は、94.1%（前年度94.2%）となっている。

なお、不納欠損額は1,457万円(前年度1,780万円)で、収入未済額は1億1,190万円(前年度1億950万円)である。

ケ　使用料及び手数料

決算額は144億6,199万円(前年度146億2,966万円)で、前年度と比べると1億6,767万円、1.1%の減となっている。この主な理由は、市営住宅入居戸数の減などにより建築管理使用料が1億3,467万円減少したことによる。

使用料及び手数料の収入率は、96.5%（前年度96.8%）となっている。

なお、不納欠損額は1,551万円(前年度1,509万円)で、収入未済額は5億1,484万円(前年度4億7,366万円)である。

コ　国庫支出金

決算額は1,358億1,163万円(前年度1,386億1,796万円)で、前年度と比べると28億633万円、2.0%の減となっている。この主な理由は、制度改正に伴う児童手当の増などにより子ども家庭費負担金が58億1,415万円、障害福祉サービス利用者の増加に伴う自立支援給付費の増などにより社会福祉費負担金が29億6,378万円、物価高対応子育て応援手当給付事業などにより子ども家庭費補助金が24億1,781万円、それぞれ増加したものの、物価高対策重点支援給付金事業の減などにより社会福祉費補助金が86億5,967万円、新日明工場完成等による循環型社会形成推進交付金の減などにより環境費補助金が70億1,433万円、それぞれ減少したことによる。

サ　県支出金

決算額は359億7,549万円(前年度332億5,958万円)で、前年度と比べると27億1,591万円、8.2%の増となっている。この主な理由は、障害福祉サービス利用者の増加に伴う自立支援給付費の増などにより社会福祉費負担金が10億1,191万円、認定こども園や幼稚園等への施設型給付負担金の増などにより子ども家庭費負担金が7億5,242万円、国勢調査の実施により統計調査費委託金が5億5,776万円、それぞれ増加したことによる。

シ　財産収入

決算額は59億3,166万円(前年度43億6,767万円)で、前年度と比べると15億6,399万円、35.8%の増となっている。この主な理由は、土地の売却件数が増加したことなどにより土地売払収入が7億1,527万円増加したことによる。

財産収入の収入率は、99.2%（前年度99.1%）となっている。

なお、収入未済額は4,898万円(前年度3,906万円)で、前年度と比べると991万円、25.4%の増となっている。この主な内訳は、土地及び建物貸付収入などに係るものである。

ス　寄　附　金

決算額は38億2,086万円(前年度29億9,528万円)で、前年度と比べると8億2,558万円、27.6%の増となっている。この主な理由は、都市計画費寄附金が1,746万円減少したものの、ふるさと寄附金の増などにより一般寄附金が6億7,548万円、企画費寄附金が1億316万円、それぞれ増加したことによる。

セ　繰　入　金

決算額は84億6,558万円(前年度100億4,429万円)で、前年度と比べると15億7,871万円、15.7%の減となっている。この主な理由は、令和7年度に新設されたボートレースによる未来のまちづくり投資基金繰入金が20億円、公債償還基金繰入金が9億9,723万円増加したものの、退職手当基金繰入金が25億8,931万円、財政調整基金繰入金が19億960万円、ＳＤＧｓ未来基金繰入金が5億8,627万円、それぞれ減少したことによる。

なお、繰入金の内訳は、特別会計からの繰入れが10億5,026万円、各基金からの繰入れが74億1,532万円となっている。

ソ　繰　越　金

決算額は39億456万円(前年度30億5,772万円)で、前年度と比べると8億4,685万円、27.7%の増となっている。

タ　諸　収　入

決算額は701億4,576万円(前年度480億6,903万円)で、前年度と比べると220億7,673万円、45.9%の増となっている。この主な理由は、公衆衛生費雑入が3億2,837万円、港湾費貸付金元利収入が2億373万円、それぞれ減少したものの、モーターボート競走事業収入が200億円、預託額の増により中小企業融資貸付金元利収入が15億6,453万円、環境費雑入が8億9,840万円、それぞれ増加したことなどによる。

諸収入の収入率は、97.5%（前年度96.5%）となっている。諸収入のうち雑入の主な内容は、廃棄物発電収入や他都市のごみ受入れなどによる環境費雑入が43億5,226万円、重度障害者医療給付費高額療養費返納金などによる社会福祉費雑入が13億9,340万円である。

なお、不納欠損額は8,321万円(前年度7,625万円)で、前年度と比べると696万円、9.1%の増となっている。この主なものは、生活保護費雑入7,287万円、子ども家庭費雑入312万円である。

また、収入未済額は17億3,173万円(前年度16億5,519万円)で、前年度と比べると7,654

万円、4.6%の増となっている。この主なものは、生活保護費雑入 6 億 8,711 万円、奨学資金貸付金収入 4 億 6,971 万円などである。

チ 市　　債

決算額は 340 億 9,760 万円(前年度 531 億 10 万円)で、前年度と比べると 190 億 250 万円、35.8%の減となっている。この主な理由は、総務債が 22 億 9,250 万円増加したものの、環境債が 122 億 5,480 万円、臨時財政対策債が 60 億 4,600 万円、土木債が 14 億 340 万円、それぞれ減少したことによる。

(2) 一般財源と特定財源

歳入決算額の財源構成を一般財源と特定財源に分類すると、表 16 のとおりである。

一般財源は 3,669 億 8,190 万円(前年度 3,391 億 4,229 万円)で、前年度と比べると 278 億 3,961 万円、8.2%の増、歳入決算額に占める構成比率は 57.4%(前年度 54.7%)となっている。

特定財源は 2,720 億 1,027 万円(前年度 2,806 億 5,814 万円)で、前年度と比べると 86 億 4,788 万円、3.1%の減、歳入決算額に占める構成比率は 42.6%(前年度 45.3%)となっている。

(3) 自主財源と依存財源

歳入決算額の財源構成を自主財源と依存財源に分類すると、表 17 のとおりである。

自主財源は 2,998 億 2,103 万円(前年度 2,654 億 2,569 万円)で、前年度と比べると 343 億 9,534 万円、13.0%の増、歳入決算額に占める構成比率は 46.9%(前年度 42.8%)となっている。

依存財源は 3,391 億 7,113 万円(前年度 3,543 億 7,473 万円)で、前年度と比べると 152 億 361 万円、4.3%の減、歳入決算額に占める構成比率は 53.1%(前年度 57.2%)となっている。

その結果、自主財源比率が、依存財源比率を下回った。

表16　一般・特定財源別分類　　（単位：千円、％）

区分		7年度 決算額 (A)	7年度 構成比率	6年度 決算額 (B)	6年度 構成比率	対前年度比較 増減 (C)=(A)−(B)	対前年度比較 比率 (C)/(B)
一般財源	市税	191,057,633	29.9	180,177,794	29.1	10,879,840	6.0
	地方譲与税	3,064,450	0.5	3,063,637	0.5	813	0.0
	利子割交付金	215,320	0.0	46,560	0.0	168,760	362.5
	配当割交付金	944,936	0.1	958,369	0.2	△ 13,433	△ 1.4
	株式等譲渡所得割交付金	1,596,029	0.2	1,344,606	0.2	251,423	18.7
	分離課税所得割交付金	178,825	0.0	187,995	0.0	△ 9,170	△ 4.9
	法人事業税交付金	2,816,916	0.4	2,819,564	0.5	△ 2,948	△ 0.1
	地方消費税交付金	26,354,027	4.1	24,403,854	3.9	1,950,173	8.0
	ゴルフ場利用税交付金	41,869	0.0	43,103	0.0	△ 1,234	△ 2.9
	環境性能割交付金	730,724	0.1	712,585	0.1	18,139	2.5
	軽油引取税交付金	5,888,373	0.9	6,028,271	1.0	△ 139,898	△ 2.3
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	38,415	0.0	37,651	0.0	764	2.0
	地方特例交付金	1,061,187	0.2	6,236,609	1.0	△ 5,175,422	△ 83.0
	地方交付税	90,092,768	14.1	83,236,657	13.4	6,856,111	8.2
	交通安全対策特別交付金	262,570	0.0	277,334	0.0	△ 14,764	△ 5.3
	使用料及び手数料	1,580,627	0.2	1,598,944	0.3	△ 18,317	△ 1.1
	国庫支出金	167,473	0.0	513,954	0.1	△ 346,482	△ 67.4
	県支出金	128,903	0.0	112,708	0.0	16,195	14.4
	財産収入	2,722,931	0.4	1,476,939	0.2	1,245,992	84.4
	寄附金	3,417,821	0.5	2,742,640	0.4	675,181	24.6
	繰入金	2,992,877	0.5	6,275,296	1.0	△ 3,282,419	△ 52.3
	繰越金	1,850,648	0.3	1,131,194	0.2	719,454	63.6
	諸収入	29,776,573	4.7	9,669,722	1.6	20,106,851	207.9
	市債	0	0	6,046,000	1.0	△ 6,046,000	△ 100.0
	計	**366,981,895**	**57.4**	**339,142,286**	**54.7**	**27,839,609**	**8.2**
特定財源	分担金及び負担金	2,032,986	0.3	2,084,252	0.3	△ 51,266	△ 2.5
	使用料及び手数料	12,881,367	2.0	13,030,719	2.1	△ 149,352	△ 1.1
	国庫支出金	135,644,155	21.2	138,104,006	22.3	△ 2,459,851	△ 1.8
	県支出金	35,846,585	5.6	33,146,670	5.3	2,699,715	8.1
	財産収入	3,208,725	0.5	2,890,726	0.5	317,999	11.0
	寄附金	403,042	0.1	252,644	0.0	150,398	59.5
	繰入金	5,472,706	0.9	3,768,998	0.6	1,703,708	45.2
	繰越金	2,053,913	0.3	1,926,522	0.3	127,391	6.6
	諸収入	40,369,186	6.3	38,399,304	6.2	1,969,882	5.1
	市債	34,097,600	5.3	47,054,100	7.6	△12,956,500	△ 27.5
	計	**272,010,265**	**42.6**	**280,658,141**	**45.3**	**△ 8,647,875**	**△ 3.1**
合計		638,992,160	100.0	619,800,427	100.0	19,191,733	3.1

表17　自主・依存財源別分類　　（単位：千円、％）

区分		7年度 決算額 (A)	7年度 構成比率	6年度 決算額 (B)	6年度 構成比率	対前年度比較 増減 (C)=(A)−(B)	対前年度比較 比率 (C)/(B)
自主財源	市税	191,057,633	29.9	180,177,794	29.1	10,879,840	6.0
	分担金及び負担金	2,032,986	0.3	2,084,252	0.3	△ 51,265	△ 2.5
	使用料及び手数料	14,461,994	2.3	14,629,663	2.4	△ 167,669	△ 1.1
	財産収入	5,931,656	0.9	4,367,665	0.7	1,563,991	35.8
	寄附金	3,820,863	0.6	2,995,284	0.5	825,579	27.6
	繰入金	8,465,583	1.3	10,044,294	1.6	△ 1,578,711	△ 15.7
	繰越金	3,904,561	0.6	3,057,716	0.5	846,845	27.7
	諸収入	70,145,759	11.0	48,069,026	7.8	22,076,733	45.9
	計	299,821,035	46.9	265,425,693	42.8	34,395,342	13.0
依存財源	地方譲与税	3,064,450	0.5	3,063,637	0.5	813	0.0
	利子割交付金	215,320	0.0	46,560	0.0	168,760	362.5
	配当割交付金	944,936	0.1	958,369	0.2	△ 13,433	△ 1.4
	株式等譲渡所得割交付金	1,596,029	0.2	1,344,606	0.2	251,423	18.7
	分離課税所得割交付金	178,825	0.0	187,995	0.0	△ 9,170	△ 4.9
	法人事業税交付金	2,816,916	0.4	2,819,864	0.5	△ 2,948	△ 0.1
	地方消費税交付金	26,354,027	4.1	24,403,854	3.9	1,950,173	8.0
	ゴルフ場利用税交付金	41,869	0.0	43,103	0.0	△ 1,234	△ 2.9
	環境性能割交付金	730,724	0.1	712,585	0.1	18,139	2.5
	軽油引取税交付金	5,888,373	0.9	6,028,271	1.0	△ 139,898	△ 2.3
	国有提供施設等所在市町村助成交付金	38,415	0.0	37,651	0.0	764	2.0
	地方特例交付金	1,061,187	0.2	6,236,609	1.0	△ 5,175,422	△ 83.0
	地方交付税	90,092,768	14.1	83,236,657	13.4	6,856,111	8.2
	交通安全対策特別交付金	262,570	0.0	277,334	0.0	△ 14,764	△ 5.3
	国庫支出金	135,811,628	21.3	138,617,960	22.4	△ 2,806,333	△ 2.0
	県支出金	35,975,488	5.6	33,259,578	5.4	2,715,910	8.2
	市債	34,097,600	5.3	53,100,100	8.6	△19,002,500	△ 35.8
	計	339,171,125	53.1	354,374,734	57.2	△15,203,609	△ 4.3
合計		638,992,160	100.0	619,800,427	100.0	19,191,733	3.1

2 歳　　出

(1) 款別決算状況

歳出の款別決算状況は、表18のとおりである。

歳出決算額の款別構成比についてみると、保健福祉費が29.1%で最も高く、次いで諸支出金15.8%、子ども家庭費13.7%、教育費12.1%、総務費8.4%、産業経済費7.2%及び土木費5.0%の順となっており、これらの合計だけで全体の91.2%を占めている。

以下、款別の決算状況は、次のとおりである。

表18　歳出款別決算状況　　(単位：千円、%)

款	7年度 予算現額 (A)	7年度 決算額 金額 (B)	7年度 決算額 構成比率	7年度 執行率 (B)/(A)	6年度 決算額 金額 (C)	6年度 決算額 構成比率	対前年度比較 増減額 (D)=(B)-(C)	対前年度比較 比率 (D)/(C)
1 議会費	1,604,270	1,535,314	0.2	95.7	1,547,226	0.3	△ 11,913	△ 0.8
2 総務費	59,271,835	53,264,619	8.4	89.9	48,110,801	7.8	5,153,817	10.7
3 保健福祉費	198,865,917	184,760,180	29.1	92.9	188,943,953	30.7	△ 4,183,773	△ 2.2
4 子ども家庭費	89,221,354	86,702,452	13.7	97.2	75,853,331	12.3	10,849,121	14.3
5 環境費	22,151,495	20,550,418	3.2	92.8	37,901,780	6.2	△ 17,351,363	△ 45.8
6 労働費	594,600	550,556	0.1	92.6	455,647	0.1	94,910	20.8
7 農林水産業費	2,760,939	2,433,102	0.4	88.1	2,249,011	0.4	184,092	8.2
8 産業経済費	51,738,739	45,691,062	7.2	88.3	41,924,671	6.8	3,766,391	9.0
9 土木費	41,731,836	31,823,403	5.0	76.3	33,694,618	5.5	△ 1,871,216	△ 5.6
10 港湾費	12,790,001	11,016,371	1.7	86.1	10,028,826	1.6	987,545	9.8
11 建築行政費	9,508,855	7,033,586	1.1	74.0	8,443,019	1.4	△ 1,409,433	△ 16.7
12 消防費	13,112,988	12,674,596	2.0	96.7	13,479,151	2.2	△ 804,555	△ 6.0
13 教育費	88,333,593	76,583,818	12.1	86.7	73,945,433	12.0	2,638,385	3.6
14 災害復旧費	591,826	156,638	0.0	26.5	173,442	0.0	△ 16,803	△ 9.7
15 諸支出金	102,116,725	100,264,987	15.8	98.2	79,144,957	12.9	21,120,029	26.7
16 予備費	300,000	0	0	0	0	0	0	−
計	694,694,973	635,041,100	100.0	91.4	615,895,866	100.0	19,145,234	3.1

ア 議会費

決算額は15億3,531万円(前年度15億4,723万円)、予算現額16億427万円に対する執行率は95.7%で、前年度と比べると1,191万円、0.8%の減となっている。

なお、不用額は6,896万円、予算現額に対する割合は4.3%である。

イ　総　務　費

決算額は532億6,162万円(前年度481億1,080万円)、予算現額592億7,184万円に対する執行率は89.9%で、前年度と比べると51億5,382万円、10.7%の増となっている。この主な理由は、職員費が定年延長の影響による退職者数減少に伴う退職手当の減などにより6億8,617万円減少したものの、文化振興費が埋蔵文化財センター移転事業の進捗などにより16億6,821万円、区役所費が門司港地域複合公共施設整備事業の実施などにより12億8,156万円、統計調査費が国勢調査の実施などにより5億5,785万円、それぞれ増加したことによる。

主な事業として、ＤＸ推進システム等経費33億7,707万円、市民センター管理運営経費23億6,875万円及びスポーツ施設維持管理経費18億3,175万円が執行されている。当年度において、埋蔵文化財センターが完成している。

区役所費4億6,741万円及び博物館費3億4,630万円など計14億9,411万円が、関係機関との協議等に日時を要したなどのため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は45億1,311万円、予算現額に対する割合は7.6%で、この主なものは、企画振興総務費10億2,469万円、賦課徴収費5億8,317万円、職員費5億1,480万円、戸籍住民基本台帳費4億1,602万円、事務管理費3億3,248万円及び市民総務費2億4,870万円である。

ウ　保健福祉費

決算額は1,847億6,018万円(前年度1,889億4,395万円)、予算現額1,988億6,592万円に対する執行率は92.9%で、前年度と比べると41億8,377万円、2.2%の減となっている。この主な理由は、障害者福祉費が障害福祉サービス事業（施設型）の利用者数の増などにより51億1,169万円増加したものの、社会福祉総務費が物価高対策重点支援給付金事業の支給世帯数の減などにより88億4,050万円、感染症対策費が新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の終了などにより10億1,484万円、それぞれ減少したことによる。

主な事業として、生活保護法に基づく扶助費406億9,369万円、障害福祉サービス事業(施設型）経費246億8,288万円、後期高齢者医療制度経費157億438万円及び障害児通所・入所支援経費120億4,272万円が執行されている。

扶助費(生活保護費追加給付分)16億円、社会福祉総務費7億6,950万円など計36億9,640万円が、適正な事業期間を確保できないなどのため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は104億934万円、予算現額に対する割合は5.2%で、この主なものは、社会福祉総務費31億4,569万円、扶助費（生活保護費）27億2,665万円、繰出金17億1,554万円及び障害者福祉費9億3,622万円である。

エ　子ども家庭費

決算額は867億245万円(前年度758億5,333万円)、予算現額892億2,135万円に対する執行率は97.2%で、前年度と比べると108億4,912万円、14.3%の増となっている。この主な理由は、子ども家庭総務費が子育てのための施設等利用給付事業の減などにより3億2,076万円減少したものの、子ども家庭支援費が児童手当制度の改正により支給対象児童数の増加や認定こども園が増加したことなどにより、107億7,458万円増加したことによる。

主な事業として、施設型給付経費303億9,410万円、児童手当195億6,690万円及び児童扶養手当48億1,783万円が執行されている。

子ども家庭支援費4億1,744万円が、適正な事業期間を確保できないなどのため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は21億147万円、予算現額に対する割合は2.4%で、この主なものは、子ども家庭支援費10億4,979万円及び子ども家庭総務費3億9,259万円である。

オ　環　境　費

決算額は205億5,042万円(前年度379億178万円)、予算現額221億5,150万円に対する執行率は92.8%で、前年度と比べると173億5,136万円、45.8%の減となっている。この主な理由は、工事費が新日明工場の管理運営費の増などにより4億2,261万円増加したものの、環境施設建設費が新日明工場建設事業終了などにより181億240万円減少したことによる。

主な事業として、焼却工場施設整備経費61億1,586万円、工場管理運営費43億3,796万円及びごみ処理委託経費29億6,613万円が執行されている。

環境保全費1億4,854万円が、関係者との調整に日時を要したなどのため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は14億5,254万円、予算現額に対する割合は6.6%で、この主なものは、環境保全費7億3,549万円及び環境施設建設費2億3,397万円である。

カ　労　働　費

決算額は5億5,056万円(前年度4億5,565万円)、予算現額5億9,460万円に対する執行率は92.6%で、前年度と比べると9,491万円、20.8%の増となっている。主な事業として、若者ワークプラザ北九州、U・Iターン応援プロジェクト運営事業経費1億3,238万円、高年齢者就業支援センター運営業務等経費8,267万円、北九州ゆめみらいワーク事業経費4,188万円が執行されている。

なお、不用額は4,404万円、予算現額に対する割合は7.4%である。

キ　農林水産業費

決算額は 24 億 3,310 万円(前年度 22 億 4,901 万円)、予算現額 27 億 6,094 万円に対する執行率は 88.1%で、前年度と比べると 1 億 8,409 万円、8.2%の増となっている。この主な理由は、漁港管理費が 3,628 万円、農地費が 3,370 万円、それぞれ減少したものの、漁港建設費が漁港の執行規模の増により 2 億 3,203 万円、増加したことによる。

主な事業として、漁港整備費 5 億 778 万円及び農業用施設財産維持管理事業経費 1 億 3,431 万円が執行されている。

農業振興費 6,938 万円及び漁港建設費 5,597 万円が、関係者との調整に日時を要したなどのため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は 2 億 248 万円、予算現額に対する割合は 7.3%で、この主なものは、農地費 9,058 万円、農業振興費 5,070 万円及び水産業振興費 1,923 万円である。

ク　産業経済費

決算額は 456 億 9,106 万円(前年度 419 億 2,467 万円)、予算現額 517 億 3,874 万円に対する執行率は 88.3%で、前年度と比べると 37 億 6,639 万円、9.0%の増となっている。この主な理由は、商工業振興費が中小企業融資制度に係る金融機関への預託金の増などにより 31 億 6,346 万円、学術振興費が公立大学法人北九州市立大学運営事業経費の増などにより 5 億 7,529 万円、それぞれ増加したことによる。

主な事業として、中小企業融資（預託金）320 億円、公立大学法人北九州市立大学運営事業経費 39 億 780 万円及び企業立地促進経費 19 億 9,035 万円が執行されている。

商工業振興費 11 億 8,480 万円など計 12 億 2,493 万円が、適正な事業期間を確保できないなどのため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は 48 億 2,275 万円、予算現額に対する割合は 9.3%で、この主なものは、商工業振興費 41 億 5,134 万円である。

ケ　土　木　費

決算額は 318 億 2,340 万円(前年度 336 億 9,462 万円)、予算現額 417 億 3,184 万円に対する執行率は 76.3%で、前年度と比べると 18 億 7,122 万円、5.6%の減となっている。この主な理由は、河川改良費が重点河川（小倉都心部）整備事業の進捗などにより 6 億 8,020 万円増加したものの、街路事業費が戸畑枝光線の事業進捗などにより 17 億 3,603 万円、道路新設改良費が恒見朽網線関連事業の進捗などにより 8 億 5,435 万円、都市計画総務費が北九州高速道路建設事業の進捗などにより 2 億 7,605 万円、それぞれ減少したことによる。

主な事業として、道路ネットワークの整備経費 36 億 818 万円、道路メンテナンス事業経費 21 億 5,818 万円、主要河川の整備経費 19 億 2,380 万円、公園緑地事業経費 14 億 7,691 万円及び若戸大橋・若戸トンネル長寿命化・維持管理事業経費 10 億 6,177 万円が執行され

ている。当年度において、（都）砂津長浜線、（都）下曽根駅前線、（市）楠橋楠北1号線及び折尾みんなのレール公園が完成している。

道路維持費26億4,369万円、街路事業費15億2,861万円、河川改良費12億2,780万円、道路新設改良費9億6,366万円及び都市計画総務費7億1,500万円など計84億2,465万円が、関係機関との協議等に日時を要したなどのため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は14億8,378万円、予算現額に対する割合は3.6%で、この主なものは、公園建設費5億4,802万円及び道路維持費2億430万円である。

コ　港　湾　費

決算額は110億1,637万円(前年度100億2,883万円)、予算現額127億9,000万円に対する執行率は86.1%で、前年度と比べると9億8,754万円、9.8%の増となっている。この主な理由は、埋立整備費が洋上風力関連産業用地整備事業の進捗などにより8億2,237万円減少したものの、港湾建設費が響灘臨海工業団地立地促進事業などにより9億9,220万円、港湾総務費が国庫返還金事業などにより7億4,972万円、それぞれ増加したことによる。

主な事業として、港湾整備国直轄事業負担金26億5,053万円、響灘東地区処分場整備事業経費18億6,970万円及び響灘臨海工業団地立地促進事業経費12億2,349万円が執行されている。当年度において、響灘東地区にＳＥＰ船等作業船基地が完成している。

港湾建設費4億8,777万円、埋立整備費4億8,665万円など計11億3,039万円が、関係者との調整等に日時を要したなどのため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は6億4,324万円、予算現額に対する割合は5.0%で、この主なものは、港湾建設費4億3,817万円である。

サ　建築行政費

決算額は70億3,359万円(前年度84億4,302万円)、予算現額95億886万円に対する執行率は74.0%で、前年度と比べると14億943万円、16.7%の減となっている。この主な理由は、住宅管理費が市営住宅維持管理事業の増などにより1億8,090万円増加したものの、公営住宅建設費が市営住宅整備事業の進捗などにより14億84万円減少したことによる。

主な事業として、市営住宅整備・管理事業経費48億1,340万円が執行されている。

公営住宅建設費10億7,729万円、既設住宅改善費9億8,345万円など計21億1,326万円が、適正な工期を確保できないなどのため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は3億6,201万円、予算現額に対する割合は3.8%で、この主なものは、建築総務費1億6,034万円、公営住宅建設費6,351万円及び既設住宅改善費4,966万円である。

シ　消　防　費

決算額は126億7,460万円(前年度134億7,915万円)、予算現額131億1,299万円に対す

る執行率は96.7%で、前年度と比べると8億456万円、6.0%の減となっている。この主な理由は、消防職員費が給与改定などにより6,865万円増加したものの、消防施設費が常備車両更新台数の減などにより9億2,095万円減少したことによる。

主な事業として、常備消防施設整備費11億5,858万円及び非常備消防施設整備費2億997万円が執行されている。当年度において、八幡東消防団第1分団本部、八幡東消防団第7分団本部が完成している。

なお、不用額は4億3,839万円、予算現額に対する割合は3.3%で、この主なものは、消防職員費3億6,035万円、常備消防費3,429万円である。

ス　教　育　費

決算額は765億8,382万円(前年度739億4,543万円)、予算現額883億3,359万円に対する執行率は86.7%で、前年度と比べると26億3,839万円、3.6%の増となっている。この主な理由は、学校整備費(小学校)が前年度の学校統合関連事業などにより4億9,275万円、学校管理費(小学校)が前年度の教師用教科書及び指導書の購入事業などにより2億8,378万円、それぞれ減少したものの、学校整備費(特別支援学校)が小倉北特別支援学校整備事業の進捗などにより19億2,165万円、学校保健費が給食食材価格高騰対応事業などにより4億3,266万円、学校管理費(中学校)が教師用教科書及び指導書の購入事業などにより2億4,395万円、それぞれ増加したことによる。

主な事業として、小倉北特別支援学校等整備事業経費33億7,533万円、学校給食維持運営経費(小学校、中学校)26億2,870万円、教材・教具等標準運営経費(小学校、中学校、特別支援学校)25億4,740万円、要保護、準要保護児童・生徒等就学援助経費(小学校、中学校)10億576万円及び学校施設老朽化対策事業経費7億9,525万円が執行されている。当年度において、小倉北特別支援学校、北九州中央高等学園が完成している。

学校整備費(小学校)40億1,842万円、学校整備費(中学校)30億5,505万円、図書館費1億7,953万円及び学校整備費(特別支援学校)1億7,194万円の計74億2,494万円が、適正な工期を確保できないなどのため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は43億2,483万円、予算現額に対する割合は4.9%で、この主なものは、職員費15億558万円、学校整備費(小学校)11億9,549万円及び学校整備費(中学校)4億7,914万円である。

セ　災害復旧費

決算額は1億5,664万円(前年度1億7,344万円)、予算現額5億9,183万円に対する執行率は26.5%で、前年度と比べると1,680万円の減となっている。この主な理由は、令和7年8月の豪雨により農林施設災害復旧費が6,296万円増加したものの、一般土木施設災害復旧費が繰越額の増により7,972万円減少したことによる。

一般土木施設災害復旧費 1 億 7,369 万円及び農林施設災害復旧費 1 億 457 万円の計 2 億 7,826 万円が、適正な工期を確保できないなどのため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は 1 億 5,693 万円、予算現額に対する割合は 26.5%で、この主なものは、一般土木施設災害復旧費 1 億 4,915 万円である。

ソ 諸 支 出 金

決算額は 1,002 億 6,499 万円(前年度 791 億 4,496 万円)、予算現額 1,021 億 1,673 万円に対する執行率は 98.2%で、前年度と比べると 211 億 2,003 万円、26.7%の増となっている。この主な理由は、公債償還基金積立金が 4 億 5,061 万円減少したものの、新たに設置したボートレースによる未来のまちづくり投資基金積立金が 200 億 3,710 万円増加したことによる。

主な執行内容は、公債償還特別会計繰出金 675 億 2,674 万円、ボートレースによる未来のまちづくり投資基金積立金 200 億 3,710 万円、下水道事業公営企業費 57 億 1,469 万円及び公債償還基金積立金 24 億 5,284 万円である。

上水道事業公営企業費 4 億 3,320 万円が、関係機関との協議に日時を要したため翌年度に繰り越されている。

なお、不用額は 14 億 1,854 万円、予算現額に対する割合は 1.4%で、この主なものは、公債償還特別会計繰出金 9 億 6,934 万円及び下水道事業公営企業費 4 億 1,697 万円である。

(2) 性質別決算状況

性質別決算状況は、表 19 のとおりである。

義務的経費は 3,577 億 1,697 万円(前年度 3,530 億 4,469 万円)で、前年度と比べると 46 億 7,228 万円、1.3%増加している。この主な理由は、人件費が減少したものの、扶助費が児童手当の制度改正による支給対象児童数の増や、障害福祉サービスの利用者数の増などにより増加し、公債費も増加したことによる。なお、これにより、歳出決算額に占める構成比率は 56.4%(前年度 57.3%)となっている。

投資的経費は 568 億 4,548 万円(前年度 748 億 9,254 万円)で、前年度と比べると 180 億 4,706 万円、24.1%減少している。この主な理由は、新日明工場建設事業終了などにより減少したことによる。これにより、歳出決算額に占める構成比率は 8.9%(前年度 12.1%)となっている。

その他の経費のうち、貸付金は 323 億 2,893 万円(前年度 312 億 1,726 万円)で、前年度と比べると 11 億 1,167 万円、3.6%増加している。この主な理由は、中小企業融資(預託金)の預託額が増加したことなどによる。また、補助費等は 327 億 2,643 万円(前年度 288 億 7,611 万円)で、前年度と比べると 38 億 5,033 万円、13.3%増加している。この主な理由は、給食食材価格高騰対応事業費や企業立地促進補助金が増加したことなどによる。

表19　性質別決算状況　　（単位：千円、％）

区分	7年度		6年度		対前年度比較	
	決算額	構成比率	決算額	構成比率	増減額	比率
義務的経費	357,716,972	56.4	353,044,688	57.3	4,672,284	1.3
人件費	110,273,430	17.4	111,672,309	18.1	△ 1,398,879	△ 1.3
扶助費	180,231,080	28.4	175,193,985	28.4	5,037,095	2.9
公債費	67,212,462	10.6	66,178,394	10.8	1,034,068	1.6
投資的経費	56,845,478	8.9	74,892,538	12.1	△ 18,047,060	△ 24.1
普通建設事業費	56,689,730	8.9	74,720,034	12.1	△ 18,030,304	△ 24.1
災害復旧事業費	155,748	0.0	172,504	0.0	△ 16,756	△ 9.7
その他の経費	220,478,650	34.7	187,958,640	30.6	32,520,010	17.3
積立金	28,223,888	4.4	6,156,419	1.0	22,067,469	358.4
投資及び出資金	862,921	0.1	603,733	0.1	259,188	42.9
貸付金	32,328,929	5.1	31,217,257	5.1	1,111,672	3.6
繰出金	49,189,495	7.8	49,335,889	8.0	△ 146,394	△ 0.3
物件費	69,407,217	10.9	64,528,092	10.5	4,879,125	7.6
維持補修費	7,739,766	1.2	7,241,143	1.2	498,623	6.9
補助費等	32,726,434	5.2	28,876,107	4.7	3,850,327	13.3
計	635,041,100	100.0	615,895,866	100.0	19,145,234	3.1

資料　財政・変革局

特　別　会　計

1　会計別決算状況

(1)　国民健康保険特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1国民健康保険料	18,760,253	14,746,370	774,868	3,257,896	14,873,114	△126,745	△0.9
2使用料及び手数料	76	76	0	0	65	11	16.6
3国庫支出金	137,869	137,869	0	0	109,266	28,603	26.2
4県支出金	69,499,570	69,499,570	0	0	70,106,636	△607,066	△0.9
5繰入金	10,477,157	10,477,157	0	0	10,969,097	△491,940	△4.5
6繰越金	1,998,071	1,998,071	0	0	1,035,242	962,829	93.0
7諸収入	209,685	156,783	6,772	46,186	138,106	18,677	13.5
計	101,082,681	97,015,895	781,639	3,304,083	97,231,526	△215,631	△0.2

歳　出　　（単位：千円）

款	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1総務費	1,834,616	1,664,427	0	170,189	1,556,228	108,199	7.0
2保険給付費	69,223,788	67,477,615	0	1,746,173	68,132,671	△655,056	△1.0
3国民健康保険事業費納付金	23,799,175	23,799,174	0	1	24,478,557	△679,083	△2.8
4保健事業費	799,003	674,194	0	124,809	680,932	△6,738	△1.0
5諸支出金	929,500	918,257	0	11,243	385,067	533,190	138.5
6予備費	50,000	0	0	50,000	0	0	−
計	96,636,382	94,533,966	0	2,102,416	95,233,455	△699,489	△0.7

この会計は、国民健康保険法の規定により一般会計と区分して経理を行うために設置されている。

国民健康保険制度は市町村ごとに運営されてきたが、平成30年4月からは、県も市町村とともに国民健康保険を担うこととなった。

歳入決算額は970億1,589万円(収入率96.0%)で、前年度と比べると2億1,563万円、0.2%の減となっている。この主な理由は、繰越金が9億6,283万円増加したものの、県支出金が6億707万円、繰入金が4億9,194万円、国民健康保険料が1億2,674万円それぞれ減少したことによる。

国民健康保険料の収入済額は147億4,637万円である。収入未済額は32億5,790万円(前年度31億2,519万円)、不納欠損額は7億7,487万円（前年度7億3,777万円）である。収入率は78.6%(前年度79.5%)で、区分別にみると、現年度分89.9%(前年度90.4%)、滞納繰越分21.5%(前年度22.9%)となっている。

なお、歳入には一般会計からの繰入金104億7,716万円(前年度109億6,910万円)が含まれている。

歳出決算額は945億3,397万円(執行率97.8%)で、前年度と比べると6億9,949万円、0.7%の減となっている。この主な理由は、諸支出金が5億3,319万円、総務費が1億820万円、それぞれ増加したものの、国民健康保険事業費納付金が6億7,908万円、保険給付費が6億5,506万円、それぞれ減少したことによる。

歳出の主なものは、保険給付費674億7,761万円(前年度681億3,267万円)である。

不用額は21億242万円、予算現額に対する割合は2.2%で、この主な理由は、保険給付費において一人当たり給付費が見込みを下回ったことによる。

歳入歳出差引残額は24億8,193万円(前年度19億9,807万円)で、翌年度に繰り越されている。

国民健康保険の加入状況は、世帯数114,065世帯、被保険者数159,986人で、前年度と比べると世帯数で3.8%の減、被保険者数で4.9%の減となっている。

医療費総額は781億8,721万円で、前年度と比べると1.2%の減となっている。また、一人当たりの年額の医療費は、488,713円となっており、一人当たりの受診件数は12.9件で、前年度と比べると医療費は3.9%の増、受診件数は前年度と同数となっている。

参考資料

＜国民健康保険の状況＞

区　　分	7年度(A)	6年度(B)	対前年度比較	
			増減(A-B)	増減率(%)
保険加入世帯数(世帯)	114,065	118,615	△4,550	△3.8
被保険者数(人)	159,986	168,185	△8,199	△4.9
医療費総額(千円)	78,187,210	79,134,103	△946,893	△1.2
一人当たり年額の医療費(円)	488,713	470,518	18,195	3.9
一人当たりの受診件数(件)	12.88	12.88	0.00	0.0

注　一人当たり年額の医療費及び受診件数は、医療費総額（療養給付費及び療養費）に係るものである。

(2) 食肉センター特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1使用料及び手数料	120,246	120,246	0	0	121,536	△1,290	△1.1
2財産収入	438	438	0	0	438		0.0
3繰入金	209,915	209,915	0	0	239,711	△29,796	△12.4
4繰越金	38,612	38,612	0	0	11,914	26,698	224.1
5諸収入	30,689	30,689	0	0	32,751	△2,062	△6.3
6市債	11,000	11,000	0	0	0	11,000	皆増
計	410,901	410,901	0	0	406,350	4,550	1.1

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1食肉センター費	403,800	376,063	0	27,737	367,738	8,325	2.3
1食肉センター費	381,594	353,857	0	27,737	344,000	9,857	2.9
2繰出金	22,206	22,206	0	0	23,738	△1,532	△6.5
2予備費	200	0	0	200	0	0	−
計	404,000	376,063	0	27,937	367,738	8,325	2.3

この会計は、牛、豚などの家畜を衛生的に処理し、安全で衛生的な食用肉などに加工する食肉センターを運営するために設置されている。

歳入決算額は4億1,090万円(収入率100.0%)で、前年度と比べると455万円、1.1%の増となっている。この主な理由は、一般会計からの繰入金が2,980万円減少したものの、前年度からの繰越金が2,670万円、市債が1,100万円、それぞれ増加したことによる。

歳出決算額は3億7,606万円(執行率93.1%)で、前年度と比べると833万円、2.3%の増となっている。この主な理由は、公債償還特別会計への繰出金が153万円減少したものの、施設設備等の維持補修費の増加により食肉センター費が986万円増加したことによる。

不用額は2,794万円、予算現額に対する割合は6.9%で、この主な理由は、食肉センター費における光熱水費が見込みを下回ったことなどによる。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分2,221万円である。

歳入歳出差引残額は3,484万円(前年度3,861万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度末での市債の残高は、3億8,644万円である。

食肉センター事業において、当年度のと畜頭数は 37,658 頭で、前年度と比べると 6.4%の減であり、取扱金額は 7,010 万円で、前年度と比べると 5.0%の減となっている。

参考資料

＜と畜状況＞

区　　分		７年度(A)	６年度(B)	対前年度比較	
				増減(A-B)	増減率(%)
牛	と畜頭数(頭)	7,803	7,846	△43	△0.5
	取扱金額(円)	28,004,340	28,158,624	△154,284	△0.5
豚	と畜頭数(頭)	29,853	32,382	△2,529	△7.8
	取扱金額(円)	42,092,730	45,658,620	△3,565,890	△7.8
馬	と畜頭数(頭)	0	0	0	－
	取扱金額(円)	0	0	0	－
子牛	と畜頭数(頭)	2	1	1	100
	取扱金額(円)	2,820	1,410	1410	100
山羊・羊	と畜頭数(頭)	0	0	0	－
	取扱金額(円)	0	0	0	－
計	と畜頭数(頭)	37,658	40,229	△2,571	△6.4
	取扱金額(円)	70,099,890	73,818,654	△3,718,764	△5.0

(3)　卸売市場特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1使用料及び手数料	451,939	447,468	0	4,471	444,103	3,365	0.8
2繰入金	158,134	158,134	0	0	166,921	△8,787	△5.3
3繰越金	181,734	181,734	0	0	135,224	46,510	34.4
4諸収入	180,468	172,861	0	7,607	201,365	△28,504	△14.2
5市債	122,000	122,000	0	0	243,000	△121,000	△49.8
6県支出金	7,811	7,811	0	0	6,106	1,705	27.9
計	1,102,086	1,090,008	0	12,078	1,196,720	△106,712	△8.9

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1卸売市場費	960,100	894,170	0	65,930	1,014,986	△120,816	△11.9
1卸売市場費	866,932	802,801	0	64,131	938,025	△135,224	△14.4
2繰出金	93,168	91,369	0	1,799	76,961	14,409	18.7
2予備費	2,000	0	0	2,000	0	0	−
計	962,100	894,170	0	67,930	1,014,986	△120,816	△11.9

この会計は、生鮮食料品の供給を通じて市民の食生活の安定を図るとともに、生産者にとって継続的で安定した出荷先を確保するため設けられた卸売市場の管理運営を行うために設置されている。

歳入決算額は10億9,001万円(収入率98.9%)で、前年度と比べると1億671万円、8.9%の減となっている。この主な理由は、前年度からの繰越金が4,651万円増加したものの、市債収入が1億2,100万円減少したことによる。

収入未済額は1,208万円(前年度1,233万円)で、この内訳は、雑入が761万円、卸売市場使用料447万円である。

なお、歳入には一般会計からの繰入金1億5,813万円(前年度1億6,692万円)、市債1億2,200万円(前年度2億4,300万円)が含まれている。

歳出決算額は8億9,417万円(執行率92.9%)で、前年度と比べると1億2,082万円、11.9%の減となっている。この主な理由は、前年度に完了した電気設備工事に係る工事負担金の減などにより、卸売市場費が1億3,522万円減少したことによる。

不用額は6,793万円、予算現額に対する割合は7.1%で、この主な理由は、光熱費や業務委託料の執行残である。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分9,137万円である。

歳入歳出差引残額は1億9,584万円(前年度1億8,173万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度末での市債の残高は、22億3,071万円である。

卸売市場における取扱量は、青果111,157t、水産物8,635t、売上高は、青果358億6,954万円、水産物115億9,681万円で、前年度と比べると、青果及び水産物の取扱量の合計は4.3%の増、売上高の合計は1.0%の増となっている。

この要因は、青果については、卸売業者の営業努力などにより取扱量、売上高ともに増加したことによる。水産物については、漁獲量の減少や消費者の魚離れなどの影響により、取扱量は減少したものの、物価の高騰により売上高は増加したことによる。

参考資料

<取扱実績>

区　　分		7年度(A)	6年度(B)	対前年度比較	
				増減(A-B)	増減率(%)
取扱量(t)	青果	111,157	105,926	5,232	4.9
	水産物	8,635	8,980	△345	△3.8
	計	119,792	114,905	4,887	4.3
売上高(千円)	青果	35,869,536	35,777,483	92,053	0.3
	水産物	11,596,807	11,205,144	391,662	3.5
	計	47,466,343	46,982,628	483,715	1.0

(4) 渡船特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1使用料及び手数料	54,792	54,792	0	0	54,738	54	0.1
2国庫支出金	70,030	70,030	0	0	82,578	△12,549	△15.2
3県支出金	35,931	35,931	0	0	38,038	△2,106	△5.5
4財産収入	267	267	0	0	694	△427	△61.5
5繰入金	314,476	314,476	0	0	285,424	29,052	10.2
6繰越金	163,629	163,629	0	0	141,738	21,891	15.4
7諸収入	1,611	1,611	0	0	1,151	459	39.9
計	640,736	640,736	0	0	604,361	36,374	6.0

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1渡船事業費	504,779	460,920	18,062	25,797	440,732	20,187	4.6
「1渡船事業費	479,176	435,318	18,062	25,796	415,581	19,736	4.7
」2繰出金	25,603	25,602	0	1	25,151	451	1.8
2予備費	200	0	0	200	0	0	−
計	504,979	460,920	18,062	25,997	440,732	20,187	4.6

この会計は、若戸航路及び小倉航路の船舶運航事業を運営するために設置されている。

歳入決算額は6億4,074万円(収入率100.0%)で、前年度と比べると3,637万円、6.0%の増となっている。この主な理由は、小倉航路に係る国庫支出金が1,255万円減少したものの、一般会計からの繰入金が2,905万円、前年度からの繰越金が2,189万円、それぞれ増加したことによる。

なお、歳入には一般会計からの繰入金3億1,448万円(前年度2億8,542万円)が含まれている。

歳出決算額は4億6,092万円(執行率91.3%)で、前年度と比べると2,019万円、4.6%の増となっている。この主な理由は、燃料費や委託料の増などにより、渡船事業費が1,974万円増加したことによる。

渡船事業費1,806万円が、小倉桟橋改修事業において関係者との調整等に日時を要したことなどにより、翌年度繰越しとなっている。

不用額は2,600万円、予算現額に対する割合は5.1%で、この主な理由は、渡船事業費の執行が見込みを下回ったことなどによる。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分2,560万円である。

歳入歳出差引残額は1億7,982万円(前年度1億6,363万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度末での市債の残高は、2億9,453万円である。

利用人員は、若戸航路429,780人、小倉航路48,169人、合計477,949人で、前年度と比べると小倉航路は増加したものの、若戸航路は減少し、全体としては0.3%の減となっている。

参考資料

＜利用状況＞

区　　分		7年度(A)	6年度(B)	対前年度比較	
				増減(A-B)	増減率(%)
利用人員(人)	若戸航路	429,780	432,190	△2,410	△0.6
	小倉航路	48,169	47,314	855	1.8
	計	477,949	479,504	△1,555	△0.3
渡船使用料収入(千円) ※若戸航路チャータークルージング料は含まず		54,109	53,916	192	0.4

(5) 土地区画整理特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1使用料及び手数料	9	9	0	0	816	△807	△98.9
2国庫支出金	920,076	920,076	0	0	635,038	285,038	44.9
3財産収入	143,906	143,906	0	0	5,100	138,807	・・・
4繰入金	1,158,030	1,158,030	0	0	1,180,210	△22,180	△1.9
5繰越金	212,111	212,111	0	0	344,819	△132,708	△38.5
6諸収入	4,150	4,150	0	0	2,545	1,606	63.1
7市債	2,192,800	2,192,800	0	0	1,779,500	413,300	23.2
計	4,631,083	4,631,083	0	0	3,948,027	683,055	17.3

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1土地区画整理事業費	6,930,889	4,325,087	1,982,878	622,924	3,735,916	589,171	15.8
1土地区画整理事業費	6,171,327	3,834,940	1,982,878	353,509	3,124,134	710,805	22.8
2繰出金	759,562	490,147	0	269,415	611,782	△121,634	△19.9
計	6,930,889	4,325,087	1,982,878	622,924	3,735,916	589,171	15.8

この会計は、土地区画整理事業を実施するために設置されている。

歳入決算額は46億3,108万円(収入率100.0%)で、前年度と比べると6億8,306万円、17.3%の増となっている。この主な理由は、前年度からの繰越金が1億3,271万円減少したものの、市債が4億1,330万円、国庫支出金が2億8,504万円、それぞれ増加したことによる。

なお、歳入には一般会計からの繰入金11億5,803万円(前年度11億8,021万円)、市債21億9,280万円(前年度17億7,950万円)が含まれている。

歳出決算額は43億2,509万円(執行率62.4%)で、前年度と比べると5億8,917万円、15.8%の増となっている。この主な理由は、繰出金が1億2,163万円減少したものの、土地区画整理事業費が7億1,081万円増加したことによる。

土地区画整理事業費19億8,288万円が、関係者との調整等に日時を要したことなどにより、翌年度繰越しとなっている。

不用額は6億2,292万円、予算現額に対する割合は9.0%で、この主な理由は、土地区画整理事業費における工事請負費などの執行残である。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分4億9,015万円である。

歳入歳出差引残額は3億600万円(前年度2億1,211万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度末での市債の残高は、119億1,559万円である。

対象の地区は折尾地区と旦過地区である。当年度においては、折尾地区は家屋移転補償、道路整備、宅地整備工事等を実施し、旦過地区は建物移転補償、立体換地建築物整備等を実施した。当年度末の進捗率は、事業費ベースで折尾地区は70.7%、旦過地区は55.0%となっている。

(6) 土地区画整理事業清算特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1 清算徴収金	6,385	148	0	6,237	148	0	0.0
2 繰越金	1,511	1,511	0	0	1,368	143	10.4
3 諸収入	0	0	0	0	0	0	−
計	7,897	1,659	0	6,237	1,516	143	9.4

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1 土地区画整理事業清算費	300	4	0	296	5	△1	△22.6
1 土地区画整理事業清算費	300	4	0	296	5	△1	△22.6
計	300	4	0	296	5	△1	△22.6

この会計は、土地区画整理事業の清算業務を行うために設置されている。

歳入決算額は 166 万円(収入率 21.0%)で、前年度と比べると 14 万円、9.4%の増となっている。この主な理由は、前年度からの繰越金が 14 万円増加したことによる。清算徴収金の収入率については、催告書の送付や電話催告等により滞納整理に努めているものの、依然として低い状態が続いている。

収入未済額は 624 万円(前年度 639 万円)で、全て清算徴収金である。

歳出決算額は 4 千円(執行率 1.3%)で、前年度と比べると 1 千円、22.6%の減となっている。

歳入歳出差引残額は 166 万円(前年度 151 万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度における清算業務の対象地区は、徳力地区である。

(7) 港湾整備特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1使用料及び手数料	2,933,386	2,962,608	0	778	2,932,150	30,458	1.0
2財産収入	249,538	249,538	0	0	167,471	82,067	49.0
3繰入金	388,790	388,790	0	0	649,658	△260,868	△40.2
4繰越金	4,506,312	4,506,312	0	0	4,421,300	85,012	1.9
5諸収入	150,036	130,562	0	19,474	132,610	△2,048	△1.5
6市債	1,754,000	1,754,000	0	0	466,000	1,288,000	276.4
計	10,012,062	9,991,810	0	20,252	8,769,188	1,222,621	13.9

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1港湾整備事業費	6,354,792	5,187,741	801,994	365,057	4,262,876	924,864	21.7
1機能施設事業費	4,372,818	3,249,772	801,994	321,052	1,999,951	1,249,821	62.5
2繰出金	1,979,474	1,935,469	0	44,005	2,262,375	△326,907	△14.4
3基金積立金	2,500	2,500	0	0	550	1,950	354.5
2予備費	5,000	0	0	5,000	0	0	－
計	6,359,792	5,187,741	801,994	370,057	4,262,876	924,864	21.7

この会計は、荷役機械、荷さばき地等の港湾施設の整備及び管理を目的とする機能施設事業を実施するために設置されている。

歳入決算額は99億9,181万円(収入率99.8%)で、前年度と比べると12億2,262万円、13.9%の増となっている。この主な理由は、公債償還特別会計からの繰入金が2億6,083万円減少したものの、市債が12億8,800万円、前年度からの繰越金が8,501万円、それぞれ増加したことによる。

収入未済額は2,025万円(前年度2,107万円)で、この内訳は、諸収入である延滞金1,947万円、使用料及び手数料である機能施設事業使用料78万円である。

繰入金は3億8,879万円で、公債償還基金に積み立てていたものを市債の償還のために繰り入れたものなどである。

なお、歳入には一般会計からの繰入金46万円(前年度50万円)、市債17億5,400万円(前年度4億6,600万円)が含まれている。

歳出決算額は51億8,774万円(執行率81.6%)で、前年度と比べると9億2,486万円、21.7%の増となっている。この主な理由は、公債償還特別会計への繰出金が3億2,691万円減少し

たものの、太刀浦第2コンテナターミナルコンテナクレーン更新工事等の進捗により機能施設事業費が12億4,982万円増加したことによる。

太刀浦第2コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業等において、関係者との調整等に日時を要したことにより、機能施設事業費8億199万円が翌年度繰越しとなっている。

不用額は3億7,006万円、予算現額に対する割合は5.8%で、この主な理由は、機能施設事業費において太刀浦第2コンテナターミナルコンテナクレーン更新工事の入札執行残などによる。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分19億3,547万円である。

歳入歳出差引残額は48億407万円(前年度45億631万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度末での市債の残高は、216億6,795万円である。

(8) 公債償還特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1繰入金	120,651,601	120,651,601	0	0	111,155,218	9,496,383	8.5
2市債	65,156,000	65,156,000	0	0	57,739,000	7,417,000	12.8
計	185,807,601	185,807,601	0	0	168,894,218	16,913,383	10.0

歳　出　　（単位：千円）

款	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1公債費	186,129,574	181,575,175	0	4,554,399	165,683,303	15,891,872	9.6
2繰出金	4,232,426	4,232,426	0	0	3,210,915	1,021,511	31.8
計	190,362,000	185,807,601	0	4,554,399	168,894,218	16,913,383	10.0

この会計は、一般会計、特別会計、上水道事業会計、病院事業会計、下水道事業会計及び公営競技事業会計に係る市債の元利償還事務を統括して行うために設置されており、市債を償還する場合はこの会計を通して償還される。

決算額は歳入、歳出とも1,858億760万円(歳入の収入率100.0%、歳出の執行率97.6%)で、前年度と比べると169億1,338万円、10.0%の増となっている。この主な理由は、市債の償還額が増加したことによる。

歳入における繰入金は、1,206億5,160万円（前年度1,111億5,522万円）で、その内訳は、一般会計からの繰入金675億2,674万円（前年度665億4,217万円)、特別会計からの繰入金55億5,694万円（前年度67億4,138万円)、上水道事業会計からの繰入金7,201万円（前年度7,227万円)、病院事業会計からの繰入金3億6,136万円（前年度3億5,952万円)、下水道事業会計からの繰入金124億8,648万円（前年度125億7,243万円)、公営競技事業会計からの繰入金10億9,834万円（前年度10億8,551万円）及び公債償還基金からの繰入金335億4,973万円（前年度237億8,193万円）となっている。

市債(借換債)は651億5,600万円で、前年度と比べると74億1,700万円、12.8%の増となっている。

歳出における公債費は、元金1,345億4,237万円（前年度1,184億9,068万円)、利子105億8,459万円（前年度96億2,604万円)、計1,451億2,696万円（前年度1,281億1,672万円）で、その内訳は、一般会計に係る元金及び利子350億1,518万円、特別会計に係る元金及び利子697億1,420万円、下水道事業会計に係る元金及び利子96億5,846万円、公営競技事業会計に係る元金及び利子9億8,848万円などとなっている。

このほか、一時借入金利子が8,664万円、公債諸費が3億3,996万円、公債償還基金積立

金が360億2,162万円となっている。

不用額は45億5,440万円、予算現額に対する割合は2.4%で、この主な理由は、市債の償還額が予定よりも減少したことによる。

参考資料

＜元利償還額＞　（単位：千円）

区　　分	7年度(A)	6年度(B)	対前年度比較	
			増減(A-B)	増減率(%)
元　　金	134,542,373	118,490,685	16,051,689	13.5
利　　子	10,584,589	9,626,040	958,549	10.0
計	145,126,962	128,116,725	17,010,238	13.3

注　上水道事業会計、病院事業会計、下水道事業会計及び公営競技事業会計分を含む。

(9) 住宅新築資金等貸付特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1県支出金	0	0	0	0	1,413	△1,413	皆減
2繰越金	277,176	277,176	0	0	273,920	3,256	1.2
3諸収入	191,407	4,162	0	187,245	1,897	2,264	119.3
計	468,583	281,338	0	187,245	277,230	4,108	1.5

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1住宅新築資金等貸付事業費	900	115	0	785	54	61	111.7
1住宅新築資金等貸付事業費	900	115	0	785	54	61	111.7
計	900	115	0	785	54	61	111.7

この会計は、住宅の新築、改修、改築又は宅地を取得する者に対して貸付事業を行うために設置されているが、平成8年度末をもって新規貸付が廃止され、平成9年度以降は貸付金の償還事務のみが行われている。

歳入決算額は2億8,134万円(収入率60.0%)で、前年度と比べると411万円、1.5%の増となっている。

貸付金元利収入は416万円(前年度190万円)、収入未済額は1億8,724万円(前年度1億9,141万円)、不納欠損額は0円（前年度951万円）で、収入率は2.2%（前年度0.9%）となっている。

歳出決算額は11万円(執行率12.8%)で、前年度と比べると6万円、111.7%の増となっている。

不用額は79万円、予算現額に対する割合は87.2%で、この主な理由は、住宅新築資金等貸付事業費の事務費が当初の見込みを下回ったことによる。

歳入歳出差引残額は2億8,122万円(前年度2億7,718万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度末の貸付残件数及び貸付残額は、107件、1億8,724万円(前年度112件、1億9,141万円)となっている。

参考資料

＜貸付の状況＞

区　　分	７年度(A)	６年度(B)	対前年度比較	
			増減(A-B)	増減率(%)
年度末貸付残件数(件)	107	112	△5	△4.5
住宅新築資金	29	30	△1	△3.3
住宅改修資金等	69	73	△4	△5.5
宅地取得資金	9	9	0	0.0
年度末貸付残額(千円)	187,245	191,407	△4,162	△2.2
住宅新築資金	77,571	80,955	△3,383	△4.2
住宅改修資金等	96,133	96,912	△779	△0.8
宅地取得資金	13,540	13,540	0	0.0

＜償還の状況＞

(単位：千円)

区　　分		調定額	収入額	収入率	収入未済額	不納欠損額
住宅新築資金貸付金		80,955	3,383	4.2%	77,571	0
住宅改修資金貸付金		84,965	729	0.9%	84,236	0
宅地取得資金貸付金		13,540	0	0.0%	13,540	0
住宅改築資金貸付金		11,947	49	0.4%	11,897	0
合計		191,407	4,162	2.2%	187,245	0
内訳	現年度	0	0	－	0	0
	過年度	191,407	4,162	2.2%	187,245	0

(10) 土地取得特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1財産収入	912,827	912,827	0	0	1,710,651	△797,824	△46.6
2繰入金	5,639	5,639	0	0	6,175	△537	△8.7
3市債	245,700	245,700	0	0	238,100	7,600	3.2
4繰越金	194	194	0	0	1,225	△1,031	△84.2
計	1,164,360	1,164,360	0	0	1,956,152	△791,792	△40.5

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1土地先行取得費	4,214,394	1,164,360	0	3,050,034	1,955,958	△791,598	△40.5
1土地先行取得費	1,990,122	246,176	0	1,743,946	324,315	△78,139	△24.1
2繰出金	2,224,272	918,183	0	1,306,089	1,631,642	△713,459	△43.7
計	4,214,394	1,164,360	0	3,050,034	1,955,958	△791,598	△40.5

この会計は、公共用地等の先行取得を行うために設置されており、公共用地先行取得等事業債を財源としている。

歳入決算額は11億6,436万円(収入率100.0%)で、前年度と比べると7億9,179万円、40.5%の減となっている。この主な理由は、財産収入が7億9,782万円減少したことによる。

なお、歳入には一般会計からの繰入金564万円(前年度618万円)、市債2億4,570万円(前年度2億3,810万円)が含まれている。

歳出決算額は11億6,436万円(執行率27.6%)で、前年度と比べると7億9,160万円、40.5%の減となっている。この主な理由は、公債償還特別会計への繰出金が7億1,346万円減少したことによる。

不用額は30億5,003万円、予算現額に対する割合は72.4%で、この主な理由は、土地先行取得費について、地権者との協議に日時を要したため契約に至らなかったことによる。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分9億1,818万円である。

当年度末での市債の残高は、14億1,020万円である。

現在、都市計画街路事業、道路新設改良事業、門司港レトロ第2期事業、折尾地区総合整備事業及び門司港地域複合公共施設整備事業の5事業を実施しており、当年度における土地の取得は都市計画街路事業の471㎡、1億584万円、道路新設改良事業の23,085㎡、1億

4,033 万円である。

当年度末の各事業の土地保有面積及び保有額は、都市計画街路事業が 1,172 ㎡、1 億 9,749 万円、道路新設改良事業が 46,284 ㎡、3 億 7,090 万円、門司港レトロ第 2 期事業が 2,274 ㎡、5 億 8,356 万円、折尾地区総合整備事業が 342 ㎡、2 億 7,307 万円となっている。

参考資料

＜土地保有状況＞

区分		都市計画街路事業	道路新設改良事業	門司港レトロ第2期事業	折尾地区総合整備事業	門司港地域複合公共施設整備事業	計
6年度末	土地保有額(千円)	291,368	245,483	583,558	316,883	662,251	2,099,542
	土地保有面積(㎡)	2,756	23,485	2,274	456	2,651	31,622
7年度中	土地取得額(千円)	105,844	140,332	0	0	0	246,176
	土地取得面積(㎡)	471	23,085	0	0	0	23,555
	土地処分額(千円)	199,717	14,911	0	43,809	662,251	920,688
	土地処分面積(㎡)	2,054	285	0	114	2,651	5,105
7年度末	土地保有額(千円)	197,494	370,904	583,558	273,074	0	1,425,031
	土地保有面積(㎡)	1,172	46,284	2,274	342	0	50,072

(11) 駐車場特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1使用料及び手数料	349,323	349,323	0	0	369,951	△20,628	△5.6
2繰越金	673,014	673,014	0	0	550,506	122,508	22.3
3諸収入	1,983	1,983	0	0	457	1,526	334.2
計	1,024,320	1,024,320	0	0	920,914	103,406	11.2

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1駐車場事業費	514,650	221,251	0	293,399	247,900	△26,649	△10.8
1駐車場事業費	314,650	221,251	0	93,399	247,900	△26,649	△10.8
2繰出金	200,000	0	0	200,000	0	0	−
2予備費	500	0	0	500	0	0	−
計	515,150	221,251	0	293,899	247,900	△26,649	△10.8

この会計は、3市営駐車場の管理運営を行うために設置されている。

歳入決算額は10億2,432万円(収入率100.0%)で、前年度と比べると1億341万円、11.2%の増となっている。この主な理由は、前年度からの繰越金が1億2,251万円増加したことによる。

駐車場使用料は3億4,932万円（前年度3億6,995万円）である。

歳出決算額は2億2,125万円(執行率42.9%)で、前年度と比べると2,665万円、10.8%の減となっている。この主な理由は、駐車場事業費が2,665万円減少したことによる。

不用額は2億9,390万円、予算現額に対する割合は57.1%で、この主な理由は、一般会計への繰出金2億円の未執行による。

歳入歳出差引残額は8億307万円(前年度6億7,301万円)で、翌年度に繰り越されている。

市営駐車場全体の当年度利用台数は、3駐車場で合計896,343台(前年度936,973台)となっており、前年度と比べると40,630台、4.3%の減となっている。この主な理由は、室町駐車場が廃止されたことによる。

参考資料

＜利用状況＞

区　　分		7年度(A)	6年度(B)	対前年度比較	
				増減(A-B)	増減率(%)
天　神　島	利用台数(台)	102,923	100,283	2,640	2.6
(収容台数315台)	使用料(円)	71,453,330	69,232,140	2,221,190	3.2
室　　町	利用台数(台)	0	46,831	△46,831	皆減
(収容台数197台)	使用料(円)	0	27,420,270	△27,420,270	皆減
勝山公園地下	利用台数(台)	268,055	269,542	△1,487	△0.6
(収容台数428台)	使用料(円)	149,902,040	146,098,490	3,803,550	2.6
黒　崎　駅　西	利用台数(台)	525,365	520,317	5,048	1.0
(収容台数637台)	使用料(円)	127,282,200	126,492,975	789,225	0.6
計	利用台数(台)	896,343	936,973	△40,630	△4.3
(収容台数1,577台)	使用料(円)	348,637,570	369,243,875	△20,606,305	△5.6

注1　収容台数は当年度末の台数である。
　2　天神島のみ自動二輪の台数及び使用料を含む。
　3　室町は令和６年度末に廃止。

(12) 母子父子寡婦福祉資金特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1繰入金	14,175	14,175	0	0	11,672	2,503	21.4
2繰越金	226,097	226,097	0	0	86,545	139,552	161.2
3諸収入	735,824	123,327	0	612,497	144,719	△21,392	△14.8
計	976,096	363,599	0	612,497	242,936	120,663	49.7

歳　出　　（単位：千円）

款　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	224,400	88,125	0	136,275	16,839	71,286	423.3
1母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	151,424	15,150	0	136,274	13,869	1,281	9.2
2繰出金	72,976	72,975	0	1	2,971	70,004	…
計	224,400	88,125	0	136,275	16,839	71,286	423.3

この会計は、母子及び父子並びに寡婦福祉法により、母子家庭等及び寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、子どもの福祉を増進するため修学資金や就学支度資金、事業開始資金等の資金を貸し付ける事業を行うために設置されている。

歳入決算額は3億6,360万円(収入率37.3%)で、前年度と比べると1億2,066万円、49.7%の増となっている。この主な理由は、諸収入が前年度から2,139万円減少したものの、繰越金が1億3,955万円増加したことによる。

貸付金元利収入は1億2,333万円(前年度1億4,472万円)、収入未済額は6億1,250万円(前年度6億2,509万円)で、収入率は16.8%(前年度18.6%)となっている。

なお、歳入には一般会計からの繰入金1,418万円(前年度1,167万円)が含まれている。

歳出決算額は8,812万円(執行率39.3%)で、前年度と比べると7,129万円、423.3%の増となっている。この主な理由は、繰出金が増加したことによる。

不用額は1億3,628万円、予算現額に対する割合は60.7%で、この主な理由は、母子福祉資金等の貸付金が見込みを下回ったことによる。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分4,873万円及び一般会計への繰出し分2,425万円である。

歳入歳出差引残額は2億7,547万円(前年度2億2,610万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度末での市債の残高は、8億666万円である。

母子福祉資金の当年度における貸付状況は3件、110万円で、当年度末の貸付残額は9億8,373万円、父子福祉資金の当年度における新たな貸付はなく、当年度末の貸付残額は633万円、寡婦福祉資金の当年度における新たな貸付はなく、当年度末の貸付残額は4,346万円となっている。

母子福祉資金の償還額は1億1,798万円(前年度1億3,937万円)、収入率は16.6%(前年度18.5%)、父子福祉資金の償還額は61万円(前年度68万円)、収入率は27.5%(前年度31.1%)で、寡婦福祉資金の償還額は474万円(前年度467万円)、収入率は21.3%(前年度20.9%)となっており、全体の収入率は前年度と比べると1.8ポイント下回っている。

参考資料

<貸付の状況>

区　　分		7年度(A)	6年度(B)	対前年度比較	
				増減(A-B)	増減率(%)
母子福祉資金	当年度貸付件数(件)	3	4	△1	△25.0
	当年度貸付額(千円)	1,101	2,360	△1,259	△53.3
	年度末貸付残額(千円)	983,727	1,100,606	△116,879	△10.6
父子福祉資金	当年度貸付件数(件)	0	0	0	0
	当年度貸付額(千円)	0	0	0	0.0
	年度末貸付残額(千円)	6,328	6,938	△610	△8.8
寡婦福祉資金	当年度貸付件数(件)	0	0	0	0
	当年度貸付額(千円)	0	0	0	0
	年度末貸付残額(千円)	43,462	48,199	△4,737	△9.8
計	当年度貸付件数(件)	3	4	△1	△25.0
	当年度貸付額(千円)	1,101	2,360	△1,259	△53.3
	年度末貸付残額(千円)	1,033,516	1,155,742	△122,226	△10.6

＜償還の状況＞

区　　分		７年度	６年度	５年度
母子福祉資金	調定額(千円)	711,334	752,326	787,634
	収入済額(千円)	117,980	139,372	165,030
	収入率(%)	16.6	18.5	21.0
父子福祉資金	調定額(千円)	2,220	2,177	2,237
	収入済額(千円)	610	677	780
	収入率(%)	27.5	31.1	34.9
寡婦福祉資金	調定額(千円)	22,271	22,392	23,224
	収入済額(千円)	4,737	4,670	5,418
	収入率(%)	21.3	20.9	23.3
計	調定額(千円)	735,824	776,894	813,095
	収入済額(千円)	123,327	144,719	171,228
	収入率(%)	16.8	18.6	21.1

(13) 産業用地整備特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1 財産収入	20,606	20,606	0	0	644,551	△623,945	△96.8
2 繰越金	683,586	683,586	0	0	736,034	△52,448	△7.1
計	704,192	704,192	0	0	1,380,585	△676,393	△49.0

歳　出　　（単位：千円）

款　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1 産業用地整備事業費	1,887,400	5,060	0	1,882,340	696,999	△ 691,940	△99.3
1 産業用地整備事業費	58,482	3,956	0	54,526	37,452	△33,496	△89.4
2 繰出金	1,828,918	1,103	0	1,827,815	659,547	△658,444	△99.8
計	1,887,400	5,060	0	1,882,340	696,999	△ 691,940	△99.3

この会計は、企業誘致のための産業用地の整備及び分譲等を行うために設置されている。

歳入決算額は7億419万円(収入率100.0%)で、前年度と比べると6億7,639万円、49.0%の減となっている。この主な理由は、不動産売払収入がなかったことによる。

歳出決算額は506万円(執行率0.3%)で、前年度と比べると6億9,194万円の減となっている。この主な理由は、公債償還特別会計への繰出金が6億5,844万円減少したことによる。

不用額は18億8,234万円、予算現額に対する割合は99.7%で、この主な理由は、新たな企業立地が進展しなかったことに伴い、公債償還特別会計への繰出金が不要となったためである。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分110万円である。

歳入歳出差引残額は6億9,913万円(前年度6億8,359万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度末での市債の残高は、20億598万円である。

当年度は、北九州臨空産業団地、北九州空港跡地産業団地、サイエンスパーク及び北九州学術研究都市の４地区で事業を実施している。

参考資料

＜売却実績＞

区　　分		7年度	6年度	未売却地
北九州臨空産業団地（小倉南区）	売却件数	0	0	－
	売却面積(㎡)	0	0	21,392
北九州空港跡地産業団地（小倉南区）	売却件数	0	1	－
	売却面積(㎡)	0	20,000	57,250
サイエンスパーク（若松区）	売却件数	0	0	
	売却面積(㎡)	0	0	27,467
北九州学術研究都市（若松区）	売却件数	0	0	－
	売却面積(㎡)	0	0	7,426

注　北九州臨空産業団地及び北九州学術研究都市の未売却地は、貸付地である。

(14) 漁業集落排水特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1分担金及び負担金	0	0	0	0	0	0	−
2使用料及び手数料	2,036	2,036	0	0	2,084	△48	△2.3
3繰入金	36,293	36,293	0	0	31,585	4,708	14.9
4繰越金	7,831	7,831	0	0	9,210	△1,379	△15.0
5諸収入	0	0	0	0	0	0	−
計	46,160	46,160	0	0	42,880	3,280	7.7

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1漁業集落排水費	40,400	39,896	0	504	35,048	4,847	13.8
1漁業集落排水費	22,316	21,814	0	502	17,880	3,935	22.0
2繰出金	18,084	18,082	0	3	17,169	913	5.3
2予備費	1,000	0	0	1,000	0	0	−
計	41,400	39,896	0	1,504	35,048	4,847	13.8

この会計は、藍島及び馬島の漁業集落排水設備を整備、運営するために設置されたものであるが、排水処理施設の整備は、藍島が平成12年度、馬島が平成15年度にいずれも完了しており、平成16年度からは施設の維持管理のみを行っている。

歳入決算額は4,616万円(収入率100.0%)で、前年度と比べると328万円、7.7%の増となっている。

なお、歳入には一般会計からの繰入金3,629万円(前年度3,159万円)が含まれている。

歳出決算額は3,990万円(執行率96.4%)で、前年度と比べると485万円13.8%の増となっている。

不用額は150万円、予算現額に対する割合は3.6%で、このおな理由は、施設管理に係る修繕料等の執行残などによる。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分1,808万円である。

歳入歳出差引残額は626万円(前年度783万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度末での市債の残高は、8,646万円である。

当年度末の供用戸数は、101戸となっている。

(15) 介護保険特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1介護保険料	20,289,309	19,899,851	112,323	316,570	19,642,818	257,032	1.3
2使用料及び手数料	13,048	13,048	0	0	9,599	3,449	35.9
3国庫支出金	27,709,649	27,709,649	0	0	26,799,247	910,402	3.4
4支払基金交付金	27,877,304	27,877,304	0	0	27,364,251	513,053	1.9
5県支出金	15,082,395	15,082,395	0	0	15,605,221	△522,826	△3.4
6財産収入	49,682	49,682	0	0	11,354	38,328	337.6
7寄附金	0	0	0	0	0	0	−
8繰入金	17,266,557	17,266,557	0	0	16,908,104	358,453	2.1
9繰越金	3,128,504	3,128,504	0	0	3,829,162	△700,657	△18.3
10諸収入	57,733	35,639	32	22,063	69,946	△34,307	△49.0
11市債	0	0	0	0	0	0	−
12介護予防ケアマネジメント事業費収入	483,758	483,758	0	0	485,944	△3,185	△0.7
計	111,957,940	111,546,388	112,354	338,632	110,725,646	819,742	0.7

歳　出　　（単位：千円）

款	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1総務費	3,089,598	2,782,228	0	307,370	2,187,488	594,740	27.2
2保険給付費	101,668,925	100,873,986	0	795,939	98,235,123	2,638,863	2.7
3地域支援事業費	3,591,361	3,379,514	0	211,847	4,348,875	△969,360	△22.3
4財政安定化基金拠出金	10	0	0	10	0	0	−
5保健福祉事業費	293,000	246,949	0	46,051	273,043	△26,094	△9.6
6基金積立金	641,679	641,361	0	318	620,917	20,444	3.3
7諸支出金	1,013,368	1,000,593	0	12,715	1,443,562	△442,969	△30.7
8繰出金	277,979	263,473	0	14,506	2,193	261,280	･･･
9予備費	200,000	0	0	200,000	0	0	−
10介護予防ケアマネジメント事業費	295,000	253,984	0	41,016	266,487	△12,503	△4.7
計	111,071,860	109,442,087	0	1,629,773	107,377,686	2,064,402	1.9

この会計は、介護保険法の規定により一般会計と区分して経理を行うために設置されている。

歳入決算額は1,115億4,639万円(収入率99.6%)で、前年度と比べると8億1,974万円、0.7%の増となっている。この主な理由は、繰越金が7億66万円、県支出金が5億2,283万円、それぞれ減少したものの、国庫支出金が9億1,040万円、支払基金交付金が5億1,305万円、それぞれ増加したことによる。

介護保険料の収入済額は198億9,985万円である。収入未済額は3億1,657万円（前年度3億4,843万円）、不納欠損額は1億1,232万円（前年度1億1,041万円）である。収入率は98.1%（前年度97.9%）と前年度と比べると上昇しており、区分別にみると、現年度分99.5%（前年度99.4%）、滞納繰越分18.7%（前年度22.7%）となっている。

なお、歳入には一般会計からの繰入金162億6,657万円（前年度161億811万円）が含まれている。

歳出決算額は1,094億4,209万円（執行率98.5%）で、前年度と比べると20億6,440万円、1.9%の増となっている。この主な理由は、地域支援事業費が9億6,936万円、諸支出金が4億4,297万円、それぞれ減少したものの、保険給付費が26億3,886万円増加したことによる。

歳出の大部分を占める保険給付費のうち介護サービス等給付費は、1,008億423万円（前年度981億7,276万円）である。

不用額は16億2,977万円、予算現額に対する割合は1.5%で、この主な理由は、介護保険サービスの利用や地域支援事業の利用等が見込みを下回ったことなどによる。

なお、歳出には介護給付準備基金への積立金6億4,136万円（前年度6億2,092万円）が含まれている。

歳入歳出差引残額は21億430万円（前年度33億4,896万円）で、翌年度に繰り越されている。

介護保険の第1号被保険者（65歳以上の者）数は286,549人（前年度287,811人）で、前年度と比べると1,262人、0.4%の減となっている。また、要支援・要介護認定者数は68,261人（前年度67,297人）で、前年度と比べると964人、1.4%の増となっている。

参考資料

＜被保険者数等＞

（3月末現在）

区　　分	7年度(A)	6年度(B)	対前年度比較	
			増減(A-B)	増減率(%)
第1号被保険者数(人)	286,549	287,811	△1,262	△0.4
要支援・要介護認定者数(人)	68,261	67,297	964	1.4

(16) 空港関連用地整備特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	６年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1財産収入	0	0	0	0	166,190	△ 166,190	皆減
2繰越金	189,387	189,387	0	0	23,384	166,003	709.9
3諸収入	9	9	0	0	230	△222	△96.3
計	189,396	189,396	0	0	189,805	△409	△0.2

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	６年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1空港関連用地整備事業費	41,500	38,265	0	3,235	417	37,848	…
1空港関連用地整備事業費	3,420	218	0	3,202	338	△120	△35.5
2繰出金	38,080	38,047	0	33	80	37,968	…
計	41,500	38,265	0	3,235	417	37,848	…

この会計は、北九州空港に隣接する空港関連用地において、交通事業者施設用地、物流施設用地などの整備及び分譲を行うために設置されている。

歳入決算額は1億8,940万円(収入率100.0%)で、前年度と比べると41万円、0.2%の減となっている。この主な理由は、財産収入が減少したことによる。

歳出決算額は3,827万円(執行率92.2%)で、前年度と比べると3,785万円の増となっている。この主な理由は、繰上償還を行ったことによる。

不用額は323万円、予算現額に対する割合は7.8%で、この主な理由は、土地の管理に係る委託料の執行残などによる。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分3,805万円である。

歳入歳出差引残額は1億5,113万円(前年度1億8,939万円)で、翌年度に繰り越されている。

参考資料

＜空港関連用地売却状況＞

区　　分	７年度	６年度以前	未売却地
売却件数（件）	0	15	—
売却面積（㎡）	0	26,497	853
売　却　率（%）	96.9	96.9	—
売却収入（千円）	0	935,008	

(17) 臨海部産業用地貸付特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1 財産収入	466,203	466,203	0	0	669,932	△203,729	△30.4
計	466,203	466,203	0	0	669,932	△203,729	△30.4

歳　出　　（単位：千円）

款　　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1 臨海部産業用地貸付事業費	468,600	466,203	0	2,397	669,932	△203,729	△30.4
1 臨海部産業用地貸付事業費	468,600	466,203	0	2,397	669,932	△203,729	△30.4
計	468,600	466,203	0	2,397	669,932	△203,729	△30.4

この会計は、臨海部への企業立地促進を目的とする産業用地貸付を実施するために設置されている。

決算額は歳入、歳出とも 4 億 6,620 万円(歳入の収入率 100.0%、歳出の執行率 99.5%)で、前年度と比べると 2 億 373 万円の減となっている。この主な理由は、土地の売却がなかったことによる。

なお、歳出における臨海部産業用地貸付事業費は、一般会計借入金の償還金である。

参考資料

＜産業用地貸付状況＞

区　　分	7年度(A)	6年度(B)	対前年度比較
			増減(A－B)
件　数（件）	19	19	0
貸付面積（㎡）	421,379	421,379	0

（18） 後期高齢者医療特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1後期高齢者医療保険料	15,251,101	14,979,024	50,894	244,133	14,085,367	893,658	6.3
2使用料及び手数料	0	0	0	0	0	0	−
3国庫支出金	33,781	33,781	0	0	0	33,781	皆増
4繰入金	4,844,273	4,844,273	0	0	4,782,083	62,190	1.3
5繰越金	656,487	656,487	0	0	522,637	133,850	25.6
6諸収入	40,599	40,576	0	23	64,271	△ 23,694	△36.9
計	20,826,241	20,554,142	50,894	244,155	19,454,357	1,099,785	5.7

歳　出　　（単位：千円）

款	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1総務費	652,735	533,436	0	119,299	485,446	47,990	9.9
2後期高齢者医療広域連合納付金	19,994,741	19,322,531	0	672,210	18,294,008	1,028,523	5.6
3諸支出金	30,524	25,814	0	4,710	18,416	7,398	40.2
4予備費	50,000	0	0	50,000	0	0	−
計	20,728,000	19,881,781	0	846,219	18,797,870	1,083,911	5.8

この会計は、高齢者の医療の確保に関する法律の規定により一般会計と区分して経理を行うために設置されたものである。

後期高齢者医療に係る保険料の決定、医療費の支給、財政運営等は、県内の全ての市町村が加入する福岡県後期高齢者医療広域連合が行い、市では、保険料の徴収・相談、申請・届出の受付、資格確認書の引き渡し等の事務を行う。

歳入決算額は 205 億 5,414 万円(収入率 98.7%)で、前年度と比べると 10 億 9,978 万円、5.7%の増となっている。この主な理由は、後期高齢者医療保険料が 8 億 9,366 万円増加したことによる。

後期高齢者医療保険料の収入済額は 149 億 7,902 万円である。収入未済額は 2 億 4,413 万円（前年度 2 億 2,366 万円）、不納欠損額は 5,089 万円（前年度 3,477 万円）である。収入率は 98.2%(前年度 98.4%)で、区分別にみると、現年度分 99.2%(前年度 99.2%)、滞納繰越分 31.4%(前年度 33.7%)となっている。

なお、歳入には一般会計からの繰入金 48 億 4,427 万円(前年度 47 億 8,208 万円）が含まれている。

歳出決算額は 198 億 8,178 万円(執行率 95.9%)で、前年度と比べると 10 億 8,391 万円、

5.8%の増となっている。この主な理由は、後期高齢者医療広域連合納付金が10億2,852万円増加したことによる。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金で、193億2,253万円（前年度182億9,401万円）である。

不用額は8億4,622万円、予算現額に対する割合は4.1%で、この主な理由は、福岡県後期高齢者医療広域連合提示の負担金が見込みを下回ったことなどによる。

歳入歳出差引残額は6億7,236万円(前年度6億5,649万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度の本市の被保険者（75歳以上の者及び65歳以上で一定の障害がある者）数は、168,552人（前年度165,640人）で、前年度と比べると2,912人、1.8%の増となっている。

参考資料

＜被保険者数＞ (3月末現在)

区　　分	7年度(A)	6年度(B)	対前年度比較	
			増減(A-B)	増減率(%)
被保険者数(人)	168,552	165,640	2,912	1.8

(19) 市民太陽光発電所特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1発電収入	77,410	77,410	0	0	78,899	△1,489	△1.9
2繰越金	191,580	191,580	0	0	197,383	△5,803	△2.9
計	268,990	268,990	0	0	276,282	△7,292	△2.6

歳　出　　（単位：千円）

款　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	6年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
1市民太陽光発電所事業費	96,000	80,554	0	15,446	84,702	△4,148	△4.9
1市民太陽光発電所事業費	29,740	17,263	0	12,477	16,044	1,219	7.6
2繰出金	66,260	63,291	0	2,969	68,659	△5,367	△7.8
2予備費	7,000	0	0	7,000	0	0	−
計	103,000	80,554	0	22,446	84,702	△4,148	△4.9

この会計は、響灘東地区廃棄物処分場用地（2.3ha）に建設した市民太陽光発電所（メガソーラー）の管理運営を行うために設置されたものであり、その売電による収益金の一部を活用して市民還元事業を行っている。

歳入決算額は2億6,899万円(収入率100.0%)で、前年度と比べると729万円、2.6%の減となっている。この主な理由は、前年度からの繰越金が580万円減少したことによる。

歳出決算額は8,055万円(執行率78.2%)で、前年度と比べると415万円、4.9%の減となっている。この主な理由は、繰出金が減少したことによる。

不用額は2,245万円、予算現額に対する割合は21.8%で、この主な理由は、施設修繕に係る委託料及び工事費の執行残などによる。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分2,500万円及び市民還元事業費となる一般会計への繰出し分3,829万円である。

歳入歳出差引残額は1億8,844万円(前年度1億9,158万円)で、翌年度に繰り越されている。

当年度末での市債の残高は、3億5,000万円である。

当年度の発電収入は7,741万円である。

参考資料

＜施設の状況＞

建設年月	平成25年8月
発電開始年月	平成25年9月
敷地面積	2.3ha
発電形式	多結晶シリコン太陽電池 6,650枚
発電出力	1,500kW程度

＜発電収入の状況＞ （単位：千円）

７年度(A)	６年度(B)	対前年度比較	
		増減(A-B)	増減率(%)
77,410	78,899	△ 1,489	△1.9

＜市民還元事業＞

事　　業　　名	所　管
大学生×市民センターによる地域共創プロジェクト	総務市民局
新たな加入メリット創出！自治会加入促進事業　～北パス～　自治会と民間事業者、北九州市が連携する初めての加入促進事業	総務市民局
「北九州エコメカ　アイディア・コンクール」実施事業	環境局
スタートアップ起業家育成サポート事業	産業経済局
小倉城を中心とした周辺にぎわい創出事業（小倉城竹あかりPR事業）	都市ブランド創造局
まち丸ごとタウンリゾート化プロジェクト	都市戦略局
みなとの魅力再発見事業	港湾空港局
北九州空港体験ツアー事業	港湾空港局
第80回門司みなと祭記念事業	門司区役所
旧小倉市制125周年記念～知ってもらい、体験してもらう～小倉の魅力発信事業	小倉北区役所
～過去から現在まで～小倉都心部ぐるっと探訪プロジェクト	小倉北区役所
～響き合う、ふたつのハーモニー～小倉まちなか合唱祭	小倉北区役所
みなみ区彩発見！	小倉南区役所
「皿倉山サテライト」@レインボー広場～八幡中央区商店街活性化トライアル事業～	八幡東区役所
「八幡大空襲」から80年　八幡東区平和学習事業	八幡東区役所
日本で「宇宙に一番近い島（種子島）」で学ぶ～みらい人材育成事業～	八幡東区役所
八幡西区シン・Z世代課（架空組織）が創る「ちくてつの歩き方」体感イベント実施事業	八幡西区役所
30周年記念「香月・黒川ほたる祭り」	八幡西区役所
公共空間を活用したまちの活性化事業	戸畑区役所
令和8年北九州市消防出初式	消防局
北九州市立中央図書館開館50周年記念事業	教育委員会
kitakyuスーガク＋（プラス）による理工系人材育成推進	教育委員会

(20) 市立病院機構病院事業債管理特別会計

歳　入　　（単位：千円）

款	調定額	決算額(A)	不納欠損額	収入未済額	６年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
１諸収入	1,943,005	1,943,005	0	0	1,405,953	537,052	38.2
２市債	1,113,500	1,113,500	0	0	904,800	208,700	23.1
計	3,056,505	3,056,505	0	0	2,310,753	745,752	32.3

歳　出　　（単位：千円）

款　項	予算現額	決算額(A)	翌年度繰越額	不用額	６年度決算額(B)	対前年度比較	
						増減額(A-B)	増減率(%)
１市立病院機構病院事業債管理事業費	3,461,500	3,056,505	0	404,995	2,310,753	745,752	32.3
１市立病院機構病院事業債管理事業費	1,495,200	1,113,500	0	381,700	904,800	208,700	23.1
２繰出金	1,966,300	1,943,005	0	23,295	1,405,953	537,052	38.2
計	3,461,500	3,056,505	0	404,995	2,310,753	745,752	32.3

この会計は、地方独立行政法人北九州市立病院機構に対する貸付と償還を管理するために設置されており、病院事業債を財源としている。

決算額は歳入、歳出とも 30 億 5,650 万円(歳入の収入率 100.0%、歳出の執行率 88.3%)で、前年度と比べると 7 億 4,575 万円、32.3%の増となっている。

不用額は 4 億 500 万円、予算現額に対する割合は 11.7%で、この主な理由は、市立病院機構病院事業債管理事業費である市立病院機構貸付金が当初の見込みを下回ったことによる。

なお、歳出における繰出金は、公債償還特別会計への繰出し分 19 億 4,300 万円である。

当年度末での市債の残高は、163 億 4,700 万円である。

参考資料

＜貸付と償還の状況＞　　（単位：千円）

区　分	６年度末貸付残額	７年度貸付額	７年度償還額			７年度末貸付残額
			元金	利子	計	
市立病院機構貸付金	17,068,912	1,113,500	1,835,412	107,593	1,943,005	16,347,000

財 政 運 営 状 況

1　資金運用状況

一般会計、特別会計決算の収支についてみると、当年度における収入額は 1 兆 782 億 4,744 万円、支出額は 1 兆 611 億 1,085 万円であった。

これら一般会計、特別会計の予算執行に伴う一時的な支払資金の不足を補うため、基金からの繰替え等を行っている。支払利子に係る当年度の延借入額(日々の借入残額の年間累計額)は 3 兆 4,716 億 9,500 万円(前年度 7,785 億 4,500 万円)で、基金からの繰替えは 3 兆 60 億円、企業会計からの繰替えはなく、その他（市営住宅入居保証金）は 4,656 億 9,500 万円である。

なお、当年度の一時借入金限度額は 850 億円である。

借入金に係る基金等に対する支払利子は 8,664 万円で、前年度と比べると 8,381 万円の増となっている。この主な理由は、延借入額が増加し、支払利率も上昇したことによるものである。

一方、歳計現金等の余剰資金の資金運用による受取利子は 2,299 万円で、前年度と比べると 570 万円の増となっている。これは、運用利率が上昇したことによる。

2　経常収支比率

財政構造の弾力性の度合いを示す経常収支比率は、表 20 のとおりである。

当年度の経常収支比率は 97.7%となっている。

表20　経常収支比率の推移　　（単位：%）

３年度	４年度	５年度	６年度	７年度
96.3 (104.7)	99.3 (106.1)	97.1 (101.6)	99.3 (101.3)	97.7 (97.7)

資料　財政・変革局

注1　経常収支比率については、巻末の「用語の説明」を参照
2　(　　)内は、臨時財政対策債を経常一般財源等から除いた場合の比率。ただし、令和7年度は臨時財政対策債の発行がなかった。

3　財政力指数

地方公共団体の財政力の強弱を示す指標である財政力指数は、表 21 のとおりである。

当年度の財政力指数は 0.673 となっている。

表21　財政力指数の推移

３年度	４年度	５年度	６年度	７年度
0.701	0.701	0.691	0.688	0.673

資料　財政・変革局
注　　財政力指数については、巻末の「用語の説明」を参照

4　市債現在高

市債の状況は、表 22 のとおりである。

当年度の一般会計の市債発行高は 340 億 9,760 万円、償還額は元金 545 億 8,960 万円、利子 90 億 2,140 万円である。また、特別会計の市債発行高は 705 億 9,500 万円、償還額は元金 701 億 6,595 万円、利子 2 億 6,974 万円である。

この結果、当年度末の市債現在高は、一般会計 1 兆 1,852 億 532 万円、特別会計 575 億 152 万円、合計 1 兆 2,427 億 684 万円(前年度 1 兆 2,627 億 6,979 万円)で、前年度と比べると 200 億 6,295 万円、1.6%の減となっている。

なお、当年度末市債現在高のうち、臨時財政対策債は 4,009 億 5,878 万円で、これを除く現在高は 8,417 億 4,806 万円となっており、前年度と比べると 94 億 3,949 万円の減となっている。

また、当年度末の公債償還基金現在高は 2,523 億 8,981 万円（前年度 2,484 億 6,231 万円）で、前年度と比べると 39 億 2,750 万円、1.6%の増となっている。

表22　市 債 の 状 況　　（単位：千円、％）

区　　分		7 年 度	6 年 度	5 年 度	対 前 年 度 増 減 比 率		
					7年度	6年度	5年度
当年度市債発行高	一 般 会 計	34,097,600	53,100,100	49,868,800	△ 35.8	6.5	4.7
	特 別 会 計	70,595,000	61,370,400	62,228,500	15.0	△ 1.4	46.5
	計	104,692,600	114,470,500	112,097,300	△ 8.5	2.1	24.4
当年度償還額	一 般 会 計	63,610,998	53,052,258	54,452,197	19.9	△ 2.6	△ 0.1
	元　　金	54,589,602	44,952,780	46,572,364			
	利　　子	9,021,396	8,099,479	7,879,832			
	特 別 会 計	70,435,686	63,911,324	61,558,760	10.2	3.8	45.7
	元　　金	70,165,947	63,693,163	61,352,570			
	利　　子	269,739	218,161	206,189			
	計	134,046,684	116,963,583	116,010,957	14.6	0.8	19.9
当年度末市債現在高	一 般 会 計	1,185,205,317	1,205,697,319	1,197,549,999	△ 1.7	0.7	0.7
	特 別 会 計	57,501,521	57,072,468	59,395,230	0.8	△ 3.9	△ 6.4
	計	1,242,706,837	1,262,769,787	1,256,945,229	△ 1.6	0.5	0.3
実質公債費比率		11.0	10.6	10.1			
将来負担比率		131.9	143.0	143.2			

資料　財政・変革局
注　　実質公債費比率、将来負担比率については、巻末の「用語の説明」を参照

5　債務負担行為

債務負担行為の状況は、表 23 のとおりである。

当年度末の債務負担行為現在高は、一般会計 1,046 億 7,042 万円、特別会計 51 億 5,037 万円、合計 1,098 億 2,078 万円（前年度 965 億 1,115 万円）で、前年度と比べると 133 億 963 万円、13.8％の増となっており、一般会計 145 億 4,403 万円の増、特別会計 12 億 3,440 万円の減となっている。

なお、債務負担行為に基づく当年度の支出額は、一般会計で 350 事項（事業）299 億 9,040 万円、特別会計で 23 事項（事業）33 億 9,307 万円、合計 333 億 8,347 万円である。

表23　債務負担行為の状況　　（単位：千円）

区　　分	６年度末現在高	７年度負担額	７年度支出額	７年度末現在高
一　般　会　計	90,126,387	44,534,426	29,990,396	104,670,417
特　別　会　計	6,384,764	2,158,674	3,393,070	5,150,367
国民健康保険	269,944	971,494	250,424	991,014
卸　売　市　場	0	0	0	0
渡　　船	115,579	413,978	115,579	413,978
土地区画整理	3,083,131	36,074	1,455,551	1,663,654
港　湾　整　備	2,317,716	0	1,205,506	1,112,210
土　地　取　得	105,000	△ 13,982	91,018	0
介　護　保　険	407,120	407,737	236,560	578,297
後期高齢者医療	33,835	343,372	32,201	345,005
市民太陽光発電所	52,439	0	6,230	46,209
計	96,511,151	46,693,099	33,383,466	109,820,784

財 産 の 状 況

財産の増減状況は、表 24 のとおりである。

表24　財産の増減状況

区分			単位	6年度末現在高	7年度中の増減高		7年度末現在高
					増	減	
公有財産	土地	行政財産	㎡	22,012,311	131,608	125,989	22,017,930
		普通財産	㎡	7,710,067	513,954	486,481	7,737,540
	建物	行政財産	㎡	4,685,090	92,646	74,431	4,703,305
		普通財産	㎡	141,460	1,323	2,760	140,023
	山林	面積	㎡	7,509,872	105,100	0	7,614,972
		立木（推定量）	㎥	180,927	3,093	0	184,020
	動産	船舶	隻	2	0	0	2
		浮桟橋	個	6	0	0	6
		航空機	機	1	0	0	1
	物権	地上権等	㎡	687,840	0	0	687,840
	無体財産権		件	139	2	0	141
	有価証券		千円	693,120	0	0	693,120
	出資による権利		千円	70,112,997	184,000	139,801	70,157,196
物品			点	4,332	230	219	4,343
債権			千円	38,467,958	1,682,409	2,921,692	37,228,675
基金			千円	309,880,424	65,032,066	42,940,133	331,972,357
	公債償還基金			248,462,314	38,474,455	34,546,956	252,389,813
	財政調整基金			17,043,376	994,800	2,909,600	15,128,576
	都市高速鉄道等整備基金			14,260,730	2,083,657	2,990,400	13,353,987
	上地開発基金			13,033,000	0	0	13,033,000
	介護給付準備基金			8,426,951	641,360	1,000,000	8,068,311
	SDGs未来基金			4,755,606	353,989	1,186,517	3,923,078
	退職手当基金			0	2,083,009	0	2,083,009
	未来のまちづくり投資基金			0	20,037,100	0	20,037,100
	その他18基金			3,898,447	363,696	306,660	3,955,483

注1　「物品」は、取得価格1点100万円以上の物品について記載
2　「債権」は、決算年度の歳入に係る債権以外の債権を記載

公有財産、債権及び基金の主な増減内容は、次のとおりである。

1　公有財産

(1)　土地

ア　行政財産

増加は、天然記念物平尾台 7,414 ㎡[買収]等

減少は、小石自転車保管所 2,234 ㎡[所管換]、旧鳴水保育所跡地 1,979 ㎡[用途廃止]等

イ　普通財産

増加は、港湾空港局普通財産（響町三丁目）5,584 ㎡、旧鳴水保育所跡地 1,979 ㎡[以上用途廃止]等

減少は、財政・変革局普通財産（八幡東区大宮町）9,332 ㎡、港湾空港局普通財産（太刀浦2期採石場前 C）4,798 ㎡[以上売却]等

(2)　建物

ア　行政財産

増加は、小倉北特別支援学校・北九州中央高等学園 13,815 ㎡[新築]、新政町集会所 492 ㎡[所管換]等

減少は、北九州市立総合農事センター240 ㎡、小石自転車保管所 162 ㎡、椎ノ木谷第四団地 128 ㎡[解体]等

イ　普通財産

減少は、財政・変革局普通財産（夕原工業団地）804 ㎡[売却]、新政町集会所 492 ㎡[所管換]等

(3)　出資による権利

増加は、9Capital1 号投資事業有限責任組合出資金 1 億円[出資]、福岡北九州高速道路公社出資金 8,400 万円[増資]

減少は、株式会社ジェイコム九州出資金 8,980 万円[売却]、北九州市住宅供給公社出資金 5,000 万円[返還]等

2　債権

増加は、独立行政法人北九州市立病院機構貸付金 11 億 1,350 万円[貸付金]、生活保護費返還金 2 億 3,397 万円[履行延期]、福岡北九州高速道路公社貸付金 1 億 9,600 万円[貸付金]等

減少は、独立行政法人北九州市立病院機構貸付金 18 億 3,541 万円、奨学資金貸付金 2 億 9,438 万円、福岡北九州高速道路公社貸付金 2 億 3,518 万円、生活保護費返還金 2 億 860 万円[以上調定]等

3　基金

令和 7 年 4 月に「北九州市ボートレースによる未来のまちづくり投資基金」が設置され、当年度末現在の基金数は 26 基金となっている。

増加は、公債償還基金 384 億 7,445 万円、ボートレースによるまちづくり投資基金 200 億 3,710 万円、都市高速鉄道等整備基金 20 億 8,366 万円[以上積立]等

減少は、公債償還基金 345 億 4,696 万円、都市高速鉄道等整備基金 29 億 9,040 万円、財政調整基金 29 億 960 万円[以上取崩]等

令和７年度北九州市基金運用状況審査意見

第１　審査の対象

令和７年度北九州市土地開発基金運用状況

第２　審査の着眼点及び方法

審査は、基金の運用の状況を示す書類の計数が正確であり、基金の運用が確実かつ効率的に行われているかを主眼に、会計管理者及び関係部局が所管する諸帳票と照合し、計数の確認を行ったほか、基金の運用状況について関係部局から資料の提出を求め、説明を聴取するなどの方法により実施した。

なお、この審査は、北九州市監査基準に準拠して行った。

第３　審査の期間

令和８年５月15日から同年８月３日まで

第４　審査の結果

基金の運用状況報告書の計数は正確であり、運用状況は、審査した限りにおいて適正であると認められた。

基金の運用状況は、次のとおりである。

土地開発基金は、公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地をあらかじめ取得することにより、事業の円滑な執行を図るために設置されたものである。

当年度における運用状況は、土地については、購入はなく（前年度もなし）、売払い11,845㎡、7,053万円(前年度1億93万円)となっており、全て北九州学術研究都市整備事業用地である。

当年度末における基金の現在高は、土地101億4,028万円(565,656㎡)及び預金28億9,272万円の合計130億3,300万円となっている。

当年度基金の運用から生じた収益は、預金利息 1,721 万円及び土地の貸付けによる収益1,138万円の計2,859万円であり、全額を一般会計で受け入れている。

土　地　開　発　基　金　運　用　状　況

（単位：千円）

区　　分	6　年　度　末 現　在　高	7年度中の運月額		7　年　度　末 現　在　高
		増	減	
預　　金	2,822,194	11,500,351	11,429,826	2,892,719
土　　地	(577,501.68㎡) 10,210,806	(0.00㎡) 0	(11,845.41㎡) 70,526	(565,656.27㎡) 10,140,281
計	13,033,000	11,500,351	11,500,351	13,033,000

令和７年度　北九州市決算審査資料

決　算　審　査　資　料

第1表　各会計収支状況 …… 84

第2表　各会計歳入状況 …… 86

第3表　一般会計歳入款別状況 …… 88

第4表　各会計歳入年度比較 …… 90

第5表　一般会計歳入款別年度比較 …… 92

第6表　市税税目別収入状況 …… 94

第7表　各会計歳出状況 …… 96

第8表　一般会計歳出款別状況 …… 98

第9表　各会計歳出年度比較 …… 100

第10表　一般会計歳出款別年度比較 …… 102

第11表　一般会計歳出節別状況 …… 104

第12表　一般会計歳出節別年度比較 …… 106

第1表　各会計収支状況

会計	歳入 (A)	歳出 (B)	形式収支 (C) = (A) - (B)
一般会計	638,992,160,183	635,041,100,201	3,951,059,982
特別会計	439,255,284,514	426,069,753,189	13,185,531,325
国民健康保険	97,015,894,769	94,533,966,275	2,481,928,494
食肉センター	410,900,546	376,063,201	34,837,345
卸売市場	1,090,007,599	894,170,184	195,837,415
渡船	640,735,622	460,919,680	179,815,942
土地区画整理	4,631,082,692	4,325,087,329	305,995,363
土地区画整理事業清算	1,659,234	3,950	1,655,284
港湾整備	9,991,809,793	5,187,740,562	4,804,069,231
公債償還	185,807,601,266	185,807,601,266	0
住宅新築資金等貸付	281,337,757	114,925	281,222,832
土地取得	1,164,359,534	1,164,359,534	0
駐車場	1,024,320,302	221,250,646	803,069,656
母子父子寡婦福祉資金	363,599,062	88,124,728	275,474,334
産業用地整備	704,192,081	5,059,728	699,132,353
漁業集落排水	46,159,978	39,895,544	6,264,434
介護保険	111,546,388,290	109,442,087,172	2,104,301,118
空港関連用地整備	189,395,570	38,265,242	151,130,328
臨海部産業用地貸付	466,203,384	466,203,384	0
後期高齢者医療	20,554,141,814	19,881,780,808	672,361,006
市民太陽光発電所	268,990,286	80,554,096	188,436,190
市立病院機構病院事業債管理	3,056,504,935	3,056,504,935	0
合計	1,078,247,444,697	1,061,110,853,390	17,136,591,307

（単位：円）

翌年度繰越財源	実質収支	前年度実質収支	単年度収支
(D)	(E) = (C) - (D)	(F)	(G) = (E) - (F)
2,461,625,000	1,489,434,982	1,798,588,883	△ 309,153,901
294,951,000	12,890,580,325	13,211,121,822	△ 320,541,497
0	2,481,928,494	1,998,070,630	483,857,864
0	34,837,345	38,612,019	△ 3,774,674
0	195,837,415	181,733,878	14,103,537
18,062,000	161,753,942	163,629,016	△ 1,875,074
190,895,000	115,100,363	82,776,180	32,324,183
0	1,655,284	1,511,234	144,050
85,994,000	4,718,075,231	4,491,319,863	226,755,368
0	0	0	0
0	281,222,832	277,175,906	4,046,926
0	0	0	0
0	803,069,656	672,364,124	130,705,532
0	275,474,334	226,097,135	49,377,199
0	699,132,353	683,586,062	15,546,291
0	6,264,434	7,831,200	△ 1,566,766
0	2,104,301,118	3,348,960,742	△ 1,244,659,624
0	151,130,328	189,387,070	△ 38,256,742
0	0	0	0
0	672,361,006	656,486,899	15,874,107
0	188,436,190	191,579,864	△ 3,143,674
0	0	0	0
2,756,576,000	14,380,015,307	15,009,710,705	△ 629,695,398

第２表　各会計歳入状況

会計	予算現額	調定額	
	金額	金額	予算現額に対する割合
一般会計	694,694,973,000	644,811,335,050	92.8
特別会計	444,918,546,000	444,844,031,295	100.0
国民健康保険	96,636,382,000	101,082,680,538	104.6
食肉センター	404,000,000	410,900,546	101.7
卸売市場	962,100,000	1,102,085,829	114.6
渡船	504,979,000	640,735,622	126.9
土地区画整理	6,930,889,000	4,631,082,692	66.8
土地区画整理事業清算	300,000	7,896,522	…
港湾整備	6,359,792,000	10,012,061,641	157.4
公債償還	190,362,000,000	185,807,601,266	97.6
住宅新築資金等貸付	900,000	468,582,527	…
土地取得	4,214,394,000	1,164,359,534	27.6
駐車場	515,150,000	1,024,320,302	198.8
母子父子寡婦福祉資金	224,400,000	976,096,291	435.0
産業用地整備	1,887,400,000	704,192,081	37.3
漁業集落排水	41,400,000	46,159,978	111.5
介護保険	111,071,860,000	111,957,940,400	100.8
空港関連用地整備	41,500,000	189,395,570	456.4
臨海部産業用地貸付	468,600,000	466,203,384	99.5
後期高齢者医療	20,728,000,000	20,826,241,351	100.5
市民太陽光発電所	103,000,000	268,990,286	261.2
市立病院機構病院事業債管理	3,461,500,000	3,056,504,935	88.3
合計	1,139,613,519,000	1,089,655,366,345	95.6

（単位：円、％）

収入済額			不納欠損額		収入未済額	
金額	予算現額に対する割合	調定額に対する割合	金額	調定額に対する割合	金額	調定額に対する割合
638,992,160,183	92.0	99.1	353,242,976	0.1	5,518,850,530	0.9
439,255,284,514	98.7	98.7	944,887,443	0.2	4,725,179,562	1.1
97,015,894,769	100.4	96.0	781,639,396	0.8	3,304,082,577	3.3
410,900,546	101.7	100.0	0	0	0	0
1,090,007,599	113.3	98.9	0	0	12,078,230	1.1
640,735,622	126.9	100.0	0	0	0	0
4,631,082,692	66.8	100.0	0	0	0	0
1,659,234	553.1	21.0	0	0	6,237,288	79.0
9,991,809,793	157.1	99.8	0	0	20,251,848	0.2
185,807,601,266	97.6	100.0	0	0	0	0
281,337,757	…	60.0	0	0	187,244,770	40.0
1,164,359,534	27.6	100.0	0	0	0	0
1,024,320,302	198.8	100.0	0	0	0	0
363,599,062	162.0	37.3	0	0	612,497,229	62.7
704,192,081	37.3	100.0	0	0	0	0
46,159,978	111.5	100.0	0	0	0	0
111,546,388,290	100.4	99.6	112,354,232	0.1	338,632,198	0.3
189,395,570	456.4	100.0	0	0	0	0
466,203,384	99.5	100.0	0	0	0	0
20,554,141,814	99.2	98.7	50,893,815	0.2	244,155,422	1.2
268,990,286	261.2	100.0	0	0	0	0
3,056,504,935	88.3	100.0	0	0	0	0
1,078,247,444,697	94.6	99.0	1,298,130,419	0.1	10,244,030,092	0.9

第３表　一般会計歳入款別状況

区分	予算現額		調定額			収
	金額	構成比率	金額	構成比率	予算現額に対する割合	金額
1 市税	190,758,010,000	27.5	194,356,645,411	30.1	101.9	191,057,633,321
2 地方譲与税	3,239,000,000	0.5	3,064,450,389	0.5	94.6	3,064,450,389
3 利子割交付金	247,000,000	0.0	215,320,000	0.0	87.2	215,320,000
4 配当割交付金	680,000,000	0.1	944,936,000	0.1	139.0	944,936,000
5 株式等譲渡所得割交付金	350,000,000	0.1	1,596,029,000	0.2	456.0	1,596,029,000
6 分離課税所得割交付金	133,000,000	0.0	178,825,000	0.0	134.5	178,825,000
7 法人事業税交付金	2,712,000,000	0.4	2,816,916,000	0.4	103.9	2,816,916,000
8 地方消費税交付金	25,941,000,000	3.7	26,354,027,000	4.1	101.6	26,354,027,000
9 ゴルフ場利用税交付金	43,000,000	0.0	41,869,100	0.0	97.4	41,869,100
10 環境性能割交付金	798,000,000	0.1	730,724,353	0.1	91.6	730,724,353
11 軽油引取税交付金	5,810,000,000	0.8	5,888,372,778	0.9	101.3	5,888,372,778
12 国有提供施設等所在市町村助成交付金	30,000,000	0.0	38,415,000	0.0	128.1	38,415,000
13 地方特例交付金	1,085,000,000	0.2	1,061,187,000	0.2	97.8	1,061,187,000
14 地方交付税	89,080,120,000	12.8	90,092,768,000	14.0	101.1	90,092,768,000
15 交通安全対策特別交付金	268,000,000	0.0	262,570,000	0.0	98.0	262,570,000
16 分担金及び負担金	2,004,015,000	0.3	2,159,406,763	0.3	107.8	2,032,986,094
17 使用料及び手数料	14,992,692,000	2.2	14,991,939,722	2.3	100.0	14,461,993,985
18 国庫支出金	156,172,737,000	22.5	135,811,627,712	21.1	87.0	135,811,627,712
19 県支出金	38,166,566,000	5.5	35,975,487,911	5.6	94.3	35,975,487,911
20 財産収入	5,981,936,000	0.9	5,980,634,601	0.9	100.0	5,931,655,645
21 寄附金	4,476,950,000	0.6	3,820,862,967	0.6	85.3	3,820,862,967
22 繰入金	21,360,122,000	3.1	8,465,582,845	1.3	39.6	8,465,582,845
23 繰越金	3,904,561,000	0.6	3,904,560,883	0.6	100.0	3,904,560,883
24 諸収入	72,273,464,000	10.4	71,960,576,615	11.2	99.6	70,145,759,200
25 市債	54,187,800,000	7.8	34,097,600,000	5.3	62.9	34,097,600,000
計	694,694,973,000	100.0	644,811,335,050	100.0	92.8	638,992,160,183

（単位：円、％）

入済額			不納欠損額			収入未済額		
構成比率	予算現額に対する割合	調定額に対する割合	金額	構成比率	調定額に対する割合	金額	構成比率	調定額に対する割合
29.9	100.2	98.3	239,959,655	67.9	0.1	3,111,407,376	56.4	1.6
0.5	94.6	100.0	0	0	0	0	0	0
0.0	87.2	100.0	0	0	0	0	0	0
0.1	139.0	100.0	0	0	0	0	0	0
0.2	456.0	100.0	0	0	0	0	0	0
0.0	134.5	100.0	0	0	0	0	0	0
0.4	103.9	100.0	0	0	0	0	0	0
4.1	101.6	100.0	0	0	0	0	0	0
0.0	97.4	100.0	0	0	0	0	0	0
0.1	91.6	100.0	0	0	0	0	0	0
0.9	101.3	100.0	0	0	0	0	0	0
0.0	128.1	100.0	0	0	0	0	0	0
0.2	97.8	100.0	0	0	0	0	0	0
14.1	101.1	100.0	0	0	0	0	0	0
0.0	98.0	100.0	0	0	0	0	0	0
0.3	101.4	94.1	14,566,464	4.1	0.7	111,896,680	2.0	5.2
2.3	96.5	96.5	15,505,964	4.4	0.1	514,840,792	9.3	3.4
21.3	87.0	100.0	0	0	0	0	0	0
5.6	94.3	100.0	0	0	0	0	0	0
0.9	99.2	99.2	0	0	0	48,978,956	0.9	0.8
0.6	85.3	100.0	0	0	0	0	0	0
1.3	39.6	100.0	0	0	0	0	0	0
0.6	100.0	100.0	0	0	0	0	0	0
11.0	97.1	97.5	83,210,893	23.6	0.1	1,731,726,726	31.4	2.4
5.3	62.9	100.0	0	0	0	0	0	0
100.0	92.0	99.1	353,242,976	100.0	0.1	5,518,850,530	100.0	0.9

第４表　各会計歳入年度比較

会計	収入済額		
	７年度	６年度	５年度
一般会計	638,992,160,183	619,800,426,899	610,070,643,861
特別会計	439,255,284,514	419,500,379,810	421,611,988,294
国民健康保険	97,015,894,769	97,231,525,825	99,900,146,436
食肉センター	410,900,546	406,350,089	359,225,712
鮒売市場	1,090,007,599	1,196,719,851	1,491,810,294
渡船	640,735,622	604,361,429	577,541,135
土地区画整理	4,631,082,692	3,948,027,270	3,559,352,390
土地区画整理事業清算	1,659,234	1,516,337	1,373,969
港湾整備	9,991,809,793	8,769,188,315	8,097,223,852
公債償還	185,807,601,266	168,894,218,208	169,761,794,954
住宅新築資金等貸付	281,337,757	277,230,202	274,056,895
土地取得	1,164,359,534	1,956,151,550	2,517,982,591
駐車場	1,024,320,302	920,914,013	794,817,400
母子父子寡婦福祉資金	363,599,062	242,936,334	205,788,302
産業用地整備	704,192,081	1,380,585,312	750,522,976
漁業集落排水	46,159,978	42,879,614	40,771,586
介護保険	111,546,388,290	110,726,646,405	109,851,743,780
空港関連用地整備	189,395,570	189,804,569	23,898,541
臨海部産業用地貸付	466,203,384	669,932,008	940,312,075
後期高齢者医療	20,554,141,814	19,454,357,025	17,496,925,154
市民太陽光発電所	268,990,286	276,282,182	282,673,273
市立病院機構病院事業債管理	3,056,504,935	2,310,753,272	4,684,026,979
合計	1,078,247,444,697	1,039,300,806,709	1,031,682,632,155

（単位：円、％）

対前年度比率			予算現額に対する割合			調定額に対する割合		
7／6	6／5	5／4	7年度	6年度	5年度	7年度	6年度	5年度
103.1	101.6	101.8	92.0	91.4	90.9	99.1	99.1	99.1
104.7	99.5	105.7	98.7	97.9	98.0	98.7	98.7	98.7
99.8	97.3	97.6	100.4	99.0	99.2	96.0	96.2	96.1
101.1	113.1	96.8	101.7	105.0	95.7	100.0	100.0	100.0
91.1	80.2	142.1	113.3	112.7	95.7	98.9	99.0	99.2
106.0	104.6	105.3	126.9	132.0	128.9	100.0	100.0	100.0
117.3	110.9	105.1	66.8	71.9	71.2	100.0	100.0	100.0
109.4	110.4	111.3	553.1	505.4	458.0	21.0	19.2	17.4
113.9	108.3	92.1	157.1	167.3	189.9	99.8	99.8	99.7
110.0	99.5	113.3	97.6	97.5	98.5	100.0	100.0	100.0
101.5	101.2	102.7	…	…	…	60.0	58.0	56.4
59.5	77.7	186.6	27.6	27.5	35.4	100.0	100.0	100.0
111.2	115.9	110.4	198.8	179.3	216.9	100.0	100.0	100.0
149.7	118.1	56.8	162.0	151.5	116.5	37.3	27.8	24.3
51.0	183.9	86.3	37.3	69.0	170.6	100.0	100.0	100.0
107.7	105.2	75.2	111.5	115.9	119.9	100.0	100.0	100.0
100.7	100.8	101.5	100.4	99.8	97.5	99.6	99.6	99.6
99.8	794.2	102.8	456.4	…	663.8	100.0	100.0	100.0
69.6	71.2	220.1	99.5	98.7	98.7	100.0	100.0	100.0
105.7	111.2	102.0	99.2	98.9	95.8	98.7	98.8	98.9
97.4	97.7	96.1	261.2	263.1	252.4	100.0	100.0	100.0
132.3	49.3	213.7	88.3	74.5	85.6	100.0	100.0	100.0
103.7	100.7	103.4	94.6	93.9	93.6	99.0	99.0	99.0

第５表　一般会計歳入款別年度比較

区分	収入済額			対
	７年度	６年度	５年度	７／６
1 市税	191,057,633,321	180,177,793,504	181,081,993,438	106.0
2 地方譲与税	3,064,450,389	3,063,637,056	3,063,894,333	100.0
3 利子割交付金	215,320,000	46,560,000	31,765,000	462.5
4 配当割交付金	944,936,000	958,369,000	653,886,000	98.6
5 株式等譲渡所得割交付金	1,596,029,000	1,344,606,000	809,076,000	118.7
6 分離課税所得割交付金	178,825,000	187,995,000	139,449,000	95.1
7 法人事業税交付金	2,816,916,000	2,819,864,000	2,455,570,000	99.9
8 地方消費税交付金	26,354,027,000	24,403,854,000	23,131,818,000	108.0
9 ゴルフ場利用税交付金	41,869,100	43,103,410	46,315,010	97.1
10 環境性能割交付金	730,724,353	712,585,218	687,924,227	102.5
11 軽油引取税交付金	5,888,372,778	6,028,270,595	6,103,327,660	97.7
12 国有提供施設等所在市町村助成交付金	38,415,000	37,651,000	37,771,000	102.0
13 地方特例交付金	1,061,187,000	6,236,609,000	1,216,343,000	17.0
14 地方交付税	90,092,768,000	83,236,657,000	75,030,181,000	108.2
15 交通安全対策特別交付金	262,570,000	277,334,000	294,386,000	94.7
16 分担金及び負担金	2,032,986,094	2,084,251,501	2,460,916,567	97.5
17 使用料及び手数料	14,461,993,985	14,629,662,557	14,770,293,582	98.9
18 国庫支出金	135,811,627,712	138,617,960,433	145,227,147,578	98.0
19 県支出金	35,975,487,911	33,259,578,254	32,078,025,930	108.2
20 財産収入	5,931,655,645	4,367,665,072	9,043,693,391	135.8
21 寄附金	3,820,862,967	2,995,283,960	2,955,342,010	127.6
22 繰入金	8,465,582,845	10,044,294,313	2,095,430,681	84.3
23 繰越金	3,904,560,883	3,057,715,673	3,347,995,844	127.7
24 諸収入	70,145,759,200	48,069,026,353	53,439,298,610	145.9
25 市債	34,097,600,000	53,100,100,000	49,868,800,000	64.2
計	638,992,160,183	619,800,426,899	610,070,643,861	103.1

（単位：円、％）

前年度比率		構成比率			予算現額に対する割合			調定額に対する割合		
6／5	5／4	7年度	6年度	5年度	7年度	6年度	5年度	7年度	6年度	5年度
99.5	100.8	29.9	29.1	29.7	100.2	99.9	99.8	98.3	98.4	98.4
100.0	99.9	0.5	0.5	0.5	94.6	94.8	96.8	100.0	100.0	100.0
146.6	90.4	0.0	0.0	0.0	87.2	155.2	75.6	100.0	100.0	100.0
146.6	115.7	0.1	0.2	0.1	139.0	187.5	110.5	100.0	100.0	100.0
166.2	172.6	0.2	0.2	0.1	456.0	384.2	231.2	100.0	100.0	100.0
134.8	84.0	0.0	0.0	0.0	134.5	141.3	104.8	100.0	100.0	100.0
114.8	101.3	0.4	0.5	0.4	103.9	118.1	94.3	100.0	100.0	100.0
105.5	98.6	4.1	3.9	3.8	101.6	102.8	99.3	100.0	100.0	100.0
93.1	102.7	0.0	0.0	0.0	97.4	88.0	100.7	100.0	100.0	100.0
103.6	126.6	0.1	0.1	0.1	91.6	90.9	141.0	100.0	100.0	100.0
98.8	112.4	0.9	1.0	1.0	101.3	98.2	118.3	100.0	100.0	100.0
99.7	107.7	0.0	0.0	0.0	128.1	125.5	125.9	100.0	100.0	100.0
512.7	95.7	0.2	1.0	0.2	97.8	111.0	97.4	100.0	100.0	100.0
110.9	108.8	14.1	13.4	12.3	101.1	100.8	100.8	100.0	100.0	100.0
94.2	87.2	0.0	0.0	0.0	98.0	101.2	88.7	100.0	100.0	100.0
84.7	95.6	0.3	0.3	0.4	101.4	98.9	106.0	94.1	94.2	94.9
99.0	100.2	2.3	2.4	2.4	96.5	96.7	94.2	96.5	96.8	97.0
95.4	102.1	21.3	22.4	23.8	87.0	89.1	90.3	100.0	100.0	100.0
103.7	99.4	5.6	5.4	5.3	94.3	92.5	94.9	100.0	100.0	100.0
48.3	275.7	0.9	0.7	1.5	99.2	109.9	105.6	99.2	99.1	99.6
101.4	107.6	0.6	0.5	0.5	85.3	75.3	71.6	100.0	100.0	100.0
479.3	74.6	1.3	1.6	0.3	39.6	47.4	13.8	100.0	100.0	100.0
91.3	43.3	0.6	0.5	0.5	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
90.0	93.9	11.0	7.8	8.8	97.1	78.0	77.0	97.5	96.5	97.0
106.5	104.7	5.3	8.6	8.2	62.9	76.2	76.8	100.0	100.0	100.0
101.6	101.8	100.0	100.0	100.0	92.0	91.4	90.9	99.1	99.1	99.1

第６表　市税税目別収入状況

区分	予算現額	調定額	収入済		
			現年課税分	滞納繰越分	計
市民税	83,369,000,000	85,512,155,230	83,088,234,727	536,043,258	83,624,277,985
固定資産税	75,463,000,000	76,444,132,943	75,105,277,460	310,002,025	75,415,279,485
軽自動車税	2,443,000,000	2,551,034,476	2,415,270,370	31,057,079	2,446,327,449
市たばこ税	7,420,000,000	7,330,788,653	7,330,788,653	0	7,330,788,653
鉱産税	24,000,000	23,797,100	23,797,100	0	23,797,100
特別土地保有税	10,000	387,900	0	0	0
入湯税	10,000,000	11,084,850	11,084,850	0	11,084,850
事業所税	7,445,000,000	7,670,701,900	7,618,528,376	11,464,903	7,629,993,279
都市計画税	12,842,000,000	13,090,100,391	12,789,364,398	68,958,554	12,858,322,952
環境未来税	1,264,000,000	1,303,792,000	1,303,792,000	0	1,303,792,000
宿泊税	478,000,000	418,669,968	412,719,000	1,250,568	413,969,568
計	190,758,010,000	194,356,645,411	190,098,856,934	958,776,387	191,057,633,321

（単位：円、％）

額			不納欠損額	収入未済額			還付未済額
構成比率	予算現額に対する割合	調定額に対する割合		現年課税分	滞納繰越分	計	
43.8	100.3	97.8	145,054,389	872,343,823	905,574,451	1,777,918,274	35,095,418
39.5	99.9	98.7	69,540,609	443,846,134	528,684,663	972,530,797	13,217,948
1.3	100.1	95.9	9,228,270	39,256,930	56,770,205	96,027,135	548,378
3.8	98.8	100.0	0	0	0	0	0
0.0	99.2	100.0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	387,900	387,900	0
0.0	110.8	100.0	0	0	0	0	0
4.0	102.5	99.5	583,600	3,983,424	36,141,597	40,125,021	0
6.7	100.1	98.2	15,531,937	99,069,053	119,933,446	219,002,499	2,756,997
0.7	103.1	100.0	0	0	0	0	0
0.2	86.6	98.9	20,850	1,498,200	3,917,550	5,415,750	736,200
100.0	100.2	98.3	239,959,655	1,459,997,564	1,651,409,812	3,111,407,376	52,354,941

第７表　各会計歳出状況

会計	予算現額	支出済額	
	金額	金額	予算現額に対する割合
一般会計	694,694,973,000	635,041,100,201	91.4
特別会計	444,918,546,000	426,069,753,189	95.8
国民健康保険	96,636,382,000	94,533,966,275	97.8
食肉センター	404,000,000	376,063,201	93.1
鮒売市場	962,100,000	894,170,184	92.9
渡船	504,979,000	460,919,680	91.3
土地区画整理	6,930,889,000	4,325,087,329	62.4
土地区画整理事業清算	300,000	3,950	1.3
港湾整備	6,359,792,000	5,187,740,562	81.6
公債償還	190,362,000,000	185,807,601,266	97.6
住宅新築資金等貸付	900,000	114,925	12.8
土地取得	4,214,394,000	1,164,359,534	27.6
駐車場	515,150,000	221,250,646	42.9
母子父子寡婦福祉資金	224,400,000	88,124,728	39.3
産業用地整備	1,887,400,000	5,059,728	0.3
漁業集落排水	41,400,000	39,895,544	96.4
介護保険	111,071,860,000	109,442,087,172	98.5
空港関連用地整備	41,500,000	38,265,242	92.2
臨海部産業用地貸付	468,600,000	466,203,384	99.5
後期高齢者医療	20,728,000,000	19,881,780,808	95.9
市民太陽光発電所	103,000,000	80,554,096	78.2
市立病院機構病院事業債管理	3,461,500,000	3,056,504,935	88.3
合計	1,139,613,519,000	1,061,110,853,390	93.1

（単位：円、％）

翌年度繰越額					不用額	
継続費逓次繰越	繰越明許費	事故繰越し	計	予算現額に対する割合	金額	予算現額に対する割合
0	26,911,482,000	0	26,911,482,000	3.9	32,742,390,799	4.7
0	2,802,934,000	0	2,802,934,000	0.6	16,045,858,811	3.6
0	0	0	0	0	2,102,415,725	2.2
0	0	0	0	0	27,936,799	6.9
0	0	0	0	0	67,929,816	7.1
0	18,062,000	0	18,062,000	3.6	25,997,320	5.1
0	1,982,878,000	0	1,982,878,000	28.6	622,923,671	9.0
0	0	0	0	0	296,050	98.7
0	801,994,000	0	801,994,000	12.6	370,057,438	5.8
0	0	0	0	0	4,554,398,734	2.4
0	0	0	0	0	785,075	87.2
0	0	0	0	0	3,050,034,466	72.4
0	0	0	0	0	293,899,354	57.1
0	0	0	0	0	136,275,272	60.7
0	0	0	0	0	1,882,340,272	99.7
0	0	0	0	0	1,504,456	3.6
0	0	0	0	0	1,629,772,828	1.5
0	0	0	0	0	3,234,758	7.8
0	0	0	0	0	2,396,616	0.5
0	0	0	0	0	846,219,192	4.1
0	0	0	0	0	22,445,904	21.8
0	0	0	0	0	404,995,065	11.7
0	29,714,416,000	0	29,714,416,000	2.6	48,788,249,610	4.3

第８表　一般会計歳出款別状況

区分	予算現額		支出済額		
	金額	構成比率	金額	構成比率	予算現額に対する割合
1 議会費	1,604,270,000	0.2	1,535,313,675	0.2	95.7
2 総務費	59,271,835,000	8.5	53,264,618,520	8.4	89.9
3 保健福祉費	198,865,917,000	28.6	184,760,179,799	29.1	92.9
4 子ども家庭費	89,221,354,000	12.8	86,702,451,684	13.7	97.2
5 環境費	22,151,495,000	3.2	20,550,417,627	3.2	92.8
6 労働費	594,600,000	0.1	550,556,092	0.1	92.6
7 農林水産業費	2,760,939,000	0.4	2,433,102,299	0.4	88.1
8 産業経済費	51,738,739,000	7.4	45,691,062,033	7.2	88.3
9 土木費	41,731,836,000	6.0	31,823,402,727	5.0	76.3
10 港湾費	12,790,001,000	1.8	11,016,370,954	1.7	86.1
11 建築行政費	9,508,855,000	1.4	7,033,585,831	1.1	74.0
12 消防費	13,112,988,000	1.9	12,674,595,638	2.0	96.7
13 教育費	88,333,593,000	12.7	76,583,818,387	12.1	86.7
14 災害復旧費	591,826,000	0.1	156,638,400	0.0	26.5
15 諸支出金	102,116,725,000	14.7	100,264,986,535	15.8	98.2
16 予備費	300,000,000	0.0	0	0	0
計	694,694,973,000	100.0	635,041,100,201	100.0	91.4

（単位：円、％）

翌年度繰越額						不用額		
継続費逓次繰越	繰越明許費	事故繰越し	計	構成比率	予算現額に対する割合	金額	構成比率	予算現額に対する割合
0	0	0	0	0	0	68,956,325	0.2	4.3
0	1,494,108,000	0	1,494,108,000	5.6	2.5	4,513,108,480	13.8	7.6
0	3,696,398,000	0	3,696,398,000	13.7	1.9	10,409,339,201	31.8	5.2
0	417,437,000	0	417,437,000	1.6	0.5	2,101,465,316	6.4	2.4
0	148,542,000	0	148,542,000	0.6	0.7	1,452,535,373	4.4	6.6
0	0	0	0	0	0	44,043,908	0.1	7.4
0	125,357,000	0	125,357,000	0.5	4.5	202,479,701	0.6	7.3
0	1,224,931,000	0	1,224,931,000	4.6	2.4	4,822,745,967	14.7	9.3
0	8,424,649,000	0	8,424,649,000	31.3	20.2	1,483,784,273	4.5	3.6
0	1,130,391,000	0	1,130,391,000	4.2	8.8	643,239,046	2.0	5.0
0	2,113,264,000	0	2,113,264,000	7.9	22.2	362,005,169	1.1	3.8
0	0	0	0	0	0	438,392,362	1.3	3.3
0	7,424,943,000	0	7,424,943,000	27.6	8.4	4,324,831,613	13.2	4.9
0	278,262,000	0	278,262,000	1.0	47.0	156,925,600	0.5	26.5
0	433,200,000	0	433,200,000	1.6	0.4	1,418,538,465	4.3	1.4
0	0	0	0	0	0	300,000,000	0.9	100.0
0	26,911,482,000	0	26,911,482,000	100.0	3.9	32,742,390,799	100.0	4.7

第９表　各会計歳出年度比較

会計	支出済額		
	７年度	６年度	５年度
一般会計	635,041,100,201	615,895,866,016	607,012,928,188
特別会計	426,069,753,189	406,144,086,988	409,085,503,296
国民健康保険	94,533,966,275	95,233,455,195	98,864,904,679
食肉センター	376,063,201	367,738,070	347,311,678
鉢売市場	894,170,184	1,014,985,973	1,356,585,956
渡船	460,919,680	440,732,413	435,803,154
土地区画整理	4,325,087,329	3,735,916,090	3,214,533,331
土地区画整理事業清算	3,950	5,103	5,632
港湾整備	5,187,740,562	4,262,876,452	3,675,924,300
公債償還	185,807,601,266	168,894,218,208	169,761,794,954
住宅新築資金等貸付	114,925	54,296	137,052
土地取得	1,164,359,534	1,955,957,550	2,516,757,591
駐車場	221,250,646	247,899,889	244,311,487
母子父子寡婦福祉資金	88,124,728	16,839,199	119,243,232
産業用地整備	5,059,728	696,999,250	14,489,049
漁業集落排水	39,895,544	35,048,414	31,561,091
介護保険	109,442,087,172	107,377,685,663	105,817,707,457
空港関連用地整備	38,265,242	417,499	514,697
臨海部産業用地貸付	466,203,384	669,932,008	940,312,075
後期高齢者医療	19,881,780,808	18,797,870,126	16,974,288,413
市民太陽光発電所	80,554,096	84,702,318	85,290,489
市立病院機構病院事業債管理	3,056,504,935	2,310,753,272	4,684,026,979
合計	1,061,110,853,390	1,022,039,953,004	1,016,098,431,484

（単位：円、％）

対前年度比率			予算現額に対する割合		
7／6	6／5	5／4	7年度	6年度	5年度
103.1	101.5	101.8	91.4	90.8	90.4
104.9	99.3	106.4	95.8	94.8	95.1
99.3	96.3	98.3	97.8	96.9	98.2
102.3	105.9	96.3	93.1	95.0	92.5
88.1	74.8	149.4	92.9	95.6	87.0
104.6	101.1	108.7	91.3	96.2	97.2
115.8	116.2	102.0	62.4	68.0	64.3
77.4	90.6	132.0	1.3	1.7	1.9
121.7	116.0	76.5	81.6	81.3	86.2
110.0	99.5	113.3	97.6	97.5	98.5
211.7	39.6	…	12.8	6.0	13.7
59.5	77.7	186.5	27.6	27.5	35.4
89.2	101.5	86.2	42.9	48.3	66.7
523.3	14.1	35.1	39.3	10.5	67.5
0.7	…	10.4	0.3	34.8	3.3
113.8	111.0	71.9	96.4	94.7	92.8
101.9	101.5	103.0	98.5	96.8	93.9
…	81.1	223.3	92.2	11.9	14.3
69.6	71.2	220.1	99.5	98.7	98.7
105.8	110.7	102.0	95.9	95.6	92.9
95.1	99.3	100.6	78.2	80.7	76.2
132.3	49.3	213.7	88.3	74.5	85.6
103.8	100.6	103.6	93.1	92.3	92.2

第10表　一般会計歳出款別年度比較

区分	支出済額		
	7年度	6年度	5年度
1 議会費	1,535,313,675	1,547,226,462	1,642,717,356
2 総務費	53,264,618,520	48,110,801,285	42,409,773,924
3 保健福祉費	184,760,179,799	188,943,952,555	192,154,996,929
4 子ども家庭費	86,702,451,684	75,853,330,933	72,014,811,376
5 環境費	20,550,417,627	37,901,780,211	23,025,217,457
6 労働費	550,556,092	455,646,541	449,542,800
7 農林水産業費	2,433,102,299	2,249,010,576	2,033,283,051
8 産業経済費	45,691,062,033	41,924,671,195	48,437,331,871
9 土木費	31,823,402,727	33,694,618,418	36,257,146,448
10 港湾費	11,016,370,954	10,028,826,214	15,194,257,975
11 建築行政費	7,033,585,831	8,443,018,728	8,522,572,414
12 消防費	12,674,595,638	13,479,150,942	12,527,803,957
13 教育費	76,583,818,387	73,945,433,208	72,294,186,219
14 災害復旧費	156,638,400	173,441,510	137,848,050
15 諸支出金	100,264,986,535	79,144,957,238	79,911,438,361
16 予備費	0	0	0
計	635,041,100,201	615,895,866,016	607,012,928,188

（単位：円、％）

対前年度比率			構成比率			予算現額に対する割合		
7／6	6／5	5／4	7年度	6年度	5年度	7年度	6年度	5年度
99.2	94.2	103.0	0.2	0.3	0.3	95.7	94.7	96.2
110.7	113.4	96.8	8.4	7.8	7.0	89.9	88.7	90.0
97.8	98.3	100.6	29.1	30.7	31.7	92.9	93.8	93.5
114.3	105.3	99.4	13.7	12.3	11.9	97.2	94.6	94.1
54.2	164.6	139.1	3.2	6.2	3.8	92.8	90.9	90.0
120.8	101.4	105.7	0.1	0.1	0.1	92.6	92.9	94.4
108.2	110.6	84.1	0.4	0.4	0.3	88.1	79.4	83.2
109.0	86.6	95.7	7.2	6.8	8.0	88.3	75.1	74.0
94.4	92.9	93.8	5.0	5.5	6.0	76.3	82.4	80.2
109.8	66.0	177.6	1.7	1.6	2.5	86.1	85.5	87.5
83.3	99.1	102.7	1.1	1.4	1.4	74.0	92.6	86.7
94.0	107.6	108.1	2.0	2.2	2.1	96.7	97.7	96.4
103.6	102.3	101.5	12.1	12.0	11.9	86.7	88.9	90.3
90.3	125.8	67.4	0.0	0.0	0.0	26.5	74.6	38.9
126.7	99.0	101.7	15.8	12.9	13.2	98.2	97.6	99.2
			0	0	0	0	0	0
103.1	101.5	101.8	100.0	100.0	100.0	91.4	90.8	90.4

第11表　一般会計歳出節別状況

区分	予算現額		支出
	金額	構成比率	金額
1 報酬	7,901,533,432	1.1	7,441,561,334
2 給料	50,542,976,600	7.3	50,109,132,816
3 職員手当等	37,937,767,342	5.5	36,088,190,513
4 共済費	18,667,240,865	2.7	17,896,740,503
5 災害補償費	28,247,660	0.0	27,196,588
6 恩給及び退職年金	2,214,000	0.0	829,167
7 報償費	1,159,520,954	0.2	1,003,122,700
8 旅費	1,102,007,089	0.2	844,481,684
9 交際費	13,827,000	0.0	7,344,036
10 需用費	9,673,335,590	1.4	8,947,279,476
11 役務費	2,082,562,246	0.3	1,667,231,503
12 委託料	79,455,778,443	11.4	71,180,369,909
13 使用料及び賃借料	5,831,145,247	0.8	5,384,250,573
14 工事請負費	58,063,078,967	8.4	36,945,723,341
15 原材料費	26,978,800	0.0	25,975,796
16 公有財産購入費	2,976,950,321	0.4	2,696,901,430
17 備品購入費	1,786,549,747	0.3	1,685,727,292
18 負担金、補助及び交付金	68,315,147,872	9.8	57,555,976,744
19 扶助費	174,351,717,000	25.1	168,397,465,524
20 貸付金	35,472,586,000	5.1	32,328,929,200
21 補償、補塡及び賠償金	3,205,752,217	0.5	2,743,974,716
22 償還金、利子及び割引料	2,013,642,712	0.3	1,953,090,208
23 投資及び出資金	1,338,822,000	0.2	862,921,282
24 積立金	28,676,903,096	4.1	28,223,888,034
25 寄附金	－	－	－
26 公課費	13,878,800	0.0	10,935,700
27 繰出金	103,754,809,000	14.9	101,011,860,132
予備費	300,000,000	0.0	0
計	694,694,973,000	100.0	635,041,100,201

（単位：円、％）

済	額	翌年度繰越額			不用額		
構成比率	予算現額に対する割合	金額	構成比率	予算現額に対する割合	金額	構成比率	予算現額に対する割合
1.2	94.2	53,053,302	0.2	0.7	406,918,796	1.2	5.1
7.9	99.1	0	0	0	433,843,784	1.3	0.9
5.7	95.1	19,877,488	0.1	0.1	1,829,699,341	5.6	4.8
2.8	95.9	13,538,562	0.1	0.1	756,961,800	2.3	4.1
0.0	96.3	0	0	0	1,051,072	0.0	3.7
0.0	37.5	0	0	0	1,384,833	0.0	62.5
0.2	86.5	60,000	0.0	0.0	156,338,254	0.5	13.5
0.1	76.6	6,977,100	0.0	0.6	250,548,305	0.8	22.7
0.0	53.1	0	0	0	6,482,964	0.0	46.9
1.4	92.5	9,568,587	0.0	0.1	716,487,527	2.2	7.4
0.3	80.1	19,178,277	0.1	0.9	396,152,466	1.2	19.0
11.2	89.6	3,423,029,052	12.7	4.3	4,852,379,482	14.8	6.1
0.8	92.3	44,960,539	0.2	0.8	401,934,135	1.2	6.9
5.8	63.6	17,314,887,306	64.3	29.8	3,802,468,320	11.6	6.5
0.0	96.3	0	0	0	1,003,004	0.0	3.7
0.1	90.6	67,917,373	0.3	2.3	212,131,518	0.6	7.1
0.3	94.4	4,500,000	0.0	0.3	96,322,455	0.3	5.4
9.1	84.3	3,601,911,495	13.4	5.3	7,157,259,633	21.9	10.5
26.5	96.6	1,600,000,000	5.9	0.9	4,354,251,476	13.3	2.5
5.1	91.1	49,000,000	0.2	0.1	3,094,656,800	9.5	8.7
0.4	85.6	228,822,919	0.9	7.1	232,954,582	0.7	7.3
0.3	97.0	0	0	0	60,552,504	0.2	3.0
0.1	64.5	454,200,000	1.7	33.9	21,700,718	0.1	1.6
4.4	98.4	0	0	0	453,015,062	1.4	1.6
－	－	－	－	－	－	－	－
0.0	78.8	0	0	0	2,943,100	0.0	21.2
15.9	97.4	0	0	0	2,742,948,868	8.4	2.6
0	0	0	0	0	300,000,000	0.9	100.0
100.0	91.4	26,911,482,000	100.0	3.9	32,742,390,799	100.0	4.7

第12表　一般会計歳出節別年度比較

区分	7年度 決算額	7年度 構成比率	6年度 決算額	6年度 構成比率
1 報酬	7,441,561,334	1.2	7,026,051,303	1.1
2 給料	50,109,132,816	7.9	48,586,575,972	7.9
3 職員手当等	36,088,190,513	5.7	40,373,381,886	6.6
4 共済費	17,896,740,503	2.8	16,793,800,351	2.7
5 災害補償費	27,196,588	0.0	19,091,950	0.0
6 恩給及び退職年金	829,167	0.0	2,065,201	0.0
7 報償費	1,003,122,700	0.2	565,691,477	0.1
8 旅費	844,481,684	0.1	800,985,064	0.1
9 交際費	7,344,036	0.0	6,870,229	0.0
10 需用費	8,947,279,476	1.4	9,424,460,844	1.5
11 役務費	1,667,231,503	0.3	1,581,232,488	0.3
12 委託料	71,180,369,909	11.2	65,108,905,632	10.6
13 使用料及び賃借料	5,384,250,573	0.8	4,546,182,983	0.7
14 工事請負費	36,945,723,341	5.8	35,442,868,858	5.8
15 原材料費	25,975,796	0.0	23,113,360	0.0
16 公有財産購入費	2,696,901,430	0.4	23,188,408,577	3.8
17 備品購入費	1,685,727,292	0.3	1,941,910,318	0.3
18 負担金、補助及び交付金	57,555,976,744	9.1	61,287,406,191	10.0
19 扶助費	168,397,465,524	26.5	156,768,624,828	25.5
20 貸付金	32,328,929,200	5.1	31,217,256,800	5.1
21 補償、補塡及び賠償金	2,743,974,716	0.4	1,948,468,419	0.3
22 償還金、利子及び割引料	1,953,090,208	0.3	2,149,402,834	0.3
23 投資及び出資金	862,921,282	0.1	603,732,724	0.1
24 積立金	28,223,888,034	4.4	6,156,420,452	1.0
25 寄附金	－	－	－	－
26 公課費	10,935,700	0.0	9,288,500	0.0
27 繰出金	101,011,860,132	15.9	100,323,668,775	16.3
計	635,041,100,201	100.0	615,895,866,016	100.0

（単位：円、％）

対前年度比較	
増減	比率
415,510,031	105.9
1,522,556,844	103.1
△ 4,285,191,373	89.4
1,102,940,152	106.6
8,104,638	142.5
△ 1,236,034	40.1
437,431,223	177.3
43,496,620	105.4
473,807	106.9
△ 477,181,368	94.9
85,999,015	105.4
6,071,464,277	109.3
838,067,590	118.4
1,502,854,483	104.2
2,862,436	112.4
△20,491,507,147	11.6
△ 256,183,026	86.8
△ 3,731,429,447	93.9
11,628,840,696	107.4
1,111,672,400	103.6
795,506,297	140.8
△ 196,312,626	90.9
259,188,558	142.9
22,067,467,582	458.4
－	－
1,647,200	117.7
688,191,357	100.7
19,145,234,185	103.1

用　語　の　説　明

◆ 会計区分

一般会計

福祉、教育、道路・公園の整備、ごみ収集など、主に税金を使って事業を行う市の基本的な会計。

特別会計

国民健康保険や介護保険など特定の事業を特定の収入によって行い、その収支を明確にするために一般会計から独立させた会計。

普通会計

一般会計と特別会計（公営企業会計等を除く）を合算し、会計間の重複額等を控除したもの。地方公共団体間の比較や時系列比較が可能となるように、地方財政統計上、統一的に用いられる会計区分のこと。

◆ 収支状況関係

形式収支

歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた歳入歳出差引額。

翌年度へ繰り越すべき財源

繰越明許費繰越や事故繰越しなど翌年度へ繰り越す歳出額に充てる財源。

実質収支

当該年度に属すべき収入と支出との実質的な差額をみるもので、形式収支から、翌年度に繰り越すべき財源（繰越明許費等の財源）を控除した額。

単年度収支

実質収支は前年度以前からの収支の累積であるので、その影響を控除した単年度の収支のこと。具体的には、当該年度における実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額。

◆ 歳入歳出決算関係

予算現額

歳入予算にあっては、当初予算額、補正予算額、継続費及び繰越事業費の繰越財源充当額

の合計額。歳出予算にあっては、当初予算額、補正予算額、継続費及び繰越事業費繰越額、予備費支出及び流用増減の合計額。

調定額

調定とは、当該歳入について、所属年度、歳入科目、納入すべき金額、納入義務者等に誤りがないか、法令や契約に違反する事実がないかを調査して決定する行為。調定額は、決定した納入すべき金額のこと。

収入未済額

歳入として調定されたが、当該年度の出納閉鎖期日（翌年度の5月31日）までに収入できなかったもののうち、不納欠損額を除く金額のこと。

不納欠損額

不納欠損とは、既に調定された歳入が徴収できなくなったことを表示する決算上の取扱いであり、時効により消滅した債権や権利を放棄した債権等について行われる。不納欠損額は、その金額のこと。

自主財源、依存財源

歳入は、市税や使用料、手数料など地方公共団体が自主的に収入することができる自主財源と、地方交付税、国庫支出金などの依存財源に分類される。自主財源である市税などが多いほど、自主的な財政運営ができる。

不用額

予算現額から支出済額と翌年度繰越額を差し引いた残額。

翌年度繰越額

繰越とは、年度内に支出を終わらなかった歳出予算の金額を翌年度に繰り越して使用すること。地方自治法及び同施行令には、継続費の逓次繰越、繰越明許費繰越、事故繰越しの3つが規定されており、翌年度繰越額はこれらの合計額。

継続費逓次繰越

ある事業の履行に数年度を要するものについては、予算でその経費の総額及び年度割を定めることにより、数年度にわたって支出することができる。この経費を継続費といい、逓次繰越とは、設定年度ごとの執行残額を継続年度の終わりまで逓次繰り越して執行すること。

繰越明許費

歳出予算の経費のうち、その性質上又は予算成立後の事由により年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて、予算に定めて翌年度に繰り越して使用すること。

事故繰越し

歳出予算の経費のうち、年度内に支出負担行為（支出の原因となる契約その他の行為）をし、避けがたい事故のため年度内に支出を終わらなかったものを翌年度に繰り越して使用すること。

義務的経費

地方公共団体の歳出のうち、任意に削減できない経費。職員の給与等の人件費、扶助費及び公債費からなる。

投資的経費

道路や公園、教育施設などの社会資本の整備に要するもので、その効果が資産として将来に残るものに支出される（投資される）経費のこと。

扶助費

社会保障制度の一環として地方公共団体が各種法令に基づいて実施する給付や、地方公共団体が単独で実施する各種扶助に係る経費のこと。

公債費

地方公共団体が発行した地方債（借金）の毎年度の返済（元金、利子）に要する経費のこと。

繰出金

普通会計と公営事業会計との間又は特別会計相互間において支出される経費。また、基金に対する支出のうち、定額の資金を運用するためのものも繰出金に含まれる。

◆ 財政運営状況関係

経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいることを表す。具体的には、人件費、扶助費、公債費等のように毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源の額（経常経費充当一般財源等）が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源等（経常一般財源等）の合計額に

占める割合。

$$\left[\ \text{経常収支比率} = \frac{\text{経常経費充当一般財源等}}{\text{経常一般財源等}} \times 100\ \right]$$

財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指標で、財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。具体的には、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。

$$\left[\ \text{財政力指数} = \frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}} \text{ の過去3か年の平均値}\ \right]$$

基準財政収入額

普通交付税の算定に用いるもので、各地方公共団体の財政力を合理的に測定するために、標準的な状態において徴収が見込まれる税収入を一定の方法によって算定するものであり、次の算式により算定される。

$$\left[\ \text{標準的な地方税収入} \times 75/100 + \text{地方譲与税等}\ \right]$$

基準財政需要額

普通交付税の算定基礎となるもので、各地方公共団体が、合理的かつ妥当な水準における行政を行い、又は施設を維持するための財政需要を算定するものであり、行政項目ごとに次の算式により算出される。

$$\left[\ \begin{matrix}\text{単位費用}\\(\text{測定単位1当たり費用})\end{matrix} \times \begin{matrix}\text{測定単位}\\(\text{人口・面積等})\end{matrix} \times \begin{matrix}\text{補正係数}\\(\text{寒冷補正等})\end{matrix}\ \right]$$

実質公債費比率

標準財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額などの割合のこと。

将来負担比率

地方公共団体が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合のこと。

標準財政規模

地方公共団体が標準的に収入しうる市税や普通交付税などの一般財源（使途を定められていない財源）の大きさを示すもの。

臨時財政対策債

国の地方交付税への財源不足対策として、本来地方交付税で交付されるものの一部を地方債（臨時財政対策債）として各地方公共団体が借り入れるもの。その償還（返済）については、後年度、その全額が地方交付税で措置される。

債務負担行為

数年度にわたる建設工事、土地の購入等翌年度以降の経費支出や、債務保証又は損失補償のように債務不履行等の一定の事実が発生したときの支出を予定するなどの、将来の財政支出を約束する行為のこと。

◆ 財産の状況関係

財産

地方自治法における財産とは、公有財産、物品、債権、基金のこと。

公有財産

公有財産には、土地や建物等の不動産、船舶や航空機等の動産、地上権等の用益物権、特許権や著作権等の無体財産権、株式や国債等の有価証券、出資金等の出資による権利などがある。また、公有財産は、行政財産と普通財産に分類される。

行政財産

地方公共団体において、公用又は公共用に供し、又は供することと決定している財産。公用は、地方公共団体が事務事業を行うために直接使用するものであり、市役所庁舎などがある。また、公共用は、住民の一般的な利用に供することを目的としており、学校や市民センター、図書館、公園などがある。

普通財産

行政財産以外の一切の公有財産をいい、主としてその経済的価値を発揮することにより、間接的に地方公共団体の行政に貢献させるための財産。普通財産は、これを貸し付け、交換し、売払い、譲与し、若しくは出資の目的とし、又はこれに私権を設定することができる。

基金

地方公共団体が、特定の目的のために維持管理する財産であり、設置目的により、資金を積み立てるための基金と、定額の資金を運用することにより特定の事務事業を行うための基金とに分けられる。

令和７年度

北九州市公営企業会計

決　算　審　査　意　見　書

北九州市監査委員

北九行監一第１９６号
令和８年８月１９日

北九州市長　武　内　和　久　様

北九州市監査委員　　中　野　正　信
同　　梅　田　久　和
同　　鷹　木　研一郎
同　　大久保　無　我

令和７年度北九州市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第３０条第２項の規定により、令和７年度北九州市公営企業会計の決算を審査したので、別紙のとおり意見を提出する。

なお、この審査は、監査委員　中西　満信（令和８年６月３０日辞任)、同　中野　正信（令和８年７月１日就任)、同　梅田　久和、同　鷹木　研一郎、同　大久保　無我により行った。

目　　次

第１　審査の対象 …… 1
第２　審査の着眼点及び方法 …… 1
第３　審査の期間 …… 1
第４　審査の結果 …… 1

上水道事業会計
１　業務の実績 …… 11
２　予算の執行状況 …… 12
３　経営成績 …… 15
４　財政状態 …… 19
５　セグメント情報 …… 22
６　一般会計からの繰入状況 …… 23
７　むすび …… 24

工業用水道事業会計
１　業務の実績 …… 25
２　予算の執行状況 …… 25
３　経営成績 …… 28
４　財政状態 …… 32
５　一般会計からの繰入状況 …… 35
６　むすび …… 36

交通事業会計
１　業務の実績 …… 37
２　予算の執行状況 …… 37
３　経営成績 …… 40
４　財政状態 …… 44
５　一般会計からの繰入状況 …… 48
６　むすび …… 49

病院事業会計
１　業務の実績 …… 50
２　予算の執行状況 …… 50
３　経営成績 …… 53
４　財政状態 …… 56
５　セグメント情報 …… 59
６　一般会計からの繰入状況 …… 60
７　むすび …… 61

下水道事業会計
1 業務の実績 …… 63
2 予算の執行状況 …… 63
3 経営成績 …… 66
4 財政状態 …… 70
5 一般会計からの繰入状況 …… 74
6 むすび …… 75

公営競技事業会計
1 業務の実績 …… 76
2 予算の執行状況 …… 76
3 経営成績 …… 79
4 財政状態 …… 83
5 セグメント情報 …… 86
6 一般会計との繰入・繰出状況 …… 87
7 むすび …… 87

公営企業会計決算審査資料
上水道事業会計 …… 89
工業用水道事業会計 …… 101
交通事業会計 …… 113
病院事業会計 …… 125
下水道事業会計 …… 137
公営競技事業会計 …… 149
用語の説明 …… 161

［凡例］

1　文中及び各表中の金額及び比率は、表示単位未満を四捨五入した。
　このため、総数と内訳の合計が一致しない場合がある。
2　各表中符号の用法は、次のとおりである。
　「△」……負数。比率の符号（正負）は、算定式どおりとする。
　「0.0」……比率で、該当数値はあるが単位未満のもの
　「－」……項目に該当する数値がないとき
　　算出不能又は無関係のもの
　　除算で、分母が0のとき
　「0」……除算で、分子が0のとき
　　予算決算については、どちらかに数値があれば「0」を使用する。
　「…」……比率が1,000％以上又は△1,000％以下のもの
3　文中及び各表中に用いる金額は、予算と対比する決算額の数値及び資本的収支に係る決算額の数値については消費税及び地方消費税（以下、単に「消費税」という。）を含み、それ以外の数値については消費税を除いている。

令和７年度北九州市公営企業会計決算審査意見

第１　審査の対象

審査の対象は、次に掲げる決算書類等とする。

（1）公営企業会計決算書類

令和７年度北九州市上水道事業会計決算

令和７年度北九州市工業用水道事業会計決算

令和７年度北九州市交通事業会計決算

令和７年度北九州市病院事業会計決算

令和７年度北九州市下水道事業会計決算

令和７年度北九州市公営競技事業会計決算

上記各決算に関する決算報告書、損益計算書、剰余金計算書(欠損金計算書)、剰余金処分計算書(欠損金処理計算書)、貸借対照表

（2）上記各決算に関する証書類、事業報告書

（3）上記各決算に関するキャッシュ・フロー計算書、収益費用明細書、固定資産明細書、企業債明細書

第２　審査の着眼点及び方法

審査に当たっては、決算書類等が、当年度の経営成績及び当年度末日における財政状態を適正に表示しているかを確認するとともに、主として年度比較により事業の推移を比較し、その経営内容を分析した。

なお、この審査は、北九州市監査基準に準拠して行った。

第３　審査の期間

令和８年６月１日から同年８月３日まで

第４　審査の結果

決算書類等は、地方公営企業法及び関係法令に準拠して作成され、その計数は正確で、令和７年度の経営成績及び当年度末の財政状態を適正に表示していると認められた。また、予算の執行状況は、審査した限りにおいて適正であると認められた。

経営成績及び財政状態の概要等は、次のとおりである。

１　経営成績

（1）　収　　益

各事業における収益の状況は、表１のとおりである。

表1　収益　　（単位：百万円）

区　分	上水道事業	工業用水道事業	交通事業	病院事業	下水道事業	公営競技事業	合　計
総　収　益	18,982 (323)	1,920 (103)	2,030 (103)	235 (△ 6)	25,117 (△ 400)	209,998 (23,330)	258,281 (23,453)
営業収益	16,107 (189)	1,662 (76)	1,590 (128)	2 (△ 0)	18,766 (△ 494)	209,789 (23,231)	247,915 (23,131)
営業外収益	2,869 (134)	245 (15)	440 (△ 20)	233 (△ 6)	6,339 (88)	194 (84)	10,320 (295)
特別利益	6 (△ 0)	12 (12)	－ (△ 5)	－ (－)	13 (5)	15 (15)	46 (27)

注　（　）は、対前年度増減を示す。（以下、各表において同じ。）

企業会計全体の総収益を前年度と比べると、234億5千万円増加している。これは、主に公営競技事業の増加によるものである。

営業収益の増加は、主に公営競技事業の増加によるものである。

営業外収益の増加は、主に上水道事業の増加によるものである。

特別利益の増加は、主に公営競技事業の増加によるものである。

(2)　費　　用

各事業における費用の状況は、表2のとおりである。

表2　費用　　（単位：百万円）

区　分	上水道事業	工業用水道事業	交通事業	病院事業	下水道事業	公営競技事業	合　計
総　費　用	20,749 (1,272)	1,614 (78)	2,015 (77)	392 (4)	26,364 (188)	194,275 (20,646)	245,409 (22,265)
営業費用	18,737 (1,122)	1,583 (66)	2,000 (73)	346 (8)	24,969 (205)	191,832 (20,453)	239,467 (21,927)
営業外費用	2,004 (151)	31 (12)	15 (15)	46 (△ 4)	1,386 (△ 6)	2,443 (193)	5,925 (362)
特別損失	8 (△ 1)	1 (0)	－ (△ 11)	－ (－)	9 (△ 12)	－ (－)	17 (△ 24)

企業会計全体の総費用を前年度と比べると、222億7千万円増加している。これは、主に公営競技事業の増加によるものである。

営業費用の増加は、主に公営競技事業の増加によるものである。

営業外費用の増加は、主に公営競技事業の増加によるものである。

特別損失の減少は、主に下水道事業の減少によるものである。

(3)　損　　益

各事業における損益の状況は、表3のとおりである。

表3　損益　　（単位：百万円）

区　分	上水道事業	工業用水道事業	交通事業	病院事業	下水道事業	公営競技事業	合　計
営業損益	△ 2,631 (△ 932)	79 (10)	△ 410 (55)	△ 344 (△ 8)	△ 6,203 (△ 699)	17,956 (2,778)	8,448 (1,203)
経常損益	△ 1,765 (△ 950)	294 (13)	15 (20)	△ 157 (△ 11)	△ 1,251 (△ 605)	15,708 (2,670)	12,844 (1,137)
純損益	△ 1,767 (△ 949)	305 (25)	15 (26)	△ 157 (△ 11)	△ 1,247 (△ 588)	15,722 (2,684)	12,872 (1,188)
当年度未処分利益剰余金	△ 1,039 (△ 1,799)	652 (△ 322)	△ 2,427 (15)	△ 12,430 (△ 157)	1,595 (△ 1,247)	38,188 (7,350)	24,540 (3,841)

注　営業損益：営業収益－営業費用
　　経常損益：（営業収益＋営業外収益）－（営業費用＋営業外費用）
　　純損益　：総収益－総費用
　　当年度未処分利益剰余金：正数は当年度未処分利益剰余金を、負数（△表示）は当年度未処理欠損金を示す。

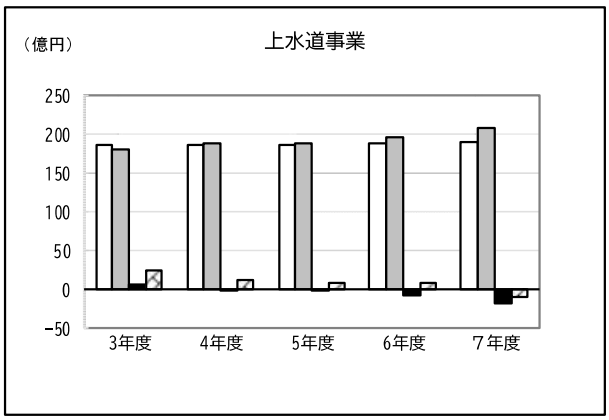
営業損益は、工業用水道事業及び公営競技事業で利益を計上し、上水道事業、交通事業、病院事業及び下水道事業では損失を計上した。企業会計全体では 84 億 5 千万円の利益となっている。

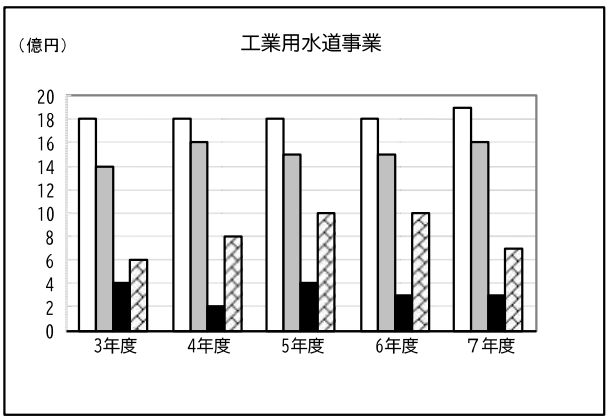
経常損益は、工業用水道事業、交通事業及び公営競技事業で利益を計上し、上水道事業、病院事業及び下水道事業では損失を計上した。企業会計全体では 128 億 4 千万円の利益となっている。

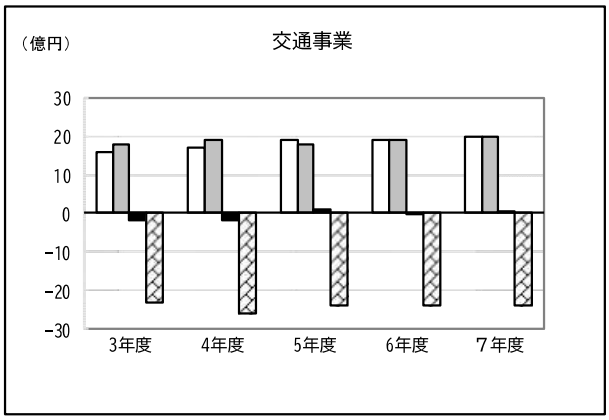
純損益は、工業用水道事業、交通事業及び公営競技事業で利益を計上し、上水道事業、病院事業及び下水道事業では損失を計上した。企業会計全体では 128 億 7 千万円の利益となっている。

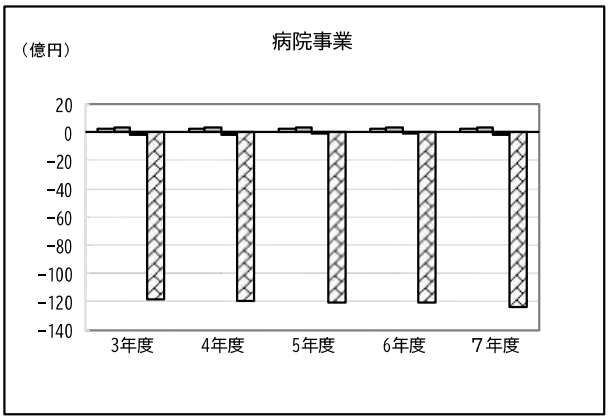
当年度末の未処分利益剰余金は、工業用水道事業、下水道事業及び公営競技事業では剰余金を計上し、上水道事業、交通事業及び病院事業では欠損金を計上した。企業会計全体では当年度未処分利益剰余金は 245 億 4 千万円となっている。

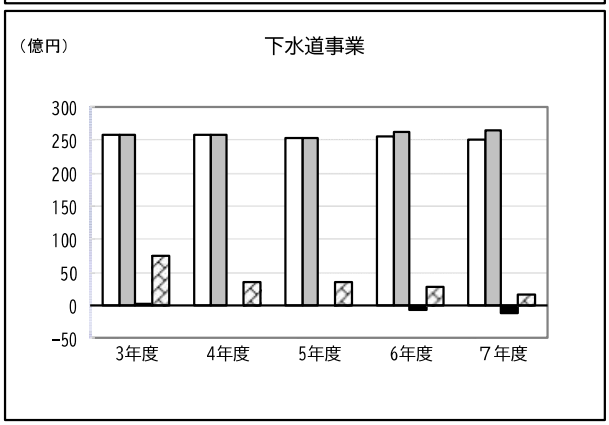
最近 5 か年における各企業会計の純損益等の推移は、次のグラフのとおりである。

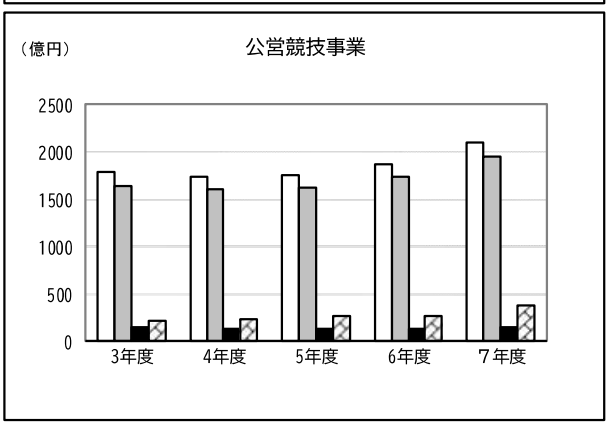

（億円）
上水道事業
250
200
150
100
50
0
−50
3年度
4年度
5年度
6年度
7年度

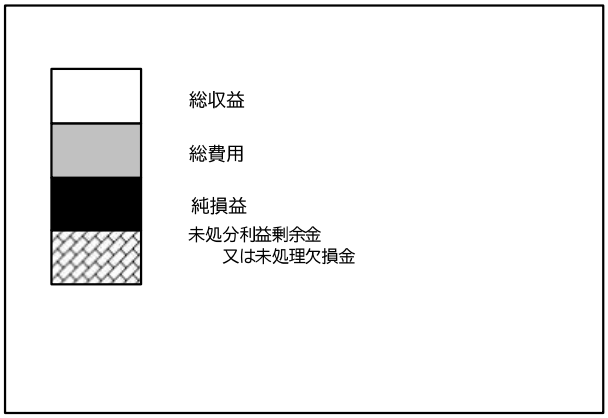

（億円）
工業用水道事業
20
18
16
14
12
10
8
6
4
2
0
3年度
4年度
5年度
6年度
7年度


（億円）
交通事業
30
20
10
0
−10
−20
−30
3年度
4年度
5年度
6年度
7年度


（億円）
病院事業
20
0
−20
−40
−60
−80
−100
−120
−140
3年度
4年度
5年度
6年度
7年度


（億円）
下水道事業
300
250
200
150
100
50
0
−50
3年度
4年度
5年度
6年度
7年度


（億円）
公営競技事業
2500
2000
1500
1000
500
0
3年度
4年度
5年度
6年度
7年度


総収益
総費用
純損益
未処分利益剰余金
又は未処理欠損金

2　資本的収入及び支出

(1)　資本的収入

各事業における資本的収入の状況は、表4のとおりである。

表4　資本的収入　　（単位：百万円）

区　分	上水道事業	工業用水道事業	交通事業	病院事業	下水道事業	公営競技事業	合　計
資本的収入	6,896 (1,464)	957 (134)	106 (34)	362 (△ 8)	13,255 (942)	783 (506)	22,359 (3,072)
企業債	5,945 (846)	900 (200)	63 (△ 8)	29 (△ 14)	6,288 (760)	－ (－)	13,225 (1,785)
国県補助金	77 (33)	35 (△ 19)	2 (△ 0)	－ (－)	4,430 (269)	－ (－)	4,544 (282)
出資金	346 (210)	－ (－)	－ (－)	333 (5)	－ (－)	－ (－)	679 (215)
工事負担金	525 (377)	－ (△ 68)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	525 (309)
負担金	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	238 (△ 126)	－ (－)	238 (△ 126)
基金繰入金	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	2,290 (47)	783 (506)	3,073 (553)
その他	3 (△ 2)	22 (22)	42 (42)	－ (－)	9 (△ 7)	0 (0)	76 (55)

資本的収入は、企業会計全体で前年度と比べると、30億7千万円増加している。これは、主に上水道事業の増加によるものである。

(2)　資本的支出

各事業における資本的支出の状況は、表5のとおりである。

表5　資本的支出　　（単位：百万円）

区　分	上水道事業	工業用水道事業	交通事業	病院事業	下水道事業	公営競技事業	合　計
資本的支出	15,098 (364)	2,075 (121)	183 (52)	362 (△ 9)	23,232 (651)	32,362 (23,687)	73,313 (24,865)
建設改良費	11,503 (362)	1,959 (138)	134 (47)	29 (△ 15)	12,018 (728)	2,237 (△ 347)	27,881 (913)
企業債償還金	3,591 (1)	116 (△ 17)	49 (5)	333 (5)	8,404 (△ 163)	983 (100)	13,477 (△ 69)
投資	0 (0)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	2,810 (86)	4,142 (3,935)	6,952 (4,021)
繰出金	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	25,000 (20,000)	25,000 (20,000)
その他	4 (1)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	－ (－)	4 (1)

資本的支出は、企業会計全体で前年度と比べると、248億7千万円増加している。これは、

主に公営競技事業の増加によるものである。

なお、公営競技事業は、一般会計への繰出金として 250 億円を計上している。

(3) 資本的収支及び補てん財源

各事業における資本的収支及び補てん財源の状況は、表 6 のとおりである。

表6 資本的収支及び補てん財源の状況 （単位：百万円）

区分		上水道事業	工業用水道事業	交通事業	病院事業	下水道事業	公営競技事業	合計
資本的収支	資本的収入額 (A)	6,896 (1,464)	957 (134)	106 (34)	362 (△ 8)	13,255 (942)	783 (506)	22,359 (3,072)
	資本的支出額 (B)	15,098 (364)	2,075 (121)	183 (52)	362 (△ 9)	23,232 (651)	32,362 (23,687)	73,313 (24,865)
	差引不足額 (B)-(A) (C)	8,203 (△ 1,100)	1,118 (△ 14)	77 (19)	0 (△ 1)	9,978 (△ 292)	31,579 (23,181)	50,955 (21,793)
補てん財源	消費税資本的収支調整額	924 (62)	224 (73)	40 (32)	3 (△ 1)	630 (51)	193 (△ 35)	2,012 (181)
	損益勘定留保資金	14,322 (△ 178)	1,219 (238)	646 (35)	207 (12)	11,884 (806)	1,838 (△ 1,456)	30,116 (△ 542)
	利益剰余金	△ 1,767 (△ 1,851)	1,659 (△ 439)	15 (26)	△ 157 (△ 11)	1,595 (△ 1,247)	63,989 (10,222)	65,334 (6,701)
	当年度純損益	△ 1,767 (△ 949)	305 (25)	15 (26)	△ 157 (△ 11)	△ 1,247 (△ 588)	15,722 (2,684)	12,872 (1,188)
	繰越利益剰余金	－ (△ 903)	1,353 (△ 463)	－ (－)	－ (－)	2,842 (△ 659)	48,267 (7,538)	52,462 (5,513)
	計 (D)	13,479 (△ 1,968)	3,102 (△ 128)	701 (92)	52 (0)	14,108 (△ 389)	66,020 (8,731)	97,463 (6,339)
当年度末資金剰余額 △当年度末資金不足額 (D)-(C) (E)		5,276 (△ 868)	1,984 (△ 114)	624 (74)	52 (1)	4,131 (△ 97)	34,441 (△ 14,450)	46,508 (△ 15,454)
翌年度繰越工事資金 (F)		2,107 (105)	512 (△ 183)	－ (－)	－ (－)	457 (△ 399)	642 (192)	3,718 (△ 285)
当年度末実質資金剰余額 △当年度末実質資金不足額 (E)-(F) (G)		3,170 (△ 973)	1,471 (69)	624 (74)	52 (1)	3,674 (301)	33,799 (△ 14,642)	42,790 (△ 15,169)

資本的収支において、建設改良費、企業債償還金等の資本的支出に必要な資金は、企業債、国庫補助金、出資金等の資本的収入で賄うこととなるが、その間で生じた資金不足額は、内部留保資金である減価償却費等の損益勘定留保資金や利益剰余金等により補てんすることとなる。補てんした後に残った資金が当年度末資金剰余額であり、さらに翌年度繰越工事資金を差し引くと当年度末実質資金剰余額となる。

当年度末実質資金剰余額は、企業会計全体で 427 億 9 千万円となり、前年度末と比べると、151 億 7 千万円減少している。これは、主に公営競技事業の減少によるものである。

3 財政状態

各事業の貸借対照表は、表 7 のとおりである。

表7　貸借対照表　　（単位：百万円）

区　分	上水道事業	工業用水道事業	交通事業	病院事業	下水道事業	公営競技事業	合　計
資　産　合　計	220,691 (505)	21,763 (650)	2,155 (384)	1,984 (△ 157)	414,934 (△ 3,032)	99,990 (9,136)	761,517 (7,486)
固　定　資　産	211,303 (1,512)	19,205 (1,002)	1,282 (233)	1,911 (△ 125)	405,463 (△ 4,319)	35,300 (4,227)	674,465 (2,530)
流　動　資　産	9,387 (△ 1,007)	2,558 (△ 352)	873 (151)	73 (△ 32)	9,471 (1,287)	64,690 (4,909)	87,052 (4,956)
負債・資本合計	220,691 (505)	21,763 (650)	2,155 (384)	1,984 (△ 157)	414,934 (△ 3,032)	99,990 (9,136)	761,517 (7,486)
負　債　計	103,217 (1,927)	8,324 (345)	1,379 (368)	2,263 (△ 333)	293,362 (△ 2,146)	8,470 (△ 1,586)	417,015 (△ 1,425)
固　定　負　債	64,975 (2,263)	2,837 (755)	718 (267)	1,850 (△ 300)	128,481 (△ 677)	624 (△ 2,135)	199,486 (171)
流　動　負　債	8,127 (△ 37)	721 (△ 227)	412 (114)	359 (△ 29)	12,477 (△ 55)	7,335 (303)	29,430 (68)
繰　延　収　益	30,114 (△ 299)	4,766 (△ 183)	248 (△ 12)	54 (△ 4)	152,405 (△ 1,414)	511 (247)	188,098 (△ 1,665)
資　本　計	117,474 (△ 1,421)	13,439 (305)	776 (15)	△ 279 (176)	121,572 (△ 886)	91,520 (10,722)	344,502 (8,912)
資　本　金	109,738 (378)	9,250 (744)	3,073 (0)	12,071 (333)	113,944 (0)	27,531 (500)	275,606 (1,955)
資本剰余金	8,775 (0)	2,530 (0)	131 (0)	80 (0)	6,033 (360)	－ (0)	17,549 (360)
利益剰余金	△ 1,039 (△ 1,799)	1,659 (△ 439)	△ 2,427 (15)	△ 12,430 (△ 157)	1,595 (△ 1,247)	63,989 (10,222)	51,348 (6,597)

注　利益剰余金：正数は利益剰余金を、負数（△表示）は欠損金を示す。

(1)　資　　産

資産は、企業会計全体で前年度と比べると、74 億 9 千万円増加している。これは、主に公営競技事業の増加によるものである。

固定資産の増加は、主に公営競技事業の増加によるものである。

流動資産の増加は、主に公営競技事業の増加によるものである。

(2)　負　　債

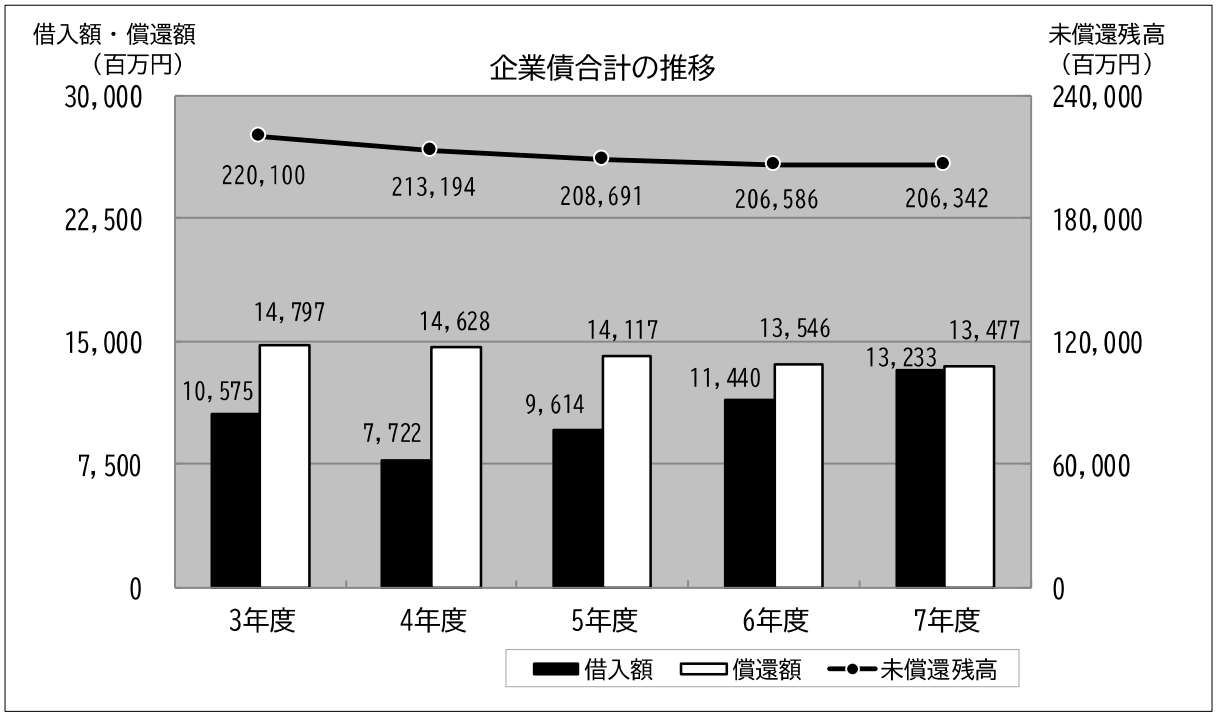
負債は、企業会計全体で前年度と比べると、14 億 3 千万円減少している。これは、主に下水道事業の減少によるものである。

固定負債の増加は、主に上水道事業の増加によるものである。

流動負債の増加は、主に公営競技事業の増加によるものである。

繰延収益の減少は、主に下水道事業の減少によるものである。

なお、最近 5 か年の企業会計全体の企業債未償還残高等の推移は、次のグラフのとおりである。



(3) 資　　本

資本は、企業会計全体で前年度と比べると、89 億 1 千万円増加している。これは、主に公営競技事業の増加によるものである。

資本金の増加は、主に工業用水道事業の増加によるものである。

資本剰余金の増加は、下水道事業の増加によるものである。

利益剰余金の増加は、主に公営競技事業の増加によるものである。

これにより企業会計全体の利益剰余金は、前年度と比べると 66 億円増加し、513 億 5 千万円となっている。

(4) キャッシュ・フロー

各事業におけるキャッシュ・フローの状況は、表 8 のとおりである。

表8　キャッシュ・フロー　　（単位：百万円）

区　分	上水道事業	工業用水道事業	交通事業	病院事業	下水道事業	公営競技事業	合　計
業務活動によるキャッシュ・フロー	6,305 (△ 806)	995 (205)	132 (65)	△ 8 (△ 1)	10,026 (487)	20,712 (8,573)	38,163 (8,523)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,712 (△ 1,821)	△ 2,031 (△ 756)	△ 26 (80)	△ 58 (△ 57)	△ 6,037 (3,039)	△ 5,308 (△ 3,092)	△ 24,173 (△ 2,607)
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,626 (1,038)	784 (217)	14 (△ 13)	37 (△ 5)	△ 2,141 (912)	△ 26,100 (△ 20,139)	△ 24,780 (△ 17,991)
資金増加額（△は減少額）	△ 1,781 (△ 1,589)	△ 252 (△ 333)	120 (132)	△ 29 (△ 63)	1,848 (4,438)	△ 10,695 (△ 14,658)	△ 10,790 (△ 12,074)
資金期首残高	5,251 (△ 192)	2,381 (82)	483 (△ 12)	87 (34)	6,027 (△ 2,591)	48,780 (3,963)	63,008 (1,284)
資金期末残高	3,470 (△ 1,781)	2,129 (△ 252)	602 (120)	58 (△ 29)	7,874 (1,848)	38,085 (△ 10,695)	52,218 (△ 10,790)

事業本来の業務活動による資金収支を示す業務活動によるキャッシュ・フローは、企業会計全体で 381 億 6 千万円のプラスとなっている。

固定資産や投資資産の取得・売却などの収支を示す投資活動によるキャッシュ・フローは、企業会計全体で 241 億 7 千万円のマイナスとなっている。

また、企業債の借入・償還など資金の調達を示す財務活動によるキャッシュ・フローは、企業会計全体で 247 億 8 千万円のマイナスとなっている。

この結果、資金減少額は 107 億 9 千万円となっており、資金期首残高を含めた資金期末残高は 522 億 2 千万円となっている。

4　一般会計繰入金

各事業における一般会計からの繰入状況は、表 9 のとおりである。

表9　一般会計繰入金一覧　　（単位：百万円）

年　度	上水道事業	工業用水道事業	交通事業	病院事業	下水道事業	公営競技事業	合　計
3　年　度	154	2	112	552	5,938	－	6,758
4　年　度	174	1	108	563	5,983	－	6,830
5　年　度	171	1	392	583	5,800	－	6,947
6　年　度　(A)	184	2	353	563	5,740	－	6,842
7　年　度　(B)	403	2	357	562	5,715	－	7,038
基準内	403	2	26	551	5,708	－	6,691
基準外	－	－	330	11	7	－	348
増　減　(B)-(A)	219	1	3	△ 1	△ 25	－	197

注　基準内とは国の繰出し基準(総務副大臣通知)に基づく繰入金、基準外とはそれ以外のものをいう。
　　公営競技事業は一般会計からの繰入金はない。

一般会計からの繰入金は、企業会計全体で前年度と比べると、2億円増加している。これは、主に上水道事業の増加によるものである。

5　事業会計別決算状況

各事業会計の業務の実績、予算の執行状況、経営成績、財政状態及び一般会計からの繰入状況等については、以下、事業会計別に述べるとおりである。

上　水　道　事　業　会　計

1　業 務 の 実 績

当年度末における給水戸数は512,127戸、給水人口は936,757人となっており、前年度末と比べると、給水戸数で0.2%の増加、給水人口は0.8%の減少となっている。給水普及率は前年度と同じ99.7%となっている。

水道用水供給事業（以下「用水事業」という。）を除いた水道事業（以下「水道事業」という。）の当年度の配水量は 104,149,958 ㎥である。このうち料金の対象となる有収水量は93,505,076 ㎥で、前年度と比べると1.0%減少している。有収率は89.8%で、前年度から0.4ポイント下降している。

用水事業の当年度の給水量は 8,574,677 ㎥で、前年度と比べると 23.0%増加している。このうち有収水量は8,507,457 ㎥で、前年度と比べると22.2%増加している。有収率は99.2%で、前年度から0.7ポイント下降している。

業務実績の年度比較は、表1のとおりである。

表1　業務実績の年度比較

項目		単位	7年度	6年度	対前年度比較（△減） 増減	比率
水道事業	給水能力	㎥/日	769,000	769,000	0	0
	給水戸数	戸	512,127	511,117	1,010	0.2
	給水区域内人口	人	939,762	947,298	△ 7,536	△ 0.8
	現在給水人口	人	936,757	944,242	△ 7,485	△ 0.8
	給水普及率	%	99.7	99.7	0.0	－
	配水量	㎥	104,149,958	104,638,291	△ 488,333	△ 0.5
	有収水量	㎥	93,505,076	94,418,568	△ 913,492	△ 1.0
	有収率	%	89.8	90.2	△ 0.4	－
用水事業	給水量	㎥	8,574,677	6,972,237	1,602,440	23.0
	有収水量	㎥	8,507,457	6,963,803	1,543,654	22.2
	有収率	%	99.2	99.9	△ 0.7	－
	配水管延長	m	4,258,279	4,244,382	13,897	0.3
	職員数	人	312	317	△ 5	△ 1.6

注　給水戸数、給水区域内人口及び現在給水人口は、北九州市のほか芦屋町及び水巻町を含む。
有収率は、水道事業については配水量に対する有収水量の比率であり、用水事業については給水量に対する有収水量の比率である。

2　予算の執行状況

(1)　収益的収入及び支出

収益的収入は、予算現額212億7,055万円に対し、決算額209億5,537万円で、執行率98.5%となっている。これは、主として営業収益が予算を下回ったことによるものである。

なお、当年度の予算における業務予定量に対する実績をみると、給水戸数で 99.7%、配水量（用水事業については給水量）で100.6%となっている。

収入の根幹である営業収益は、予算現額182億5,032万円に対し、決算額178億6,486万円で、執行率 97.9%となっている。これは、受託収益などが予算を下回ったことによるものである。

収益的支出は、予算現額225億8,387万円に対し、決算額216億3,077万円で、執行率95.8%となっている。これは、受託工事費などの営業費用などが予算を下回ったことによるものである。

収支差引額は、予算では13億1,332万円の収入不足の見込みが、決算では6億7,540万円の収入不足となっている。

収益的収入及び支出の執行状況は、表2のとおりである。

表2　収益的収入及び支出の執行状況　　（単位：千円、％）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
上水道事業収益	営業収益	18,250,324	85.8	86.5	17,864,859	85.3	86.0	97.9	96.6
	営業外収益	2,959,080	13.9	13.3	3,084,408	14.7	14.0	104.2	102.2
	特別利益	61,144	0.3	0.2	6,101	0.0	0.0	10.0	13.9
	合計	21,270,548	100.0	100.0	20,955,368	100.0	100.0	98.5	97.2
上水道事業費	営業費用	20,080,701	88.9	89.4	19,513,277	90.2	90.2	97.2	92.7
	営業外費用	2,466,487	10.9	10.4	2,109,299	9.8	9.8	85.5	86.3
	特別損失	16,052	0.1	0.1	8,191	0.0	0.0	51.0	36.4
	予備費	20,631	0.1	0.1	0	0	0	－	－
	合計	22,583,871	100.0	100.0	21,630,767	100.0	100.0	95.8	91.9
収支差引額		△ 1,313,323	－	－	△ 675,399	－	－	51.4	△ 20.1

注　決算額の収入には仮受消費税 1,739,385千円を、支出には仮払消費税 733,158千円を含む。

(2)　資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額157億3,180万円に対し、決算額68億9,557万円で、執行率43.8％となっている。これは、翌年度への繰越工事に係る財源として企業債等を繰り越したことなどによるものである。

資本的支出は、予算現額254億4,277万円に対し、決算額150億9,820万円で、執行率59.3％となっている。予算残額のうち90億2,700万円が繰り越され、13億1,757万円が不用額となっている。繰り越されたものは、配水管等整備改良事業等で、関係者協議等に日時を要したことなどによるものである。不用額の主なものは、負担金工事などの執行残によるものである。

収支差引不足額は、予算では97億1,097万円の見込みが、決算では82億262万円となっており、これに係る財源補てんの状況については、(3)資本的収支及び補てん財源のとおりである。

資本的収入及び支出の執行状況は、表3のとおりである。

表3　資本的収入及び支出の執行状況　　（単位：千円、％）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
上水道事業資本的収入	企業債	12,338,200	78.4	84.9	5,945,000	86.2	93.9	48.2	55.9
	国県補助金	521,127	3.3	0.6	77,000	1.1	0.8	14.8	67.1
	出資金	800,589	5.1	2.0	345,689	5.0	2.5	43.2	64.3
	工事負担金	1,729,849	11.0	12.3	524,886	7.6	2.7	30.3	11.2
	固定資産売却代金	339,012	2.2	0.2	0	0	0.0	0	8.7
	預託金返還金	3,000	0.0	0.0	3,000	0.0	0.1	100.0	100.0
	その他資本的収入	20	0.0	0.0	0	0	0	0	0
	合計	15,731,797	100.0	100.0	6,895,575	100.0	100.0	43.8	50.5
上水道事業資本的支出	施設費	21,838,640	85.8	83.7	11,503,271	76.2	75.6	52.7	60.4
	企業債償還金	3,596,300	14.1	16.3	3,590,799	23.8	24.4	99.8	99.8
	投資	200	0.0	0.0	118	0.0	0.0	59.2	53.1
	預託金	3,000	0.0	0.0	3,000	0.0	0.0	100.0	100.0
	国庫補助金返還金	4,631	0.0	0.0	1,009	0.0	0.0	21.8	18.7
	合計	25,442,771	100.0	100.0	15,098,199	100.0	100.0	59.3	66.8
収支差引額		△ 9,710,974	－	－	△ 8,202,624	－	－	84.5	82.3

注　決算額の支出には仮払消費税 923,708千円を含む。

(3)　資本的収支及び補てん財源

資本的収入額 68 億 9,557 万円が、資本的支出額 150 億 9,820 万円に対して不足する額 82 億 262 万円は、損益勘定留保資金等 134 億 7,892 万円から補てんしている。

当年度末資金剰余額は 52 億 7,629 万円であり、これから翌年度への繰越工事に充当する資金 21 億 667 万円を差し引いた当年度末の実質資金剰余額は 31 億 6,962 万円で、前年度末と比べると、9 億 7,257 万円の減少となっている。

資本的収支及び補てん財源の状況は、表 4 のとおりである。

表4　資本的収支及び補てん財源の状況　　（単位：千円）

項目			7 年 度 決 算 額
資本的収支	資本的収入額	(A)	6,895,575
	資本的支出額	(B)	15,098,199
	差引不足額	(B)－(A) (C)	8,202,624
補てん財源	消費税資本的収支調整額		923,708
	損益勘定留保資金		14,322,038
	当年度純損益		△ 1,766,829
	繰越利益剰余金		－
	計	(D)	13,478,917
当年度末資金剰余額		(D)－(C) (E)	5,276,293
翌年度繰越工事資金		(F)	2,106,673
当年度末実質資金剰余額		(E)－(F) (G)	3,169,620
前年度末実質資金剰余額		(H)	4,142,193
対前年度実質資金剰余増減額		(G)－(H)	△ 972,573
（単年度実質資金剰余額）			

3 経 営 成 績

当年度の損益は、総収益 189 億 8,170 万円、総費用 207 億 4,853 万円で、差引き 17 億 6,683 万円の純損失となっている。前年度と比べると、薬品費や減価償却費などの営業費用が増加したことから純損失は 9 億 4,857 万円増加となった。

過去 3 か年の経営収支の比較は、表 5 のとおりである。

表5　経営収支の比較　　（単位：千円、％）

年度	総収益				総費用				純損益	
	決算額		対前年度比較(△減)		決算額		対前年度比較(△減)		決算額（△損失）	対前年度比較（△減）
	金額	指数	増減	比率	金額	指数	増減	比率		
5	18,604,392	100.0	50,203	0.3	18,842,841	100.0	7,468	0.0	△ 238,449	42,735
6	18,658,710	100.3	54,318	0.3	19,476,973	103.4	634,132	3.4	△ 818,263	△ 579,814
7	18,981,697	102.0	322,987	1.7	20,748,526	110.1	1,271,553	6.5	△1,766,829	△ 948,566

(1) 収　　益

収益について、主な科目ごとに前年度と比べると、表6のとおりである。

表6　収益の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度		6年度		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
営業収益	給水収益	14,452,227	76.1	14,427,543	77.3	24,684	0.2
	その他	1,654,534	8.7	1,490,088	8.0	164,446	11.0
	計	16,106,761	84.9	15,917,631	85.3	189,130	1.2
営業外収益	長期前受金戻入	1,323,092	7.0	1,305,287	7.0	17,805	1.4
	その他	1,545,838	8.1	1,429,771	7.7	116,067	8.1
	計	2,868,930	15.1	2,735,057	14.7	133,873	4.9
特別利益	固定資産売却益	－	－	1,614	0.0	△ 1,614	△100.0
	過年度損益修正益	6,006	0.0	4,407	0.0	1,599	36.3
	計	6,006	0.0	6,021	0.0	△ 16	△ 0.3
合計		18,981,697	100.0	18,658,710	100.0	322,987	1.7

収益合計（総収益）は、前年度と比べると、3億2,299万円の増加となっている。

営業収益において、給水収益 2,468 万円の増加は、水道事業で一般家庭の水需要が減少したことなどにより料金収入が減少した一方で、用水事業で有収水量の増加により料金収入が増加したことによるものである。その他 1 億 6,445 万円の増加は、材料売却収益が増加したことなどによるものである。

営業外収益において、長期前受金戻入 1,781 万円の増加は、繰延収益の償却（収益化）が増加したことによるものである。その他 1 億 1,607 万円の増加は、宗像地区水道事業での収益が増加したことなどによるものである。

特別利益において、固定資産売却益 161 万円の減少は、土地売却収益が皆減したことによるものである。過年度損益修正益 160 万円の増加は、長期前受金収益化累計額の修正に伴う戻入益が皆増したことなどによるものである。

(2) 費　　用

費用について、主な科目ごとに前年度と比べると、表7のとおりである。

表7　費用の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度			6年度			対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	営業収益に対する比率	金額	構成比率	営業収益に対する比率	増減	比率
営業費用	人件費	2,623,318	12.6	16.3	2,486,621	12.8	15.6	136,697	5.5
	動力・薬品費	1,414,839	6.8	8.8	1,149,105	5.9	7.2	265,734	23.1
	減価償却費	8,971,406	43.2	55.7	8,788,084	45.1	55.2	183,321	2.1
	その他	5,727,781	27.6	35.6	5,191,994	26.7	32.6	535,786	10.3
	計	18,737,343	90.3	116.3	17,615,805	90.4	110.7	1,121,539	6.4
営業外費用	支払利息	727,032	3.5	4.5	693,506	3.6	4.4	33,527	4.8
	その他	1,276,618	6.2	7.9	1,159,105	6.0	7.3	117,513	10.1
	計	2,003,650	9.7	12.4	1,852,610	9.5	11.6	151,040	8.2
特別損失	過年度損益修正損	7,532	0.0	0.0	8,558	0.0	0.1	△ 1,026	△ 12.0
	計	7,532	0.0	0.0	8,558	0.0	0.1	△ 1,026	△ 12.0
合計		20,748,526	100.0	128.8	19,476,973	100.0	122.4	1,271,553	6.5

費用合計（総費用）は、前年度と比べると、12億7,155万円の増加となっている。

営業費用において、人件費1億3,670万円の増加は、給与改定等によるものである。なお、人件費の営業収益に対する比率は16.3％で、前年度から0.7ポイント上昇している。動力・薬品費2億6,573万円の増加は、河川からの取水量が増加したことにより電力・薬品使用量が増加したことに加え、薬品単価が上昇したことなどによるものである。減価償却費1億8,332万円の増加は、配水設備や電気設備など有形固定資産に係る減価償却費が増加したことによるものである。その他5億3,579万円の増加は、主に修繕費や委託料などの維持管理費が増加したことなどによるものである。

営業外費用において、支払利息3,353万円の増加は、企業債の未償還残高の増加による、企業債利息の増加によるものである。その他1億1,751万円の増加は、宗像地区水道事業で

の費用が増加したことなどによるものである。

特別損失において、過年度損益修正損 103 万円の減少は、過年度分給水収益の調定減などによるものである。

(3) 損　　益

損益について、項目ごとに前年度と比べると、表 8 のとおりである。

表8　損益の年度比較　　（単位：千円、％）

項　　目	7 年 度	6 年 度	対前年度比較（△減）	
			増　　減	比　　率
営業損益	△2,630,582	△1,698,174	△ 932,409	△ 54.9
経常損益	△1,765,302	△ 815,727	△ 949,576	△ 116.4
純損益	△1,766,829	△ 818,263	△ 948,566	△ 115.9

注　営業損益：営業収益－営業費用
経常損益：（営業収益＋営業外収益）－（営業費用＋営業外費用）
純損益　：総収益－総費用

営業損益は、営業収益が 1 億 8,913 万円増加したものの、薬品費や減価償却費の増加などにより営業費用が 11 億 2,154 万円増加したため、前年度と比べると、営業損失は 9 億 3,241 万円増加し 26 億 3,058 万円となっている。

経常損益は、宗像地区水道事業収益など営業外収益が増加したものの、営業損失が増加したことから、前年度と比べると、経常損失は 9 億 4,958 万円増加し 17 億 6,530 万円となっている。

純損益は、特別損失が減少したものの、経常損失が増加したため、前年度と比べると、純損失は 9 億 4,857 万円増加し 17 億 6,683 万円となった。

(4) 収 益 率

収益率の推移をみると表 9 のとおりである。営業費用が増加したことなどから、総収支比率及び経常収支比率は 4.3 ポイント、営業収支比率は 4.5 ポイント下降している。総資本に対する経常利益率は、前年度から 0.4 ポイント下降している。

表9　収益率の推移　　（単位：％）

項　　目	5 年 度	6 年 度	7 年 度
1　総収支比率 （営業収益＋営業外収益＋特別利益 / 営業費用＋営業外費用＋特別損失 ×100　）	98.7	95.8	91.5
2　経常収支比率 （営業収益＋営業外収益 / 営業費用＋営業外費用 ×100 ）	98.8	95.8	91.5
3　営業収支比率 （営業収益－受託収益 / 営業費用－受託費 ×100 ）	93.9	90.2	85.7
4　総資本経常利益率 （経常利益 / （前年度末総資本＋本年度末総資本）÷２ ×100 ）	△　0.1	△　0.4	△　0.8

4 財 政 状 態

貸借対照表を前年度と比べると、表 10 のとおりである。資産は、流動資産が減少したものの、固定資産が増加したことから、資産総額は 5 億 544 万円、0.2%増加している。一方、負債は、主に固定負債が増加したことなどから、19 億 2,658 万円、1.9%増加し、資本は、欠損金が発生したことなどから、14 億 2,114 万円、1.2%減少している。

表10　貸借対照表の対前年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度末		6年度末		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
資産	固定資産	211,303,390	95.7	209,791,343	95.3	1,512,048	0.7
	有形固定資産	201,947,748	91.5	199,930,529	90.8	2,017,219	1.0
	無形固定資産	9,265,290	4.2	9,770,580	4.4	△ 505,290	△ 5.2
	投資その他の資産	90,353	0.0	90,234	0.0	118	0.1
	流動資産	9,387,383	4.3	10,393,989	4.7	△ 1,006,606	△ 9.7
合計		220,690,774	100.0	220,185,332	100.0	505,442	0.2
負債	固定負債	64,975,048	29.4	62,711,770	28.5	2,263,278	3.6
	流動負債	8,127,489	3.7	8,164,759	3.7	△ 37,270	△ 0.5
	繰延収益	30,114,257	13.6	30,413,684	13.8	△ 299,426	△ 1.0
	計	103,216,794	46.8	101,290,212	46.0	1,926,582	1.9
資本	資本金	109,737,892	49.7	109,360,342	49.7	377,551	0.3
	剰余金	7,736,087	3.5	9,534,778	4.3	△ 1,798,691	△ 18.9
	資本剰余金	8,774,809	4.0	8,774,809	4.0	0	0
	利益剰余金	△ 1,038,722	△ 0.5	759,969	0.3	△ 1,798,691	△236.7
	計	117,473,980	53.2	118,895,120	54.0	△ 1,421,140	△ 1.2
合計		220,690,774	100.0	220,185,332	100.0	505,442	0.2

(1)　資　　産

有形固定資産 20 億 1,722 万円の増加は、主に浄水場整備事業等により機械及び装置、建設仮勘定が増加したことによるものである。無形固定資産 5 億 529 万円の減少は、ダム使用権などが減価償却により減少したことなどによるものである。

流動資産 10 億 661 万円の減少は、現金預金が減少したことなどによるものである。

(2)　負　　債

固定負債 22 億 6,328 万円の増加は、建設改良債が増加したことなどによるものである。

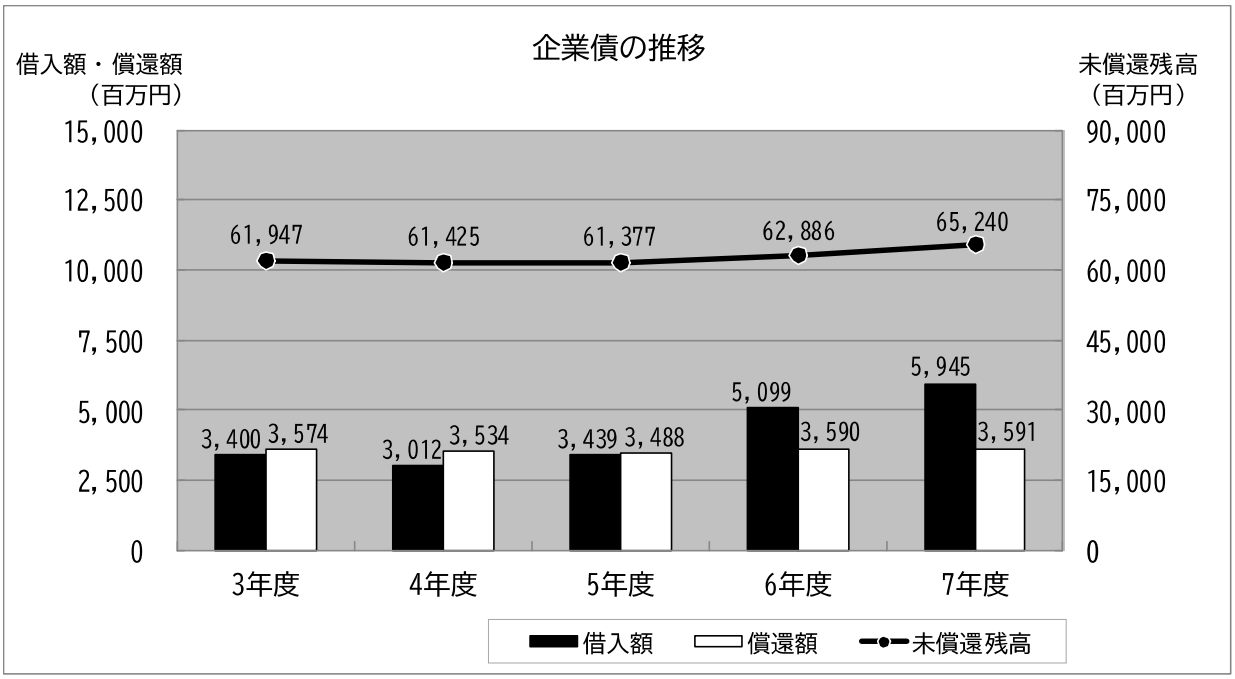
流動負債 3,727 万円の減少は、預り金が減少したことなどによるものである。

繰延収益 2 億 9,943 万円の減少は、繰延収益の償却（収益化）を行ったことによるものである。

なお、流動比率(流動資産／流動負債×100)は 115.5％で、前年度の 127.3％を下回っている。

また、令和 3 年度以降の企業債借入額、元金償還額及び未償還残高は、次のグラフのとお

りである。未償還残高は、当年度末では 652 億 4,026 万円となっている。



(3) 資　　本

資本金 3 億 7,755 万円の増加は、一般会計出資金の受入れなどによるものである。

欠損金 17 億 9,869 万円の増加は、当年度純損失によるものである。

以上により、資産合計及び負債・資本合計は、それぞれ前年度と比べると、5 億 544 万円の増加となっている。

(4) キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローの状況は、表 11 のとおりである。

表11　キャッシュ・フローの状況　　（単位：千円）

項　　目	7　年　度	6　年　度	対前年度比較（△減）
			増　　減
業務活動によるキャッシュ・フロー	6,304,919	7,110,964	△　806,045
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,712,436	△ 8,891,865	△ 1,820,571
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,626,235	1,588,712	1,037,523
資金増加額（△は減少額）	△ 1,781,282	△　192,188	△ 1,589,094
資金期首残高	5,251,136	5,443,324	△　192,188
資金期末残高	3,469,854	5,251,136	△ 1,781,282

事業本来の業務活動による資金収支を示す業務活動によるキャッシュ・フローは、63 億 492 万円のプラスとなっており、前年度と比べると 8 億 605 万円減少した。これは、当年度純損失の増加などによるものである。

固定資産や投資資産の取得・売却などの収支を示す投資活動によるキャッシュ・フローは、107 億 1,244 万円のマイナスとなっており、前年度と比べると 18 億 2,057 万円減少した。これは、有形固定資産や無形固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものである。

また、企業債の借入れ・償還など資金の調達を示す財務活動によるキャッシュ・フローは、26 億 2,624 万円のプラスとなっており、前年度と比べると 10 億 3,752 万円増加した。これは、主に企業債の借入れによる収入が増加したことによるものである。

これらのキャッシュ・フローの状況をみると、業務活動及び財務活動で得た資金により、投資活動である設備投資を行っている。

この結果、資金減少額は 15 億 8,909 万円となっており、資金期首残高を含めた資金期末残高は 34 億 6,985 万円となっている。

5　セグメント情報

上水道事業では、水道事業と水道用水供給事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、当該 2 事業を報告セグメントとしている。

報告セグメントごとの資産等の状況は、表 12 のとおりである。

表12　報告セグメントごとの資産等の状況　（単位：千円）

区　　分	水道事業	用水事業	調 整 額	計
営　業　収　益	15,430,301	837,476	△　161,016	16,106,761
営　業　費　用	18,003,877	894,482	△　161,016	18,737,343
営　業　損　益	△ 2,573,576	△　57,007	0	△ 2,630,582
経　常　損　益	△ 1,765,676	374	0	△ 1,765,302
セグメント資産	212,405,455	8,392,028	△　106,708	220,690,774
セグメント負債	97,153,012	6,170,491	△　106,708	103,216,794

注　調整額は、セグメント間の主要な取引の数値である。

6　一般会計からの繰入状況

一般会計からの繰入状況は、表 13 のとおりである。

表13　一般会計からの繰入状況　（単位：千円、％）

科　　目		7 年 度		6 年 度		対前年度比較（△ 減）	
		金　額	構成比率	金　額	構成比率	増　減	比　率
収益的収入	営　業　収　益	31,845	7.9	28,681	15.6	3,163	11.0
	受　託　収　益	31,845	7.9	28,681	15.6	3,163	11.0
	消火栓修繕負担金	31,845	7.9	28,681	15.6	3,163	11.0
	営　業　外　収　益	25,298	6.3	19,185	10.4	6,113	31.9
	補　助　金	25,298	6.3	19,185	10.4	6,113	31.9
	児童手当負担経費	25,298	6.3	19,185	10.4	6,113	31.9
計		57,143	14.2	47,866	26.0	9,276	19.4
資本的収入	出　資　金	345,689	85.8	136,089	74.0	209,600	154.0
	消火栓設置出資金	121,289	30.1	121,289	65.9	0	0
	水道広域化施設出資金	224,400	55.7	14,800	8.0	209,600	…
計		345,689	85.8	136,089	74.0	209,600	154.0
合　計		402,832	100.0	183,955	100.0	218,876	119.0
	基　準　内	402,832	100.0	183,955	100.0	218,876	119.0
	基　準　外	－	－	－	－	－	－

注　基準内とは国の繰出し基準（総務副大臣通知）に基づく繰入金、基準外とはそれ以外のものをいう。

当年度の一般会計からの繰入金は、収益的収入に 5,714 万円、資本的収入に 3 億 4,569 万円、合計 4 億 283 万円となっており、前年度と比べると、2 億 1,888 万円増加している。

繰入金は、収益的収入では消火栓修繕や職員の児童手当に要する経費であり、資本的収入では水道広域化や消火栓設置に係る出資金である。

7 む　す　び

上水道事業では、安全・安心な上水道を次世代へ繋げていくため、令和 3 年 3 月に「北九州市上下水道事業基本計画 2030（令和 3～12 年度)」及び「北九州市上下水道事業中期経営計画 2025（令和 3～7 年度)」(以下「経営計画」という。）を策定し、経営計画に基づく持続可能な事業運営を行うこととしている。

当年度は、経費削減や増収対策に努めながら、「災害等の危機管理対策」や「施設の長寿命化や改築・更新」などインフラの維持・強化に重点的に取り組んだ。水道事業の給水戸数は前年度に比べ 1,010 戸、0.2%増加したものの、有収水量は前年度に比べ 913,492 ㎥、1.0%減少した。また、用水事業では、有収水量が前年度に比べ 1,543,654 ㎥、22.2%増加した。

当年度の純損益は、薬品費や減価償却費などが増加したことなどから、前年度を 9 億 4,857 万円下回り、17 億 6,683 万円と 4 年連続での純損失となった。また、当年度末の実質資金剰余額は、前年度を 9 億 7,257 万円下回る 31 億 6,962 万円となり、8 年連続での減少となった。実質資金剰余は経営計画を上回っているものの、資金剰余の状況にこれまで以上に留意した効率的な事業経営が求められる。

人口減少や節水意識の高まりなどによる水需要の長期的な減少とともに、施設の経年化に伴う更新費用の増大という構造的な課題に加え、人件費や物価上昇の影響などにより維持管理コストが増加するなど、経営を取り巻く環境は今後も厳しい状況が続くことが見込まれる。令和 8 年度からは、新たに策定した「北九州市上下水道事業中期経営計画 2030」(令和 8～12 年度）を基に、上下水道施設の規模と機能の適正化を図るとともに、安定的に事業を継続していくため経費節減や増収対策に取り組むこととしている。引き続き、長期的な視点に立った効率的・計画的な更新を行い、水需要の拡大や資産の有効活用による増収対策に取り組む一方で、持続可能な料金体系のあり方の検討を深めるなど、健全かつ安定的な事業運営に努め、安全・安心でおいしい水を供給することを期待する。

工 業 用 水 道 事 業 会 計

1 業 務 の 実 績

当年度末における一日当たり給水能力は 254,000 ㎥、契約水量は 216,575 ㎥で、前年度末と比べると、契約水量は 7.7%の増加となっている。給水事業所数は前年度と同じ 70 事業所である。

当年度の給水量は 43,838,830 ㎥で、3.1%の増加となっている。

業務実績の年度比較は、表 1 のとおりである。

表1　業務実績の年度比較

項目	単位	7 年 度	6 年 度	対前年度比較（△減）	
				増 減	比 率
					%
給水能力	㎥/日	254,000	224,900	29,100	12.9
契約水量	㎥/日	216,575	201,135	15,440	7.7
給水事業所数	事業所	70	70	0	0
給水量	㎥	43,838,830	42,536,510	1,302,320	3.1
配水管延長	m	94,478	93,544	934	1.0
職員数	人	22	23	△ 1	△ 4.3

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算現額 20 億 6,941 万円に対し、決算額 21 億 5,255 万円で、執行率 104.0%となっている。これは、営業外収益などが予算を上回ったことによるものである。

なお、当年度の予算における業務予定量に対する実績をみると、給水事業所数で 100.0%、給水量で 95.5%となっている。

収入の根幹である営業収益は、予算現額 18 億 2,829 万円に対し、決算額 18 億 2,837 万円で、執行率 100.0%となっている。これは、給水収益が予算を上回った一方で、受託収益などが予算を下回ったことによるものである。

収益的支出は、予算現額 19 億 9,253 万円に対し、決算額 16 億 7,101 万円で、執行率 83.9%となっている。これは、主として人件費や浄化費用などの営業費用が予算を下回ったことによるものである。

収支差引額は、予算では 7,687 万円の見込みが、決算では 4 億 8,154 万円となっている。

収益的収入及び支出の執行状況は、表 2 のとおりである。

表2　収益的収入及び支出の執行状況　（単位：千円、％）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
工業用水道事業収益	営業収益	1,828,292	88.3	88.7	1,828,372	84.9	86.2	100.0	98.9
	営業外収益	241,104	11.7	11.3	311,712	14.5	13.8	129.3	123.6
	特別利益	10	0.0	0.0	12,464	0.6	0.0	…	…
	合計	2,069,406	100.0	100.0	2,152,548	100.0	100.0	104.0	101.8
工業用水道事業費	営業費用	1,913,338	96.0	95.2	1,645,142	98.5	98.8	86.0	86.1
	営業外費用	72,184	3.6	4.4	25,226	1.5	1.1	34.9	21.4
	特別損失	10	0.0	0.0	640	0.0	0.0	…	…
	予備費	7,000	0.4	0.4	0	0	0	0	0
	合計	1,992,532	100.0	100.0	1,671,008	100.0	100.0	83.9	83.0
収支差引額		76,874	－	－	481,540	－	－	626.4	601.3

注　決算額の収入には仮受消費税 166,334千円を、支出には仮払消費税 62,309千円を含む。

(2)　資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額22億5,163万円に対し、決算額9億5,714万円で、執行率42.5%となっている。これは、翌年度への繰越工事に係る財源として企業債を繰り越したことなどによるものである。

資本的支出は、予算現額35億8,007万円に対し、決算額20億7,534万円で、執行率58.0%となっている。予算残額のうち8億1,230万円が繰り越され、6億9,243万円が不用額となっている。繰り越されたものは、工水施設事業等で、関連工事等の遅延などによるものである。不用額の主なものは、改築工事等の執行残によるものである。

収支差引不足額は、予算では13億2,844万円の見込みが、決算では11億1,820万円となっており、これに係る財源補てんの状況については、(3)資本的収支及び補てん財源のとおりである。

資本的収入及び支出の執行状況は、表3のとおりである。

表3　資本的収入及び支出の執行状況　　（単位：千円、％）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
工業用水道事業資本的収入	企業債	2,074,000	92.1	87.1	900,000	94.0	85.1	43.4	41.5
	国庫補助金	51,200	2.3	3.1	35,400	3.7	6.6	69.1	91.6
	工事負担金	126,405	5.6	9.9	0	0	8.3	0	35.8
	固定資産売却代金	10	0.0	0.0	21,741	2.3	0	…	0
	その他資本的収入	10	0.0	0.0	0	0	0	0	0
	合計	2,251,625	100.0	100.0	957,141	100.0	100.0	42.5	42.5
工業用水道事業資本的支出	施設費	3,463,068	96.7	96.3	1,958,988	94.4	93.2	56.6	51.5
	企業債償還金	117,000	3.3	3.7	116,351	5.6	6.8	99.4	99.6
	合計	3,580,068	100.0	100.0	2,075,339	100.0	100.0	58.0	53.3
収支差引額		△ 1,328,443	－	－	△ 1,118,198	－	－	84.2	65.3

注　決算額の支出には仮払消費税 175,170千円を含む。

(3)　資本的収支及び補てん財源

資本的収入額 9 億 5,714 万円が、資本的支出額 20 億 7,534 万円に対して不足する額 11 億 1,820 万円は、損益勘定留保資金等 31 億 171 万円から補てんしている。

当年度末資金剰余額は 19 億 8,351 万円であり、これから翌年度への繰越工事に充当する資金 5 億 1,230 万円を差し引いた当年度末の実質資金剰余額は 14 億 7,121 万円で、前年度末と比べると、6,917 万円の増加となっている。

資本的収支及び補てん財源の状況は、表 4 のとおりである。

表4　資本的収支及び補てん財源の状況　　（単位：千円）

項目			7 年 度 決 算 額
資本的収支	資本的収入額	(A)	957,141
	資本的支出額	(B)	2,075,339
	差引不足額	(B)－(A) (C)	1,118,198
補てん財源	消費税資本的収支調整額		223,803
	損益勘定留保資金		1,219,146
	当年度純損益		305,351
	繰越利益剰余金		1,353,411
	計	(D)	3,101,712
当年度末資金剰余額		(D)－(C) (E)	1,983,514
翌年度繰越工事資金		(F)	512,300
当年度末実質資金剰余額		(E)－(F) (G)	1,471,214
前年度末実質資金剰余額		(H)	1,402,044
対前年度実質資金剰余増減額		(G)－(H)	69,169
（単年度実質資金剰余額）			

3 経 営 成 績

当年度の損益は、総収益 19 億 1,952 万円、総費用 16 億 1,417 万円で、差引き 3 億 535 万円の純利益となっている。前年度と比べると、給水収益などの営業収益が増加したことから、純利益は 2,486 万円の増加となった。

過去 3 か年の経営収支の比較は、表 5 のとおりである。

表5　経営収支の比較　　（単位：千円、％）

年度	総収益				総費用				純損益	
	決算額		対前年度比較(△減)		決算額		対前年度比較(△減)		決算額（△損失）	対前年度比較（△減）
	金額	指数	増減	比率	金額	指数	増減	比率		
5	1,831,479	100.0	25,421	1.4	1,454,243	100.0	△ 105,964	△ 6.8	377,236	131,385
6	1,816,207	99.2	△ 15,272	△ 0.8	1,535,713	105.6	81,470	5.6	280,494	△ 96,742
7	1,919,524	104.8	103,317	5.7	1,614,173	111.0	78,460	5.1	305,351	24,857

(1) 収　　益

収益について、主な科目ごとに前年度と比べると、表6のとおりである。

表6　収益の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度		6年度		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
営業収益	給水収益	1,661,883	86.6	1,585,721	87.3	76,162	4.8
	その他	279	0.0	27	0.0	252	933.8
	計	1,662,161	86.6	1,585,748	87.3	76,413	4.8
営業外収益	長期前受金戻入	218,449	11.4	221,989	12.2	△ 3,541	△ 1.6
	その他	26,503	1.4	8,124	0.4	18,379	226.2
	計	244,951	12.8	230,114	12.7	14,838	6.4
特別利益	固定資産売却益	11,739	0.6	－	－	11,739	－
	過年度損益修正益	672	0.0	345	0.0	327	94.6
	計	12,411	0.6	345	0.0	12,066	…
合計		1,919,524	100.0	1,816,207	100.0	103,317	5.7

収益合計（総収益）は、前年度と比べると、1億332万円、5.7％の増加となっている。

営業収益において、給水収益 7,616 万円の増加は、使用水量の増加等により料金収入が増加したことによるものである。

営業外収益において、長期前受金戻入 354 万円の減少は、繰延収益の償却（収益化）が減少したことによるものである。その他 1,838 万円の増加は、退職給付引当金戻入益が増加したことなどによるものである。

特別利益において、固定資産売却益 1,174 万円の増加は、土地売却収益が皆増したことによるものである。

(2) 費　　用

費用について、主な科目ごとに前年度と比べると、表７のとおりである。

表7　費用の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度			6年度			対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	営業収益に対する比率	金額	構成比率	営業収益に対する比率	増減	比率
営業費用	人件費	180,229	11.2	10.8	222,735	14.5	14.0	△ 42,506	△ 19.1
	動力・薬品費	286,671	17.8	17.2	252,709	16.5	15.9	33,962	13.4
	減価償却費	754,900	46.8	45.4	709,783	46.2	44.8	45,117	6.4
	その他	361,034	22.4	21.7	331,565	21.6	20.9	29,469	8.9
	計	1,582,833	98.1	95.2	1,516,792	98.8	95.7	66,042	4.4
営業外費用	支払利息	24,901	1.5	1.5	16,938	1.1	1.1	7,962	47.0
	その他	5,799	0.4	0.3	1,640	0.1	0.1	4,158	253.5
	計	30,699	1.9	1.8	18,579	1.2	1.2	12,121	65.2
特別損失	過年度損益修正損	640	0.0	0.0	343	0.0	0.0	298	86.8
	計	640	0.0	0.0	343	0.0	0.0	298	86.8
合計		1,614,173	100.0	97.1	1,535,713	100.0	96.8	78,460	5.1

費用合計（総費用）は、前年度と比べると、7,846 万円、5.1％の増加となっている。

営業費用において、人件費 4,251 万円の減少は、退職給付費の減少などによるものである。なお、人件費の営業収益に対する比率は 10.8％で、前年度から 3.2 ポイント下降している。動力・薬品費 3,396 万円の増加は、河川取水量の増加により薬品費が増加したことなどによるものである。減価償却費 4,512 万円の増加は、主に送配水設備に係る有形固定資産の減価償却費などが増加したことによるものである。その他 2,947 万円の増加は、維持管理費などが増加したことによるものである。

営業外費用において、支払利息 796 万円の増加は、企業債の未償還残高が増加したことよる、企業債利息の増加によるものである。その他 416 万円の増加は消費税調整額の増加によるものである。

(3) 損　　益

損益について、項目ごとに前年度と比べると、表8のとおりである。

表8　損益の年度比較　　（単位：千円、％）

項　　目	7 年 度	6 年 度	対前年度比較（△減）	
			増　　減	比　　率
営　業　損　益	79,328	68,956	10,371	15.0
経　常　損　益	293,580	280,492	13,088	4.7
純　　損　　益	305,351	280,494	24,857	8.9

注　営業損益：営業収益－営業費用
　　経常損益：（営業収益＋営業外収益）－（営業費用＋営業外費用）
　　純損益　：総収益－総費用

営業損益は、減価償却費や維持管理費などが増加したことなどにより営業費用が 6,604 万円増加したものの、給水収益などの増加により営業収益が 7,641 万円増加したことから、前年度と比べると、営業利益は1,037万円増加し7,933万円となっている。

経常損益は、営業利益が増加したことに加え、営業外費用の増加を上回る営業外収益の増加があったことから、前年度と比べると、経常利益は 1,309 万円増加し 2 億 9,358 万円となっている。

純損益は、経常利益が増加したことに加え、固定資産売却益など特別利益が増加したため、前年度と比べると、純利益は2,486万円増加し3億535万円となった。

(4) 収 益 率

収益率の推移をみると表 9 のとおりである。営業収益が増加したことなどにより、総収支比率は 0.6 ポイント、営業収支比率は 0.5 ポイント上昇しているものの、営業外費用が増加したことにより、経常収支比率は0.1ポイント下降している。総資本に対する経常利益率は、前年度と同率である。

表9　収益率の推移　　（単位：%）

項　　目	5 年 度	6 年 度	7 年 度
1　総収支比率 （営業収益＋営業外収益＋特別利益 / 営業費用＋営業外費用＋特別損失 ×100　）	125.9	118.3	118.9
2　経常収支比率 （営業収益＋営業外収益 / 営業費用＋営業外費用 ×100 ）	125.9	118.3	118.2
3　営業収支比率 （営業収益－受託収益 / 営業費用－受託費 ×100 ）	110.8	104.5	105.0
4　総資本経常利益率 （経常利益 / （前年度末総資本＋本年度末総資本）÷２ ×100 ）	1.9	1.4	1.4

4 財　政　状　態

貸借対照表を前年度と比べると、表 10 のとおりである。資産は、流動資産が減少したものの、固定資産が増加したことから、資産総額は 6 億 5,004 万円、3.1%増加している。一方、負債は、流動負債、繰延収益が減少したものの、固定負債が増加したことから、3 億 4,469 万円、4.3%増加し、資本は、資本金が増加したことなどから、3 億 535 万円、2.3%増加している。

表10　貸借対照表の対前年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度末		6年度末		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
資産	固定資産	19,205,288	88.2	18,203,242	86.2	1,002,046	5.5
	有形固定資産	16,807,161	77.2	15,594,014	73.9	1,213,147	7.8
	無形固定資産	2,396,737	11.0	2,607,838	12.4	△ 211,101	△ 8.1
	投資その他の資産	1,390	0.0	1,390	0.0	0	0
	流動資産	2,557,969	11.8	2,909,976	13.8	△ 352,007	△ 12.1
合計		21,763,257	100.0	21,113,218	100.0	650,039	3.1
負債	固定負債	2,837,395	13.0	2,082,870	9.9	754,525	36.2
	流動負債	720,746	3.3	947,653	4.5	△ 226,907	△ 23.9
	繰延収益	4,766,254	21.9	4,949,184	23.4	△ 182,929	△ 3.7
	計	8,324,394	38.2	7,979,706	37.8	344,688	4.3
資本	資本金	9,249,897	42.5	8,505,961	40.3	743,935	8.7
	剰余金	4,188,966	19.2	4,627,550	21.9	△ 438,584	△ 9.5
	資本剰余金	2,530,204	11.6	2,530,204	12.0	0	0
	利益剰余金	1,658,762	7.6	2,097,346	9.9	△ 438,584	△ 20.9
	計	13,438,862	61.8	13,133,511	62.2	305,351	2.3
合計		21,763,257	100.0	21,113,218	100.0	650,039	3.1

(1)　資　　産

有形固定資産12億1,315万円の増加は、配水管布設替工事等の実施により構築物などが増加したことによるものである。無形固定資産2億1,110万円の減少は、ダム使用権が減価償却により減少したことなどによるものである。

流動資産3億5,201万円の減少は、現金預金が減少したことなどによるものである。

(2)　負　　債

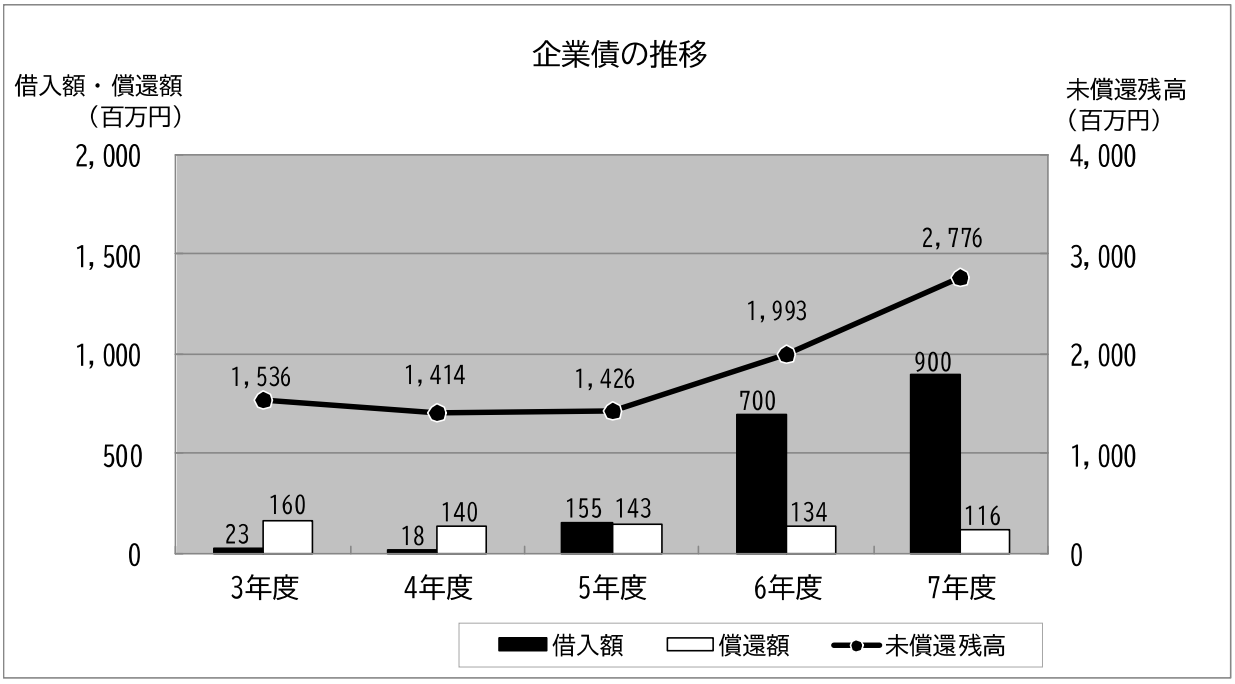
固定負債7億5,452万円の増加は、企業債が増加したことなどによるものである。

流動負債2億2,691万円の減少は、未払金が減少したことなどによるものである。

繰延収益1億8,293万円の減少は、繰延収益の償却（収益化）を行ったことによるものである。

なお、流動比率(流動資産／流動負債×100)は354.9％で、前年度の307.1％を上回っている。

また、令和3年度以降の企業債借入額、元金償還額及び未償還残高は、次のグラフのとおりである。未償還残高は、当年度末では27億7,635万円となっている。



(3) 資　　本

資本金 7 億 4,394 万円の増加は、未処分利益剰余金を資本金へ組み入れたことによるものである。

利益剰余金 4 億 3,858 万円の減少は、当年度純利益を上回る未処分利益剰余金の資本金への組入れによるものである。

以上により、資産合計及び負債・資本合計は、それぞれ前年度と比べると、6 億 5,004 万円の増加となっている。

(4) キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローの状況は、表 11 のとおりである。

表11　キャッシュ・フローの状況　　（単位：千円）

項　　目	7　年　度	6　年　度	対前年度比較（△減）
			増　　減
業務活動によるキャッシュ・フロー	995,467	790,230	205,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△　2,030,869	△　1,275,112	△　755,757
財務活動によるキャッシュ・フロー	783,649	566,480	217,169
資金増加額（△は減少額）	△　251,754	81,598	△　333,353
資金期首残高	2,380,887	2,299,289	81,598
資金期末残高	2,129,133	2,380,887	△　251,754

事業本来の業務活動による資金収支を示す業務活動によるキャッシュ･フローは､9 億 9,547 万円のプラスとなっており、前年度と比べると 2 億 524 万円増加した。これは、未払金の増減額の増加などによるものである。

固定資産や投資資産の取得・売却などの収支を示す投資活動によるキャッシュ・フローは、20 億 3,087 万円のマイナスとなっており、前年度と比べると 7 億 5,576 万円減少した。これは、有形固定資産取得のための支出が増加したことなどによるものである。

また、企業債の借入れ・償還など資金の調達を示す財務活動によるキャッシュ・フローは、7 億 8,365 万円のプラスとなっており、前年度と比べると 2 億 1,717 万円増加した。これは、企業債の借入れによる収入が増加したことによるものである。

これらのキャッシュ・フローの状況をみると、業務活動及び財務活動で得た資金により、投資活動である設備投資を行っている。

この結果、資金減少額は 2 億 5,175 万円となっており、資金期首残高を含めた資金期末残高は 21 億 2,913 万円となっている。

5　一般会計からの繰入状況

一般会計からの繰入状況は、表 12 のとおりである。

表12　一般会計からの繰入状況　（単位：千円、％）

科目		7年度 金額	7年度 構成比率	6年度 金額	6年度 構成比率	対前年度比較（△減） 増減	対前年度比較（△減） 比率
収益的収入	営業外収益	2,266	100.0	1,636	100.0	630	38.5
	補助金	2,266	100.0	1,636	100.0	630	38.5
	児童手当負担経費	2,266	100.0	1,636	100.0	630	38.5
合計		2,266	100.0	1,636	100.0	630	38.5
	基準内	2,266	100.0	1,636	100.0	630	38.5
	基準外	－	－	－	－	－	－

注　基準内とは国の繰出し基準(総務副大臣通知)に基づく繰入金、基準外とはそれ以外のものをいう。

当年度の一般会計からの繰入金は、収益的収入に227万円となっており、前年度と比べると、63万円増加している。

繰入金は、職員の児童手当に要する経費である。

6　むすび

工業用水道事業では、安全・安心な工業用水道を目指すべく、令和3年3月に「北九州市上下水道事業基本計画2030（令和3～12年度)」及び「北九州市上下水道事業中期経営計画2025（令和3～7年度)」（以下「経営計画」という。）を策定し、経営計画に基づく持続可能な事業運営を行うこととしている。

当年度は、増収対策や経費削減に努めながら、安定給水を確保するため老朽化した配水管・導送水管の更新などの工水改築事業等に継続的に取り組んだ。また、給水事業所数は前年度と同じ70 事業所であったが、給水量が前年度に比べ 3.1%増加したことなどから、給水収益は 7,616万円増加した。

当年度の純損益は、総収益の増加が総費用の増加を上回ったことから、前年度を2,486万円上回る3億535万円の純利益となった。また、当年度末の実質資金剰余額は14億7,121万円で、前年度末と比べて6,917万円の増加となっている。

また、令和8年度からは、新たに策定した「北九州市上下水道事業中期経営計画2030」（令和8～12年度）を基に、長期的な視点に立った効率的・計画的な施設の更新を行うとともに、安定的に事業を継続していくため、利用促進など増収対策に取り組むこととしている。今後とも、市の企業誘致部局と連携し新規需要による収入を確保するなど経営基盤の強化を図りながら、工業用水を安定的に供給することを期待する。

交　通　事　業　会　計

1　業 務 の 実 績

当年度末における営業キロ数は188.0km、在籍車両数は乗合バス80台、貸切バス26台の合計106台となっている。

当年度の年間走行キロ数は3,414,836km、年間輸送人員は4,128,186人で、前年度と比べると、それぞれ4.0%の増加、2.4%の減少となっている。

また、職員数は1人減少し、66人となっている。

業務実績の年度比較は、表1のとおりである。

表1　業務実績の年度比較

項　　目	単位	7　年　度	6　年　度	対前年度比較（△減）	
				増　　減	比　　率
					%
営業キロ数	km	188.0	194.4	△ 6.4	△ 3.3
在籍車両数	台	106	106	0	0
運転車両数	台	26,293	25,215	1,078	4.3
年間走行キロ数	km	3,414,836	3,282,913	131,923	4.0
年間輸送人員	人	4,128,186	4,230,250	△ 102,064	△ 2.4
職　　員　　数	人	66	67	△ 1	△ 1.5

注　年間走行キロ数及び年間輸送人員は、乗合バス及び貸切バスの合計である。

2　予算の執行状況

(1)　収益的収入及び支出

収益的収入は、予算現額21億5,675万円に対し、決算額21億8,741万円で、執行率は101.4%となっている。

なお、当年度の予算における業務予定量に対する実績をみると、年間走行キロ数で100.1%、年間輸送人員で84.7%となっている。

収入の根幹である営業収益は、予算現額17億1,601万円に対し、決算額17億4,564万円で、執行率101.7%となっている。これは、運送収益が予算を上回ったことなどによるものである。

収益的支出は、予算現額21億9,287万円に対し、決算額21億1,935万円で、執行率96.6%となっている。これは、主として職員給与費などの営業費用が予算を下回ったことによるものである。

収支差引額は、予算では3,611万円の収入不足の見込みが、決算では6,806万円となって

いる。

収益的収入及び支出の執行状況は、表2のとおりである。

表2　収益的収入及び支出の執行状況　（単位：千円、％）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
自動車運送事業収益	営業収益	1,716,014	79.6	77.9	1,745,642	79.8	77.4	101.7	99.2
	営業外収益	440,719	20.4	22.1	441,771	20.2	22.3	100.2	101.0
	特別利益	20	0.0	0.0	0	0	0.2	0	…
	合計	2,156,753	100.0	100.0	2,187,413	100.0	100.0	101.4	99.9
自動車運送事業費	営業費用	2,079,737	94.8	95.3	2,029,302	95.8	95.0	97.6	98.1
	営業外費用	111,120	5.1	4.6	90,050	4.2	4.5	81.0	95.5
	特別損失	10	0.0	0.0	0	0	0.5	0	…
	予備費	2,000	0.1	0.1	0	0	0	0	0
	合計	2,192,867	100.0	100.0	2,119,351	100.0	100.0	96.6	98.4
収支差引額		△　36,114	－	－	68,062	－	－	△188.5	△ 54.8

注　決算額の収入には仮受消費税 156,957千円を、支出には仮払消費税 30,010千円を含む。

(2)　資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額1億1,663万円に対し、決算額1億610万円で、執行率91.0％となっている。これは、企業債が予算を下回ったことなどによるものである。

資本的支出は、予算現額1億9,329万円に対し、決算額1億8,309万円で、執行率94.7％となっている。予算残額は不用額であり、建物などの建設改良費の執行残などによるものである。

収支差引不足額は、予算では7,667万円の見込みが、決算では7,699万円となっており、これに係る財源補てんの状況については、(3)資本的収支及び補てん財源のとおりである。

資本的収入及び支出の執行状況は、表3のとおりである。

表3　資本的収入及び支出の執行状況　　（単位：千円、％）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
自動車運送事業資本的収入	企業債	73,300	62.8	96.3	62,700	59.1	97.2	85.5	90.7
	国庫補助金	10	0.0	0.0	0	0	0	0	0
	県支出金	1,507	1.3	2.0	1,605	1.5	2.8	106.5	121.6
	固定資産売却代金	10	0.0	0.0	0	0	0	0	0
	その他資本的収入	41,800	35.8	1.6	41,800	39.4	0	100.0	0
	合計	116,627	100.0	100.0	106,105	100.0	100.0	91.0	89.9
自動車運送事業資本的支出	建設改良費	142,193	73.6	67.7	133,992	73.2	66.2	94.2	89.3
	企業債償還金	49,100	25.4	30.9	49,100	26.8	33.8	100.0	100.0
	予備費	2,000	1.0	1.4	0	0	0	0	0
	合計	193,293	100.0	100.0	183,092	100.0	100.0	94.7	91.4
収支差引額		△ 76,666	－	－	△ 76,987	－	－	100.4	93.3

注　決算額の支出には仮払消費税 12,120千円を含む。

(3)　資本的収支及び補てん財源

資本的収入額1億610万円が、資本的支出額1億8,309万円に対して不足する額7,699万円は、損益勘定留保資金等7億135万円から補てんしている。

当年度末の実質資金剰余額は6億2,436万円となり、前年度末と比べると、7,360万円の増加となっている。

資本的収支及び補てん財源の状況は、表4のとおりである。

表4　資本的収支及び補てん財源の状況　　（単位：千円）

項目			7 年 度 決 算 額
資本的収支	資本的収入額	(A)	106,105
	資本的支出額	(B)	183,092
	差引不足額	(B)－(A) (C)	76,987
補てん財源	消費税資本的収支調整額		39,538
	損益勘定留保資金		646,351
	当年度純損益		15,459
	繰越利益剰余金		－
	計	(D)	701,348
	当年度末資金剰余額	(D)－(C) (E)	624,360
	翌年度繰越工事資金	(F)	－
	当年度末実質資金剰余額	(E)－(F) (G)	624,360
	前年度末実質資金剰余額	(H)	550,761
	対前年度実質資金剰余増減額	(G)－(H)	73,599
	（単年度実質資金剰余額）		

3 経 営 成 績

当年度の損益は、総収益 20 億 3,046 万円、総費用 20 億 1,500 万円で、差引き 1,546 万円の純利益となっている。前年度と比べると、運送収益が増加したことなどにより、純損失から純利益に転じた。

過去 3 か年の経営収支の比較は、表 5 のとおりである。

表5　経営収支の比較　　（単位：千円、％）

年度	総収益				総費用				純損益	
	決算額		対前年度比較(△減)		決算額		対前年度比較(△減)		決算額（△損失）	対前年度比較（△減）
	金額	指数	増減	比率	金額	指数	増減	比率		
5	1,925,835	100.0	204,177	11.9	1,799,896	100.0	△ 139,684	△ 7.2	125,939	343,861
6	1,927,615	100.1	1,780	0.1	1,937,804	107.7	137,908	7.7	△ 10,189	△ 136,128
7	2,030,456	105.4	102,841	5.3	2,014,997	112.0	77,193	4.0	15,459	25,648

(1) 収　　益

収益について、主な科目ごとに前年度と比べると、表6のとおりである。

表6　収益の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度		6年度		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
営業収益	運送収益	1,163,736	57.3	966,805	50.2	196,931	20.4
	その他	426,288	21.0	495,313	25.7	△ 69,025	△ 13.9
	計	1,590,024	78.3	1,462,118	75.9	127,906	8.7
営業外収益	長期前受金戻入	58,773	2.9	78,207	4.1	△ 19,434	△ 24.8
	その他	381,660	18.8	382,389	19.8	△ 729	△ 0.2
	計	440,433	21.7	460,595	23.9	△ 20,162	△ 4.4
特別利益	過年度損益修正益	－	－	4,902	0.3	△ 4,902	△100.0
	計	－	－	4,902	0.3	△ 4,902	△100.0
合計		2,030,456	100.0	1,927,615	100.0	102,841	5.3

収益合計（総収益）は、前年度と比べると、1億284万円、5.3%の増加となっている。

営業収益において、運送収益1億9,693万円の増加は、貸切収入などの増加によるものである。その他6,902万円の減少は、受託収入などの減少によるものである。

営業外収益において、長期前受金戻入1,943万円の減少は、繰延資産の償却(収益化)が減少したことによるものである。その他73万円の減少は、不用品売却益などの減少によるものである。

特別利益において、過年度損益修正益490万円の減少は、前年度に発生した過年度損益修正益の計上がなかったことによるものである。

(2) 費　　用

費用について、主な科目ごとに前年度と比べると、表7のとおりである。

表7　費用の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度 金額	7年度 構成比率	7年度 営業収益に対する比率	6年度 金額	6年度 構成比率	6年度 営業収益に対する比率	対前年度比較（△減） 増減	対前年度比較（△減） 比率
営業費用	人件費	1,365,433	67.8	85.9	1,282,462	66.2	87.7	82,971	6.5
	燃料費	147,423	7.3	9.3	152,843	7.9	10.5	△ 5,419	△ 3.5
	減価償却費	129,622	6.4	8.2	149,703	7.7	10.2	△ 20,081	△ 13.4
	その他	357,056	17.7	22.5	341,305	17.6	23.3	15,751	4.6
	計	1,999,534	99.2	125.8	1,926,312	99.4	131.7	73,222	3.8
営業外費用	支払利息	1,021	0.1	0.1	346	0.0	0.0	675	194.7
	その他	14,442	0.7	0.9	215	0.0	0.0	14,227	…
	計	15,463	0.8	1.0	562	0.0	0.0	14,901	…
特別損失	過年度損益修正損	－	－	－	10,930	0.6	0.7	△ 10,930	△100.0
	計	－	－	－	10,930	0.6	0.7	△ 10,930	△100.0
合計		2,014,997	100.0	126.7	1,937,804	100.0	132.5	77,193	4.0

費用合計(総費用)は、前年度と比べると、 7,719 万円、4.0％の増加となっている。

営業費用において、人件費 8,297 万円の増加は、給与改定などによるものである。燃料費 542 万円の減少は、軽油単価の下落などによるものである。減価償却費 2,008 万円の減少は、一部車両並びにバス停標識などの工具器具及び備品の償却完了（耐用年数経過）などによるものである。その他 1,575 万円の増加は、修繕費の増加などによるものである。

営業外費用において、その他 1,423 万円の増加は、雑支出の増加などによるものである。

特別損失において、過年度損益修正損 1,093 万円の減少は、前年度に発生した過年度損益修正損の計上がなかったことによるものである。

(3)　損　　益

損益について、項目ごとに前年度と比べると、表 8 のとおりである。

表8　損益の年度比較　　（単位：千円、％）

項　　目	7　年　度	6　年　度	対前年度比較（△減）	
			増　　減	比　　率
営　業　損　益	△　409,510	△　464,195	54,685	11.8
経　常　損　益	15,459	△　4,161	19,621	471.5
純　　損　　益	15,459	△　10,189	25,648	251.7

注　営業損益：営業収益－営業費用
　　経常損益：（営業収益＋営業外収益）－（営業費用＋営業外費用）
　　純損益　：総収益－総費用

営業損益は、運送収益が増加したことにより営業収益が 1 億 2,791 万円増加したことなどにより、前年度と比べると、営業損失は 5,468 万円減少し 4 億 951 万円となっている。

経常損益は、一般会計から経営支援の補助金を前年度と同額の 3 億円繰り入れた結果、416 万円の経常損失から 1,546 万円の経常利益に転じた。

純損益は、前年度に発生した過年度損益修正益及び修正損の計上がなかったことから、1,019 万円の純損失から 1,546 万円の純利益に転じた。

(4)　収 益 率

収益率の推移をみると表 9 のとおりである。営業収益が増加したことから、総収支比率は 1.3 ポイント、経常収支比率は 1.0 ポイント、営業収支比率は 3.6 ポイント上昇している。総資本に対する経常利益率は、前年度から 1.0 ポイント上昇している。

表9　収益率の推移　　（単位：%）

項　　目	5 年 度	6 年 度	7 年 度
1　総収支比率 （営業収益＋営業外収益＋特別利益 / 営業費用＋営業外費用＋特別損失 ×100　）	107.0	99.5	100.8
2　経常収支比率 （営業収益＋営業外収益 / 営業費用＋営業外費用 ×100 ）	107.0	99.8	100.8
3　営業収支比率 （営業収益 / 営業費用 ×100 ）	79.4	75.9	79.5
4　総資本経常利益率 （経常利益 / （前年度末総資本＋本年度末総資本）÷２ ×100 ）	6.8	△　0.2	0.8

4 財 政 状 態

貸借対照表を前年度と比べると、表 10 のとおりである。資産は、固定資産、流動資産ともに増加したため、資産総額は 3 億 8,378 万円、21.7%増加している。一方、負債は、繰延収益は減少したものの、固定負債及び流動負債が増加したため、3 億 6,832 万円、36.5%増加し、資本は、資本金に変動はなく、当年度純利益の計上により、1,546 万円、2.0%増加している。

表10　貸借対照表の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度末		6年度末		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
資産	固定資産	1,281,515	59.5	1,048,661	59.2	232,854	22.2
	流動資産	873,148	40.5	722,227	40.8	150,922	20.9
合計		2,154,663	100.0	1,770,888	100.0	383,776	21.7
負債	固定負債	718,307	33.3	451,705	25.5	266,602	59.0
	流動負債	412,371	19.1	298,607	16.9	113,764	38.1
	繰延収益	247,901	11.5	259,950	14.7	△ 12,049	△ 4.6
	計	1,378,578	64.0	1,010,262	57.0	368,316	36.5
資本	資本金	3,072,502	142.6	3,072,502	173.5	0	0
	剰余金	△ 2,296,416	△106.6	△ 2,311,876	△130.5	15,459	0.7
	資本剰余金	130,771	6.1	130,771	7.4	0	0
	利益剰余金	△ 2,427,187	△112.6	△ 2,442,647	△137.9	15,459	0.6
	計	776,085	36.0	760,626	43.0	15,459	2.0
合計		2,154,663	100.0	1,770,888	100.0	383,776	21.7

注　利益剰余金：負数（△で表示）は欠損金を示す。

(1)　資　　産

固定資産 2 億 3,285 万円の増加は、バスを７台リースにより取得したことによるリース資産の増加などによるものである。

流動資産 1 億 5,092 万円の増加は、現金預金が増加したことなどによるものである。

(2)　負　　債

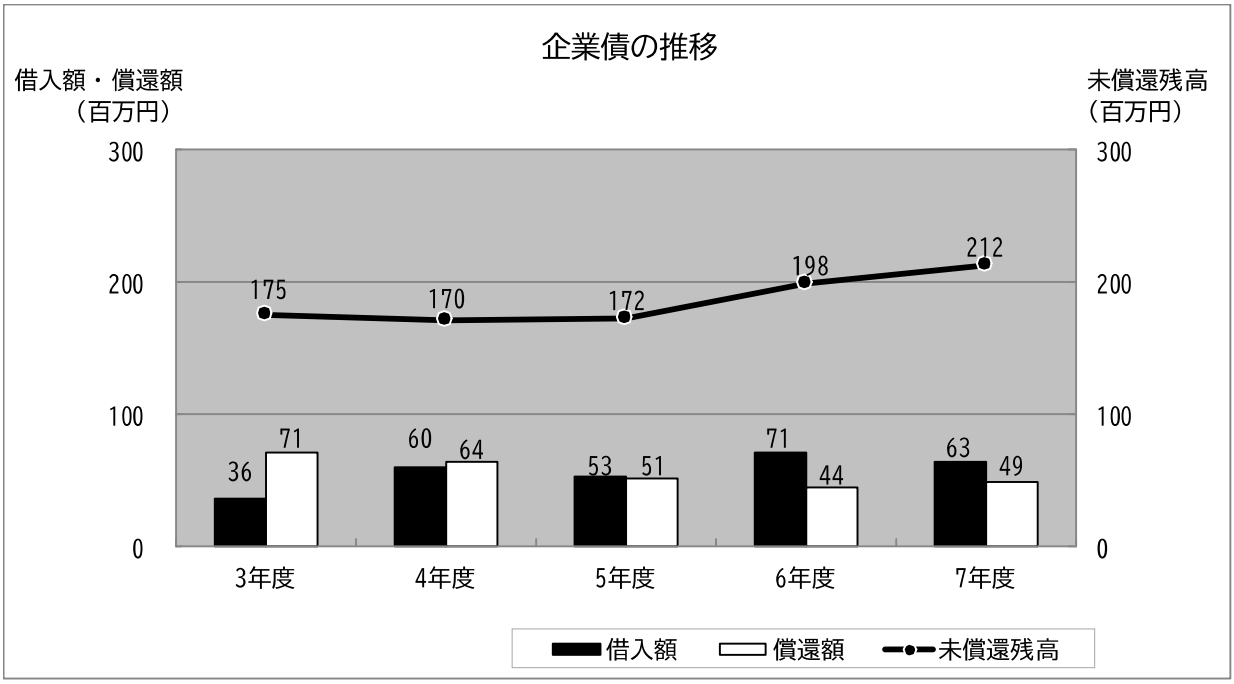
固定負債 2 億 6,660 万円の増加は、リース債務が増加したことなどによるものである。

流動負債 1 億 1,376 万円の増加は、未払金が増加したことなどによるものである。

繰延収益 1,205 万円の減少は、長期前受金の収益化が進んだことによるものである。

なお、流動比率(流動資産／流動負債×100)は 211.7％で、前年度の 241.9％を下回っている。これは、現金預金などの流動資産は増加したものの未払金やリース債務などの流動負債の増加が上回ったことによるものである。

また、令和 3 年度以降の企業債借入額、元金償還額及び未償還残高は、次のグラフのとおりである。借入れの主な理由は、バス車両の整備に伴うものである。未償還残高は、当年度末では、2 億 1,158 万円となっている。



(3) 資　　本

資本金に変動はない。

欠損金 1,546 万円の減少は、当年度純利益の計上によるものである。

以上により、資産合計及び負債・資本合計は、それぞれ前年度と比べると、3 億 8,378 万円の増加となっている。

(4) キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローの状況は、表11のとおりである。

表11 キャッシュ・フローの状況 （単位：千円）

項目	7年度	6年度	対前年度比較（△減）
			増減
業務活動によるキャッシュ・フロー	131,982	67,223	64,759
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,082	△ 105,670	79,588
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,600	26,325	△ 12,725
資金増加額（△は減少額）	119,500	△ 12,123	131,623
資金期首残高	482,885	495,007	△ 12,123
資金期末残高	602,385	482,885	119,500

事業本来の業務活動による資金収支を示す業務活動によるキャッシュ･フローは､1億3,198万円のプラスとなっており、前年度と比べると 6,476 万円増加している。これは、未払金の増加や当年度純損失が純利益に転じたことなどによるものである。

固定資産や投資資産の取得・売却などの収支を示す投資活動によるキャッシュ・フローは、2,608万円のマイナスとなっており、前年度と比べると7,959万円増加している。これは、国庫補助金等による収入が増加したことなどによるものである。

また、企業債の借入・償還など資金の調達を示す財務活動によるキャッシュ・フローは、1,360万円のプラスとなっており、前年度と比べると1,273万円減少している。これは企業債による収入の減少などによるものである。

これらのキャッシュ・フローの状況をみると、業務活動及び財務活動で得た資金により、投資活動である有形固定資産の取得を行っている。

この結果、資金増加額は1億1,950万円となっており、資金期首残高を含めた資金期末残高は6億238万円となっている。

5　一般会計からの繰入状況

一般会計からの繰入状況は、表 12 のとおりである。

表12　一般会計からの繰入状況　　（単位：千円、％）

科目		7 年 度		6 年 度		対前年度比較（△ 減）	
		金　額	構成比率	金　額	構成比率	増　減	比　率
収益的収入	営業外収益	356,521	100.0	353,198	100.0	3,323	0.9
	補助金	356,521	100.0	353,198	100.0	3,323	0.9
	交通事業会計経営支援補助金	300,000	84.1	300,000	84.9	0	0
	施設整備等補助金	30,139	8.5	29,474	8.3	665	2.3
	基礎年金拠出金補助金	15,776	4.4	14,137	4.0	1,639	11.6
	共済追加費用補助金	4,278	1.2	4,556	1.3	△ 278	△ 6.1
	児童手当負担経費	6,328	1.8	5,030	1.4	1,298	25.8
計		356,521	100.0	353,198	100.0	3,323	0.9
合計		356,521	100.0	353,198	100.0	3,323	0.9
	基準内	26,382	7.4	23,724	6.7	2,658	11.2
	基準外	330,139	92.6	329,474	93.3	665	0.2

注　基準内とは国の繰出し基準(総務副大臣通知)に基づく繰入金、基準外とはそれ以外のものをいう。

当年度の一般会計からの繰入金は、収益的収入に 3 億 5,652 万円となっており、前年度と比べると、332 万円増加している。

繰入金の主なものは、交通事業会計経営支援補助金 3 億円、施設整備等補助金 3,014 万円などである。

なお、基準外繰入金は、交通事業会計経営支援補助金及び施設整備等補助金である。

6 む　す　び

交通事業では、独立採算制を維持しつつ、「市民の生活の足」としての重要な役割を果たすべく、「第3次北九州市営バス事業経営計画(令和3～7年度)」(以下「第3次計画」という。)に基づき、経営改善に向けた様々な取り組みを行ってきた。

第3次計画の最終年度となる当年度は、前年度に開催された「北九州市営バス事業あり方・役割検討会議」で聴取した意見を踏まえ、「第4次北九州市営バス事業経営計画(令和8～12年度)」(以下「第4次計画」という。)を策定するとともに、経営基盤強化の一環として、収入の確保を図るため、14年ぶりとなる乗合バスの運賃改定を行った。また、国の貸切バスの公示運賃の見直しを踏まえ、貸切バスにかかる運賃の改定を行った。さらに、大型二種免許を取得していない若年層を対象とした採用区分(養成枠)を新設するなど、運転者確保にも取り組んだ。

当年度の経営成績は、人件費などの増により、費用の増嵩はあったものの、貸切収入の増などにより収益を確保した結果、1,546万円の純利益を計上し、資金剰余額も前年度を7,360万円上回る6億2,436万円となった。

しかしながら当年度の経営成績は、経営支援補助金の繰り入れによる効果が大きく、事業を取り巻く環境は依然として極めて厳しい状況にある。以前からの課題であるバス需要の減少傾向に加えて、コロナ禍で落ち込んだ利用者数の回復の遅れなどは、経営を圧迫している。

こうした中、令和8年度からの5か年計画である「第4次計画」は、将来を見据えた経営改善の拠り所となるべきものである。

交通局においては、将来にわたって地方公営企業としての独立採算制を維持するとともに、地域に根差した「市民の生活の足」としての使命を果たしていくため、第4次計画で掲げた具体的な取り組みについて、実効性をもって着実に遂行し、持続可能な経営基盤の構築に努められたい。

病　院　事　業　会　計

1　業 務 の 実 績

門司病院は、平成21年度から指定管理者制度を導入しており、特定医療法人茜会が2期目の管理運営を行っている。(指定管理期間：平成31年4月1日～令和11年3月31日)

同病院の診療科目は、内科、外科等14科目で、病床数155床（一般50床、療養50床、結核55床）を設置し、北九州市内唯一の結核医療を提供している。

なお、病院事業会計では、旧若松病院の企業債の償還事務を引き続き行っている。

2　予算の執行状況

(1)　収益的収入及び支出

収益的収入は、予算現額3億310万円に対し、決算額2億3,862万円で、執行率78.7%となっている。これは、主として医業収益が予算を下回ったことなどによるものである。

収益的支出は、予算現額4億6,125万円に対し、決算額3億9,318万円で、執行率85.2%となっている。これは、主として医業費用が予算を下回ったことなどによるものである。

収支差引額は、予算では1億5,815万円の収入不足の見込みが、決算では1億5,456万円の収入不足となっている。

収益的収入及び支出の執行状況は、表1のとおりである。

表1　収益的収入及び支出の執行状況　　（単位：千円、％）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
病院事業収益	医業収益	58,201	19.2	19.1	1,698	0.7	0.8	2.9	3.2
	医業外収益	244,890	80.8	80.9	236,920	99.3	99.2	96.7	98.7
	特別利益	10	0.0	0.0	0	0	0	0	0
	合計	303,101	100.0	100.0	238,618	100.0	100.0	78.7	80.5
病院事業費	医業費用	431,019	93.4	93.0	365,051	92.8	91.8	84.7	82.7
	医業外費用	30,218	6.6	7.0	28,129	7.2	8.2	93.1	97.0
	特別損失	10	0.0	0.0	0	0	0	0	0
	合計	461,247	100.0	100.0	393,180	100.0	100.0	85.2	83.7
収支差引額		△ 158,146	－	－	△ 154,562	－	－	97.7	90.1

注　決算額の収入には仮受消費税 241千円を、支出には仮払消費税 19,397千円を含む。

(2)　資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額3億8,853万円に対し、決算額3億6,233万円で、執行率93.3％となっている。これは、企業債が予算を下回ったことなどによるものである。

資本的支出は、予算現額3億8,921万円に対し、決算額3億6,236万円で、執行率93.1％となっている。これは、建設改良費の執行残によるものである。

収支差引不足額は、決算額3万円となっており、これに係る財源補てんの状況については、(3)資本的収支及び補てん財源のとおりである。

資本的収入及び支出の執行状況は、表2のとおりである。

表2　資本的収入及び支出の執行状況　（単位：千円、％）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
病院事業資本的収入	企業債	55,300	14.2	14.5	29,100	8.0	11.5	52.6	76.8
	出資金	333,233	85.8	85.5	333,232	92.0	88.5	100.0	100.0
	合計	388,533	100.0	100.0	362,332	100.0	100.0	93.3	96.6
病院事業資本的支出	建設改良費	55,980	14.4	14.5	29,131	8.0	11.8	52.0	78.9
	企業債償還金	333,233	85.6	85.5	333,232	92.0	88.2	100.0	100.0
	合計	389,213	100.0	100.0	362,364	100.0	100.0	93.1	96.9
収支差引額		△ 680	－	－	△ 31	－	－	4.6	－

注　決算額の支出には仮払消費税 2,648千円を含む。

(3)　資本的収支及び補てん財源

資本的収入額 3 億 6,233 万円が、資本的支出額 3 億 6,236 万円に対して不足する額 3 万円は、損益勘定留保資金等 5,216 万円から補てんしている。

当年度末の実質資金剰余額は 5,213 万円で、前年度末と比べると、138 万円の増加となっている。

資本的収支及び補てん財源の状況は、表 3 のとおりである。

表3　資本的収支及び補てん財源の状況　　（単位：千円）

項目			7 年 度 決 算 額
資本的収支	資本的収入額	(A)	362,332
	資本的支出額	(B)	362,364
	差引不足額	(B)－(A) (C)	31
補てん財源	消費税資本的収支調整額		2,648
	損益勘定留保資金		206,720
	当年度純損益		△ 157,210
	計	(D)	52,159
当年度末資金剰余額		(D)－(C) (E)	52,127
翌年度繰越工事資金		(F)	－
当年度末実質資金剰余額		(E)－(F) (G)	52,127
前年度末実質資金剰余額		(H)	50,744
対前年度実質資金剰余増減額（単年度実質資金剰余額）		(G)－(H)	1,383

3 経 営 成 績

当年度の損益は、総収益 2 億 3,481 万円、総費用 3 億 9,202 万円で、差引き 1 億 5,721 万円の純損失となっている。前年度と比べると、医業外収益の減少などにより総収益が減少したため、純損失は 1,071 万円増加となった。

過去 3 か年の経営収支の比較は、表 4 のとおりである。

表4　経営収支の比較　　（単位：千円、％）

年度	総収益				総費用				純損益	
	決算額		対前年度比較(△減)		決算額		対前年度比較(△減)		決算額（△損失）	対前年度比較（△減）
	金額	指数	増減	比率	金額	指数	増減	比率		
5	245,451	100.0	△ 4,316	△ 1.7	390,938	100.0	△ 8,680	△ 2.2	△ 145,488	4,363
6	241,096	98.2	△ 4,355	△ 1.8	387,597	99.1	△ 3,341	△ 0.9	△ 146,501	△ 1,013
7	234,812	95.7	△ 6,284	△ 2.6	392,022	100.3	4,425	1.1	△ 157,210	△ 10,709

(1) 収　　益

収益について、主な科目ごとに前年度と比べると、表5のとおりである。

表5　収益の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度		6年度		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
医業収益	その他	1,544	0.7	1,689	0.7	△ 145	△ 8.6
	計	1,544	0.7	1,689	0.7	△ 145	△ 8.6
医業外収益	他会計負担金	218,113	92.9	221,662	91.9	△ 3,548	△ 1.6
	その他	15,155	6.5	17,745	7.4	△ 2,590	△ 14.6
	計	233,268	99.3	239,407	99.3	△ 6,138	△ 2.6
合計		234,812	100.0	241,096	100.0	△ 6,284	△ 2.6

収益合計(総収益）は、前年度と比べると、628万円、2.6％の減少となっている。

医業外収益において、他会計負担金が前年度と比べて、355万円減少している。

(2) 費　　用

費用について、主な科目ごとに前年度と比べると、表6のとおりである。

表6　費用の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度 金額	7年度 構成比率	7年度 医業収益に対する比率	6年度 金額	6年度 構成比率	6年度 医業収益に対する比率	対前年度比較（△減） 増減	対前年度比較（△減） 比率
医業費用	減価償却費	149,904	38.2	…	147,553	38.1	…	2,351	1.6
	その他	195,751	49.9	…	189,883	49.0	…	5,868	3.1
	計	345,655	88.2	…	337,436	87.1	…	8,219	2.4
医業外費用	支払利息	28,127	7.2	…	31,677	8.2	…	△ 3,550	△ 11.2
	その他	18,239	4.7	…	18,483	4.8	…	△ 244	△ 1.3
	計	46,367	11.8	…	50,161	12.9	…	△ 3,794	△ 7.6
合計		392,022	100.0	…	387,597	100.0	…	4,425	1.1

費用合計（総費用）は、前年度と比べると、443 万円、1.1％の増加となっている。

医業費用において減価償却費 235 万円の増加は、建物の減価償却費が増加したことによるものである。

医業外費用において、支払利息 355 万円の減少は、企業債の償還が進み、企業債利息が減少したことによるものである。

(3)　損　　益

損益について、項目ごとに前年度と比べると、表 7 のとおりである。

表7　損益の年度比較　　（単位：千円、％）

項目	7年度	6年度	対前年度比較（△減） 増減	対前年度比較（△減） 比率
医業損益	△ 344,112	△ 335,747	△ 8,364	△ 2.5
経常損益	△ 157,210	△ 146,501	△ 10,709	△ 7.3
純損益	△ 157,210	△ 146,501	△ 10,709	△ 7.3

注　医業損益：医業収益－医業費用
　　経常損益：（医業収益＋医業外収益）－（医業費用＋医業外費用）
　　純損益　：総収益－総費用

医業損益は、医業収益が減少し医業費用が増加したたため、前年度と比べると、医業損失が836万円増加し3億4,411万円となっている。

経常損益は、医業外収益が減少したため、前年度と比べると、経常損失が 1,071 万円増加し1億5,721万円となっている。

純損益は、前年度と比べると、純損失が1,071万円増加し1億5,721万円となった。

(4) 収 益 率

収益率の推移をみると表 8 のとおりで、医業外収益が減少したことなどにより、総収支比率は2.3ポイント下降し、経常収支比率も、2.3ポイント下降している。

総資本に対する経常利益率は、前年度から0.9ポイント下降している。

表8 収益率の推移 （単位：%）

項目	5 年 度	6 年 度	7 年 度
1 総収支比率 $\left(\frac{\text{医業収益＋医業外収益＋特別利益}}{\text{医業費用＋医業外費用＋特別損失}}\times 100\right)$	62.8	62.2	59.9
2 経常収支比率 $\left(\frac{\text{医業収益＋医業外収益}}{\text{医業費用＋医業外費用}}\times 100\right)$	62.8	62.2	59.9
3 総資本経常利益率 $\left(\frac{\text{経常利益}}{\text{（前年度末総資本＋本年度末総資本）}\div 2}\times 100\right)$	△ 6.4	△ 6.7	△ 7.6

4 財 政 状 態

貸借対照表を前年度と比べると、表 9 のとおりである。資産は、固定資産が減少したため、資産総額は1億5,705万円、7.3%減少している。一方、負債は、固定負債が減少したため、3億3,307万円、12.8%減少し、資本は、資本金が増加したため、1億7,602万円、38.7%増加している。

表9　貸借対照表の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度末		6年度末		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
資産	固定資産	1,911,274	96.3	2,035,989	95.1	△ 124,715	△ 6.1
	流動資産	73,020	3.7	105,355	4.9	△ 32,334	△ 30.7
合計		1,984,295	100.0	2,141,344	100.0	△ 157,049	△ 7.3
負債	固定負債	1,850,246	93.2	2,150,407	100.4	△ 300,161	△ 14.0
	流動負債	358,509	18.1	387,898	18.1	△ 29,389	△ 7.6
	繰延収益	54,199	2.7	57,721	2.7	△ 3,522	△ 6.1
	計	2,262,954	114.0	2,596,025	121.2	△ 333,072	△ 12.8
資本	資本金	12,071,175	608.3	11,737,943	548.2	333,232	2.8
	剰余金	△ 12,349,834	△622.4	△ 12,192,624	△569.4	△ 157,210	△ 1.3
	資本剰余金	79,733	4.0	79,733	3.7	0	0
	利益剰余金	△ 12,429,567	△626.4	△ 12,272,357	△573.1	△ 157,210	△ 1.3
	計	△ 278,659	△ 14.0	△ 454,681	△ 21.2	176,022	38.7
合計		1,984,295	100.0	2,141,344	100.0	△ 157,049	△ 7.3

注　利益剰余金：負数（△で表示）は欠損金を示す。

(1)　資　　産

固定資産1億2,471万円の減少は、建物等の資産が減少したことによるものである。

流動資産3,233万円の減少は、現金預金が減少したことなどによるものである。

(2)　負　　債

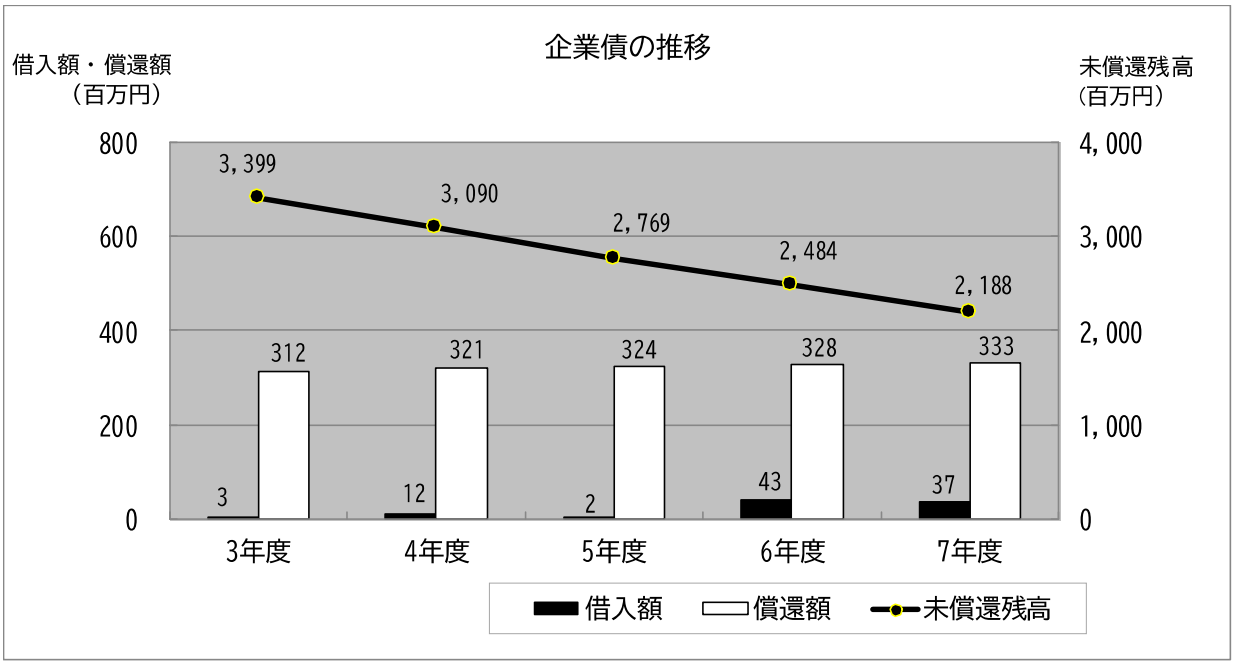
固定負債3億16万円の減少は、企業債が減少したことによるものである。

流動負債2,939万円の減少は、未払金が減少したことなどによるものである。

繰延収益352万円の減少は、繰延収益の償却（収益化）を行ったことによるものである。

なお、流動比率(流動資産／流動負債×100)は20.4％で、前年度の27.2％を下回っている。

また、令和3年度以降の企業債借入額、元金償還額及び未償還残高は、次のグラフのとおりである。未償還残高は、当年度末では21億8,781万円となっている。



(3)　資　　本

資本金 3 億 3,323 万円の増加は、自己資本金が増加したことによるものである。

欠損金 1 億 5,721 万円の増加は、当年度純損失の計上によるものである。

この結果、累積欠損額は 124 億 2,957 万円となり、資本の合計は 2 億 7,866 万円のマイナスとなった。

以上により、資産合計及び負債・資本合計は、それぞれ前年度と比べると、1 億 5,705 万円の減少となっている。

(4)　キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローの状況は、表 10 のとおりである。

表10　キャッシュ・フローの状況　　（単位：千円）

項　　目	7 年 度	6 年 度	対前年度比較（△減）
			増　　減
業務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,247	△ 7,351	△ 897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 58,108	△ 1,480	△ 56,628
財務活動によるキャッシュ・フロー	37,400	42,800	△ 5,400
資金増加額（△は減少額）	△ 28,955	33,969	△ 62,925
資金期首残高	86,742	52,773	33,969
資金期末残高	57,787	86,742	△ 28,955

事業本来の業務活動による資金収支を示す業務活動によるキャッシュ・フローは、825 万円のマイナスとなっており、前年度と比べると 90 万円減少している。これは、未払金が減少したことなどによるものである。

固定資産や投資資産の取得・売却などの収支を示す投資活動によるキャッシュ・フローは、5,811 万円のマイナスとなっており、前年度と比べると 5,663 万円減少している。これは、有形固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものである。

また、企業債の借入・償還など資金の調達を示す財務活動によるキャッシュ・フローは、3,740 万円のプラスとなっており、前年度と比べると 540 万円減少している。これは、企業債の借入れによる収入が減少したことによるものである。

これらのキャッシュ・フローの状況をみると、財務活動で得た資金により、業務活動及び投資活動である設備投資を行っている。

この結果、資金減少額は 2,896 万円となっており、資金期首残高を含めた資金期末残高は 5,779 万円となっている。

5　セグメント情報

病院事業では、門司病院、本庁の 2 施設を運営しており、施設ごとに運営方針等を決定していることから、当該 2 施設を報告セグメントとしている。

報告セグメントごとの資産等の状況は、表 11 のとおりである。

表11　報告セグメントごとの資産等の状況　　（単位：千円）

区　分	門司病院	本　庁	計
医業収益	1,544	0	1,544
医業費用	246,467	99,188	345,655
医業損益	△ 244,924	△ 99,188	△ 344,112
経常損益	△ 68,466	△ 88,744	△ 157,210
セグメント資産	1,311,543	672,752	1,984,295
セグメント負債	1,432,977	829,977	2,262,954

6　一般会計からの繰入状況

一般会計からの繰入状況は、表 12 のとおりである。

表12　一般会計からの繰入状況　　（単位：千円、％）

科目		7年度 金額	7年度 構成比率	6年度 金額	6年度 構成比率	対前年度比較（△減） 増減	対前年度比較（△減） 比率
収益的収入	医業外収益	228,867	40.7	235,096	41.8	△ 6,229	△ 2.6
	負担金	218,113	38.8	221,662	39.4	△ 3,548	△ 1.6
	企業債利息	28,113	5.0	31,662	5.6	△ 3,548	△ 11.2
	結核病棟運営経費	190,000	33.8	190,000	33.8	0	0
	補助金	10,754	1.9	13,434	2.4	△ 2,681	△ 20.0
	旧八幡病院に係る経費	10,754	1.9	13,434	2.4	△ 2,681	△ 20.0
計		228,867	40.7	235,096	41.8	△ 6,229	△ 2.6
資本的収入	出資金	333,232	59.3	327,844	58.2	5,389	1.6
	企業債償還金	333,232	59.3	327,844	58.2	5,389	1.6
計		333,232	59.3	327,844	58.2	5,389	1.6
合計		562,099	100.0	562,940	100.0	△ 841	△ 0.1
	基準内	551,346	98.1	549,505	97.6	1,840	0.3
	基準外	10,754	1.9	13,434	2.4	△ 2,681	△ 20.0

注　基準内とは国の繰出し基準(総務副大臣通知)に基づく繰入金、基準外とはそれ以外のものをいう。

当年度の一般会計からの繰入金は、収益的収入に 2 億 2,887 万円、資本的収入に 3 億 3,323 万円、合計 5 億 6,210 万円となっており、前年度と比べると、84 万円減少している。

繰入金の主なものは、収益的収入では結核病棟運営に要する経費 1 億 9,000 万円であり、資本的収入では企業債償還金 3 億 3,323 万円である。

7 むすび

病院事業では、人口減少や少子高齢化の進行などに伴う医療需要の変化が見込まれる中、地域に必要な医療を提供している。

当年度は、市内唯一の結核医療を提供する門司病院で、指定管理者制度による運営を行った。また、旧八幡病院の施設管理や旧若松病院の企業債の償還などの事務は、引き続き病院事業会計が執行している。

当年度の純損益は、一般会計からの繰入金により、指定管理料などの費用を支出したが、減価償却費の計上などにより、1 億 5,721 万円の純損失となった。また、当年度末の実質資金剰余

額は 5,213 万円で、前年度末と比べると 138 万円の増加、当年度未処理欠損金は 124 億 2,957 万円で、前年度末と比べると 1 億 5,721 万円の増加となっている。

今後とも、指定管理者との連携により、政策医療を担う公的医療機関として、結核医療や地域に必要とされる安全安心な医療を継続的に提供することを期待する。

下　水　道　事　業　会　計

1　業　務　の　実　績

当年度における処理水量は134,702,130㎥、処理人口は899,660人となっている。前年度と比べると、処理水量で6.6%の減少、処理人口で0.8%の減少となっている。また、人口普及率は99.9%となっている。

なお、当年度末の水洗化戸数は490,464戸、水洗化率は99.6%となっている。

業務実績の年度比較は、表1のとおりである。

表1　業務実績の年度比較

項目	単位	7年度	6年度	対前年度比較（△減）	
				増減	比率
					%
処理水量	㎥	134,702,130	144,170,865	△ 9,468,735	△ 6.6
1日平均処理水量	㎥	369,047	394,989	△ 25,942	△ 6.6
処理能力	㎥/日	621,000	621,000	0	0
有収水量	㎥	90,031,388	90,875,767	△ 844,379	△ 0.9
管渠布設延長	m	4,736,208	4,729,384	6,824	0.1
総人口	人	900,914	908,181	△ 7,267	△ 0.8
処理人口	人	899,660	906,899	△ 7,239	△ 0.8
人口普及率	%	99.9	99.9	0.0	－
水洗化対象戸数	戸	492,328	491,905	423	0.1
水洗化戸数	戸	490,464	489,995	469	0.1
水洗化率	%	99.6	99.6	0.0	－
職員数	人	143	145	△ 2	△ 1.4

注　総人口は令和8年3月31日現在の外国人を含む住民基本台帳登載人口である。

2　予算の執行状況

(1)　収益的収入及び支出

収益的収入は、予算現額269億7,472万円に対し、決算額264億3,598万円で、執行率98.0%となっている。これは、主として営業収益が予算を下回ったことによるものである。

なお、当年度の予算における業務予定量に対する実績をみると、有収水量で101.0%、処理水量で94.6%、水洗化助成戸数で25.0%となっている。

収入の根幹である営業収益は、予算現額205億8,844万円に対し、決算額200億7,903万

円で、執行率 97.5%となっている。これは、雨水処理負担金などが予算を下回ったことによるものである。

収益的支出は、予算現額280億1,635万円に対し、決算額270億5,276万円で、執行率96.6%となっている。これは、処理場費などの営業費用が予算を下回ったことによるものである。

収支差引額は、予算では10億4,164万円の収入不足の見込みが、決算では6億1,679万円の収入不足となっている。

収益的収入及び支出の執行状況は、表2のとおりである。

表2　収益的収入及び支出の執行状況　（単位：千円、%）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
下水道事業収益	営業収益	20,588,443	76.3	76.4	20,079,026	76.0	76.7	97.5	97.5
	営業外収益	6,386,244	23.7	23.6	6,343,447	24.0	23.3	99.3	95.7
	特別利益	30	0.0	0.0	13,503	0.1	0.0	…	…
	合計	26,974,717	100.0	100.0	26,435,976	100.0	100.0	98.0	97.1
下水道事業費	営業費用	26,382,187	94.2	94.1	25,690,031	95.0	94.5	97.4	95.6
	営業外費用	1,599,145	5.7	5.7	1,353,155	5.0	5.4	84.6	89.4
	特別損失	15,020	0.1	0.1	9,579	0.0	0.1	63.8	142.1
	予備費	20,000	0.1	0.1	0	0	0	0	0
	合計	28,016,352	100.0	100.0	27,052,764	100.0	100.0	96.6	95.2
収支差引額		△ 1,041,635	－	－	△ 616,788	－	－	59.2	12.4

注　決算額の収入には仮受消費税 1,318,940千円を、支出には仮払消費税 723,574千円を含む。

(2)　資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額232億4,384万円に対し、決算額132億5,451万円で、執行率57.0%となっている。これは、翌年度への繰越工事に係る財源として企業債などを繰り越したことなどによるものである。

資本的支出は、予算現額343億5,387万円に対し、決算額232億3,208万円で、執行率67.6%となっている。予算残額のうち102億175万円が翌年度へ繰り越され、9億2,004万円が不用額となっている。繰り越されたものは、下水道建設事業等で、関係機関との協議等に日時を要したことなどによるものである。不用額の主なものは、建設改良費 9億1,833万円で、負

担金工事などの執行残によるものである。

収支差引不足額は、予算では111億1,003万円の見込みが、決算では99億7,757万円となっており、これに係る財源補てんの状況については、(3)資本的収支及び補てん財源のとおりである。

資本的収入及び支出の執行状況は、表3のとおりである。

表3　資本的収入及び支出の執行状況　（単位：千円、％）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
下水道事業資本的収入	企業債	12,473,000	53.7	50.5	6,288,000	47.4	44.9	50.4	52.6
	国庫補助金	8,041,600	34.6	35.5	4,429,756	33.4	33.8	55.1	56.3
	負担金	428,111	1.8	3.2	237,595	1.8	3.0	55.5	55.1
	寄附金	9,951	0.0	0.0	8,362	0.1	0.1	84.0	159.7
	貸付金回収金	959	0.0	0.0	599	0.0	0.0	62.4	53.9
	基金繰入金	2,290,200	9.9	10.8	2,290,200	17.3	18.2	100.0	100.0
	その他資本的収入	20	0.0	0.0	0	0	0	0	0
	合計	23,243,841	100.0	100.0	13,254,512	100.0	100.0	57.0	59.2
下水道事業資本的支出	建設改良費	23,138,352	67.4	64.6	12,018,264	51.7	50.0	51.9	54.7
	企業債償還金	8,404,192	24.5	26.8	8,404,192	36.2	37.9	100.0	100.0
	投資	2,811,327	8.2	8.5	2,809,627	12.1	12.1	99.9	100.0
	合計	34,353,871	100.0	100.0	23,232,083	100.0	100.0	67.6	70.7
収支差引額		△11,110,030	－	－	△ 9,977,570	－	－	89.8	92.2

注　決算額の支出には仮払消費税 1,051,262千円を含む。

(3)　資本的収支及び補てん財源

資本的収入額132億5,451万円が、資本的支出額232億3,208万円に対して不足する額99億7,757万円は、損益勘定留保資金等141億829万円から補てんしている。

当年度末資金剰余額は41億3,072万円であり、これから翌年度への繰越工事に充当する資金4億5,684万円を差し引いた当年度末の実質資金剰余額は36億7,387万円で、前年度末と

比べると、3億138万円の増加となっている。

資本的収支及び補てん財源の状況は、表4のとおりである。

表4　資本的収支及び補てん財源の状況　（単位：千円）

項目			7年度決算額
資本的収支	資本的収入額	(A)	13,254,512
	資本的支出額	(B)	23,232,083
	差引不足額	(B)－(A) (C)	9,977,570
補てん財源	消費税資本的収支調整額		629,949
	損益勘定留保資金		11,883,556
	当年度純損益		△ 1,246,737
	繰越利益剰余金		2,841,519
	計	(D)	14,108,287
当年度末資金剰余額		(D)－(C) (E)	4,130,716
翌年度繰越工事資金		(F)	456,844
当年度末実質資金剰余額		(E)－(F) (G)	3,673,872
前年度末実質資金剰余額		(H)	3,372,490
対前年度実質資金剰余増減額（単年度実質資金剰余額）		(G)－(H)	301,383

3　経営成績

当年度の損益は、総収益251億1,704万円、総費用263億6,377万円で、差引き12億4,674万円の純損失となっている。下水道使用料などの営業収益は減少し、資産減耗費などの営業費用が増加したことから、純損失は5億8,812万円増加となった。

過去3か年の経営収支の比較は、表5のとおりである。

表5　経営収支の比較　　（単位：千円、％）

年度	総収益				総費用				純損益	
	決算額		対前年度比較(△減)		決算額		対前年度比較(△減)		決算額（△損失）	対前年度比較（△減）
	金額	指数	増減	比率	金額	指数	増減	比率		
5	25,388,376	100.0	△ 351,139	△ 1.4	25,303,913	100.0	△ 404,183	△ 1.6	84,462	53,044
6	25,517,411	100.5	129,035	0.5	26,176,031	103.4	872,117	3.4	△ 658,620	△ 743,083
7	25,117,036	98.9	△ 400,374	△ 1.6	26,363,773	104.2	187,742	0.7	△1,246,737	△ 588,116

(1)　収　　益

収益について、主な科目ごとに前年度と比べると、表6のとおりである。

表6　収益の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度		6年度		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
営業収益	下水道使用料	12,957,420	51.6	13,075,919	51.2	△ 118,499	△ 0.9
	雨水処理負担金	5,518,985	22.0	5,422,403	21.2	96,582	1.8
	その他	289,501	1.2	761,733	3.0	△ 472,232	△ 62.0
	計	18,765,907	74.7	19,260,056	75.5	△ 494,149	△ 2.6
営業外収益	長期前受金戻入	6,213,610	24.7	6,082,376	23.8	131,234	2.2
	その他	125,013	0.5	167,824	0.7	△ 42,811	△ 25.5
	計	6,338,622	25.2	6,250,199	24.5	88,423	1.4
特別利益	過年度損益修正益	12,507	0.0	7,155	0.0	5,352	74.8
	計	12,507	0.0	7,155	0.0	5,352	74.8
合計		25,117,036	100.0	25,517,411	100.0	△ 400,374	△ 1.6

収益合計(総収益）は、前年度と比べると、4億37万円、1.6%の減少となっている。

営業収益において、下水道使用料 1 億 1,850 万円の減少は、有収水量の減少などによるものである。雨水処理負担金 9,658 万円の増加は、雨水処理に要する費用が増加したことなどによるものである。その他 4 億 7,223 万円の減少は、受託事業収益が減少したことなどによるものである。

営業外収益において長期前受金戻入 1 億 3,123 万円の増加は、繰延収益の償却（収益化）が増加したことによるものである。その他 4,281 万円の減少は、雑収益が減少したことなどによるものである。

特別利益において、過年度損益修正益 535 万円の増加は、過年度下水道使用料等の修正益が増加したことなどによるものである。

(2) 費　　用

費用について、主な科目ごとに前年度と比べると、表 7 のとおりである。

表7　費用の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7 年 度			6 年 度			対前年度比較（△ 減）	
		金　額	構成比率	営業収益に対する比　率	金　額	構成比率	営業収益に対する比　率	増　減	比　率
営業費用	人　件　費	956,171	3.6	5.1	1,024,060	3.9	5.3	△ 67,889	△ 6.6
	動力・薬品費	677,004	2.6	3.6	881,535	3.4	4.6	△ 204,531	△ 23.2
	減価償却費	16,017,111	60.8	85.4	15,982,355	61.1	83.0	34,756	0.2
	そ　の　他	7,318,712	27.8	39.0	6,875,831	26.3	35.7	442,881	6.4
	計	24,968,998	94.7	133.1	24,763,781	94.6	128.6	205,217	0.8
営業外費用	支　払　利　息	1,271,024	4.8	6.8	1,280,830	4.9	6.7	△ 9,806	△ 0.8
	そ　の　他	115,041	0.4	0.6	110,813	0.4	0.6	4,229	3.8
	計	1,386,066	5.3	7.4	1,391,643	5.3	7.2	△ 5,577	△ 0.4
特別損失	過年度損益修正損	8,710	0.0	0.0	9,552	0.0	0.0	△ 843	△ 8.8
	その他特別損失	－	－	－	11,055	0.0	0.1	△ 11,055	△100.0
	計	8,710	0.0	0.0	20,607	0.1	0.1	△ 11,898	△ 57.7
合　計		26,363,773	100.0	140.5	26,176,031	100.0	135.9	187,742	0.7

費用合計(総費用)は、前年度と比べると、1億8,774万円、0.7%の増加となっている。

営業費用において、人件費 6,789 万円の減少は、退職給付費が減少したことなどによるものである。なお、人件費の営業収益に対する比率は5.1%で、前年度から0.2ポイント下降している。動力・薬品費 2 億 453 万円の減少は、電気使用量が減少したこと等により、動力費が減少したことなどによるものである。減価償却費 3,476 万円の増加は、管渠などの構築物に係る減価償却費が増加したことなどによるものである。その他 4 億 4,288 万円の増加は、資産減耗費が増加したことなどによるものである。

営業外費用において、支払利息 981 万円の減少は、企業債の償還が進み、企業債利息が減少したことによるものである。

特別損失において、その他特別損失 1,105 万円の減少は、前年度に発生したその他特別損失の計上がなかったことによるものである。

(3) 損　　益

損益について、項目ごとに前年度と比べると、表8のとおりである。

表8　損益の年度比較　　（単位：千円、%）

項　　目	7 年 度	6 年 度	対前年度比較（△減）	
			増　　減	比　　率
営業損益	△6,203,091	△5,503,725	△ 699,366	△ 12.7
経常損益	△1,250,535	△ 645,169	△ 605,366	△ 93.8
純損益	△1,246,737	△ 658,620	△ 588,116	△ 89.3

注　営業損益：営業収益－営業費用
　　経常損益：（営業収益＋営業外収益）－（営業費用＋営業外費用）
　　純損益　：総収益－総費用

営業損益は、下水道使用料や受託事業収益などの減少により営業収益が 4 億 9,415 万円減少したことに加え、減価償却費や資産減耗費等の増加などにより営業費用が 2 億 522 万円増加したことから、前年度と比べると、営業損失は6億9,937万円増加し62億309万円となっている。

経常損益は、長期前受金戻入などの営業外収益は増加したものの、営業損失が増加したことから、前年度と比べると、経常損失は6億537万円増加し12億5,053万円となっている。

純損益は、その他特別損失などの特別損失は減少したものの、経常損失が増加したため、前年度と比べると、純損失は5億8,812万円増加し12億4,674万円となった。

(4) 収 益 率

収益率の推移をみると表 9 のとおりである。営業費用の増加などにより、いずれの項目も前年度より下降している。

表9 収益率の推移 （単位：%）

項　　目	5 年 度	6 年 度	7 年 度
1 総収支比率 $\left(\frac{\text{営業収益＋営業外収益＋特別利益}}{\text{営業費用＋営業外費用＋特別損失}}\times 100\right)$	100.3	97.5	95.3
2 経常収支比率 $\left(\frac{\text{営業収益＋営業外収益}}{\text{営業費用＋営業外費用}}\times 100\right)$	100.3	97.5	95.3
3 営業収支比率 $\left(\frac{\text{営業収益－受託事業収益}}{\text{営業費用－受託事業費}}\times 100\right)$	80.4	77.2	75.1
4 総資本経常利益率 $\left(\frac{\text{経常利益}}{\text{（前年度末総資本＋本年度末総資本）÷２}}\times 100\right)$	0.0	△ 0.2	△ 0.3

4 財 政 状 態

貸借対照表を前年度と比べると、表 10 のとおりである。資産は、構築物などの固定資産が減少したことから、資産総額は 30 億 3,227 万円、0.7%減少している。一方、負債は、企業債などの固定負債が減少したことから 21 億 4,583 万円、0.7%減少し、資本は、当年度純損失の計上などから、8 億 8,645 万円、0.7%減少している。

表10　貸借対照表の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度末		6年度末		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
資産	固定資産	405,463,308	97.7	409,782,387	98.0	△ 4,319,079	△ 1.1
	有形固定資産	393,892,880	94.9	398,787,566	95.4	△ 4,894,685	△ 1.2
	無形固定資産	245,514	0.1	188,736	0.0	56,778	30.1
	投資その他の資産	11,324,914	2.7	10,806,086	2.6	518,828	4.8
	流動資産	9,470,982	2.3	8,184,175	2.0	1,286,806	15.7
合計		414,934,290	100.0	417,966,562	100.0	△ 3,032,272	△ 0.7
負債	固定負債	128,481,161	31.0	129,158,494	30.9	△ 677,333	△ 0.5
	流動負債	12,476,524	3.0	12,531,465	3.0	△ 54,941	△ 0.4
	繰延収益	152,404,662	36.7	153,818,215	36.8	△ 1,413,553	△ 0.9
	計	293,362,347	70.7	295,508,173	70.7	△ 2,145,827	△ 0.7
資本	資本金	113,943,822	27.5	113,943,822	27.3	0	0
	剰余金	7,628,121	1.8	8,514,566	2.0	△ 886,445	△ 10.4
	資本剰余金	6,033,339	1.5	5,673,048	1.4	360,291	6.4
	利益剰余金	1,594,782	0.4	2,841,519	0.7	△ 1,246,737	△ 43.9
	計	121,571,943	29.3	122,458,389	29.3	△ 886,445	△ 0.7
合計		414,934,290	100.0	417,966,562	100.0	△ 3,032,272	△ 0.7

(1)　資　　産

有形固定資産48億9,469万円の減少は、構築物などの減価償却が進んだことなどによるものである。無形固定資産 5,678 万円の増加は、システムの更新などによるものである。投資その他の資産 5 億 1,883 万円の増加は、企業債元金償還のための基金積立金が増加したことなどによるものである。

流動資産12億8,681万円の増加は、現金預金が増加したことなどによるものである。

(2)　負　　債

固定負債6億7,733万円の減少は、企業債の減少などによるものである。

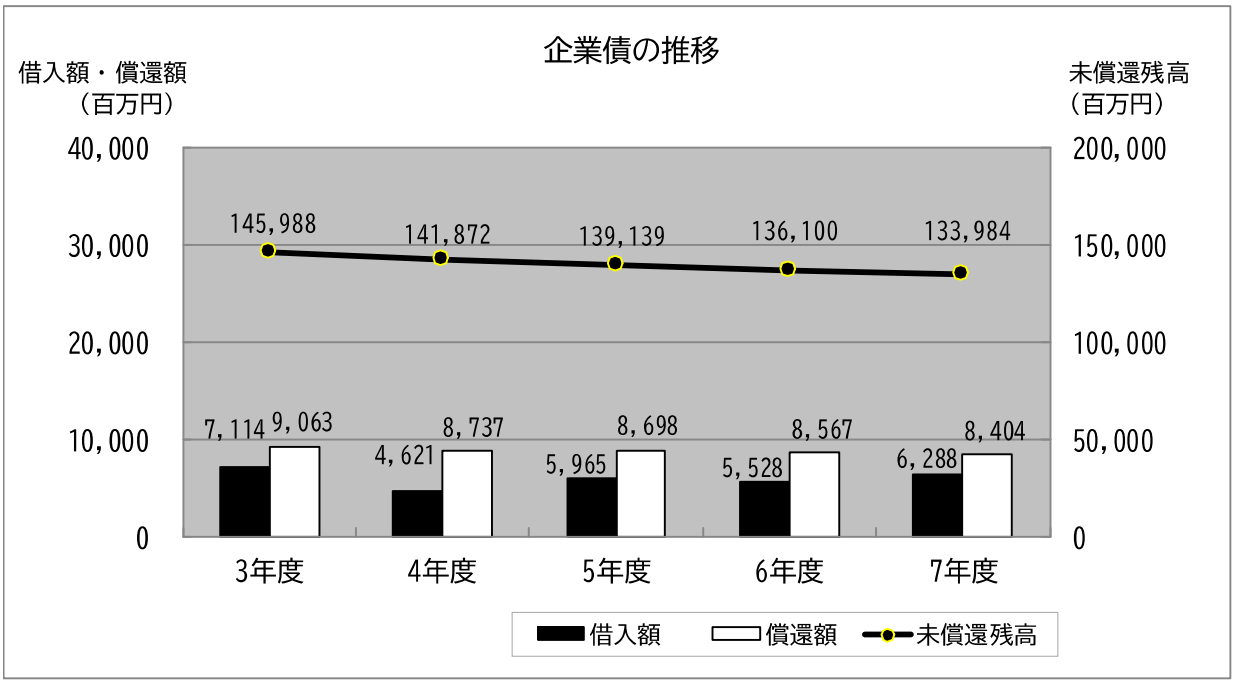
流動負債5,494万円の減少は、企業債の減少などによるものである。

繰延収益14億1,355万円の減少は、繰延収益の償却（収益化）を行ったことによるものである。

なお、流動比率(流動資産／流動負債×100)は75.9%で、前年度の65.3%を上回っている。

これは、現金預金等の流動資産が増加したことなどによるものである。

また、令和 3 年度以降の企業債借入額、元金償還額及び未償還残高は、次のグラフのとおりである。未償還残高は、当年度末では 1,339 億 8,338 万円となっている。



(3) 資　　本

資本金に変動はない。

剰余金のうち、資本剰余金 3 億 6,029 万円の増加は、土地の取得に充てるために交付された国庫補助金の増加によるものである。利益剰余金 12 億 4,674 万円の減少は、当年度純損失によるものである。

以上により、資産合計及び負債・資本合計は、それぞれ前年度と比べると、30 億 3,227 万円の減少となっている。

(4) キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローの状況は、表11のとおりである。

表11 キャッシュ・フローの状況 （単位：千円）

項目	7年度	6年度	対前年度比較（△減）
			増減
業務活動によるキャッシュ・フロー	10,026,376	9,538,939	487,437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,037,455	△ 9,076,334	3,038,878
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,141,372	△ 3,053,540	912,168
資金増加額（△は減少額）	1,847,549	△ 2,590,934	4,438,483
資金期首残高	6,026,525	8,617,460	△ 2,590,934
資金期末残高	7,874,074	6,026,525	1,847,549

事業本来の業務活動による資金収支を示す業務活動によるキャッシュ・フローは、100億2,638万円のプラスとなっており、前年度と比べると、4億8,744万円増加している。これは未収金が減少したことなどによるものである。

固定資産や投資資産の取得・売却などの収支を示す投資活動によるキャッシュ・フローは、60億3,746万円のマイナスとなっており、前年度と比べると、30億3,888万円増加している。これは有形固定資産の取得による支出が減少したことなどによるものである。

また、企業債の借入・償還など資金の調達を示す財務活動によるキャッシュ・フローは、21億4,137万円のマイナスとなっており、前年度と比べると、9億1,217万円増加している。これは企業債借入れの増加などによるものである。

これらのキャッシュ・フローの状況をみると、業務活動で得た資金により、投資活動である設備投資を行ったほか、財務活動である企業債の償還を行っている。

この結果、資金増加額は18億4,755万円となっており、資金期首残高を含めた資金期末残高は78億7,407万円となっている。

5　一般会計からの繰入状況

一般会計からの繰入状況は、表 12 のとおりである。

表12　一般会計からの繰入状況　　（単位：千円、％）

科目		7 年 度		6 年 度		対前年度比較（△ 減）	
		金　額	構成比率	金　額	構成比率	増　減	比　率
収益的収入	営業収益	5,599,429	98.0	5,503,973	95.9	95,456	1.7
	負担金	5,599,429	98.0	5,503,973	95.9	95,456	1.7
	雨水処理負担金	5,518,985	96.6	5,422,403	94.5	96,582	1.8
	水質規制費負担金	33,014	0.6	38,366	0.7	△ 5,352	△ 13.9
	水洗便所改造命令経費負担金	28,807	0.5	27,842	0.5	965	3.5
	下水道使用料減免負担金	6,633	0.1	6,168	0.1	465	7.5
	児童手当負担経費	11,989	0.2	9,194	0.2	2,795	30.4
	営業外収益	8,378	0.1	10,988	0.2	△ 2,609	△ 23.7
	負担金	8,378	0.1	10,988	0.2	△ 2,609	△ 23.7
	企業債利息	8,378	0.1	10,988	0.2	△ 2,609	△ 23.7
計		5,607,807	98.1	5,514,961	96.1	92,846	1.7
資本的収入	負担金	106,881	1.9	224,813	3.9	△ 117,932	△ 52.5
	企業債償還金	106,881	1.9	224,813	3.9	△ 117,932	△ 52.5
計		106,881	1.9	224,813	3.9	△ 117,932	△ 52.5
合計		5,714,688	100.0	5,739,774	100.0	△ 25,085	△ 0.4
	基準内	5,708,055	99.9	5,733,606	99.9	△ 25,551	△ 0.4
	基準外	6,633	0.1	6,168	0.1	465	7.5

注　基準内とは国の繰出し基準（総務副大臣通知）に基づく繰入金、基準外とはそれ以外のものをいう。

当年度の一般会計からの繰入金は、収益的収入に 56 億 781 万円、資本的収入に 1 億 688 万円、合計 57 億 1,469 万円となっており、前年度と比べると、2,509 万円減少している。

繰入金の主なものは、収益的収入では雨水処理負担金 55 億 1,899 万円などであり、資本的収入では企業債償還の負担金 1 億 688 万円である。

なお、基準外繰入金は、下水道使用料減免負担金である。

6 む　す　び

下水道事業では、安全・安心で誰からも信頼される下水道を目指し、令和 3 年 3 月に策定した「北九州市上下水道事業基本計画 2030」（令和 3～12 年度）及び「北九州市上下水道事業中期経営計画 2025」（令和 3～7 年度）（以下「経営計画」という。）に基づき、持続可能な事業運営を行ってきた。

経営計画最終年度の当年度も前年度に引き続き、経費節減や増収対策に努めながら、浸水、地震対策や国土交通省から実施要請のあった「下水道管路の全国特別重点調査」などの安全対策に重点的に取り組んだ。

当年度の経営状況は、下水道使用料の減少などによる収益の減少に加え、施設の除却等に伴う資産減耗費の増加など、費用が増加したことにより、前年度を 5 億 8,812 万円下回る 12 億 4,674 万円の純損失となった。

一方で、資金面については、現金の支出を伴わない資産減耗費が増加したことなどにより、当年度末の実質資金剰余額は前年度末を 3 億 138 万円上回る 36 億 7,387 万円となった。また、当年度末の企業債残高は 1,339 億 8,338 万円となり、着実に減少している。

事業を取り巻く環境は、下水道使用料の減少傾向や施設の老朽化への対策、近年頻発する自然災害への備え、物価高に伴う事業費の増加などにより、厳しさを増している。

今後は、新たに策定した「北九州市上下水道事業中期経営計画 2030」（令和 8～12 年度）に基づき、下水道施設の規模と機能の最適化を進めて全体事業費の低減を図り、下水道サービスの長期的かつ安定的な提供に努めることを期待する。

公 営 競 技 事 業 会 計

1 業 務 の 実 績

競輪事業は、ナイター6日制によるＧＩレース競輪祭などを開催した。開催日数は前年度と比べると1日の増加、発売金額は538億3,914万円で、前年度と比べると13.0%の増加となっている。また、入場者数は91,591人で、前年度と比べると118.5%の増加となっている。

モーターボート競走事業は、ＳＧ競走第71回ボートレースメモリアルなどを開催した。開催日数は173日で、前年度と比べると4日の増加、発売金額は1,524億1,639万円で、前年度と比べると12.5%の増加となっている。また、入場者数は130,082人で、前年度と比べると0.3%の減少となっている。

業務実績の年度比較は、表1のとおりである。

表1　業務実績の年度比較

項目		単位	7年度	6年度	対前年度比較（△減）	
					増減	比率
						%
競輪事業	開催日数	日	76	75	1	1.3
	車券発売金額	千円	53,839,138	47,631,938	6,207,200	13.0
	車券発売金額（1日平均）	千円	708,410	635,093	73,317	11.5
	入場者数	人	91,591	41,923	49,668	118.5
	入場者数（1日平均）	人	1,761	822	939	114.2
	職員数	人	7	7	0	0
競走モーターボート事業	開催日数	日	173	169	4	2.4
	舟券発売金額	千円	152,416,392	135,525,868	16,890,524	12.5
	舟券発売金額（1日平均）	千円	881,020	801,928	79,091	9.9
	入場者数	人	130,082	130,514	△ 432	△ 0.3
	入場者数（1日平均）	人	910	919	△ 9	△ 1.0
	職員数	人	33	33	0	0

注　入場者数(1日平均)は、入場者数を無観客レースの日数を除いた開催日数で除している。
無観客レースの日数を除いた開催日数＝(競輪事業) 7年度:52日、6年度:51日、
(モーターボート競走事業) 7年度:143日、6年度:142日

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算現額2,146億9,378万円に対し、決算額2,103億9,269万円で、執行

率 98.0%となっている。これは、主として営業収益が予算を下回ったことなどによるものである。

なお、当年度の予算における業務予定量に対する実績を見ると、競輪事業は開催日数100%、車券発売金が97.9%、モーターボート競走事業は開催日数99.4%、舟券発売金で98.3%となっている。

収入の根幹である営業収益は、予算現額2,143億1,089万円に対し、決算額2,099億8,138万円で、執行率 98.0%となっている。これは、主として舟券発売収益が予算を下回ったことなどによるものである。

収益的支出は、予算現額2,037億1,313万円に対し、決算額1,944億7,752万円で、執行率 95.5%となっている。これは、主として開催費などの営業費用が予算を下回ったことなどによるものである。

収支差引額は、予算では109億8,065万円の見込みが、決算では159億1,517万円となっている。

収益的収入及び支出の執行状況は、表2のとおりである。

表2　収益的収入及び支出の執行状況　（単位：千円、%）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
公営競技事業収益	営業収益	214,310,886	99.8	99.8	209,981,377	99.8	99.8	98.0	96.5
	営業外収益	330,378	0.2	0.2	396,447	0.2	0.2	120.0	80.3
	特別利益	52,513	0.0	0.0	14,863	0.0	0	28.3	0
	合計	214,693,777	100.0	100.0	210,392,687	100.0	100.0	98.0	96.5
公営競技事業費	営業費用	203,472,217	99.9	99.9	194,339,743	99.9	99.9	95.5	94.9
	営業外費用	238,888	0.1	0.1	137,773	0.1	0.1	57.7	58.0
	特別損失	2,020	0.0	0.0	0	0	0	0	0
	合計	203,713,125	100.0	100.0	194,477,515	100.0	100.0	95.5	94.8
収支差引額		10,980,652	－	－	15,915,171	－	－	144.9	125.2

注　決算額の収入には仮受消費税 215,014千円を、支出には仮払消費税 2,327,348千円を含む。

(2)　資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額9億9,866万円に対し、決算額7億8,310万円で、執行率78.4%となっている。これは、基金繰入金及び競輪事業への出資金が予算を下回ったことなどによるものである。

資本的支出は、予算現額342億2,454万円に対し、決算額323億6,239万円で、執行率94.6%となっている。予算残額のうち6億4,210万円が繰り越され、12億2,005万円が不用額となっている。繰り越されたものは、モーターボート競走場施設整備事業で、関係者との協議等に日時を要したことによるものである。不用額の主なものは、小倉競輪場や若松モーターボート競走場の施設整備費などの執行残によるものである。

収支差引不足額は、予算では332億2,588万円の見込みが、決算では315億7,929万円となっており、これに係る財源補てんの状況については、(3)資本的収支及び補てん財源のとおりである。

資本的収入及び支出の執行状況は、表3のとおりである。

表3　資本的収入及び支出の執行状況　　（単位：千円、%）

科目		予算現額	構成比率		決算額	構成比率		決算額の予算現額に対する比率	
			7年度	6年度		7年度	6年度	7年度	6年度
公営競技事業資本的収入	出資金	80,000	8.0	39.1	0	0	0	0	0
	固定資産売却代金	55,660	5.6	3.6	99	0.0	0	0.2	0
	基金繰入金	863,000	86.4	57.2	783,000	100.0	100.0	90.7	31.6
	合計	998,660	100.0	100.0	783,099	100.0	100.0	78.4	18.1
公営競技事業資本的支出	建設改良費	4,017,295	11.7	37.6	2,236,931	6.9	29.8	55.7	64.1
	企業債償還金	983,000	2.9	8.2	983,000	3.0	10.2	100.0	100.0
	投資	4,224,247	12.3	7.5	4,142,463	12.8	2.4	98.1	25.8
	繰出金	25,000,000	73.0	46.6	25,000,000	77.3	57.6	100.0	100.0
	合計	34,224,542	100.0	100.0	32,362,393	100.0	100.0	94.6	80.9
収支差引額		△33,225,882	−	−	△31,579,295	−	−	95.0	91.4

注　決算額の収入には仮受消費税 9千円を、支出には仮払消費税 192,760千円を含む。

(3)　資本的収支及び補てん財源

資本的収入額 7 億 8,310 万円が、資本的支出額 323 億 6,239 万円に対して不足する額 315 億 7,929 万円は、損益勘定留保資金等 660 億 2,012 万円から補てんしている。

当年度末の実質資金剰余額は 337 億 9,873 万円で、前年度末と比べると、146 億 4,241 万円の減少となっている。

資本的収支及び補てん財源の状況は、表 4 のとおりである。

表4　資本的収支及び補てん財源の状況　（単位：千円）

項目				7 年 度 決 算 額
資本的収支	資本的収入額		(A)	783,099
	資本的支出額		(B)	32,362,393
	差引不足額	(B)－(A)	(C)	31,579,295
補てん財源	消費税資本的収支調整額			192,751
	損益勘定留保資金			1,837,913
	当年度純損益			15,722,420
	繰越利益剰余金			48,267,033
	計		(D)	66,020,117
当年度末資金剰余額		(D)－(C)	(E)	34,440,822
翌年度繰越工事資金			(F)	642,096
当年度末実質資金剰余額		(E)－(F)	(G)	33,798,726
前年度末実質資金剰余額			(H)	48,441,132
対前年度実質資金剰余増減額（単年度実質資金剰余額）		(G)－(H)		△ 14,642,405

3　経　営　成　績

当年度の損益は、総収益 2,099 億 9,770 万円、総費用 1,942 億 7,528 万円で、差引き 157 億 2,242 万円の純利益となっている。前年度と比べると、発売収益の増加により総収益が増加したことから、純利益は 26 億 8,448 万円増加となった。

過去 3 か年の経営収支の比較は、表 5 のとおりである。

表5　経営収支の比較　　（単位：千円、％）

年度	総収益				総費用				純損益	
	決算額		対前年度比較(△減)		決算額		対前年度比較(△減)		決算額（△損失）	対前年度比較（△減）
	金額	指数	増減	比率	金額	指数	増減	比率		
5	175,818,071	100.0	2,333,752	1.3	162,463,485	100.0	2,437,463	1.5	13,354,586	△ 103,711
6	186,667,291	106.2	10,849,220	6.2	173,629,352	106.9	11,165,867	6.9	13,037,939	△ 316,647
7	209,997,702	119.4	23,330,411	12.5	194,275,281	119.6	20,645,929	11.9	15,722,420	2,684,482

(1)　収　　益

収益について、主な科目ごとに前年度と比べると、表6のとおりである。

表6　収益の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度		6年度		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
営業収益	車券発売収益	53,839,138	25.6	47,631,938	25.5	6,207,200	13.0
	舟券発売収益	152,416,392	72.6	135,525,868	72.6	16,890,524	12.5
	その他	3,533,359	1.7	3,399,648	1.8	133,711	3.9
	計	209,788,888	99.9	186,557,453	99.9	23,231,435	12.5
営業外収益	雑収益	117,937	0.1	84,325	0.0	33,612	39.9
	その他	76,014	0.0	25,512	0.0	50,501	197.9
	計	193,951	0.1	109,837	0.1	84,113	76.6
特別利益	その他特別利益	14,863	0.0	－	－	14,863	－
	計	14,863	0.0	－	－	14,863	－
合計		209,997,702	100.0	186,667,291	100.0	23,330,411	12.5

収益合計(総収益)は、前年度と比べると 233 億 3,041 万円、12.5%の増加となっている。

営業収益において、車券発売収益 62 億 720 万円の増加は、電話投票（インターネット投票等）が好調だったことなどによるものである。舟券発売収益 168 億 9,052 万円の増加は、電話投票（インターネット投票等）による発売金額が増加したことなどによるものである。その他 1 億 3,371 万円の増加は、他施行者競走場貸付等収益が増加したことなどによるものである。

営業外収益において、雑収益 3,361 万円の増加は、退職給付引当金戻入益が増加したことなどによるものである。その他 5,050 万円の増加は、受取利息が増加したことなどによるものである。

(2) 費　　用

費用について、主な科目ごとに前年度と比べると、表 7 のとおりである。

表7　費用の年度比較　　（単位：千円、%）

科目		7 年 度			6 年 度			対前年度比較（△ 減）	
		金　額	構成比率	営業収益に対する比　率	金　額	構成比率	営業収益に対する比　率	増　減	比　率
営業費用	開催費	188,744,789	97.2	90.0	168,583,015	97.1	90.4	20,161,774	12.0
	人件費	395,335	0.2	0.2	452,793	0.3	0.2	△ 57,458	△ 12.7
	減価償却費	1,248,881	0.6	0.6	1,207,572	0.7	0.6	41,310	3.4
	その他	1,443,425	0.7	0.7	1,136,040	0.7	0.6	307,384	27.1
	計	191,832,430	98.7	91.4	171,379,421	98.7	91.9	20,453,009	11.9
営業外費用	支払利息	22,229	0.0	0.0	17,365	0.0	0.0	4,864	28.0
	雑支出	2,420,622	1.2	1.2	2,232,567	1.3	1.2	188,056	8.4
	計	2,442,851	1.3	1.2	2,249,931	1.3	1.2	192,920	8.6
合計		194,275,281	100.0	92.6	173,629,352	100.0	93.1	20,645,929	11.9

注　支払利息には、企業債取扱諸費を含む。

費用合計（総費用）は、前年度と比べると、206 億 4,593 万円、11.9%の増加となっている。

営業費用において、開催費 201 億 6,177 万円の増加は、発売収益の増加に伴い払戻金及び返還金が増加したことなどによるものである。人件費 5,746 万円の減少は、退職給付引当金繰入額等の減少により職員人件費が減少したことなどによるものである。なお、人件費の営

業収益に対する比率は0.2%で、前年度と同率である。減価償却費4,131万円の増加は、建物や構築物に係る減価償却費が増加したことなどによるものである。その他3億738万円の増加は、競輪事業の包括委託料が増加したことなどによるものである。

営業外費用において、支払利息及び企業債取扱諸費486万円の増加は、リース債務支払利息が増加したことによるものである。雑支出1億8,806万円の増加は、消費税調整額が増加したことによるものである。

(3) 損　　益

損益について、項目ごとに前年度と比べると、表8のとおりである。

表8　損益の年度比較　　（単位：千円、%）

項　　目	7　年　度	6　年　度	対前年度比較（△減）	
			増　　減	比　　率
営　業　損　益	17,956,458	15,178,033	2,778,425	18.3
経　常　損　益	15,707,557	13,037,939	2,669,619	20.5
純　　損　　益	15,722,420	13,037,939	2,684,482	20.6

注　営業損益：営業収益－営業費用
　　経常損益：（営業収益＋営業外収益）－（営業費用＋営業外費用）
　　純損益　：総収益－総費用

営業損益は、開催費の増加などにより営業費用が204億5,301万円増加したものの、車券及び舟券発売収益の増加などにより営業収益も232億3,144万円増加したため、前年度と比べると、営業利益は27億7,843万円増加し179億5,646万円となっている。

経常損益は、営業収益、営業外収益ともに増加したことから、前年度と比べると、経常利益は26億6,962万円増加し157億756万円となっている。

純損益は、経常利益の増加や特別利益が1,486万円あったため、前年度と比べると、純利益は26億8,448万円増加し157億2,242万円となった。

(4) 収 益 率

収益率の推移をみると表9のとおりで、いずれの項目も前年度より上昇している。営業収益の増加などにより、総収支比率は0.6ポイント、経常収支比率は0.6ポイント、営業収支比率は0.5ポイントそれぞれ上昇している。総資本に対する経常利益率は、前年度から1.3ポイント上昇している。

表9　収益率の推移　　（単位：%）

項　　目	5 年 度	6 年 度	7 年 度
1　総収支比率 $\left(\frac{\text{営業収益＋営業外収益＋特別利益}}{\text{営業費用＋営業外費用＋特別損失}}\times 100\right)$	108.2	107.5	108.1
2　経常収支比率 $\left(\frac{\text{営業収益＋営業外収益}}{\text{営業費用＋営業外費用}}\times 100\right)$	108.2	107.5	108.1
3　営業収支比率 $\left(\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}}\times 100\right)$	109.4	108.9	109.4
4　総資本経常利益率 $\left(\frac{\text{経常利益}}{\text{（前年度末総資本＋本年度末総資本）÷２}}\times 100\right)$	17.1	15.2	16.5

4 財 政 状 態

貸借対照表を前年度と比べると、表 10 のとおりである。資産は、流動資産が増加したことなどから、資産総額は 91 億 3,642 万円、10.1%増加している。一方、負債は、固定負債が減少したことなどから 15 億 8,600 万円、15.8%減少し、資本は、剰余金などが増加したことから 107 億 2,242 万円、13.3%増加している。

表10　貸借対照表の年度比較　　（単位：千円、％）

科目		7年度末		6年度末		対前年度比較（△減）	
		金額	構成比率	金額	構成比率	増減	比率
資産	固定資産	35,299,983	35.3	31,072,760	34.2	4,227,223	13.6
	流動資産	64,689,851	64.7	59,780,650	65.8	4,909,201	8.2
合計		99,989,834	100.0	90,853,410	100.0	9,136,424	10.1
負債	固定負債	624,014	0.6	2,759,514	3.0	△ 2,135,500	△ 77.4
	流動負債	7,334,531	7.3	7,031,740	7.7	302,791	4.3
	繰延収益	511,155	0.5	264,442	0.3	246,713	93.3
	計	8,469,700	8.5	10,055,697	11.1	△ 1,585,996	△ 15.8
資本	資本金	27,530,680	27.5	27,030,680	29.8	500,000	2
	剰余金	63,989,454	64.0	53,767,033	59.2	10,222,420	19.0
	利益剰余金	63,989,454	64.0	53,767,033	59.2	10,222,420	19.0
	計	91,520,134	91.5	80,797,713	88.9	10,722,420	13.3
合計		99,989,834	100.0	90,853,410	100.0	9,136,424	10.1

(1)　資　　産

固定資産 42 億 2,722 万円の増加は、ボートレース若松地域貢献エリア新築及び改修工事などにより構築物に係る固定資産が増加したことなどによるものである。

流動資産 49 億 920 万円の増加は、繰出金が増加したことなどによるものである。

(2)　負　　債

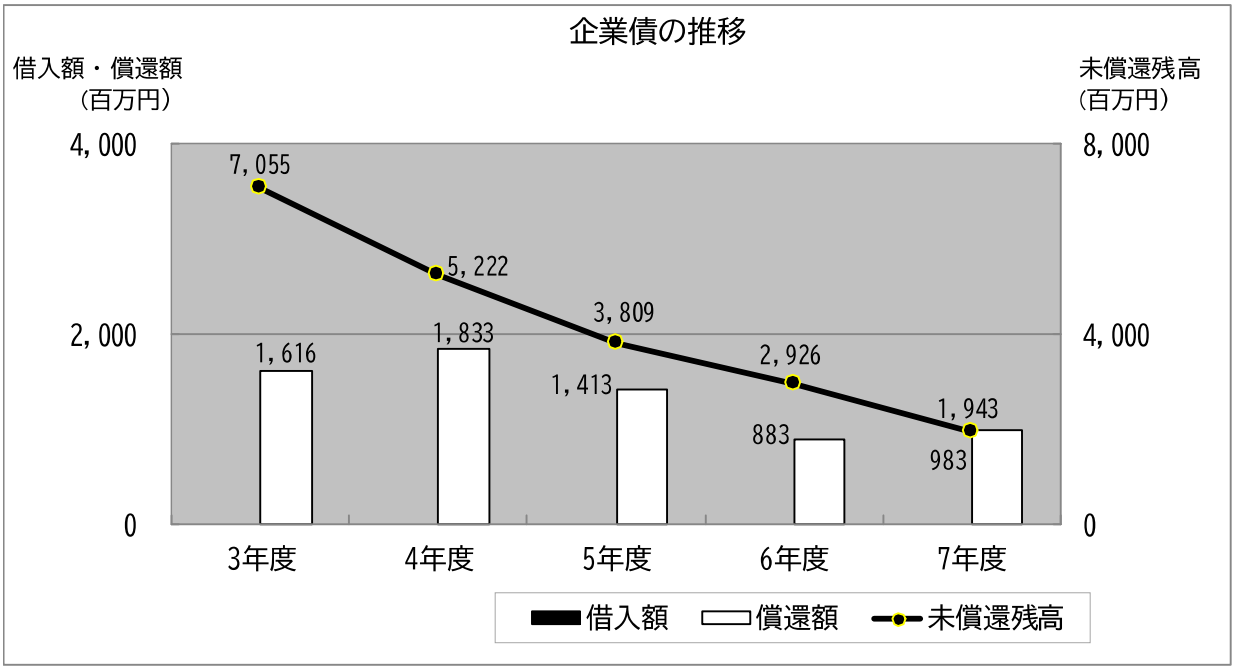
固定負債 21 億 3,550 万円の減少は、償還により企業債が減少したことなどによるものである。

流動負債 3 億 279 万円の増加は、1 年以内に償還する企業債が増加したことなどによるものである。

繰延収益 2 億 4,671 万円の増加は、長期前受金が増加したことによるものである。

なお、流動比率(流動資産／流動負債×100)は 882.0%で、前年度の 850.2%を上回っている。

また、令和 3 年度以降の企業債借入額、元金償還額及び未償還残高は次のグラフのとおりである。令和 6 年度に引き続き、令和 7 年度も企業債の借入れはなく、未償還残高は、当年度末では 19 億 4,300 万円となっている。



(3)　資　　本

利益剰余金 102 億 2,242 万円の増加は、当年度純利益の計上などによるものである。

以上により、資産合計及び負債・資本合計は、それぞれ前年度と比べると、91 億 3,642 万円の増加となっている。

(4)　キャッシュ・フロー

キャッシュ・フローの状況は、表 11 のとおりである。

表11　キャッシュ・フローの状況　　（単位：千円）

項　　目	7　年　度	6　年　度	対前年度比較（△減）
			増　　減
業務活動によるキャッシュ・フロー	20,712,083	12,139,169	8,572,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△　5,307,669	△　2,215,581	△　3,092,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,099,574	△　5,960,335	△ 20,139,239
資金増加額（△は減少額）	△ 10,695,160	3,963,254	△ 14,658,413
資金期首残高	48,780,136	44,816,882	3,963,254
資金期末残高	38,084,976	48,780,136	△ 10,695,160

事業本来の業務活動による資金収支を示す業務活動によるキャッシュ・フローは、207 億 1,208 万円のプラスとなっており、前年度と比べると 85 億 7,291 万円増加している。これは、当期純利益の増加や未収金が減少したことなどによるものである。

固定資産や投資資産の取得・売却などの収支を示す投資活動によるキャッシュ・フローは、53 億 767 万円のマイナスとなっており、前年度と比べると 30 億 9,209 万円減少している。これは、投資有価証券取得による支出が増加したことなどによるものである。

また、企業債の借入れ・償還など資金の調達を示す財務活動によるキャッシュ・フローは、260 億 9,957 万円のマイナスとなっており、前年度と比べると 201 億 3,924 万円減少している。これは、一般会計への繰出しが増加したことなどによるものである。

これらのキャッシュ・フローの状況をみると、業務活動で得た資金により、投資活動である有形固定資産の取得や資金運用、財務活動である企業債の償還などを行っている。

この結果、資金減少額は 106 億 9,516 万円となっており、資金期首残高を含めた資金期末残高は 380 億 8,498 万円となっている。

5　セグメント情報

公営競技事業では、競輪事業とモーターボート競走事業を運営しており、各事業で運営方針等を決定していることから、当該 2 事業を報告セグメントとしている。

報告セグメントごとの資産等の状況は、表 12 のとおりである。

表12　報告セグメントごとの資産等の状況　（単位：千円）

区　分	競輪事業	モーターボート競走事業	調 整 額	計
営業収益	54,394,564	155,394,324	0	209,788,888
営業費用	51,875,511	140,136,889	△ 179,971	191,832,430
営業損益	2,519,052	15,257,435	179,971	17,956,458
経常損益	1,889,533	13,818,024	0	15,707,557
セグメント資産	24,066,717	83,253,517	△ 7,330,400	99,989,834
セグメント負債	3,817,429	4,652,271	0	8,469,700

注　調整額は、セグメント間の主要な取引の数値である。

競輪事業、モーターボート競走事業ともに、営業利益及び経常利益を計上している。

6　一般会計との繰入・繰出状況

当年度の一般会計からの繰入金は、前年度に引き続きない。

当年度の一般会計への繰出金は、250 億円で、前年度と比べ 200 億円増加している。

7 む　す　び

公営競技事業では、中長期的な視野を踏まえた経営を行うため、「北九州市公営競技事業経営戦略」(令和元～10 年度)(以下「経営戦略」という。)を策定し、安定的かつ継続的に収益を確保し、地方財政への貢献という公営競技の使命を果たすこととしている。

当年度は、ＧⅠ第 67 回競輪祭や SG 第 71 回ボートレースメモリアルなどのグレードレースを開催した。発売金額は 2,062 億 5,553 万円で、電話投票（インターネット投票等）が好調だったことなどから、前年度と比べると 230 億 9,772 万円、12.6%増加した。入場者数は特別競輪や記念競輪の開催などにより増加し、前年度と比べると 49,236 人、28.6%増の 221,673 人となった。また、公営競技事業のイメージアップ推進に向けて、「子ども食堂」を引き続き実施するとともにボートレース若松での地域貢献エリア（モーヴィ・グルーン）の整備を行うなど、地域に親しまれるレース場づくりにも取り組んだ。

当年度の純損益は、営業収益の増加により、前年度を 26 億 8,448 万円上回り 157 億 2,242 万円の純利益となっており、このうち 50 億円を予定処分として一般会計へ繰り出している。

また、繰越利益剰余金から、まちの付加価値を向上させるための公共施設の整備を目的とする「北九州市ボートレースによる未来のまちづくり投資基金」の財源として 200 億円を繰出し、合計 250 億円の繰り出しを行った。そのため、当年度末の実質資金剰余額は 337 億 9,873 万円で、前年度末に比べると、146 億 4,241 万円の減少となった。

今後とも、選ばれるレース場を目指してファン拡大に向けた取り組みを強化するとともに、売上額の向上が見込めるグレードレースの誘致や電話投票（インターネット投票等）の拡大に

より、安定的かつ継続的に収益を確保し、本市財政はもとより、地域社会へ貢献することを期待する。

令和７年度　北九州市公営企業会計決算審査資料

目　　次

上水道事業会計 …… 89
工業用水道事業会計 …… 101
交通事業会計 …… 113
病院事業会計 …… 125
下水道事業会計 …… 137
公営競技事業会計 …… 149
用語の説明 …… 161

１　この資料は、令和７年度審査に際し、決算を通して経営成績並びに財政状態を観察するため、各公営企業局の決算計数を分析整理してその大要を収録した。

２　この資料は、会計ごとに

第１表　業務実績表
第２表　損益計算書構成比率表
第３表　費用使途別比率表
第４表　費用節別比率表
第５表　貸借対照表構成比率表
第６表　経営分析表
第７表　キャッシュ・フロー計算書

の７表で構成されている。

<上水道事業会計>

第１表　　業　務　実　績　表

項　　目	単位	7 年 度	6 年 度	6年度に対する比率	備　　考
				%	
給水能力（水道事業）	㎥/日	769,000	769,000	100.0	年度末現在
給 水 戸 数 （ 〃 ）	戸	512,127	511,117	100.2	〃
計画給水人口（〃）	人	1,106,100	1,106,100	100.0	拡張計画による給水人口
給水区域内人口（〃）	人	939,762	947,298	99.2	翌年度4月1日現在
現在給水人口（〃）	人	936,757	944,242	99.2	年度末現在
給 水 普 及 率 （ 〃 ）	%	99.7	99.7	－	現在給水人口 / 給水区域内人口 ×100
給　水　量　（　〃　）	㎥	106,063,738	106,072,195	100.0	年間総量
配　水　量　（　〃　）	㎥	104,149,958	104,638,291	99.5	〃
有 収 水 量 （ 〃 ）	㎥	93,505,076	94,418,568	99.0	〃
有　収　率　（　〃　）	%	89.8	90.2	－	有収水量 / 配水量 ×100
給水量（用水事業）	㎥	8,574,677	6,972,237	123.0	年間総量
有 収 水 量 （ 〃 ）	㎥	8,507,457	6,963,803	122.2	〃
有　収　率　（　〃　）	%	99.2	99.9	－	有収水量 / 給水量 ×100
配　水　管　延　長	m	4,258,279	4,244,382	100.3	年度末現在
職　　員　　数	人	312	317	98.4	〃（会計年度任用職員等を除く）
１㎥当たり費用	円	203.32	192.03	105.9	経常費用 / 有収水量
１㎥当たり収益	円	186.01	183.98	101.1	経常収益 / 有収水量
１㎥当たり給水収益	円	141.67	142.31	99.6	給水収益 / 有収水量

第2表　損　益　計　算

借方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 営業費用	18,737,343,281	90.3	90.4
(1) 原水費	1,168,697,281	5.6	5.0
(2) 浄水費	2,385,056,076	11.5	11.2
(3) 配水費	1,227,664,656	5.9	6.1
(4) 給水費	1,697,161,099	8.2	8.2
(5) 量水器費	107,641,678	0.5	0.4
(6) 受託費	194,095,707	0.9	1.0
(7) 業務費	1,211,318,433	5.8	5.9
(8) 緊急連絡管費	2,125,650	0.0	0.0
(9) 総係費	940,219,899	4.5	4.5
(10) 減価償却費	8,971,405,630	43.2	45.1
(11) 資産減耗費	451,135,367	2.2	1.7
(12) その他営業費用	380,821,805	1.8	1.2
2 営業外費用	2,003,650,157	9.7	9.5
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	727,032,454	3.5	3.6
(2) 水力発電費	18,960,463	0.1	0.0
(3) 馬島給水費	1,856,772	0.0	0.0
(4) 宗像地区水道事業費	1,212,366,041	5.8	5.6
(5) 雑支出	43,434,427	0.2	0.3
3 特別損失	7,532,235	0.0	0.0
(1) 固定資産売却損	－	－	－
(2) 過年度損益修正損	7,532,235	0.0	0.0
小計	20,748,525,673	100.0	100.0
当年度純利益	－	－	－
合計	20,748,525,673	－	－

<上水道事業会計>

書　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 営業収益	16,106,760,928	84.9	85.3
(1) 給水収益	14,452,227,166	76.1	77.3
(2) 口径別納付金	324,662,030	1.7	1.7
(3) 受託収益	206,580,051	1.1	1.1
(4) 工業用水道負担金	21,810,083	0.1	0.1
(5) その他営業収益	1,101,481,598	5.8	5.1
2 営業外収益	2,868,930,056	15.1	14.7
(1) 受取利息及び配当金	409,777	0.0	0.0
(2) 他会計負担金・補助金	25,298,000	0.1	0.1
(3) 国県補助金	1,913,000	0.0	0.0
(4) 水力発電収益	80,542,829	0.4	0.7
(5) 馬島給水収益	2,770,799	0.0	0.1
(6) 宗像地区水道事業収益	1,249,154,156	6.6	6.0
(7) 長期前受金戻入	1,323,091,981	7.0	7.0
(8) 雑収益	185,749,514	1.0	0.8
3 特別利益	6,005,532	0.0	0.0
(1) 固定資産売却益	－	－	0.0
(2) 過年度損益修正益	6,005,532	0.0	0.0
小計	18,981,696,516	100.0	100.0
当年度純損失	1,766,829,157	－	－
合計	20,748,525,673	－	－

第３表　　費　　用　　使

科目	人件費			
	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
1 営業費用	2,623,318,272	98.3	97.4	105.5
(1) 原水費	142,871,600	5.4	5.4	104.3
(2) 浄水費	878,598,912	32.9	31.7	108.6
(3) 配水費	290,871,918	10.9	11.1	102.8
(4) 給水費	567,817,321	21.3	21.1	105.4
(5) 量水器費	9,001,760	0.3	0.3	104.5
(6) 受託費	10,407,504	0.4	0.4	108.9
(7) 業務費	117,737,613	4.4	5.0	92.5
(8) 緊急連絡管費	－	－	－	－
(9) 総係費	606,011,644	22.7	22.5	105.7
(10) 減価償却費	－	－	－	－
(11) 資産減耗費	－	－	－	－
(12) その他営業費用	－	－	－	－
2 営業外費用	45,606,488	1.7	2.6	69.9
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	－	－	－	－
(2) 水力発電費	－	－	－	－
(3) 馬島給水費	－	－	－	－
(4) 宗像地区水道事業費	45,606,488	1.7	2.6	69.9
(5) 雑支出	－	－	－	－
合計	2,668,924,760	100.0	100.0	104.6

<上水道事業会計>

途　別　比　率　表

（単位：円、％）

物件費その他の経費				計			
金額	構成比率		6年度に対する比率	金額	構成比率		6年度に対する比率
	7年度	6年度			7年度	6年度	
16,114,025,009	89.2	89.4	106.5	18,737,343,281	90.3	90.5	106.4
1,025,825,681	5.7	4.9	123.5	1,168,697,281	5.6	5.0	120.8
1,506,457,164	8.3	8.1	109.6	2,385,056,076	11.5	11.2	109.2
936,792,738	5.2	5.4	102.8	1,227,664,656	5.9	6.1	102.8
1,129,343,778	6.2	6.2	106.8	1,697,161,099	8.2	8.2	106.4
98,639,918	0.5	0.4	149.4	107,641,678	0.5	0.4	144.2
183,688,203	1.0	1.1	99.0	194,095,707	0.9	1.0	99.5
1,093,580,820	6.1	6.1	106.6	1,211,318,433	5.8	5.9	105.1
2,125,650	0.0	0.0	26.5	2,125,650	0.0	0.0	26.5
334,208,255	1.8	1.8	109.3	940,219,899	4.5	4.5	107.0
8,971,405,630	49.6	51.9	102.1	8,971,405,630	43.3	45.1	102.1
451,135,367	2.5	2.0	133.5	451,135,367	2.2	1.7	133.5
380,821,805	2.1	1.4	159.1	380,821,805	1.8	1.2	159.1
1,958,043,669	10.8	10.6	109.5	2,003,650,157	9.7	9.5	108.2
727,032,454	4.0	4.1	104.8	727,032,454	3.5	3.6	104.8
18,960,463	0.1	0.0	361.0	18,960,463	0.1	0.0	361.0
1,856,772	0.0	0.0	46.6	1,856,772	0.0	0.0	46.6
1,166,759,553	6.5	6.0	114.3	1,212,366,041	5.8	5.6	111.6
43,434,427	0.2	0.4	68.2	43,434,427	0.2	0.3	68.2
18,072,068,678	100.0	100.0	106.8	20,740,993,438	100.0	100.0	106.5

第４表　　費　　用　　節

科目	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
人件費	2,668,924,760	12.9	13.1	104.6
直接人件費	2,076,091,632	10.0	10.2	104.2
給料	1,232,398,347	5.9	6.1	103.0
手当	622,454,193	3.0	3.0	106.8
報酬費	157,092	0.0	0.0	335.7
賞与引当金繰入額	221,082,000	1.1	1.1	104.0
間接人件費	592,833,128	2.9	2.9	105.9
退職給付費	215,628,978	1.0	1.1	103.0
法定福利費	377,204,150	1.8	1.8	107.6
物件費その他の経費	18,072,068,678	87.1	86.9	106.8
補助交付金	3,683,628	0.0	0.0	103.6
厚生費	5,390,029	0.0	0.0	81.3
旅費	4,802,700	0.0	0.0	101.0
被服費	4,806,940	0.0	0.0	205.6
動力費	785,241,565	3.8	3.8	106.9
薬品費	670,693,956	3.2	2.3	149.2
修繕費	1,447,030,195	7.0	6.7	111.6
材料費	122,285,779	0.6	0.6	99.5
路面復旧費	－	－	－	－
備消耗品費	50,078,482	0.2	0.3	100.2
委託料	3,155,923,257	15.2	15.1	107.7
ダム負担金	482,806,501	2.3	2.3	109.5
燃料費	4,343,901	0.0	0.0	102.4
光熱水費	18,579,922	0.1	0.1	97.2
通信運搬費	102,304,669	0.5	0.5	98.1
印刷製本費	1,635,612	0.0	0.0	74.6
給水工事費	－	－	－	－
消火栓補修費	27,965,629	0.1	0.1	98.2
受託工事費	124,318,242	0.6	0.6	99.0

<上水道事業会計>

別　比　率　表

（単位：円、％）

科目	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
広報費	12,556,039	0.1	0.0	172.8
研修費	9,704,753	0.0	0.0	124.8
食糧費	－	－	－	－
交際費	－	－	－	－
賃借料	68,514,349	0.3	0.4	99.9
手数料	115,452,436	0.6	0.6	105.7
報償費	90,910	0.0	0.0	17.9
負担金	164,040,333	0.8	0.8	99.4
保険料	7,118,853	0.0	0.0	99.2
補償費	271,550	0.0	0.0	21.0
交付金	45,422,053	0.2	0.2	97.4
海外事業費	60,056,797	0.3	0.3	117.2
雑費	288,706	0.0	0.0	100.0
貸倒引当金繰入額	2,744,945	0.0	0.0	89.9
有形固定資産減価償却費	8,222,114,640	39.6	41.3	102.1
無形固定資産減価償却費	681,306,942	3.3	3.5	99.4
有形リース資産減価償却費	67,984,048	0.3	0.3	127.9
固定資産除却費	400,050,998	1.9	1.6	129.7
たな卸資産減耗費	51,084,369	0.2	0.2	173.4
材料売却原価	380,821,805	1.8	1.2	159.1
企業債利息	726,260,737	3.5	3.6	104.7
一時借入金利息	749,555	0.0	－	－
企業債手数料	22,162	0.0	0.0	95.7
ダム管理費	86,264	0.0	0.0	124.3
不用品売却原価	31,494,834	0.2	0.2	106.3
その他雑支出	11,939,593	0.1	0.2	35.0
合計	20,740,993,438	100.0	100.0	106.5

第５表　　貸　借　対　照

借方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
（資産の部）			
固定資産	211,303,390,400	95.7	95.3
(1) 有形固定資産	201,947,748,018	91.5	90.8
ア 土地	5,134,003,214	2.3	2.3
イ 立木	10,586,158	0.0	0.0
ウ 建物	2,799,527,147	1.3	1.2
エ 構築物	176,090,552,769	79.8	80.0
オ 機械及び装置	10,832,031,752	4.9	4.4
カ 量水器	2,678,065,351	1.2	1.1
キ 車両運搬具	6,705,565	0.0	0.0
ク 工具器具及び備品	286,684,997	0.1	0.1
ケ リース資産	239,502,200	0.1	0.1
コ 建設仮勘定	3,870,088,865	1.8	1.5
(2) 無形固定資産	9,265,289,783	4.2	4.4
ア ダム使用権	8,453,307,144	3.8	4.0
イ 施設利用権	337,930,173	0.2	0.2
ウ その他無形固定資産	474,052,466	0.2	0.2
(3) 投資その他の資産	90,352,599	0.0	0.0
ア 出資金	63,128,000	0.0	0.0
イ 投資有価証券	27,000,000	0.0	0.0
ウ その他投資	224,599	0.0	0.0
流動資産	9,387,383,479	4.3	4.7
(1) 現金預金	3,469,853,920	1.6	2.4
ア その他預金	3,469,853,920	1.6	2.4
イ 現金	－	－	－
(2) 未収金	2,806,387,731	1.3	1.1
ア 営業未収金	1,866,691,314	0.8	0.8
イ 貸倒引当金	△ 3,814,247	△ 0.0	△ 0.0
ウ 営業外未収金	670,634,491	0.3	0.3
エ 貸倒引当金	－	－	△ 0.0
オ その他未収金	272,876,173	0.1	0.1
カ 貸倒引当金	－	－	－
(3) 貯蔵品	1,966,046,668	0.9	0.7
ア 材料	1,966,046,668	0.9	0.7
(4) 前払金	1,145,095,160	0.5	0.4
ア その他前払金	1,145,095,160	0.5	0.4
資産合計	220,690,773,879	100.0	100.0

<上水道事業会計>

表　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方 科目	金額	構成比率 7年度	構成比率 6年度
（負債の部）			
固定負債	64,975,047,822	29.4	28.5
(1) 企業債	61,558,097,665	27.9	26.9
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	61,558,097,665	27.9	26.9
(2) リース債務	190,746,741	0.1	0.1
(3) 引当金	3,226,203,416	1.5	1.4
ア 退職給付引当金	3,226,203,416	1.5	1.4
流動負債	8,127,489,057	3.7	3.7
(1) 企業債	3,682,167,012	1.7	1.6
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,682,167,012	1.7	1.6
(2) リース債務	73,973,592	0.0	0.0
(3) 未払金	3,964,893,085	1.8	1.7
ア 営業未払金	1,457,786,838	0.7	0.4
イ 営業外未払金	116,028,968	0.1	0.0
ウ 貯蔵品購入未払金	166,802,174	0.1	0.1
エ 建設改良未払金	2,224,263,092	1.0	1.1
オ その他未払金	12,013	0.0	0.0
(4) 前受金	7,450,844	0.0	0.0
ア 営業前受金	7,450,844	0.0	0.0
イ その他前受金	－	－	－
(5) 預り金	135,914,934	0.1	0.2
ア 預り保証金	135,777,728	0.1	0.1
イ 預り諸税	－	－	－
ウ その他預り金	137,206	0.0	0.1
(6) 引当金	256,444,000	0.1	0.1
ア 賞与引当金	256,444,000	0.1	0.1
(7) その他流動負債	6,645,590	0.0	0.0
ア 還付未済金	6,645,590	0.0	0.0
繰延収益	30,114,257,481	13.6	13.8
(1) 長期前受金	66,032,662,661	29.9	29.6
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 35,918,405,180	△ 16.3	△ 15.8
負債合計	103,216,794,360	46.8	46.0
（資本の部）			
資本金	109,737,892,499	49.7	49.7
剰余金	7,736,087,020	3.5	4.3
(1) 資本剰余金	8,774,808,588	4.0	4.0
ア 受贈財産評価額	1,762,721,803	0.8	0.8
イ 国県補助金	2,341,669,924	1.1	1.1
ウ 工事負担金	4,632,816,861	2.1	2.1
エ その他資本剰余金	37,600,000	0.0	0.0
(2) 利益剰余金	△ 1,038,721,568	△ 0.5	0.3
ア 当年度未処分利益剰余金	△ 1,038,721,568	△ 0.5	0.3
イ 建設改良積立金	－	－	－
資本合計	117,473,979,519	53.2	54.0
負債・資本合計	220,690,773,879	100.0	100.0

第６表　　経　　営

分析項目		算式	単位	年度比較 5年度	6年度	7年度
経済性	1 総収支比率	総収益 / 総費用 ×100	%	98.7	95.8	91.5
	2 経常収支比率	経常収益 / 経常費用 ×100	%	98.8	95.8	91.5
	3 営業収支比率	営業収益 / 営業費用 ×100	%	93.9	90.2	85.7
	4 総資本経常利益率	経常利益 / 年平均総資本 ×100	%	△ 0.1	△ 0.4	△ 0.8
	5 固定資産回転率	営業収益 / 年平均(固定資産-建設仮勘定)	回	0.1	0.1	0.1
	6 流動資産回転率	営業収益 / 年平均流動資産	回	1.4	1.5	1.6
	7 営業利益対営業収益比率	営業利益 / 営業収益 ×100	%	△ 6.5	△ 10.9	△ 16.6
	8 利子負担率	支払利息 / 年平均(企業債+借入金+リース債務) ×100	%	1.2	1.1	1.1
効率性	9 施設利用率	1日平均給水量 / 1日給水能力 ×100	%	39.4	38.3	38.9
	10 負荷率	1日平均給水量 / 1日最大給水量 ×100	%	89.6	93.4	93.1
	11 最大稼働率	1日最大給水量 / 1日給水能力 ×100	%	44.0	41.1	41.8
	12 有収率（水道事業）	有収水量 / 配水量 ×100	%	90.3	90.2	89.8
	〃（用水事業）	有収水量 / 給水量 ×100	%	100.0	99.9	99.2
生産性	13 平均給与	職員給与費 / 職員数	千円	6,856	7,127	7,508
	14 労働生産性	営業収益 / 職員数	千円	56,333	56,221	57,505
	15 労働分配率	職員給与費 / 営業収益 ×100	%	12.2	12.7	13.1
その他	16 企業債償還額対償還財源比率	企業債償還額 / (減価償却費+当年度純利益) ×100	%	41.4	45.0	49.8
	17 未収金回転率	営業収益 / 年平均営業未収金	回	10.1	9.8	9.4
	18 減価償却率	当年度減価償却費 / (期末償却資産+当年度減価償却費) ×100	%	4.1	4.2	4.2
	19 有形固定資産減価償却率	減価償却累計額 / (期末償却資産+減価償却累計額) ×100	%	49.7	50.3	51.0
	20 流動比率	流動資産 / 流動負債 ×100	%	152.1	127.3	115.5

注　年平均＝（前年度末＋当年度末）×1/2　　支払利息＝支払利息＋企業債手数料及び取扱諸費　　職員給与費＝営業収益＝営業収益－受託収益　　営業費用＝営業費用－受託費　　営業利益＝営業利益－（受託収益－受託

分　　析　　表

	備　　考
1	総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の総体的な関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
2	経常収益(営業収益+営業外収益)と経常費用(営業費用+営業外費用)を対比したものであり、経常的な収益と費用の関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
3	営業収益と営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。100％以上となっていることが望ましい。
4	投下された資本の総額と、それによってもたらされた経常利益とを比較したもので、高いほど良好である。
5	営業収益と設備資産に投下された資本との関係で、設備利用の適否をみるものである。
6	現金預金回転率・未収金回転率・貯蔵品回転率等を包括するものであり、年平均何回転するかを示す指標で高いほど良いとされている。
7	営業収益に対する営業利益の割合を示し、高いほど良好である。
8	企業債、借入金及びリース債務に対し、それらの支払利息の負担比率を示すもので、この比率が低いほど低廉な資金を使用していることになる。
9	1日当たりの平均的な施設の利用率を示すものである。高い数値であることが望まれる。
10	最大給水量に対する平均給水量の比率を示すものである。
11	1年間で最も給水量が多かった日の施設の稼働率を示すものである。
12	配水量（用水事業は給水量）に対する収入として調定された水量の比率を示すものである。
13	職員1人当たりの給与費を示すものである。
14	職員1人当たりの営業収益で、1人当たりの生産性を示すものである。
15	職員給与費の営業収益に対する割合をみるもので、職員給与費負担の度合いを示すものである。
16	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却費及び当年度純利益の合計額を比較したもので、この比率が低いほど償還能力は高いとされている。
17	営業収益と営業未収金との関係で、未収金に固定する金額の適否を測定するものである。
18	減価償却費を固定資産の帳簿価額と比較することによって、固定資産に投下された資本の回収状況をみるものである。
19	有形固定資産のうち、償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合を計算することによって、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているかを全体として把握するものである。数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多い。
20	1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較したもので、100％以上となっていることが望ましい。流動性を確保するためには流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。

給料＋手当＋賞与引当金繰入額　　職員数＝（前年度末損益勘定職員数＋当年度末損益勘定職員数）×1/2
費）　　営業未収金＝営業未収金－受託収益未収金

<上水道事業会計>

第７表　　キャッシュ・フロー計算書

（単位：円）

項　　目	７年度	６年度	対前年度比較（△減）
業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益（△は純損失）	△ 1,766,829,157	△ 818,263,416	△ 948,565,741
減価償却費	8,971,405,630	8,788,014,959	183,390,671
固定資産除却損	399,840,998	259,949,297	139,891,701
退職給付引当金の増減額（△は減少）	123,221,465	100,217,372	23,004,093
賞与引当金の増減額（△は減少）	8,472,000	3,966,000	4,506,000
長期前受金戻入額	△ 1,324,184,653	△ 1,305,286,605	△ 18,898,048
受取利息及び受取配当金	△ 409,777	△ 219,891	△ 189,886
支払利息	727,032,454	693,505,627	33,526,827
有形固定資産売却損益（△は益）	－	△ 1,614,305	1,614,305
未収金の増減額（△は増加）	△ 227,372,633	△ 187,531,061	△ 39,841,572
未払金の増減額（△は減少）	431,811,726	94,842,305	336,969,421
たな卸資産の増減額（△は増加）	△ 322,139,904	197,113,524	△ 519,253,428
その他流動負債の増減額（△は減少）	10,699,177	△ 20,443,677	31,142,854
小計	7,031,547,326	7,804,250,129	△ 772,702,803
利息及び配当金の受取額	403,793	219,203	184,590
利息の支払額	△ 727,032,454	△ 693,505,627	△ 33,526,827
合計	6,304,918,665	7,110,963,705	△ 806,045,040
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△10,693,557,997	△ 9,095,194,834	△ 1,598,363,163
有形固定資産の売却による収入	－	3,692,000	△ 3,692,000
無形固定資産の取得による支出	△ 247,751,897	△ 144,464,699	△ 103,287,198
有価証券の取得による支出	△ 740,000,000	△ 450,000,000	△ 290,000,000
有価証券の売却による収入	740,000,000	450,000,000	290,000,000
国庫補助金等による収入	229,999,794	194,614,809	35,384,985
補助金等の返還	△ 1,009,243	△ 415,866	△ 593,377
積立金の積立による支出	△ 116,542	△ 96,044	△ 20,498
その他支出	△ 3,000,000	△ 3,000,000	0
その他収入	3,000,000	153,000,000	△ 150,000,000
合計	△10,712,435,885	△ 8,891,864,634	△ 1,820,571,251
財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	5,945,000,000	5,099,000,000	846,000,000
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,590,799,324	△ 3,589,577,430	△ 1,221,894
その他の他会計借入金による収入	2,600,000,000	－	2,600,000,000
その他の他会計借入金の返済による支出	△ 2,600,000,000	－	△ 2,600,000,000
一般会計からの出資による収入	345,689,000	136,089,000	209,600,000
リース債務返済による支出	△ 73,654,592	△ 56,799,072	△ 16,855,520
合計	2,626,235,084	1,588,712,498	1,037,522,586
資金増加額（△は減少額）	△ 1,781,282,136	△ 192,188,431	△ 1,589,093,705
資金期首残高	5,251,136,056	5,443,324,487	△ 192,188,431
資金期末残高	3,469,853,920	5,251,136,056	△ 1,781,282,136

<工業用水道事業会計>

第１表　　業　務　実　績　表

項　　目	単位	7 年 度	6 年 度	6年度に対する比率	備　　考
				%	
給　水　能　力	㎥/日	254,000	224,900	112.9	年度末現在
契　約　水　量	㎥/日	216,575	201,135	107.7	〃
給水事業所数	事業所	70	70	100.0	〃
給　水　量	㎥	43,838,830	42,536,510	103.1	年間総量
有　収　水　量	㎥	42,336,381	40,318,965	105.0	〃
有　収　率	%	96.6	94.8	－	有収水量／給水量 ×100
配　水　管　延　長	m	94,478	93,544	101.0	年度末現在
職　員　数	人	22	23	95.7	〃 （会計年度任用職員等を除く）
１㎥当たり費用	円	38.11	38.08	100.1	経常費用／有収水量
１㎥当たり収益	円	45.05	45.04	100.0	経常収益／有収水量
１㎥当たり給水収益	円	39.25	39.33	99.8	給水収益／有収水量

第2表　損　益　計　算

借方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 営業費用	1,582,833,418	98.1	98.8
(1) 原水費	318,911,919	19.8	21.1
(2) 浄配水費	464,286,384	28.8	25.2
(3) 受託費	－	－	－
(4) 総係費	39,722,030	2.5	5.1
(5) 減価償却費	754,899,733	46.8	46.2
(6) 資産減耗費	4,787,952	0.3	1.2
(7) その他営業費用	225,400	0.0	－
2 営業外費用	30,699,361	1.9	1.2
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	24,900,626	1.5	1.1
(2) 雑支出	5,798,735	0.4	0.1
3 特別損失	640,198	0.0	0.0
(1) 過年度損益修正損	640,198	0.0	0.0
小計	1,614,172,977	100.0	100.0
当年度純利益	305,350,961	－	－
合計	1,919,523,938	－	－

書　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 営業収益	1,662,161,320	86.6	87.3
(1) 給水収益	1,661,882,678	86.6	87.3
(2) 受託収益	－	－	－
(3) その他営業収益	278,642	0.0	0.0
2 営業外収益	244,951,395	12.8	12.7
(1) 受取利息及び配当金	2,618,518	0.1	0.0
(2) 補助金	2,266,000	0.1	0.1
(3) 長期前受金戻入	218,448,529	11.4	12.2
(4) 雑収益	21,618,348	1.1	0.3
3 特別利益	12,411,223	0.6	0.0
(1) 固定資産売却益	11,738,989	0.6	－
(2) 過年度損益修正益	672,234	0.0	0.0
小計	1,919,523,938	100.0	100.0
当年度純損失	－	－	－
合計	1,919,523,938	－	－

第３表　　費　　用　　使

科目	人件費			
	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
1 営業費用	180,229,237	100.0	100.0	80.9
(1) 原水費	56,472,654	31.3	28.2	90.0
(2) 浄配水費	122,628,807	68.0	53.3	103.2
(3) 受託費	－	－	－	－
(4) 総係費	1,127,776	0.6	18.5	2.7
(5) 減価償却費	－	－	－	－
(6) 資産減耗費	－	－	－	－
(7) その他営業費用	－	－	－	－
2 営業外費用	－	－	－	－
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	－	－	－	－
(2) 雑支出	－	－	－	－
合計	180,229,237	100.0	100.0	80.9

<工業用水道事業会計>

途　別　比　率　表

（単位：円、％）

物件費その他の経費				計			
金額	構成比率		6年度に対する比率	金額	構成比率		6年度に対する比率
	7年度	6年度			7年度	6年度	
1,402,604,181	97.9	98.6	108.4	1,582,833,418	98.1	98.8	104.4
262,439,265	18.3	19.8	100.7	318,911,919	19.8	21.1	98.6
341,657,577	23.8	20.4	127.3	464,286,384	28.8	25.2	119.9
－	－	－	－	－	－	－	－
38,594,254	2.7	2.8	104.7	39,722,030	2.5	5.1	50.9
754,899,733	52.7	54.1	106.4	754,899,733	46.8	46.2	106.4
4,787,952	0.3	1.4	25.8	4,787,952	0.3	1.2	25.8
225,400	0.0	－	－	225,400	0.0	－	－
30,699,361	2.1	1.4	165.2	30,699,361	1.9	1.2	165.2
24,900,626	1.7	1.3	147.0	24,900,626	1.5	1.1	147.0
5,798,735	0.4	0.1	353.5	5,798,735	0.4	0.1	353.5
1,433,303,542	100.0	100.0	109.2	1,613,532,779	100.0	100.0	105.1

第４表　　費　　用　　節

科目	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
人件費	180,229,237	11.2	14.5	80.9
直接人件費	152,726,621	9.5	10.2	97.5
給料	88,998,800	5.5	6.0	96.8
手当	45,141,821	2.8	3.0	96.9
賞与引当金繰入額	18,586,000	1.2	1.2	102.5
間接人件費	27,502,616	1.7	4.3	41.6
法定福利費	27,502,616	1.7	1.8	101.9
退職給付費	－	－	2.5	0
物件費その他の経費	1,433,303,542	88.8	85.5	109.2
補助交付金	278,274	0.0	0.0	96.9
旅費	271,914	0.0	0.0	118.7
被服費	－	－	－	－
動力費	225,953,245	14.0	14.5	101.3
薬品費	60,717,604	3.8	1.9	204.2
修繕費	25,828,611	1.6	1.4	123.8
材料費	13,626,774	0.8	0.5	174.9
路面復旧費	－	－	－	－
備消耗品費	300,157	0.0	0.0	91.7
委託料	91,180,849	5.7	5.1	116.0
上水道負担金	21,810,083	1.4	1.2	115.7
ダム負担金	183,166,224	11.4	11.0	108.7
燃料費	70,522	0.0	0.0	107.1
光熱水費	335,091	0.0	0.0	97.5
通信運搬費	2,385,467	0.1	0.2	100.2
印刷製本費	192,433	0.0	0.0	81.9
受託工事費	－	－	－	－
広報費	－	－	－	－
研修費	380,656	0.0	0.0	93.9
食糧費	－	－	－	－
賃借料	6,599,256	0.4	0.4	100.0

別　　比　　率　　表

（単位：円、％）

科目	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
手数料	91,626	0.0	0.0	26.9
報償費	－	－	－	－
負担金	3,398,516	0.2	0.1	322.1
保険料	156,800	0.0	0.0	98.0
補償費	－	－	－	－
交付金	5,832,500	0.4	0.4	99.6
下水道負担金	－	－	－	－
雑費	114,494	0.0	0.0	100.0
有形固定資産減価償却費	533,775,548	33.1	31.9	109.0
無形固定資産減価償却費	221,124,185	13.7	14.3	100.5
固定資産除却費	4,787,952	0.3	1.2	25.8
たな卸資産減耗費	－	－	－	－
材料売却原価	225,400	0.0	－	－
企業債利息	24,900,626	1.5	1.1	147.0
一時借入金利息	－	－	－	－
企業債手数料	－	－	－	－
不用品売却原価	325,089	0.0	0.1	30.8
貸倒引当金繰入額	－	－	－	－
その他雑支出	5,473,646	0.3	0.0	934.4
合計	1,613,532,779	100.0	100.0	105.1

第５表　　貸　借　対　照

借方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
（資産の部）			
固定資産	19,205,287,912	88.2	86.2
(1) 有形固定資産	16,807,161,371	77.2	73.9
ア 土地	1,339,544,047	6.2	6.4
イ 建物	394,711,311	1.8	1.8
ウ 構築物	12,379,048,382	56.9	53.6
エ 機械及び装置	2,422,842,634	11.1	9.7
オ 工具器具及び備品	11,308,392	0.1	0.1
カ 建設仮勘定	259,706,605	1.2	2.3
(2) 無形固定資産	2,396,736,541	11.0	12.4
ア ダム使用権	2,364,458,091	10.9	12.2
イ その他無形固定資産	32,278,450	0.1	0.2
(3) 投資その他の資産	1,390,000	0.0	0.0
ア 出資金	1,390,000	0.0	0.0
流動資産	2,557,968,689	11.8	13.8
(1) 現金預金	2,129,133,111	9.8	11.3
ア その他預金	2,129,133,111	9.8	11.3
(2) 未収金	265,236,428	1.2	1.4
ア 営業未収金	160,878,651	0.7	0.7
イ 営業外未収金	68,957,777	0.3	0.2
ウ その他未収金	35,400,000	0.2	0.5
エ 貸倒引当金	－	－	－
(3) 貯蔵品	14,881,510	0.1	0.1
ア 材料	14,881,510	0.1	0.1
(4) 前払金	148,717,640	0.7	0.9
ア その他前払金	148,717,640	0.7	0.9
資産合計	21,763,256,601	100.0	100.0

表　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方 科目	金額	構成比率 7年度	構成比率 6年度
（負債の部）			
固定負債	2,837,394,526	13.0	9.9
(1) 企業債	2,649,309,198	12.2	8.9
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,649,309,198	12.2	8.9
(2) 引当金	188,085,328	0.9	1.0
ア 退職給付引当金	188,085,328	0.9	1.0
流動負債	720,745,646	3.3	4.5
(1) 企業債	127,039,830	0.6	0.6
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	127,039,830	0.6	0.6
(2) 未払金	550,613,066	2.5	3.8
ア 営業未払金	280,707,326	1.3	0.5
イ 建設改良未払金	269,905,740	1.2	3.3
(3) 預り金	23,841,750	0.1	0.1
ア 預り保証金	23,841,750	0.1	0.1
(4) 引当金	19,251,000	0.1	0.1
ア 賞与引当金	19,251,000	0.1	0.1
繰延収益	4,766,254,095	21.9	23.4
(1) 長期前受金	18,081,479,393	83.1	85.5
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 13,315,225,298	△ 61.2	△ 62.0
負債合計	8,324,394,267	38.2	37.8
（資本の部）			
資本金	9,249,896,549	42.5	40.3
剰余金	4,188,965,785	19.2	21.9
(1) 資本剰余金	2,530,203,552	11.6	12.0
ア 受贈財産評価額	44,105,649	0.2	0.2
イ 国庫補助金	308,705,363	1.4	1.5
ウ 工事負担金	2,177,392,540	10.0	10.3
(2) 利益剰余金	1,658,762,233	7.6	9.9
ア 減債積立金	1,006,383,242	4.6	5.3
イ 当年度未処分利益剰余金	652,378,991	3.0	4.6
資本合計	13,438,862,334	61.8	62.2
負債・資本合計	21,763,256,601	100.0	100.0

第６表　　経　　営

分析項目		算式	単位	年度比較 5年度	6年度	7年度
経済性	1 総収支比率	総収益 / 総費用 ×100	%	125.9	118.3	118.9
	2 経常収支比率	経常収益 / 経常費用 ×100	%	125.9	118.3	118.2
	3 営業収支比率	営業収益 / 営業費用 ×100	%	110.8	104.5	105.0
	4 総資本経常利益率	経常利益 / 年平均総資本 ×100	%	1.9	1.4	1.4
	5 固定資産回転率	営業収益 / 年平均(固定資産-建設仮勘定)	回	0.1	0.1	0.1
	6 流動資産回転率	営業収益 / 年平均流動資産	回	0.6	0.6	0.6
	7 営業利益対営業収益比率	営業利益 / 営業収益 ×100	%	9.7	4.3	4.8
	8 利子負担率	支払利息 / 年平均(企業債+借入金) ×100	%	1.2	1.0	1.0
効率性	9 施設利用率	1日平均給水量 / 1日給水能力 ×100	%	55.9	51.8	47.3
	10 負荷率	1日平均給水量 / 1日最大給水量 ×100	%	80.4	78.7	77.9
	11 最大稼働率	1日最大給水量 / 1日給水能力 ×100	%	69.5	65.8	60.7
	12 有収率	有収水量 / 給水量 ×100	%	92.4	94.8	96.6
生産性	13 平均給与	職員給与費 / 職員数	千円	6,556	6,964	7,104
	14 労働生産性	営業収益 / 職員数	千円	67,584	70,478	77,310
	15 労働分配率	職員給与費 / 営業収益 ×100	%	9.7	9.9	9.2
その他	16 企業債償還額対償還財源比率	企業債償還額 / (減価償却費+当年度純利益) ×100	%	13.4	13.5	11.0
	17 未収金回転率	営業収益 / 年平均営業未収金	回	10.3	10.3	10.5
	18 減価償却率	当年度減価償却費 / (期末償却資産+当年度減価償却費) ×100	%	4.3	4.2	4.1
	19 有形固定資産減価償却率	減価償却累計額 / (期末償却資産+減価償却累計額) ×100	%	59.7	57.9	56.1
	20 流動比率	流動資産 / 流動負債 ×100	%	429.1	307.1	354.9

注　年平均＝（前年度末＋当年度末）×1/2　　支払利息＝支払利息＋企業債手数料及び取扱諸費　　職員給与費＝
営業収益＝営業収益－受託収益　　営業費用＝営業費用－受託費　　営業利益＝営業利益－（受託収益－受託

分　　析　　表

	備　　考
1	総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の総体的な関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
2	経常収益(営業収益+営業外収益)と経常費用(営業費用+営業外費用)を対比したものであり、経常的な収益と費用の関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
3	営業収益と営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。100％以上となっていることが望ましい。
4	投下された資本の総額と、それによってもたらされた経常利益とを比較したもので、高いほど良好である。
5	営業収益と設備資産に投下された資本との関係で、設備利用の適否をみるものである。
6	現金預金回転率・未収金回転率・貯蔵品回転率等を包括するものであり、年平均何回転するかを示す指標で高いほど良いとされている。
7	営業収益に対する営業利益の割合を示し、高いほど良好である。
8	企業債及び借入金に対し、それらの支払利息の負担比率を示すもので、この比率が低いほど低廉な資金を使用していることになる。
9	1日当たりの平均的な施設の利用率を示すものである。高い数値であることが望まれる。
10	最大給水量に対する平均給水量の比率を示すものである。
11	1年間で最も給水量が多かった日の施設の稼働率を示すものである。
12	給水量に対する収入として調定された水量の比率を示すものである。
13	職員1人当たりの給与費を示すものである。
14	職員1人当たりの営業収益で、1人当たりの生産性を示すものである。
15	職員給与費の営業収益に対する割合をみるもので、職員給与費負担の度合いを示すものである。
16	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却費及び当年度純利益の合計額を比較したもので、この比率が低いほど償還能力は高いとされている。
17	営業収益と営業未収金との関係で、未収金に固定する金額の適否を測定するものである。
18	減価償却費を固定資産の帳簿価額と比較することによって、固定資産に投下された資本の回収状況をみるものである。
19	有形固定資産のうち、償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合を計算することによって、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているかを全体として把握するものである。数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多い。
20	1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較したもので、100％以上となっていることが望ましい。流動性を確保するためには流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。

給料＋手当＋賞与引当金繰入額　　職員数＝（前年度末損益勘定職員数＋当年度末損益勘定職員数）×1/2
費）　　営業未収金＝営業未収金－受託収益未収金

<工業用水道事業会計>

第７表　　キャッシュ・フロー計算書

（単位：円）

項　　目	７年度	６年度	対前年度比較（△減）
業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益（△は純損失）	305,350,961	280,494,294	24,856,667
減価償却費	754,899,733	709,782,611	45,117,122
固定資産除却損	4,787,952	18,579,659	△ 13,791,707
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△ 18,572,599	△ 369,216	△ 18,203,383
賞与引当金の増減額（△は減少）	445,000	549,000	△ 104,000
長期前受金戻入額	△ 218,329,486	△ 221,989,394	3,659,908
受取利息及び受取配当金	△ 2,618,518	△ 779,178	△ 1,839,340
支払利息	24,900,626	16,938,275	7,962,351
有形固定資産売却損益（△は益）	△ 11,738,989	－	△ 11,738,989
未収金の増減額（△は増加）	△ 23,861,878	△ 35,267,024	11,405,146
未払金の増減額（△は減少）	181,227,505	26,718,695	154,508,810
たな卸資産の増減額（△は増加）	11,650,600	11,851,720	△ 201,120
その他流動負債の増減額（△は減少）	9,607,750	△ 120,000	9,727,750
小計	1,017,748,657	806,389,442	211,359,215
利息及び配当金の受取額	2,618,518	779,178	1,839,340
利息の支払額	△ 24,900,626	△ 16,938,275	△ 7,962,351
合計	995,466,549	790,230,345	205,236,204
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 2,148,713,065	△ 1,371,477,728	△ 777,235,337
有形固定資産の売却による収入	33,480,427	－	33,480,427
無形固定資産の取得による支出	△ 13,521,323	△ 10,915,636	△ 2,605,687
有価証券の取得による支出	△ 1,200,000,000	△ 1,600,000,000	400,000,000
有価証券の売却による収入	1,200,000,000	1,600,000,000	△ 400,000,000
国庫補助金等による収入	97,884,500	107,281,327	△ 9,396,827
その他の他会計への貸付による支出	△ 1,000,000,000	－	△ 1,000,000,000
その他の他会計貸付金の回収による収入	1,000,000,000	－	1,000,000,000
合計	△ 2,030,869,461	△ 1,275,112,037	△ 755,757,424
財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	900,000,000	700,000,000	200,000,000
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 116,351,290	△ 133,519,909	17,168,619
合計	783,648,710	566,480,091	217,168,619
資金増加額（△は減少額）	△ 251,754,202	81,598,399	△ 333,352,601
資金期首残高	2,380,887,313	2,299,288,914	81,598,399
資金期末残高	2,129,133,111	2,380,887,313	△ 251,754,202

<交通事業会計>

第１表　　業　務　実　績　表

項　　目	単位	7 年 度	6 年 度	6年度に対する比率	備　　考
				%	
営　業　キ　ロ　数	km	188.0	194.4	96.7	年度末現在
在　籍　車　両　数	台	106	106	100.0	〃
10　年　以　上	台	78	77	101.3	〃
5 年 以 上 10 年 未 満	台	17	14	121.4	〃
5　年　未　満	台	11	15	73.3	〃
可　動　車　数	台	106	106	100.0	〃
可動車数対在籍車数比	%	100.0	100.0	－	$\frac{\text{可動車数}}{\text{在籍車数}} \times 100$
運転車両数（年間延）	台	26,293	25,215	104.3	
〃　（1日平均）	台	72	69	104.3	
走行キロ数（年間延）	km	3,414,836	3,282,913	104.0	
〃　（1日平均）	km	9,356	8,994	104.0	
輸送人員（定　期）	人	1,561,150	1,620,710	96.3	年間延
〃　（定期外）	人	2,281,690	2,302,507	99.1	〃
〃　（貸　切）	人	285,346	307,033	92.9	〃
〃　（合　計）	人	4,128,186	4,230,250	97.6	〃
〃　（1日平均）	人	11,310	11,590	97.6	
職　　員　　数	人	66	67	98.5	年度末現在 （会計年度任用職員等を除く）
1 km 当 た り 費 用	円	590.1	586.9	100.5	$\frac{\text{経　常　費　用}}{\text{運転延キロ数}}$
1 km 当 た り 収 益	円	594.6	585.7	101.5	$\frac{\text{経　常　収　益}}{\text{運転延キロ数}}$
1 km当たり運送収益	円	340.8	294.5	115.7	$\frac{\text{運　送　収　益}}{\text{運転延キロ数}}$

第2表　　損　　益　　計　　算

借方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 営業費用	1,999,533,993	99.2	99.4
(1) 運転費	1,217,602,590	60.4	60.8
(2) 車両修繕費	187,687,667	9.3	9.4
(3) その他修繕費	1,922,180	0.1	0.1
(4) 減価償却費	129,621,567	6.4	7.7
(5) 資産減耗費	16,697,240	0.8	0.4
(6) 施設損害保険料	265,060	0.0	0.0
(7) 施設使用料	29,231,484	1.5	1.5
(8) 自動車重量税	4,549,600	0.2	0.2
(9) 運輸管理費	198,339,226	9.8	9.7
(10) 附帯事業費	1,633,457	0.1	0.1
(11) 厚生福利施設費	141,159	0.0	0.0
(12) 一般管理費	211,842,763	10.5	9.4
2 営業外費用	15,463,161	0.8	0.0
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	1,021,009	0.1	0.0
(2) 雑支出	14,442,152	0.7	0.0
3 特別損失	－	－	0.6
(1) 過年度損益修正損	－	－	0.6
小計	2,014,997,154	100.0	100.0
当年度純利益	15,459,320	－	－
合計	2,030,456,474	－	－

書　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 営業収益	1,590,023,827	78.3	75.9
(1) 運送収益	1,163,735,927	57.3	50.2
(2) 運送雑収益	390,408,726	19.2	22.4
(3) 附帯事業収益	2,448,404	0.1	0.2
(4) 補助金	33,430,770	1.6	3.1
2 営業外収益	440,432,647	21.7	23.9
(1) 他会計補助金	356,520,794	17.6	18.3
(2) 雑収益	25,138,943	1.2	1.5
(3) 長期前受金戻入	58,772,910	2.9	4.1
3 特別利益	－	－	0.3
(1) 過年度損益修正益	－	－	0.3
小計	2,030,456,474	100.0	100.0
当年度純損失	－	－	－
合計	2,030,456,474	－	－

第３表　　費　　用　　使

科目	人件費			
	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
1 営業費用	1,365,433,144	100.0	100.0	106.5
(1) 運転費	946,746,171	69.3	70.7	104.4
(2) 車両修繕費	95,989,788	7.0	7.6	98.1
(3) その他修繕費	－	－	－	－
(4) 減価償却費	－	－	－	－
(5) 資産減耗費	－	－	－	－
(6) 施設損害保険料	－	－	－	－
(7) 施設使用料	－	－	－	－
(8) 自動車重量税	－	－	－	－
(9) 運輸管理費	143,429,324	10.5	10.0	111.3
(10) 附帯事業費	－	－	－	－
(11) 厚生福利施設費	－	－	－	－
(12) 一般管理費	179,267,861	13.1	11.6	120.1
2 営業外費用	－	－	－	－
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	－	－	－	－
(2) 雑支出	－	－	－	－
合計	1,365,433,144	100.0	100.0	106.5

途　　別　　比　　率　　表

（単位：円、％）

物件費その他の経費				計			
金　額	構成比率		6年度に対する比率	金　額	構成比率		6年度に対する比率
	7年度	6年度			7年度	6年度	
634,100,849	97.6	99.9	98.5	1,999,533,993	99.2	100.0	103.8
270,856,419	41.7	42.2	99.7	1,217,602,590	60.4	61.1	103.3
91,697,879	14.1	13.1	108.2	187,687,667	9.3	9.5	102.8
1,922,180	0.3	0.3	89.0	1,922,180	0.1	0.1	89.0
129,621,567	20.0	23.2	86.6	129,621,567	6.4	7.8	86.6
16,697,240	2.6	1.2	209.2	16,697,240	0.8	0.4	209.2
265,060	0.0	0.0	111.5	265,060	0.0	0.0	111.5
29,231,484	4.5	4.5	100.5	29,231,484	1.5	1.5	100.5
4,549,600	0.7	0.7	98.2	4,549,600	0.2	0.2	98.2
54,909,902	8.5	9.2	92.5	198,339,226	9.8	9.8	105.4
1,633,457	0.3	0.2	101.7	1,633,457	0.1	0.1	101.7
141,159	0.0	0.0	103.7	141,159	0.0	0.0	103.7
32,574,902	5.0	5.0	100.3	211,842,763	10.5	9.4	116.6
15,463,161	2.4	0.1	…	15,463,161	0.8	0.0	…
1,021,009	0.2	0.1	294.7	1,021,009	0.1	0.0	294.7
14,442,152	2.2	0.0	…	14,442,152	0.7	0.0	…
649,564,010	100.0	100.0	100.8	2,014,997,154	100.0	100.0	104.6

第４表　　費　　用　　節

科目	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
人件費	1,365,433,144	67.8	66.6	106.5
直接人件費	1,136,288,938	56.4	55.9	105.5
給料	661,406,059	32.8	31.6	108.8
手当	429,659,879	21.3	22.2	100.3
賞与引当金繰入額	45,223,000	2.2	2.1	110.8
間接人件費	229,144,206	11.4	10.7	111.6
退職給付費	28,221,821	1.4	1.3	114.0
法定福利費	200,922,385	10.0	9.4	111.3
物件費その他の経費	649,564,010	32.2	33.4	100.8
厚生福利費	4,889,903	0.2	0.2	101.8
報償費	90,000	0.0	0.0	17.8
旅費	932,898	0.0	0.0	132.7
被服費	4,016,526	0.2	0.2	99.8
備消品費	9,239,682	0.5	0.4	114.5
会議費	945	0.0	0.0	41.7
印刷製本費	1,502,334	0.1	0.1	136.9
光熱水費	11,175,842	0.6	0.6	96.8
ガソリン費	751,862	0.0	0.0	96.5
軽油費	140,744,674	7.0	7.6	96.1
事業燃料費	2,684,000	0.1	0.1	96.2
油脂費	3,148,520	0.2	0.1	118.0
修繕費	2,192,203	0.1	0.1	177.3
自家修繕費	43,472,690	2.2	2.1	106.4
外注修繕費	42,499,966	2.1	2.0	110.5
建物構築物修繕費	643,700	0.0	0.1	53.6
機械装置修繕費	335,780	0.0	0.0	70.4
工具器具備品修繕費	546,700	0.0	0.0	641.7
通信運搬費	9,383,291	0.5	0.4	127.2

別　　比　　率　　表

（単位：円、％）

科目	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
広告料	6,168,530	0.3	0.3	97.4
手数料	6,084,099	0.3	0.3	99.2
乗車券販売手数料	1,672,665	0.1	0.1	95.7
あっ旋手数料	2,137,793	0.1	0.1	101.5
保険料	9,666,702	0.5	0.6	81.4
自動車損害保険料	4,242,000	0.2	0.2	101.6
施設損害保険料	160,900	0.0	0.0	98.1
委託料	118,773,146	5.9	6.1	101.3
使用料及び貸借料	20,313,151	1.0	1.2	85.0
道路使用料	12,529,197	0.6	0.6	101.3
借地借家料	14,384,289	0.7	0.7	100.1
負担金	7,811,943	0.4	0.4	110.9
事故賠償費	31,350	0.0	0.0	12.2
減価償却費	129,621,567	6.4	7.8	86.6
固定資産除却費	16,697,240	0.8	0.4	209.2
自動車重量税	4,549,600	0.2	0.2	98.2
教育実習費	178,911	0.0	0.0	124.2
旅行経費	2,250	0.0	0.0	2.3
給付金	824,000	0.0	0.0	185.5
企業債利息	1,021,009	0.1	0.0	294.7
雑費	14,442,152	0.7	0.0	…
合計	2,014,997,154	100.0	100.0	104.6

第５表　　貸　借　対　照

借方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
（資産の部）			
固定資産	1,281,515,164	59.5	59.2
(1) 有形固定資産	1,271,593,324	59.0	58.7
ア 土地	208,596,557	9.7	11.8
イ 建物	334,118,316	15.5	19.8
ウ 構築物	56,493,196	2.6	3.1
エ 車両	246,742,716	11.5	11.7
オ 機械及び装置	9,556,272	0.4	0.6
カ 工具器具及び備品	162,104,336	7.5	11.6
キ リース資産	253,981,931	11.8	－
(2) 無形固定資産	1,418,840	0.1	0.1
ア 電話加入権	1,418,840	0.1	0.1
(3) 投資その他の資産	8,503,000	0.4	0.4
ア 保証金	2,435,000	0.1	0.1
イ リサイクル預託金	5,678,000	0.3	0.3
ウ 敷金	390,000	0.0	0.0
流動資産	873,148,272	40.5	40.8
(1) 現金預金	602,384,705	28.0	27.3
(2) 未収金	291,252,303	13.5	14.6
ア その他引当金	△ 37,215,288	△ 1.7	△ 2.1
(3) 貯蔵品	16,532,395	0.8	1.0
(4) 前払費用	194,157	0.0	0.0
資産合計	2,154,663,436	100.0	100.0

注　その他引当金＝債権の不納欠損による損失に備えるため、回収不能見込額を計上するもの。

表　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方 科目	金額	構成比率 7年度	構成比率 6年度
（負債の部）			
固定負債	718,306,927	33.3	25.5
(1) 企業債	156,850,000	7.3	8.4
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	156,850,000	7.3	8.4
(2) リース債務	254,979,929	11.8	－
(3) 引当金	306,476,998	14.2	17.1
ア 退職給付引当金	306,476,998	14.2	17.1
流動負債	412,370,756	19.1	16.9
(1) 企業債	54,725,000	2.5	2.8
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	54,725,000	2.5	2.8
(2) リース債務	26,419,602	1.2	－
(3) 未払金	233,862,600	10.9	9.1
(4) 預り金	11,049,941	0.5	1.1
(5) 前受収益	41,090,613	1.9	1.6
(6) 引当金	45,223,000	2.1	2.3
ア 賞与引当金	45,223,000	2.1	2.3
繰延収益	247,900,548	11.5	14.7
(1) 長期前受金	962,705,272	44.7	52.7
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 714,804,724	△ 33.2	△ 38.0
負債合計	1,378,578,231	64.0	57.0
（資本の部）			
資本金	3,072,501,678	142.6	173.5
剰余金	△ 2,296,416,473	△ 106.6	△ 130.5
(1) 資本剰余金	130,770,886	6.1	7.4
ア 車両改造補助金	2,550,000	0.1	0.1
イ 受贈財産評価額	3,190,214	0.1	0.2
ウ 停留所整備費補助金	31,061,737	1.4	1.8
エ 車両購入費補助金	46,809,810	2.2	2.6
オ 運輸事業振興助成交付金	35,405,671	1.6	2.0
カ 寄附金	35,000	0.0	0.0
キ その他資本剰余金	11,718,454	0.5	0.7
(2) 利益剰余金（△欠損金）	△ 2,427,187,359	△ 112.6	△ 137.9
ア 当年度未処分利益剰余金（△未処理欠損金）	△ 2,427,187,359	△ 112.6	△ 137.9
資本合計	776,085,205	36.0	43.0
負債・資本合計	2,154,663,436	100.0	100.0

第６表　　経　　営

分析項目		算式	単位	年度比較 5年度	6年度	7年度
経済性	1 総収支比率	総収益 / 総費用 ×100	%	107.0	99.5	100.8
	2 経常収支比率	経常収益 / 経常費用 ×100	%	107.0	99.8	100.8
	3 営業収支比率	営業収益 / 営業費用 ×100	%	79.4	75.9	79.5
	4 総資本経常利益率	経常利益 / 年平均総資本 ×100	%	6.8	△ 0.2	0.8
	5 固定資産回転率	営業収益 / 年平均(固定資産-建設仮勘定)	回	1.3	1.3	1.4
	6 流動資産回転率	営業収益 / 年平均流動資産	回	2.0	2.0	2.0
	7 営業利益対営業収益比率	営業利益 / 営業収益 ×100	%	△ 25.9	△ 31.7	△ 25.8
	8 利子負担率	支払利息 / 年平均(企業債+借入金) ×100	%	0.1	0.2	0.5
効率性	9 車両稼働率	年間延稼働車両数 / 年間延在籍車両数 ×100	%	68.9	66.0	70.5
	10 乗車効率	乗車密度 / 平均定員 ×100	%	12.1	12.4	12.0
	11 実働1日1車当たり走行キロ	年間走行キロ / 年間延稼働車両数	km	127.6	130.2	129.9
	12 実働1日1車当たり輸送人員	年間輸送人員 / 年間延稼働車両数	人	159.9	167.8	157.0
生産性	13 平均給与	職員給与費 / 職員数	千円	4,064	4,643	4,919
	14 労働生産性	営業収益 / 職員数	千円	6,081	6,302	6,883
	15 労働分配率	職員給与費 / 営業収益 ×100	%	66.8	73.7	71.5
その他	16 企業債償還額対償還財源比率	企業債償還額 / (減価償却費+当年度純利益) ×100	%	18.8	31.7	33.8
	17 未収金回転率	営業収益 / 年平均営業未収金	回	8.1	8.4	8.6
	18 減価償却率	当年度減価償却費 / (期末償却資産+当年度減価償却費) ×100	%	13.8	15.3	10.9
	19 有形固定資産減価償却率	減価償却累計額 / (期末償却資産+減価償却累計額) ×100	%	78.4	79.0	73.5
	20 流動比率	流動資産 / 流動負債 ×100	%	221.7	241.9	211.7

注　年平均＝（前年度末＋当年度末）×1/2　　支払利息＝支払利息＋企業債手数料及び取扱諸費　　職員給与費＝

職員数＝（前年度末損益勘定職員数（会計年度任用職員を含む））＋当年度末損益勘定職員数（会計年度任用

分　　析　　表

	備　　考
1	総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の総体的な関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
2	経常収益(営業収益+営業外収益)と経常費用(営業費用+営業外費用)を対比したものであり、経常的な収益と費用の関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
3	営業収益と営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。100％以上となっていることが望ましい。
4	投下された資本の総額と、それによってもたらされた経常利益とを比較したもので、高いほど良好である。
5	営業収益と設備資産に投下された資本との関係で、設備利用の適否をみるものである。
6	現金預金回転率・未収金回転率・貯蔵品回転率等を包括するものであり、年平均何回転するかを示す指標で高いほど良いとされている。
7	営業収益に対する営業利益の割合を示し、高いほど良好である。
8	企業債及び借入金に対し、それらの支払利息の負担比率を示すもので、この比率が低いほど低廉な資金を使用していることになる。
9	在籍する全体車両数に対して実収となるべき運行を行った車両数の割合を示すものである。高い数値であることが望まれる。
10	車両定員に対して平均乗客数の割合を示すもので、高いほど効率の良い運行を行ったこととされている。
11	1日当たり1車平均で実収としてどのくらい走行するかを示すものである。
12	1日当たり1車平均で乗客が延べ何人くらい乗っているかを示すものである。
13	職員1人当たりの給与費を示すものである。
14	職員1人当たりの営業収益で、1人当たりの生産性を示すものである。
15	職員給与費の営業収益に対する割合をみるもので、職員給与費負担の度合いを示すものである。
16	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却費及び当年度純利益の合計額を比較したもので、この比率が低いほど償還能力は高いとされている。
17	営業収益と営業未収金との関係で、未収金に固定する金額の適否を測定するものである。
18	減価償却費を固定資産の帳簿価額と比較することによって、固定資産に投下された資本の回収状況をみるものである。
19	有形固定資産のうち、償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合を計算することによって、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているかを全体として把握するものである。数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多い。
20	1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較したもので、100％以上となっていることが望ましい。流動性を確保するためには流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。

給料＋手当＋賞与引当金繰入額

職員を含む））×1/2

<交通事業会計>

第７表　　キャッシュ・フロー計算書

（単位：円）

項　　目	7 年 度	6 年 度	対前年度比較（△減）
業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益（△は純損失）	15,459,320	△ 10,188,813	25,648,133
減価償却費	129,621,567	149,702,836	△ 20,081,269
固定資産除却損	16,697,240	7,983,022	8,714,218
特別損失	－	10,929,809	△ 10,929,809
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,646,723	12,864,981	△ 9,218,258
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,397,000	2,696,000	1,701,000
長期前受金戻入額	△ 58,772,910	△ 78,206,561	19,433,651
支払利息	1,021,009	346,406	674,603
未収金の増減額（△は増加）	△ 32,629,345	△ 23,285,285	△ 9,344,060
未払金の増減額（△は減少）	20,916,620	△ 6,338,450	27,255,070
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,206,396	891,647	314,749
その他流動資産の増減額（△は増加）	1,430	1,290	140
その他流動負債等の増減額（△は減少）	4,020,221	5,074,431	△ 1,054,210
その他	27,417,600	－	27,417,600
特別利益	－	△ 4,902,349	4,902,349
小計	133,002,871	67,568,964	65,433,907
利息の支払額	△ 1,021,009	△ 346,406	△ 674,603
合計	131,981,862	67,222,558	64,759,304
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 68,814,692	△ 107,392,087	38,577,395
リサイクル預託金の取得による支出	△ 671,630	△ 285,090	△ 386,540
国庫補助金等による収入	43,404,600	2,007,000	41,397,600
合計	△ 26,081,722	△ 105,670,177	79,588,455
財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	62,700,000	70,500,000	△ 7,800,000
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 49,100,000	△ 44,175,000	△ 4,925,000
合計	13,600,000	26,325,000	△ 12,725,000
資金増加額（△は減少額）	119,500,140	△ 12,122,619	131,622,759
資金期首残高	482,884,565	495,007,184	△ 12,122,619
資金期末残高	602,384,705	482,884,565	119,500,140

<病院事業会計>

第１表　　業　務　実　績　表

注　令和元年度から病院事業は門司病院のみとなったが、門司病院は指定管理者制度により運営されているため、病院事業としての業務実績はない。

第2表　損　益　計　算

借方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 医業費用	345,655,238	88.2	87.1
(1) 給与費	－	－	－
(2) 材料費	－	－	－
(3) 経費	183,901,119	46.9	47.4
(4) 減価償却費	149,904,200	38.2	38.1
(5) 資産減耗費	11,735,953	3.0	1.5
(6) 研究研修費	－	－	－
(7) 長期前払消費税償却	113,966	0.0	0.0
2 医業外費用	46,366,819	11.8	12.9
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	28,127,331	7.2	8.2
(2) 雑損失	18,239,488	4.7	4.8
(3) 看護師養成費	－	－	－
(4) 患者外給食委託費	－	－	－
3 特別損失	－	－	－
(1) 固定資産売却損	－	－	－
(2) 過年度損益修正損	－	－	－
小計	392,022,057	100.0	100.0
当年度純利益	－	－	－
合計	392,022,057	－	－

書　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 医業収益	1,543,728	0.7	0.7
(1) 入院収益	－	－	－
(2) 外来収益	－	－	－
(3) 他会計負担金	－	－	－
(4) 補助金	－	－	－
(5) その他医業収益	1,543,728	0.7	0.7
2 医業外収益	233,268,397	99.3	99.3
(1) 受取利息及び配当金	－	－	－
(2) 他会計負担金	218,113,309	92.9	91.9
(3) 他会計補助金	10,753,532	4.6	5.6
(4) 長期前受金戻入	3,521,763	1.5	1.5
(5) その他医業外収益	879,793	0.4	0.3
3 特別利益	－	－	－
(1) 固定資産売却益	－	－	－
(2) 過年度損益修正益	－	－	－
(3) その他特別利益	－	－	－
小計	234,812,125	100.0	100.0
当年度純損失	157,209,932	－	－
合計	392,022,057	－	－

第３表　　費　　用　　使

科目	人件費			
	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
1 医業費用	－	－	－	－
(1) 給与費	－	－	－	－
(2) 材料費	－	－	－	－
(3) 経費	－	－	－	－
(4) 減価償却費	－	－	－	－
(5) 資産減耗費	－	－	－	－
(6) 研究研修費	－	－	－	－
(7) 長期前払消費税償却	－	－	－	－
2 医業外費用	－	－	－	－
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	－	－	－	－
(2) 雑損失	－	－	－	－
(3) 看護師養成費	－	－	－	－
(4) 患者外給食委託費	－	－	－	－
合計	－	－	－	－

途　別　比　率　表

（単位：円、％）

物件費その他の経費				計			
金額	構成比率		6年度に対する比率	金額	構成比率		6年度に対する比率
	7年度	6年度			7年度	6年度	
345,655,238	88.2	87.1	102.4	345,655,238	88.2	87.1	102.4
－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－
183,901,119	46.9	47.4	100.0	183,901,119	46.9	47.4	100.0
149,904,200	38.2	38.1	101.6	149,904,200	38.2	38.1	101.6
11,735,953	3.0	1.5	197.3	11,735,953	3.0	1.5	197.3
－	－	－	－	－	－	－	－
113,966	0.0	0.0	100.0	113,966	0.0	0.0	100.0
46,366,819	11.8	12.9	92.4	46,366,819	11.8	12.9	92.4
28,127,331	7.2	8.2	88.8	28,127,331	7.2	8.2	88.8
18,239,488	4.7	4.8	98.7	18,239,488	4.7	4.8	98.7
－	－	－	－	－	－	－	－
－	－	－	－	－	－	－	－
392,022,057	100.0	100.0	101.1	392,022,057	100.0	100.0	101.1

第４表　　費　　用　　節

科目	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
人件費	－	－	－	－
直接人件費	－	－	－	－
給料	－	－	－	－
手当	－	－	－	－
賞与引当金繰入額	－	－	－	－
間接人件費	－	－	－	－
報酬	－	－	－	－
退職給付費	－	－	－	－
法定福利費	－	－	－	－
法定福利費繰入額	－	－	－	－
物件費その他の経費	392,022,057	100.0	100.0	101.1
薬品費	－	－	－	－
診療材料費	－	－	－	－
医療消耗備品費	－	－	－	－
給食材料費	－	－	－	－
厚生福利費	－	－	－	－
報償費	－	－	－	－
旅費交通費	－	－	－	－
職員被服費	－	－	－	－
消耗品費	－	－	－	－
消耗備品費	－	－	0.0	0
光熱水費	894,567	0.2	0.2	99.8
燃料費	－	－	－	－
食糧費	－	－	－	－
印刷製本費	85,000	0.0	0.0	100.7
修繕費	270,000	0.1	－	－
原材料費	－	－	－	－
保険料	392,221	0.1	0.1	103.0

別　比　率　表

（単位：円、％）

科目	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
賃借料	845,000	0.2	－	－
手数料	5,530	0.0	0.0	172.8
委託料	6,939,800	1.8	2.0	90.7
診療業務委託料	－	－	－	－
通信運搬費	90,000	0.0	0.1	41.7
諸会費	108,000	0.0	0.0	100.0
交際費	－	－	－	－
下水道料	－	－	－	－
雑費	174,271,001	44.5	45.0	99.9
貸倒引当金繰入額	－	－	－	－
建物減価償却費	146,271,509	37.3	37.1	101.7
構築物減価償却費	3,120,501	0.8	0.8	99.2
器械備品減価償却費	512,190	0.1	0.2	79.8
棚卸資産減耗費	－	－	－	－
固定資産除却費	11,735,953	3.0	1.5	197.3
謝金	－	－	－	－
図書費	－	－	－	－
旅費	－	－	－	－
研究雑費	－	－	－	－
長期前払消費税償却	113,966	0.0	0.0	100.0
企業債利息	28,113,309	7.2	8.2	88.8
企業債取扱諸費	14,022	0.0	0.0	89.7
長期借入金利息	－	－	－	－
一時借入金利息	－	－	－	－
患者外給食委託費	－	－	－	－
雑損失	18,239,488	4.7	4.8	98.7
実習雑費	－	－	－	－
奨学貸付金	－	－	－	－
合計	392,022,057	100.0	100.0	101.1

第５表　　貸　借　対　照

借方				
科目	金額	構成比率		
		7年度	6年度	
（資産の部）				
固定資産	1,911,274,462	96.3	95.1	
(1) 有形固定資産	1,907,979,938	96.2	94.9	
ア 土地	14,356,478	0.7	0.7	
イ 建物	1,790,285,166	90.2	89.5	
ウ 構築物	85,586,007	4.3	4.1	
エ 器械備品	11,252,287	0.6	0.6	
オ 車両	－	－	－	
カ 建設仮勘定	6,500,000	0.3	0.0	
(2) 無形固定資産	557,100	0.0	0.0	
ア 電話加入権	557,100	0.0	0.0	
(3) 投資その他の資産	2,737,424	0.1	0.1	
ア 出資金	1,290,000	0.1	0.1	
イ 破産更正債権等	54,786	0.0	0.0	
ウ 貸倒引当金	△ 54,786	△ 0.0	△ 0.0	
エ 長期前払消費税	1,447,424	0.1	0.1	
流動資産	73,020,462	3.7	4.9	
(1) 現金預金	57,787,286	2.9	4.1	
(2) 未収金	15,233,176	0.8	0.9	
ア 未収金	15,233,176	0.8	0.9	
イ 貸倒引当金	－	－	－	
(3) 貯蔵品	－	－	－	
(4) 前払金	－	－	－	
(5) その他流動資産	－	－	－	
資産合計	1,984,294,924	100.0	100.0	

表　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方 科目	金額	構成比率 7年度	構成比率 6年度
（負債の部）			
固定負債	1,850,246,126	93.2	100.4
(1) 企業債	1,850,246,126	93.2	100.4
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,841,946,126	92.8	100.4
イ その他企業債	8,300,000	0.4	－
(2) 他会計借入金	－	－	－
ア その他の長期借入金	－	－	－
(3) 引当金	－	－	－
ア 退職給付引当金	－	－	－
流動負債	358,508,758	18.1	18.1
(1) 企業債	337,560,774	17.0	15.6
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	337,560,774	17.0	15.6
(2) 未払金	11,105,966	0.6	2.1
(3) 引当金	－	－	－
ア 賞与引当金	－	－	－
(4) その他流動負債	9,842,018	0.5	0.5
繰延収益	54,198,879	2.7	2.7
(1) 長期前受金	283,842,739	14.3	13.3
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 229,643,860	△ 11.6	△ 10.6
負債合計	2,262,953,763	114.0	121.2
（資本の部）			
資本金	12,071,174,805	608.3	548.2
剰余金	△ 12,349,833,644	△ 622.4	△ 569.4
(1) 資本剰余金	79,732,866	4.0	3.7
ア 受贈財産評価額	－	－	－
イ 寄附金	24,000	0.0	0.0
ウ その他資本剰余金	79,708,866	4.0	3.7
(2) 利益剰余金	△ 12,429,566,510	△ 626.4	△ 573.1
（△欠損金）			
ア 当年度未処分利益剰余金	△ 12,429,566,510	△ 626.4	△ 573.1
（△未処理欠損金）			
資本合計	△ 278,658,839	△ 14.0	△ 21.2
負債・資本合計	1,984,294,924	100.0	100.0

第６表　　経　　営

分析項目		算式	単位	年度比較 5年度	6年度	7年度
経済性	1 総収支比率	総収益 / 総費用 ×100	%	62.8	62.2	59.9
	2 経常収支比率	経常収益 / 経常費用 ×100	%	62.8	62.2	59.9
	3 総資本経常利益率	経常利益 / 年平均総資本 ×100	%	△ 6.4	△ 6.7	△ 7.6
	4 固定資産回転率	医業収益 / 年平均(固定資産-建設仮勘定)	回	0.0	0.0	0.0
	5 流動資産回転率	医業収益 / 年平均流動資産	回	0.0	0.0	0.0
	6 利子負担率	支払利息 / 年平均(企業債+借入金) ×100	%	1.2	1.2	1.2
その他	7 企業債償還額対償還財源比率	企業債償還額 / (減価償却費+当年度純利益) ×100	%	…	…	…
	8 減価償却率	当年度減価償却費 / (期末償却資産+当年度減価償却費) ×100	%	6.5	6.8	7.4
	9 有形固定資産減価償却率	減価償却累計額 / 期末償却資産＋減価償却累計額 ×100	%	84.3	85.1	86.1
	10 流動比率	流動資産 / 流動負債 ×100	%	18.3	27.2	20.4

注　年平均＝（前年度末＋当年度末）×1/2　　支払利息＝支払利息＋企業債手数料及び取扱諸費

分　　析　　表

	備　　考
1	総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の総体的な関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
2	経常収益(医業収益+医業外収益)と経常費用(医業費用+医業外費用)を対比したものであり、経常的な収益と費用の関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
3	投下された資本の総額と、それによってもたらされた経常利益とを比較したもので、高いほど良好である。
4	医業収益と設備資産に投下された資本との関係で、設備利用の適否をみるものである。
5	現金預金回転率・未収金回転率・貯蔵品回転率等を包括するものであり、年平均何回転するかを示す指標で高いほど良いとされている。
6	企業債及び借入金に対し、それらの支払利息の負担比率を示すもので、この比率が低いほど低廉な資金を使用していることになる。
7	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却費及び当年度純利益の合計額を比較したもので、この比率が低いほど償還能力は高いとされている。
8	減価償却費を固定資産の帳簿価額と比較することによって、固定資産に投下された資本の回収状況をみるものである。
9	有形固定資産のうち、償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合を計算することによって、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているかを全体として把握するものである。数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多い。
10	1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較したもので、100％以上となっていることが望ましい。流動性を確保するためには流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。

<病院事業会計>

第 7 表　　キャッシュ・フロー計算書

（単位：円）

項　　目		7 年 度		6 年 度		対前年度比較（△減）
業務活動によるキャッシュ・フロー						
当年度純利益（△は純損失）	△	157,209,932	△	146,500,982	△	10,708,950
減価償却費		149,904,200		147,553,311		2,350,889
固定資産除却損		1,179,563		334,050		845,513
長期前払消費税の増減（△は増加）		113,966		113,966		0
長期前受金戻入額	△	3,521,763	△	3,536,995		15,232
支払利息		28,127,331		31,678,944	△	3,551,613
未収金の増減額（△は増加）		3,379,342	△	9,144,960		12,524,302
未払金の増減額（△は減少）	△	2,092,472		3,831,102	△	5,923,574
その他流動資産の増減額（△は増加）		－		－		－
その他流動負債の増減額（△は減少）		－		－		－
小計		19,880,235		24,328,436	△	4,448,201
利息の支払額	△	28,127,331	△	31,678,944		3,551,613
合計	△	8,247,096	△	7,350,508	△	896,588
投資活動によるキャッシュ・フロー						
有形固定資産の取得による支出	△	58,108,000	△	1,480,000	△	56,628,000
国庫補助金等による収入		－		－		－
合計	△	58,108,000	△	1,480,000	△	56,628,000
財務活動によるキャッシュ・フロー						
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入		37,400,000		42,800,000	△	5,400,000
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△	333,232,282	△	327,843,724	△	5,388,558
一般会計からの出資による収入		333,232,282		327,843,724		5,388,558
合計		37,400,000		42,800,000	△	5,400,000
資金増加額（△は減少額）	△	28,955,096		33,969,492	△	62,924,588
資金期首残高		86,742,382		52,772,890		33,969,492
資金期末残高		57,787,286		86,742,382	△	28,955,096

<下水道事業会計>

第１表　　業　務　実　績　表

項　　目	単位	7 年 度	6 年 度	6年度に対する比率	備　　考
				%	
処　理　水　量	㎥	134,702,130	144,170,865	93.4	年間総量
１日平均処理水量	㎥	369,047	394,989	93.4	
処　理　能　力	㎥/日	621,000	621,000	100.0	年度末現在
有　収　水　量	㎥	90,031,388	90,875,767	99.1	年間総量
管渠布設延長	m	4,736,208	4,729,384	100.1	年度末現在
総　人　口	人	900,914	908,181	99.2	年度末現在 市内登録人口
処　理　人　口	人	899,660	906,899	99.2	年度末現在
人口普及率	%	99.9	99.9	－	処理人口 / 総人口 ×100
水洗化対象戸数	戸	492,328	491,905	100.1	年度末現在
水　洗　化　戸　数	戸	490,464	489,995	100.1	〃
水　洗　化　率	%	99.6	99.6	－	水洗化戸数 / 水洗化対象戸数 ×100
職　員　数	人	143	145	98.6	年度末現在 （会計年度任用職員等を除く）
１㎥当たり下水道使用料	円	143.92	143.89	100.0	下水道使用料 / 有収水量

第2表　損　益　計　算

借方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 営業費用	24,968,997,808	94.7	94.6
(1) 管渠費	1,571,644,123	6.0	6.0
(2) ポンプ場費	1,081,604,589	4.1	4.6
(3) 処理場費	3,759,414,022	14.3	13.4
(4) 水質管理費	25,834,714	0.1	0.1
(5) 受託事業費	34,328,728	0.1	1.7
(6) 水洗便所普及促進費	76,716,302	0.3	0.3
(7) 水洗便所助成貸付事業費	566,820	0.0	0.0
(8) 業務費	578,335,471	2.2	2.2
(9) 総係費	146,200,075	0.6	0.4
(10) 減価償却費	16,017,110,689	60.8	61.1
(11) 資産減耗費	721,071,596	2.7	1.0
(12) 給与費	956,170,679	3.6	3.9
2 営業外費用	1,386,065,796	5.3	5.3
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	1,271,024,377	4.8	4.9
(2) 雑支出	115,041,419	0.4	0.4
3 特別損失	8,709,519	0.0	0.1
(1) 過年度損益修正損	8,709,519	0.0	0.0
(2) その他特別損失	−	−	0.0
小計	26,363,773,123	100.0	100.0
当年度純利益	−	−	−
合計	26,363,773,123	−	−

<下水道事業会計>

書　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 営業収益	18,765,906,626	74.7	75.5
(1) 下水道使用料	12,957,420,060	51.6	51.2
(2) 雨水処理負担金	5,518,985,280	22.0	21.2
(3) その他他会計負担金	80,443,702	0.3	0.3
(4) 受託事業収益	37,309,335	0.1	1.8
(5) その他営業収益	171,748,249	0.7	0.8
2 営業外収益	6,338,622,476	25.2	24.5
(1) 受取利息及び配当金	42,458,436	0.2	0.1
(2) 他会計負担金	8,378,171	0.0	0.0
(3) 国庫補助金	269,000	0.0	0.0
(4) 長期前受金戻入	6,213,609,581	24.7	23.8
(5) 雑収益	73,907,288	0.3	0.5
3 特別利益	12,507,335	0.0	0.0
(1) 過年度損益修正益	12,507,335	0.0	0.0
小計	25,117,036,437	100.0	100.0
当年度純損失	1,246,736,686	－	－
合計	26,363,773,123	－	－

第３表　　費　　用　　使

科目	人件費			
	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
1 営業費用	956,170,679	100.0	100.0	93.4
(1) 管渠費	－	－	－	－
(2) ポンプ場費	－	－	－	－
(3) 処理場費	－	－	－	－
(4) 水質管理費	－	－	－	－
(5) 受託事業費	－	－	－	－
(6) 水洗便所普及促進費	－	－	－	－
(7) 水洗便所助成貸付事業費	－	－	－	－
(8) 業務費	－	－	－	－
(9) 総係費	－	－	－	－
(10) 減価償却費	－	－	－	－
(11) 資産減耗費	－	－	－	－
(12) 給与費	956,170,679	100.0	100.0	93.4
2 営業外費用	－	－	－	－
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	－	－	－	－
(2) 雑支出	－	－	－	－
合計	956,170,679	100.0	100.0	93.4

<下水道事業会計>

途　別　比　率　表

（単位：円、％）

物件費その他の経費				計			
金額	構成比率		6年度に対する比率	金額	構成比率		6年度に対する比率
	7年度	6年度			7年度	6年度	
24,012,827,129	94.5	94.5	101.2	24,968,997,808	94.7	94.7	100.8
1,571,644,123	6.2	6.2	100.2	1,571,644,123	6.0	6.0	100.2
1,081,604,589	4.3	4.8	90.5	1,081,604,589	4.1	4.6	90.5
3,759,414,022	14.8	14.0	107.0	3,759,414,022	14.3	13.4	107.0
25,834,714	0.1	0.1	99.8	25,834,714	0.1	0.1	99.8
34,328,728	0.1	1.7	7.9	34,328,728	0.1	1.7	7.9
76,716,302	0.3	0.3	104.7	76,716,302	0.3	0.3	104.7
566,820	0.0	0.0	54.8	566,820	0.0	0.0	54.8
578,335,471	2.3	2.3	100.7	578,335,471	2.2	2.2	100.7
146,200,075	0.6	0.5	124.3	146,200,075	0.6	0.4	124.3
16,017,110,689	63.1	63.6	100.2	16,017,110,689	60.8	61.1	100.2
721,071,596	2.8	1.0	287.4	721,071,596	2.7	1.0	287.4
－	－	－	－	956,170,679	3.6	3.9	93.4
1,386,065,796	5.5	5.5	99.6	1,386,065,796	5.3	5.3	99.6
1,271,024,377	5.0	5.1	99.2	1,271,024,377	4.8	4.9	99.2
115,041,419	0.5	0.4	103.8	115,041,419	0.4	0.4	103.8
25,398,892,925	100.0	100.0	101.1	26,355,063,604	100.0	100.0	100.8

第４表　　費　　用　　節

科目	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
人件費	956,170,679	3.6	3.9	93.4
直接人件費	768,101,284	2.9	2.8	103.3
給料	460,828,558	1.7	1.7	102.3
手当	224,848,726	0.9	0.8	106.4
賞与引当金繰入額	82,424,000	0.3	0.3	101.3
間接人件費	188,069,395	0.7	1.1	67.0
法定福利費	136,607,297	0.5	0.5	105.9
退職給付費	51,462,098	0.2	0.6	33.9
物件費その他の経費	25,398,892,925	96.4	96.1	101.1
報酬	157,092	0.0	0.0	335.7
厚生福利費	3,171,330	0.0	0.0	95.5
報償費	7,273	0.0	0.0	8.7
旅費	1,297,902	0.0	0.0	222.2
修繕料	654,691,965	2.5	2.1	117.8
被服費	2,776,280	0.0	0.0	284.2
備消耗品費	78,981,371	0.3	0.2	139.9
燃料費	960,853	0.0	0.0	92.1
光熱水費	60,825,403	0.2	0.2	94.2
印刷製本費	661,766	0.0	0.0	119.4
動力費	594,452,638	2.3	3.0	75.2
薬品費	82,551,425	0.3	0.3	90.5
保険料	3,517,573	0.0	0.0	130.4
通信運搬費	19,867,609	0.1	0.1	98.6
手数料	938,929	0.0	0.0	119.7
委託料	3,746,441,009	14.2	13.9	103.1
賃借料	76,878,292	0.3	0.3	100.0
工事請負費	969,620,000	3.7	4.9	76.0
原材料費	2,079,345	0.0	0.0	72.9
負担金	910,592,663	3.5	3.3	106.1

別　　比　　率　　表

（単位：円、％）

科目	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
補助金	776,000	0.0	0.0	41.6
補償費	990,250	0.0	0.0	9.1
広報費	15,790,811	0.1	0.1	99.5
研修費	2,030,114	0.0	0.0	113.7
会議費	943,455	0.0	0.0	137.4
雑費	94,500	0.0	0.0	103.7
有形固定資産減価償却費	15,973,689,846	60.6	60.9	100.3
無形固定資産減価償却費	43,420,843	0.2	0.2	87.9
固定資産除却費	49,325,000	0.2	0.0	824.6
固定資産除却損	671,746,596	2.5	0.9	274.3
企業債利息	1,254,270,489	4.8	4.8	99.1
企業債取扱諸費	16,716,863	0.1	0.1	107.4
一時借入金利息	37,025	0.0	0.0	147.3
雑支出	115,041,419	0.4	0.4	103.8
貸倒引当金繰入	10,461,122	0.0	0.1	79.2
海外事業費	33,087,874	0.1	0.1	122.2
合計	26,355,063,604	100.0	100.0	100.8

第５表　　貸　借　対　照

借方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
（資産の部）			
固定資産	405,463,308,365	97.7	98.0
(1) 有形固定資産	393,892,880,444	94.9	95.4
ア 土地	11,197,337,291	2.7	2.7
イ 建物	5,594,002,705	1.3	1.3
ウ 構築物	331,252,571,433	79.8	79.4
エ 機械及び装置	42,365,729,493	10.2	10.2
オ 工具器具及び備品	92,612,127	0.0	0.0
カ リース資産	89,818,363	0.0	0.0
キ 建設仮勘定	3,300,809,032	0.8	1.8
(2) 無形固定資産	245,514,121	0.1	0.0
ア 地役権	1,993,124	0.0	0.0
イ 電話加入権	17,979,600	0.0	0.0
ウ その他無形固定資産	225,541,397	0.1	0.0
(3) 投資その他の資産	11,324,913,800	2.7	2.6
ア 投資有価証券	27,000,000	0.0	0.0
イ 水洗便所改造資金等貸付金	864,800	0.0	0.0
ウ 基金積立金	11,260,799,000	2.7	2.6
エ 出資金	36,250,000	0.0	0.0
流動資産	9,470,981,543	2.3	2.0
(1) 現金預金	7,874,074,167	1.9	1.4
ア 現金	6,000	0.0	0.0
イ 預金	7,874,068,167	1.9	1.4
(2) 未収金	1,596,907,376	0.4	0.5
ア 営業未収金	1,462,715,182	0.4	0.5
イ 貸倒引当金	△ 8,776,291	△ 0.0	△ 0.0
ウ 営業外未収金	86,503,529	0.0	0.0
エ その他未収金	79,301,560	0.0	0.0
オ 貸倒引当金	△ 22,836,604	△ 0.0	△ 0.0
資産合計	414,934,289,908	100.0	100.0

<下水道事業会計>

表　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方 科目	金額	構成比率 7年度	構成比率 6年度
（負債の部）			
固定負債	128,481,160,655	31.0	30.9
(1) 企業債	127,020,211,591	30.6	30.6
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	127,020,211,591	30.6	30.6
(2) リース債務	68,510,959	0.0	0.0
(3) 引当金	1,392,438,105	0.3	0.3
ア 退職給付引当金	1,392,438,105	0.3	0.3
流動負債	12,476,524,188	3.0	3.0
(1) 企業債	6,963,164,217	1.7	2.0
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,963,164,217	1.7	2.0
(2) リース債務	25,179,924	0.0	0.0
(3) 未払金	5,248,248,634	1.3	0.9
ア 営業未払金	1,283,653,944	0.3	0.3
イ 営業外未払金	28,683,825	0.0	0.0
ウ 建設改良未払金	3,935,910,865	0.9	0.7
(4) 引当金	116,302,000	0.0	0.0
ア 賞与引当金	116,302,000	0.0	0.0
(5) 預り金	109,564,015	0.0	0.0
ア 預り保証金	97,433,450	0.0	0.0
イ 預り諸税	80,902	0.0	0.0
ウ その他預り金	12,049,663	0.0	0.0
(6) その他流動負債	14,065,398	0.0	0.0
ア 還付未済金	14,065,398	0.0	0.0
繰延収益	152,404,661,714	36.7	36.8
(1) 長期前受金	317,386,035,285	76.5	75.0
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 164,981,373,571	△ 39.8	△ 38.2
負債合計	293,362,346,557	70.7	70.7
（資本の部）			
資本金	113,943,822,357	27.5	27.3
剰余金	7,628,120,994	1.8	2.0
(1) 資本剰余金	6,033,339,044	1.5	1.4
ア 国庫補助金	3,807,947,825	0.9	0.8
イ 他会計負担金	49,000,000	0.0	0.0
ウ 受贈財産評価額	2,138,031,853	0.5	0.5
エ その他資本剰余金	38,359,366	0.0	0.0
(2) 利益剰余金	1,594,781,950	0.4	0.7
ア 当年度未処分利益剰余金	1,594,781,950	0.4	0.7
資本合計	121,571,943,351	29.3	29.3
負債・資本合計	414,934,289,908	100.0	100.0

第６表　　経　　営

分析項目		算式	単位	年度比較 5年度	6年度	7年度
経済性	1 総収支比率	総収益 / 総費用 ×100	%	100.3	97.5	95.3
	2 経常収支比率	経常収益 / 経常費用 ×100	%	100.3	97.5	95.3
	3 営業収支比率	営業収益 / 営業費用 ×100	%	80.4	77.2	75.1
	4 総資本経常利益率	経常利益 / 年平均総資本 ×100	%	0.0	△ 0.2	△ 0.3
	5 固定資産回転率	営業収益 / 年平均(固定資産-建設仮勘定)	回	0.0	0.0	0.0
	6 流動資産回転率	営業収益 / 年平均流動資産	回	1.8	2.0	2.1
	7 営業利益対営業収益比率	営業利益 / 営業収益 ×100	%	△ 24.3	△ 29.5	△ 33.1
	8 利子負担率	支払利息 / 年平均(企業債+借入金+リース債務) ×100	%	1.0	0.9	0.9
効率性	9 施設利用率	1日平均処理水量 / 1日処理能力 ×100	%	66.4	63.6	59.4
	10 負荷率	1日平均処理水量 / 1日最大処理水量 ×100	%	88.8	75.1	75.1
	11 最大稼働率	1日最大処理水量 / 1日処理能力 ×100	%	74.8	84.7	79.2
生産性	12 平均給与	職員給与費 / 職員数	千円	6,893	7,078	7,494
	13 労働生産性	営業収益 / 職員数	千円	176,949	178,945	182,718
	14 労働分配率	職員給与費 / 営業収益 ×100	%	3.9	4.0	4.1
その他	15 企業債償還額対償還財源比率	企業債償還額 / (減価償却費+当年度純利益) ×100	%	54.6	55.9	56.9
	16 未収金回転率	営業収益 / 年平均営業未収金	回	12.1	12.4	12.8
	17 減価償却率	当年度減価償却費 / (期末償却資産+当年度減価償却費) ×100	%	4.0	4.0	4.0
	18 有形固定資産減価償却率	減価償却累計額 / (期末償却資産+減価償却累計額) ×100	%	53.5	54.5	55.3
	19 流動比率	流動資産 / 流動負債 ×100	%	70.7	65.3	75.9

注　年平均＝（前年度末＋当年度末）×1/2　　支払利息＝支払利息＋企業債手数料及び取扱諸費　　職員給与費＝
営業収益＝営業収益－受託事業収益　　営業費用＝営業費用－受託事業費　　営業利益＝営業利益－（受託

分　　析　　表

	備　　考
1	総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の総体的な関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
2	経常収益(営業収益+営業外収益)と経常費用(営業費用+営業外費用)を対比したものであり、経常的な収益と費用の関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
3	営業収益と営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。100％以上となっていることが望ましい。
4	投下された資本の総額と、それによってもたらされた経常利益とを比較したもので、高いほど良好である。
5	営業収益と設備資産に投下された資本との関係で、設備利用の適否をみるものである。
6	現金預金回転率・未収金回転率・貯蔵品回転率等を包括するものであり、年平均何回転するかを示す指標で高いほど良いとされている。
7	営業収益に対する営業利益の割合を示し、高いほど良好である。
8	企業債、借入金及びリース債務に対し、それらの支払利息の負担比率を示すもので、この比率が低いほど低廉な資金を使用していることになる。
9	1日当たりの平均的な施設の利用率を示すものである。高い数値(100%が上限)であることが望まれる。高い数値であることが望まれる。
10	施設利用の効率性を示すものである。
11	1年間で最も処理水量が多かった日の施設の稼働率を示すものである。
12	職員1人当たりの給与費を示すものである。
13	職員1人当たりの営業収益で、1人当たりの生産性を示すものである。
14	職員給与費の営業収益に対する割合をみるもので、職員給与費負担の度合いを示すものである。
15	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却費及び当年度純利益の合計額を比較したもので、この比率が低いほど償還能力は高いとされている。
16	営業収益と営業未収金との関係で、未収金に固定する金額の適否を測定するものである。
17	減価償却費を固定資産の帳簿価額と比較することによって、固定資産に投下された資本の回収状況をみるものである。
18	有形固定資産のうち、償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合を計算することによって、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているかを全体として把握するものである。数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多い。
19	1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較したもので、100％以上となっていることが望ましい。流動性を確保するためには流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。

給料＋手当＋賞与引当金繰入額　　職員数＝（前年度末損益勘定職員数＋当年度末損益勘定職員数）×1/2
事業収益－受託事業費）　　営業未収金＝営業未収金－受託事業収益未収金

<下水道事業会計>

第 7 表　　キャッシュ・フロー計算書

（単位：円）

項　　目	7 年 度	6 年 度	対前年度比較（△減）
業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益（△は純損失）	△ 1,246,736,686	△ 658,620,311	△ 588,116,375
減価償却費	16,017,110,689	15,982,354,635	34,756,054
固定資産除却損	721,071,596	250,915,588	470,156,008
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 3,238,089	4,570,672	△ 7,808,761
退職給付引当金の増減額（△は減少）	24,378,468	82,548,485	△ 58,170,017
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,091,000	644,000	447,000
長期前受金戻入額	△ 6,213,609,581	△ 6,082,375,547	△ 131,234,034
過年度損益修正益	△ 2,225,924	－	△ 2,225,924
受取利息及び受取配当金	△ 42,458,436	△ 36,912,479	△ 5,545,957
支払利息及び企業債取扱諸費	1,271,024,377	1,280,830,381	△ 9,806,004
未収金の増減額（△は増加）	500,399,373	△ 177,420,802	677,820,175
未払金の増減額（△は減少）	205,062,670	121,792,503	83,270,167
その他流動負債の増減額（△は減少）	23,060,309	14,519,324	8,540,985
小　　計	11,254,929,766	10,782,846,449	472,083,317
利息及び配当金の受取額	42,458,436	36,912,479	5,545,957
利息の支払額	△ 1,271,012,482	△ 1,280,820,140	9,807,658
合　　計	10,026,375,720	9,538,938,788	487,436,932
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 9,683,845,895	△12,612,507,537	2,928,661,642
無形固定資産の取得による支出	△ 100,199,242	△ 62,772,427	△ 37,426,815
有価証券の取得による支出	△ 570,000,000	△ 1,500,000,000	930,000,000
有価証券の売却による収入	570,000,000	1,500,000,000	△ 930,000,000
他会計への貸付による支出	△ 1,600,000,000	－	△ 1,600,000,000
他会計貸付金の回収による収入	1,600,000,000	－	1,600,000,000
国庫補助金等による収入	4,207,861,693	3,859,952,768	347,908,925
他会計からの繰入金による収入	106,881,345	224,813,068	△ 117,931,723
基金の積立による支出	△ 2,809,627,000	△ 2,722,572,000	△ 87,055,000
基金の取崩による収入	2,290,200,000	2,243,400,000	46,800,000
その他支出	△ 49,325,000	△ 7,182,000	△ 42,143,000
その他収入	598,800	534,600	64,200
合　　計	△ 6,037,455,299	△ 9,076,333,528	3,038,878,229
財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	6,288,000,000	5,528,000,000	760,000,000
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 8,404,191,748	△ 8,567,498,789	163,307,041
リース債務返済による支出	△ 25,179,924	△ 14,040,741	△ 11,139,183
合　　計	△ 2,141,371,672	△ 3,053,539,530	912,167,858
資金増加額（△は減少額）	1,847,548,749	△ 2,590,934,270	4,438,483,019
資金期首残高	6,026,525,418	8,617,459,688	△ 2,590,934,270
資金期末残高	7,874,074,167	6,026,525,418	1,847,548,749

<公営競技事業会計>

第１表　　業　務　実　績　表

項　　目	単位	7 年 度	6 年 度	6年度に対する比率	備 考
競輪事業				%	
開　催　日　数	日	76	75	101.3	
入　場　者　数	人	91,591	41,923	218.5	
１日平均入場者数	人	1,761	822	214.2	入場者数 開催日数（注）
車　券　発　売　金	円	53,839,137,700	47,631,937,800	113.0	
本　　場	円	439,288,700	431,152,400	101.9	
電　話　投　票	円	47,219,171,400	41,647,746,200	113.4	
場　　外	円	6,180,677,600	5,553,039,200	111.3	
１日平均車券発売金	円	708,409,707	635,092,504	111.5	車券発売金 開催日数
職　　員　　数	人	7	7	100.0	年度末現在 （会計年度任用職員等を除く）
モーターボート競走事業					
開　催　日　数	日	173	169	102.4	
入　場　者　数	人	130,082	130,514	99.7	
１日平均入場者数	人	910	919	99.0	入場者数 開催日数
舟　券　発　売　金	円	152,416,391,700	135,525,867,700	112.5	
本　　場	円	3,013,046,600	2,941,736,500	102.4	
電　話　投　票	円	129,882,326,200	113,684,798,400	114.2	
場　　外	円	19,521,018,900	18,899,332,800	103.3	
１日平均舟券発売金	円	881,019,605	801,928,211	109.9	舟券発売金 開催日数
職　　員　　数	人	33	33	100.0	年度末現在 （会計年度任用職員等を除く）

注　入場者数(１日平均)は、入場者数を無観客レースの日数を除いた開催日数で除している。
　　無観客レースの日数を除いた開催日数＝（競輪事業）7年度:52日、6年度:51日
　　（モーターボート競走事業）7年度:143日、6年度:142日

第２表　　損　　益　　計　　算

借方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 営業費用	191,832,429,889	98.7	98.7
(1) 開催費	188,744,789,139	97.2	97.1
(2) 場間場外発売事務受託費	500,333,885	0.3	0.1
(3) 総係費	1,253,653,043	0.6	0.8
(4) 減価償却費	1,248,881,422	0.6	0.7
(5) 資産減耗費	84,772,400	0.0	0.1
2 営業外費用	2,442,851,350	1.3	1.3
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	22,229,007	0.0	0.0
(2) 雑支出	2,420,622,343	1.2	1.3
3 特別損失	－	－	－
(1) その他特別損失	－	－	－
小計	194,275,281,239	100.0	100.0
当年度純利益	15,722,420,431	－	－
合計	209,997,701,670	－	－

<公営競技事業会計>

書　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
1 営業収益	209,788,887,993	99.9	99.9
(1) 車券発売収益	53,839,137,700	25.6	25.5
(2) 場間場外発売収益	－	－	－
(3) 舟券発売収益	152,416,391,700	72.6	72.6
(4) 場間場外発売事務受託収益	1,806,769,591	0.9	1.0
(5) その他営業収益	1,726,589,002	0.8	0.8
2 営業外収益	193,950,620	0.1	0.1
(1) 受取利息及び配当金	50,790,078	0.0	0.0
(2) 長期前受金戻入	25,223,887	0.0	0.0
(3) 雑収益	117,936,655	0.1	0.0
3 特別利益	14,863,057	0.0	－
(1) 固定資産売却益	－	－	－
(2) その他特別利益	14,863,057	0.0	－
小計	209,997,701,670	100.0	100.0
当年度純損失	－	－	－
合計	209,997,701,670	－	－

第３表　　費　　用　　使

科目	人件費			
	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
1 営業費用	395,334,792	100.0	100.0	87.3
(1) 開催費	－	－	－	－
(2) 場間場外発売事務受託費	－	－	－	－
(3) 総係費	395,334,792	100.0	100.0	87.3
(4) 減価償却費	－	－	－	－
(5) 資産減耗費	－	－	－	－
2 営業外費用	－	－	－	－
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	－	－	－	－
(2) 雑支出	－	－	－	－
合計	395,334,792	100.0	100.0	87.3

<公営競技事業会計>

途　別　比　率　表

（単位：円、％）

物件費その他の経費				計			
金額	構成比率		6年度に対する比率	金額	構成比率		6年度に対する比率
	7年度	6年度			7年度	6年度	
191,437,095,097	98.7	98.7	112.0	191,832,429,889	98.7	98.7	111.9
188,744,789,139	97.4	97.3	112.0	188,744,789,139	97.2	97.1	112.0
500,333,885	0.3	0.1	366.5	500,333,885	0.3	0.1	366.5
858,318,251	0.4	0.5	97.8	1,253,653,043	0.6	0.8	94.2
1,248,881,422	0.6	0.7	103.4	1,248,881,422	0.6	0.7	103.4
84,772,400	0.0	0.1	69.7	84,772,400	0.0	0.1	69.7
2,442,851,350	1.3	1.3	108.6	2,442,851,350	1.3	1.3	108.6
22,229,007	0.0	0.0	128.0	22,229,007	0.0	0.0	128.0
2,420,622,343	1.2	1.3	108.4	2,420,622,343	1.2	1.3	108.4
193,879,946,447	100.0	100.0	112.0	194,275,281,239	100.0	100.0	111.9

第４表　　費　　用　　節

科目	金額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
人件費	395,334,792	0.2	0.3	87.3
直接人件費	332,903,697	0.2	0.2	97.6
給料	192,217,068	0.1	0.1	100.8
手当	102,070,179	0.1	0.1	91.6
賞与引当金繰入額	38,616,450	0.0	0.0	98.8
間接人件費	62,431,095	0.0	0.1	56.0
報酬	－	－	－	－
退職給付費	2,653,232	0.0	0.0	5.0
法定福利費	59,235,475	0.0	0.0	101.4
交付金	542,388	0.0	0.0	100.2
物件費その他の経費	193,879,946,447	99.8	99.7	112.0
払戻金及び返還金	154,492,970,560	79.5	79.1	112.4
法定交納付金	9,325,038,416	4.8	4.8	112.5
分担金	1,036,359,052	0.5	0.5	118.6
選手費	2,989,574,849	1.5	1.7	103.8
旅費	18,032,871	0.0	0.0	78.7
開催人件費	355,887,548	0.2	0.2	100.3
販売促進費	1,343,086,488	0.7	0.7	107.8
委託費	12,362,898,364	6.4	6.3	112.6
施設・設備使用料	3,390,014,713	1.7	1.7	115.0
需用費	269,024,406	0.1	0.1	107.9
食糧費	4,045,311	0.0	0.0	65.3
舟艇費	170,559,552	0.1	0.1	118.4
場外発売費	4,244,503,208	2.2	2.3	104.5
雑費	9,291,160	0.0	0.0	96.1
厚生費	1,868,960	0.0	0.0	107.0
交際費	20,000	0.0	0.0	68.7
役務費	13,024,254	0.0	0.0	104.8
施設・設備費	46,059,850	0.0	0.0	56.3
使用料及び賃借料	14,083,925	0.0	0.0	116.0

<公営競技事業会計>

別　　比　　率　　表

（単位：円、％）

科　　目	金　　額	構成比率		6年度に対する比率
		7年度	6年度	
その他総係費	17,097,788	0.0	0.0	102.9
有形固定資産減価償却費	1,119,860,957	0.6	0.6	104.0
無形固定資産減価償却費	5,932,820	0.0	0.0	…
有形リース資産減価償却費	123,087,645	0.1	0.1	94.1
固定資産除却費	84,772,400	0.0	0.1	69.7
企業債利息	5,480,842	0.0	0.0	96.9
企業債手数料	50,840	0.0	0.0	110.5
リース債務支払利息	16,697,325	0.0	0.0	143.2
貸倒引当金繰入額	－	－	－	－
雑支出	2,420,622,343	1.2	1.3	108.4
合計	194,275,281,239	100.0	100.0	111.9

第５表　　貸　借　対　照

借方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
（資産の部）			
固定資産	35,299,983,026	35.3	34.2
(1) 有形固定資産	25,897,971,977	25.9	27.5
ア 土地	2,456,752,267	2.5	2.7
イ 立木	26,975,946	0.0	0.0
ウ 建物	17,804,806,883	17.8	20.3
エ 構築物	3,048,686,338	3.0	1.4
オ 機械及び装置	1,465,629,889	1.5	1.8
カ 車両運搬具	125,176	0.0	0.0
キ 船舶	555,550	0.0	0.0
ク 工具器具及び備品	302,775,814	0.3	0.2
ケ リース資産	369,870,993	0.4	0.5
コ 建設仮勘定	421,793,121	0.4	0.6
(2) 無形固定資産	23,770,960	0.0	0.0
ア 商標権	90,960	0.0	0.0
イ その他無形固定資産	23,680,000	0.0	0.0
(3) 投資その他の資産	9,378,240,089	9.4	6.6
ア 基金	5,378,240,089	5.4	6.6
イ 投資有価証券	4,000,000,000	4.0	－
流動資産	64,689,850,934	64.7	65.8
(1) 現金預金	38,084,976,151	38.1	53.7
ア 現金	191,231,000	0.2	0.4
イ その他預金	37,893,745,151	37.9	53.3
(2) 未収金	1,604,090,783	1.6	6.6
ア 営業未収金	1,163,721,812	1.2	5.6
イ 営業外未収金	211,074,479	0.2	0.2
ウ その他未収金	232,354,683	0.2	0.7
エ 貸倒引当金	△ 3,060,191	△ 0.0	△ 0.0
(3) 貯蔵品	784,000	0.0	0.0
ア その他貯蔵品	784,000	0.0	0.0
(4) 前払金	－	－	－
(5) 繰出金	25,000,000,000	25.0	5.5
ア 一般会計繰出金	25,000,000,000	25.0	5.5
(6) 立替金	－	－	－
ア 立替金	－	－	－
資産合計	99,989,833,960	100.0	100.0

<公営競技事業会計>

表　構　成　比　率　表

（単位：円、％）

貸方			
科目	金額	構成比率	
		7年度	6年度
（負債の部）			
固定負債	624,014,408	0.6	3.0
(1) 企業債	－	－	2.1
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	－	－	1.8
イ その他の企業債	－	－	0.3
(2) リース債務	217,764,946	0.2	0.4
(3) 引当金	406,249,462	0.4	0.5
ア 退職給付引当金	406,249,462	0.4	0.5
流動負債	7,334,531,254	7.3	7.7
(1) 企業債	1,943,000,000	1.9	1.1
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,653,000,000	1.7	1.1
イ その他の企業債	290,000,000	0.3	－
(2) リース債務	100,825,972	0.1	0.1
(3) 未払金	4,720,433,642	4.7	5.9
ア 営業未払金	4,219,380,762	4.2	5.3
イ 営業外未払金	16,257,366	0.0	0.0
ウ 建設改良未払金	344,302,602	0.3	0.4
エ その他未払金	140,492,912	0.1	0.2
(4) 前受金	10,391,124	0.0	0.0
ア 営業前受金	10,391,124	0.0	0.0
(5) 預り金	521,264,066	0.5	0.6
ア 預り保証金	505,577,620	0.5	0.6
イ 預り諸税	－	－	－
ウ 受託事業預り金	14,089,520	0.0	0.0
エ その他預り金	1,596,926	0.0	0.0
(6) 引当金	38,616,450	0.0	0.0
ア 賞与引当金	38,616,450	0.0	0.0
(7) その他流動負債	－	－	－
ア 還付未済金	－	－	－
繰延収益	511,154,679	0.5	0.3
(1) 長期前受金	578,861,102	0.6	0.4
(2) 長期前受金収益化累計額	△ 67,706,423	△ 0.1	△ 0.1
負債合計	8,469,700,341	8.5	11.1
（資本の部）			
資本金	27,530,679,932	27.5	29.8
剰余金	63,989,453,687	64.0	59.2
(1) 利益剰余金	63,989,453,687	64.0	59.2
ア 当年度未処分利益剰余金（△未処理欠損金）	38,187,904,483	38.2	33.9
イ 建設改良積立金	25,076,549,204	25.1	25.2
ウ 減債積立金	725,000,000	0.7	－
資本合計	91,520,133,619	91.5	88.9
負債・資本合計	99,989,833,960	100.0	100.0

第６表　　経　　営

分析項目		算式	単位	年度比較 5年度	6年度	7年度
経済性	1 総収支比率	総収益 / 総費用 ×100	%	108.2	107.5	108.1
	2 経常収支比率	経常収益 / 経常費用 ×100	%	108.2	107.5	108.1
	3 営業収支比率	営業収益 / 営業費用 ×100	%	109.4	108.9	109.4
	4 総資本経常利益率	経常利益 / 年平均総資本 ×100	%	17.1	15.2	16.5
	5 固定資産回転率	営業収益 / 年平均(固定資産-建設仮勘定)	回	5.8	6.2	6.4
	6 流動資産回転率	営業収益 / 年平均流動資産	回	3.7	3.4	3.4
	7 営業利益対営業収益比率	営業利益 / 営業収益 ×100	%	8.6	8.1	8.6
	8 利子負担率	支払利息 / 年平均(企業債+借入金＋リース債務) ×100	%	0.4	0.5	0.8
効率性	9 総資産回転率	施行者発売力 / 総資産 ×100	%	224.8	211.9	216.0
	10 総資産利益率	営業利益 / 総資産 ×100	%	18.7	16.7	18.0
生産性	11 平均給与	職員給与費 / 職員数	千円	8,291	8,530	8,323
	12 労働生産性	営業収益 / 職員数	千円	4,505,465	4,722,974	5,244,722
	13 労働分配率	職員給与費 / 営業収益 ×100	%	0.2	0.2	0.2
その他	14 企業債償還額対償還財源比率	企業債償還額 / (減価償却費+当年度純利益) ×100	%	9.7	6.2	5.8
	15 未収金回転率	営業収益 / 年平均営業未収金	回	163.5	63.5	66.6
	16 減価償却率	当年度減価償却費 / (期末償却資産+当年度減価償却費) ×100	%	5.5	5.2	5.1
	17 有形固定資産減価償却率	減価償却累計額 / 期末償却資産＋減価償却累計額 ×100	%	24.6	26.1	27.7
	18 流動比率	流動資産 / 流動負債 ×100	%	1,155.6	850.2	882.0

注　年平均＝（前年度期末＋当年度期末）×1/2　支払利息＝支払利息＋企業債手数料及び取扱諸費　職員給与費＝

施行者発売力＝施行者開催の年度売上及び場間場外発売事務を受託した場合の年度売上合計額

分　　析　　表

	備　　考
1	総収益と総費用を対比したものであり、収益と費用の総体的な関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
2	経常収益(営業収益+営業外収益)と経常費用(営業費用+営業外費用)を対比したものであり、経常的な収益と費用の関連を示すものである。100％以上となっていることが望ましい。
3	営業収益と営業費用とを対比して業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。100％以上となっていることが望ましい。
4	投下された資本の総額と、それによってもたらされた経常利益とを比較したもので、高いほど良好である。
5	営業収益と設備資産に投下された資本との関係で、設備利用の適否をみるものである。
6	現金預金回転率・未収金回転率・貯蔵品回転率等を包括するものであり、年平均何回転するかを示す指標で高いほど良いとされている。
7	営業収益に対する営業利益の割合を示し、高いほど良好である。
8	企業債、借入金及びリース債務に対し、それらの支払利息の負担比率を示すもので、この比率が低いほど低廉な資金を使用していることになる。
9	総資産をどれだけ活用し、施行者発売力を計上したかを見るものである。
10	総資産に対し、どれだけ営業利益を計上したかを見るものである。
11	職員1人当たりの給与費を示すものである。
12	職員1人当たりの営業収益で、1人当たりの生産性を示すものである。
13	職員給与費の営業収益に対する割合をみるもので、職員給与費負担の度合いを示すものである。
14	企業債償還額とその主要償還財源である減価償却費及び当年度純利益の合計額を比較したもので、この比率が低いほど償還能力は高いとされている。
15	営業収益と営業未収金との関係で、未収金に固定する金額の適否を測定するものである。
16	減価償却費を固定資産の帳簿価額と比較することによって、固定資産に投下された資本の回収状況をみるものである。
17	有形固定資産のうち、償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合を計算することによって、耐用年数に対して資産の取得からどの程度経過しているかを全体として把握するものである。数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多い。
18	1年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較したもので、100％以上となっていることが望ましい。流動性を確保するためには流動資産が流動負債の2倍以上あることが望まれるので、理想比率は200%以上である。

給料＋手当＋賞与引当金繰入額　　職員数＝（前年度末損益勘定職員数＋当年度末損益勘定職員数）×1/2

<公営競技事業会計>

第７表　　キャッシュ・フロー計算書

（単位：円）

項　　目	７年度	６年度	対前年度比較（△減）
業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益（△は純損失）	15,722,420,431	13,037,938,859	2,684,481,572
減価償却費	1,248,881,422	1,207,571,824	41,309,598
固定資産除却損	82,849,400	111,039,963	△ 28,190,563
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△ 91,673,676	△ 22,005,561	△ 69,668,115
賞与引当金の増減額（△は減少）	△ 462,148	6,725,317	△ 7,187,465
長期前受金戻入額	△ 25,223,887	△ 9,550,045	△ 15,673,842
受取利息及び受取配当金	△ 50,790,078	△ 15,962,432	△ 34,827,646
支払利息	22,229,007	17,364,759	4,864,248
有形固定資産売却損益（△は益）	－	－	－
未収金の増減額（△は増加）	4,395,418,273	△ 4,672,153,526	9,067,571,799
未払金の増減額（△は減少）	△ 627,159,020	1,991,897,123	△ 2,619,056,143
たな卸資産の増減額（△は増加）	220,500	1,351,500	△ 1,131,000
その他流動資産の増減額（△は増加）	△ 46,800	－	△ 46,800
その他流動負債の増減額（△は減少）	7,288,537	485,409,171	△ 478,120,634
小計	20,683,951,961	12,139,626,952	8,544,325,009
利息及び配当金の受取額	50,790,078	15,962,432	34,827,646
利息の支払額	△ 22,658,733	△ 16,420,091	△ 6,238,642
合計	20,712,083,306	12,139,169,293	8,572,914,013
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 1,948,296,180	△ 2,255,397,218	307,101,038
有形固定資産の売却による収入	89,698	－	89,698
無形固定資産の取得による支出	－	△ 29,600,000	29,600,000
基金の積立による支出	△ 142,462,845	△ 207,783,432	65,320,587
基金の取崩による収入	783,000,000	277,200,000	505,800,000
投資有価証券の取得による支出	△ 4,000,000,000	－	△ 4,000,000,000
合計	△ 5,307,669,327	△ 2,215,580,650	△ 3,092,088,677
財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 983,000,000	△ 883,000,000	△ 100,000,000
その他の企業債の償還による支出	－	－	－
リース債務返済による支出	△ 116,573,792	△ 77,334,961	△ 39,238,831
一般会計への繰出しによる支出	△25,000,000,000	△ 5,000,000,000	△20,000,000,000
合計	△26,099,573,792	△ 5,960,334,961	△20,139,238,831
資金増加額（△は減少額）	△10,695,159,813	3,963,253,682	△14,658,413,495
資金期首残高	48,780,135,964	44,816,882,282	3,963,253,682
資金期末残高	38,084,976,151	48,780,135,964	△10,695,159,813

用　語　の　説　明

公営企業		地方公共団体が、住民の福祉の増進を目的として設置し、直接経営する企業。水の供給や公共輸送の確保、医療の提供、下水の処理など地域住民の生活や地域の発展に不可欠なサービスを提供している。
経営成績	収益（収益的収入）	サービスの提供、財貨の引渡又は生産その他の地方公営企業の業務に関連し、その資産の増加又は負債の減少（又は両者の組合せ）をもたらす経済的便益の増加であって、地方公営企業の財産的基礎を増加させる資本取引によってもたらされるものを除くもの。
	営業収益	主たる営業活動から生じる収益。
	営業外収益	金融財務活動その他主たる営業活動以外の原因から生じる利益。受取利息、配当金、他会計補助金及び雑収益等がこれに当たる。
	特別利益	営業収益や営業外収益と異なり、当年度の経常的な損益計算に算入されない特別なもの。固定資産売却益及び過年度損益修正益等がこれに当たる。
	費用（収益的支出）	サービスの提供、財貨の引渡又は生産その他の地方公営企業の業務に関連し、その資産の減少又は負債の増加（又は両者の組合せ）をもたらす経済的便益の減少であって、地方公営企業の財産的基礎を減少させる資本取引によってもたらされるものを除くもの。
	営業費用	主たる事業活動のため生じる費用。
	営業外費用	主として金融財務活動に要する費用及び事業の経常的活動以外の活動によって生じる費用。借入金の支払利息あるいは取扱諸費、繰延資産償却費及びその他の雑支出がこれに当たる。
	特別損失	固定資産の売却に伴う差損、減損損失、災害による損失及び過年度損益修正損など、当年度の経常的な損益計算に算入されない費用・損失のうち、特別なもの。
	損益（収益的収支）	現金収支の有無にかかわらず、当該年度の企業の経営活動に伴って生じるすべての収益とそれに対応する費用の状況。

資本的収入及び資本的支出	資本的収入	建設投資等の財源となる企業債、他会計繰入金及び国庫（県）補助金等の収入。
	資本的支出	当年度の費用とはされず、翌年度以降数年間の費用として期間配分されるべき、期間損益計算のもととなる建設改良費等。
	資本的収支	収益的収支に属さない収支のうち、現金の収支を伴うものであり、企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良及び建設改良に係る企業債償還金等の支出及びその財源となる収入の状況。
	補てん財源	資本的収入額が資本的支出額に不足する額を補てんするために充てた過年度及び当年度分損益勘定留保資金、繰越利益剰余金処分額、当年度利益剰余金処分額、繰越工事資金等の合計額。
	消費税資本的収支調整額	資本的支出に係る消費税額から資本的収入に係る消費税額を差し引いた額。
	損益勘定留保資金	収益的支出として計上された支出のうち企業外への現金流出を伴わない支出により企業内に留保された資金。減価償却費、たな卸資産減耗費、固定資産除却費及び減損損失がこれに当たる。ただし、当年度に欠損金が生じることが見込まれる場合は、それに相当する額を差し引く必要がある。
	利益剰余金	公営企業の経営活動の結果として生じた利益。利益処分によって積み立てられた積立金及び未処分利益剰余金に区分される。
	資金剰余（不足）額	補てん財源から資本的収支の資金不足額を差し引いたもので、これまでの資金収支を累積した額。値がマイナスになる場合は資金不足額となる。資金剰余額から翌年度に繰り越した建設改良費等の財源見合いの額を差し引いたものが、実質資金剰余額となる。
	減価償却費	固定資産の経年的な経済的価値の減少額を毎事業年度の費用として配分するもの。土地、立木及び建設仮勘定以外の固定資産については、毎事業年度必ず減価償却を行わなければならない。

財政状態	貸借対照表	貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、一定の時点において当該企業が保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表示した報告書。
	資産	企業の有する財貨及び権利であり、翌事業年度以降に繰り越すことを正当と認められたもの。固定資産、流動資産及び繰延資産に区分される。
	負債	過去の取引又は事象に起因する現在の義務であって、その履行が公営企業に対して、将来、サービスの提供又は経済的便益の減少を生じさせるもの。固定負債、流動負債及び繰延収益に区分される。
	資本	公営企業の業務を確実に実施するために拠出された財産的基礎及びその業務に関連し発生した剰余金から構成されるもの。資産の金額から負債の金額を控除した額であって、資本金勘定と剰余金勘定に区分され、剰余金勘定は資本剰余金勘定と利益剰余金勘定に区分される。
	繰延収益	減価償却を行うべき固定資産の取得又は改良に充てるための補助金等の交付を受けた場合における当該交付を受けた金額に相当する額について、長期前受金勘定をもって整理したもの。
	資本金	法適用当初においては、資産総額から負債総額を控除した額。その後の造成の過程に応じて、固有資本金、繰入資本金及び組入資本金に区分される。
	資本剰余金	資本取引から生じる剰余であって、建設又は改良等のため、当該企業が過去及び現在において企業外部から資本金調達以外の方法によって繰り入れたもの。償却資産以外の固定資産の取得又は改良に充てるための受贈財産評価額、寄附金及びその他資本剰余金に区分される。
	キャッシュ・フロー計算書	一事業年度のキャッシュ・フロー（資金収支）の状況を、一定の活動区分別に表示した報告書。
	業務活動によるキャッシュ・フロー	地方公営企業の通常の業務活動の実施による資金の増減を表すもの。
	投資活動によるキャッシュ・フロー	将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動による資金の増減を表すもの。
	財務活動によるキャッシュ・フロー	資金調達による資金の増減を表すもの。

一般会計繰入金		事業を実施するために必要な財源について、一般会計から繰入れされる資金。地方公営企業は、独立採算制による運営を原則としており、一般会計が負担すべき経費については国が示した「繰出基準」で定められている。公営企業会計の財源不足を補てんするため、一般会計が任意に支出する繰出基準以外の繰入金については、基準外繰入金となる。
セグメント情報		公営企業会計全体の財務情報を、事業活動の特徴等により区分した事業単位（セグメント）で分割したもの。業務内容が多岐にわたる場合、適切なセグメントに係る財務情報を開示することとされている。
決算審査資料	損益計算書	一営業期間における企業の経営成績を明らかにするために、その期間中に得たすべての収益と、これに対応するすべての費用を記載し、純損益とその発生の由来を表示した報告書。
	建設仮勘定	長期にわたる巨額の資産の建設について適正な取得価額を算出するための経過的な勘定。通常の資産経理と切り離して当該建設に係る一切の費用を建設仮勘定で整理し、年度末または建設工事の完了したときには他の勘定に振り替える。
	引当金	将来の特定の費用又は損失（収益の控除を含む。）であって、その発生が当該事業年度以前の事象に起因し、発生の可能性が高く、かつ、その金額を合理的に見積ることができる場合に、当該金額を引当金として予定貸借対照表及び貸借対照表に計上し、当該事業年度の負担に帰すべき引当額を費用に計上するもの。退職給付引当金、賞与引当金及び貸倒引当金等がこれに当たる。

令和７年度　北九州市公営企業会計決算審査意見書の正誤表（交通事業会計）

頁	訂正箇所	
３７頁 交通事業会計 １　業務の実績	（誤）	当年度の年間走行キロ数は3,414,836km、年間輸送人員は4,128,186人で、前年度と比べると、それぞれ4.0%の増加、2.4%の減少となっている。
	（正）	当年度の年間走行キロ数は3,414,836km、年間輸送人員は4,192,986人で、前年度と比べると、それぞれ4.0%の増加、0.9%の減少となっている。
	（誤）	表1　業務実績の年度比較 年間輸送人員　7年度　4,128,186 増減　△ 102,064 比率　△ 2.4
	（正）	表1　業務実績の年度比較 年間輸送人員　7年度　4,192,986 増減　△ 37,264 比率　△ 0.9
３７頁 交通事業会計 ２　予算の執行状況 （１）収益的収入及び支出	（誤）	なお、当年度の予算における業務予定量に対する実績をみると、年間走行キロ数で100.1%、年間輸送人員で 84.7%となっている。
	（正）	なお、当年度の予算における業務予定量に対する実績をみると、年間走行キロ数で100.1%、年間輸送人員で 86.0%となっている。
１１３頁 ＜交通事業会計＞ 第１表　業務実績表	（誤）	輸送人員（定　期）7年度　1,561,150 6年度に対する比率　96.3 〃　（合　計）7年度　4,128,186 6年度に対する比率　97.6 〃　（1日平均）7年度　11,310 6年度に対する比率　97.6
	（正）	輸送人員（定　期）7年度　1,625,950 6年度に対する比率 100.3 〃　（合　計）7年度　4,192,986 6年度に対する比率　99.1 〃　（1日平均）7年度　11,488 6年度に対する比率　99.1
１２２頁 第６表　経営	（誤）	効率性 10　乗車効率　7年度　12.0 12　実働1日1車当たり輸送人員　7年度　157.0
	（正）	効率性 10　乗車効率　7年度　12.1 12　実働1日1車当たり輸送人員　7年度　159.5